

博士学位論文（東京外国語大学）
Doctoral Thesis (Tokyo University of Foreign Studies)

氏名	エリザベス エスター フィブラ シマルマタ
学位の種類	博士（学術）
学位記番号	博甲第 273 号
学位授与の日付	2019 年 6 月 19 日
学位授与大学	東京外国語大学
博士学位論文題目	現代ジャワの若者におけるジャワ語敬語使用の状況

Name	Elyzabeth Esther Fibra SIMARMATA
Name of Degree	Doctor of Philosophy (Humanities)
Degree Number	Ko-no. 273
Date	June 19, 2019
Grantor	Tokyo University of Foreign Studies, JAPAN
Title of Doctoral Thesis	The Current Condition of the Usage of Honorifics in the Javanese Language by Contemporary Youth

2019年6月 博士学位論文

現代ジャワの若者における
ジャワ語敬語使用の状況

東京外国語大学大学院
総合国際学研究科

博士後期課程

Elyzabeth Esther Fibra SIMARMATA

目次

第1章 序章	1
1-1 研究の背景と目的	1
1-2 ジャワ語について	4
1-2-1 概論（歴史的背景、使用地域）	4
1-2-2 社会言語学的状況	6
1-2-2-1 ジャワ語—本来社会の地位—	6
1-2-2-2 現代ジャワ語の地位—インドネシア語の役割—	7
1-2-2-3 社会言語学のコードスイッチング	8
1-3 研究の社会言語学的な位置付け	9
1-4 研究の対象	9
1-5 研究方法・用語について	10
1-6 論文の概要	11
第2章 ジャワ敬語	13
2-1 ジャワ敬語の仕組み（体系と分類） - 先行研究に基づいて-	13
2-1-1 Poedjosoedarmo (1968), Poedjosoedarmo, et. al (1979)	13
2-1-1-1 ジャワ語の語彙レベル	14
2-1-1-2 ジャワ語の発話レベル	18
2-1-2 Errington (1985, 1988)	24
2-1-3 染谷 (1993)	25
2-1-4 Sasangka (2004)	28
2-1-5 日本語の敬語との比較	30
2-2 ジャワ敬語の使用状況について	34
2-2-1 Poedjosoedarmo, et. al (1979)	34
2-2-2 染谷 (1993)	35
2-2-3 レスタリ (2010)	36
2-2-4 日本語と比較したジャワ敬語の使用状況	37
2-2-4-1 丁寧なインドネシア語の役割	39

2-2-5	ジャワ語学会 (2006, 2016)	43
2-2-6	敬語使用における問題点	44
2-2-6-1	ジャワ語の教育	44
2-2-6-2	ジャワ敬語の難度	45
2-3	若者の敬語使用の自己認識について	47
2-3-1	調査結果	47
2-3-2	敬語使用の減少—インドネシア語へのコードスイッチング—	48
2-3-3	「新しい」敬語の使用傾向	48
2-3-4	敬語使用のメリットとデメリット	49
2-4	先行研究の問題点と論文の意義	49
第3章 若者にみられるジャワ語敬語使用の状況		51
3-1	調査の背景と目的	51
3-2	大学生に対する調査	52
3-2-1	調査対象地域	52
3-2-2	調査対象者	53
3-2-3	調査方法 (設問の内容と意図)	53
3-2-4	回答の分析と考察	54
3-2-4-1	問4の回答分析と考察	54
3-2-4-2	問5の回答分析と考察	59
3-2-4-3	問1の回答分析と考察	63
3-2-4-4	問2の回答分析と考察	68
3-2-4-5	問3の回答分析と考察	72
3-2-4-5-1	3aの回答分析と考察	73
3-2-4-5-2	3bの回答分析と考察	76
3-2-5	大学生調査に対するまとめ	79
3-3	高校生に対する調査	80
3-3-1	調査対象地域	80
3-3-2	調査対象者	80
3-3-3	調査方法 (設問内容と意図)	80
3-3-4	回答分析と考察	81
3-3-4-1	問4の回答分析と考察	81
3-3-4-2	問5の回答分析と考察	91

3-3-4-3 問1の回答分析と考察.....	101
3-3-4-4 問2の回答分析と考察.....	109
3-3-4-5 問3の回答分析と考察.....	117
3-3-4-5-1 3aの回答分析と考察.....	117
3-3-4-5-2 3bの回答分析と考察.....	125
3-3-5 高校生調査に対するまとめ.....	131
第4章 高齢者との比較、若者の敬語使用の変化.....	132
4-1 高齢者に対する調査.....	132
4-1-1 調査の背景と目的.....	132
4-1-2 調査の方法（インタビュー中心）.....	132
4-1-3 調査対象者.....	132
4-1-4 設問の内容と意図.....	133
4-1-5 インタビューの分析.....	133
4-2 若者のジャワ語使用の変化.....	143
4-2-1 若者にみられる変化.....	143
4-2-1-1 家庭で使用する言語の調査.....	144
4-2-2 敬語使用にみられる変化.....	149
4-2-2-1 「変容した敬語」に関する認知度の調査.....	150
4-3 まとめ.....	154
第5章 終章.....	155
5.1 まとめ.....	155
5.2 今後の課題.....	157
参考文献.....	159
謝辞.....	164
付録.....	166
付録A: アンケート用紙（問1～問5）.....	167

付録 B: 大学生と高校生のアンケート回答のデータと分析	184
問 1 大学生の回答データ	185
問 1 高校生の回答データ	186
表 1 問 1 尊敬的表現の使用を測る設問	187
問 1 大学生の回答分析	
グラフ問 1-1 ジャワ語専門家による規範的な文体	188
グラフ問 1-2 ジャワ語専門家と学生の回答比較	189
グラフ問 1-2-1 クロモルマ体についての回答比較 (ジョグジャカルタ出身)	190
グラフ問 1-2-2 クロモルマ体についての回答比較 (他州の出身)	191
グラフ問 1-2-3 ジョグジャカルタ出身と他州の出身の回答比較	192
表 2 問 1 大学生がよく使う回答の順位	193
問 1 高校生の回答分析	
グラフ問 1-1 ジャワ語専門家と高校教師の回答比較	194
グラフ問 1-2 農村部と都市部の高校生の回答比較	195
グラフ問 1-2-1 農村部の高校生の全回答	196
グラフ問 1-2-2 農村部の公立と私立の高校生の回答比較	197
グラフ問 1-2-3 都市部の高校生の全回答	198
グラフ問 1-2-4 都市部の公立と私立の高校生の回答比較	199
グラフ問 1-2-5 農村部と都市部の全高校生の回答比較	200
グラフ問 1-3 農村部と都市部の高校教師の回答比較	201
グラフ問 1-3-1 農村部の公立と私立の高校教師の回答比較	202

グラフ問 1-3-2 都市部の公立と私立の高校教師の回答比較.....	203
グラフ問 1-3-3 農村部と都市部の全高校教師の回答比較.....	204
グラフ問 1-4 高校教師と高校生の回答比較.....	205
グラフ問 1-5 大学生と高校生の回答比較.....	206
グラフ問 1-6 ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較.....	207
表 2 問 1-1 農村部の高校生がよく使う回答の順位.....	208
表 2 問 1-2 都市部の高校生がよく使う回答の順位.....	208
問 2 大学生の回答データ.....	209
問 2 高校生の回答データ.....	210
表 1 問 2 話題人物に対する尊敬的表現の使用を測る設問.....	211
問 2 大学生の回答分析	
グラフ問 2-1 ジャワ語専門家による規範的な文体.....	212
グラフ問 2-2 ジャワ語専門家と学生の回答比較.....	213
グラフ問 2-2-1 クロモルマ体についての回答比較（ジョグジャカルタ出身）.....	214
グラフ問 2-2-2 クロモルマ体についての回答比較（他州の出身）.....	215
グラフ問 2-2-3 ジョグジャカルタ出身と他州の出身の回答比較.....	216
表 2 問 2 大学生がよく使う回答の順位.....	217
問 2 高校生の回答分析	
グラフ問 2-1 ジャワ語専門家と高校教師の回答比較.....	218
グラフ問 2-2 農村部と都市部の高校生の回答比較.....	219
グラフ問 2-2-1 農村部の高校生の全回答.....	220

グラフ問 2-2-2 農村部の公立と私立の高校生の回答比較.....	221
グラフ問 2-2-3 都市部の高校生の全回答.....	222
グラフ問 2-2-4 都市部の公立と私立の高校生の回答比較.....	223
グラフ問 2-2-5 農村部と都市部の全高校生の回答比較.....	224
グラフ問 2-3 農村部と都市部の高校教師の回答比較.....	225
グラフ問 2-3-1 農村部の公立と私立の高校教師の回答比較.....	226
グラフ問 2-3-2 都市部の公立と私立の高校教師の回答比較.....	227
グラフ問 2-3-3 農村部と都市部の全高校教師の回答比較.....	228
グラフ問 2-4 高校教師と高校生の回答比較.....	229
グラフ問 2-5 大学生と高校生の回答比較.....	230
グラフ問 2-6 ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較.....	231
表 2 問 2-1 農村部の高校生がよく使う回答の順位.....	232
表 2 問 2-2 都市部の高校生がよく使う回答の順位.....	232
問 3A 大学生の回答データ.....	233
問 3A 高校生の回答データ.....	234
表 1 問 3a 謙讓的表現の使用を測る設問（主語は「私」の場合）.....	235
問 3A 大学生の回答分析	
グラフ問 3a-1 ジャワ語専門家による規範的な文体.....	236
グラフ問 3a-2 ジャワ語専門家と学生の回答比較.....	237
グラフ問 3a-2-1 クロモルマ体についての回答比較（ジョグジャカルタ出身）.....	238
グラフ問 3a-2-2 クロモルマ体についての回答比較（他州の出身）.....	239

グラフ問 3a-2-3 ジョグジャカルタ出身と他州の出身の回答比較.....	240
表 2 問 3a 大学生がよく使う回答の順位.....	241
問 3A 高校生の回答分析	
グラフ問 3a-1 ジャワ語専門家と高校教師の回答比較	242
グラフ問 3a-2 農村部と都市部の高校生の回答比較.....	243
グラフ問 3a-2-1 農村部の高校生の全回答.....	244
グラフ問 3a-2-2 農村部の公立と私立の高校生の回答比較	245
グラフ問 3a-2-3 都市部の高校生の全回答.....	246
グラフ問 3a-2-4 都市部の公立と私立の高校生の回答比較	247
グラフ問 3a-2-5 農村部と都市部の全高校生の回答比較.....	248
グラフ問 3a-3 農村部と都市部の高校教師の回答比較	249
グラフ問 3a-3-1 農村部の公立と私立の高校教師の回答比較.....	250
グラフ問 3a-3-2 都市部の公立と私立の高校教師の回答比較.....	251
グラフ問 3a-3-3 農村部と都市部の全高校教師の回答比較	252
グラフ問 3a-4 高校教師と高校生の回答比較	253
グラフ問 3a-5 大学生と高校生の回答比較.....	254
グラフ問 3a-6 ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較.....	255
表 2 問 3a-1 農村部の高校生がよく使う回答の順位	256
表 2 問 3a-2 都市部の高校生がよく使う回答の順位	256
問 3B 大学生の回答データ	257
問 3B 高校生の回答データ	258

表 1 問 3b 近距離表現の使用を測る設問（主語は「僕」場合）	259
--	-----

問 3B 大学生の回答分析

グラフ問 3b-1 ジャワ語専門家による規範的な文体	260
グラフ問 3b-2 ジャワ語専門家と学生の回答比較	261
グラフ問 3b-2-1 クロモルマ体についての回答比較（ジョグジャカルタ出身）	262
グラフ問 3b-2-2 クロモルマ体についての回答比較（他州の出身）	263
グラフ問 3b-2-3 ジョグジャカルタ出身と他州の出身の回答比較	264
表 2 問 3b 大学生がよく使う回答の順位	265

問 3B 高校生の回答分析

グラフ問 3b-1 ジャワ語専門家と高校教師の回答比較	266
グラフ問 3b-2 農村部と都市部の高校生の回答比較	267
グラフ問 3b-2-1 農村部の高校生の全回答	268
グラフ問 3b-2-2 農村部の公立と私立の高校生の回答比較	269
グラフ問 3b-2-3 都市部の高校生の全回答	270
グラフ問 3b-2-4 都市部の公立と私立の高校生の回答比較	271
グラフ問 3b-2-5 農村部と都市部の全高校生の回答比較	272
グラフ問 3b-3 農村部と都市部の高校教師の回答比較	273
グラフ問 3b-3-1 農村部の公立と私立の高校教師の回答比較	274
グラフ問 3b-3-2 都市部の公立と私立の高校教師の回答比較	275
グラフ問 3b-3-3 農村部と都市部の全高校教師の回答比較	276
グラフ問 3b-4 高校教師と高校生の回答比較	277
グラフ問 3b-5 大学生と高校生の回答比較	278

グラフ問 3b-6 ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較.....	279
表 2 問 3b-1 農村部の高校生がよく使う回答の順位	280
表 2 問 3b-2 都市部の高校生がよく使う回答の順位	280
問 4 大学生の回答データ	281
問 4 高校生の回答データ	282
表 1 問 4 尊敬的表現の使用を測る設問	283
問 4 大学生の回答分析	
グラフ問 4-1 ジャワ語専門家による規範的な文体.....	284
グラフ問 4-2 ジャワ語専門家と学生の回答比較	285
グラフ問 4-2-1 クロモルマ体についての回答比較 (ジョグジャカルタ出身)	286
グラフ問 4-2-2 クロモルマ体についての回答比較 (他州の出身)	287
グラフ問 4-2-3 ジョグジャカルタ出身と他州の出身の回答比較.....	288
表 2 問 4 大学生がよく使う回答の順位	289
問 4 高校生の回答分析	
グラフ問 4-1 ジャワ語専門家と高校教師の回答比較	290
グラフ問 4-2 農村部と都市部の高校生の回答比較.....	291
グラフ問 4-2-1 農村部の高校生の回答比較	292
グラフ問 4-2-2 都市部の高校生の回答比較	292
グラフ問 4-2-3 農村部の高校生の全回答.....	293
グラフ問 4-2-4 農村部の公立と私立の高校生の回答比較	294
グラフ問 4-2-5 都市部の高校生の全回答.....	295

グラフ問 4-2-6 都市部の公立と私立の高校生の回答比較.....	296
グラフ問 4-2-7 農村部と都市部の全高校生の回答比較.....	297
グラフ問 4-3 農村部と都市部の高校教師の回答比較.....	298
グラフ問 4-3-1 農村部の公立と私立の高校教師の回答比較.....	299
グラフ問 4-3-2 都市部の公立と私立の高校教師の回答比較.....	300
グラフ問 4-3-3 農村部と都市部の全高校教師の回答比較.....	301
グラフ問 4-4 高校教師と高校生の回答比較.....	302
グラフ問 4-5 大学生と高校生の回答比較.....	303
グラフ問 4-6 ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較.....	304
表 2 問 4-1 農村部の高校生がよく使う回答の順位.....	305
表 2 問 4-1 都市部の高校生がよく使う回答の順位.....	305
問 5 大学生の回答データ.....	306
問 5 高校生の回答データ.....	307
表 1 問 5 謙譲的表現の使用を測る設問.....	308
問 5 大学生の回答分析	
グラフ問 5-1 ジャワ語専門家による規範的な文体.....	309
グラフ問 5-2 ジャワ語専門家と学生の回答比較.....	310
グラフ問 5-2-1 クロモルマ体についての回答比較（ジョグジャカルタ出身）.....	311
グラフ問 5-2-2 クロモルマ体についての回答比較（他州の出身）.....	312
グラフ問 5-2-3 ジョグジャカルタ出身と他州の出身の回答比較.....	313
表 2 問 5 大学生がよく使う回答の順位.....	314

問 5 高校生の回答分析

グラフ問 5-1 ジャワ語専門家と高校教師の回答比較	315
グラフ問 5-2 農村部と都市部の高校生の回答比較.....	316
グラフ問 5-2-1 農村部の高校生の回答比較	317
グラフ問 5-2-2 都市部の高校生の回答比較	317
グラフ問 5-2-3 農村部の高校生の全回答.....	318
グラフ問 5-2-4 農村部の公立と私立の高校生の回答比較	319
グラフ問 5-2-5 都市部の高校生の全回答.....	320
グラフ問 5-2-6 都市部の公立と私立の高校生の回答比較	321
グラフ問 5-2-7 農村部と都市部の全高校生の回答比較.....	322
グラフ問 5-3 農村部と都市部の高校教師の回答比較	323
グラフ問 5-3-1 農村部の公立と私立の高校教師の回答比較.....	324
グラフ問 5-3-2 都市部の公立と私立の高校教師の回答比較.....	325
グラフ問 5-3-3 農村部と都市部の全高校教師の回答比較	326
グラフ問 5-4 高校教師と高校生の回答比較	327
グラフ問 5-5 大学生と高校生の回答比較.....	328
グラフ問 5-6 ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較	329
表 2 問 5-1 農村部の高校生がよく使う回答の順位.....	330
表 2 問 5-1 都市部の高校生がよく使う回答の順位.....	330
付録 C: 「変容した敬語」の認知度について	331
問 6 「クロモルマ体」と「簡素化したクロモ体」に関する認知度の調査	332
6a. 高校生の回答.....	333

6b. 高校教師の回答	334
6c. 教師と高校生の回答比較	335
付録 D: 「家庭におけるジャワ語使用」について	336
問 7 「家で会話をする際に使う言語」の調査	337
7a. 高校生の回答	338
7b. 高校教師の回答	339
付録 E: 高齢者に対するインタビュー記録	340

第1章 序章

1-1 研究の背景と目的

世界で敬語体系が発達している言語として日本語と朝鮮語が知られている。菊地（1997:93）は、日本語の敬語は高度に体系的、組織的に発達して、世界的に見ても著しい特色をもつと指摘する。このような体系的な敬語の発達には、ほかに朝鮮語、チベット語、ジャワ語など、少数の言語にしか見られないと述べている。ジャワ語は日本語と同様に、複雑な敬語の規範を持っている言語とされ、日々の生活において、様々に異なった階層で丁寧さと敬意度を表す道具として敬語が用いられている。

インドネシアの社会は2010年にインドネシアの中央統計庁が行った国勢調査によると、1300を超える民族から成り立っており（Badan Pusat Statistik, 2010:6）、それぞれの文化や習慣、考え方が異なる。また、Sneddonは2003年に、インドネシアの国内では500以上の言語が話されていると指摘している（2003:197-8）が、インドネシアの教育文化省言語育成振興局が1991～2017まで行った研究成果によると、2018年に識別され検証された言語が668の言語もあった¹。

多民族国家であるインドネシアでは、公用語であるインドネシア語のほかに地方語（民族語）も使われており、二言語話者 *bilingual* が多く見られる。ジャワ語は、インドネシアの国語として定められるインドネシア語に対して、地方語と位置づけられている。中央統計庁によると、ジャワ語話者は約7600万人いるとされ（Badan Pusat Statistik, 2010:7;11-13）、彼らの多くはインドネシア語とのバイリンガルである²。

しかし現在は、ジャワ語の敬語運用能力の低下がみられたり、敬語そのものの使用を避けたりする若者たちが増えているなど、ジャワの若者の敬語離れが以前にもまして指摘されるようになってきている。若者のジャワ語の敬語であるクロモ *Krama* 体³を使用する能力が低下しているとよく耳にするが、それはジャワ社会では誰でも感じることであろう。しかしながら、若者自身の敬語認識や敬語の運用実態に関しては未だに明らかにされていない。

ジャワ語の敬語使用に関する先行研究では、これまで次のように指摘されてきた。まず、1928年3月、ジョグジャカルタで行われたジャワ語の講師学会では、ジャワ語の「発話レベル *unggah ungguh ing basa*⁴」は非常に難しいため、それを詳細に解説したテキストブックが必要だと結論づけられた（Dwijawiyata, 1930）。そして、Poedjosoedarmoら（1979）は、

¹ <http://badanbahasa.kemdikbud.go.id/lamanbahasa/>の言語地図 <http://118.98.223.79/petabahasa/>

² Koran Sindo (Seputar Indonesia), “10 Bahasa Daerah dengan Penutur Terbanyak di Indonesia”, October 30, 2017, accessed January 28, 2019, <https://nasional.sindonews.com/read/1252853/> (インドネシアの全国紙が現在インドネシアでのジャワ語話者は8430万人いると記載した)。

³ クロモ (*Krama*) 体は、ジャワ語で最も敬意を表わす敬語体である。自分より社会的に高い地位を持つ者、貫禄のある者などに対して、非常に遠慮を持って敬意を表したいときに用いる。ジャワ語の正書法では *Krama* は [a] 母音で表記されているが、発音するときは *Kromo* のように [o] 母音で行われることが多い。

⁴ ジャワ語は、語彙レベルと発話レベルに分けられ、両方合わせて使い分けるのが極めて難しい(第2章に詳細に説明する)。社会的位置などに応じて、話し手と聞き手の間で使い分け、ジャワ語話者のジャワ社会的様式として捉えられている。ジャワ語で *unggah-ungguh ing basa* と呼ぶ。社会言語学では、発話レベルやスピーチレベルなどの訳語が用いられてきたが、筆者は本論文の中で、発話レベルとして記述する。

ジャワ語の難しさを指摘したうえで、当時（1979年頃）の家庭における敬語使用の状況について、現在はエリート家庭においても、家庭内でクロモ体を使用することに対するこだわりがなくなっており、その理由として、親と子供の間に関係を求めると述べている（Poedjosoedarmo, et al. 1979:15）。さらに、1991年、1996年、2001年のジャワ語学会では、現代ジャワの若者はすでにジャワ語の発話レベルの使い方を把握していないということに加え、特に一般人（エリートの枠には入らない人々のことを指す）からは、発話レベルを簡素化しようとする願望が高まっている状況が見られると結論づけられている（Sasangka, 2004:1-5）。

先行研究では、上記のようにジャワ語の発話レベルの複雑さと、若者らが使用を回避する傾向があることが指摘されてきた。しかしながら、その実態をデータで示したものはない。そこで、本研究では、ジャワ敬語の使用に対する認識と、その運用能力がどこまで低下しているのか、その実態を明らかにすることを試みる。

まず、本研究の課題をより明確にするために、筆者のこれまでの研究成果を概観したい。筆者はインドネシアにおいて最も高い教育水準を持つと知られるガジャマダ大学⁵の学生を対象に調査を実施してきた（シマルマタ, 2012, 2014a）。つまり、若者の中でも知識人として認められる集団を、ジャワ人の若者の代表として取り上げ、敬語認識と運用について分析した。現地調査は、ジョグジャカルタ市のガジャマダ大学において、2011年8～9月と2013年2～3月、二回ほど実施した。

一回目の現地の調査では、ガジャマダ大学の学生に対して、敬語認識に関する調査を行い、複雑な敬語の規範を持つ言語として知られるジャワ語の敬語が、現代の若者によってどのように使用され、また変化しているのかを社会言語学的視点から考察した。この調査の成果はすでに報告したように（シマルマタ, 2014a）、若者のジャワ語敬語に関して、次の3点が明らかになった。一）敬語の必要性の認識はあるが規範的に使う自信がないこと、二）誤使用のリスクが敬語使用の回避の要因となっていること、三）「変容した敬語」が出現したこと、すなわち、クロモルマ *Krama Rumah*⁶ の使用やインドネシア語へのコードスイッチングが見られたことを指摘した。ジャワ敬語からインドネシア語へコードスイッチングする理由に関して学生たちは、無難で使いやすい、相手に対する誤解を招きにくい、中立的で誰にでも平等に使えるため好ましいなどとインドネシア語を用いる利点を挙げていたのが特徴的であった。これについて、Connors もジャワ若者の間に広がる二言語使用は、ジャワ語の発話レベルを上手く回避する要因となると述べている（2016:4）。

⁵ ガジャマダ国立大学 *Universitas Gadjah Mada* は、ジョグジャカルタ市に本部が置かれるインドネシアの有名な国立大学である。1949年に設置され、18の学部を持つ総合大学である。インドネシアでは最も高い水準を持つ大学だと知られている。全体の学生数からみれば、ジャワ人の学生が最も多く、学生の日常コミュニケーションの中では、ジャワ語が欠かせないものと言われている。

⁶ クロモルマ体 (*Krama Rumah*) は、直訳すると「家の敬語」を意味する。たとえば家の中や家の周辺、近所の人たちに挨拶をしたり短い会話をしたりするときに使われる、決まったパターンのようなシンプルなクロモ体などが挙げられる（シマルマタ, 2014a:14）。クロモルマという用語自体はどこまで普及しているのか第4章に説明するが、特に若い世代が用いる簡素化した敬語のことを指すと考えられる。

つづいて 2013 年に実施した二回目の現地調査では、ジャワの若者の敬語使用の運用実態について調査を行った。現代ジャワの若者が規範的なクロモ体を使用できなくなるという実態を実証するために、クロモ体の運用能力をはかるための質問アンケートを用いて、クロモ体の正誤用法に対する認識の調査を行い、若者の敬語使用の傾向を明らかにした。この調査の成果はシマルマタ(2014b)で報告した。この論文で明らかになった若者のジャワ語敬語の運用実態は、次の二点にまとめられる。

第一に、現代ジャワの若者は敬語の運用に関する知識をあまりもっていないことが明らかになった。これは一回目の調査で明らかになったことと関連する。学生たちは学校でジャワ語を学ぶよりも、近所の付き合いや日常生活で起きた出来事から敬語を身に付ける。つまり、敬語は、学校等で体系的に学ぶというよりは、生活環境の中で身に付けることの方が一般的なもので、敬語について全くわからないというわけではないものの、規範的な敬語を習得していないのである。二回目の調査結果からも、規範的な敬語を使いこなせない学生が少なくないことが明らかとなった。

第二に、本来のジャワ語の規範では、年上や地位的に自分より上の人と話すときに最も丁寧さを表すクロモ体にしなければならないが、現代の若者は、中間的な丁寧さを表すマディオ *Madya* 体⁷を用いる場合があることが明らかになった。彼らはマディオ体でも十分に丁寧であると認識しており、実際にマディオ体の使用を好む若者が見られた。つまり、現代の若者は、目上の人と話す際に、マディオ体を使用するのが十分に適切だと理解しており、敬語に対する認識に変化が見られる。また、年齢が離れていても、より近い関係性を求める若者も増えている。例えば、相手の行為を指す動詞のみを敬意を表し、それ以外を準丁寧語あるいは非丁寧語(第2章を参照)にすることによって、親しい関係をアピールしながら尊敬の意思を表わしたいと考える若者が少なくない。彼らは、このような表現は十分に丁寧であり、失礼な表現ではないと認識している。

上記二点から、現代の若者は、規範的な敬語の知識を十分に身につけておらず、敬語を使用する際には、丁寧さが伝われば十分だと認識している。十分に丁寧であると考えた表現を用いることで、相手との親しさを示すと同時に、失礼にならないようにしていることが明らかとなった。

また、今回調査を行ったガジャマダ大学には、ジョグジャカルタ州出身の学生と、他州出身のジャワ人学生が通っている。調査結果からは、ジョグジャカルタ州出身の学生の方が、他州出身の学生と比べ、ある程度規範的な敬語の基礎を身に付けられているという状況が明らかになった。他州出身の学生は、一部の学生を除き、ジャワ語は学校で習うものではなく、近所の付き合いや日常生活の経験から敬語を身に付ける。一方、ジョグジャカルタ州に位置するジャワの学生は、高校のときに学校で地域科カリキュラムとしてジャワ語を三年間習う。では、ジョグジャカルタ州出身の学生の方が他州出身の学生より、敬語の運用能力

⁷ クロモ体ほど丁寧さを表さないが、中間的な丁寧さを表すときに使用される。Krama と同様に、Madya も [a] 母音で記述されているが、発音するときに Madyo のように [o] 母音で行われることが多い。

がわずか高いのは、高校における教育の影響なのだろうか。彼らはいかに敬語を身につけているのだろうか。

そこで、本論文では、これまでの研究成果をふまえ、大学生に加えジョグジャカルタ州のジャワ人の高校生にまで射程を広げ、彼らのジャワ語敬語の使用状況を明らかにする。

学校の教育は基本的にインドネシア語で行われるため、ジャワ人の若者がインドネシア語を頻繁に使用する。では、学校の地域科カリキュラムとしてジャワ語の授業を受けているジョグジャカルタ州の高校生は、果たしてどのようにジャワ語の敬語を身につけているのだろうか。彼らのジャワ語敬語の運用能力は、学校教育の状況を反映するのだろうか。ジャワ語の授業を受けたにもかかわらず若者の敬語運用能力が向上していないとしたら、学校のジャワ語教育の問題点も指摘すべきである。

ジャワ語は、社会言語学的視点から複雑な敬語の規範を持つ言語として知られている。本稿では、ジャワ語の敬語は、現代の若者によって、どのように使用され、また変化していくのかを明らかにする。その上で、ジャワの高齢者は現代の若者の敬語使用に対して、どのように認識しているのかを、ジャワ高齢者のインタビューの分析から明らかにする。そして、高齢者と若者の敬語使用の状況を比較し、今後のジャワ敬語使用に関する展望を述べたい。

1-2 ジャワ語について

1-2-1 概論（歴史的背景、使用地域）

ジャワ語は、オーストロネシア語族に属している。古ジャワ語がジャワ社会で使用されたのは1～15世紀までと記述されているが、1～6世紀までに用いられたのは口頭言語のみであった。古ジャワ語はサンクリット語に大きく影響を受けており、古ジャワ語の全体の語彙のうち約45%はサンスクリット語であった。古ジャワ語は、7～15世紀までジャワ社会でみられたヒンドゥー・仏教・ジャワの三つの混合文化の媒介装置として、筆記及び口述言語として利用された。現代ジャワ文字の母胎となったのは、カウイ文字 *Kawi script* とも呼ばれる古ジャワ文字 *Old Javanese script* である。カウイとは、サンスクリット語「詩人」に由来する。最も古い書面に現れた古ジャワ語と古ジャワ文字は、804年のスカブミ碑文 *Prasasti Sukabumi* であった。また、9～10世紀最初に古ジャワ語と古ジャワ文字で書かれた有名な文学作品はラーマーヤナ *Ramayana* とマハーバーラタ *Mahabarata*⁸ の翻訳であった (Zoetmulder, 1974; Wedhawati dkk, 2001:1-2)。

ジャワ語は世界でも伝統のある言語の一つとして見ることができる。12世紀以上にわたって、多くの文学作品がジャワ語で書かれている。学者は、ジャワ語の発達を四つの段階に分けており、①9世紀以降の古ジャワ語、②13世紀以降の中期ジャワ語、③16世紀以降の現

⁸『ラーマーヤナ』は古代インドの大長編叙事詩、サンスクリットで書かれ、ヒンドゥー教の神話とラーマ王子の伝説を編纂したものとされる。『マハーバーラタ』は古代インドの宗教的、哲学的、神話的叙事詩で、インド神話を構成する重要な文献の一つである。

代ジャワ語となる。現代ジャワ語は、古ジャワ語を継承し、オーストロネシア語族の中で最長の文化的伝統と最多の使用者を持つ。

ジャワ語はインドネシアのジャワ島中央部以東で話されている言語であり、その本拠地は、ジャワ島東部および中部である。これに対し、西部の西ジャワ州では主としてスンダ語が用いられているが、更に西に位置するバンテン Banten 州の北方海岸地帯では、ジャワ語が用いられている。また 19 世紀以降行われた移民政策によって、ジャワ島以外にも、スマトラ島のランブン州、マレーシア、ニューカレドニア、南米のスリナム共和国などにジャワ語圏がある(亀井、千野、河野, 1995:209)。

ジャワ語話者人口は、世界で 11 番目に多い。また、インドネシア共和国全人口約 2.5 億人のうち、約 1.37 億人がジャワ島に住んでおり、そのうち約 7.5 千万人もの人々が日常生活でジャワ語を使用している(Sneddon, 2003:198)。しかし、一方で、ジャワ語話者が公的な場面で意思疎通を行う場合、または異なる民族言語を話す者同士が意思疎通を行う場合、多くの場合で公用語であるインドネシア語が用いられている(石井, 1984:2)。

ジャワ語は中央ジャワから東ジャワにかけて話されている。また、西ジャワの北海岸でも同じように用いられている。マドゥラ島、バリ島、ロンボク島、および西ジャワのスンダ語地域においては、文語として用いられている。南スマトラ、パレンバンの宮廷では、18 世紀の終わりにオランダによって侵略されるまではジャワ語が宮廷語であった。

ジャワ語は国の共通語ではないが、ジャワ語を母語として用いる人の数は圧倒的に多い。最初に述べたように、およそ 8 千万弱の人がこの言葉を話すかまたは理解する。少なくともインドネシアの総人口の 40% はジャワ人である⁹。また、1945 年以降、インドネシア大統領の 7 人のうち、6 人がジャワ人、1 人はジャワ人のハーフである。従って、インドネシア語の発展にジャワ語が大きな影響を与えていることは驚くべきことではない。

日本語と同様にジャワ語は敬語が発達していることで知られる。その特徴として挙げられるのが、普通体と丁寧体の区別である(石井, 1984:1-2)。ンゴコ *Ngoko* 体はごく親しい友人間や目下の者に対してや、独り言をいう場合等に用いられる。一方、丁寧体であるクロモ *Krama* 体は、改まった会話や目上の者に対して用いるほか、貴人同士の会話、また時として妻が夫に対して用いる言葉である。すべての「ンゴコ体」に対応する「クロモ体」が存在するのではなく、大多数の語は「ンゴコ体」と「クロモ体」に共通して使われる「ンゴコ・クロモ共通語」である。その他、「ンゴコ体」と「クロモ体」の間に「マディオ *Madya* 体」があって、中間的な丁寧さを表わす際に使われる。クロモ体ほど丁寧さを表わさないマディオ体だが、最低限丁寧さを表す表現として見なされる。更に「クロモインギル *Krama Inggil* 語」と呼ばれる単語のグループはあるが、これは日本語の尊敬語に当たる。単語としてのみ存在し、「ンゴコ体」と「クロモ体」の中で混ぜて用いられる。

また、ジャワ語の発話レベルシステムに関して、16 世紀の前にはジャワ語の中に発話における階層は存在しなかったが、すでに形成されつつあるとみられる現象が見られた。ジャ

⁹ 2010 年の中央統計庁が行った国勢調査によると、ジャワ人の人口は 9500 万人以上いるとされた。

ワ語の発話レベルは16世紀になってから発展し、マタラム *Mataram* 王国¹⁰内の会話で初めて使用された。マタラム王国では、当時、スルタン・アグン¹¹ *Sultan Agung*の権力と正当性を強調するために、文学作品を通して、権威を有しているスルトンの権利と高評を表していた。発話レベルは、マタラム王国の威厳と勢いを見せるだけでなく、上層社会と下層社会の間に社会的距離を作り出すためにも創られた。発話レベルを発展させることによって、マタラム王国は支配的な王朝として自らの立場を強化することができた。つまり、発話レベルの発展においては、スルタン・アグンの権威の確立が重要な役割を持っていたといえる。

その後、発話レベルは、王国の詩人を利用して普及していった。このように、17世紀に発話レベルが確立され、その後も発達し続けながら、クロモ体やンゴコ体のような固定的な階層に進化した(Moedjanto, 1994: 56-60)。

1-2-2 社会言語学的状況

1-2-2-1 ジャワ語—本来社会の地位—

発話レベルは、社会生活において上層社会と下層社会の間に距離を作り出すための道具だといえる。一方で、その発話レベル自体は、社会生活が造り上げた一つの装置であるともいえる。つまり、社会の構造が言語の構造の形成要素でもあり、言語の構造は社会の構造を反映する。言語構造に発話レベルを最大限に利用するというのは、その言語を使用する社会に社会的階層が強く存在することを示す。発話レベルが複雑であればあるほど、社会的な階層も確実に繁雑である(Moedjanto, 1994: 41-61)。

複雑になる傾向はあるが、実際には、ジャワ語の発話レベルは、ンゴコと体とクロモ体という固定的な二つのレベルに大別できる。ただし、この二つの固定形式のなかに多様な変動が生じ得る(Poerwadarminta, 1953: 7-10)。発話レベルの固定形式と同様に、ジャワ社会も二つの固定的な階層から成り立つ。ス Tantra・ダルム *Sentana Dalem*¹²と、カウロ・ダルム *Kawula Dalem*¹³やアブディ・ダルム *Abdi Dalem*¹⁴という階層に分けられ、相手に対してどの発話レベルを使用すべきなのか、相手が自分にどの発話レベルを使用するのか想定することができる。

下層階層にあるカウロ・ダルムやアブディ・ダルムは、ス Tantra・ダルムに対して、敬語を用いなければならない。また、上層階層にあるス Tantra・ダルムの人たちは、家族内では貴族の気格として、子供は親に対して敬語を必ず使用しなければならないことが知られて

¹⁰ 16世紀末にインドネシアのジャワ島中部に興ったイスラム王国(1577年～1681年)である。マタラムとは、ジョグジャカルタ地方の古地名である。同地域に8～10世紀に栄えたヒンドゥー教・仏教を奉じてマタラム王国と区別してイスラム・マタラム王国とも呼ばれる。

¹¹ マタラム王国の第3代スルタンである。強大な兵力を背景に近隣諸国を征服し、マタラムの最大版図を築き上げた君主として知られている。

¹² 王と直接関係をもつ者のことを指す。例えば、王妃、王の子供、孫、親戚など、主に貴族の者を指す。

¹³ 一般の庶民のことを指す

¹⁴ 王に一生献身的に捧げる者を指す。自分の体力や能力、私有物などをすべて王に捧げる。普段は宮殿で様々な家事を行う。献身的に働くため、低賃金はもらうが極めて少ない。

いる。下層階層にあるカウロ・ダルムの人びとの中では必ずしも子が親に対して敬語を使わなくてもよいが、使った方がよいとされている。要するに、発話レベルは、人間関係に応じた様々な言語体系となる (Kridalaksana, 1992:10)。

一方、社会学的視座からは、ジャワ社会の発話レベルの機能は次のように指摘されている。一つ目は、社会関係の規制としての機能である。他人とコミュニケーションをとる際に、個々人が従うべきある特有なルールがある。ルールに従うことで、調和のとれた社会が実現できると考えられている。ジャワ社会においてそのルールは適切な発話レベルを使用することである。ルールを従わない人は制裁を受けるように、ジャワ社会でも、発話レベルのルールを従わないジャワ人は、相手との関係に不和が生じる。ジャワ社会では、ジャワ語を使おうとする者に対して、規範的なジャワ語を使うように求められる。自分と相手の立ち位置や地位、年齢、功績、家族背景などをみて、どのように発話するかを決めなければならない (Digdaya, 1953: 2)。

ジャワ社会における発話レベルの機能の二つ目は、マナーとしての側面である。これは一つ目の機能とも関連する。元々敬語は上位の者に対して敬意を表すために使用されるが、発話レベルを上手く使い分けできる者は世間から尊敬されるということもあり、発話レベルがさらに普及していくこととなった。発話レベルに敬意を表す語彙が使用できる場面で最初は限られていたが、いざ社会に浸透すると、様々な場面で用いられ、使用頻度が高くなっていった (Moedjanto, 1994:41-55)。

1-2-2-2 現代ジャワ語の地位—インドネシア語の役割—

インドネシアの近代化の過程で、ジャワ語は、インドネシアの国語であるインドネシア語に対して、地方語として位置づけられることとなった。ジャワ語の話者が最も多い中部ジャワの人びとは、インドネシア語も使用するバイリンガル(二言語話者)が多い。Sneddon (2003)によると、インドネシア語は、国民の共通語の言語として宣言された1928年¹⁵には、話者人口はインドネシア全人口のわずか5%しかいなかった。当時圧倒的に話者人口が多かったのは、ジャワ語であった。しかし、ジャワ語が共通語になり得なかった理由として、彼は、ジャワ語はある特定の民族が話している言語であり、共通語になると他の民族からの反発を招き、国家の統一を妨害することになると述べている。また、ジャワ語には発話レベルという身分の階層を表す言語体系があるため、当時国民主義者が捧げた平等化と近代化とは矛盾するだろうと述べる (Sneddon 2003 : 104-105)。これに加えて、森山 (2009 : 14) は、インドネシア語を国語とする政策の下で、地方語に与えられた役割は非政治的なものであったと指摘する。インドネシア語が政治言語であるのに対して、地方語は文化を表現する言語とされた。公的な空間で使われる言語がインドネシア語であるのに対して、私的な空間で

¹⁵ 「青年の誓い」と呼ばれ、1928年10月28日にオランダ占領中にジャカルタにおいて、インドネシアの青年民族主義者が開催した第2回インドネシア青年会議でたてられた誓いである。民族主義者たちは誓いの中で、一祖国、一民族、一言語という思想を掲げた。

使われるのが地方語であったと述べている。

現代のジャワの若者はジャワ語よりもインドネシア語をより頻繁に用いることによって、特にジャワ語敬語離れが起きていることが指摘されている。インドネシア語の方をジャワ語より好んで使用するという理由に関して、先述の Sneddon(2003:210-211)は、次の3点を指摘する。まず、インドネシア語が流暢な人はしっかりと教育を受ける者が多いと認識され、またインドネシア語は現代的なものともみられる点である。インドネシア語の使用は、教育と近代化と関連がある。次に、彼は、ジャワ語の発話レベルが複雑すぎる点を指摘する。社会的な身分が変わることにより、使うべき発話レベルが変化し、敬語使用が乱れてしまう可能性を避けるため、中立的なインドネシア語にコードスイッチングをした方が便利なのである。最後に、農村や地方で生まれた人は訛りのあるジャワ語を話す傾向があり、それが非丁寧とされる場合があるため、目上の人には使用を避け、インドネシア語を用いるようになるという点を挙げている。

1-2-2-3 社会言語学のコードスイッチング

筆者のこれまでの研究からは、ジャワ人の若者のジャワ敬語の運用能力の低下の理由のひとつは、インドネシア語に頻繁にコードスイッチングするためであることが明らかになった。ジャワ敬語からインドネシア語へのコードスイッチングを行うことによって、相手の地位を考慮に入れずに会話ができ、相手に対する誤解も招きにくい。学生たちは、このようにインドネシア語が中立的なニュアンスをもつために、好ましいと感じると述べている。

コードスイッチングは、場面や状況に応じて、様々な言語を使い分けることのことである。同一言語内の地域、職業、年齢、性別、フォーマルかインフォーマルかなどに応じて、多言語社会で異なる言語を使い分けることを指す。コードスイッチングの定義について、Halliday (1978:65) は「個々人の間に行為の過程を顕在化したコードシフト:単一文の過程で、ある程度のペースによって、一つのコードから別のコードに移動したり戻ったりする」、Trudgill (1980:82) は「相手の状況に合わせて、一つの言語から他の言語にスイッチングすること」、Preston (1989:29) は「社会的需要に合わせるための言語シフト」など、様々な社会言語学者が述べているが、コードスイッチングの著名な研究者 J. J. Gumperz (1982:83) は「文法システムのそれぞれの内部規則にそって、話者が意識的あるいは無意識的に作った糸のようなものを意味のある並置をする(単語の列のよう)ということ」と述べている。言語の切り替えが何故、どのように引き出され、コードスイッチングが含まれた発話がどのように応答されるのかを分析することで、メッセージの意味や相手との関係が明らかになると考える。

本論文では、最も規範的なジャワ語が使用されていると言われるジョグジャカルタ特別州の若者における敬語使用の変化の原因と結果、また、インドネシア語にコードスイッチングを行うジャワ若者の「インドネシア語化」の原因と結果を分析する。筆者は、敬語規範を持たないとされる公用語のインドネシア語と、複雑な敬語規範を持つ地方語のジャワ語の

二言語話者であるジャワ若者の場合は、インドネシア語へのコードスイッチングを行うことはジャワ語の使用から逃れるための戦略であると考えられる。

1-3 研究の社会言語学的な位置付け

本論文は、複雑な敬語の規範を持つ言語と知られるジャワ語について、現代ジャワの若者の敬語使用に関する実態調査を行い、考察することを目的とする。

現代ジャワの若者は、ジャワ敬語を規範通りに運用できなくなり、敬語の使用を避けることが増えるなど、彼らの敬語離れが一段と進んでいると指摘されている。しかしながら、これまでに実態調査に基づいた研究はなされてこなかった。一方前述のように、ジャワ語は日本語と朝鮮語と並んで、世界で敬語体系が発達している言語として社会言語的に研究が行われ、多くの研究蓄積がある。ただし、日本語と韓国語と異なり、ジャワ語は、インドネシアの国語あるいは共通語ではなく、地方言語として位置づけられている。特に1945年のインドネシア独立国以降、インドネシア社会にはさまざまな社会変化が生じ、それはジャワ語の社会言語的状况にも大きな影響を与えた。ジャワの敬語使用において最も重要なのは、発話レベルを使い分けである。しかし、中立的で平等なニュアンスを持つインドネシア語が登場し、国語であるインドネシア語とジャワ語を併用する二言語話者が増加した。こうした状況は、ジャワ敬語の使用にどのような影響を与えるのだろうか。

現代の日本や韓国でも、若者の敬語運用能力の低下や敬語の誤使用が多くみられると、言語研究者や各メディアに取り上げられている。例えば、日本では、規範的な敬語を使いこなすことは社会人の常識とされる。若い頃には敬語を使えなくても、就職すると敬語を身につけるよう努めなければならない。しかし、このような状況はジャワ社会では見られない。インドネシアでは、特にグローバル化が進む現代において、若者が国際語¹⁶に興味を持つという状況がある。公的場面でジャワ敬語をうまく使用できることの利点は少なくなり、ジャワ敬語の存在感はますます無くなっている。このような状況下では、今後、ジャワ敬語に関する研究も一層難しくなるであろう。

このような現状を踏まえて、本論文は徹底的な敬語使用の実態調査を行った。データとしてはアンケート調査だけでなく、取材インタビューや観察、様々な文献資料を用い、ジャワ敬語の現代の状況をみていく。前述のように、これまで実態調査に基づいた分析と考察を行った研究がなかったため、本研究は今後のジャワ語の研究に貢献できると考えている。また、ジャワ語だけに留まらず、敬語研究全般に対しても、貴重な実態データを示すことができると考える。

1-4 研究の対象

先行研究では、ジャワ語の発話レベルが複雑であるため、若者たちが使用を回避する傾向があると指摘されてきたが (Dwijawiyata, 1930; Poedjosoedarmo, 1979; Sasangka, 2004)、

¹⁶ グローバル化の中で国際的に最も使用される言語、すなわち、英語のことを指す。

ジャワ敬語の使用に対する運用実態がどこまで低下しているのか、その実態をデータで示したものはなかった。筆者はこれまでジャワ人住居者が 9 割以上を占めるジョグジャカルタ特別州において、2011 年と 2013 年、ガジャマダ大学の学生合計 245 名に調査を行った。さらに、大学でジャワ語とジャワ文化を教えるジャワ語教員（以降で、ジャワ語専門家と記述する）にも調査に参加してもらい、学生と比較検討した。この調査からは、現代ジャワの若者は敬語の運用能力を十分にもっていないことが明らかとなり、学校のジャワ語教育に問題があることを指摘した。大学生は学校でジャワ語を学ぶよりも、近所の付き合いや日常生活の経験から敬語を身に付けるという。さらに、若者の間では丁寧さが伝われば十分に受け入れられるという現象が見られ、敬意よりも丁寧さを表わす言葉で伝える傾向があることが明らかとなった（シマルマタ, 2014a）。

そこで、本論文では、学校の正規科目としてジャワ語の授業を受けているジョグジャカルタ州の高校生を研究対象とする。州内の農村部と都市部の高校生、合計 814 名人に対し調査を行い、彼らの敬語の運用実態を分析した。高校生に加え、農村部と都市部の高校教師、合計 46 名にも調査を行い、同様に分析した。

さらにジャワ語の敬語が規範的に使用できるであろう村の高齢者たちにも調査を行った。年齢的な要因から、若者と同様のアンケート調査は実施しなかったが、高齢者一人一人に対してインタビューを行った。合計 30 名の高齢者に調査に参加してもらったが、高校生や高校教師の回答と対照できる貴重なデータとなった。

あらためて本論文の調査の全対象者をまとめたい。筆者は、本研究において、大学生 245 名、高校生 814 名、ジャワ語専門家 3 名（2 名は大学のジャワ語教員と 1 名はジャワの文化人¹⁷）、高校教師 46 名、高齢者 30 名、合計 1138 名に調査を行った。

1-5 研究方法・用語について

前節で示したように、先行研究では、若者自身の敬語認識や運用実態に関して未だに明らかにされていない。そのため、本研究では、アンケート、インタビュー、資料を用いて、特に、若者が示す敬語にまつわる様々な現象を考察することを試みる。

まずは、現地調査を中心に分析を行う。若者が規範的な敬語が使用できなくなるという現状を実証するために、アンケートを用いて若者の敬語使用の傾向を明らかにする。アンケートでは、場面を設定し、調査対象者の認識を選択肢の中から選んでもらった。具体的には、高校生が、年齢と地位が異なる特定の相手と話す場面を設定し、丁寧さと敬意の度合いが異なるジャワ語 27 文例の中から普段自分が使う文体を選んでもらった。また、選択肢のいずれにも当てはまらない場合は、自由に回答を書いてもらうという方法をとった。アンケートで使用した言語は公用語のインドネシア語である。記入指示、注意事項、場面説明などはインドネシア語で記述した。

¹⁷「JOGLO BEBANA」というジョグジャカルタ特別州パントウル県に位置するジャワ文学・文化財保護活動団体の持ち主で、ジャワ文化、言語、舞踊、音楽などを教えている人物である。

アンケートに加え、インタビューも実施した。そして、対象者の回答について、その理由や原因などを詳細に考察することを試みた。また、インタビュー対象者が日常生活で実際に使ったり、触れたりするジャワ語、ジャワ敬語について事例や経験について聞き取りを行い、それに対して質問するという調査も行った。

同様の調査は大学生と高校生に加え、ジャワ語専門家と高校教師にも実施した。彼らの回答と大学生および高校生の回答を比較対照し、ジャワ語の敬語使用にどのような変化がみられるのかを分析した。高齢者への調査は、前節に述べたように、年齢的な要因もあったため、若者や教師のように詳細なアンケート調査は行わず、一対一のインタビューのみ実施した。ここでは、非構造のインタビューを採用し、深い対話と観察を行った。また、参与観察も行った。

1-6 論文の概要

本節では、本論文の概要について述べる。次の第2章では、ジャワ語の敬語の仕組みについて概観する。ジャワ語研究者の先行研究に基づいて、敬語法における語彙と発話レベルがどのように成り立ち、仕組まれるのかを説明する。敬語の仕組みだけではなく、先行研究に語られている敬語の使用状況についても、本研究とどのような関わりを持つのかを取り上げる。最後に、先行研究における問題点、さらに筆者自身が先行研究で述べている若者における敬語使用の自己認識の結果を指摘しながら、本研究の立場と意義を明らかにする。

第3章では、現代のジャワ若者の敬語使用の状況について述べる。この章の目的は、先行研究でこれまで行ってこなかった実態調査を本研究では徹底的に行って結果を報告する。若者の代表としてみなされている大学生と高校生に分けて、それぞれに実態調査を行う。先に調査を行うのが大学である。まず、アンケートの問いからジャワ語専門家が「規範的とされる」敬語使用を一問ずつ分析する。次に、大学生が「使用する」敬語使用を一問ずつ分析する。最後に、両方を対照して考察を行う。考察によって、大学生の敬語使用の状況はいかにあるのかを明らかにする。大学の次に高校で調査を行う。高校生においては、まず、ジャワ語専門家が「規範的とされる」敬語使用を、社会人として地位をある程度持っていると思われる一般の高校教師が「規範的とされる」敬語使用に比較して分析を行う。次に、高校生が「使用する」敬語使用を一問ずつ分析する。最後に、両方を対照して考察を行う。またこの考察によって、高校生の敬語使用の状況はいかにあるのかを明らかにする。この章のおわりに、大学生と高校生における敬語使用の状況についてまとめて述べているが、高校教師も比較対象者として入れてまとめる。

第4章では、現代ジャワ高齢者の敬語使用の状況を明らかにして若者に比較する。徹底的なインタビュー調査によって、ジャワの高齢者たちはどのように規範的な敬語使用を身に付けることなど、規範的な敬語使用の保つ方法を述べている。高齢者のインタビュー結果を若者の敬語使用の状況に比較すると、現代の若者の敬語使用に変化がみられる。この変化に励ましを与える要因が幾つかあって調査で明らかにする。さらに、その結果からは、現代の

若者により「新しい」敬語体系としてみられる現象が出ており、この「新しい」敬語はどのような存在であり、どのように使用されるかについて、この章で述べている。

第5章の終章では、結論と今後の課題について述べる。

第2章 ジャワ敬語

本章では、先行研究を概観し、本研究の意義と位置づけを明確にしていく。まず、ジャワ敬語の仕組みに関する先行研究を概観する。次に、敬語使用の状況について、これまでいかなる議論がなされてきたか検討する。最後に、筆者（シマルマタ, 2012）が明らかにした、現代ジャワの若者の敬語使用状況を述べる。そして、本論文をこれら先行研究の中に位置づけるとともに、ジャワ語の敬語研究における本研究の意義を述べたい。

2-1 ジャワ敬語の仕組み（体系と分類） - 先行研究に基づいて-

本節では、インドネシアのジャワ語研究者、Poedjosoedarmo(1968)、Poedjosoedarmo, et. al. (1979)、Sasangka (2004) の敬語の研究について概観する。つづいて、ジャワの社会変化につながる敬語敬体の語用論的活用について記述した Errington(1988)をみていく。また、日本語で記述されたものとしては、染谷 (1993) とレスタリ (2010) の研究を取り上げる。そして、日本研究者による日本語の敬語体系を取り上げながら、ジャワ語の敬語体系に比較する。研究者によって分析の相違があるなど、ジャワ敬語がいかに複雑であるかを明らかにしていく。

2-1-1 Poedjosoedarmo (1968), Poedjosoedarmo, et. al (1979)

Poedjosoedarmo (1968) は、以下の図1のように、ジャワ語の仕組みについて説明した。ジャワ語は語彙レベルと発話レベルから成り立つ。

まず、語彙レベルは下位から上位まで、丁寧ではないN語(N語)、準丁寧なマディオ語(M語)、丁寧なK語(K語)、最も丁寧で敬意を表すクロモインギル語(Ki語)とクロモアンダップ語(Ka語)¹⁸に分類できる。N語は丁寧さを表さない語彙として使用する。一方、M語とK語は、丁寧さは異なるが、両方とも丁寧さを表す語彙である。そして、Ki語とKa語は、敬意を表す語彙として使用する。

次に、発話レベルは、丁寧ではない文体のンゴコ体(N体)と、丁寧な文体であるボソ体(B体)に大きく分ける。ボソの文体はさらに、多少丁寧な文体のマディオ体(M体)と、最も丁寧な文体のクロモ体(K体)に分類できる。N体は丁寧さを表さない文体として使用する。一方、M体とK体は、丁寧さは異なるが、両方とも丁寧さを表す文体として使用する。また、本論文では、たとえば発話レベルのK体と語彙レベルのK語の意味を両方とも含めて表現する場合、「クロモ」として表記する。

では、Poedjosoedarmo(1979)は、ジャワ語の仕組みを次のように説明する。

¹⁸ 日本語では、尊敬語はKi語、謙譲語はKa語に当たる。

I. 語彙レベル	
1. ンゴコ語 (N語)	通常語, 丁寧ではない語彙
2. マディオ語 (M語)	準丁寧な語彙
3. クロモ語 (K語)	丁寧な語彙

4. クロモインギル語 (Ki語)	} 尊敬語
クロモアンダップ語 (Ka語)	
II. 発話(文体)レベル	
1. ンゴコ体 (N体)	普通体, 丁寧ではない文体
2. ボソ体 (B体)	丁寧体, 丁寧な文体
1.1. マディオ体 (K体)	準丁寧な文体
1.2. クロモ体 (M体)	最も丁寧な文体

図 2-1 ジャワ語の仕組み (Poedjosoedarmo, et. al. (1979) に基づき筆者構成)

社会言語学では、発話レベルはスピーチレベルが訳語として用いられてきたが、筆者は本論文の中では *unggah-ungguh ing basa* をすべて発話レベルと記述する。また、文体については、スタイルと記述する研究者もいるが、本論文では文体、もしくは体で統一する。

2-1-1-1 ジャワ語の語彙レベル

Poedjosoedarmo (1968) 及び Poedjosoedarmo, et. al. (1979) のジャワ語の敬語体系に関する研究から、ジャワ語の語彙レベルについてみていきたい。ジャワ語の語彙は、四つに分けられ、そのうち、三つは話し手と聞き手との間の「丁寧さ」 *formality* と関係する (1968: 56-60)。

① ンゴコの語彙 (N語)

N語は丁寧ではない、インフォーマルな語彙を指す。N語はジャワ語の敬語使用を考える際の基本となる語彙であり、通常語の役割を持っている。話し手は、非常に親しい関係を持つ聞き手と話すときにのみ使用される。敬意を表していない。N語は語彙の中で最も多く、数十万もある。他の語彙は数が限られているため、対応する語彙がない場合、N語が代わりに使われる。さらに、*kata kasar*¹⁹ (粗野な語彙) と呼ばれる最も非丁寧な語彙も存在する。*Kata kasar* も N語類に入るため、N語を使用する者は下の階層に属する人間だとみなされる傾向がある (1979:24)。

¹⁹ 基本的に人間に使わないことば。動物のある部分を表す際に使ったり、人を罵ったりする際に使う。

粗野語	N 語	意味	
		インドネシア語	日本語
cocot	cangkem	mulut	口
wadhuk	weteng	perut	腹
goblog	bodho	bodoh	頭が悪い
mbadhog	mangan	makan	食べる

② マディオの語彙 (M 語)

M 語は準丁寧、準フォーマルな語彙を指す。話し手は中間的な丁寧さを表わす必要があると判断される聞き手に話すときに使用される。例えば、あまり親しくない近所の人や上の世代の親戚などに対して使われる。ジャワ語では、M 語の語数は少なく、35 語のみある。ほとんどの M 語は K 語を語源とする。そのため、語形も K 語と似ている。

③ クロモの語彙 (K 語)

K 語は丁寧、フォーマルな語彙を指す。M 語に比べて、より丁寧さを表わす必要がある。話し手は、関係的に距離のある聞き手に対して、丁寧に話す必要があると判断されるときに使われる。K 語は N 語の次に重要な語彙とされる。語数も多く、約 850 語ある。

N 語	M 語	K 語	意味	
			インドネシア語	日本語
aja	ampun	sampun	sudah	既に
ana	onten	wonten	ada	ある
iya	nggih	inggih	iya	はい
menyang	teng	dhateng	ke	～へ

語の形態からみると、K 語は二つに分けられる (1979:25)。N 語と全く異なる K 語と、N 語に類似する K 語である²⁰。

- 1) N 語と異なる K 語の形では、下に示した表にあるように全く異なっている。

²⁰ Poedjosoedarmo (1968) は、さらに K 語を、標準 K 語と非標準 K 語の二つに分けている。標準 K 語は、エリート階層者が完璧に使用できるとされる規範的な K 語のことを指す。非標準 K 語は、田舎の人びとが普段使用する方言等と混ざった二重 K 語のことを指し、田舎のクロモ *krama desa* とも言われる。例えば、「昔」の語彙は、標準語 K 語では *riyin* だが、非標準語クロモでは *rumiyin* となる。そもそも *riyin* は K 語だが、田舎の人々はよりクロモ感を出すために接辞を加え *rumiyin* とする。

K 語	N 語	意味	
		インドネシア語	日本語
kula	aku	saya	私
griya	omah	rumah	家
tilem	turu	tidur	寝る

- 2) N 語に類似する K 語の形では、N 語から K 語の形に変化する際に、語の形態がある程度類似するところがみられる²¹。この形の K 語の形成基準は複雑で、特別な研究が必要とされるため、本論文では K 語の形成基準には触れないが、N 語と K 語が類似する語例を幾つか取り上げる (1979:25-27)。

K 語	N 語	意味	
		インドネシア語	日本語
-os で終わる語彙			
gantos	ganti	ganti	替える
-nten で終わる語彙			
sinten	sapa	siapa	誰
-bet で終わる語彙			
mlebet	mlebu	masuk	入る
-won で終わる語彙			
awon	ala	jelek	悪い
-jeng で終わる語彙			
pajeng	payu	laku	売れる
-ntun で終わる語彙			
pantun	pari	padi	稲
i の母音で終わる語彙			
tuni	tuna	rugi	損
i + 子音 + a で形成される語彙			
mila	mula	maka	だから
i + 子音 + a + h で形成される語彙			
bingah	bungah	senang	嬉しい
e + 子音 + a で形成される語彙			

²¹ このことから、N 語は発話レベル *unggah-ungguh ing basa* のシステムの基礎とみなされる。

gega	gugu	ikut	従う
e + 子音 + a + h で形成される語彙			
berah	buruh	buruh	労働者
e + 子音 + a + h で終わる語彙			
ebah	obah	berubah	変わる

④ 四つ目は特別な語彙類と見なされるクロモインギルの語彙 (Ki 語) とクロモアンダップ語 (Ka 語)

意味的な観点では、Ki 語は、人に対して敬意を表わすために使用される。非常に尊敬する人について、その人自身、その人の行動や所有物を指すために使われる。人を高めることで敬意を表わす。日本語の尊敬語のように用いられる。一方、Ka 語は、非常に尊敬する人に対して（その人自身や所有物を含めて）、自分が低い地位にあることを表わすために使用される。自分がへりくだることで敬意を表わす。日本語の謙譲語のように用いられる。

Ki 語と Ka 語は、N 語、M 語、K 語と違って、「丁寧さ」の度合いを表わすものではない。話し手が聞き手に対して、どの丁寧さの発話レベルを使用しているかは、N 語、M 語、K 語の働きによって示されるが、Ki 語と Ka 語はその働きを持っていない。但し、N 語、M 語、K 語が Ki 語と Ka 語と組み合わせて使用されると、高度な敬意を表わすことがある。すなわち、Ki 語と Ka 語には二つの機能がある。一つ目の機能は、Ki 語と Ka 語を使用することで、いかなる丁寧さの発話レベルにおいても、聞き手に対して敬意を示すことである。二つ目の機能は、非常に尊敬する人（第三者/話題の人物）に対して敬意を示すことである。この二つの機能は、同時に単独でも起こりうる。

a. Ki 語

語数は約 250 語ある。音素的語形は、N 語と K 語の語形とは全く異なる。主にサンスクリット語や古典ジャワ語を起源とする語彙である。まれにアラブ語やペルシア語に由来する語彙もある。

N 語	K 語	Ki 語	意味	由来語
wadon	estri	putri	perempuan 女性	サンスクリット語
kuping	-	talingan	telinga 耳	古典ジャワ語
jeneng	nama	asma	nama 名前	アラブ語
iket	udheng	dhestar	ikat kepala 鉢巻	ペルシア語

b. Ka 語

Ka 語の語数は最も少なく、6 語しか記録されていない。

N 語	K 語	Ki 語	Ka 語	意味	
				インドネシア語	日本語
jaluk	nedha	mundhut	nyuwun	minta	願う
weneh	suka	paring	caos	beri	あげる
kandha	criyos	ngendika dawuh	matur	berkata	言う
takon	taken	paring priksa	nyuwun priksa	bertanya	尋ねる

Poedjosoedarmo は Ki 語と Ka 語の語彙は丁寧さを示さないものと指摘する。すなわち、発話レベル（文体）としての Ki 体と Ka 体は存在しないと述べる²²。

前に述べたように、すべての語彙、N 語、M 語、K 語、Ki 語と Ka 語は、必ずしも各階層の対応語を持っているとは限らない。石井は、すべての N 語に対応する K 語があるのではなく、K 語の対応がないことで使用される N 語のことを「クロモ・ンゴコ」共通語という（1984:2）。*Anak*「子供」や *buku*「本」などがその一例である。

下記の表で示すように、異なるレベルで等しい意味を持つ語彙が存在しない場合もある。

	N 語	M 語	K 語	Ki 語	意味
動詞	lunga	kesah	—	tindak	行く
名詞	omah	—	griya	dalem	家
助動詞	arep	ajeng	badhe	—	～する

筆者は Poedjosoedarmo の記述した理論を考慮に入れつつ、現代のジャワの若者がジャワ語で、規範的に敬意を表現することができるのか明らかにするために、ジャワ敬語の使用について調査を行う。しかし、その前にまず、ジャワ語の使用規則に定める発話レベルを明確にする必要がある。

2-1-1-2 ジャワ語の発話レベル

Poedjosoedarmo, et. al. (1979) は、ジャワ語の発話レベルは *unggah-ungguh ing basa the relative values of language* と呼び、政治的、経済的な力関係など、社会的位置に応じて話し手と聞き手の間で使われる、ジャワ語話者の社会的様式として捉える。発話レベルにつ

²² ただし、人々の間では、語彙としての Ki 語は、敬語法の中で最も高度な丁寧さを表わす体としてみなされる場合もある。こうした人々の見解については、本論文では扱わない。実際、筆者が取ったデータ（シマルマタ, 2012）からは、Ki 語を使用する若者が少ない。学生や生徒の話によると、現在ジャワ宮廷（クラトン）で働いている年輩の *abdi dalem*（一生スルタンに命を捧げる方々）か宮殿の人達、あるいは州や村の役員達のみが使う言葉であるとみられる。また、*wayang*（ジャワ伝統の操り人形）、*ketoprak*（ジャワ伝統の演劇）の中の、例えば、王様と王子様が会話する場面の演者、ジャワ伝統的な結婚式で雇う司会者などに限って使う言葉と思われる。一般庶民の間では徐々に使わなくなり、学生や生徒の多くの見方としては「演芸」*entertainment* の言葉として現れる。

いて、「ことばの多様なバリエーションであり、バリエーション間の相違は、話し手が聞き手に対してどのような待遇意識を持つかによって決定される」と定義している (1979:3)。Poedjosoedarmo, et. al は、ジャワ語の発話レベルは、話し手が聞き手に対して示す「丁寧さ」 *formality* の度合を表わすと述べる (1979:9-16)。発話レベルは、インドネシア語では *tingkat tutur* と翻訳される。

ここで注意すべきなのは、発話レベルにおけるンゴコ体 (N 体)、マディオ体 (M 体)、クロモ体 (K 体) は、語彙レベルの N 語、M 語、K 語と異なるということである。両者は明確に区別されなければならない。

発話レベルは、丁寧さを表すためのコードシステム *code system* である。そのコードシステムの中で、特定の語彙、特定の構文、特定の形態、特定の音韻の要素を持っている。一方、語彙レベルとは各階層の中で、同じ意味や同じ丁寧さを持つ語彙を指す。例えば、文の中で、K 語の語彙を多く用いることによって、文章全体がより丁寧になり、発話レベルから見れば、K 体の形をとっていると見なされる。

発話レベルは、N 体、M 体、K 体の三つの部分に分けられる。N 体は丁寧さが低い *tingkat kesopanan rendah*、M 体は中間的な丁寧さ *tingkat kesopanan sedang/netral*、K 体は非常に丁寧 *tingkat kesopanan tinggi* と一般的に定義されている。前に述べたように、これらの三つはさらに二つに大別される。一つ目は、丁寧ではない話し方の N 体、二つ目は、M 体と K 体を一つにまとめた丁寧な話し方 B 体 (ボソ体) である (Poedjosoedarmo, et. al., 1979:8)。日本語と比較すると、日本語では、N 体は普通体、B 体は丁寧体に当たる。日本語の丁寧体で聞き手に対する配慮を表わすときには、「～です、～ます」という丁寧語で示される。しかし、日本語と違って、ジャワ語の場合は、丁寧体は二段階に分けることができる。準丁寧な M 体と、最も丁寧な K 体である。また、日本語の丁寧語「～です、～ます」の役割は、ジャワ語では、M 語と K 語の語彙の組み合わせによって示される。それがもっとも顕著に現れるのは、助動詞において M 語と K 語のいずれを選択するかという場合である。

この発話レベルは、社会的変種 *social dialect* とは区別すべきである。なぜなら、社会的身分や階層や方言の所属に関わらず、ジャワ語母語話者全員がこれを用いているからである。次に Poedjosoedarmo (1979) は丁寧さの度合によって分類される発話レベル、N 体、M 体、K 体、各文体について詳述している。

丁寧さの度合	発話レベル	階層の分類 (下位から上位に)
丁寧さが低い	ンゴコ体 (K 体)	1. Ngoko Lugu 2. Antya Basa 3. Basa Antya
丁寧さが中間的	マディオ体 (M 体)	4. Madya Ngoko 5. Madya Antara 6. Madya Krama

丁寧さが高い	クロモ体 (N 体)	7. Wreda Krama 8. Krama Antara 9. Muda Krama
--------	------------	--

表 2-2 発話レベルのたまかな分け方

以下、それぞれの発話レベル（文体）について書く場合に、N 体、M 体、K 体と書くが、それを構成する語彙については、N の語彙は N 語、M の語彙は M 語、K の語彙 K 語は、Ki の語彙は Ki 語、Ka の語彙は Ka 語と表記する。

① N 体

N 体は、話し手と聞き手の間に距離がないことを示す。相手に対して話者は遠慮せず、丁寧さなどを表わす必要がない。親しい関係を表わすために N 体が使われる。仲間同士で交わされる会話の他に、上司が部下に、あるいは社会的地位の高い人が低い人に対して言葉をかける際に使われる。他には例えば、家の持ち主が家政婦に、教師が学生に、両親が子供に、夫が妻に、上の兄弟が下の兄弟に対して話しかけるときのなどに、N 体が用いられる²³。怒りを表現する際、あるいは痛みを感じた際、感情的に極めて厳しい状況になった際にも、N 体 が用いられる。

N 体はさらに 3 つの下位分類に分けられる。互いに親しい関係を持ちながら、敬意をある程度表わしたいときには、最も丁寧さが低い Ngoko Lugu よりも、N 体の中でも少し丁寧な Antya Basa か Basa Antya を使用する。例えば、親しい関係を持つ公務員同士が会話しているときなどに使われる。この 3 つの下位区分は、敬意を表わす語彙の Ki 語、Ka 語が含まれるか否かによって分類される。N 語だけで構成されるものは、単純な ngoko ‘Ngoko Lugu’ に分類される。以下、Ngoko Lugu、Basa Antya、Antya Basa の順、すなわち alus ‘refined’ 「上品、丁寧」度の低い順から取り上げていく²⁴。

1) Ngoko Lugu

語彙と接辞が、すべて N 語で構成されている。

<i>Adhik</i>	<i>arep</i>	<i>di-tukok-ke</i>	<i>wedhus</i>
N(K) ²⁵	N	N N N	N
私の弟/妹	～予定	買ってもらう	山羊

訳：弟/妹が（誰かによって）山羊を買ってもらう。

²³ マタラムお王国時代では、上流社会の家族の中では、妻が夫に対して敬意を表わすためにクロモ体を使う場合もある。

²⁴ 敬語のニュアンスや意味を出すために日本語の文が不自然になる場合は lit. で示す。

²⁵ N(K) は、Ngoko 語と Krama 語の語形が同じ場合を示す。

2) Antya Basa

Ngoko の語彙のほか、Ki/Ka の語彙が含まれる。

<i>Adhik</i>	<i>arep</i>	<i>di-pundhut-ke</i>	<i>wedhus,</i>	<i>ta</i>	<i>Pak?</i>
N(K)	N	N Ki N	N		
私の弟/妹	～予定	買ってくれる	山羊	ですね	父さん

訳：お父さん、弟/妹に山羊をお買いになってくれるのですね。

3) Basa Antya

Ngoko の語彙のほか、Ki/Ka の語彙に加え K 語もみられる。

<i>Adhik</i>	<i>arep</i>	<i>di-pundhut-ke</i>	<i>menda,</i>	<i>ta</i>	<i>Pak?</i>
N(K)	N	N Ki N	K		
私の弟/妹	～予定	買ってくれる	山羊	ですね	父さん

訳：お父さん、弟/妹にお山羊をお買いになってくれるのですね。

(Poedjosoedarmo, et. al, 1979:9-10)

2) の Antya Basa 体では、N 語のほかに、Ki 語が使われる。また、3) Basa Antya 体では、Ki 語と K 語が使用される²⁶。1) の N 体では、N 語に Ki/Ka 語や K 語などがどれだけ混ざっているかによって、その文のどの体の階層にあるのかが定められる。このように、同じ N 体であっても、その中に Ki/Ka 語や K 語などが含まれるかどうかによって、「丁寧さの階層」*degree of refineness tingkat kehalusan* が変化し、2) と 3) の新分類を構成する。つまり、N 体の中に、Ki/Ka 語や K 語の出番が多ければ多いほど、発話がもっと丁寧になると Poedjosoedarmo が述べる。

② M 体

M 体は、N 体と K 体の間にある文体で、中間的な丁寧さを表わす際に使われる。K 体ほどに丁寧さを表わさない M 体だが、N 体で話すときのように無礼にはならない。M 体も 3 つに下位分類されている。低い M 体、中間 M 体と、高い M 体である。より丁寧ではない N 体の方に下がっていくか、より丁寧な K 体の方に上がっていくかの過程で 3 つの階層に発展した。そのため、M 体は中間的な存在だと考えられる。前に述べたように、M 体で話す相手は、K 体ほど丁寧さを表わす必要がないものの、礼儀正しく接しなければならない相手である。例えば、礼儀正しく接するべき村の人たちに対して、M 体を使えば良い。あるいは、K 体を使うほどではないが、ある程度丁寧さを表わした方が良いと思う職場や学校の仲間などに対しても、M 体が使われる。他にも、例えば、事務の課長が村から来た仲間に、家の庭で草刈を

²⁶ 現地では、2) と 3) の文体を「ngoko alus」(やや丁寧なンゴコ)と名付けた人が多くいる。

する職人に、社会的に地位の低い人だが年齢的には非常に年輩の人に対してなど、M 体が無難であるとして用いられる。Poedjosoedarmo (1979:15-16) は、村落部では特に M 体を多用する傾向があると指摘している。

M 体の多くは元々 K 体だったものである。K 体が、口語化、農村化、劣化することによって M 体になった (Poedjosoedarmo, 1977)。また、M 語には、元々 K 語だったものが、形が変わり、丁寧度も下がって M 語になった K 語に形が似ているものが多い (2-1-1-1 の②を参照)。

M 語	K 語	N 語	意味
ampun	sampun	aja	sudah 既に
onten	wonten	ana	ada ある/いる
nggih	inggih	iya	iya はい
teng	dhateng	menyang	ke ~へ

M 体の下位分類は以下の 3 つである。

4) Madya Ngoko

Samang napa pun nukok-ke klambi adhi-ne Wartu dhek wingi sore?

M M M N N N N N N N
あなた 何 もう 買う 服 弟/妹 人名 時 昨日 夕方

訳：あなたは昨日の夕方にもう Wartu さんの弟/妹のために服を買ったのか。

5) Madyantara

Samang napa pun numbas-ke klambi adhi-ne Wartu dhek wingi sore?

M M M K N N N N N N
あなた 何 もう 買う 服 弟/妹 人名 時 昨日 夕方

訳：あなたは昨日の夕方にもう Wartu さんの弟/妹のために服を買いましたか。

6) Madya Krama

Njenengan napa pun mundhut-ke rasukan adhi-ne Wartu dhek wingi sonten?

K M M Ki K N N N N K
あなた 何 もう 買う 服 弟/妹 人名 時 昨日 夕方

訳：あなたは昨日の夕方にもう Wartu さんの弟/妹のためにお服をお買いになりましたか。

(Poedjosoedarmo, et. al, 1979:12)

上記の例文のように、N 語彙を Ki/Ka 語や K 語に入れ替えることによって、階層の度合が上がるという仕組みになっている。

③ K 体

K 体は、最も丁寧さを表わす体である。あまり知らない人、あるいは自分より社会的に高い地位を持つ人、貫禄のある年輩の人などに対して、非常に丁寧さを表したいときに使われる。例えば、学生が教師に、部下が上司に、家事労働者が家主に、嫁が姑に対して、K 体を使用する。相手が自分より若くても、あまり知らない人でさらに社会的地位がかなり高い人だと思えば、K 体を使う場合もある。

N 体と M 体と同様に、K 体も、低い K 体、中間 K 体、高い K 体の 3 つに下位分類されている。そのうち、現在、日常生活では、低い K 体の Wreda Krama と中間 K 体の Kramantara はあまり使われなくなった。そのため、現在では、K 体を使用するといった場合、最も高い Muda Krama を用いることを意味することが多い (Poedjosoedarmo, 1979:13)。高い K 体には、Ki/Ka の語彙が多く含まれている。相手に対して K 体を用いる場合、その相手の動作や状態、所有物にも Ki 語が使われると解釈し、丁寧に伝えながら敬意を表わすようにする。

K 体の下位分類の 3 つは、次の通りである。

7) Wreda Krama

Nak Trisno, sampeyan mangke dipun-purih numbas-aken buku kangge Mas Kris.

	K	K	K	K	K	
人名	あなた	後で	命令される	買う	本	～ために お兄さん 人名

訳：トウリスノさん、あなたは後でクリス兄さんのために本を買いますようにとお願いされましたよ。

8) Kramantara

Pak, sampeyan mangke dipun-purih numbas-aken buku kangge Mas Kris.

	K	K	K	K	K	
お父さん	あなた	後で	命令される	買う	本	～ために お兄さん 人名

訳：お父さん、あなたは後でクリス兄さんのために本を買いますようにとお願いされましたよ。

9) Muda Krama

Bapak, panjenengan mangke dipun-atur-i mundhut-aken buku kangge Mas Kris.

	Ki	K	Ka	K	K	
お父さん	あなた	後で	命令される	買う	本	～ために お兄さん 人名

訳：お父さん、あなた様は後でクリス兄さんのために本をお買いになりますようにとお願い申し上げられましたよ。

(Poedjosoedarmo, et. al, 1979:11)

7)と8)は最初の「人名」以外、全く同じ文である。また、8)と9)は両方とも同じ内容だが、父の動作「買う」という動詞に用いられる語彙が異なる。8)ではK語、9)ではKi語である。そして、「お願いされる」という表現に、9)は謙譲語のKa語を使用している。これは「お願いする」の動作主が「お父さん」より地位が低い者であると認識されているからである。

Poedjosoedarmo は、このように相手に対して表わす丁寧さと敬意によって、発話レベルを9つに分ける。この9つは一般的な分類方法で、ジャワ語の研究者がよく引用しているものである。

2-1-2 Errington (1985, 1988)

Errington (1985:4~10) は、スラカルタの典型的なエリート階層が利用した言語パターンに焦点を当て、ジャワ語は社会変化や近代化に対してどのような影響を与えたのかを研究した。この研究は、具体的には、エリート階層が言語によって、当時のスラカルタの都市社会にどのように適応したり、順応したりすることができたかを明らかにすることを目的としていた。これについて、既にFriedrich (1982)も、言語を見ることによって、ジャワの近代化を見ることができると指摘している。

またErringtonは、ジャワ文化の知識をあまりもっていない一般人ですら、ジャワ語における言語的礼儀作法(エチケット)はジャワ文化の伝統的な美学として不可欠なものであることを主張し、言語的礼儀作法のよい例として典型的なエリート階層を取り上げた。このような精巧な対話文体(スピーチスタイル)は、話し手が聞き手や話題の人物に対して、社会的関係の評価を印象付け、なおかつ、互いの社会的関係を調停し、言語行為 *speech act* を正しく行うために作られる。更にErringtonは、ジャワの社会的行動に関して、言語使用以上に、より存在感があり構造的に複雑で意味深長なニュアンスに影響されやすいものはないと語った。そのため、言語使用は、一般にジャワ社会、特にエリート階層の間では、言語を通じた社会的相互作用によって、社会変化を起こすことができるとの期待がある。

ジャワ語の発話レベルでは、言語的礼儀作法に基づいて言語変化と言語の多様化が起こる。発話レベルの一般的な意義は、話し手と聞き手、二人の相対的な地位や価値を判断するために行われる測定と比較のプロセスである。ジャワ語で訳すと *unggah-ungguh ing basa* という。ジャワ社会では、適切な行動はまず、適切な言語表現の形態を操ることによる。次に、相手の社会的関係を適切に評価することによって、適切な言語的礼儀作法のパターンを選択する能力をもつことである。

Erringtonは、ジャワ語の敬語の現象について、主に記号論的観点から論じている。彼は敬語を、*ngoko*という非丁寧体と、*boso*という丁寧体²⁷に大別する。

*boso*の語彙の要素は主に、会話の相手に対して話しかける行為 *act of address* と関係す

²⁷ Erringtonは、*ngoko*を非丁寧スタイル、*boso*を丁寧なスタイルと記述しているが、本論文では、スタイルを文体で統一する。

るものか、話題の人物/題材を指す行為または叙述する行為 *act of reference and predication* に関するものかによって分けることができる。前者に関係のあるものは、M体とK体で、後者に関係のあるものはKi語とKa語である。ErringtonはKi語とKa語をさらに敬語 *honorific* という用語を使い、N体、M体、K体と区別する。つまり、語彙の要素としてボソの中にM語、K語、Ki語、Ka語があるが、そのうち、MとKだけが文体として成り立つ。Ki語とKa語は、人物のことを指し、その人物に対する敬意を表わす語彙である。どの体でもKi語とKa語は使用できる (1988:99)。例えば、

Ka語	Ki語	K語	M語	N語	意味
—	mundhut	mendhet	—	njupuk	取る
nyuwun	mundhut	—	—	njaluk	頼む

Mundhut 「取る」(Ki語)の代わりに *mendhet*(K語)または *njupuk* (N語)を使うことはできるが、使用対象の人物に敬意を表わしたい場合は、Ki語を使用する。また、同じ語彙で異なる意味を持つ *mundhut* 「頼む」は、Ki語に対して、*nyuwun* というKa語がある。この語彙を用いると、自分が相手より地位の低い者であることを示す (Errington, 1988:99)。

Erringtonは文体のレベルや分類については詳しく記述しておらず、またPoedjosoedarmoによる理論と解釈に対しても反論や疑問などを示していない。ただし、Poedjosoedarmoの9つの階層の分類では、聞き手以外の人物に対してKi語とKa語がどのように運用されるのかについて触れていないと指摘する。

Errington(1985:5)は発話レベルを習うのはそれほど難しいことではないと述べている。基本的にある意味を表す語彙に、違うレベルの語彙がある場合に、それらの語彙を文中でどのように選択するのかが発話レベルの基準となる。しかし、与えられた状況において、それらを適切に実践する方法を身に付けるのは、最も難しい。それは、お互いの社会的関係がいまいちな状況で、どのような発話レベルを使用するのが適切か、判断できないからである。

2-1-3 染谷 (1993)

染谷は、ジャワ語の敬語は語彙レベルと発話レベル²⁸に分けて考察するのが一般的であると述べる。ジャワ語の語彙は、もともと敬意を含まない中立的な語であるが、敬語体系の中にあるために粗野とみなされる常形語 (ンゴコ *Ngoko*) を基本とし、順次、より高い敬意を内包する準敬形語 (マディオ *Madya*)、敬形語 (クロモ *Krama*)、最敬形語 (クロモインギル *Krama Inggil*)、最敬形語と反対の謙讓形語 (クロモアンダップ *Krama Andhap*)、数は少ないが宮廷 (クラトン *Kraton*) 内で用いられる宮廷語 (ボソクダトン *Basa Kedhaton* またはボソバゴンガン *Basa Bagongan*) 及び粗野形語 (ボソカサール *Basa Kasar*)、そしてそれ

²⁸ 染谷は発話レベルを文体レベルと記述している。

らの言語階層、つまり敬度（敬意の度合）から自由な共通語からなる²⁹。語彙数では、常形語 ngoko が最も多く、ついで敬形語 krama、そして最敬語 krama inggil、準敬形語 madya³⁰、そして謙譲形語が最も少ない。染谷は基本的にクンチャララニングラートの『A Preliminary Description of the Javanese Kinship System』（1957:14）の分類通りで述べ、次のようにまとめている。1)常形語 N 語は、自分より地位が低い、年少の相手に対して、または社会的には同じような地位にあるが親しい関係を持つ相手に対して用いられる。他方、2)敬形語 K 語は、自分より地位が高いか年長の相手に対して、または親しくない相手、ヨソ者に対して用いられる。3)準敬形語 M 語は、N 語と K 語の中間的機能を果たす。また、4)最敬形語 Ki 語と謙譲形語 Ka 語は、敬形を超える高さとしさを表現する機能をもつ。日常会話はこれら四つの階層の語と共通語が適宜組み合わせられて構成される。（1993:3-4）。

染谷は次の表 1 のように、ジャワ語の仕組みはいくつかの型式にまとめられる

表 2-3 ジャワ語の文体における言語階層 (*)

文体の形式 (**)	1 人称	2 人代名詞	接辞	使用語彙の語形 (***)			
10. 最敬形	kawula	panjenengan dalem	kr			kr	ki, ka
9. 若敬体	kula	panjenengan	kr			kr	ki, ka
8. 純粹敬体	kula	sampeyan, panjenengan	kr			kr	
7. 老敬体	kula	sampeyan	ng			kr	
6. 中間準敬体	kula	samang, sampeyan	ng		md	kr	ki, ka
5. 敬・準敬体	kula	samang, sampeyan	ng		md	kr	
4. 常・準敬体	kula	ndika	ng	ng	md		
3. 最低語 2 類	aku	panjenengan, sliramu	ng	ng		kr	ki
2. 最低語 1 類	aku	panjenengan, sliramu	ng	ng			ki
1. 純粹常体	aku	kowe	ng	ng			

(染谷, 1993:4-5 より引用)

(*) 文体形式については、Kats, Koentjaraningrat, Horne, Bakker, Dirdjosiswojo, 山崎, Geertz, Soepomo Poedjosoedarmo などの記述を参考にした。

(**) 10~1 までの文体形式は、以下のジャワ語名に基づいている。10. krama inggil, 9. mudha krama, 8. krama lugu, 7. wredha(werdha) krama, 6. madyantara, 5. madya krama, 4. madya ngoko, 3. basa antya, 2. antya basa, 1. ngoko lugu.

(***) 「接辞」および「語形」欄の略語は以下の通りである。ng=ngoko(常形), md=madya(準敬形), kr=krama(敬形), ki=krama inggil(最敬形), ka=krama andhap(謙形)。

²⁹ 染谷は諸学説では取り入れられていないが、いわゆる幼児語 (*basa bubuk*) も加えたいと述べている。*Mimiek* (飲む)、*maam* (食べる)、*nunggang* (乗る) などがあり、数は少ないが、今日では幼児だけではなく学生など若者の間で日常生活に使われているからである。これらがあまりにも多用されて彼らの間ではこれらが常形語と錯覚し、何が常形語であるかすら混乱しているほどであると述べる。

³⁰ 60 語から 70 語ほどしかない。

以前からジャワ語の各文体は、各語彙の組み合わせ方に従って幾つかの発話レベルに分類されてきた。分類の仕方や用語によって若干の相違がみられるものの、最も一般的に行われてきたものは表1に示した十分類法であると染谷は述べている。

染谷は、ホーン (Horne, E. C., 1974:22-23) とクンチャラニンラート (Koentjaraningrat, 1957:15-16) らの九分類とギアツの六分類 (Geertz, C., 1960:248-260) に対して、次のように概観し、見解を述べている。まず、ギアツの六分類について次のようにまとめている。

まず常体 (*ngoko*)、準敬体 (*madya*)、敬体 (*krama*) を三つの主要なレベルとし、それぞれの型式の骨格をなす「同階層語群の結合」(*the linked conjugate set*) を文型素 (*styleme*) と名付ける。この文型素とは別に高・低、二種類の敬詞 (*honorific*) を考え、文型素と敬詞の結びつき方から六種類の文型ができるとする。高い敬詞とは最敬形 (*krama inggil*) の話であり、低い敬詞とは敬形 (*krama*) の話である。最も低いものからあげると、①通常体 (*ngoko biasa* または *ngoko*)、②準常体 (*ngoko madya* または *madya*)、③雅常体 (*ngoko sae* または *ngoko alus*)、④準敬体 (*krama madya*)、⑤通常敬体 (*krama biasa*)、⑥最敬形 (*krama inggil*) である。このうち①、④、⑤が敬詞なしの文型で②は低い敬詞が結びついたもので、③、⑥は高い敬詞が結びついたものである。染谷は、ギアツの考え方は、ジャワ語の敬語を分析するにあたって非常に示唆に富むと述べる一方で、ギアツの調査地であるモジョクト (東部ジャワ州) の言語³¹の使用状況に影響されたためか、その分類は徹底性を欠くと述べている (染谷, 1993:11)。それに対してクンチャラニンラートの九分類は、①常体 (*ngoko*)、②低常体 (*ngoko andhap*)、③最低語 (*basa antya*)、④敬体 (*krama*)、⑤老敬体 (*werdha krama*)、⑥中間敬体 (*kramantara*)、⑦～⑨三つの準敬語 (⑦常連敬体 (*madya ngoko*)、⑧中間準敬体 (*madyantara*)、⑨敬・準敬体 (*madya krama*)) である。また、ホーンはこれを、①純粹常体 (*ngoko lugu*)、②最低語一類 (*antya basa*)、③最低語二類 (*basa antya*)、④敬・準敬体 (*madya krama*)、⑤中間準敬体 (*madyantara*)、⑥常・準敬体 (*madya ngoko*)、⑦若敬体 (*mudha krama*)、⑧中間敬体ないし通常敬体 (*kramantara* ないし *krama lumrah*)、⑨老敬体 (*werdha krama*) とした。ホーンとクンチャラニンラートはほぼ同様の分類を行っているが、共通して最敬体を欠いている。そして、クンチャラニンラートについては、低常体と最低語の相違、敬体 (④、⑤、⑥) の三つの階層の間の相違及び準敬体の三つの階層の間の相違がいずれも不明瞭であり、ホーンについては、敬準敬体と中間準敬体の説明がむしろ逆に思われるが、いずれも例文がないために明らかではないと染谷は指摘する (染谷, 1993:11)。

結論として、染谷はジャワ語の敬語文型は、一見したところ、複雑に見えるが大まかには三つの階層に分けられるとし、それらを①～③の常体、④～⑥の準敬体、⑦～⑩の敬体であると名付けた。

³¹ 染谷の調査地であるジョグジャカルタ特別州の言語と同じであるが、敬語の複雑さではかなりの相違がある。

2-1-4 Sasangka (2004)

ジャワ語の丁寧さと敬意度ジャワ語で会話をする際には、相手によって語彙と発話レベルを使い分けて話す。相手の地位や年齢により、使うべき語彙と発話レベルの「丁寧さ *kesopanan*」と「敬意度 *rasa hormat*」が変わる。しかし、多くのジャワ人が、丁寧さと敬意度を混同し、区別せず使用している。筆者がインタビューを行った際、丁寧さを敬意度、敬意度は丁寧さだと応えたジャワ人が極めて多かった。敬語規範を持たないとされ、誰に対しても中立的に表現するインドネシア語と比較すると、多くの人々がジャワ語の丁寧語 *kata sopan* と敬語 *kata hormat* を混同してしまうのも無理はない。Poedjosoedarmo, et. al. もジャワ語に関する研究報告(1979)の中で、丁寧語 *kata sopan* と敬語 *kata hormat* をしばしば混同して使っている³²。

実際、ジャワ語の敬語（語彙）には尊敬語の Ki 語と謙譲語の Ka 語がある。発話レベル（文体）に Ki 語と Ka 語を入れることによって、敬意を表す文体となる。また、Ki 語と Ka 語がどれほど文体に入るかによって、発話レベルが定まる。Sasangka (2004:38-40, 95-112) は例を挙げて次のように説明する。

1) Panjenengan badhe tindak dhateng Surabaya?

Ki 語	K 語	Ki 語	K 語	
主語	助動詞	いらっしゃる	前置詞	場所
	(~します)		(~の方へ)	

訳：あなた様 は スラバヤ の方へ いらっしゃいます か。

1) の文は、最も丁寧な K 体として規範的であり、*tindak* も相手に敬意を表す尊敬語として規範的である。1) の文では、語彙が K 語と Ki 語である。助動詞は K 語で、スラバヤは場所を表すニュートラル語 *kata netral* である³³。相手に対する主語と動詞は敬意を表す Ki 語であるため、この発話レベルは、敬意を表す最も丁寧なクロモ体 (K 体) とされる。では、日本語と比較すると、ジャワ語の Ki 語は日本語の尊敬語に対応しているが、文末文体のような丁寧さを表す機能は助動詞や副詞などに対応しているのではないかと筆者は考えている。

また、文中にどれほど K 語以上の語彙を使用するかによって丁寧さを図る。

³² インドネシア語では丁寧語 *kata sopan* と敬語 *kata hormat* は混同されている。そのため、インドネシア語を頻繁に使用するジャワ人の若者たちは、ジャワ語を話す際に、敬意を表す表現ではなく丁寧さが伝わる表現であればよいと認識するようになっている可能性がある。この疑問に関しては、次の章で考察を行うが、インドネシア語はジャワ語の敬語使用の低下に影響を及ぼすということは確実であろう。

³³ *Kata netral* ニュートラル語は、ジャワ語にない語彙をインドネシア語で表したモノの名前、あるいは場所名や人名などを指す。本論文で語彙を分析するときにニュートラル語を除いて分析する。

2) Piyambakipun badhe tindak dhateng Surabaya?

K 語	K 語	Ki 語	K 語	
主語	助動詞	いらっしゃる	前置詞	場所
	(~します)		(~の方へ)	

訳：彼は スラバヤ の方へ いらっしゃいます か。

2) の文も、最も丁寧な K 体として規範的であり、tindak も相手に敬意を表す尊敬語として規範的である。2) の文は、K 語と Ki 語で成り立つ。主語と助動詞は K 語である。すべて K 語以上であるため、この発話レベルは敬意を表す最も丁寧な K 体でもあるが、1) より敬意度が高くない。もし、K 語の「Piyambakipun」を Ki 語の「Panjenenganipun」に変えると、1) のように敬意を表す最も丁寧な発話レベルとなる。

3) Kula badhe kesah dhateng Surabaya.

K 語	K 語	M(Ka) 語	K 語	
主語	助動詞	行く、	前置詞	場所
(丁寧語)	(~します)	参る	(~の方へ)	

訳：私 は スラバヤ の方へ 参ります。

3) の文は、最も丁寧な K 体として規範的であり、この文脈では M 語の kesah が自分をへりくだる語彙となり、相手に敬意を表す謙讓的表現として規範的である。3) の文では、主語は K 語の「私」である。丁寧さを表すために、主語を丁寧語の K 語にするのは規範的である。自分の行動を高めてはいけないため、敬意を表す尊敬語の Ki 語は、基本的に日本語と同様に自分に対して使用してはいけない³⁴。Ka 語に対応する語彙がない場合³⁵、準丁寧な語彙である M 語を自分に対して使っても許される。このようなケースでは自分の行為を低めるための Ka 語は、M 語の kesah となる。この発話レベルも敬意を表す最も丁寧な K 体である。

4) Kula badhe tindak dhateng Surabaya.

K 語	K 語	Ki 語	K 語	
主語	助動詞	いらっしゃる	前置詞	場所

³⁴ 主語と動詞が中心の語彙 kata inti として直接自分のことや行動を表すが、発話レベルは多くの場合、助動詞の使用にヒントされる場面が多い。

³⁵ ジャワ語の謙讓語と日本語の謙讓語は異なるので注意が必要である。日本語では、内／外の関係により、謙讓語を使うか否かを選択する必要がある。例えば、日本の A 社の社員は、B 社の社員と話す際、自分の社長は身内として扱う傾向がある。しかし、ジャワ語では、内／外関係なく、自分が敬うべき相手であれば、身内であっても尊敬語 Ki 語を用いる。謙讓語 Ka 語の数は非常に少ない（六つしかない）ため、さらに Ka 語は K 語や N 語に変換することができるため、現代のジャワ語において Ka 語はすでに使われなくなったと言われる。

(丁寧語) (～致します) (～の方へ)

訳：私 は スラバヤ の方へ いらっしゃいます。

4) の文体は、K 体で表現しようと試みているが、自分に対する動詞に敬意を表す Ki 語 (尊敬語) を使っているため、謙讓的表現としてはもちろん、文体としても規範的ではない。

5) Mbak Dian ajeng kesah dhateng Surabaya?

名前	M 語	M 語	K 語	
主語	助動詞	行く	前置詞	場所
	(～のです)		(～の方へ)	

訳：ディアンさん は スラバヤ の方へ 行くのですか。

5) の文は、例えば、役員の仲間で話しているときに使う。親しい関係でもあるが、互いに地位のある者として、M 体関係と地位を保つ。こちらの kesah は Ka 語としてではなく、M 語として使用される。M 語として規範的である。

6) Aku arep lunga menyang Surabaya.

N 語	N 語	N 語	N 語	
主語	助動詞	行く	前置詞	場所
	(～する)		(へ)	

訳：僕 は スラバヤ へ 行く。

6) の文は、とても仲の良い友人に用いることが通常である。N 語を多く使用することによって、発話レベルも丁寧ではない N 体になる。N 体として規範的である。

以上、ジャワ語の丁寧さと敬意度に関して、本節では Poedjosoedarmo、Errington、染谷、Sasangka らの研究をレビューし、ジャワ敬語の仕組みは非常に複雑で、研究者によって敬語の仕組みの分析に相違があることが明らかになった。しかし、ジャワ語における丁寧さと敬意度の仕組みをより明らかにするために、筆者は敬語の体系を持つ日本語の敬語を取り上げてジャワ語に比較したい。

2-1-5 日本語の敬語との比較

まず、「敬語表現」の成り立つについて説明する。蒲谷、川口、坂本(1998:4-5)は、日本語の「敬語表現」が成り立つときには、「敬語」を知っていて、「敬語表現」をしようとする気持ちのある「話し手」や「書き手」(「表現主体」)が必ず存在すると述べている。「敬語表現」を考える上でも「表現主体」は極めて重要な役割を持っている。「敬語表現」の仕組み

を使おうとするときに、すべてが「表現主体」の認識に基づく行為によって成り立つからである。次に重要になるのは「表現の相手」と、「話し手」と「聞き手」の間にある関係を指摘している。「表現主体」が「自分自身」と「表現の相手」との「人間関係」をどう捉えるかということは、「敬語表現」の成立にとって極めて大切な条件になる(1998:5)。「表現主体」は、「自分」と「相手」との相対的な「人間関係」について、社会的・文化的な「立場・役割」の持つ意味を考慮しつつ、「相手」を上下の軸に位置づけて認識すると述べている(1998:10)。

このように、日本語とジャワ語の敬語使用の仕組みについては、基本的に同様ではあるが、「人間関係」に出てくる第三者、つまり「話題の人物に登場させる人物」に関しては、多少異なる使用の仕組みがある。蒲谷、川口、坂本(1998:15)は、「敬語表現」につながるのは、「相手」と関わる「話題の人物」であり、「自分」側に属する「話題の人物」には、たとえ上位者であっても、高めるタイプの「敬語」を用いて表現しないと述べている。つまり、まず、「ウチ」と「ソト」の関係により、日本語においては、敬語を選択する必要はあるが、ジャワ敬語ではこのような分け方はない。日本語と違い、ジャワ語では自分が敬うべき相手であれば、たとえ身内であっても、敬語を用いることが可能である。

次に、菊地(1997:91)は、「敬語とは、同じ事柄を述べるのに、述べ方を変えることによって敬意あるいは丁寧さをあらわす、そのための専用の表現である」と述べている。菊地は敬語の捉え方として、二つの側面に分けて捉えていると考えている。すなわち、

(I) 〈現実の世界〉での〈社会的・心理的諸要因と、待遇レベルとの関係〉
—社会言語学的な側面；〈適用〉の問題

(II) 〈言語の社会〉での〈語形(および問題の人物の文法の性質)と、待遇レベルとの関係〉—文法的な側面；〈語形〉と〈機能〉の問題

(菊地, 2003:16)

このうち、(I)は、例えば、「目上のことは高く待遇する」といった事柄は、もとより100%成り立つという性質のことではなく、個人差や偶発的な要因にも支配されやすい、傾向的な法則性にとどまるものである。一方、(II)の方は、例えば、「いらっしゃる」は主語を高める言い方である)のように、法則性は常に成り立つ(いわば100%正しい)と述べている(2003:13,16)。このような捉え方は、ジャワ語の中では、(I)は発話レベル、(II)は語彙レベルに対応する。

では、敬語の分類については、基本的に〈丁寧語・尊敬語・謙譲語〉と、三種類に分けており、これを敬語の三分法という。菊地がそれぞれの類について、次のように述べ(2003:6-13)、その後筆者はジャワ語に対応するものと比較する。

1) 丁寧語

丁寧語とは、話し手が聞き手に対して丁寧に述べるもので、「です」「ます」がその代表であるという。例えば、「学生です。A 大学に通っています。」という方が、「学生だ。A 大学に通っている。」というよりも、聞き手に対して丁寧な述べ方であることは明らかであろう。この文の主語は、私や他人など、誰であろうと、「です」「ます」を用いた文の方が丁寧である。その丁寧さは、主語を高めるというような性質のものではなく、単純に相手に対する丁寧さを表すものである。

2) 尊敬語

尊敬語は、聞き手に丁寧に述べる敬語（丁寧語）ではなく、主語を高める敬語であり、尊敬語と呼ばれている。たとえば、「いらっしゃる」は「行く」の尊敬語である。

「田中先生は来週アメリカへいらっしゃいます。」といった文のように、「田中先生」を高めるという使い方も、「いらっしゃる」にはある。これに対して「です」「ます」は、このように第三者を高く扱う用法を持たない。上記の例「いらっしゃます」の「～ます」は、該当の文の聞き手に対する丁寧さを示すもので、「田中先生」への丁寧さではない。このように、「です」「ます」は、常に聞き手に対する丁寧語として働くのに対して、「いらっしゃる」は相手に対しても第三者に対しても尊敬語として使用される。

3) 謙譲語

尊敬語（主語を高める）のに対し、謙譲語は（主語を低める）ものだと一般に認識されているようである。但し、実は謙譲語には二種類のものがあるということに注意をしたい（菊地はより正確に三種類のものがあるが、本論文では一般に認識されている二種類のみ取り上げる）。まず、「伺う（A）」と、「まいる（B）」の似た用法（人が「行く・来る」意味の用法）を比べて見てみよう。例えば、「そのうちお宅に伺います」と「そのうちお宅にまいります」は、どちらも同じように使える。しかし、「これから、ちょっとデパートまで買い物にまいります」の文は、「まいります」の代わりに「伺います」は使えない。つまり、「伺う」には訪ね先を高める動きがあり、高めるのにふさわしい人にいる場所でなければ使えないのである。たとえば、「田中先生のお宅に伺いました」では、第三者である「田中先生のお宅」を高めることにして、使えることになる。

以上、日本語の敬語分類について簡潔に説明したが、ジャワ語の中でも、日本語のように、尊敬語と謙譲語がある。尊敬語は Ki 語、謙譲語は Ka 語という。Ki 語の使用に関しては、日本語の尊敬語と同様で、「相手を高める」語彙として敬意を表すために使用される。Ka 語も基本的に「自分をへりくだる」語彙として相手に敬意を表すために用いられるが、日本語

と違い、ジャワ語に謙譲語の分類はしない。また、Ka 語は日本語の謙譲語と比べて、語彙数は極めて少ないため³⁶、前節の Sasangka が述べているように、自分をへりくだるために、Ka 語に対応する語彙がないと、準丁寧の「M 語」が謙譲的表現として使用することが許される（2-1-4 を参照）。このような仕組みは、日本語の謙譲語にはないであろう。

次に、敬語の話し手と聞き手の〈領域〉によって、金田一京助がそ〈適用〉の仕方に対して、絶対敬語と相対敬語に分けている。絶対敬語は、人称や場面に関わらず、ある人物に対して、常に一定の表現を用いる敬語の使い方である。たとえば、上代における神や天皇などの自尊敬語はその典型である。現代では、公的な場では「父が～申しております」のように謙譲語を使って言うが、昭和の初めのころまでは「父が～と仰せになっております」と尊敬語を使って表現することがあった（菊地, 1997:132-135）。一方、相対敬語は、話し手と聞き手や話題となる人物との関係で敬意の高低が定まる敬語の使い方である。例えば、通常の「部長がおっしゃっています」と尊敬語を用いるが、来客などに対しては「部長が申しております」と謙譲語を用いて表現することとなる。現代日本語の敬語では、相対敬語の方が多く使用される。また、滝浦（2005:96）は相対敬語について、「相対敬語とは、話し手が対象人物に対して、抱く“気持ち”としての敬意と、敬語のシステムを通じて表現される“ふるまい”としての「敬意」を、明瞭に分離するシステムである」と述べている。

ジャワ語の発話レベルのように、日本語でも発話レベルを使い分けて表現する。しかし、日本語の発話レベルは、発話の終端に見られる丁寧さのレベルのことを指す。日本語では、丁寧さの高い「です・ます体」と、丁寧さの高くない「だ体」の二つのレベルで捉えることが多く、文末文体（丁寧さ）と語彙（敬語）との両面からされるのが普通である。たとえば、「何を召し上がる？」も「何を食べますか？」も丁寧な表現である。ただし、いずれも「何を召し上がりますか」ほど、丁寧ではない。これは、「何を召し上がる？」が「常体（高くない文末文体）+敬語（高い語彙）」という発話レベルを持ち、「何を食べますか？」が「敬体（高い文末文体）+敬語なし（高くない語彙）」という発話レベルを持つからである。次の図3の通りである。

		文末文体（丁寧さ）	
		高くない（常体）	高い（敬体）
語彙 （敬語）	なし	どこに行く？ [＝丁寧でない]	どこに行きます？ [＝丁寧]
	あり	どちらにいらっしゃる？ [＝丁寧]	どちらに いらっしゃいます？ [＝とても丁寧]

表 2-4 日本語における発話レベルの区別と表現の例

この「です」「ます」のように、ジャワ語で対応するものはないが、丁寧さを表すには、

³⁶ Sasangka（2004:45）によると、Ka 語は六つしかない。

2-1-4 に説明したように、文中にどれほど丁寧な語彙を使うによって定められる。特に助動詞が文体の丁寧さを決めることが多いである。例えば、

Mas	Joko	arep	<u>tindak</u>	ning	Surabaya ?
年上男性の呼称		N 語	Ki 語	N 語	
主語	名前	助動詞	いらっしゃる	前置詞	場所

訳：ジョコさんは スラバヤ へ いらっしゃるの？

上記に例文はンゴコ体であるが、二つの状況に使用することができる。

1) ジョコさんは第三者として出てくる場合である。ジョコさんは自分にとってお世話になったコーチである。主語（自分）は仲のいい友人（たとえば、同級生）に、ジョコさんのことについて尋ねる。相手に対してンゴコ体で話したいが、話題の人物に対しては敬意を表したい。一つの方法として、助動詞と前置詞は N 語にして、相手の行動のみ、すなわち動詞、を Ki 語にする。

2) ジョコさんはコーチで年長だが、日常では主語（自分）に仲良くしてくれている仲間でもある。敬意を表しながら、相手に親近感を持つことを強調したい場合、このような文体が使用できる。

つまり、丁寧さが低い文体の中でも、敬意を表すことができる。日本語では「ジョコさんはスラバヤへいらっしゃるの？」と、1) のように、ジョコさんは第三者として見て対応することはできるが、2) のような状況は、たとえば会話で直接相手に対して「ジョコさんはスラバヤへいらっしゃるの？」という言い方は特殊な状況のみ使用される。

以上、日本語とジャワ語における発話レベルについて、簡潔に比較してみた。また、日本語の敬語使用の現状については本章の節 2-2-4 に取り上げ、ジャワ語の敬語使用の現状に比較して述べていく。

2-2 ジャワ敬語の使用状況について

前節では、ジャワ敬語の仕組みについて概観した。本節では、人々がその複雑な仕組みをいかに用いているのか、使用状況に関する先行研究をレビューする。具体的には、Poedjosoedarmo、染谷（1993）、レスタリ（2010）の研究を取り上げる。また、日本語の敬語使用の現状との比較と、ジャワ語学会の結果なども本節に取り上げ、これまでの敬語使用に関する先行研究の議論とその問題点を明確にしたい。

2-2-1 Poedjosoedarmo, et. al (1979)

Poedjosoedarmo (1979) は、発話レベルを決める際に、意識すべき重要な点として次の二点を挙げている。一つ目は、「丁寧さ」 *formality* の度合である。丁寧さの度合は話し手が聞

き手に対して感じる「敬意の度合」も表わす。二つ目は、聞き手の社会的地位である。これは発話レベルを決定する際の基礎となる。ジャワの社会的な概念からみれば、丁寧さの度合は、①話し手と聞き手の親密度、②話し手と聞き手の距離、③年齢によって決定される。

「丁寧さ」と、その中に含まれる「敬意」の度合は、ジャワ社会では不可欠なものだが、未だにこの概念は強く存在するのだろうか。

Poedjosoedarmo (1979:15-17) は、インドネシアが独立前の上流社会では、子供たちは、礼儀正しく行儀の良い人になるために、小さい頃から親に対して、クロモ（語彙と文体）を使用しなければならぬと厳しいしつけを受けてきた。教師は曰く、学校では、クロモをきちんと教育されている子供の方が、礼儀正しいという評判を得ていたという。しかし彼は、1970年代当時、子供は親に対して礼儀正しくクロモを使うべきというしつけにこだわらない家庭が増えていると述べる。その理由の一つには、親子間の親しい関係、近い距離を求める若者や、子供と近い関係を築きたいと考える親が増加していることがある³⁷。

2-2-2 染谷 (1993)

文化人類学者である染谷 (1993) は、若者はジャワ語が喋れなくなること、近代化によるジャワ社会の変化を指し、「カサール化」と呼んでいる。そもそも「カサール」という言葉は、それ自体否定的な意味合いを持ち、ジャワ語の表現のし方だけではなく、「乱暴な性格」のように人の性格を指す言葉でもある。染谷は、「カサール化」を特別な用語として限定している。すなわち、敬語で話す際によく出てくる遠回しの言い方、遠慮などジャワ敬語に定着した間接的な表現から、率直に物事を伝える率直な言い方など直接的な表現に変わっていくという意味で定義する。

染谷は、『アールスとカサール—現代ジャワ文明の構造と動態—』(1993)において、1972年から1983年にわたる研究から、ジャワ社会の「代表」として知られているジョグジャカルタ特別州の状況を詳述している。この中で、社会階層によって使い分けるアールスとカサールの現象が初めて記述されている。アールスは、洗練された、婉曲な、「目に見えない」、などの意味を表す。相手に敬意を表わしたり、好感を抱かせたりするための、好ましい表現の方法であると評価されている。一方、カサールとは、粗野な、露骨な、「目に見える」、などの意味である。アールスの反対で、本音を言うように直接的な喋り方で、好ましくない表現のし方として評価されている。

染谷は、スルタン³⁸が、1990年代辺りからジョグジャカルタで行われるジャワ宮殿の即位式において、ジャワ語を避けて流暢なインドネシア語で演説をしたことを挙げ、ジャワ社会の中心である王ですらジャワ語の上にインドネシア語を置いている。こうしたジャワ社会の近代化に伴う変化は、「カサール化」なのではないかと疑問を投げかけている。つまり

³⁷ クロモは話し手と聞き手の間に距離があることを示す。親に対しリラックスして接することができないため、Krama使用は現代の若者の間でもあまり好まれていない。

³⁸ ジョグジャカルタ特別州を支配する王のこと。

染谷は、ジャワ語の代わりにインドネシア語を用いることを「カサール化」であると考えているといえる。この染谷の視点は、本研究の問題意識と重なる。しかし、染谷は、それ以来、インドネシア語を使用することよっての「カサール化」については検討していない。そこで、本論文では、ジャワ人の若者たちが、インドネシア語を用いることをいかに認識しているか分析する。そして、彼らはインドネシア語を用いることを「カサール化」であるとは認識しておらず、むしろ、敬語による誤使用を避け、丁寧さを表そうとしているということを論じたい。

2-2-3 レスタリ (2010)

レスタリ (2010) は、第三者敬語を中心に、ジャワ語の敬語に関する記述的研究を行っている。レスタリは、ジョグジャカルタ特別州ジョグジャカルタ市で行った、高校生 64 名と大学生 30 名に見られる敬語の使用状況の調査 (2008 年) について、次のように述べている。教師と話す時にジャワ語を使う割合は低いものの、教師とジャワ語で話す場面があった場合、丁寧体で話さなければならないという規範意識があるため丁寧体の使用率は高くなる。そして、学校の友人と話す際、教師の話題が出て、上位待遇表現を用いる割合が低い。目上に対する敬語の使い方の絶対性があまり見られない (2010 : 141)。さらに、自分の親に対してどのような聞き手待遇を選択するかに関する調査について、次のように述べている。父親と話す際にンゴコ体を使う割合は、6 割～8 割以上と高い。一方、母親に向かってンゴコ体で話す割合もほぼ同様で、5 割～8 割を占めている。この結果から、現在ジョグジャカルタでは、親と話す際にクロモ体で話す若者が少ないことがわかる。レスタリは、この調査でほかの設定も試みたが、高校生と大学生の回答からは、ばらつきが見られ、傾向が掴みにくい結果となったと述べている。しかし、友人の前で、第三者である自分の教師について話題にする場合、教師に対して敬語を使わない傾向は明らかであると指摘する (2010 : 154)。

レスタリは 2009 年に第 2 次調査を行った。まず、日常生活で誰とジャワ語で話すかについて、結果は次のようになったという。大学生と高校生のうち、学校で教師とジャワ語を「常に話す」と答えた割合は低く、1 割を満たない (2010 : 162)。次節で述べるように、これは、筆者が 2014 年に行った大学生に対するジャワの敬語使用の調査結果でも同様であった (シマルマタ, 2014b)。学校は公的な場所であるため、教師に対しては、ジャワ語を使用するよりも、インドネシア語を多く用いることが明らかとなった (シマルマタ, 2014b:13-17)。一方、友人同士の会話について調査結果を、レスタリは次のように述べている。「学校の友人とジャワ語で話す頻度に関しては、高校生の方が「常に話す」と答えた人が多い。(省略) 高校では同じ地元の人が多く通うのに対して、大学生の場合は他の州の出身者、つまりジャワ語非母語話者も混ざっているため、ジャワ語の使用頻度も低くなると考えられる。今回の高校生の協力者はジョグジャカルタ市外出身の生徒が多く、こういった生徒たちは州部のジョグジャカルタ市より、普段の生活でジャワ語を使う頻度が高い地域からやってきていることが原因と思われる」 (2010 : 163)。

レスタリの研究は第三者に対するジャワ語の敬語使用が中心である。大学生と高校生は、友人などの同位者、つまり敬語を使う必要がない相手と話すときは、話題にのぼっている上位者（第三者）に対して敬語を使わない。ただし、話し相手が目上の人になると話題に出てくる第三者に対して敬語を用いるようになるという。目上の人を絶対的に敬うということが敬語使用の規範であると認識されており、高校生と大学生は目上の人と話すときにこれを守ろうとしているということも考えられる（2010：191-192）と述べている。

以上のように、レスタリは、若者の敬語使用に対する調査は行ったが、第三者に対する敬語使用が調査対象であり、地域ごとの若者に対する敬語使用の本格的な実態調査は行っていない。レスタリ自身も述べているように、高校生と大学生により敬語使用がどのようになっていくかについて、今後さらに調査が必要である。そこで、本論文では、第三者に対する敬語使用のみならず若者の敬語全般の使用実態について、より広範で詳細な実態調査に基づく分析を行う。

2-2-4 日本語と比較したジャワ敬語の使用状況

本節は、日本語の敬語使用の現状を取り上げ、ジャワ語の敬語使用の現状を述べていく。まず、1992年の総理府調査で、20歳以上の3000人の対象者に、「今後とも国語に敬語は必要だと思うか」という質問に対して「必要だと思う」と「ある程度必要だと思う」に合わせ答えた人は93.7%であった。また、1987年に行われたNHK放送文化研究所の調査で、16歳以上の男女、東京都部1200人と大阪府部800人の対象者にも、「日本人に敬語は必要か」という質問に対して「大いに必要」と「まあ必要」と答えた人は、東京と大阪を合わせて平均は95.7%がわかった。さらに、1999年～2002年に行った読売新聞全国世論調査で、全国有権者3000の対象者に、「敬語が必要か」に対して「必要だ」と「どちらかといえば必要だ」を答えた人の割合は、各々96.3%と96.8%がわかった。このように、ほぼ100%の近くまで答えた日本人のすべては、「敬語」に対して必要だと思い、浅松は日本人・日本語話者が「敬語」の存在を肯定していると述べている（浅松, 2003:94）。

敬語の必要性について、ジャワ社会では、日本のような膨大なデータを収集するのはこれまでなかったが、筆者は2011年に、初めてジャワの若者に対する敬語の認識調査を行った。調査はジョグジャカルタのガジャマダ大学で行い、18～22歳の男女164人の対象にした。調査結果は、シマルマタの修士論文（2012）に報告して次の通りである。

まず、「日常生活では、ジャワ敬語（クロモ）が必要だ」という質問に対して、「はい」と答えた学生の割合は70%（115）、「いいえ」と答えた学生は30%（49人）であった。必要と答えた学生に対して、理由を聞いたところ、「ジャワ文化を守るべきだから」のような答えが最も多く64%を占めた。「インドネシア語はジャワ敬語の丁寧さを表し切れないから」のような回答は、次の理由となり、割合は15%であった。そして「クロモ体のような言葉の表現により、衝突や喧嘩が避けられる」のような回答は12%を示した。「クロモ体に品があるから」などのよう答えもあったが、割合が少なかった。

一方、必要ではないと答えた30%の学生に対して、最も多い理由は「(敬語は)危険性を持ち、誤使用したら大変失礼になるから」で、53%を占めた。次に「丁寧さを表したかったら、インドネシア語でも十分できる」のような理由は低め17%であった。「上流の社会的なニュアンスを持ち、差別性を感じる」のように挙げた理由は14%を占めた。さらに、「複雑で相手が言いたいことがわからない」と、敬語が不必要の理由として挙げた学生は10%もあった。「話す相手がない」などと理由もあったが、割合が極めて少なかった。

「敬語が必要」と思う者は、日本では9割以上だが、ジャワ若者の中では7割であることがわかった。勿論、社会人も対象にした影響で、日本の割合が高くなったのではないかと筆者も考えているが、注目したいのは、日本とジャワ社会で敬語の使用に需要が高いことが確実であり、両方の社会でもどちらかといえば、「敬語」に好感を持っている方であった。

しかし、日本語敬語の使用調査(同1987年のNHK調査)に関して、「あなたは敬語の使い方に自信があるか」の質問に対して、「自身がある」は「十分」と「まあ」を合わせて割合は50%弱で、「自信がない」は「あまり」と「まったく」を合わせて割合は50%強を示した。また、1995年の文化調査では、「あなたの敬語の使い方は、この中のどれに最も近いですか」という質問に対して、「大切に使っていると思う」のように答えた人は15.1%と、「人並みに使っていると思う」のように答えた人は52.2%で、全部合わせて70%近くまであって、人々は十分に敬語を使っているという結果が明らかになった。さらに、「使いたいと思うが、十分に使えていないと思う」と答えた人は29.2%を示し、「使う必要を認めないし、実際ほとんど使わない」と回答した人はわずか2.4%であった(浅松, 2003:94)。

ジャワの敬語使用の場合でも、日本と似たような現象が起きている。筆者が行った若者(大学生)におけるジャワ敬語の認識調査(同2011年の筆者の調査)に関して、「あなたはジャワ語が話せますか」の質問に対して、「話せるが、クロモよりンゴコの方が中心となる」と答えた学生の割合が最も多く65%、次に「ンゴコとクロモを両方話せる」を答えた学生は28%を示した。また、「ンゴコしか喋らない」と「全く喋らない」と答えたジャワ人学生の割合が極めて少なく、それぞれ9%と5%であった(残りの1%は1「その他」であった)。すなわち、自分がンゴコとクロモを両方使うと答えた学生の回答を合わせて93%もいたが、「(自分の)ジャワ語の使用をどう捉えますか」という敬語使用の自信に対して質問すると、結果は次の順になった。1)自分が普段使っているクロモに対して自信がない(35%)、2)クロモとンゴコを使い分けるがややこしいため自身がない(29%)、3)インドネシア語とンゴコを混ぜて使うのが一番心地よい(28%)、クロモを使う機会がほとんどないため、慣れていない(4%)、その他4%を示した。この結果から言えるのは、若者はクロモとンゴコいずれも使用しているが、クロモ使用に自信がないと答えたような学生は64%もいた。

一方、公用語のインドネシア語の役割はここで回避できない。次は「(自分の)インドネシア語の使用をどう捉えますか」というインドネシア語の役割に関して学生に質問すると、次の順に答えが出た。1)インドネシア語にはジャワ語のような敬語がないため、使うのに無難で誰にでも安心して使える(55%)、2)無理してクロモを使うよりは、丁寧なインドネ

シア語を使った方が十分に丁寧である(18%)、3) インドネシア語の方が平等性と中立性をもっているため、使い易く分かり易い会話ができる(12%)、4) 公用語はインドネシア語なので、民族意識を無くすためにインドネシア語を使用した方が良い(9%)、その他6%であった。この質問の結果で言えることは、1) が最も多く55%を占めていた理由の一つは、敬語規範のないとされるインドネシア語を使うことによって、敬語誤用‘危険性’から逃れることができ、安心して会話を進めることができるという。丁寧なインドネシア語を使った方が無難と、ジャワ語より平等性と中立性を持っているため便利で使いやすいと、学生が述べている。全体の回答から見れば、1)、2)、と3) を答えたような学生は85%を占めている。

このような結果に基づいて、ジャワの学生は、ジャワ敬語が必要としながらも、日常では複雑な敬語を回避し、丁寧なインドネシア語を使用する傾向がある。しかし、丁寧なインドネシア語というのは、どのようなインドネシア語かは、説明が必要となる。次に丁寧なインドネシア語について、先行研究を述べながら説明する。

2-2-4-1 丁寧なインドネシア語の役割

社会学者のAndersonは、「インドネシア語の主要な機能は国家統合の役割である」と述べている(1990:198)。インドネシア語は、国民を統一する言語として、インドネシアという国のアイデンティティー形成に不可欠なものである。基になっているのはマレー語で、つまりマレー語の変種である。インドネシア語は公用語として認められ、インドネシア語という名称の起源は、1928年の「青年の誓い *Sumpah Pemuda*」から始まる³⁹。Sneddonは、当時はインドネシア語 *bahasa Indonesia* の話者の数に対して、地方語が話せる話者も多く、インドネシア語の話者人口がわずか5%しかいなかった(2003:105)と述べているが、現在インドネシア語は全国民の9割以上が話すことのできる言語である。

オランダ植民地支配が終わった後、日本軍政期でインドネシア国内ではマレー語を教授言語として使用することとした。1943年10月にはインドネシア語整備委員会設けられ、「公用語」としてのインドネシア語の整備が任務として課せられた。独立を達成した1945年に発布されたインドネシア共和国憲法36条には、「国語はインドネシア語とする *Bahasa Negara ialah Bahasa Indonesia*」と規定されている。森山(2009:9)は、憲法の条文であるため、インドネシア語は「国家 *negara*」の言語と規定されているが、その後、国民国家の言語として *Bahasa Nasional* という用語が一貫して、「国語」を指すものとしても使われてきた。

独立後のインドネシアでは、学校での教育はインドネシア語で行われ、「インドネシア語」の授業は小学校から高等学校まで必修科目として受ける義務となる。また、小・中・高等学

³⁹ 独立国インドネシアを目指す若い民族主義者たちはバタフヴィア(現在のジャカルタ)で開催されたインドネシア青年会議で、「我々インドネシアの青年は統一言語、インドネシア語を戴く *kami putera dan puteri Indonesia menjunjung bahasa persatuan, bahasa Indonesia*」と宣言し、植民地政庁オランダにとっては民主主義運動を体現するものとされた。

校の国家試験⁴⁰でインドネシア語は必修試験科目の一つであり、中央政府は学校を通してインドネシア語を国民言語として浸透させることとなる。地方語も各地域で使用し続けているが、教育や政治に関連する場面、あるいはフォーマルな場面であれば、インドネシア語で話した方が文化人（教養のある近代人）として見られる傾向がある。

学校内のコミュニケーションにおいて、Siegel によると、ジャワ社会では生徒は先生に対して、すでにインドネシア語を使用している。生徒は学校を国家的な組織と見なし、このような場においては、インドネシア語が適切であるとされている。先生という存在も学校の代表として考えているからである。Siegel がこのように考えたのは、生徒が他の生徒と会話をするときには、お互いにジャワ語ンゴコで話しているからであると述べている（1986:26）。一方、国家的な組織として指摘される学校では、インドネシア語を用いることによってフォーマルなニュアンスが生じると見なされるため、インドネシア語の使用が促される。

インドネシア語では、文法や単語自体の中に、上下関係、ジェンダー、社会的位置付などを区別するものはなく、誰に対しても平等に扱われ、中立性を持つ言語だと言われる。また、交易語リング・フランカ⁴¹として話されることが多い。基本的には敬語体系や規範を持たないが、相手に敬意を表すときには丁寧な姿勢や、音量、言い方などを用いて伝えるのがもっとも基本である。

Anderson は、現代インドネシア語は奇妙に非人称的で中性的であり、それが話者間に心理的な距離を作り出している。これはインドネシア語のもつ主民的・平等主義的な性格を反映した結果であると述べている（1990:200）。簡潔にいうと、非人称化とは、文の主語を人にせず、誰がするのかということをも不明確にあるいは微妙にさせることである。

例えば、日本の電車の優先席に「みなさまのやさしい心づかいをお願いします」と書かれているが、これは英語では「Your kindness is greatly appreciated」になり、インドネシア語では、「Kebaikan Anda kami hargai」となった。主語が Your kindness *Kebaikan Anda* 「みなさまの心づかい」になり、受動態にすることによって、本来の鉄道会社を指す主語が消えている。このような伝え方は非人称化という。一方、この文章を能動態にすると、「We greatly appreciate your kindness」となり、インドネシア語では「Kami menghargai kebaikan Anda」となった。ここで指摘したいのは、能動態にした方が意味的に日本語訳に近い文章になっている。しかし、英語とインドネシア語では、受動態の文の方がより好感をもち、より丁寧だとされている。このような非人称化による効果は、特に英語やインドネシア語に特徴的なことで、日本語とジャワ語にはあまり強調されていないようである。Brown and Levinson (1978) は、politeness 「丁寧さ」とは様々な形で表現しているが、そのストラテジーの一つは「非人称化」である。人間とされる要素を排除することによって、人間に対す

⁴⁰ 国家試験の結果によって次の学校先が決められるほど学生達にとっては最も大事な試験である。

⁴¹ 共通の母語を持たない人同士の意思疎通に使われている言語のことを指すようになり、現在では「通商語」の意味で使われることが多い。例えば、インドネシア語はマレーシア、ブルネイ、シンガポールでもビジネス上では使われているケースがある。

る威圧的なものが和らげる。能動態の方に、威圧に感じさせ、あまり丁寧だとされていない。つまり、受動態における非人称化が丁寧さにつながると考えられている。

また、インドネシア語の便利さを見るために、次の例文でインドネシア語の平等性を説明する。敬語規範を持たないとされるインドネシア語は、たとえば相手がこちらへ来るかどうかを確認する場合は、次のようになる（シマルマタ、2012）。

（例1）

a) 相手は年長者あるいは年寄りの場合

<u>Bapak/Ibu</u>		<u>akan</u>	<u>datang</u>	<u>ke sini</u>	?
年上の男性/女性	は	～する予定	来る	こちらへ	

（お父さん/お母さんと見なす）

b) 相手は年長者より若い、自分より年上の場合

Mas/Mbak/Abang/Kakak		akan	datang	ke sini	?
年上の男性/女性	は	～する予定	来る	こちらへ	

（お兄さん/お姉さんと見なす）

c) 同年者の場合

<u>Kamu</u>		<u>akan</u>	<u>datang</u>	<u>ke sini</u>	?
あなた	は	～する予定	来る	こちらへ	

インドネシア語では、「～こちらへ来る予定ですか ~*akan datang ke sini*」の語彙レベルは全く変わらない。年長者から同年者まで、誰に対しても同様な語彙を用いる。話し手と聞き手の間に中立性を感じさせ、便利に使用する。実際は、相手と会話をするとき、姿勢や音量の調整、伝え方など、文法以外の要素での工夫によって敬意の度合が見られる。ここまでは英語のような言語と同じ印象を浮かべるが、インドネシア語では、敬意の度合を表すために、主たる方法としては主語が用いられる。即ち、主語を切り替えることによって、相手に対する敬意の度合が分かる

*Bapak*は「父親」という意味の「*bapak*」を、*Ibu*は「母親」を意味する「*ibu*」を転用し、「父親/母親として見なすべき相手」、目上の男性/女性や社会的地位の高い男性/女性に用いられる。また、*Mas/Mbak/Abang/Kakak*は、「目上の男性/女性の兄弟」がもともとの意味で、年上あるいは社会的地位は自分より上だが、*bapak/ibu*のような敬意の度合を表すほどではない相手を指す。一方、*Kamu*「あなた」は、同等もしくは目下の相手に対して用いることが通常である。

なお、正書法では、もともとの意味での「*bapak, ibu, mas/mbak/abang/kakak*」は、文のはじめに書くときだけ大文字で書き始めるが、「年上の男性/女性」の意味での「*bapak, ibu*,

mas/mbak/abang/kakak」は、文の途中に出てきても常に大文字で書き始める。

(例2)

a) Besok Bapak/Ibu akan datang ke sini ?
明日 年上の男性/女性 は ~する予定 来る こちらへ

つまり、「目上の人に Bapak や Ibu を使い習わしは、父親や母親のように尊敬しつつ家族のような親しみを表している」と降幡が述べている (2014:55)。

また「~さん」にあたる Bapak/Ibu を、会話のときは Pak/Bu と省略して Pak Sutomo 「ストモさん」や Bu Sumirah 「スマラさん」などのように言うこともよくある。

(例3)

a) Besok Pak Sutomo akan datang ke sini ?
明日 年上のストモさん は ~する予定 来る こちらへ

例文から分かるように、インドネシア語の便利さの特徴は、敬語体系などがないということである。これもまた、若者には「丁寧なインドネシア語」として見られる。

ジャワ語では、たとえば、年上の相手にジャワ敬語の使い分けをしなければならないが、インドネシア語では、二人称代名詞 Bapak, Ibu, Mas/Mbak/Abang/Kakak 以外は敬語に変換しようがない。使用し方も便利だが、このような「敬意」のある親しみは、ジャワの若者が「丁寧なインドネシア語」として指摘している。

上記ではジャワ語がインドネシア語化にしつつあるという現象を述べているが、先に述べた Anderson は、インドネシアのジャワ語化についても述べている。インドネシアのジャワ語化は様々な側面を持っているが、ここに取り上げるのは、政治的状況に密接に結びついて、公用語インドネシア語のクロモ化である。

Anderson は、「ジャワ語のクロモが基本的なンゴゴの語彙を美化し、古風にしたものであるように、インドネシア語のクロモ化は同じ方向に進んだ。つまり、美化とアルカイズは、常に、現代を英雄的な過去に結び付けて特徴付けようとすることを意味していたからである。そのアルカイズと称賛の言葉は、ジャワ語と、サンスクリット語化した古ジャワ語からとられる傾向があった」(1990:208)。例えば、インドネシアのパンチャシラ⁴²とサプタ・マルガ⁴³は、元々古ジャワ語である。このようなもののすべては行動な礼儀的重要性を持つ機会に用いられる傾向があり、高度に政治的な権限を持つ物や組織に適用されている。また、こうした言葉はほとんど元の意味を理解されていないが、サンスクリット語や古ジャワ語などが語源であることは知られていて、その結果、現代の諸制度は、その元の言葉の権限や

⁴² インドネシアの国是となっている建国5原則を指す。

⁴³ インドネシア軍のイデオロギーである。

栄光を継承したものとみなされている (1990:209)。

Anderson の「インドネシア語のクロモ語化」は、あくまでも政治的な機能であり、インドネシア語の中にクロモ語を取り入れることによって、(特にスハルト政権において) より高度な政治的洗練化への第一歩であることを意味している。また、それは公用語の微妙な差異や繊細さを十分に意識するためのある規律であることを意味している。

しかし、筆者が述べている「クロモ語の丁寧なインドネシア語化」は、政治的な機能ではなく、これは社会言語学的観点に、グローバル化が進んでいるなか、インドネシア語の影響を大きく受けながらも、クロモはジャワ社会の敬語表現として、どのように変化して位置付けられるのかに意味を持っている。このように、Anderson と筆者の研究観点が異なるため、本論文では Anderson の観点は取り扱わない。

2-2-5 ジャワ語学会 (2006, 2016)

以前から、若者のジャワ語の敬語運用能力の低下は、教育現場において問題となってきた。こうした状況の中、2006 年に、中部ジャワ州のスマランで行われたジャワ語学会 *Kongres Bahasa Jawa IV* では、中学校や高校のジャワ語教育の問題について議論がなされた。そこでは、授業を担当している高校教師の葛藤が明らかになった。例えば、ある教師は、発話レベル *unggah-ungguh ing basa* の授業は非常に難解で、学生には全く人気がないと訴えている。その対策として学生の興味を持たせるため、直接口頭で教えるよりも映画の台詞などを用いて教えた方が便利というジャワ語の教師もいた (Astuti, 2006: 169-174)。また、教師自身のジャワ語力をもう一度検討する必要があるという声も上がった (Pranowo, 2006: 283-286)。専任のジャワ語教師として就職できる人は少ないため、ジャワ語やジャワ語教育を専門としない教師が増え、ジャワ語教育の質が問われる状況になっている。

2016 年のジャワ語学会はジョグジャカルタ特別州で行われた。この学会では、規範的なジャワ語はジャワ文化の「泉」と取り上げた。規範的なジャワ語が、ジャワ社会に生きる人々に、様々な価値やマナーを教えるからである。しかし近年、その「ジャワ語の泉」から湧き出る水が少なくなっており、いつかは枯れるだろうと語られている。規範的なジャワ語を使わなくなった現在のジャワ社会はいつか「枯れた泉」のようになり、いつか社会に規範的なジャワ語がなくなってしまうのではないかと不安の声があがった。そのため、2016 年の学会では次の 3 点が指摘された。すなわち、1) ジャワ文化を保って発展させるように、規範的なジャワ語を維持するための改革が必要である、2) ジャワ社会から規範的なジャワ語が無くならないように保護するための改革が必要である、3) 次世代の若者に受け継ぐことができるように、実践的なジャワ語教育改革が必要である。これまでのジャワ語学会でも同様の問題が再三取り上げられてきたが、具体的な改革は行われてこなかった。

このように、ジャワ語教育が課題を抱えていることは広く共有されている。そこで、本研究では、若者と、彼らを教育する立場の高校と大学のジャワ語講師のジャワ語敬語の使用実態の調査から、現代のジャワ語教育の問題点を浮き彫りにしたい。

2-2-6 敬語使用における問題点

2-2-6-1 ジャワ語の教育

ジャワの若者は小学校の4年生から高校3年生まで、必修科目として週1回に2コマ、ジャワ語の授業を受けなければならない。インドネシアでは、小学校の段階から地方教育枠の授業を設けている。カリキュラムの中では地域科カリキュラム *Muatan Lokal* (MULOK) という。実は、2004年までは、高校ではジャワ語含むジャワ文学の授業はなかった。

2005年の始めに、ジャワ語を高校まで教えるべきとのジャワ語教師の提案が中部ジャワの地方政府に認められ、2005年2月22日に中部ジャワ州の知事の895.5/01/2005号令状で、ジャワ語は小学校から高校まで教えなければならないこととなった。ジョグジャカルタ特別州もこの提案を賛成した。新しいカリキュラムを作るのに一年かかったため、高校でジャワ語を教えるようになったのは、2006年の2月(新学期)からである (Ekwardono, 2006: 361)。

しかし、中学校から高校までのジャワ語カリキュラムの中では、ジャワ語教育といっても、ジャワ言語自体の教育がほとんど含まれていないことが問題として指摘される。Connors (2016:3) は、ジャワ語の原則や規則を定式化したり、体系化したり、公表したりする公的なジャワ言語計画機関はなく、また、公式の綴りのガイドラインなどもないと述べている。さらに、出版されている公的な辞書はなく、ジャワ語教育のシステム全体において使用される標準的な言語資料もないと彼が主張している。

実際、中学校から高校までの教育内容をみても、ジャワ言語よりもジャワ文学やジャワ文化、つまり、伝統的な詩、散文、童話などの科目が中心となっていることが明らかとなった。ジャワ語の文法、文型、敬語体系や規範などについて正式に教えるのは、小学校のときのみである。次に示すのは、ジャワ地域の中学校で使われていた2004年度のジャワ語のカリキュラムである。

1年生	前期	ジャワ詩を美しく読む ジャワ文学を解釈する (ジャワ劇の脚本、ワヤンの話、童話)
	後期	ジャワ散文を美しく読む Cerita Cekak (ジャワ小説)を解釈する
2年生	前期	民間伝承を黙読して読む Cerita Cekak を解釈する

	後期	Geguritan(詩の形をする)ジャワ小説を読む Tembang Macapat (韻律にしたがうジャワ詩)を解釈する
3年生	前期	Tembang Macapat (韻律にしたがうジャワ詩)を聞いて理解する Cerita Cekak、Geguritan を読んで散文に書き変える 簡単な Cerita Cekak、Geguritan、童話などを作る (作文) Cerita Cekak、Geguritan、Tembang Macapat、童話などを解釈する
	後期	Tembang Macapat を聞いて、価値を理解する

このカリキュラムから分かるように、中学校に入ってからジャワ語の授業の内容は、文法、敬語規範、形態論、構文論などのジャワ語そのものではなく、ジャワ文学の教育に主眼が置かれている。文学偏重のこのカリキュラムは高校まで続けられ、学校ではジャワ言語自体の教育はほとんど行われていない。つまり、学校で生徒が敬語規範を学んで練習するのは小学生の間だけであり、中学生になると敬語規範を、学校以外の場で身につけなければならない。

また、2014年の教育文化大臣の規制79号では、2013年の地域科カリキュラムを新しくすることが定められた。しかし、地域科カリキュラムの内容は文化（言語、舞踊、伝統音楽、パティックを作る）だけではなく、スポーツやコンピューターなど、各自の能力を高めるために行う科目の一つとされ、この科目におけるジャワ語教育の存在感はより薄くなってきているといえるだろう。

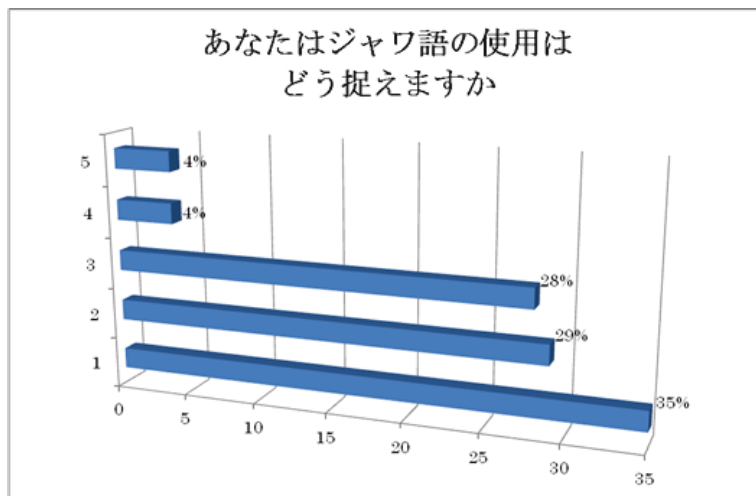
2-2-6-2 ジャワ敬語の難度

ジャワ語の敬語使用は母語話者にとっても非常に難しい言語とされる。ジャワ語の難度について Siegel は、「ジャワ語はジャワ語話者が「話せない」とよく苦戦するような言語の一つである。彼らが意味するのは、上等なジャワ語のクロモが話せないということである」(Siegel, 1986:15) と述べている。

ジャワ語敬語には、語彙と発話のレベルがあり、丁寧さと敬意の度合によって相手に使う語彙が変わる。さらに、その使用に関しても、会話や文章で用いるクロモを間違えて扱ったり、相手に対して敬意を払っていないかのような行為として捉えられ、人間関係に亀裂が生じたり、誤解を招いたりすることが多々ある。

その複雑なクロモを学生たちがどう捉えているのかについて、筆者はアンケートとインタビュー調査から明らかにした (シマルマタ, 2012)。アンケートでは、学生 164 人にジャワ語の使用をどう捉えているのかについて質問をし、クロモとンゴコの使用に対する思いや考えを考察した。この調査からは、学生たちが、クロモをいかに難しいと感じているか明らかとなった (シマルマタ, 2012:47-51)。

図 2-2 「あなたはジャワ語の使用をどう捉えますか」 (2011 年の調査をもとに筆者作成)



「N=164」

- | | |
|-------------------------------|------------|
| 1) 自分が普段使っているクロモに対して、自信がない | 58 人 (35%) |
| 2) クロモとンゴコの使い分けがややこしい | 48 人 (29%) |
| 3) インドネシア語とンゴコを混ぜて使うのが一番居心地良い | 46 人 (28%) |
| 4) クロモを使う機会がほとんどない | 6 人 (4%) |
| 5) その他 | 6 人 (4%) |

「クロモには色んなレベルがあるから難しい」

「クロモは特別な場面だけに使う、普段はインドネシア語で話す」

「クロモやンゴコはある程度理解できるが、上手に話せない」

回答 1) の「自分が普段使っているクロモに対して、自信がない」の回答 (35%) を、関連のある回答 ③ の「インドネシア語とンゴコを混ぜて使うのが一番居心地良い」(28%) に足すと、63%となる。これは、他の質問の「あなたはジャワ語が話せますか」(2012:30-33) の回答と比較してみると、「話せるが、クロモよりンゴコの方が中心である」の回答率 (65%) とほぼ同じ数字となった。回答 1) ~ 3) を選んだ学生の回答率はほぼ同じということから、学生がジャワ語の敬語を難しいと感じていることは明らかである。

また、インタビュー対象者の一人、学生の MT は、ジャワ語の敬語を使いこなす「自信がない」ことに関して、自分の経験を次のように語っている。MT は、ガジャマダ大学で、外交部 *protokol* の部活に入っている。外交部は学生代表として、大学へ知事や市長など外部からの来客があるときには、客人に対する案内を行ったり交流会に参加したりする。客人は有名人が多いため、この部に入るためには、ハイレベルのクロモが話せることが当然とされている。それでも彼女は、些細なことでもクロモを誤使用してしまうと、自信を無くしてしまったという。

ジャワ社会では、クロモの誤使用は相手に対して失礼なことをしたかのように捉えられてしまう。ジャワ人として恥ずかしいことだと感じるという。クロモ体で話してみようとしても、間違えるのではないかという不安を抱く。ジャワの若者の多くはMTと同様に感じており、インドネシア語にコードスイッチングをすることで、ジャワ語の敬語を使用することを回避する。インドネシア語にコードスイッチングした方が失礼になることを避けることができると同時に、相手からも無難であると理解してもらえると。

2-3 若者の敬語使用の自己認識について

現在、ジャワの若者たちの敬語離れが指摘されている。彼らの多くに、ジャワ語敬語運用能力が低下や、敬語の使用回避の傾向などがみられる。若者の、ジャワ語の敬語クロモの運用能力低下は、ジャワ社会では誰でも感じることだろう。しかしながら、若者自身の敬語意識や敬語の運用実態に関しては未だに明らかにされてこなかった。そこで、本節では、筆者がこれまでにを行った 2 回の実態調査とその分析結果を概観し、本論文で議論すべき課題を示したい。

2-3-1 調査結果

筆者は、現地調査⁴⁴を2回実施した。一回目(2011年)は、若者の敬語認識の調査を行った。複雑な敬語の規範を持つ言語として知られるジャワ敬語が、現代の若者によって、どのように使用され、また変化しているのかを社会言語学的視点から明らかにした。調査結果は、次の3点に要約できる(シマルマタ, 2012)。

- 1) 敬語の必要性の認識はあるが規範的に使う自信がない
- 2) 誤使用のリスクが敬語使用の回避の要因となる
- 3) 簡素化した敬語が出現した
(クロモルマ体⁴⁵の使用やインドネシア語へのコードスイッチング)

また、ジャワ敬語からインドネシア語へのコードスイッチングする理由に関して、学生は次のように述べている。

- 1) 無難で使いやすいため安心して使える
- 2) 相手に対する誤解を招きにくいため、無難である
- 3) 中立的で誰にでも平等に使えるため、好ましい

⁴⁴ 調査地は、ジョグジャカルタ特別州 *Daerah Istimewa Yogyakarta*にあるガジヤマダ国立大学 *Universitas Gadjah Mada* である。ジョグジャカルタ特別州の人口は約 350 万人で、面積は 3,185 km² である。この地域に住んでいるインドネシア人はほとんどがジャワ民族であるため、使用される言語としてインドネシア語の他にジャワ語があげられる。

⁴⁵ 家の周辺や近所の人たちと挨拶したり、短い会話をしたりする際に使われる決まったパターンのようなジャワ語のクロモのことを指す。

そして二回目(2013年)は、ジャワの若者の敬語運用について実態調査を行い、現代ジャワの若者が規範的なクロモを使用できなくなっているという状況を実証することを試みた。クロモの運用能力をはかるための質問アンケートを用いて、クロモの正誤用法に対する認識を調査し、若者の敬語使用の傾向を明らかにした。

調査結果は次の2点に要約できる。第一に、学生は敬語使用に対する知識をあまり持っていないということである。もちろん、全く知識を持っていないとは言えないが、敬語を体系的に学ぶというよりは、敬語を環境の中で身に付けることのほうが一般的なので、規範的な敬語を習得していない。また、第二に、年齢が離れた相手にクロモ体よりマディオ体を使うとする若者が多くみられることが明らかになった。彼らは中間的なマディオ体が十分に丁寧だと考えており、より近い距離を求める(シマルマタ, 2014a)。

2-3-2 敬語使用の減少—インドネシア語へのコードスイッチング—

インドネシア語は敬語体系や規範を持たず、中立的なニュアンスも持つため、ジャワの若者たちが、インドネシア語を使いやすく便利だと感じている。調査結果からは、まず、クロモからインドネシア語へ移行することを頻繁に行っている学生が多くみられることが明らかになった。ジャワの若者たちの間で、公用語のインドネシア語への依存度が増していることが指摘できる(シマルマタ, 2012)。次に、ジャワの若者が、インドネシア語にコードスイッチングすることによって、より中立的な丁寧さを表現しようと望む傾向が明らかとなった。すなわち、若者たちは、クロモを使用するだけが相手に対し丁寧に話そうという努力ではないと考えているのである。インドネシア語へのコードスイッチングというのは、相手に対して無難で誤解のない、より中立的なコミュニケーションの方法として認識されているという。

2-3-3 「新しい」敬語の使用傾向

ジャワの敬語の使用ができない若者が増えていると、指摘されてきた。しかし、筆者の調査から、実際は若者たちが若者なりの敬語使用の概念を持っていることが明らかになった。彼らなりの敬語というのは、クロモルマ体と簡素化したクロモ体というもので、話す相手に対して敬意を表わす新しい形のクロモ体を意味する(シマルマタ, 2012)。

クロモルマ体は、敬語(クロモ)と家(ルマ)という二つの単語から成り立ち、「家の敬語」という意味である。つまり、家の中や家の周辺、近所の人たちに挨拶をしたり短い会話をしたりするときに使われている。体系や語彙が決まっているのが特徴である。日常生活では習慣的なクロモ体として見なされている。

簡素化したクロモ体は、本来のクロモ体と異なり、文章の所々にインドネシア語を入れたり、クロモ体で伝えにくい場合にインドネシア語にスイッチをしたりするなど、様々な状況に応じて使われる。一見すると、本来のクロモ体ほど規範的ではないが、実際、十分に丁寧さを表わすと見なされている。

簡素化したクロモ体とクロモルマ体という言葉自体は、どこまで広がって普及しているのか、これまで全く研究されていない。少なくとも筆者のこれまでの現地調査から言えることは、クロモルマ体は、ジャワの若い世代で頻繁に使われている変容した敬語の呼び方を指す言葉であるとする。筆者はクロモルマ体の使用される場面、実際の事例、使い方などについて、アンケートの回答者とインタビューの対象者が普段使っているクロモルマ体を取り上げてシマルマタ（2012）で報告した。

2-3-4 敬語使用のメリットとデメリット

ジャワ社会のコミュニティ空間と私的空間の中では、規範的なクロモ体を上手に使える者を、知的な人、きちんと教育を受けた人、礼儀正しい人、行儀の良い人、社会的に地位のある人などと評価する。これは筆者がインタビューを行った全対象者が納得していることであり、ジャワ社会で共有される価値観である。しかし、このような高評価に繋がるにもかかわらず、クロモ体を使う人はなかなか増えない。むしろ、クロモ体を使いこなせない若者が増えている。このような現象はなぜ起きているのだろうか。

なぜ若者はクロモ体を使用しないのかという疑問について、アンケート結果を分析したところ、次の2点が明らかになった（シマルマタ, 2012:51-58）。第一に、彼らは、クロモ体を用いた場合のメリットとデメリットが表裏一体であるという認識を持っている。クロモ体を上手に使うことによって社会的地位を持つ人だという評価を受けられる反面、誤って用いてしまうと、相手に対する失礼な態度であるとみなされる恐れがあり、逆にデメリットが大きいと認識されている。また、クロモ体には上流階層のイメージがある一方で、一部の学生はこれを差別的であると捉えている。そして、クロモ体は遠回しで誤解を招く恐れがあるのでそもそも必要ないと考える学生もいた。

第二に、若者はクロモ体に対し、非常に美しいもの、憧れているものと考えているが、実際、ジョグジャカルタ市内でも、丁寧なインドネシア語と簡素化したクロモ体ができれば、社会に十分に受け入れられるため、ジャワ敬語使用の必要性が低くなっている。ジャワ文化の保護を考えるのであれば、クロモ体を使用し続ける方法を考えるべきだが、現代の学校もインドネシア語に加え、英語や外国語など国際的な言語により力を入れている。そのため、若者にとってクロモ体の存在は単なる憧れとして留まっているにすぎない。

規範的なクロモ体は難解だが、もっと習うべきであるという願望や反省がある。一方で、生活のなかでクロモ体を使用する必然性がない。クロモ体を苦勞して身に着けても、それを話す相手がいないほか、仕事や教育、交際など生活の中で肝心なことと見なされていない。クロモ体は非常に美しいものであるとの認識が共有されていても、使いこなすまでの動機付けは少ないのが現状である。

2-4 先行研究の問題点と論文の意義

以上、ジャワ語の敬語体系とその使用状況について先行研究を概観した。これまでのジャ

ワ語の研究者は、ジャワ語の発話レベルについて詳述しているが、なかでも筆者は Poedjosoedarmo、Errington、染谷のそれぞれの理論と解釈を補完して論じている⁴⁶。

本論文で扱う敬語の使用状況について各論者の研究状況をみると、Errington の研究では、使用状況についてはあまり論じられていない。染谷は、アンケートとインタビューによって敬語の使用状況の調査をしている。また、Poedjosoedarmo は、アンケートとインタビューに加え現地でジャワ語の使用状況について調査を行っている。しかし、調査が最後に行われたのは約 30～40 年前で、研究対象者は特定の村の大人で、若者を対象としていない。Poedjosoedarmo は、当時 (1979 年頃) すでに家庭での敬語使用の状況について、「現代では、エリート家庭の中でクロモを使うこだわりが既になくなってきている。敬意を表すには不十分であっても、親子間に親しい関係を求めるからだ」(Poedjosoedarmo, 1979:15) と述べている。ここで、言及されているようなジャワ若者の敬語使用の状況が、その後いかに変化しているのか、本格的な実態調査を行っている研究者は未だにいない。

2012 年の夏に、筆者は直接 Poedjosoedarmo と会ってインタビューを行った。彼は、現代の若者の敬語使用の状況を否定的に捉えていた。しかし、彼は長年ジャワ敬語の研究をしてきた中で、現代のジャワ人の若者の敬語使用に関して実態調査を行った研究者はいないと筆者の調査を奨励し、本研究の意義に期待をよせてくれた。

一方、染谷は、1980 年代から、ジャワの若者はジャワ敬語を規範的に使用できなくなると主張した (染谷, 1993) が、彼の専門は文化人類学で、ジャワの社会階層、特に村の社会生活を研究対象としており、ジャワの若者に敬語使用の実態調査は行っていない。

筆者は、現在学校の地域科カリキュラムとしてジャワ語の授業を受けているジョグジャカルタ州の農村部と都市部の高校生計 814 人に対して調査を実施し、彼らの敬語の運用実態を分析した。若者が規範的な敬語が使用できなくなっている現状を実証するために、アンケートとインタビューを用いてその正誤用法に関する実態調査を行い、若者の敬語使用の傾向を明らかにした。アンケートでは、高校生が年齢や地位が異なる相手と話す場面を設定し、丁寧さと敬意度の異なるジャワ語 27 文例の中から普段自分が使う文体を選んでもらった。大学生と高校生に対する実態調査の結果を分析することで、現代ジャワの若者がジャワ語敬語をいかに使用しているのか明らかにしたい。

⁴⁶ 染谷は Geertz のジャワ敬語を分析するにあたって非常に示唆に富むと考えたが、Geertz の調査地であるモジョクト (東部ジャワ州) の言語 (染谷の調査地であるジョグジャカルタ特別州の言語と同じであるが、敬語の複雑さではかなりの相違がある) の使用状況に影響されたためか、その分類は徹底性を欠くと指摘した。筆者の調査地はジョグジャカルタのため、本論文では Geertz の敬語体系論については参考にしたが、使用状況に関しては取り上げない。

第3章 若者にみられるジャワ語敬語使用の状況

3-1 調査の背景と目的

前章で述べたように、ジャワ語は、日本語と朝鮮語と同様に、複雑な敬語の規範を持っている言語とされ、日々の生活において、様々に異なったレベルで丁寧さと敬意を表わす道具として敬語が用いられている。ところが近年、ジャワ語の規範的な敬語を使用できない若者や敬語の使用を避ける若者が増えているなど、ジャワの若者の敬語離れが指摘されている。先行研究では、ジャワ語の発話の階層が複雑であるため、若者らが使用を回避する傾向があると指摘されてきた (Dwijawiyata, 1930; Poedjosoedarmo, 1979; Sasangka, 2004) が、ジャワ敬語の使用に対する運用能力がどこまで低下しているのか、その実態をデータで示した研究はこれまでになかった。筆者は、これまで居住者の9割以上をジャワ人が占めるジョグジャカルタ特別州において、若者の敬語使用に関する調査を三回行った。ガジャマダ大学の学生を対象とした調査を二回 (2011年, 2013年)、その後ジョグジャカルタ州の農村部と都市部の高校生に対しても調査を実施した (2014年)。

一回目の調査は、2011年8~9月に行なった。若者の敬語認識について調査し、複雑な敬語の規範を持つ言語として知られるジャワ敬語が現代の若者によってどのように使用され、また変化していくのかを社会言語学的視点から明らかにした。第一に、若者の間では敬語の必要性の認識はあるが規範的に使う自信がないため、誤使用のリスクを恐れて彼らは敬語の使用を避けていること、第二に、簡素化した敬語や無難で使い易いインドネシア語ヘコードスイッチングなどが、敬語認識を低下させる要因となっていることが明らかになった。また、第三に、現代ジャワの若者が十分な敬語の運用能力を身につけていない背景には、学校のジャワ語教育にも問題があることを指摘した。大学生は学校でジャワ語を学ぶよりも、近所の付き合いや日常生活の経験から敬語を身につけるといふ。

そして二回目は、2013年に、若者の敬語使用の運用実態について調査を行った。ここでは、ジャワの若者が規範的なクロモを使用できなくなっている状況を明らかにするために、敬語使用の運用能力をはかることができるようなアンケートを準備した。そして、敬語使用の正誤用法に対する認識を分析することによって、若者の敬語使用の傾向を明らかにした。この調査結果の一部は、日本インドネシア学会の論文で取り上げた(シマルマタ, 2014b)。一回目の認識調査の結果を裏付けるように、学生は敬語の運用実態に対する知識をあまり持っていないことが明らかになった。また、この調査結果で、特に注目すべきことは、そもそもクロモを用いて高い敬意を表すことを求めない、あるいはその必要性を感じていない若者が増加傾向にあることである。

最後に2014年に実施した三回目の調査では、学校の正規科目としてジャワ語の授業を受けているジョグジャカルタ州の農村部と都市部の高校生計814人を対象に調査を実施し、敬語の運用実態を分析した。若者が規範的な敬語が使用できなくなっている現状を明らかにするために、敬語使用の正誤用法に関するアンケート調査を実施し、若者の敬語使用の傾向を明らかにした。これに加え、ジャワ語専門家に対するインタビュー調査を実施した。本

章では、この二回目と三回目の調査結果に分析を行った。

アンケートでは、高校生が年齢と地位が異なる相手と話す場面を設定し、丁寧さと敬意度の異なる 27 文例の中から普段自分が使う文体を選んでもらうという方法を用いた。結果は概ね大学生と同様で、規範的な敬語を使いこなせない高校生が多かった。しかし、都市部の高校生や大学生と比較すると、農村部の高校生の方がジャワ語の敬語を規範的に使いこなせる傾向があることが明らかになった。敬語運用能力の低下傾向は特に都市部の高校生に見られ、彼らは敬語を捨象した「丁寧ではない」ジャワ語を使用している。この背景には、家庭での使用言語や家庭環境が影響していると言える。また、丁寧ではないジャワ語は日常的に使用されているものの、地方語よりも公用語のインドネシア語や国際語（英語）を学ぶ方が将来の就職に有利などの理由で、若者はジャワ敬語から遠ざかっていることが分かった。高校生に対する実態調査の結果を分析することで、現代ジャワの若者におけるジャワ語敬語の使用状況を明らかにする。

3-2 大学生に対する調査

3-2-1 調査対象地域

ジョグジャカルタ特別州 Daerah Istimewa Yogyakarta (D. I. Yogyakarta) はインドネシア共和国の中部ジャワ *Jawa Tengah* の南岸に位置する州である。人口は約 350 万人で、面積は 3,185 km² である。この地域に住んでいるインドネシア人はほとんどがジャワ民族（約 90%）であるため、使用される言語はジャワ語とインドネシア語である。

ジョグジャカルタ特別州は 4 県と 1 市に分かれている。つまり、農村部のスレマン県 *Kabupaten Sleman*、バントウル県 *Kabupaten Bantul*、クロンプロゴ県 *Kabupaten Kulonprogo*、グヌンキドゥル県 *Kabupaten Gunung Kidul* と、都市部のジョグジャカルタ市 *Kota Yogyakarta* である。本論文の調査地は、この都市部のジョグジャカルタ市にあるガジャマダ大学である。



図 3-1 ジョグジャカルタ特別州

ガジャマダ国立大学 *Universitas Gadjah Mada* は、ジョグジャカルタ市に本部が置かれるインドネシアの有名な国立大学である。1949年に設置され、18の学部を持つ総合大学である。校名はマジャパヒト王国の宰相を務めたガジャマダに由来し、インドネシアでは最も高い水準を持つ大学だと知られている。そのため、全国からガジャマダ大学へ入学希望者が集まり、2007年から2010年までの各年の学生平均数は1万5千人である。全体の学生数からみれば、ジャワ人の学生が最も多く、学生の日常コミュニケーションの中では、ジャワ語が欠かせないものと言われている⁴⁷。

インドネシアでは、学校や大学、教育の場で行われている正式な授業や活動、教育上のやり取り、教育の実施は全てインドネシア語で行われているが、実際ジャワ人学生の間で行われる日常会話を見てみると、地方語のジャワ語がよく話されている。つまり、ジャワ人学生たちは学内でもジャワ語とインドネシア語を使い分けて会話をしている。

3-2-2 調査対象者

調査地はガジャマダ大学で、2013年2月20日から3月21日まで実施した。対象者は、人文学部ジャワ語学科などに在籍しているジャワ人学生245人（そのうち、ジョグジャカルタ出身の学生115人、その他の地域の出身の学生130人）と、ジャワ語専門家3人である（そのうち、2人はガジャマダ大学のジャワ語教員である。もう1人は、「JOGLO BEBANA」というジョグジャカルタ特別州バントウル県に位置するジャワ文学・文化財保護活動団体の持ち主である）。

3-2-3 調査方法（設問の内容と意図）

調査方法は、アンケート調査（全5問）である。アンケートでは、学生が相手と話す場面を作る（相手の年齢と地位を区別する）状況設定を行った。

アンケートの回答方法は、学生と専門家に対して取り方が異なる。学生に対しては、丁寧さと敬意度の異なるジャワ語で書かれた27文の中から、普段自分が使用する文体を選んでもらうという回答方法を用いた。一方、ジャワ語の専門家に対しては、丁寧さと敬意度の異なるジャワ語で書かれた27文の中から、規範的あるいは正しいと思っている文体のみを選んでもらい、それがなぜ規範的あるいは正しいかを説明してもらった。さらに学生と専門家いずれのアンケートを、複数回答可とした。

具体的には、下記のように設問の場面を設定した。

・場面①

⁴⁷ 2007年から2008年までは、ジョグジャカルタ出身の学生が一番多い（約23%）。しかし、2009年から2010年は、中部ジャワから来た学生が一番多く（約24%）、二番目に多いのはジョグジャカルタ出身の学生であった（23%）。

私はガジヤマダ大学人文学部の学生（18～22 歳）で、演劇部に入っている。定年を迎えるストモ先生の送別会がソロ市（隣町）で行われることになり、私はその会に招待された。また、私と親しくしている演劇部のコーチのヨヨさん（40 歳）と、学部長の秘書のラティさん（40 歳）も、その送別会に招待されている。

問1. 私はヨヨさんにソロ市へ行くかどうかを尋ねる。

問2. 私はラティさんに学部長がソロ市へ行くかどうかを尋ねる。

・場面②

その後、ヨヨさんは（私に）ソロ市へ行くかどうかを尋ねる。

問3. 私はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える。

i. 一人称「私」の代わりに「クロ」（K 語）で答える場合

ii. 一人称「私」の代わりに「アク」（N 語）で答える場合

・場面③

ヨヨさんと話している際、ストモ先生と親しい大先生、ハルディト先生（60 歳）が来た。私はハルディト先生の授業に出たことがあり、たまに相談もする。そこで、私はハルディト先生がソロ市で行われる送別会に出席するかどうかを尋ねる。また、私も送別会に出席することにしたということを先生に伝える。

問4. 私はハルディト先生にソロ市へ行くかどうかを尋ねる。

問5. 私はハルディト先生にソロ市へ行くことにすると伝える。

3-2-4 回答の分析と考察

ジャワ語の敬語使用の運用能力を実態のデータから明らかにする。アンケート調査の結果から分析を行う。より理解し易くするため、アンケートの分析は問4、問5、問1、問2、問3の順で行う。

3-2-4-1 問4の回答分析と考察

問4は、尊敬的表現の使用を測る設問となる。アンケートの「私はハルディト先生にソロ市へ行くかどうかをたずねる」は次の通りである。ハルディト先生は大先生、60 歳である。

各文体に使用する語彙の構成のバリエーションは次のようになる。

問4. 尊敬の用語の表現

私はハルデイト先生にソロ市へ行くかどうかを尋ねる。

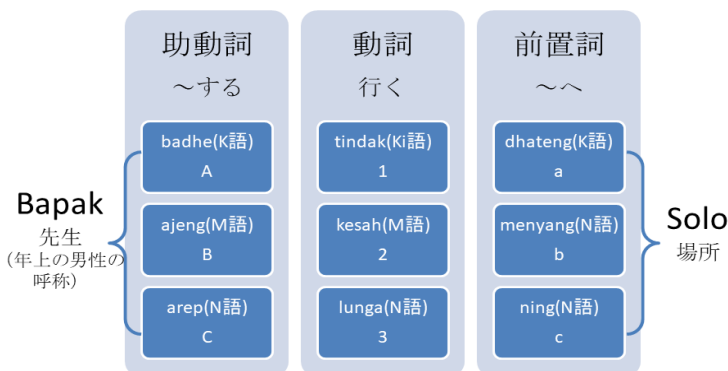


図 3-2 大学生 問 4 に使用する語彙構成のバリエーション⁴⁸

問4. 尊敬の表現の使用を測る設問 (私はハルデイト先生にソロ市へ行くかどうかを尋ねる)

問4	Saya bertanya kepada Bapak Hardito apakah beliau akan datang ke Solo. (私はハルデイト先生にソロ市へ行くかどうかを尋ねる。)					
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文体	コード
1	Bapak 先生 (年上の男性の 呼び名) NAME (appellation)	badhe(K) (A) ~なれます Will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Bapak badhe tindak dhateng Solo?先生はソロの方へいらっしゃいますか。	A 1 a
2			いらっしゃる go	menyang(N) (b)~へ to	Bapak badhe tindak menyang Solo?先生はソロへいらっしゃいますか。	A 1 b
3				ning(N) (c)~へ to	Bapak badhe tindak ning Solo?先生はソロへいらっしゃいますか。	A 1 c
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Bapak badhe kesah dhateng Solo?先生はソロの方へ行きますか。	A 2 a
5			参る・行く go	menyang(N) (b)~へ to	Bapak badhe kesah menyang Solo?先生はソロへ行きますか。	A 2 b
6				ning(N) (c)~へ to	Bapak badhe kesah ning Solo?先生はソロへ行きますか。	A 2 c
7			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Bapak badhe lunga dhateng Solo?先生はソロの方へ行くんですか。	A 3 a
8			行く go	menyang(N) (b)~へ to	Bapak badhe lunga menyang Solo?先生はソロへ行くんですか。	A 3 b
9				ning(N) (c)~へ to	Bapak badhe lunga ning Solo?先生はソロへ行くんですか。	A 3 c
10		ajeng(M) (B) ~します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Bapak ajeng tindak dhateng Solo?先生はソロの方へいらっしゃるのですか。	B 1 a
11			いらっしゃる go	menyang(N) (b)~へ to	Bapak ajeng tindak menyang Solo?先生はソロへいらっしゃるのですか。	B 1 b
12				ning(N) (c)~へ to	Bapak ajeng tindak ning Solo?先生はソロへいらっしゃるのですか。	B 1 c
13			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Bapak ajeng kesah dhateng Solo?先生はソロの方へ行くのですか。	B 2 a
14			参る・行く go	menyang(N) (b)~へ to	Bapak ajeng kesah menyang Solo?先生はソロへ行くのですか。	B 2 b
15				ning(N) (c)~へ to	Bapak ajeng kesah ning Solo?先生はソロへ行くのですか。	B 2 c
16			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Bapak ajeng lunga dhateng Solo?先生はソロの方へ行くのですか。	B 3 a
17			行く go	menyang(N) (b)~へ to	Bapak ajeng lunga menyang Solo?先生はソロへ行くのですか。	B 3 b
18				ning(N) (c)~へ to	Bapak ajeng lunga ning Solo?先生はソロへ行くのですか。	B 3 c
19		arep(N) (C) ~する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Bapak arep tindak dhateng Solo?先生はソロの方へいらっしゃるのか。	C 1 a
20			いらっしゃる go	menyang(N) (b)~へ to	Bapak arep tindak menyang Solo?先生はソロへいらっしゃるのか。	C 1 b
21				ning(N) (c)~へ to	Bapak arep tindak ning Solo?先生はソロへいらっしゃるのか。	C 1 c
22			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Bapak arep kesah dhateng Solo?先生はソロの方へ行くのか。	C 2 a
23			参る・行く go	menyang(N) (b)~へ to	Bapak arep kesah menyang Solo?先生はソロへ行くのか。	C 2 b
24				ning(N) (c)~へ to	Bapak arep kesah ning Solo?先生はソロへ行くのか。	C 2 c
25			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Bapak arep lunga dhateng Solo?先生はソロの方へ行くのか。	C 3 a
26			行く go	menyang(N) (b)~へ to	Bapak arep lunga menyang Solo?先生はソロへ行くのか。	C 3 b
27				ning(N) (c)~へ to	Bapak arep lunga ning Solo?先生はソロへ行くのか。	C 3 c

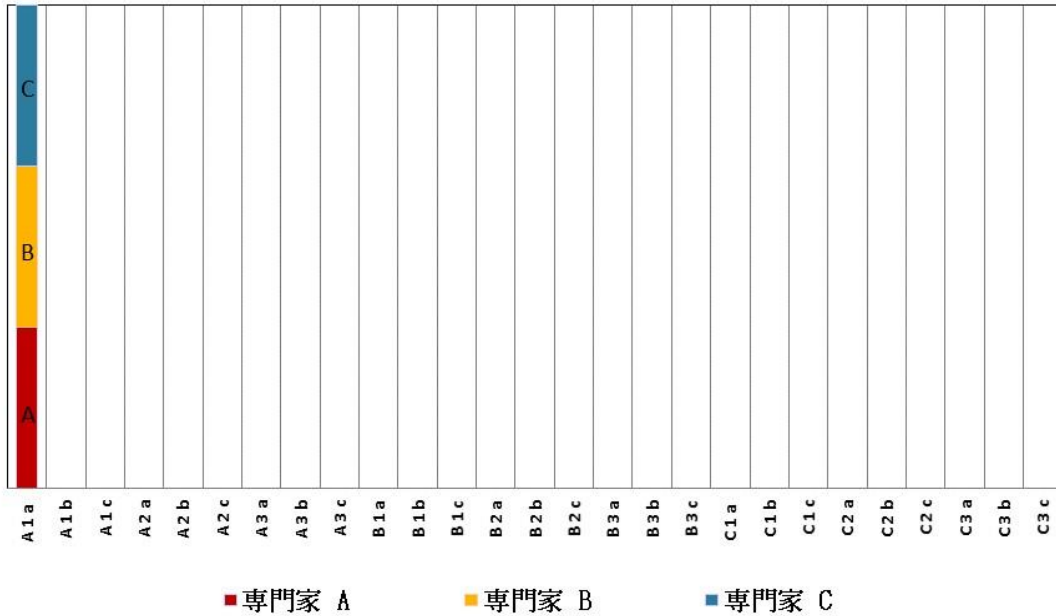
表 3-1 大学生 問 4 の設問 [27 文体のバリエーション]⁴⁹

まずは、ジャワ語専門家が敬語使用に「規範的」と判断した文体、つまり、正しいと思われる文体を選ぶ (複数回答可)。

⁴⁸ Menyang と Ning は、両方とも N 語類に属し、レベルも全く同様である。使い方は人によって異なるが、どちらかといえば、Ning の方が一般に使われているとジャワ語専門家 A が述べている。

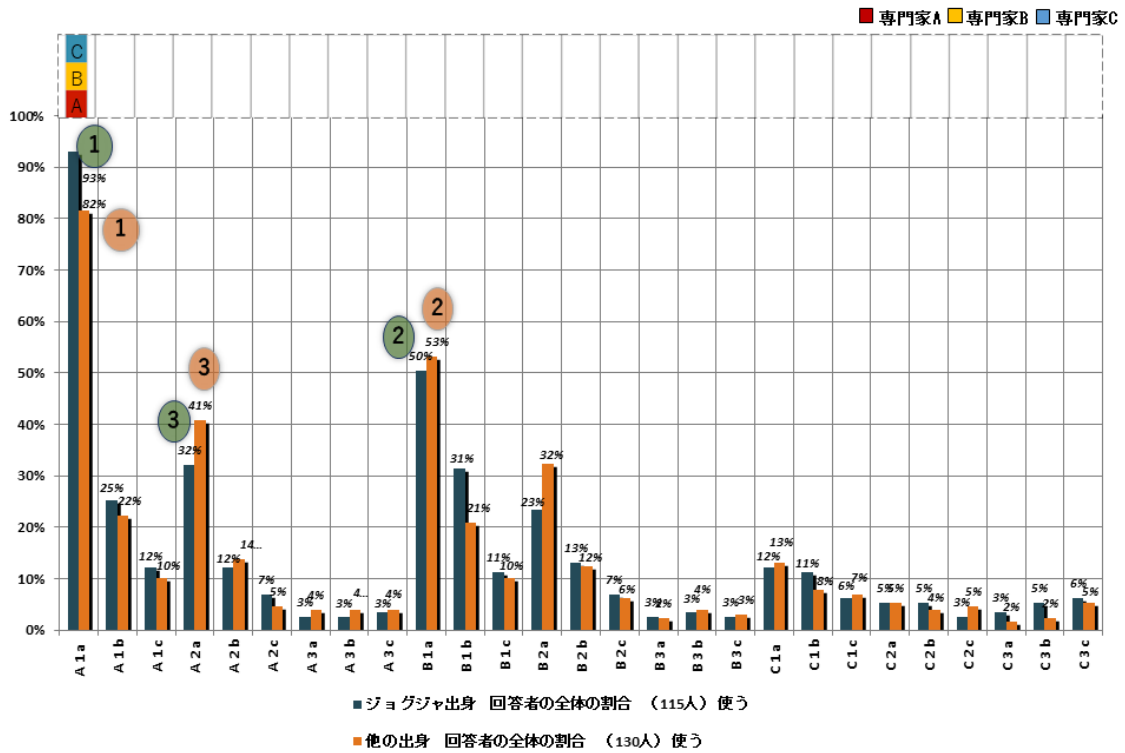
⁴⁹ 助動詞の badhe (K 語) は、文体によって役割が変わる。尊敬の用語であれば日本語の「なさいます」になるが、謙讓の用語であれば日本語の「致します」になる。

グラフ問4-1. ジャワ語専門家による規範的な文体



そして、専門家の回答と学生の回答に合わせて比較する。

グラフ問4-2. ジャワ語専門家と学生の回答比較



このデータから次のような点を指摘できる⁵⁰。

問4.大学生がよく使う回答の順位

①	A1a ○	Bapak (先生、～さん) NAME (appellation)	badhe (K) ～なさいます Will	tindak (Ki) いらっしゃる go	dhateng (K) ～の方へ to	Solo? (地名) PLACE	学生が 「使う」 88%
		先生は ソロ の方へ いらっしゃいますか。					
②	B1a ×	Bapak	ajeng (M) ～します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～の方へ	Solo?	52%
		先生は ソロ の方へ いらっしゃるのですか。					
③	A2a ×	Bapak	badhe (K) ～なさいます	kesah (M) 行く	dhateng (K) ～の方へ	Solo?	37%
		先生は ソロ の方へ 行きますか。					
④	B2a ×	Bapak	ajeng (M) ～します	kesah (M) 行く	dhateng (K) ～の方へ	Solo?	28%
		先生は ソロ の方へ 行くのですか。					
⑤	B1b ×	Bapak	ajeng (M) ～します	tindak (Ki) いらっしゃる	menyang(N) ～へ	Solo?	26%
		先生は ソロ へ いらっしゃるのですか。					

表 3-2 大学生 問4 の回答分析

注：

- = 3人の専門家全員が規範的であると判断した文体
- × = 3人の専門家全員が規範的ではないと判断した文体

まず、専門家が三人とも一致して、規範的だと示したのは次の文体である。

① A1a

Bapak badhe tindak dhateng Solo?

K Ki K

理由として、「相手は大先生で、歳の差も非常に大きい」、「敬意を最も表わすべき人なので、すべてクロモにしなければならない」と述べている。

専門家によると、ハルディト先生は敬うべき人で、遥かに年上のため、すべてをクロモで話さなければならないという。さらに、学生の年齢からすると、68歳というのは、経験が豊富で尊敬すべき年長者 *tiyang sepuh* としての意味も含むため、ここはすべてをクロモで

⁵⁰ ジョグジャカルタ出身と他の地域の出身の学生の回答の間に大きな差が見られなかったため、両回答の平均数を示した。

話さないと非常に失礼にあたる」と述べている。そのため、文体は最も丁寧なクロモ体を選び、語彙には K 語以上のレベルを使用する。相手の動作を表す動詞に関しては、敬意度を表すために、Ki 語の *tindak* が最も規範的だという。

すべてをクロモで話すべきなのに、B1a のように助動詞に *ajeng* (M 語) を使う学生が 5 割以上いた。学生たちの一部は、*ajeng* は M 語で、K 語ほど丁寧度は高くないが、相手を表す動詞が Ki 語の *tindak* であれば、文体としてそれなりの丁寧さを持っていると見なしている。さらに 4 割以上の学生が、相手の動作を M 語の *kesah* で表す A2a を選んでいる。この場面で、動詞に M 語の *kesah* を使ったら、敬語認識が低いと思われるのが仕方ない。それは、相手の行為を指す動詞は、必ず K 語にしなければいけないからである。尊敬すべき相手の行為を K 語にしないことは、相手に敬意を表さないことであり、最も避けなければならないことである。

つまり、規範的な文体、A1a を選んだ学生は 9 割近くで最も多かったが、ほかに B1a、A2a の文体を使用する学生が少なくないことが分かる。9 割以上の学生が規範的な文体を選択していることから敬意度を重視していることが分かるが、丁寧さの意味を誤解し、彼らなりに“十分丁寧”だと考える文体を妥当とする傾向も見られ、敬意度と丁寧さの使用認識が不十分であることが明らかとなった。

特にこの場面の相手は大先生のため、動詞をマディオにする選択肢はないはずだが、A2a と B2a のように使うという学生が 3~4 割もいた。一方、B1b の場合、動詞は K 語にして敬意を表わそうとしている印象は受けるが、前置詞を N 語に変換することによって、B1a と同じく、相手に対してより近い距離を求めている可能性が出てしまい、この場面では少し図々しく感じられてしまうと専門家は指摘する。

また、非常に驚くことに、問 4 の回答で、専門家が最も使ってはいけないと指摘した最も規範的ではない文体 C3c を使うと答えた学生がいることである。まず、C3c を見てみよう。

✖ C1c

Bapak arep lunga ning Solo?

N N N

この文体はすべてンゴコを使用している。語彙使用全体からみると、丁寧さも非常に低い。相手の動作に N 語の動詞 *lunga* を使っていることが非常に問題である。このような文体を使うと、相手に全く敬意を表さない態度となり、親しくしようとする印象もない。これでは、話し手はただの無礼者として見られる可能性が高い。

正しい A1a の回答率に比べて、C3a, b, c の回答率は少ないが、この設問からは、全く規範的ではない文体を使う学生がいることが分かった。これが現代のジャワ若者の敬語使用の状況であり、ジャワ語敬語に対する若者の認識が全般的に低下していることを示している。

3-2-4-2 問5の回答分析と考察

問5は、謙讓的表現の使用実態を測る設問である。アンケートの「私はハルディト先生にソロ市へ行くことにすると伝える」は次の通りである。ハルディト先生は大先生、60歳である。

各文体に使用する語彙の構成のバリエーションは次の通りである。

問5. 謙讓的用語の表現

私はハルディト先生にソロ市へ行くことにすると伝える。



図 3-3 大学生 問5に使用する語彙構成のバリエーション

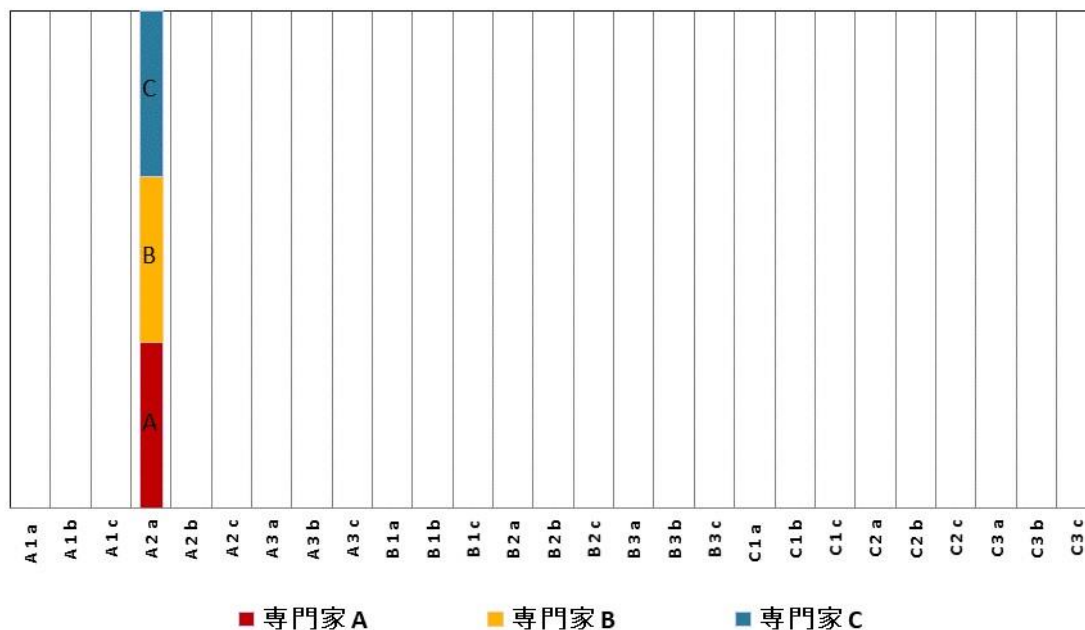
問5. 謙讓的表現の使用を測る設問(私はハルディト先生にソロ市へ行くことにすると伝える)

問5	Saya menjawab Pak Hardito, bahwa saya akan datang ke Solo. (私はハルディト先生にソロ市へ行くことにすると伝える。)					
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文例	コード
1	Kula 私 NAME (appellation)	badhe(K) (A) ~致します Will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula badhe tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃいます。	A 1 a
2			menyang(N) (b)~へ to	Kula badhe tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃいます。	A 1 b	
3			いらっしゃる go	ning(N) (c)~へ to	Kula badhe tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃいます。	A 1 c
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula badhe kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ参ります。	A 2 a
5			参る・行く go	menyang(N) (b)~へ to	Kula badhe kesah menyang Solo. 私はソロへ参ります。	A 2 b
6			ning(N) (c)~へ to	Kula badhe kesah ning Solo. 私はソロへ参ります。	A 2 c	
7			lunga (3)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula badhe lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行きます。	A 3 a
8			menyang(N) (b)~へ to	Kula badhe lunga menyang Solo. 私はソロへ行きます。	A 3 b	
9			行く go	ning(N) (c)~へ to	Kula badhe lunga ning Solo. 私はソロへ行きます。	A 3 c
10		ajeng(M) (B) ~します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula ajeng tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃるのです。	B 1 a
11			menyang(N) (b)~へ to	Kula ajeng tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃるのです。	B 1 b	
12			いらっしゃる go	ning(N) (c)~へ to	Kula ajeng tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃるのです。	B 1 c
13			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula ajeng kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ参るのです。	B 2 a
14			参る・行く go	menyang(N) (b)~へ to	Kula ajeng kesah menyang Solo. 私はソロへ参るのです。	B 2 b
15			ning(N) (c)~へ to	Kula ajeng kesah ning Solo. 私はソロへ参るのです。	B 2 c	
16			lunga (3)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula ajeng lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行きます。	B 3 a
17			menyang(N) (b)~へ to	Kula ajeng lunga menyang Solo. 私はソロへ行きます。	B 3 b	
18			行く go	ning(N) (c)~へ to	Kula ajeng lunga ning Solo. 私はソロへ行きます。	B 3 c
19		arep(N) (C) ~する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula arep tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃる。	C 1 a
20			menyang(N) (b)~へ to	Kula arep tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃる。	C 1 b	
21			いらっしゃる go	ning(N) (c)~へ to	Kula arep tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃる。	C 1 c
22			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula arep kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ参る。	C 2 a
23			参る・行く go	menyang(N) (b)~へ to	Kula arep kesah menyang Solo. 私はソロへ参る。	C 2 b
24			ning(N) (c)~へ to	Kula arep kesah ning Solo. 私はソロへ参る。	C 2 c	
25			lunga (3)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula arep lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行きます。	C 3 a
26			menyang(N) (b)~へ to	Kula arep lunga menyang Solo. 私はソロへ行きます。	C 3 b	
27			行く go	ning(N) (c)~へ to	Kula arep lunga ning Solo. 私はソロへ行きます。	C 3 c

表 3-3 大学生 問5の設問 [27 文体のバリエーション]

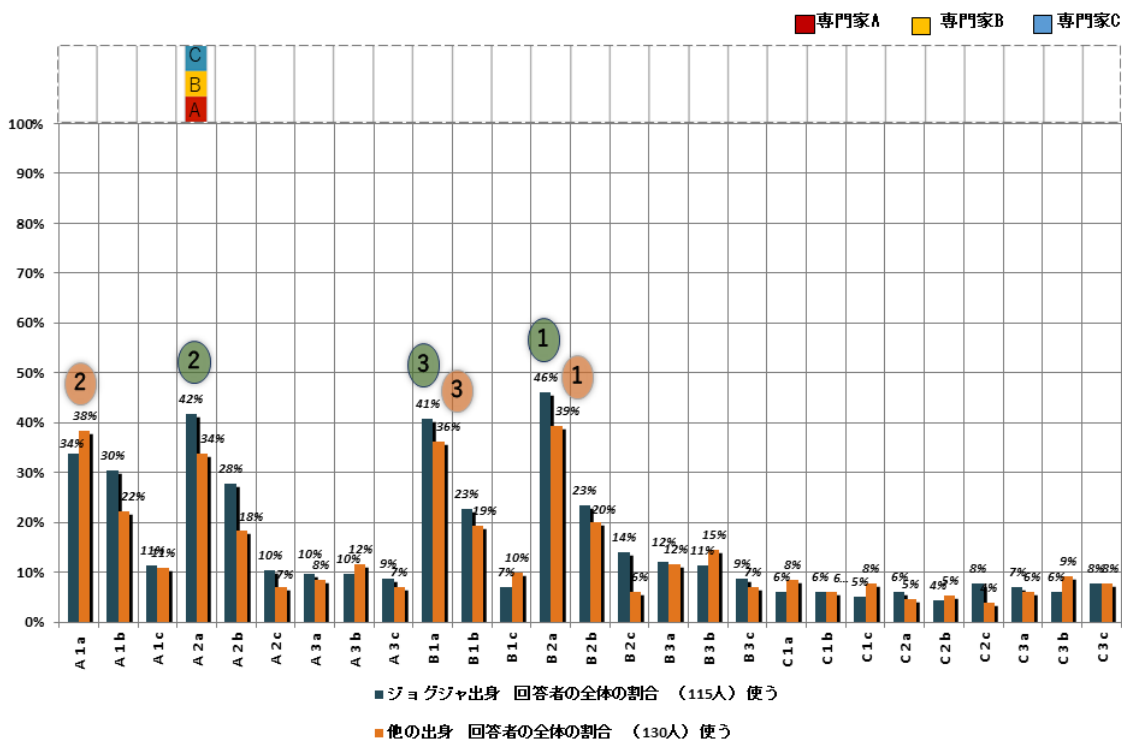
3人のジャワ語専門家が「規範的」と判断した文体（複数回答可）は次の通りである。

グラフ問5-1. ジャワ語専門家による規範的な文体



そして、専門家の回答と学生の回答に合わせて比較する。

グラフ問5-2. ジャワ語専門家と学生の回答比較



このデータから次の点を指摘できる⁵¹。

問5.大学生がよく使う回答の順位

② ▲	A2a ○	Kula 私 (丁寧な語) NAME (appellation)	badhe (K) ~致します will	kesah (M) 参る・行く go	dhateng (K) ~(の方)へ to	Solo. (地名) PLACE	学生が「使う」 42%, 38% (40%)
	A1a ×		badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ		
		私は ソロ の方へ 参ります。(ジョグジャ出身) 私は ソロ の方へ いらっしゃいます。(他出身)					
①	B2a ×	Kula	ajeng (M) ~します	kesah (M) 参る・行く	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo?	43%
	私は ソロ の方へ 参るのです。						
③	B1a ×	Kula	ajeng (M) ~します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo?	39%
	私は ソロ の方へ いらっしゃるのです。						
④ ▲	A1a ×	Kula	badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo?	34%, 34% (34%)
	A2a ○		badhe (K) ~致します	kesah (M) 参る・行く	dhateng (K) ~(の方)へ		
		私はソロの方へいらっしゃいます。(ジョグジャ出身) 私は ソロ の方へ 参ります。(他出身)					
⑤	A1b ×	Kula	badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしゃる	menyang(N) ~へ	Solo?	26%
	私は ソロ へ いらっしゃいます。						

表 3-4 大学生 問5 の回答分析

注⁵²：

- = 3人の専門家全員が規範的であると判断した文体
- × = 3人の専門家全員が規範的ではないと判断した文体

この設問に対して、専門家は全員一致で①の規範的な敬語のパターンのみを選んだ。

②A2a

Kula badhe kesah dhateng Solo.

K M K

専門家によれば、問5では、自分の行為を相手に伝える、つまり、文体中に使われる動詞は自分の行為を示す動詞のため、動詞に敬意を表わしてはいけないという。相手は大先生で、

⁵¹ ジョグジャカルタ出身と他州の出身の学生の回答の間に大きな差が見られなかったため、両回答の平均数を示した。

⁵² ▲を付けると、その文体にはジョグジャカルタ出身と他州出身、それぞれの回答率を公表するという。

歳の差も大きく敬意を表すべき人なので、丁寧さの伝えるために本来は文体がすべてをクロモにしなければならない⁵³。主語（一人称）の「私」にも、丁寧な語彙の K 語 *Kula* を使用しなければならない。それに伴い、自分の動作を示す動詞のレベルを下げて、M 語の *kesah* を使用しなければならないという。つまり、最も規範的で正しい文体は A2a となる。

専門家は、規範的で文体として正しいのは、A2a のみであると述べる。ジャワ語では年齢が自分より上、さらに地位のある人に対して物事を伝えるとき、自分の行為を指す動詞を敬語にしてはならない。これは最も基本的な規則の一つである。

次に学生たちの回答をみていくと、最も規範的な文体の A2a を選んだ学生の割合は、B2a を選んだ学生より少なく 38%であった。実際 B2a のように、自分の行為を表す動詞を敬語にしてはいけないことを理解していたとしても、違うところで敬語の誤使用が出てしまう場合がある。B2a は最も多い 43%の学生が選んだ回答であるが、この文体に微妙な使用ミスがある。

①B2a

Kula ajeng kesah dhateng Solo

M M K

B2a を選択した学生は *ajeng* (M 語) の使い方をあまり理解していないと考えられる。つまり、敬意を表わすことと丁寧に伝えることを混合する傾向がある。専門家は、相手が大先生でしかも 68 歳であるということは、相手により高い敬意を表わす敬語を使用しなければならないと述べている。しかし、学生は次のように誤解していると推測できる。第一に、助動詞の *ajeng* も自分を指すので、敬語にしてはいけないと思っていること、第二に、助動詞の *ajeng* が M 語として十分に丁寧さが伝わると理解している。このような誤解から、B2a が学生に最も選ばれたと推測できる。結果的に、最も規範的な文体 A2a を選んだ学生が 38%、最も選ばれた文体 B2a を選んだ学生が 43%であった。両方とも動詞は M 語の *kesah* にして、自分を高めてはいけないことを 4 割ほどの学生らが理解していることが分かる。

その一方で、自分のことを指して Ki 語の *tindak* を使用する学生も少なくないことが分かった。*tindak* を使う B1a と A1a を選んだ学生が 4 割の近くいる。つまり、これらを選んだ学生は、このような自分と相手による使い分けを十分に理解できていないといえるだろう。相手が自分より上だとわかって、誰が行為を行うかという点を無視して、B1a と A1a のように、文体全てを敬語にするか、不注意に動詞を敬語にする傾向がある。

専門家 A は、自分の行為を指す動詞を Ki 語の *tindak* にすることは、相手に対して失礼にあたる行為とみなされ、それゆえ品位に欠ける（しつけを教わっていない）人というイメージが付いていても仕方がないと述べる。このような場面は現代ジャワの若者に多く見

⁵³ このことについて Sasangka も主張している。つまり、自分を高めてはいけないため、自分の行為を表す動詞に K 語以上を使ってはいけない (2004:38-39)。

られる。このように誤って敬語を使用した学生は、ジャワ語の教育をきちんと受けていない者と見なされる。さらに、専門家 A と B は、相手に敬意を表すのは主に動詞で決めて、丁寧さを表すのは助動詞が多いが、必ずそうであるとは限らないと述べているが、学生の多くはこのように敬意度と丁寧さを表してしまうようである。

3-2-4-3 問1 の回答分析と考察

問1も、尊敬的表現の使用実態を測る設問である。相手との距離によって尊敬的表現の変化を測る。アンケートの「私はヨヨさんにソロ市へ行くかどうかをたずねる」は次の通りである。ヨヨさんは演劇部のコーチ、私と仲良しの40歳である(問1からは、語彙の構成のバリエーションを省略する)

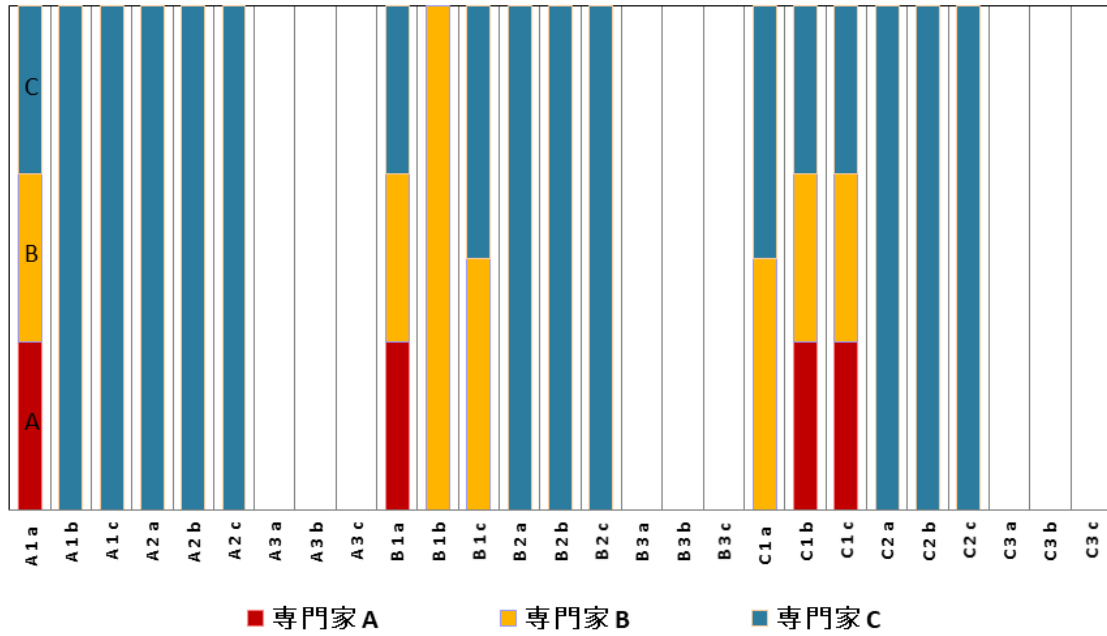
問1.尊敬的表現の使用を測る設問(私はヨヨさんにソロ市へ行くかどうかを尋ねる)

問1	Saya bertanya kepada Mas Yoyok apakah akan datang ke Solo. (私はヨヨさんにソロ市へ行くかどうかを尋ねる。)							
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文体	コード		
1	Mas (年上の男性の 呼び名、～さん) NAME (appellation)	badhe(K) (A) ～なさいます/ 致します	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas badhe tindak dhateng Solo?ヨヨさんはソロ市の方へいらっしゃいますか。	A 1 a		
2			menyang(N) (b)-へ to	Mas badhe tindak menyang Solo??ヨヨさんはソロ市へいらっしゃいますか。	A 1 b			
3			いらっしゃる go	ning(N) (c)-へ to	Mas badhe tindak ning Solo?ヨヨさんはソロ市へいらっしゃいますか。	A 1 c		
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas badhe kesah dhateng Solo?ヨヨさんはソロ市の方へ行きますか。	A 2 a		
5				menyang(N) (b)-へ to	Mas badhe kesah menyang Solo?ヨヨさんはソロ市へ行きますか。	A 2 b		
6				多る-行く go	ning(N) (c)-へ to	Mas badhe kesah ning Solo?ヨヨさんはソロ市へ行きますか。	A 2 c	
7			will	lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas badhe lunga dhateng Solo?ヨヨさんはソロ市の方へ行くんですが。	A 3 a	
8					menyang(N) (b)-へ to	Mas badhe lunga menyang Solo?ヨヨさんはソロ市へ行くんですが。	A 3 b	
9					行く go	ning(N) (c)-へ to	Mas badhe lunga ning Solo?ヨヨさんはソロ市へ行くんですが。	A 3 c
10		Mas (年上の男性の 呼び名、～さん) NAME (appellation)	ajeng(M) (B) ～します	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas ajeng tindak dhateng Solo?ヨヨさんはソロ市の方へいらっしゃるのですか。	B 1 a	
11				menyang(N) (b)-へ to	Mas ajeng tindak menyang Solo?ヨヨさんはソロ市へいらっしゃるのですか。	B 1 b		
12				いらっしゃる go	ning(N) (c)-へ to	Mas ajeng tindak ning Solo?ヨヨさんはソロ市へいらっしゃるのですか。	B 1 c	
13				kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas ajeng kesah dhateng Solo?ヨヨさんはソロ市の方へ行くのですか。	B 2 a	
14					menyang(N) (b)-へ to	Mas ajeng kesah menyang Solo?ヨヨさんはソロ市へ行くのですか。	B 2 b	
15					多る-行く go	ning(N) (c)-へ to	Mas ajeng kesah ning Solo?ヨヨさんはソロ市へ行くのですか。	B 2 c
16				will	lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas ajeng lunga dhateng Solo?ヨヨさんはソロ市の方へ行くんですが。	B 3 a
17						menyang(N) (b)-へ to	Mas ajeng lunga menyang Solo?ヨヨさんはソロ市へ行くんですが。	B 3 b
18						行く go	ning(N) (c)-へ to	Mas ajeng lunga ning Solo?ヨヨさんはソロ市へ行くんですが。
19		Mas (年上の男性の 呼び名、～さん) NAME (appellation)	arep(N) (C) ～する	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas arep tindak dhateng Solo?ヨヨさんはソロ市の方へいらっしゃるのか。	C 1 a	
20				menyang(N) (b)-へ to	Mas arep tindak menyang Solo?ヨヨさんはソロ市へいらっしゃるのか。	C 1 b		
21				いらっしゃる go	ning(N) (c)-へ to	Mas arep tindak ning Solo?ヨヨさんはソロ市へいらっしゃるのか。	C 1 c	
22				kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas arep kesah dhateng Solo?ヨヨさんはソロ市の方へ行くのか。	C 2 a	
23					menyang(N) (b)-へ to	Mas arep kesah menyang Solo?ヨヨさんはソロ市へ行くのか。	C 2 b	
24					多る-行く go	ning(N) (c)-へ to	Mas arep kesah ning Solo?ヨヨさんはソロ市へ行くのか。	C 2 c
25				will	lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas areplunga dhateng Solo?ヨヨさんはソロ市の方へ行くのか。	C 3 a
26						menyang(N) (b)-へ to	Mas areplunga menyang Solo?ヨヨさんはソロ市へ行くのか。	C 3 b
27						行く go	ning(N) (c)-へ to	Mas areplunga ning Solo?ヨヨさんはソロ市へ行くのか。

表 3-5 大学生 問1 の設問 [27 文体のバリエーション]

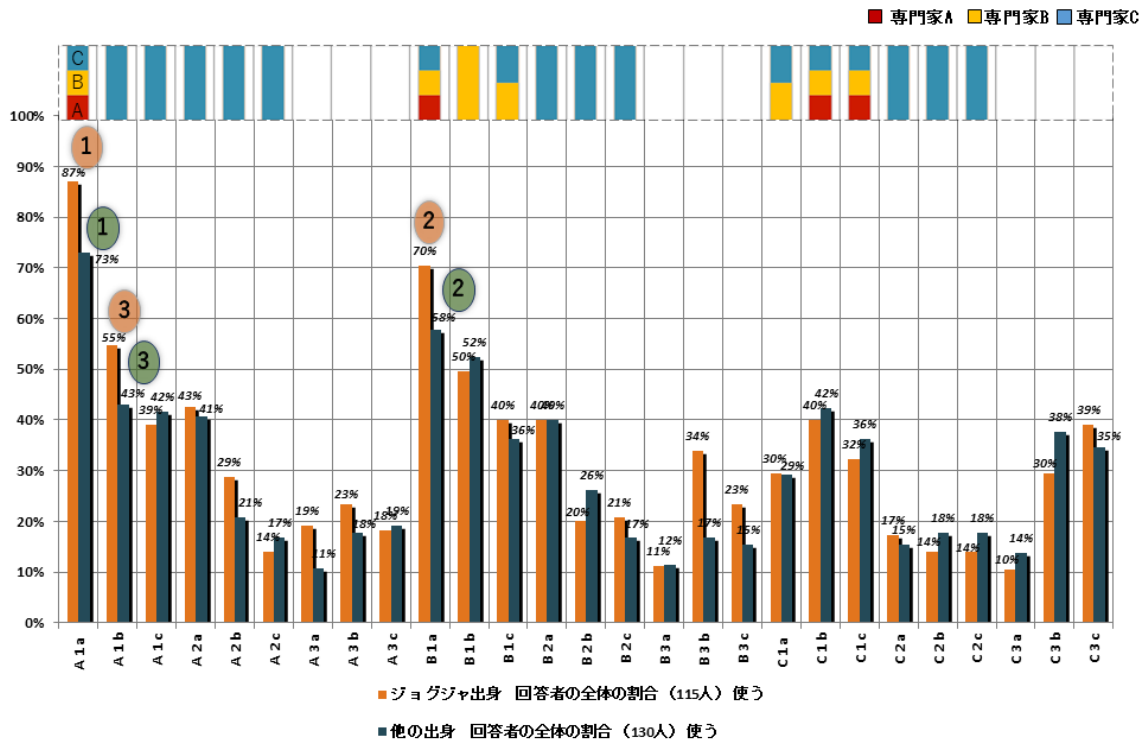
3人のジャワ語専門家が「規範的」と判断した文体(複数回答可)は次の通りである。

グラフ問1-1. ジャワ語専門家による規範的な文体



そして、専門家の回答と学生の回答に合わせて比較する。

グラフ問1-2. ジャワ語専門家と学生の回答比較



このデータから、次のように分析できる。

問1.大学生がよく使う回答の順位

①	A1a ○	Mas, (年上男性の 呼称、~さん) NAME (appellation)	badhe (K) ~なさいます will	tindak (Ki) いらっしゃる go	dhateng (K) ~(の方)へ to	Solo? (地名) PLACE	学生が 「使う」 83%
ヨヨさんは ソロ の方 へ いらっしゃいますか。							
②	B1a ○	Mas,	ajeng(M) ~します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo?	64%
ヨヨさんは ソロ の方 へ いらっしゃるのですか。							
③	C1c, C1b ○	Mas,	arep(N) ~する	tindak (Ki) いらっしゃる	ning (N), ^^ menyang (N) ^^	Solo?	41%, 34%
ヨヨさんは ソロ へ いらっしゃるのか。							
④	B1b, A1b (1)	Mas,	ajeng(M) ~します badhe (K) ~なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	menyang (N) ^^	Solo?	51%, 49%
ヨヨさんは ソロ へ いらっしゃるのですか。 ヨヨさんは ソロ へ いらっしゃいますか。							
⑤	C1c ×	Mas,	arep(N) ~する	lunga(N) ~行く	menyang (N) ^^	Solo?	38%
ヨヨさんは ソロ へ 行くの。							
⑥	C1b ×	Mas,	arep(N) ~する	lunga(N) ~行く	ning (N) ^^	Solo?	34%
ヨヨさんは ソロ へ 行くの。							

表 3-6 大学生 問1 の回答分析

注：

- = 3人の専門家全員が規範的であると判断した文体
- (1) = 1人の専門家全員が規範的であると判断した文体
- × = 3人の専門家全員が規範的ではないと判断した文体

この設問に対して、専門家の回答にはばらつきが見られる。三人が一致して規範的であるとして選択した文体は、27文のうち4つ（A1a, B1a, C1b, C1c）もあった。また、専門家BとCは一致して、さらに2つ（B1c, C1a）の文体を規範的であると選択している。最後に、専門家Cのみ、B1bの文体も使用すると回答した。また、専門家によって説明も微妙に異なった。ヨヨさん（40歳）は年齢や地位も自分より上だが、ストモ先生とハルディト先生に比べて、自分との歳の差がそこまで大きくなく、さらにヨヨさんとは親しい仲である。その関係性をいかに考慮するか、各専門家は異なる見解を持っているため、回答にバリエーションが見られた。

専門家が選択した4つの規範的な回答は次の通りである。

①A 1 a

Mas badhe tindak dhateng Solo?

K Ki K

②B 1 a

Mas ajeng tindak dhateng Solo?

M Ki K

③(1) C 1 b

Mas arep tindak menyang Solo?

N Ki N

③(2) C 1 c

Mas arep tindak ning Solo?

N Ki N

一方、C 1 b と C 1 c の場合では、また印象が異なってくる。

③(1) C 1 b

Mas arep tindak menyang Solo?

N Ki N

③(2) C 1 c

Mas arep tindak ning Solo?

N Ki N

専門家 A は、このような文体は、敬意を表しながら親しい関係を重視したいときに使われる最も適切な文体であると指摘した。動詞以外、つまり、助動詞と前置詞を N 語にすることによって、文全体が柔らかくなり、敬意を表わしながら緊張をほぐすような言い方として見ることができると、専門家 A と C は述べている。N 語を使うと、丁寧ではないと考えられるかもしれないが、動詞ではしっかりと相手を敬うことを示す。つまり、コーチに対する甘えや、近い距離でいたいという印象を与えることができる。

B1a, C1b, C1c の丁寧さは、A1a ほど高くはないが、動詞に敬意を表している。そのため、本来の規範的な文体は A1a だが、B1a, C1b, C1c は許容される文体としても成り立つ。学生の回答からは 3~4 割がこの認識を支持していることが分かる。

また、注目すべき点は下記の点である。

④ C 3 c

Mas arep lunga menyang Solo?

N N N

⑤ C 3 b

Mas arep lunga ning Solo?

N N N

この選択肢を選んだ学生は4割近くいるが、専門家三人は、この表現は規範的ではなく、無礼な伝え方なので、このように伝えてはいけなくと強く主張している。コーチは、どんなに自分と親しくても、自分を指導する年上の立場であるため、少なくとも動詞で敬意を表わすべきだという。しかし、データからみると、最も選んではいけない文体であるにもかかわらず、選んだ学生らは4割近くにのぼる。ここから、敬意よりむしろ親しい関係を重視したい学生が増えているという傾向があることが分かる。

このデータからは、ジャワ人の学生は問4の回答と同じく、年上の人に対してはすべてをクロモに使用しなければいけないことを概ね理解しているといえる。問4の回答を振り返ってみると、大先生に対する文体として最も選ばれた回答はすべてをクロモにするA1a (88%)だったが、今回の問1も同じく最も選ばれたのはA1a (83%)である。指摘すべきなのは、問4は大先生に対する答えのため、すべてをクロモにする必要性が問1の仲良しのコーチに比べて、より高くなっている。一方、問4では、最も使っていけない文体のC3b (4%)、C3c (5%)を選んだ学生が非常に低いが、問1ではC3b (34%)、C3c (36%)を選んだ学生が4割近くにのぼり、問4の回答に比べて非常に多い。この差異は、相手が大先生か仲の良いコーチかによる。

学生たちの回答からは、相手が大先生であればすべてをクロモにすべきだが、親しいコーチであれば親しみを表したいという気持ちが垣間見える。結果を分析すると、学生たちは、コーチに対しすべてをクロモにするほか、親しみ(近距離)のある文体として、助動詞と前置詞を丁寧度の低いN語にして、敬意度を表す動詞は最もレベルの高いKi語の *tindak*(C3b, C3c) 使用する傾向がある。また、コーチに対する親しみのみを表現するようなC3b, C3cを使用する学生も多くみられたが、どれほど親しくともこれは文体として規範的ではなく、無礼な伝え方とされている。4割程度の学生が、C3cとC3bの文体は絶対に使ってはいけないという認識をもっていないといえるだろう。この可能性として次の二点が浮かび上がる。1) 敬語認識がなく、相手に対する敬語の使い分けが分からない学生が増えている、2) 敬語認識をある程度持っているとしても、相手に親しみを重視する学生が増えている。

3-2-4-4 問2の回答分析と考察

問2は、話題の人物に対する尊敬的表現を測る設問である。「私はラティさんに学部長がソロ市へ行くかどうかを尋ねる」は次の通りである。ラティさんは学部長の秘書、私との関係は未提示、40歳である。

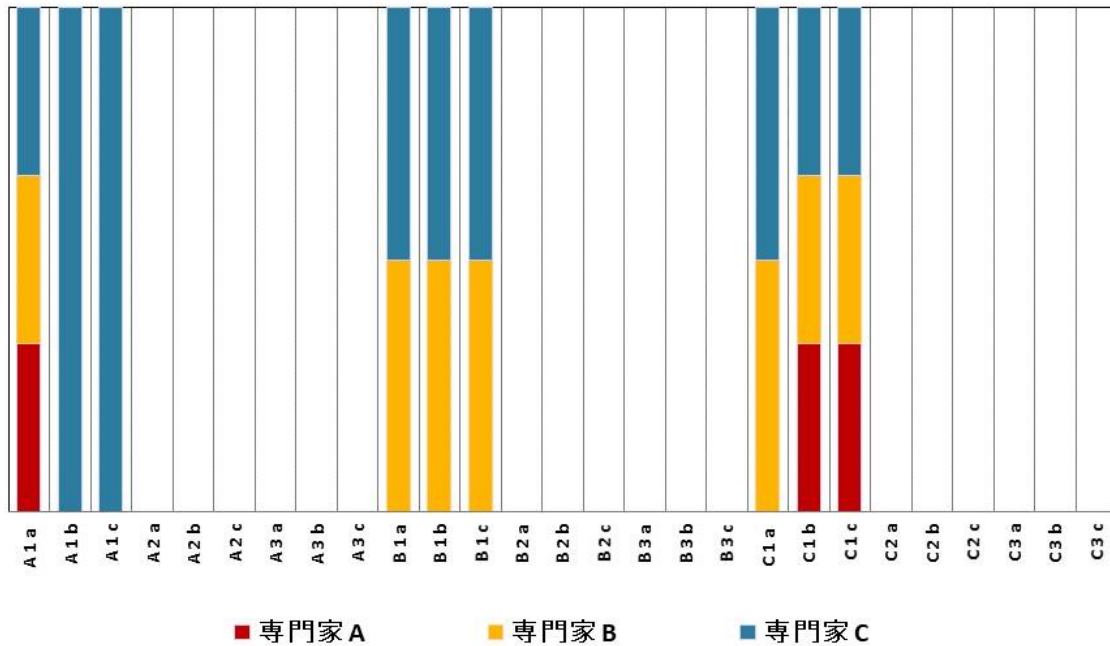
問2. 話題人物に対する尊敬的表現を測る設問(私はラティさんに学部長がソロ市へ行くかどうかを尋ねる)

問2	Saya bertanya kepada Mbak Ratih apakah Pak Dekan akan datang ke Solo. (私はラティさんに学部長がソロ市へ行くかどうかを尋ねる。)						
番号	主語	助動詞	動詞	新設詞	文体	コード	
1	Mbak (年上の女性の 呼び名、～さん) NAME (appellation)	badhe(K) (A) ～なれます will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)～の方へ to	Mbak, Pak Dekan badhe tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃいますか。	A 1 a	
2				menyang(N) (b)～へ to	Mbak, Pak Dekan badhe tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃいますか。	A 1 b	
3				いらっしゃる go	ning(N) (c)～へ to	Mbak, Pak Dekan badhe tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃいますか。	A 1 c
4				kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)～の方へ to	Mbak, Pak Dekan badhe kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行きますか。	A 2 a
5					menyang(N) (b)～へ to	Mbak, Pak Dekan badhe kesah menyang Solo? 先生はソロへ行きますか。	A 2 b
6					ning(N) (c)～へ to	Mbak, Pak Dekan badhe kesah ning Solo? 先生はソロへ行きますか。	A 2 c
7				lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)～の方へ to	Mbak, Pak Dekan badhe lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くんですか。	A 3 a
8					menyang(N) (b)～へ to	Mbak, Pak Dekan badhe lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くんですか。	A 3 b
9					行く go	ning(N) (c)～へ to	Mbak, Pak Dekan badhe lunga ning Solo? 先生はソロへ行くんですか。
10			ajeng(M) (B) ～します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)～の方へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃるのですか。	B 1 a
11					menyang(N) (b)～へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃるのですか。	B 1 b
12				いらっしゃる go	ning(N) (c)～へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃるのですか。	B 1 c
13				kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)～の方へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くのですか。	B 2 a
14					menyang(N) (b)～へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng kesah menyang Solo? 先生はソロへ行くのですか。	B 2 b
15					多る・行く go	ning(N) (c)～へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng kesah ning Solo? 先生はソロへ行くのですか。
16				lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)～の方へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くんですか。	B 3 a
17					menyang(N) (b)～へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くんですか。	B 3 b
18					行く go	ning(N) (c)～へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng lunga ning Solo? 先生はソロへ行くんですか。
19			arep(N) (C) ～する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)～の方へ to	Mbak, Pak Dekan arep tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃるのか。	C 1 a
20					menyang(N) (b)～へ to	Mbak, Pak Dekan arep tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃるのか。	C 1 b
21				いらっしゃる go	ning(N) (c)～へ to	Mbak, Pak Dekan arep tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃるのか。	C 1 c
22				kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)～の方へ to	Mbak, Pak Dekan arep kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くのか。	C 2 a
23					menyang(N) (b)～へ to	Mbak, Pak Dekan arep kesah menyang Solo? 先生はソロへ行くのか。	C 2 b
24					多る・行く go	ning(N) (c)～へ to	Mbak, Pak Dekan arep kesah ning Solo? 先生はソロへ行くのか。
25				lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)～の方へ to	Mbak, Pak Dekan arep lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くのか。	C 3 a
26					menyang(N) (b)～へ to	Mbak, Pak Dekan arep lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くのか。	C 3 b
27					行く go	ning(N) (c)～へ to	Mbak, Pak Dekan arep lunga ning Solo? 先生はソロへ行くのか。

表 3-7 大学生 問2の設問 [27 文体のバリエーション]

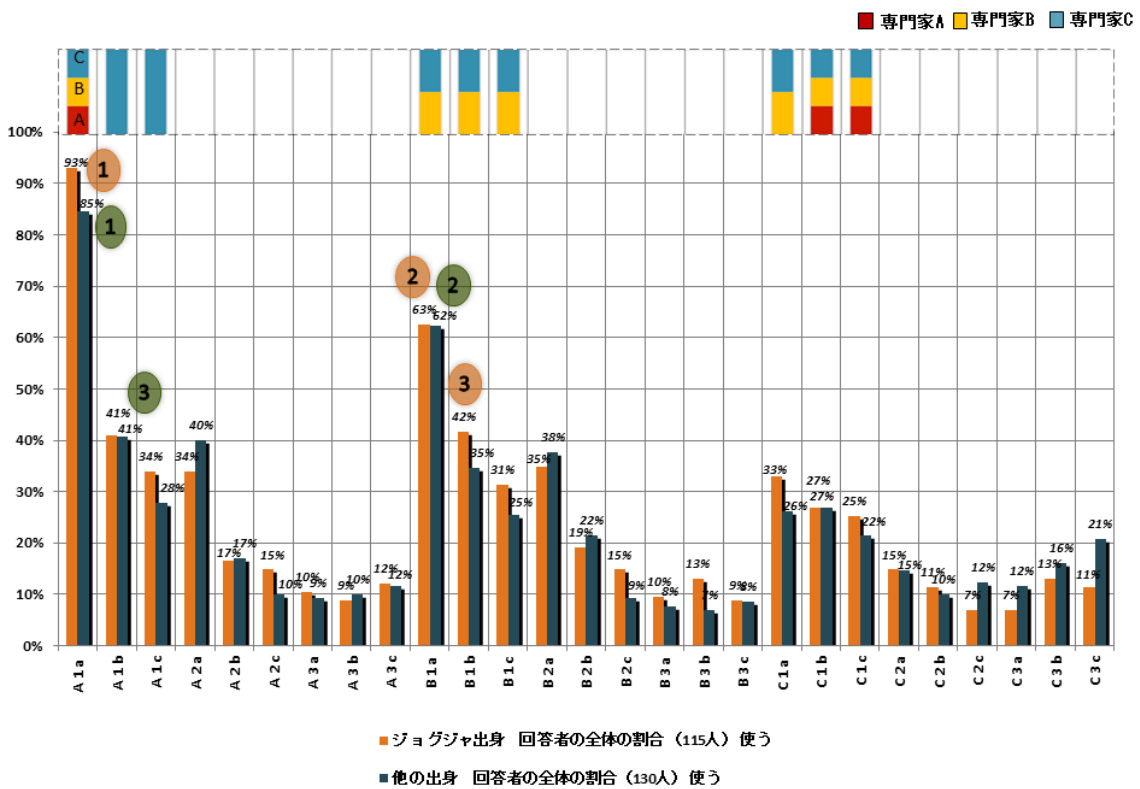
3人のジャワ語専門家が「規範的」と判断した文体(複数回答可)は次の通りである。

グラフ問2-1. ジャワ語専門家による規範的な文体



そして、専門家の回答と学生の回答に合わせて比較する。

グラフ問2-2. ジャワ語専門家と学生の回答比較



このデータから、次のように分析できる。

問2.大学生がよく使う回答の順位

①	A1a ○	Mbak, (年上女性の 呼称、~さん) NAME (appellation)	Pak Dekan (学部長、 ~さん) NAME (appellation)	badhe (K) ~なさいます will	tindak (Ki) いらっしゃる go	dhateng (K) ~(の方)へ to	Solo? (地名) PLACE	学生が 「使う」 89%
ラティさん、学部長は ソロの 方へ いらっしゃいますか。								
②	C1b, C1c ○	Mbak,	Pak Dekan	arep(N) ~する	tindak (Ki) いらっしゃる	menyang(N) ~へ ning (N) ~へ	Solo?	27%, 24%
ラティさん、学部長は ソロ へ いらっしゃるのか。								
③	B1a (2)	Mbak,	Pak Dekan	ajeng(M) ~します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo?	63%
ラティさん、学部長は ソロの方 へ いらっしゃるのですか。								
④	B1b (2), A1b (1)	Mbak,	Pak Dekan	ajeng(M) ~します badhe (K) ~なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	menyang(N) ~へ	Solo?	39%, 41%
ラティさん、学部長は ソロ へ いらっしゃるのですか。 ラティさん、学部長は ソロ へ いらっしゃいますか。								
⑤	C3c, C3b ×	Mbak,	Pak Dekan	arep(N) ~する	lunga(N) ~行く	ning (N) ~へ menyang(N) ~へ	Solo?	16%, 15%
ラティさん、学部長は ソロ へ 行くの。								

表 3-8 大学生 問2 の回答分析

注：

- = 3人の専門家全員が規範的であると判断した文体
- (2) = 2人の専門家全員が規範的であると判断した文体
- (1) = 1人の専門家全員が規範的であると判断した文体
- × = 3人の専門家全員が規範的ではないと判断した文体

この設問でも、専門家の回答にばらつきが見られる。三人が一致して規範的であると選択した文体は27文のうち、3つ (A1a, C1b, C1c) であった。そして、専門家BとCは一致してさらに4つ (B1a, B1b, B1c, C1a) の文体を規範的であると選んだ。また、専門家Cのみ、2つ (A1b, A1c) の文体も選択した。この文体に関しても問1と同じく、専門家によって説明が微妙に異なった。二人者の相手(聞き手)と三人者の学部長 Pak Dekan (年齢非提示) が一つの文体に出てくるからである。

ポイントは、1) 学部長の年齢は非提示だが、学部の中で一番上の立場にあり、高い地位のある者である。話し相手ではなくても敬意を表すのが当然とされる。2) 相手のラティさ

んは学部長の秘書、年齢はヨヨさんと同等で40歳だが、自分との関係性は説明されていない。この状況から各専門家はどのような見解を持っているのか、回答のバリエーションを見てみよう。

専門家による3つの規範的な回答は次の通りである。

① A1a

Mbak, Pak Dekan badhe tindak dhateng Solo?

K Ki K

② (1)C1b

Mbak, Pak Dekan arep tindak menyang Solo?

N Ki N

③ (2) C1c

Mbak, Pak Dekan arep tindak ning Solo?

N Ki N

A1aは、ラティさんと学部長両方に敬意を表す文体である。そのため、すべてクロモを使用している。また、専門家がC1bとC1cを選んだポイントは、この文体の焦点が学部長のPak Dekanであることだという。学部長に敬意を表すことが最も重要であるため、秘書に対して、助動詞と前置詞にN語を使用しても失礼にはならないと述べる。秘書も自分の立ち位置をわかまえているので、社会的なマナーとして学部長の顔を立てながら秘書に尋ねる文体としては適切だと述べている。

つづいて、学生の回答をみていこう。学生が最も選んだ回答は専門家と同じく、A1aで89%であったが、他に専門家が規範的としたC1bとC1cの文体を選んだ学生の割合は意外と少ない。学生が選んだ文体は下記の通りである。

④ A1a

Mbak, Pak Dekan badhe tindak dhateng Solo?

K Ki K

⑤ B1a

Mbak, Pak Dekan ajeng tindak dhateng Solo?

M Ki K

⑥ A1b

Mbak, Pak Dekan badhe tindak menyang Solo?

K Ki N

⑦ B1b

Mbak, Pak Dekan ajeng tindak menyang Solo?

M Ki N

学生のうち、A1a (89%) の次に多かったのは、B1a (63%) である。B1a では助動詞が M 語、動詞は Ki 語、前置詞は K 語である。専門家 B と C も、この文体は規範的と見なしても良いと述べ、許容るところがある。専門家 A によると、助動詞を M 語にするのは秘書に対して中途半端な敬意の表し方になってしまうという。秘書と親しければ、C1b と C1c は適切だが、そうでなければ、すべてをクロモにした方が適切であると述べる。

同じパターンは、A1b (41%) にも見られる。専門家 C は、ただ一人この選択肢を規範的だとしたが、学生の 4 割以上がこの回答を支持している。専門家 C は、A1b で前置詞を N 語にしても、相手と話題の人物に十分に丁寧さと敬意が伝わるという見解を示し、A1b は規範的に許容されるとしたが、専門家 A と B は、この文体の使用語は不徹底 *unbalance* のため規範的ではないという。

しかし、A1b を文体として中途半端と述べる専門家 B が、なぜ B1a と B1b を規範的な文体にするのかを疑問である。特に B1b では、助動詞は M 語、動詞は Ki 語、前置詞は N 語が用いられており、誰に焦点を当てた文体なのか、丁寧さはどのような程度で表したいかが不安定である。この文体を、専門家 A は規範的ではないとするが、専門家 B と C は規範的だと述べる。ちなみに、B1b を選んだ学生も多く、4 割近くであった。

3-2-4-5 問 3 の回答分析と考察

問 3 の設問は二つにわけられる。問 3a では、自分のことを K 語のクロ *Kula* で示す謙譲的表現の使用を測る設問である。一方、問 3b では、自分を N 語のアク *Aku* で示す近距離用語の使用を測る設問である。アンケート 3a の「私 (K 語) はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える」と、アンケート 3b の「私 (N 語) はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える」の、各主語からどのような文体を選らんだか、順に並べると次の通りになる。

3-2-4-5-1 3a の回答分析と考察

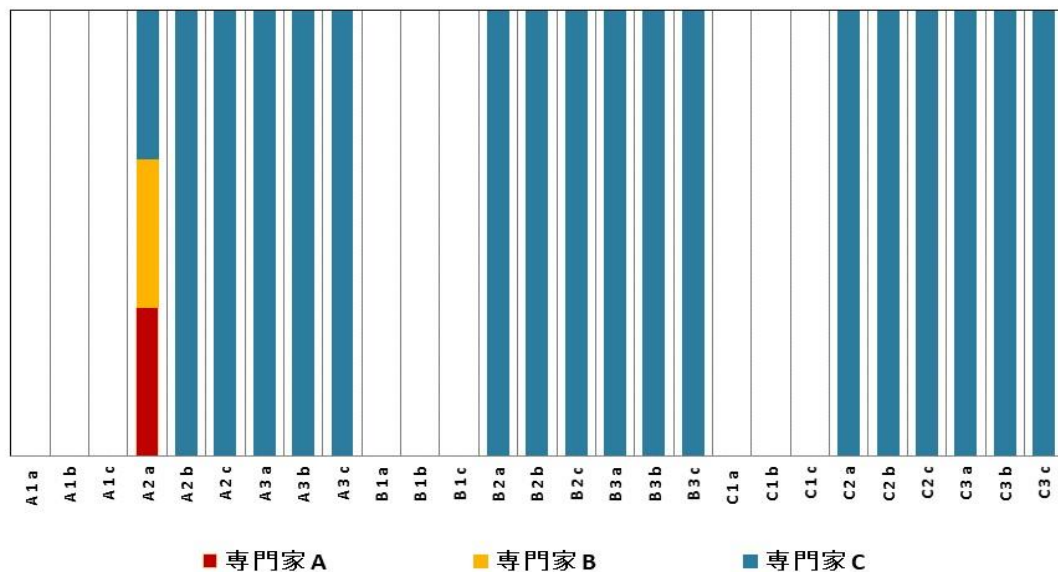
問3a. 謙讓的表現の使用を測る設問(私(K語で)はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える)

Q3a	Saya menjawab Mas Yoyok bahwa saya akan datang ke Solo. (私はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える。)					
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文体	コード
1	Kula 私 (K語) NAME (appellation)	badhe(K) (A) ~致します Will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula badhe tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃいます。	A 1 a
2			いらっしゃる go	menyang(N) (b)-へ to	Kula badhe tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃいます。	A 1 b
3			go	ning(N) (c)-へ to	Kula badhe tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃいます。	A 1 c
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula badhe kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ行きます。	A 2 a
5			多る-行く go	menyang(N) (b)-へ to	Kula badhe kesah menyang Solo. 私はソロへ行きます。	A 2 b
6			go	ning(N) (c)-へ to	Kula badhe kesah ning Solo. 私はソロへ行きます。	A 2 c
7		ajeng(M) (B) ~します will	lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula badhe lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行くんす。	A 3 a
8			行く go	menyang(N) (b)-へ to	Kula badhe lunga menyang Solo. 私はソロへ行くんす。	A 3 b
9			go	ning(N) (c)-へ to	Kula badhe lunga ning Solo. 私はソロへ行くんす。	A 3 c
10			tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula ajeng tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃるのです。	B 1 a
11			いらっしゃる go	menyang(N) (b)-へ to	Kula ajeng tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃるのです。	B 1 b
12			go	ning(N) (c)-へ to	Kula ajeng tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃるのです。	B 1 c
13		arep(N) (C) ~する will	kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula ajeng kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ行くのす。	B 2 a
14			多る-行く go	menyang(N) (b)-へ to	Kula ajeng kesah menyang Solo. 私はソロへ行くのす。	B 2 b
15			go	ning(N) (c)-へ to	Kula ajeng kesah ning Solo. 私はソロへ行くのす。	B 2 c
16			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula ajeng lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行くす。	B 3 a
17			行く go	menyang(N) (b)-へ to	Kula ajeng lunga menyang Solo. 私はソロへ行くす。	B 3 b
18			go	ning(N) (c)-へ to	Kula ajeng lunga ning Solo. 私はソロへ行くす。	B 3 c
19	arep(N) (C) ~する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula arep tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃる。	C 1 a	
20		いらっしゃる go	menyang(N) (b)-へ to	Kula arep tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃる。	C 1 b	
21		go	ning(N) (c)-へ to	Kula arep tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃる。	C 1 c	
22		kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula arep kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ行く。	C 2 a	
23		多る-行く go	menyang(N) (b)-へ to	Kula arep kesah menyang Solo. 私はソロへ行く。	C 2 b	
24		go	ning(N) (c)-へ to	Kula arep kesah ning Solo. 私はソロへ行く。	C 2 c	
25		lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula arep lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行く。	C 3 a	
26		行く go	menyang(N) (b)-へ to	Kula arep lunga menyang Solo. 私はソロへ行く。	C 3 b	
27		go	ning(N) (c)-へ to	Kula arep lunga ning Solo. 私はソロへ行く。	C 3 c	

表 3-9 大学生 問 3a の設問 [27 文体のバリエーション]

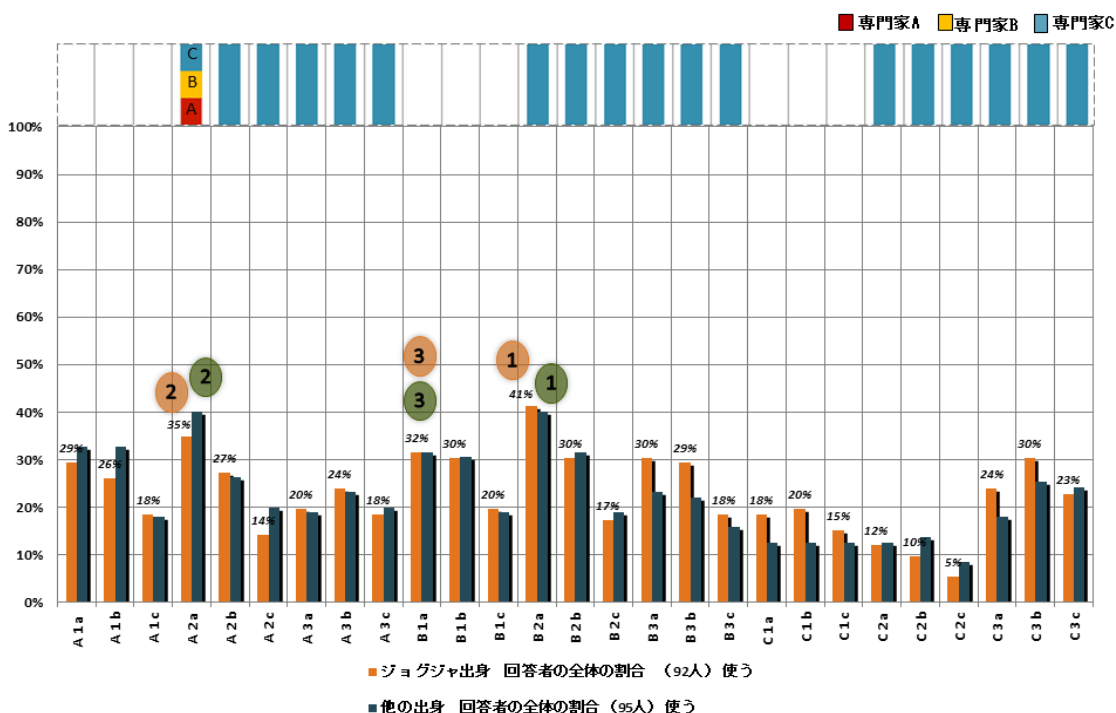
3 人のジャワ語専門家が「規範的」と判断した文体 (複数回答可) のは次の通りである。

グラフ問3a-1. ジャワ語専門家による規範的な文体



そして、専門家の回答と学生の回答に合わせて比較する。

グラフ 問3a-2. ジャワ語専門家と学生の回答比較



このデータから、次のように分析できる。

問3a. 大学生がよく使う回答の順位

②	A2a ○	Kula 私(クロモ アンダップ語) NAME (appellation)	badhe (K) ~致します will	kesah (M) 行く go	dhateng (K) ~(の方)へ to	Solo. (地名) PLACE	学生が 「使う」 38%
私は ソロ の方へ 参ります。							
①	B2a (1)	Kula	ajeng (M) ~します	kesah (M) 行く	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	41%
私は ソロ の方へ 参るのです。							
③	B1a ×	Kula	ajeng (M) ~します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	32%
私は ソロ の方へ いらっしゃるのです。							
④	A1a ×	Kula	badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	31%
私は ソロ の方へ いらっしゃいます。							
⑤	A1b ×	Kula	badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしゃる	menyang(N) ^^	Solo.	30%
私は ソロ へ いらっしゃいます。							

表 3-10 大学生 問 3a の回答分析

注：

- = 3人の専門家全員が規範的であると判断した文体
- (1) = 1人の専門家全員が規範的であると判断した文体
- × = 3人の専門家全員が規範的ではないと判断した文体

まず、専門家が三人とも一致して、規範的だと示したのは次の文体である。

② A2a

Kula badhe kesah dhateng Solo?

K M K

専門家は、ヨヨさんが「私」のコーチであり、さらに年上であるという点に重点を置いている。*Kula*のK語を使うことによって、文体全体が丁寧さのニュアンスに染まるため、A1a (38%)は最も規範的な文体とされるという。ここでは、自分がへりくだることがポイントである。また、自分の動作を表すため、動詞をK語以上ではなく、M語にするのが一番規範的という。この文体で助動詞と前置詞は丁寧さを表しているため、K語で適切であると指摘する。

A2aが最も規範的にもかかわらず、学生が最も選んだのはA2aではなく、B2a (41%)であった。学生は助動詞の*ajeng* (M語)を使うことによって、動詞も含めて自分を低くしようと誤解していると、専門家Aは指摘する。しかし、専門家Cはこの文体を規範的と認識している。専門家Cは、助動詞を*ajeng*にしても、丁寧さはそれほど*badhe* (K語)と大きくは変わらないので、B2aも規範的に許容されるという。また専門家Cによると、*ajeng*の言葉は、地域的なニュアンスが強く含まれており、地域によって方言 *dialect* として使用されるため、学生の多くが*ajeng*を使い慣れているかもしれないという。

次に学生から多く選ばれたのは、B1a、A1a、A1bである。これらの文体は規範的ではない。文体が矛盾しているからである。丁寧さを表すためにクロ*Kula*を使っているにもかかわらず、自分の動作をKi語の*tindak*にし、自分を高めてしまっている。自分の動作を*tindak*にした時点で、この文体は規範的にはなりえない。日本語で例えると、尊敬語の「いらっしゃる」を自分に対して使ってしまったのと同様である。しかしながら、この三つの規範的ではない文体を使用すると選択した学生が少なくない。B1a、A1a、A1b、いずれの回答率も3割を超えており、専門家はこの結果を知り不安を抱くと述べていた。

3-2-4-5-2 3b の回答分析と考察

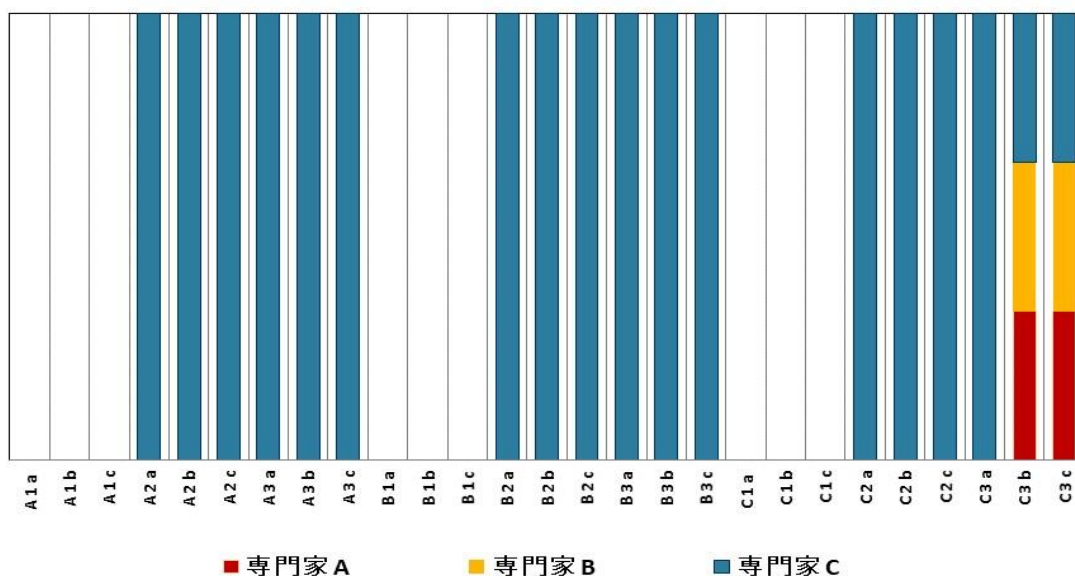
問3b.近距離表現の使用を測る設問(僕(N語で)はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える)

Q3b	Saya menjawab Mas Yoyok bahwa saya akan datang ke Solo. (僕はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える。)					
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文体	コード
1	Aku 僕(N語) NAME (appellation)	badhe(K) (A) ~致します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku badhe tindak dhateng Solo. 僕はソロの方へいらっしゃいます。	A 1 a
2			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Aku badhe tindak menyang Solo. 僕はソロへいらっしゃいます。	A 1 b
3			kesah(M) (2)	ning(N) (c) ~へ to	Aku badhe tindak ning Solo. 僕はソロへいらっしゃいます。	A 1 c
4			だhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku badhe kesah dhateng Solo. 僕はソロの方へ行きます。	A 2 a	
5			menyang(N) (b) ~へ to	Aku badhe kesah menyang Solo. 僕はソロへ行きます。	A 2 b	
6			ning(N) (c) ~へ to	Aku badhe kesah ning Solo. 僕はソロへ行きます。	A 2 c	
7			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku badhe lunga dhateng Solo. 僕はソロの方へ行くんす。	A 3 a
8			menyang(N) (b) ~へ to	Aku badhe lunga menyang Solo. 僕はソロへ行くんす。	A 3 b	
9			ning(N) (c) ~へ to	Aku badhe lunga ning Solo. 僕はソロへ行くんす。	A 3 c	
10		ajeng(M) (B) ~します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku ajeng tindak dhateng Solo. 僕はソロの方へいらっしゃるのです。	B 1 a
11			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Aku ajeng tindak menyang Solo. 僕はソロへいらっしゃるのです。	B 1 b
12			ning(N) (c) ~へ to	Aku ajeng tindak ning Solo. 僕はソロへいらっしゃるのです。	B 1 c	
13			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku ajeng kesah dhateng Solo. 僕はソロの方へ行きます。	B 2 a
14			menyang(N) (b) ~へ to	Aku ajeng kesah menyang Solo. 僕はソロへ行きます。	B 2 b	
15			ning(N) (c) ~へ to	Aku ajeng kesah ning Solo. 僕はソロへ行きます。	B 2 c	
16			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku ajeng lunga dhateng Solo. 僕はソロの方へ行くんす。	B 3 a
17			menyang(N) (b) ~へ to	Aku ajeng lunga menyang Solo. 僕はソロへ行くんす。	B 3 b	
18			ning(N) (c) ~へ to	Aku ajeng lunga ning Solo. 僕はソロへ行くんす。	B 3 c	
19		arep(N) (C) ~する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku arep tindak dhateng Solo. 僕はソロの方へいらっしゃる。	C 1 a
20			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Aku arep tindak menyang Solo. 僕はソロへいらっしゃる。	C 1 b
21			ning(N) (c) ~へ to	Aku arep tindak ning Solo. 僕はソロへいらっしゃる。	C 1 c	
22			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku arep kesah dhateng Solo. 僕はソロの方へ行く。	C 2 a
23			menyang(N) (b) ~へ to	Aku arep kesah menyang Solo. 僕はソロへ行く。	C 2 b	
24			ning(N) (c) ~へ to	Aku arep kesah ning Solo. 僕はソロへ行く。	C 2 c	
25			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku arep lunga dhateng Solo. 僕はソロの方へ行く。	C 3 a
26			menyang(N) (b) ~へ to	Aku arep lunga menyang Solo. 僕はソロへ行く。	C 3 b	
27			ning(N) (c) ~へ to	Aku arep lunga ning Solo. 僕はソロへ行く。	C 3 c	

表 3-11 大学生 問 3b の設問 [27 文体のバリエーション]

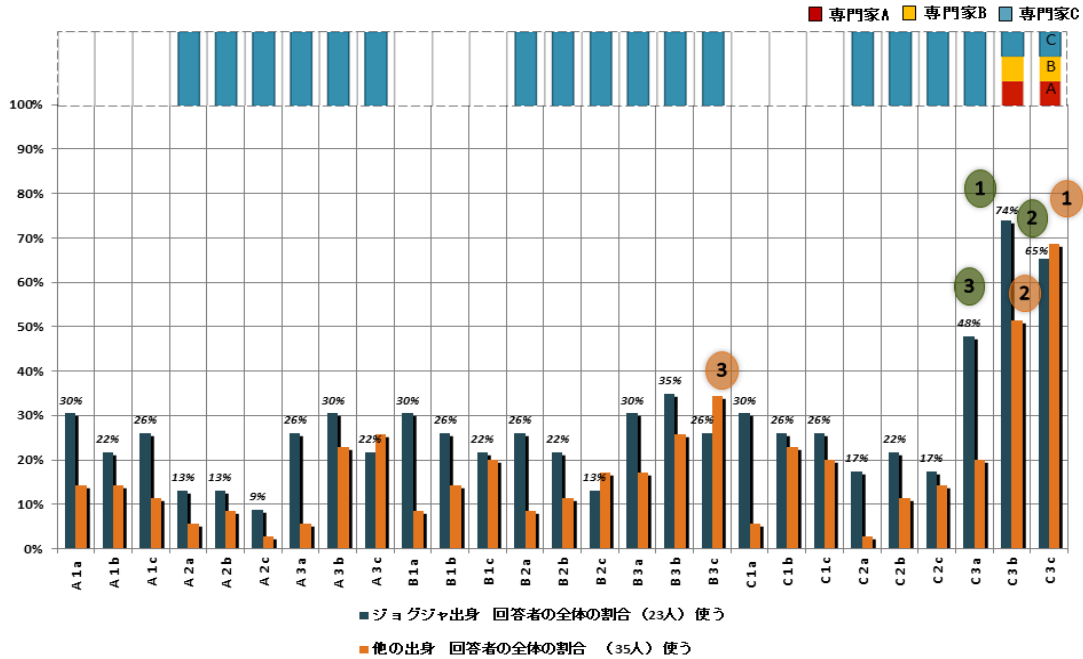
3 人のジャワ語専門家が「規範的」と判断した文体（複数回答可）は次の通りである。

グラフ Q3b-1. ジャワ語専門家による規範的な文体



そして、専門家の回答と学生の回答に合わせて比較する。

グラフQ3b-2. ジャワ語専門家と学生の回答比較



このデータから、次のように分析できる。

問3b.大学生がよく使う回答の順位

①▲	C3b ○	Aku 僕 (ソゴコ語) NAME	arep (N) ~する will	lunga (N) 行く go	menyang (N) ~~ to	Solo. (地名)	学生が「使う」 74%
	C3c ○	(appellation)	arep (N) ~する	lunga (N) 行く	ning (N) ~~	PLACE	
僕は ソロ へ 行く。(ジョグジャ出身) 僕は ソロ へ 行く。(他出身)							(72%)
②▲	C3c ○	Aku	arep (N) ~する	lunga (N) 行く	ning (N) ~~	Solo.	65%
	C3b ○		arep (N) ~する	lunga (N) 行く	menyang (N) ~~		51%
僕は ソロ へ 行く。(他出身) 僕は ソロ へ 行く。(ジョグジャ出身)							(58%)
③▲	C3a (1)	Aku	arep (N) ~する	lunga (N) 行く	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	48%,
	B3c (1)		ajeng (M) ~します	lunga (N) 行く	ning (N) ~~		34%
僕は ソロ の方へ 行く。(ジョグジャ出身) 僕は ソロ へ 行く。 (他出身)							(41%)
④	A1a ×	Aku	badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いっちゃう	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	22%
	僕は ソロ の方へ いっちゃう。 (他出身)						
⑤	A1b ×	Aku	ajeng (M) ~します	tindak (Ki) いっちゃう	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	20%
	僕は ソロ の方へ いっちゃう。 (他出身)						

表 3-12 大学生 問 3b の回答分析

注：

- = 3人の専門家全員が規範的であると判断した文体
- (1) = 1人の専門家全員が規範的であると判断した文体
- × = 3人の専門家全員が規範的ではないと判断した文体

専門家が三人とも一致して、規範的だと示したのは次の二つである。

① C3c

Aku arep lunga ning Solo?

N N N

② C3b

Aku arep lunga menyang Solo?

N N N

専門家は、ヨヨさんは「私」のコーチ、さらに年上という点に焦点を置き文体を選択している。自分のことをアク *Aku* という N 語の使用が許されるほどに非常に親しい間柄だという仮定のもと、この二つの文体を選択したという。

アク *Aku* は N 語である。相手に対して自分のことを *Aku* にすると、文体の流れは非丁寧になる。この非丁寧というのは、相手との間に距離がなく、「フレンドリー」な雰囲気をつくるため、敬語を一切使わず N 体のみで話すことをいう。そのため、アク *Aku* を主語としたならば、次の語彙も主語に合わせて N 語を使っても良いと専門家 A は述べる。C3c と C3b の文体では、ヨヨさんはコーチとしてよりも、友人あるいは自分の兄のような者として捉えている。もちろん、個人差はあるが、ヨヨさん自身もこのような対応を不快には思わないはずである。

次に学生が回答したのは、C3a と B3c、A1a、A1b である。まず、A1a と A1b をみてみよう。こちらの文体は、問 3a に取り上げた B1a、A1a、A1b の回答と全く同じ理由で、規範的ではない文体になる。主語は違うが、構成は同じである。つまり、自分のことを N 語で非丁寧に表現したにもかかわらず、自分の動作を Ki 語の *tindak* を使って高くするという矛盾がみられる。

次にジョグジャカルタ出身の学生が選んだのは C3a、他州出身の学生が選んだのは B3C である。構成としては C3b、C3c と同様に、非丁寧のアク *Aku* に合わせて、動詞を N 語の *lunga* にするのが適切だが、C3a では前置詞に K 語の *dhateng* を入れたり、B3c では助動詞に M 語の *ajeng* を入れたりすることによって、文体が矛盾する。専門家 A は *lunga* の立場が無くなってしまい、不相応な文体になると述べるが、専門家 C は反対に規範的な文体として使用している。専門家 C によれば、主語が、N 語のアク *Aku* となると、動作の *lunga* を変えられないため、非丁寧な文体を和らげるために助動詞か前置詞に K 語か M 語を入れた方が良いのだという。

以上、問3は、「私はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える」際の文体を問うものだが、ヨヨさんとの関係性を考慮し、まず、自分を表す「私」という語をどのように表現するかを、二つの選択肢から選んでもらう。選択肢の一つ目は、丁寧なK語として使用される「クロ *Kula*」、二つ目は、非丁寧なN語として使用される「アク *Aku*」である。245人の学生からは、次のような回答が見られた。

	ジョグジャ出身(115人)	他の出身(130人)	合計
Kula(K語)を使う	92(80%)	95(73%)	187(76%)
Aku(N語)を使う	23(20%)	35(27%)	58(24%)

ジョグジャ出身の学生8割はK語のクロ *Kula*を、残りの2割はアク *Aku*を使用することが分かった。他州出身の学生にも、あまり差がなく、7割以上がクロ *Kula*を、3割近くがアク *Aku*を使用するという。全学生を合わせると、76%がクロ *Kula*を、24%がアク *Aku*を使うことが明らかになった。

この結果からいえるのは、二つの主語の中にどちらを使って表現するかと、主語をはっきり区別したら、今のところ、学生たちは親しみを表すよりも丁寧さを表すことを優先しているということが分かる。この傾向は特にジョグジャカルタ出身の学生にはっきりと見られる。しかし、親しみを表すことを会話の中心に据える学生も2割ほどおり、年長者との関係性をより近く、「フレンドリー」なものにしようとする学生の姿勢が見えてくる。

3-2-5 大学生調査に対するまとめ

本節ではこれまで、大学生の敬語の運用実態について考察を行った。ここでは、改めて次の3点に絞ってまとめていきたい。

第一に、ジョグジャカルタ州出身者と他州出身者、それぞれのジャワ語敬語の運用能力が明らかとなった。それぞれの敬語運用能力に大きな差は見られなかったが、各問の回答からみると、他州出身者よりジョグジャカルタ出身者の方が、敬語をより上手く使いこなせることがわかった。ジョグジャカルタ州出身の学生の敬語運用能力は他州出身の学生より高いと言える。

第二に、敬意を表すべき相手にどのような発話レベルを用いるかについては、グラフをみる限り、多くの学生が一定程度理解しているようにも見える。しかし、学生たちは複数の文体を使用すると回答しており、必ずしも最も規範的だとされる文体を理解しているとは言えない。先に述べたように、尊敬語の使用に関して、ジョグジャカルタ州出身の学生は他州出身の学生より、ある程度規範的な敬語を使用している。しかし、本研究で使用したアンケートのように複数の選択肢を与えてしまうと、規範的ではない文体を選択してしまう学生が多いことも明らかとなった。

第三に、謙譲的表現については、ジョグジャカルタ州出身者と他州出身者のいずれも、あ

まり理解していないことがわかった。グラフからは、自分に対して尊敬語を使用している学生が多いことが読み取れる。学生たちは規範的な文体だけでなく、誤りの含まれる多様な文体を用いている。特に、自分と相手どちらに対して敬意を表すのか、その使い分けを十分に理解できていない学生が多い。学生は、敬意を示すべき相手をどのように持ち上げ、自分はどのようにへりくだるべきなのか理解できていない。特に謙譲的表現の運用の際の誤りが顕著に見られる。このように謙譲的表現を理解している学生は少ないものの、ジョグジャカルタ州出身の学生は、他州出身の学生よりは理解していることが分かった。

第四に、相手が年長者で、自分と年齢が離れている場合でも、より近い距離感を求める若者が増えていることが明らかになった。例えば、相手の行為を指す動詞のみをクロモ語にすることによって、親しい関係をアピールする若者が増えている。

3-3 高校生に対する調査

3-3-1 調査対象地域

ジョグジャカルタ特別州の(1)農村部、すなわち、クロンプロゴ県 *Kabupaten Kulonprogo* のトゥモン郡 *Kecamatan Temon* にある2つの高等学校(公立と私立)と(2)都市部のジョグジャカルタ市 *Kota Yogyakarta* にある2つの高等学校(公立と私立)で、調査を行った。

3-3-2 調査対象者

- (1) 農村部の高校生 424 人(公立の生徒 206 人、私立の生徒 218 人)
- (2) 都市部の高校生 390 人(公立の生徒 207 人、私立の生徒 183 人)
- (3) 農村部の高校教師 20 人(公立の教師 9 人、私立の教師 11 人)
- (4) 都市部の高校教師 26 人(公立の教師 13 人、私立の教師 13 人)

3-3-3 調査方法(設問内容と意図)

大学生の調査方法と同様に、アンケート調査(全5問)を行った。アンケートでは、生徒が、年齢と地位が異なる相手と話す場面の設定を行った。アンケートの回答方法も、生徒と専門家に対して取り方が異なる。生徒に対しては、丁寧さと敬意度の異なるジャワ語で書かれた27文の中から、普段自分が使用する文体を選んでもらうという回答方法を用いた。一方、ジャワ語の専門家に対しては、丁寧さと敬意度の異なるジャワ語で書かれた27文の中から、規範的あるいは正しいと思っている文体のみを選んでもらい、それがなぜ規範的あるいは正しいかを説明してもらった。さらに生徒と専門家いずれのアンケートを、複数回答可とした。生徒の他に、高校教師にも回答を依頼した。なお、彼らの回答を分析する際の基準として、3-2-2で記述したジャワ語専門家3人のうち、敬語使用に関してより正確な分析を行うために、言語学的背景を持つガジャマダ大学のジャワ語教員2名の回答を参照する。

具体的な設問の場面を次のように設定した。

・場面①

私は（高校名）の生徒（15～18歳）で、演劇部に入っている。定年を迎えるストモ先生の送別会がソロ市（隣町）で行われることになり、私はその会に招待された。また、私と親しくしている演劇部のコーチのヨヨさん（40歳）と、校長の秘書のラティさん（40歳）も、その送別会に招待されている。

問1. 私はヨヨさんにソロ市へ行くかどうかを尋ねる。

問2. 私はラティさんに校長がソロ市へ行くかどうかを尋ねる。

・場面②

その後、ヨヨさんは（私に）ソロ市へ行くかどうかを尋ねる。

問3. 私はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える。

i. 一人称「私」の代わりに「クロ」（K語）で答える場合

ii. 一人称「私」の代わりに「アク」（N語）で答える場合

・場面③

ヨヨさんと話している際、ストモ先生と親しい大先生、ハルディト先生（60歳）が来た。私はハルディト先生の授業に出たことがあり、たまに相談もする。そこで、私はハルディト先生がソロ市で行われる送別会に出席するかどうかを尋ねる。また、私も送別会に出席することにしたということを先生に伝える。

問4. 私はハルディト先生にソロ市へ行くかどうかを尋ねる。

問5. 私はハルディト先生にソロ市へ行くことにすると伝える。

3-3-4 回答分析と考察

アンケート結果の分析を行い、ジャワ語敬語の運用実態をデータから明らかにする。より理解しやすくするため、アンケートの分析は問4、問5、問1、問2、問3の順に行う。

3-3-4-1 問4の回答分析と考察

問4は、尊敬的表現の使用を測る設問である。アンケートの「私はハルディト先生にソロ市へ行くかどうかをたずねる」の回答は次の通りである。ハルディト先生は大先生、60歳である。各文体に使用する語彙の構成のバリエーションは次のようになる。

問4. 尊敬的用語の表現

私はハルデイト先生にソロ市へ行くかどうかを尋ねる。

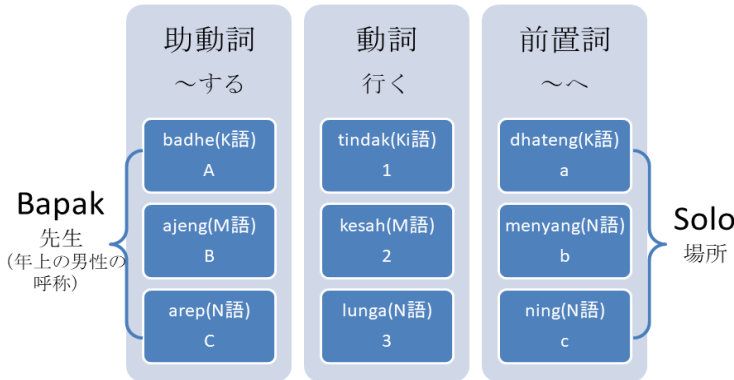


図 3-4 高校生 問4に使用する語彙構成のバリエーション

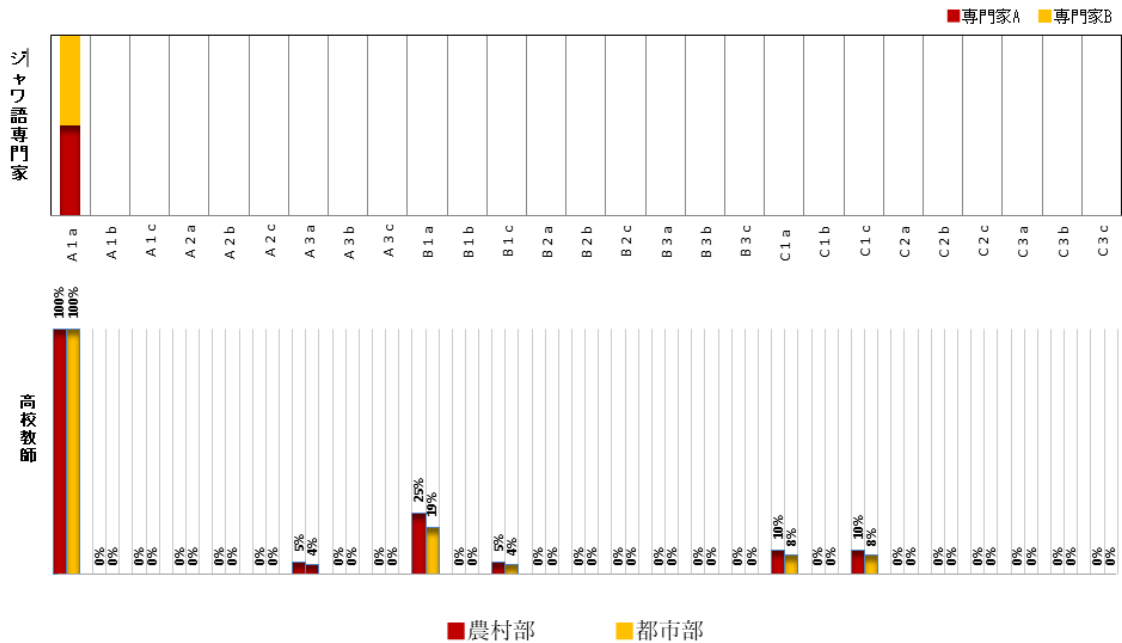
問4. 尊敬的表現の使用を測る設問 (私はハルデイト先生にソロ市へ行くかどうかを尋ねる)

問4	Saya bertanya kepada Bapak Hardito apakah beliau akan datang ke Solo. (私はハルデイト先生にソロ市へ行くかどうかを尋ねる。)					
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文例	コード
1	Bapak 先生 (年上の男性の 呼び名) NAME (appellation)	badhe(K) (A) ~なれます Will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Bapak badhe tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃいますか。	A 1 a
2			いらっしゃる go	menyang(N) (b)-へ to	Bapak badhe tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃいますか。	A 1 b
3				ning(N) (c)-へ to	Bapak badhe tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃいますか。	A 1 c
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Bapak badhe kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行きますか。	A 2 a
5				menyang(N) (b)-へ to	Bapak badhe kesah menyang Solo? 先生はソロへ行きますか。	A 2 b
6				ning(N) (c)-へ to	Bapak badhe kesah ning Solo? 先生はソロへ行きますか。	A 2 c
7			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Bapak badhe lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くんですか。	A 3 a
8				menyang(N) (b)-へ to	Bapak badhe lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くんですか。	A 3 b
9				ning(N) (c)-へ to	Bapak badhe lunga ning Solo? 先生はソロへ行くんですか。	A 3 c
10		ajeng(M) (B) ~します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Bapak ajeng tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃるのですか。	B 1 a
11			いらっしゃる go	menyang(N) (b)-へ to	Bapak ajeng tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃるのですか。	B 1 b
12				ning(N) (c)-へ to	Bapak ajeng tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃるのですか。	B 1 c
13			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Bapak ajeng kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くのですか。	B 2 a
14				menyang(N) (b)-へ to	Bapak ajeng kesah menyang Solo? 先生はソロへ行くのですか。	B 2 b
15				ning(N) (c)-へ to	Bapak ajeng kesah ning Solo? 先生はソロへ行くのですか。	B 2 c
16			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Bapak ajeng lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くんですか。	B 3 a
17				menyang(N) (b)-へ to	Bapak ajeng lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くんですか。	B 3 b
18				ning(N) (c)-へ to	Bapak ajeng lunga ning Solo? 先生はソロへ行くんですか。	B 3 c
19		arep(N) (C) ~する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Bapak arep tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃるのか。	C 1 a
20			いらっしゃる go	menyang(N) (b)-へ to	Bapak arep tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃるのか。	C 1 b
21				ning(N) (c)-へ to	Bapak arep tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃるのか。	C 1 c
22			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Bapak arep kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くのか。	C 2 a
23				menyang(N) (b)-へ to	Bapak arep kesah menyang Solo? 先生はソロへ行くのか。	C 2 b
24				ning(N) (c)-へ to	Bapak arep kesah ning Solo? 先生はソロへ行くのか。	C 2 c
25			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Bapak arep lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くのか。	C 3 a
26				menyang(N) (b)-へ to	Bapak arep lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くのか。	C 3 b
27				ning(N) (c)-へ to	Bapak arep lunga ning Solo? 先生はソロへ行くのか。	C 3 c

表 3-13 高校生 問4の設問 [27 文体のバリエーション]

まずは、ジャワ語専門家と高校教師、生徒が「規範的」と判断した文体（複数回答可）は次のグラフの通りである。

グラフ問4-1. ジャワ語専門家と高校教師の回答比較



大学のジャワ語学科でジャワ語を教えている専門家は、二人とも一致してA1aのみが規範的な文体であると選択した。ジャワ語の教師は、A1a以外に正しい文体はないとはっきりと述べている。相手は大先生ということがその理由である。学生や生徒とは年齢も随分離れ、豊富な経験を積んで地位のある先生だからこそ、すべてをクロモにしなければならないと指摘する。つまり、規範的な文体はA1aのみである。

A1a. Bapak badhe tindak dhateng Solo?

K Ki K

この結果と同様に、高校教師の回答にでも、最も正しい文体として選ばれたのは A1a (100%) であることがわかった。しかし、ほかに比率が非常に少ないが、B1a(平均 22%) と、C1a と C1c(平均 9%)を選んだ教師もいることがわかった。

B1a. Bapak ajeng tindak dhateng Solo?

M Ki K

C1a. Bapak arep tindak dhateng Solo?

N Ki K

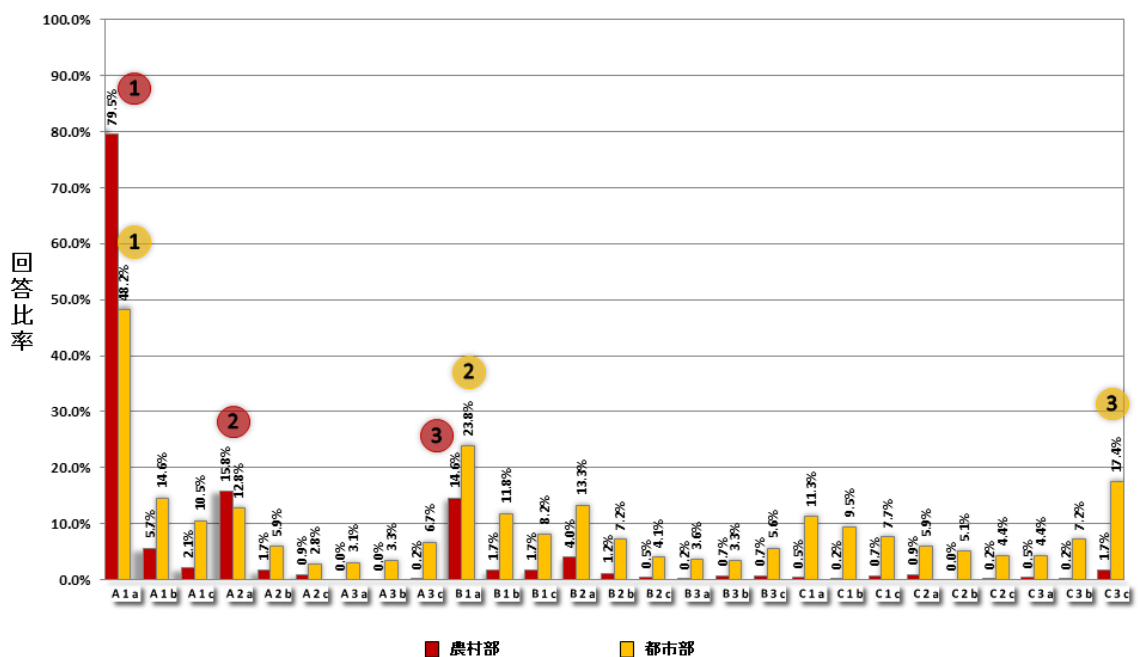
C1c. Bapak arep tindak ning Solo?

N Ki N

高校教師が選んだ文体では、動詞はすべてKi語の *tindak* を使用している。彼らは、大先生に敬意を表すべきであると述べる。B1a と C1a、C1c のように、助動詞をM語やN語に、あるいは前置詞をN語に変えた選択肢を選んだ教師もいた。これでは、相手に敬意を表したにもかかわらず、全体の丁寧さが不完全となり、バランスが崩れてしまう。この結果から、高校教師は全員、規範的なA1aを選んではいないが、ジャワ語の専門家と違って、ほかの文体を使用する教師もいることがわかった。B1a は日本語に直訳すると「先生はソロの方へ行きますか」となり、失礼にあたる要素がない丁寧な文体だが、敬意には欠けているため、規範的とはされないが、許容的とはされている。また、C1a と C1c は、話し手が相手の大先生に少し親近感を持っている可能性があり、助動詞と前置詞はN語の *arep* と *ning* を使用しても、動詞をKi語の *tindak* にして敬意はしっかりと表している。しかし、ジャワ語専門家は、たとえ相手に親近感を持っていたとしても、ベテランの先生に対する文体として、規範的だと認められるのはA1aのみであると述べる。

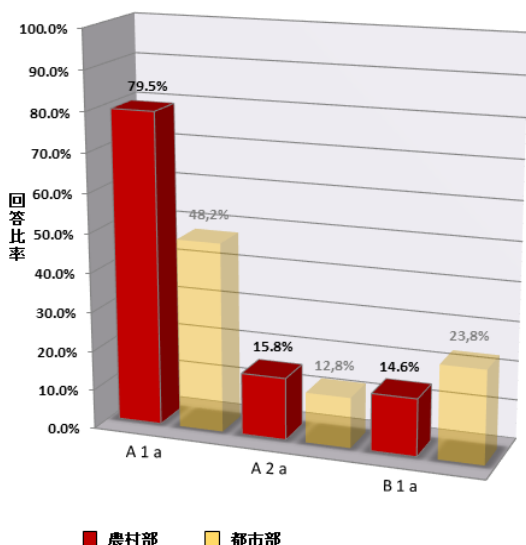
次に高校生の回答の順位にまとめてみよう。

グラフ問4-2. 農村部と都市部の高校生の回答比率

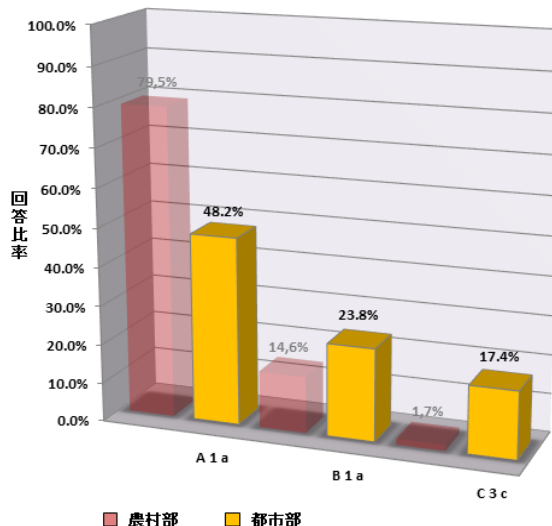


回答の順位は次の通りである。

グラフ 問4-2-1.
農村部の高校生の回答比較



グラフ Q4-2-2.
都市部の高校生の回答比較



このデータから次のような点を指摘できる。

問4-1.農村部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	A1a ○	Bapak (先生、～さん)	badhe (K) ～なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo? (地名)	79.5%
		先生は ソロ の方へ いらっしゃいますか。					
②	A2a	Bapak	badhe (K) ～なさいます	kesah (M) 行く	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo?	15.8%
		先生は ソロ の方へ 行きますか。					
③	B1a	Bapak	ajeng (M) ～します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo?	14.6%
		先生は ソロ の方へ いらっしゃるのですか。					

問4-2.都市部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	A1a ○	Bapak (先生、～さん)	badhe (K) ～なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo? (地名)	48.2%
		先生は ソロ の方へ いらっしゃいますか。					
②	B1a	Bapak	ajeng (M) ～します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo?	23.8%
		先生は ソロ の方へ いらっしゃるのですか。					
③	C3c	Bapak	arep (N) ～する	lunga (N) 行く	ning (N) ～へ	Solo?	17.4%
		先生は ソロ へ 行くの。					

表 3-14 高校生 問4の回答分析

この場面で、農村部と都市部の高校生が最もよく使う文体は、大学生と同様に A1a であった。大学生は 9 割近くが A1a を選んだのに対して、農村部の高校生は 8 割ほど、そして都市部の高校生は 5 割弱ほどが A1a を選んだ。

A1a が最も選ばれていることから、農村部と都市部の高校生は基本的に自分より年上で、大先生に対しては敬意を表す文体を使用すべきことは、概ね理解はできていると言える。しかし、すべてがクロモの A1a ではなく、他の文体を選んだ生徒も多少いた。

農村部で 2 番目に多く選ばれた 2 位の A2a と 3 位の B1a は、およそ 15% というほぼ同じ比率であった。A2a を選択した生徒は、相手の動作に動詞の Ki 語の *tindak* でなく、M 語の *kesah* を使っており、大先生に向かって必ずしも敬語を使用するとは限らないことがわかった。日本語で例えると、生徒は大先生に対し「先生はソロの方へいらっしゃいますか」(A1a) という尋ね方をせず、中立的で丁寧さを表す「先生はソロの方へ行きますか」(A2a) の尋ね方を選んだということである。

一方、都市部で 2 番目に多い B1a と、3 番目に多い C3c とを比較すると 7% ほど差がある。生徒が選んだ B1a と C3c の文体は非常に対照的である。B1a は、農村部では 3 番目に多く選ばれた回答でもある。A1a のように最も敬意を表す文体ではないものの、文体の通り、助動詞は M 語にしており、十分に丁寧さを表す文体として扱える。これは、動詞に Ki 語の *tindak* を使うことによって、相手の動作に対して敬意を表すためである。しかし、C3c はすべて N 語を使っており、文体に敬意を表す要素が全くない。大先生に C3c のような文体を使用して尋ねるのは非常に無礼だが、驚くべきことにこれを選んだ都市部の生徒は 17% 以上もいた。

グラフ 4-2 を見てみると、C 枠の文体を選んだ農村部の生徒がほとんどいないことが分かる。これは、C 枠では助動詞に *arep* という N 語を使用しているため、そもそも大先生に使用するのに適切な文体だとみなされていないからである。農村部の生徒の回答のほとんどは、A と B 枠に限定されている。さらに枠内の回答分布をみてみると、N 語の *lunga* を使用する A3a~A3c と B3a~B3c はほとんど選ばれなかったことが分かる。つまり、ここで農村部の生徒が適切だと選んだ動詞は Ki 語の *tindak* か M 語 *kesah* であった。日本語でも、生徒が大先生に対し「先生はソロへ行くの」(C3c) と尋ねたら無礼だと思われるのと同様に、農村部の生徒は大先生に対して N 語の *lunga* を使用するのは不適切だと考えている。

一方、都市部では、C 枠の文体を選んだ生徒がいた。割合としては 1 割程度ではあったが、大先生に対して最も使ってはいけない N 語の *lunga* の動詞を選んだ生徒がいた。特に、都市部では、C3c が 3 番目に多く選ばれているということは特筆すべき点だろう。これについて、都市部の生徒は、大先生に対して敬意を表す気持ちがないわけではないと述べている。そもそも、C3c の文体を選んだ都市部の生徒は、敬語どころか、ジャワ語自体あまりわからないことが背景にある。普段友人と喋るように、日常生活に使われる文体は C3c のみであるため、それを選んだという。また、K 体を使用しなければならない状況となったら、無礼にならないように、丁寧なインドネシア語にスイッチするという選択肢があると、都市部の生

徒は述べている。

グラフ 4-2 からは、農村部と都市部の、ジャワ語敬語使用の意識と能力の差が明らかとなった。農村部の生徒の意識と能力の方が、都市部の生徒より上位にあるといえよう。農村部の生徒に最も選ばれた 3 つの文体はいずれも相手に対して敬意(A1a、B1a)か丁寧さ(A2a)を表す文体である。一方、都市部の生徒に最も選ばれた 3 つの文体のうち上位 2 つは農村部の生徒と同様であったが、3 番目に多かった回答は、農村部の学生の回答とは全く正反対のすべて N 語の非丁寧な文体であった。

問 4 の分析において見られる農村部と都市部の高校生における尊敬的表現の使用状況(文体使用) は次の通りである。

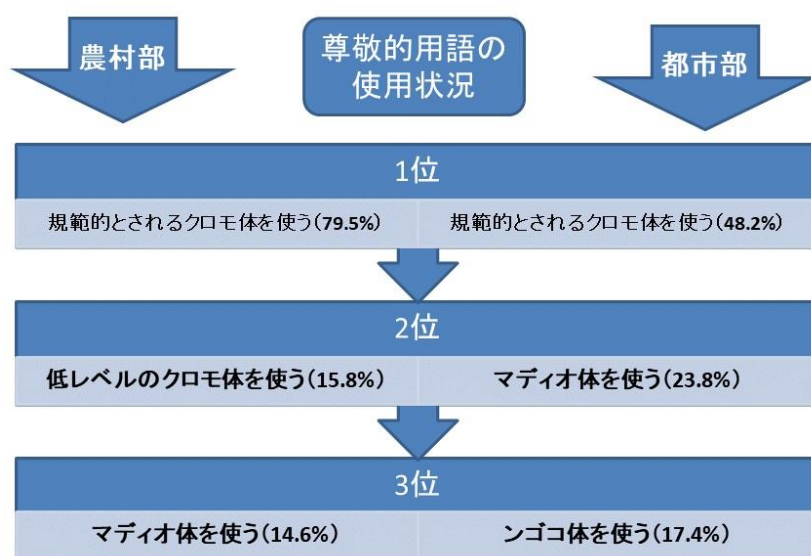
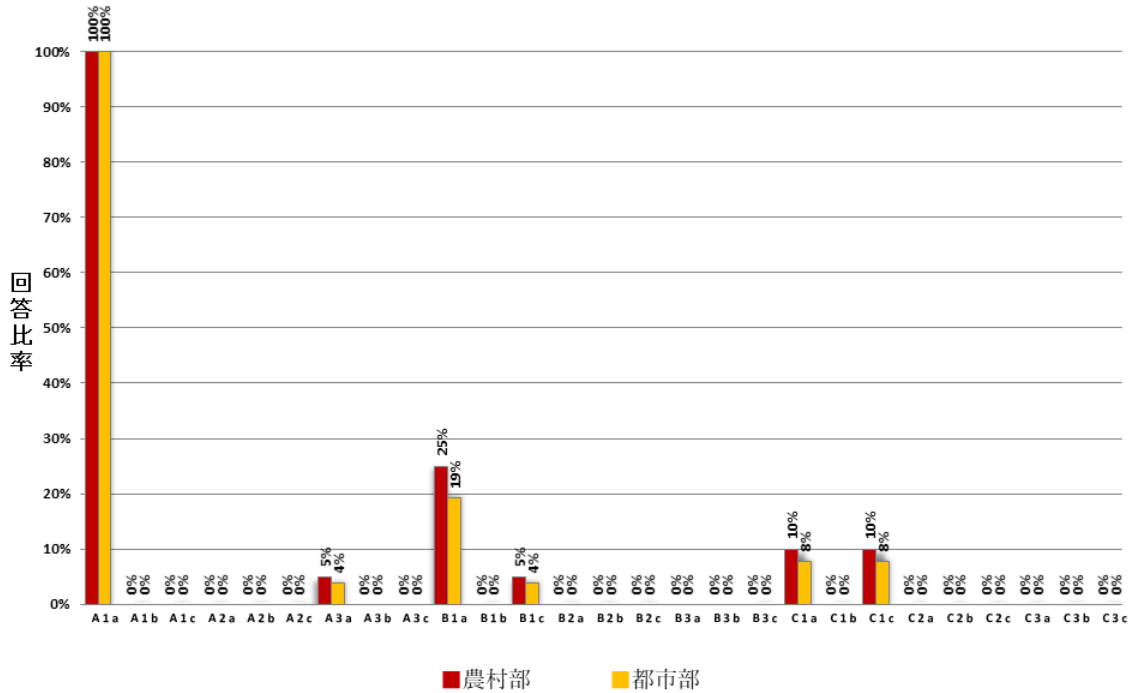


図 3-5 高校生 問 4 農村部と都市部の回答結果

農村部の高校生が選んだ 1 位から 3 位まで回答は、ボソ体を用いる。1 位は尊敬語の *tindak* を正しく使用され、ジャワ語専門家に規範的とされる文体である。2 位は、低レベルのクロモ体で、丁寧さのある文体だが、敬意度には物足りない。そして、3 位は、マディオ体である(多くの場合、助動詞によって文体のレベルが定まる)。一方、都市部の高校生が選んだ 1 位から 3 位まで回答に、農村部より多様な回答が出てくる。都市部の 1 位は、農村部と全く同様であるが、2 位は農村部の 3 位と同様で、さらに 3 位は、非丁寧な文体の中で、最も丁寧ではないすべてンゴコ語にするンゴコ体を使う。このように、尊敬的表現に関して、農村部の高校生より、都市部の高校生の敬語使用の方が、先に変化していくことが明らかになる。つづいて、高校教師の回答を分析する。

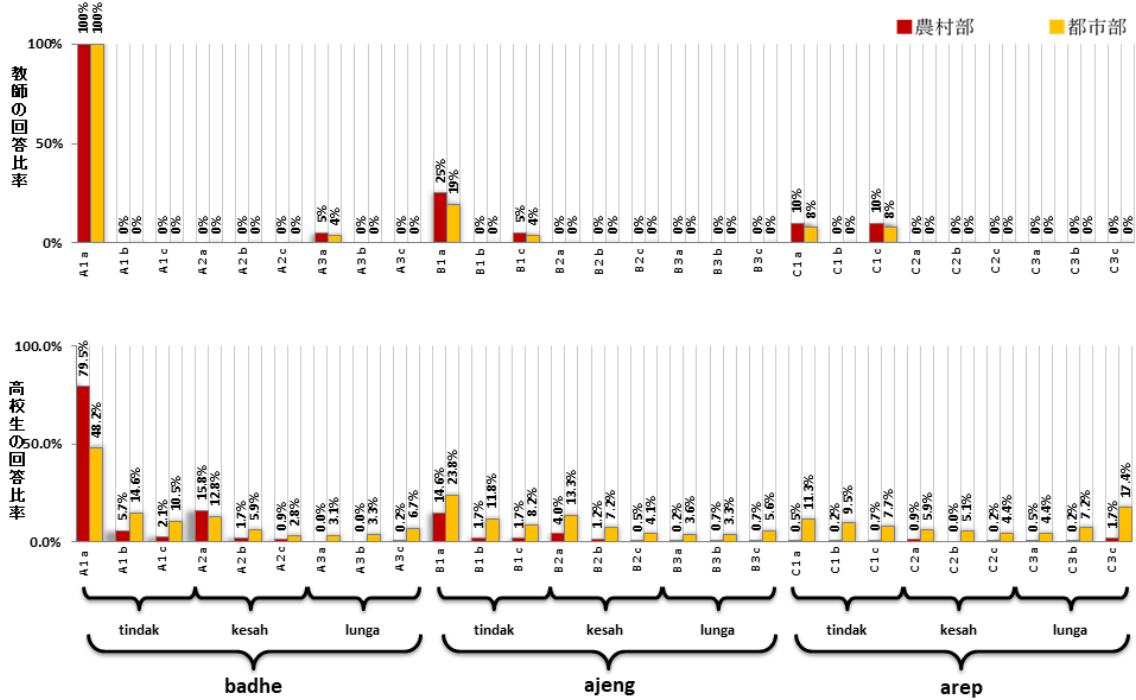
グラフ問4-3. 農村部と都市部の高校教師の回答比較



まず、農村部（20人）と都市部（26人）の高校教師は、全員A1a（100%）を使用している。また、この他、2割ほどがB1a（約22%）を使用している。最も選ばれたのがA1aで、その次にB1aが選ばれているというのは、生徒の回答と同様である。高校教師は全員、大先生に対して最も敬意を表す文体A1aを選んだが、なかには助動詞のみM語の *ajeng* にし、動詞と前置詞はK語のB1aを使用するという教師もいた。C1aとC1cというC枠の文体を選んだ教師もいた。これらは、本来は規範的ではない文体のはずである。しかし、この二つの文体では、動詞にKi語の *tindak* を使用しているため、ある程度の敬意は表されているとみなしている教師が非常に少数ではあるが存在する。

また、教師と生徒の回答を比べてみると、次の通りになる。

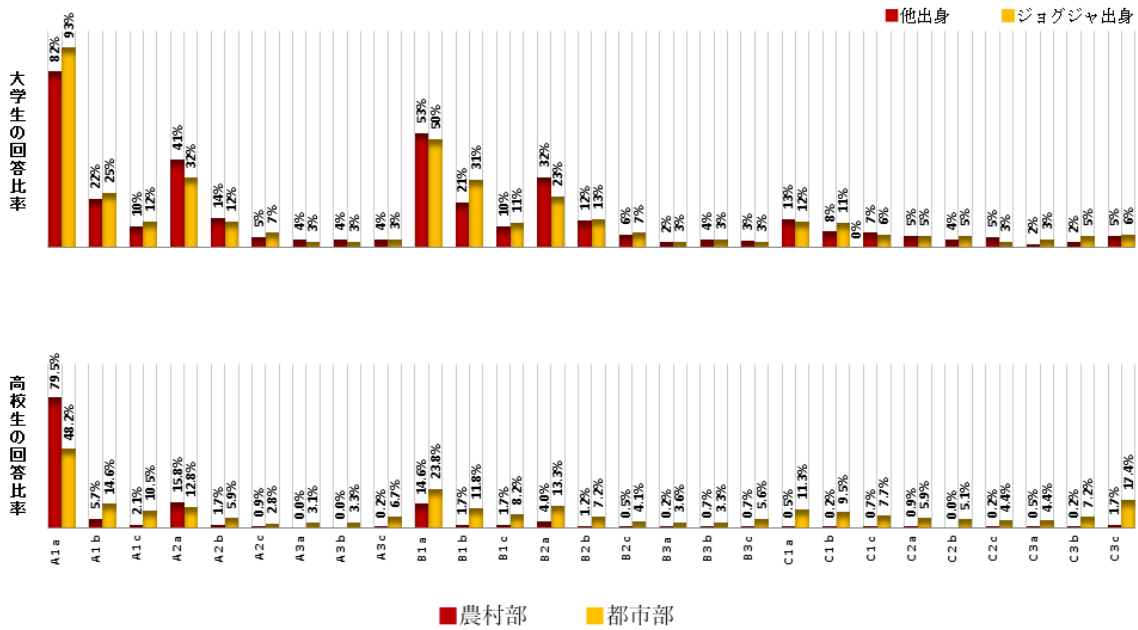
グラフ問4-4. 高校教師と高校生の回答比較



適切な文体あるいは最もよく使う文体として、最も多くの教師と生徒が、規範的とされる A1a を選んだ。特に農村部では 8 割近くがこの文体を選んでおり、農村部の生徒は、概ね規範とされる文体を使っていることがわかる。教師と生徒の回答で最も異なる点は、教師全員は C1c を使用しないのに対し、都市部の生徒の 17.4% がこれを使用すると選んだことである。また、教師は相手の大先生に物事を尋ねる際、A3a を除いて、すべての動詞は Ki 語の *tindak* で敬意を表すが、生徒の回答は、特に都市部をみると *tindak* 以外に他の動詞を使用する生徒が見られる。

では、次に大学生と高校生の回答を比較してみよう。

グラフ問4-5. 大学生と高校生の回答比較



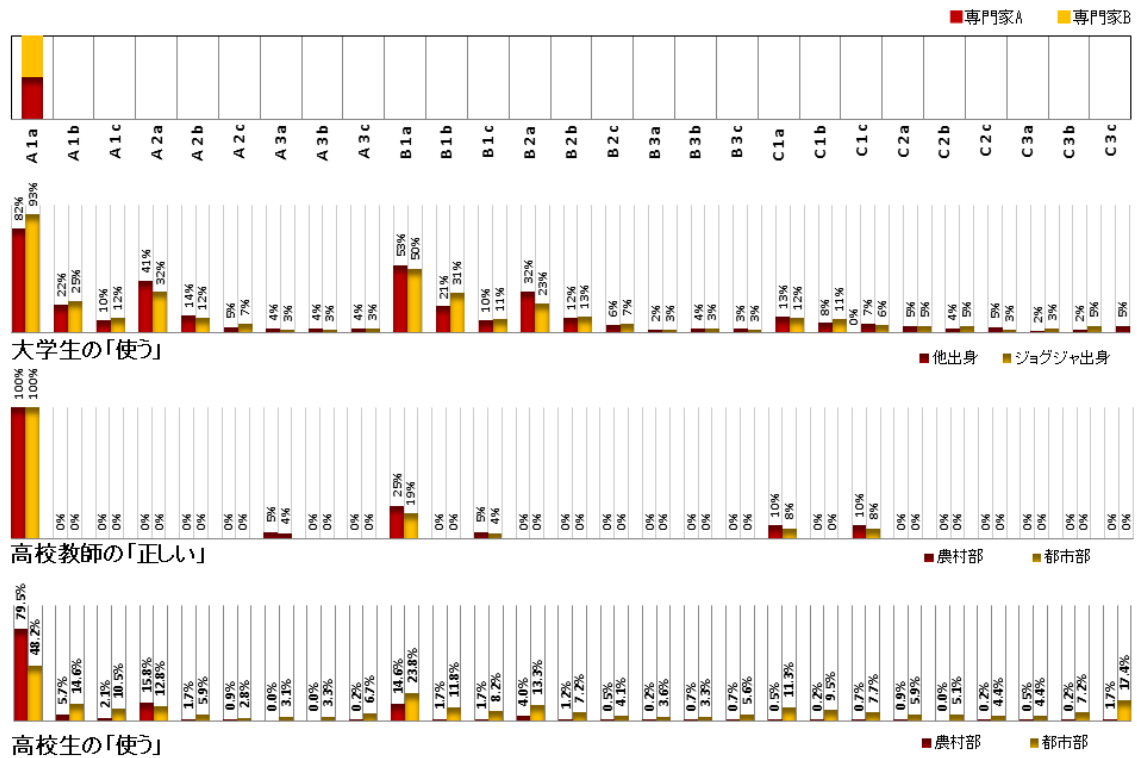
グラフ 4-4 からは、大学生と高校生はともに、最も使用する文体として A1a を選択していることがわかる。全体に対する比率からみると、大学生の方がこの文体を選んだ割合が高い。特にジョグジャカルタ出身の学生は非常に高く 9 割以上が A1a を選んでいる。

しかし、高校生と比べると、A1a と他の文体を使用する傾向があるのは、大学生の方である。グラフ 4-4 をみると、高校生より大学生の回答の方にばらつきが見られる。

また、大学生では、ジョグジャカルタ出身者と他州の出身者の回答に大きな差がみられない一方、高校生では、農村部と都市部の回答差がはっきりあることがわかった。

最後に、グラフ 4-6 で、全てを比較してみたい。

グラフ問4-6.
ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較



一番上は、ジャワ語専門家の回答で、A1aのみを規範的だと選択している。次は、大学生の回答で、使用する文体にばらつきが多くみられる。大学生の回答は最も多様であったが、最も使用されているのは、規範的だとされるA1aである。次に、高校教師は全員、A1aを選んだが、少数ではあるものの、他の文体を使用する教師がいることがわかった。最後に、高校生の回答をみると、A1aは最多であった。大学生ほどばらつきは見えないが、特に都市部では、C 枠の最も規範的とされない文体を選んだ生徒が少なくないことが明らかとなった。

3-3-4-2 問5の回答分析と考察

問5は、謙讓的表現の運用能力と使用実態を測る設問である。アンケートの「私はハルディト先生にソロ市へ行くことにすると伝える」は次の通りである。ハルディト先生は大先生、60歳である。

各文体に使用する語彙構成バリエーションは次の通りである。

問5. 謙讓的用語の表現

私はハルデイト先生にソロ市へ行くことにすると伝える。



表 3-6 高校生 問 4 に使用する語彙構成のバリエーション

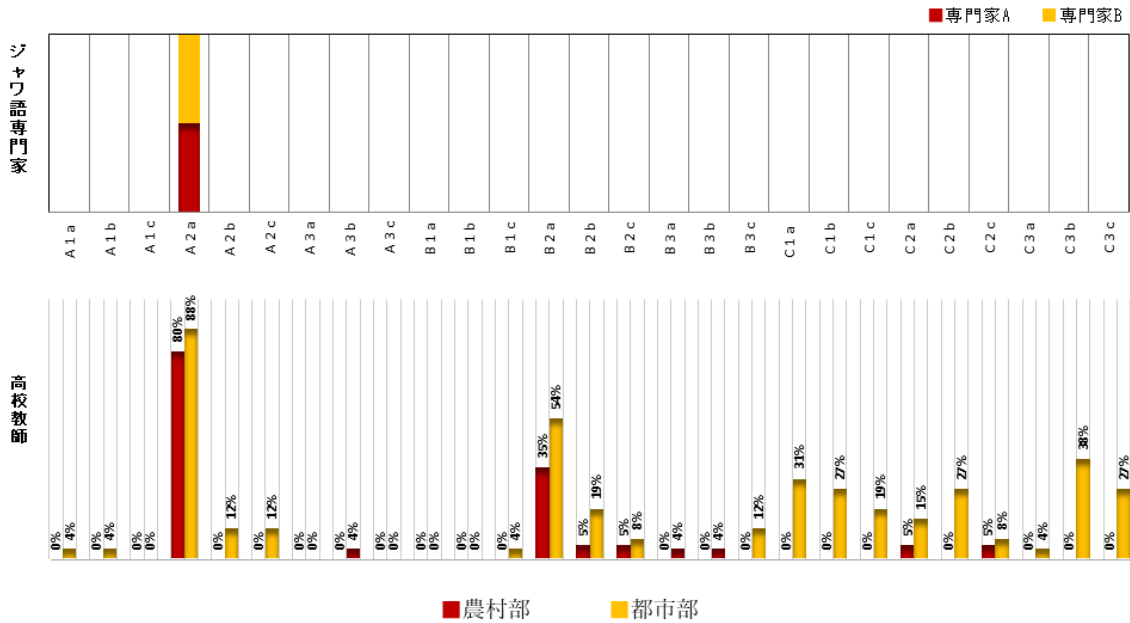
問5. 謙讓的表現の使用を測る設問(私はハルデイト先生にソロ市へ行くことにすると伝える)

問5	Saya menjawab Pak Hardito, bahwa saya akan datang ke Solo. (私はハルデイト先生にソロ市へ行くことにすると伝える。)						
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文体	コード	
1	Kula 私 NAME (appellation)	badhe(K) (A) ~致します Will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula badhe tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃいます。	A 1 a	
2			いらっしゃる go	menyang(N) (b)~へ to	Kula badhe tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃいます。	A 1 b	
3				ning(N) (c)~へ to	Kula badhe tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃいます。	A 1 c	
4				kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula badhe kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ参ります。	A 2 a
5				menyang(N) (b)~へ to	Kula badhe kesah menyang Solo. 私はソロへ参ります。	A 2 b	
6				参る・行く go	ning(N) (c)~へ to	Kula badhe kesah ning Solo. 私はソロへ参ります。	A 2 c
7				lunga (3)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula badhe lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行きます。	A 3 a
8				行く go	menyang(N) (b)~へ to	Kula badhe lunga menyang Solo. 私はソロへ行きます。	A 3 b
9					ning(N) (c)~へ to	Kula badhe lunga ning Solo. 私はソロへ行きます。	A 3 c
10			ajeng(M) (B) ~します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula ajeng tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃるのです。	B 1 a
11				いらっしゃる go	menyang(N) (b)~へ to	Kula ajeng tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃるのです。	B 1 b
12					ning(N) (c)~へ to	Kula ajeng tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃるのです。	B 1 c
13				kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula ajeng kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ参るのです。	B 2 a
14				menyang(N) (b)~へ to	Kula ajeng kesah menyang Solo. 私はソロへ参るのです。	B 2 b	
15				参る・行く go	ning(N) (c)~へ to	Kula ajeng kesah ning Solo. 私はソロへ参るのです。	B 2 c
16				lunga (3)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula ajeng lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行きます。	B 3 a
17				行く go	menyang(N) (b)~へ to	Kula ajeng lunga menyang Solo. 私はソロへ行きます。	B 3 b
18					ning(N) (c)~へ to	Kula ajeng lunga ning Solo. 私はソロへ行きます。	B 3 c
19			arep(N) (C) ~する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula arep tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃる。	C 1 a
20				いらっしゃる go	menyang(N) (b)~へ to	Kula arep tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃる。	C 1 b
21					ning(N) (c)~へ to	Kula arep tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃる。	C 1 c
22				kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula arep kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ参る。	C 2 a
23				menyang(N) (b)~へ to	Kula arep kesah menyang Solo. 私はソロへ参る。	C 2 b	
24				参る・行く go	ning(N) (c)~へ to	Kula arep kesah ning Solo. 私はソロへ参る。	C 2 c
25				lunga (3)	dhateng(K) (a)~の方へ to	Kula arep lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行く。	C 3 a
26				行く go	menyang(N) (b)~へ to	Kula arep lunga menyang Solo. 私はソロへ行く。	C 3 b
27					ning(N) (c)~へ to	Kula arep lunga ning Solo. 私はソロへ行く。	C 3 c

表 3-15 高校生 問 5 の設問 [27 文体のバリエーション]

まず、ジャワ語専門家と高校教師が使用する「規範的」と判断した文体は次の通りである。

グラフ問5-1. ジャワ語専門家と高校教師の回答比較



ジャワ語専門家は、二人とも一致して A2a のみが規範的な文体であると選択した。つまり、A2a 以外に正しい文体はないということである。問 5 の場面は問 4 の場面と同様に、相手が大先生ということが重要である。年齢差が大きく、さらに地位が高い先生に対して物事を伝えるとき、すべてをクロモにしなければならないという。

A2a. Kula badhe kesah dhateng Solo?

K M K

ジャワ語の教師と同様に、最も規範的とされる文体として高校教師が選んだのは A2a である。しかし、問 4 と違い、回答率は 100%ではなく、都市部でも農村部でも 8 割程度だった。

A2a の次に多くの高校教師が選んだのは、B2a (農村部 35%、都市部 54%) であった。その次に選ばれた回答をみていくと、農村部では目立った回答はない。一方、都市部ではいくつか目立った回答が見られる。都市部では、C 枠を選ぶ教師がみられ、特に、C3b (38%) と C1a (31%) では回答率が 3 割を超えている。

B2a. Kula ajeng kesah dhateng Solo.

M M K

C3b. Kula arep lunga menyang Solo.

N N N

C1a. Kula arep tindak dhateng Solo.

N Ki K

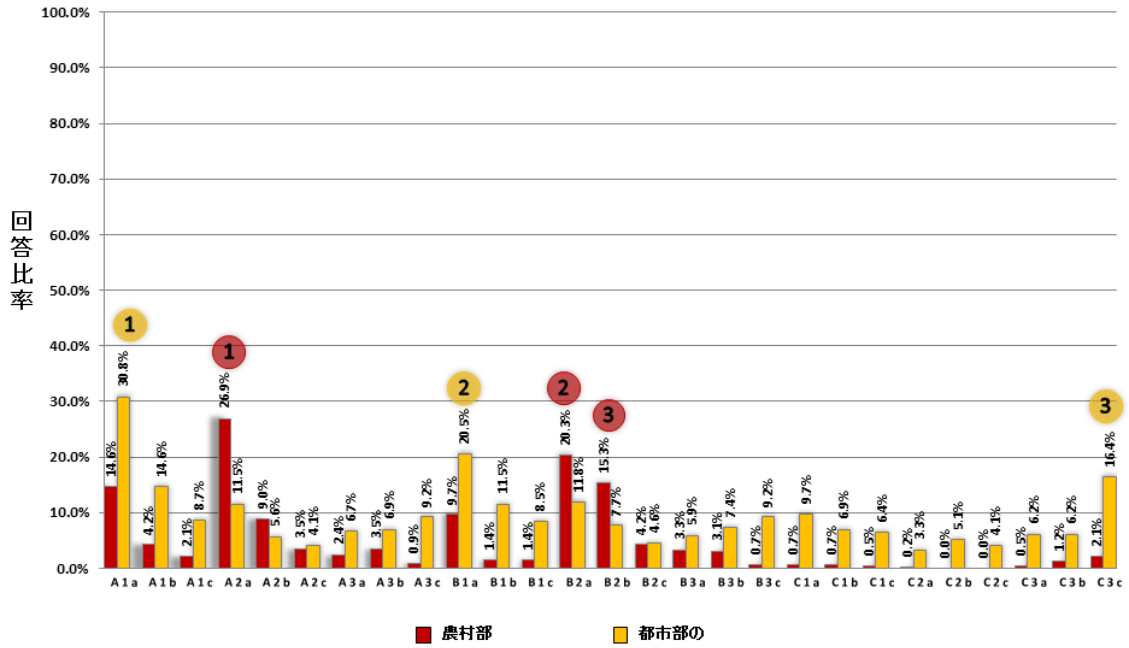
問5は、私がソロへ行くことに大先生に伝えるという場面である。自分のことを話す文体において、大先生へ敬意を表わす方法というのは、自分の行為を表す動詞を低くすることである。つまり、本来ならばここでは、動詞をKa語にしなければならない。これは、日本語で、謙譲語を使用することと同様である。しかし、ジャワ語の「行く」の語彙には、謙譲語に対応する語彙がないため、K語より一つ低い語彙、M語 *kesah* を使用しなければならない。動詞以外は、丁寧さを表すためにK語にするが、他の語彙にもK語がない場合、基本的には一つ下のランクの語彙を使用する。

A2aは日本語に直訳すると「私はソロの方へ参ります」となる。文体の主語は「私」であるため、通常、自分の行為をへりくだるし、「行く」を謙譲語の「参る」に変更する。しかし、「参る」のような語彙はジャワ語にはないため、Ki/K語の語彙を1ランク下げ、M語の *kesah* を用いることにより、謙譲的な表現「参る」の意味を表す。丁寧さを表すため、助動詞と前置詞はK語を使用するのが規範的とされる。

また、他の選択肢をみていくと、B2aは、構造的にA2aと一緒にあるが、助動詞までM語にする必要はない。これは、助動詞も自分のこととして捉える、あるいは方言として捉えるなどの見解もあり微妙なところではある。しかし、第2章でも述べたように、助動詞は基本的に文体の丁寧さを表す役割を持ち、敬意度を表す役割はない。そのため、大先生には最も丁寧な助動詞を使うのが正しいといえよう。そうすると、B2aは日本語では「私はソロの方へ参るのです」になり、失礼にあたる要素はない敬意を表す文体だが、丁寧さには欠けていることで規範的とはされていないが、許容的とはされている。

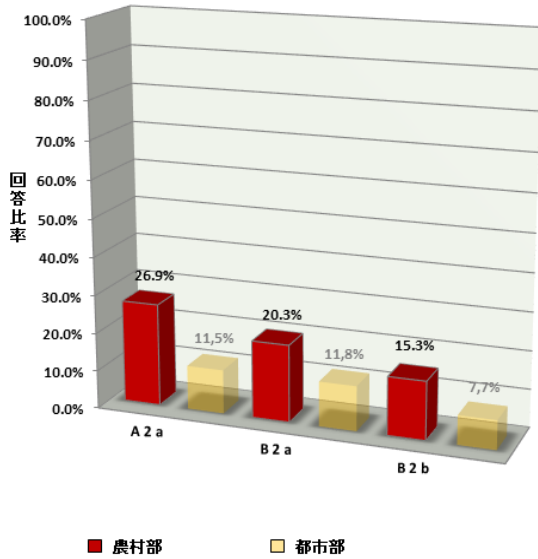
次に高校生の回答の順位をまとめてみよう。

グラフ問5-2. 農村部と都市部の高校生の回答比較

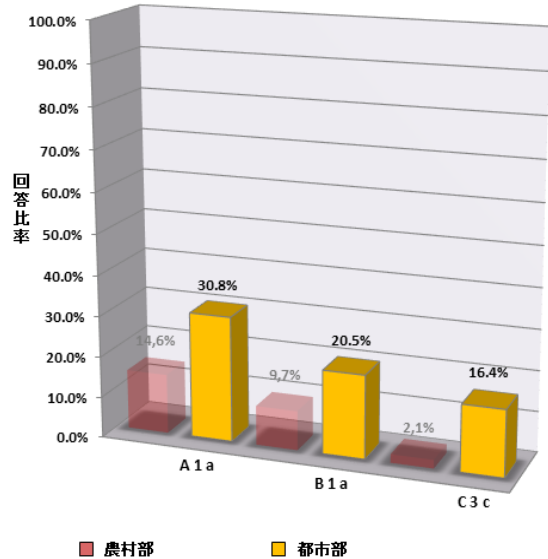


回答の順位は次の通りである。

グラフ Q5-2-1. 農村部の高校生の回答比較



グラフ Q5-2-2. 都市部の高校生の回答比較



このデータから次のような点を指摘できる。

問5-1.農村部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	A2a ○	Kula 私(クロモ アンダップ語) NAME (appellation)	badhe (K) ~致します	kesah (M) 参る・行く	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo. (地名)	26.9%
		私は ソロ の方へ 参ります。					
②	B2a	Kula	ajeng (M) ~します	kesah (M) 参る・行く	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	20.3%
		私は ソロ の方へ 参るのです。					
③	B2b	Kula	ajeng (M) ~します	kesah (M) 参る・行く	menyang(N) ~へ	Solo.	15.3%
		私は ソロ へ 参るのです。					

問5-2.都市部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	A1a	Kula	badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	30.8%
		私は ソロ の方へ いらっしゃいます。					
②	B1a	Kula	ajeng (M) ~します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	20.5%
		私は ソロ の方へ いらっしゃるのです。					
③	C3c	Kula	arep (N) ~する	lunga (N) 行く	ning (N) ~へ	Solo.	16.4%
		私は ソロ へ 行く。					

表 3-16 高校生 問5 の回答分析

この場面で、農村部の高校生が最もよく使う文体はA2aであることがわかった。これは、ジョグジャカルタ出身の大学生が最もよく使う文体と同じであった。このA2aは、高校教師(平均84%)と大学のジャワ語専門家(100%)に、最も規範的とされる文体として選ばれたものである。一方、都市部の高校生が最もよく使う文体は、A1aであることがわかった。これは、他州出身の大学生が最もよく使う文体と同じであった。

A2aは、農村部の生徒が最も多く選んだ文体であったが、回答率は27%で、高校教師の84%とジャワ語専門家100%と比較すると低い割合である。ここから、農村部の高校生の中には、自分をへりくだる謙譲的表現の敬語使用を理解している生徒が3割弱しかいないことがわかる。また、農村部の高校生に、二番目に多く選ばれたB2aと三番目に多く選ばれたB2bでは、いずれも自分の行為を表す動詞にkesahが使用されている。文体としては無礼ではないが、敬意度と丁寧さはA2aより低いため、許容的とされる文体である。そのため、ジャワ語の専門家は、この場面において、最も規範的な文体はA2aのみであると指摘する。

つづいて、都市部の高校生の回答をみていくと、彼らが最も多く選んだのはA1aで、回答率は31%であった。この文体は最も無礼な文体で、全く規範的ではない。都市部の高校教師の1人がこのA1aを選んでいることは驚くべきことである。農村部の高校教師はジャワ語

の教師と同様に、A1a を規範的な文体とする者は全くいない。

都市部の生徒が最も選んだ A1a が、最も規範的ではない理由は、前にも述べたように、年齢やと地位が自分より上位の相手と話す際に、自分のことを高めてはいけなからである。A1a の文体で一番重大な過ちは、自分の行動を *tindak* 「いらっしやる」で示していることである。二番目に多く選ばれた B1a も同じく、自分の行為を表す動詞に *tindak* を選んでおり、規範的ではない文体となる。都市部の生徒が使用する規範的ではない文体、A1a と B1a を合わせて回答率が半分以上を占めるという結果は非常に印象的である。また、回答率第三番目の C3c も、敬意を表すべき相手に対してすべてを N 語にしており、相手に対する敬意や、丁寧さが感じられない、規範的ではない文体である。日本語に直訳すると、大先生に対して「私はソロへ行く」という伝え方をしていることになり、失礼にあたる。

グラフ 5-2 のように、都市部の生徒に最も選ばれた 3 つの回答をみると、ほとんどの都市部の生徒が、敬意をすべき相手に、自分をどのように表現するか、敬語表現をどのように使用すべきかについて意識が低く、敬語使用を理解していないことが分かる。一方、農村部の生徒が最も選んだ 3 つの回答からは、相手を敬って自分を低くするために動詞をいかに表現すべきか理解している生徒が、割合は多くないものみられる。このことから、都市部に比べて、農村部の高校生の方が、謙譲的表現の使用をより理解していることが明らかとなった。

問 5 の分析において見られる農村部と都市部の高校生における謙譲的表現の使用状況(文体使用) は次の通りである。

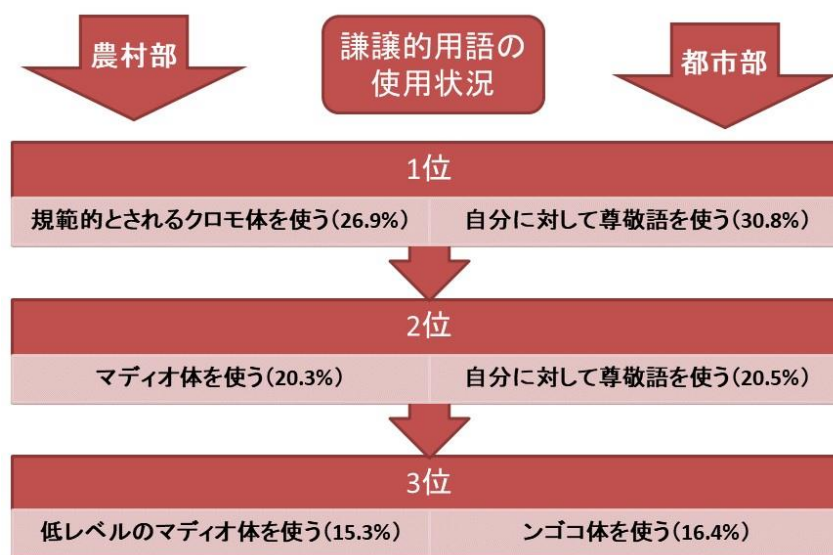


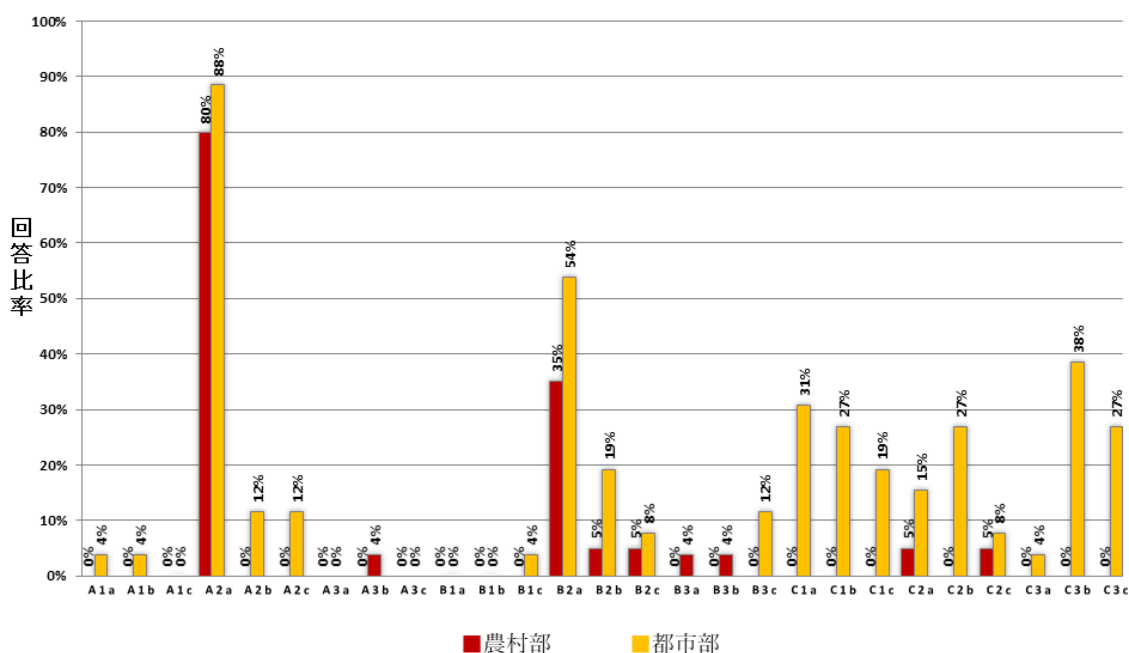
図 3-7 高校生 問 5 農村部と都市部の回答結果

農村部の高校生が選んだ 1 位は規範的とされる文体で、謙譲的表現の *kesah* を正しく使用する。2 位は、すでにマディオ体を選ばれ、そして 3 位は、マディオ体の中でも低レベル

のマディオ体を使う。レベルは異なるが、農村部の高校生は1位から3位まで自分をへりくだる文体を選ぶ。一方、都市部の高校生が選んだ1位と2位は、自分に対して尊敬語を使い、規範的ではない文体を選ぶ。さらに3位は、非丁寧な文体の中で、最も丁寧ではないすべてンゴコ語にするンゴコ体を使う。このように、謙讓的表現に関しても、農村部の高校生より、都市部の高校生の敬語使用の方が、先に変化していくというよりはすでに乱れていることが明らかになる。

次に分析できるのは、高校教師の回答である。

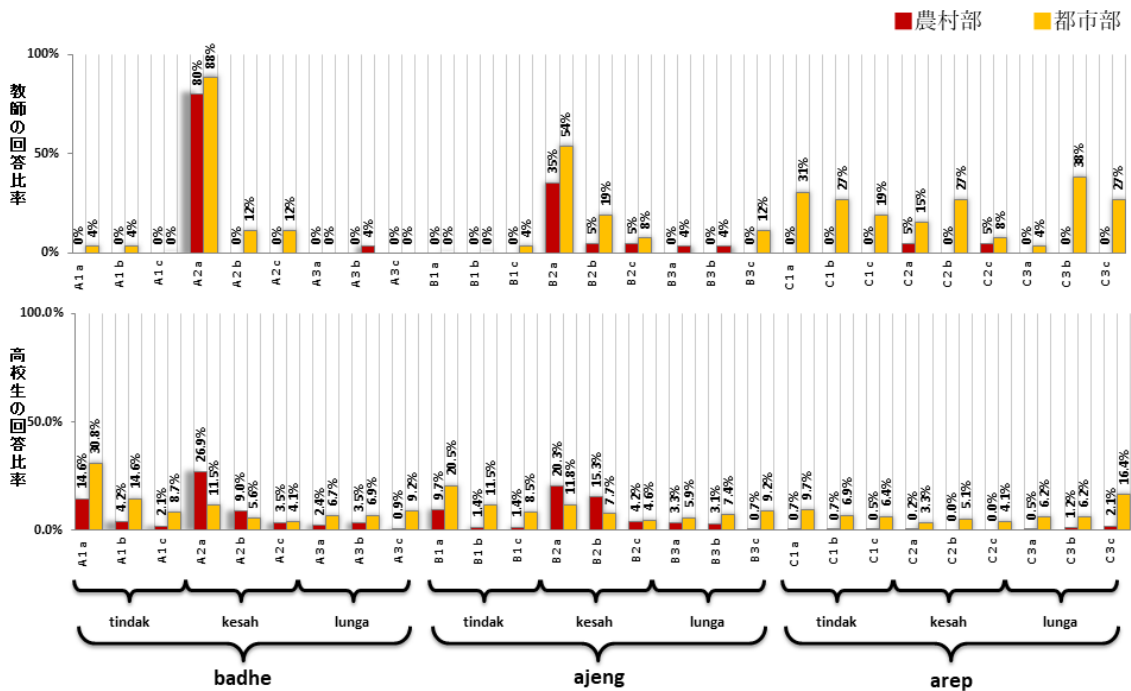
グラフ問5-3. 農村部と都市部の高校教師の回答比較



グラフ 5-3 で最も指摘したいのは、都市部と農村部の高校教師の回答の相違点である。農村部の教師の回答は、A2a と B2a に集中しているが、都市部の教師の回答はC 枠に多く見られる。その中でも、回答率が高いのは、C3b(38%)と C1a(31%)である。C3b はすべて N 語を使用したもので、日本語で訳すならば、先生に対して「私はソロへ行く」と答えているようなものである。敬意どころか、丁寧さすら表さない文体を選んだ都市部の高校教師が 38% もいるのは驚くべきことである。更に C1a を選んだ都市部の高校教師が 31%もいたことも意外であった。C1a では、自分の行為を表す動詞に Ki 語の *tindak* を使用している。これでは、相手に対して自分を高め、相手より自分が上位にあることを示すことになり、無礼にあたってしまう。日本語にすると、「私はソロの方へいらっしゃる」という規範的ではない文体となる。都市部の教師の 3 割がこの選択肢を選んだという結果をみるかぎり、高校教師（特に都市部）のジャワ語の敬語運用能力に疑問を抱かざるを得ない。

また、教師と生徒の回答を比べてみると、次の通りになる。

グラフ問5-4. 高校教師と高校生の回答比較

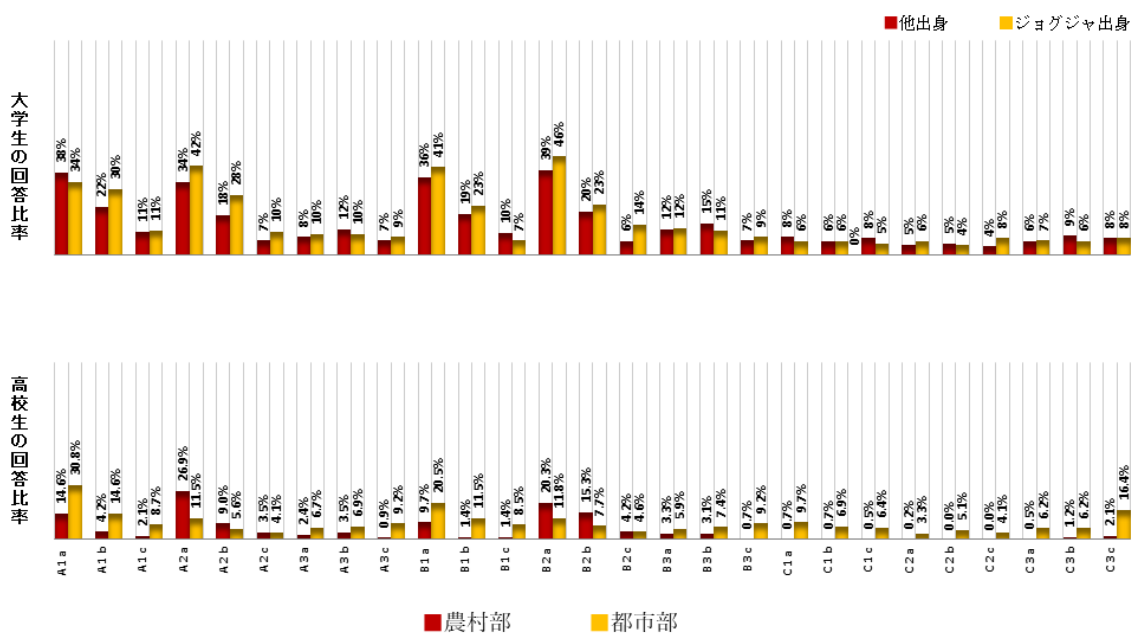


教師のなかで最も使用されている文体は、都市部と農村部とともに同じであったが、高校生の中で最も使用されている文体は、農村部と都市部で異なる。農村部の生徒は最も規範的とされる A2a を選んだが、都市部の生徒は最も規範的ではないとされる A1a を選んだ。また、都市部の生徒のなかには、農村部の生徒が最も規範とされる A2a を選んだ生徒の割合が低いことも指摘できる。

都市部の生徒が最も選んだ A1a の割合は 3 割で、数字からみるとそれほど高くはないと思われるかもしれない。ただし、自分に対して尊敬語の *tindak* を使う生徒が 3 割もいるということを考えれば、敬語使用を理解していない都市部の生徒が十分にいるといえよう。また、農村部の生徒のなかにも、A1a を選んだ生徒が 15%ほどいた。つまり、最も規範的とされる文体 A2a を選んだ生徒が約 27%いる一方で、最も規範的ではない文体を選んだ生徒が約 15%おり、敬語運用能力の理解不足がうかがえるのである。

また、グラフ 5-4 で特に目立ったのは、都市部の生徒と高校教師の回答が、農村部と異なり、C 枠にも分布していることである。特に C1a (31%) と C3b (38%) を選んだ都市部の高校教師がいることは指摘すべきことであろう。C1a では、自分の行為を表す動詞に *tindak* 「いらっしゃる」を用いており、日本語に訳すと相手の大先生に対して「私はソロの方へいらっしゃる」と言っていることになる。規範的ではないこの文体を、31%もの教師が選んでいることは驚きに値する。また、C3b に関しては、敬うべき相手に対しすべて N 語で伝えており、「私はソロへ行く」という敬意と丁寧さが全くなく無礼な文体である。それにも関わらず、これを選んだ教師が 4 割近く (38%) いたことは非常に予想外であった。

グラフ問5-5. 大学生と高校生の回答比較

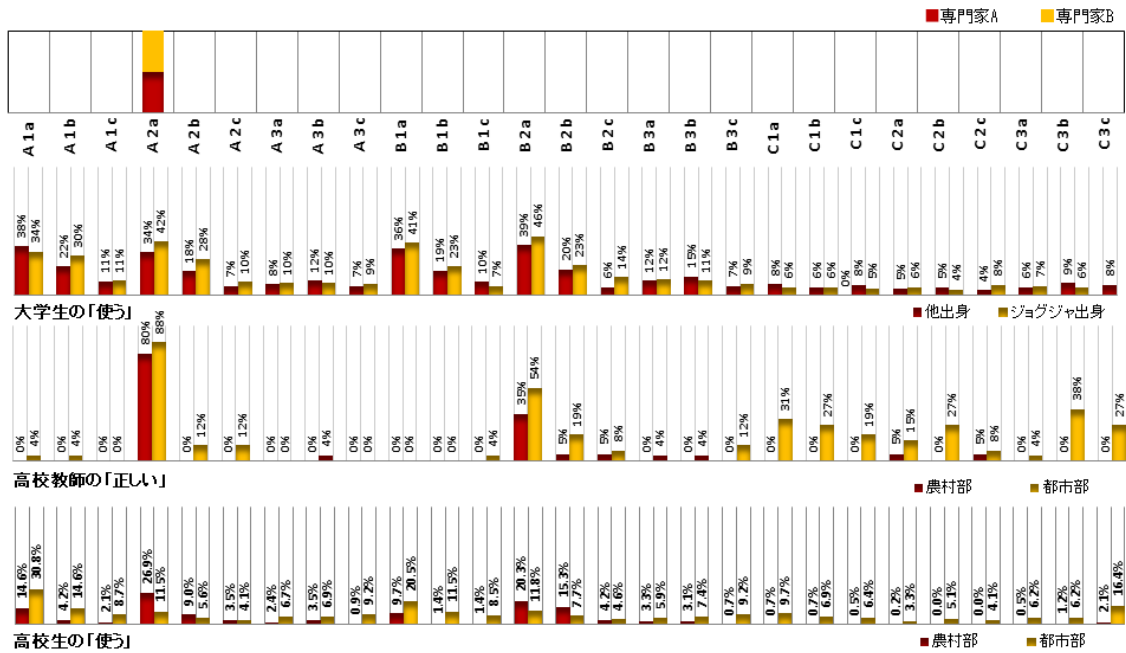


グラフ 5-5 は、大学生と高校生がよく使う文体を比較したものである。ジョグジャカルタ出身の大学生と農村部の高校生は、最も規範的とされる文体 A2a を選んだが、他州出身の大学生と都市部の高校生は反対に、最も規範的ではないとされる文体 A1a を選んだことがわかった。

また、全体からみると、大学生の回答は、高校生の回答より多様性がある。C 枠の回答のばらつきからみると、大学生では、ジョグジャカルタ出身と他州出身の学生、いずれも C 枠の文体を選んだ学生の比率はおおよそ同じだった。一方、高校生では、C 枠の文体を選んだのは都市部の高校生がほとんどであることが明らかとなった。

最後のグラフ 5-6 で、すべてを比較してみよう。

グラフ問5-6.
ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較



一番上は、ジャワ語専門家の回答で、規範的な文体とされる。

その次は、大学生が使用する文体で、回答にばらつきが多く見られる。大学生の回答が最も多様である。最も使用されるのは、ジョグジャカルタ出身では最も規範とされる A2a だが、他州出身では最も規範的ではないとされる A1a であることが明らかとなった。問 5 を分析した結果、大学生においては、他州出身の学生はジョグジャカルタ出身に比べて、謙譲的表現の使用に対する理解力が低いことが明らかになった。そして、高校生においては、都市部の生徒は農村部に比べて、敬語を上手に運用できないことも明らかとなった。

次に、高校教師の多くが、ジャワ語専門家が規範的とする文体 (A2a) を選んだが、意外なのは、都市部の高校教師のなかには C 枠の規範的ではない文体を選んだものが少なからずいることである。

3-3-4-3 問 1 の回答分析と考察

問 1 は、尊敬的表現の使用能力と実態を測る設問である。相手との距離による尊敬的表現の変化をみることを目的としている。「私はヨヨさんにソロ市へ行くかどうかをたずねる」の選択肢は次の通りである。ヨヨさんは演劇部のコーチ、私と親しい 40 歳である (ここからは、語彙の構成のバリエーションを省略する)。

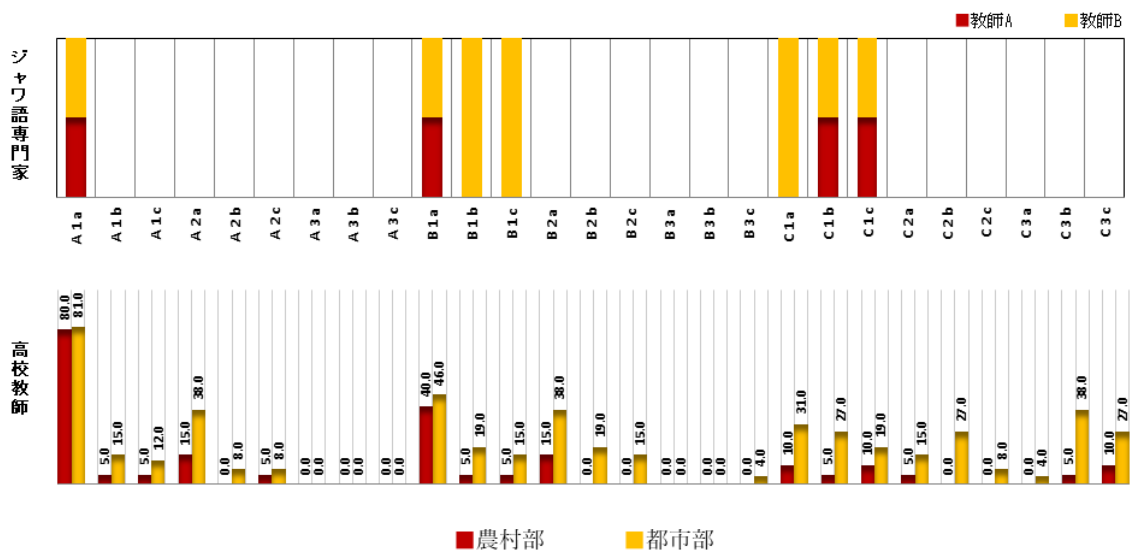
問1. 尊敬的表現の使用を測る設問 (私はヨヨさんにソロ市へ行くかどうかを尋ねる)

問1 Saya bertanya kepada Mas Yoyok apakah akan datang ke Solo. (私はヨヨさんにソロ市へ行くかどうかを尋ねる。)							
番号	主題	助動詞	動詞	前置詞	文体	コード	
1	Mas (年上の男性の 呼び名、～さん) NAME (appellation)	badhe(K) (A) ～なさいませ/ 致します	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas badhe tindak dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へいらっしゃいますか。	A 1 a	
2			menyang(N) (b) ~へ to	Mas badhe tindak menyang Solo? ヨヨさんはソロへいらっしゃいますか。	A 1 b		
3			いらっしゃる go	ning(N) (c) ~へ to	Mas badhe tindak ning Solo? ヨヨさんはソロへいらっしゃいますか。	A 1 c	
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas badhe kesah dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へ行きますか。	A 2 a	
5				menyang(N) (b) ~へ to	Mas badhe kesah menyang Solo? ヨヨさんはソロへ行きますか。	A 2 b	
6				ning(N) (c) ~へ to	Mas badhe kesah ning Solo? ヨヨさんはソロへ行きますか。	A 2 c	
7			will	lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas badhe lunga dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へ行くんですか。	A 3 a
8					menyang(N) (b) ~へ to	Mas badhe lunga menyang Solo? ヨヨさんはソロへ行くんですか。	A 3 b
9					行く go	ning(N) (c) ~へ to	Mas badhe lunga ning Solo? ヨヨさんはソロへ行くんですか。
10		ajeng(M) (B) ～します	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas ajeng tindak dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へいらっしゃるのですか。	B 1 a	
11				menyang(N) (b) ~へ to	Mas ajeng tindak menyang Solo? ヨヨさんはソロへいらっしゃるのですか。	B 1 b	
12				いらっしゃる go	ning(N) (c) ~へ to	Mas ajeng tindak ning Solo? ヨヨさんはソロへいらっしゃるのですか。	B 1 c
13			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas ajeng kesah dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へ行くのですか。	B 2 a	
14				menyang(N) (b) ~へ to	Mas ajeng kesah menyang Solo? ヨヨさんはソロへ行くのですか。	B 2 b	
15				ning(N) (c) ~へ to	Mas ajeng kesah ning Solo? ヨヨさんはソロへ行くのですか。	B 2 c	
16			will	lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas ajeng lunga dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へ行くんですか。	B 3 a
17					menyang(N) (b) ~へ to	Mas ajeng lunga menyang Solo? ヨヨさんはソロへ行くんですか。	B 3 b
18					行く go	ning(N) (c) ~へ to	Mas ajeng lunga ning Solo? ヨヨさんはソロへ行くんですか。
19		arep(N) (C) ～する	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas arep tindak dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へいらっしゃるのか。	C 1 a	
20				menyang(N) (b) ~へ to	Mas arep tindak menyang Solo? ヨヨさんはソロへいらっしゃるのか。	C 1 b	
21				いらっしゃる go	ning(N) (c) ~へ to	Mas arep tindak ning Solo? ヨヨさんはソロへいらっしゃるのか。	C 1 c
22			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas arep kesah dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へ行くのか。	C 2 a	
23				menyang(N) (b) ~へ to	Mas arep kesah menyang Solo? ヨヨさんはソロへ行くのか。	C 2 b	
24				ning(N) (c) ~へ to	Mas arep kesah ning Solo? ヨヨさんはソロへ行くのか。	C 2 c	
25			will	lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mas arep lunga dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へ行くの。	C 3 a
26					menyang(N) (b) ~へ to	Mas arep lunga menyang Solo? ヨヨさんはソロへ行くの。	C 3 b
27					行く go	ning(N) (c) ~へ to	Mas arep lunga ning Solo? ヨヨさんはソロへ行くの。

表 3-17 高校生 問1 の設問 [27 文体のバリエーション]

まず、ジャワ語専門家と高校教師が使用する「規範的」と判断した文体は次の通りである。

グラフ問1-1. ジャワ語教師と高校教師の回答比較



ジャワ語専門家は、二人とも一致して規範的とされる文体は4つ (A1a, B1a, C1b, C1c) であると回答した。また、専門家 B は更に2つ (B1c, C1a) の文体も規範的だと付け加えた。この回答のばらつきがみられるのは、相手の年齢、地位、相手との関係 (距離) によって規範的とされる文体が異なるからである。これについては、3-4-2-1 にすでに説明したが、高校教師の回答をみてみよう。

一方、高校教師から選んだ最も規範的とされる文体は、A1a、その次に B1a である。

A1a. Mas badhe tindak dhateng Solo?

K Ki K

B1a. Mas ajeng tindak dhateng Solo?

M Ki K

高校教師が選んだ文体は、動詞に tindak (Ki 語) を使用するものがほとんどであった。A1a は、たとえヨヨさんと仲良しであっても、敬意を表したいときに用いられる。敬意度と丁寧さの高い規範的な文体とされている。一方、B1a は、ヨヨさんにはある程度の敬意を持ちながら、丁寧な伝え方をしたいときに用いられる。ここでは、動詞は最も敬意を表す tindak Ki 語にするが、助動詞は少しフランクな言い方にして、kesah にしている。ここまでは、大学のジャワ語専門家と高校教師の8割以上の回答が一致している。

つづいて他の回答をみると、ジャワ語専門家によると C1a と C1a も規範的と判断されている。しかし、高校教師のうち、特に農村部の高校教師は、C1a と C1a をあまり選んでいない (5~10%のみ)。

C1b. Bapak arep tindak menyang Solo?

N Ki N

C1c. Bapak arep tindak ning Solo?

N Ki K

C1b と C1c が規範的だとされる理由は、ヨヨさんが自分と仲良しの関係を持つからだ、ジャワ語専門家は指摘する。そのため、敬意を動詞の tindak (Ki) で示し、親しさを助動詞と前置詞に N 語にすることで示す。つまり、丁寧さの低い文体でも、敬意を表すことができるという。この文体を選ぶことで、話し手は相手に対して、親近感を表しながらも敬意を十分に表すことができ、規範的な文体として認められるという。

しかし、高校教師の回答をみると、特に農村部の C1b (5%) と C1c (10%) の回答率が非常に低い。また、都市部では規範的とされない C3b (38%) と C3c (27%) の回答率が高い。

C3b. Bapak arep lunga menyang Solo?

N N N

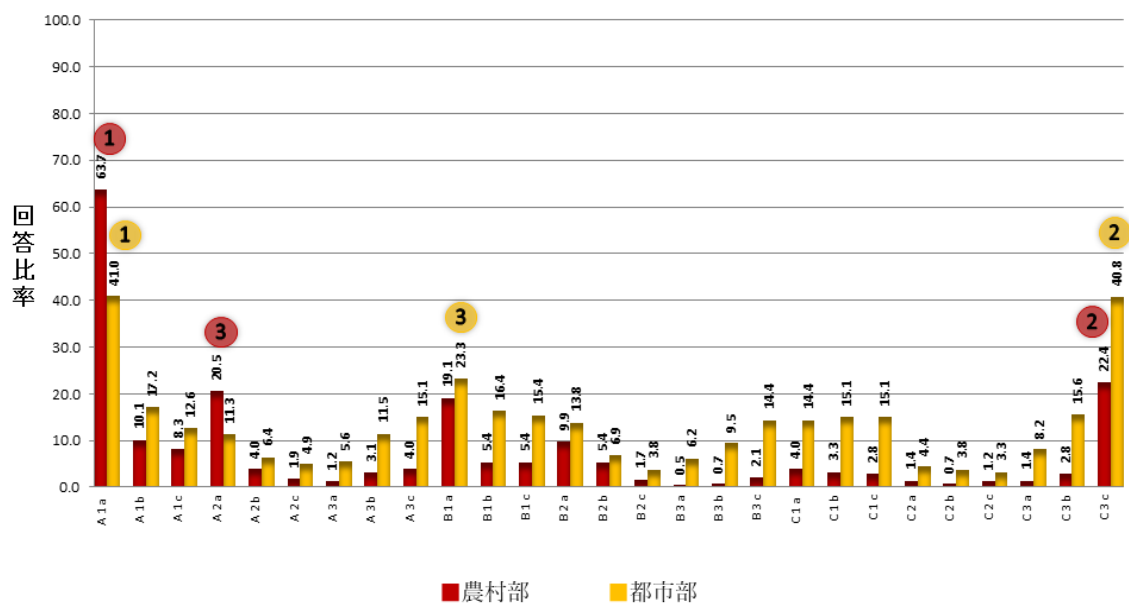
C3c. Bapak arep lunga ning Solo?

N N N

C3b と C3c は、すべて N 語を使用しており、敬意度と丁寧さが最も低い文体である。ヨヨさんと幾ら親しくても、高校生の立場として、相手に敬意を表す必要があるとジャワ語専門家が説明する。つまり、親しくとも、文体を自由に使用できるという考えは間違っているという。都市部の高校教師は、「親しい」ということばに引っ掛っている可能性がある」と筆者は考える。特に現在、ジョグジャカルタ市では、ジャワ語すら使用できないジャワ人の若者が増えており、今後、相手が誰であっても親しければ、すべて N 語を使用することが規範的とされる（許容的になる）とされていく可能性がないわけではない。

次に高校生について、回答の多い順にまとめてみよう。

グラフ問1-2. 農村部と都市部の高校生の回答比較



このデータから次のような点を指摘できる。

問1-1.農村部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	A1a ○	Mas (年上男性の呼称 ~さん)	badhe (K) ~なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo? (地名)	63.7%
		ヨヨさんは ソロ の方へ いらっしゃいますか。					
②	C3c	Mas	arep (N) ~する	lunga (N) 行く	ning (N) ~へ	Solo?	22.4%
		ヨヨさんは ソロ へ 行くの。					
③	A2a	Bapak	badhe (K) ~なさいます	kesah (M) 行く	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo?	20.5%
		ヨヨさんは ソロ の方へ 行きますか。					

問1-2.都市部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	A1a ○	Mas (年上男性の呼称 ~さん)	badhe (K) ~なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo? (地名)	41%
		ヨヨさんは ソロ の方へ いらっしゃいますか。					
②	C3c	Mas	arep (N) ~する	lunga (N) 行く	ning (N) ~へ	Solo?	40.8%
		ヨヨさんは ソロ へ 行くの。					
③	B1a	Mas	ajeng (M) ~します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo?	23.3%
		ヨヨさんは ソロ の方へ いらっしゃるのですか。					

表 3-18 高校生 問1 の回答分析

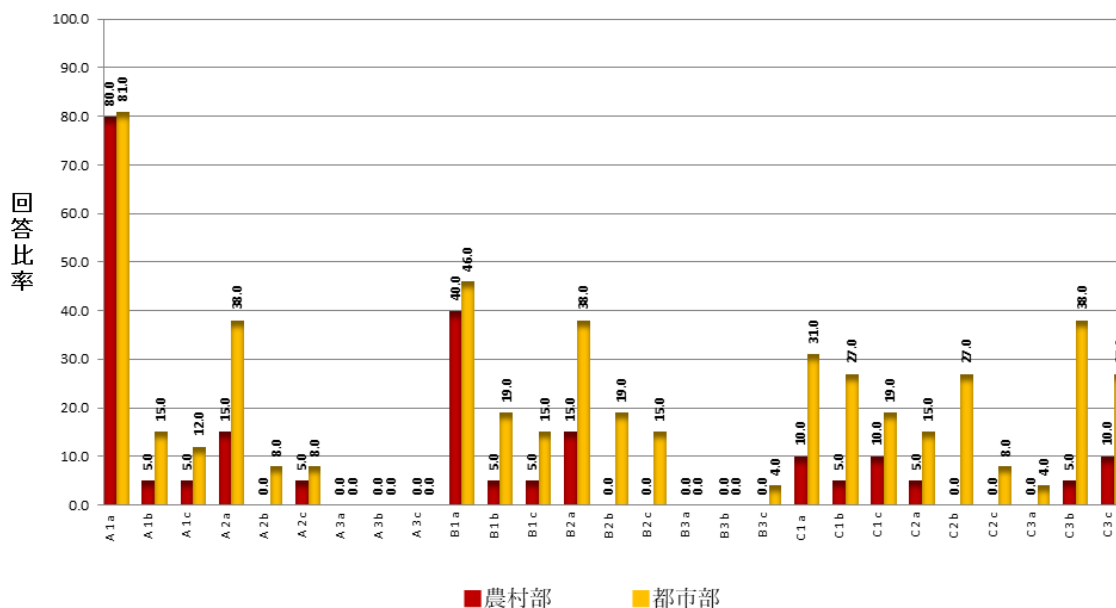
農村部と都市部の高校生が最もよく使う文体は、A1a である。これは、大学生が最もよく使う文体と同様である。回答率からみると、農村部は約 64%、都市部は 41% で、十分に高い。また、都市部と農村部の生徒が二番目に多く選んだ回答も同様に、C3c であった。C3c が選ばれた理由は、前に説明したように、ヨヨさんと親しい関係を持つため、すべて N 語でも許されるという誤解である。

問 4 の大事なポイントは、話し手 (高校生) と聞き手 (仲良しの部活コーチ、年配の方) の関係である。親しくても、コーチの地位と年齢を優先したい場合は、すべて K 語で規範的とされる A1 を選ぶことが適切である。一方、親しいからこそ、丁寧さはある程度崩し、敬意をしっかりと表したい場合は、文体のバランスが保つ限り、相手の行為を表す動詞以外、N 語にしても許容される。そのため、C1a も規範的であるとされる。しかし、C3c の場合は、すべて N 語を使用しており、相手に対して敬意も表さなければ丁寧さもない文体である。相手と親しい関係を持つとしても、このような文体の使用は失礼にあたる。都市部の生徒の 4 割以上が C3c を選んだことは予想外であった。農村部の生徒のうちこれを選んだのは 22% と、都市部に比べると少ないものの、この結果は高校生の現在の敬語使用状況をよく示しているといえるだろう。

農村部と都市部の高校生が一番目、二番目に選んだ選択肢が一致するのは珍しい。しかし、三番目は異なっている。農村部で三番目に多かったのはA2aである。これは、丁寧さはあるが、敬意については中途半端である。敬意を表すために助動詞と前置詞をKi語にしたにもかかわらず、動詞だけM語にしてしまっている。B1aも同じく、動詞と前置詞をK語にしたのに、わざわざ助動詞をM語にしてしまっている。このようなことをする必要はないとジャワ語専門家の一人は指摘する。つまり、ヨヨさんに親近感を表したいときは、丁寧さを低くシゴゴ語を使用しても良いが、同時に彼のコーチとしての地位に敬意を示す必要があり、動詞にはtindak(Ki)を用いることが規範的であるとされる。A2aとB1aは、日本語に訳すと、「ヨヨさんはソロの方へ行きますか」と「ヨヨさんはソロの方へいらっしゃるのですか」となる。両方とも日本語としては誤りではないが、ジャワ語では規範的な文体とされていない（そのなかでも、B1aは許容的な文体とされる場合がある）。専門家Aは、ジャワ語の敬語体系には、語彙の組み合わせのバランスという特徴があるからであると述べている。

次に高校教師の回答を分析する。

グラフ問1-3. 農村部と都市部の高校教師の回答比較

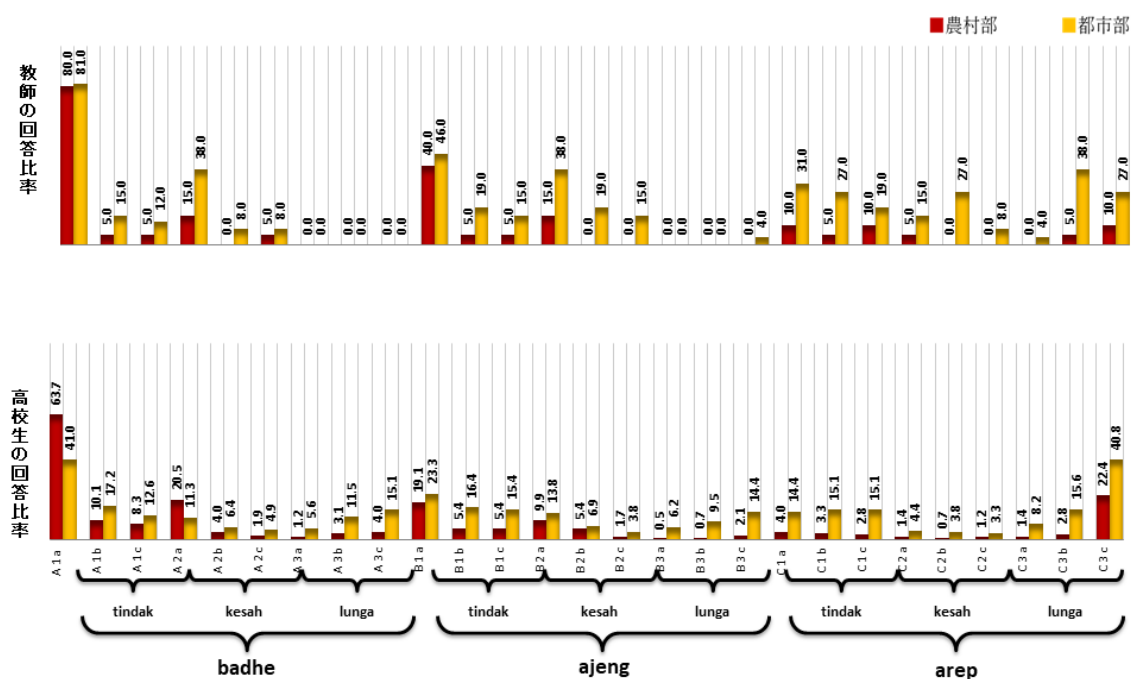


グラフ1-3からみると、農村部と都市部の高校教師の回答のほとんどがA1aとB1aに集中するが、都市部の教師の回答はC枠にも比較的高い回答率で分布している。その中でも、回答率の高いのは、C3b(38%)とC1a(31%)である。驚いたことに、C3bはすべてN語を使用している。日本語にすると、先生に対して「私はソロへ行く」と答えていることになる。このような敬意どころか丁寧さすら表さない文体を選んだ都市部の高校教師が38%もいた。更にC1aを選んだ都市部の高校教師が31%もいるということも驚きである。C1aは自分の行為を示す動詞にtindak(Ki)を使用する。これは相手に対して自分を高め、相手より自分が上

位にあると示すことになり、無礼にあたる。日本語では「私はソロの方へいらっしゃる」と、最も規範的ではない文体となるが、都市部の教師の 3 割もがこれを選んだことに、高校教師、特に都市部の教師のジャワ語の敬語使用に疑問を抱かざるを得ない。

また、教師と生徒の回答を比べてみると、次の通りになる。

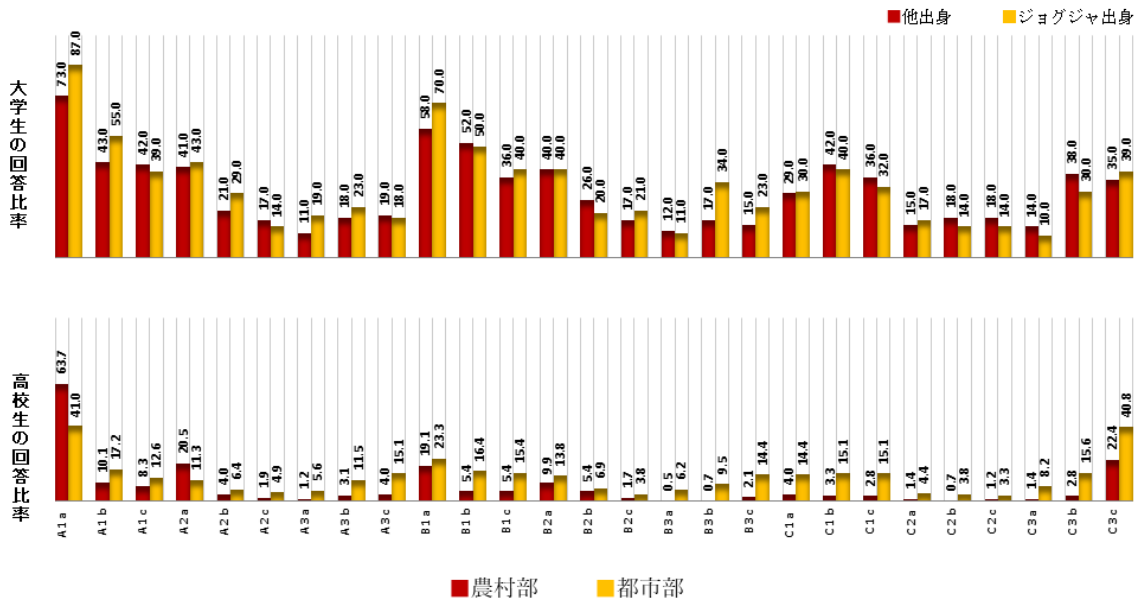
グラフ 問1-4. 高校教師と高校生の回答比較



最も選ばれた文体は、教師も生徒も、規範的とされる A1a であった。8 割以上の高校教師が、A1a を選んだのに対して、高校生は都市部と農村部平均して 53% が A1a を選んでいる。高校生のうち、農村部では 64%、都市部では 41% が A1a を選んでおり、都市部の高校生の回答率は農村部より 2 割下がるのがわかった。二番目に多く選ばれた文体は、高校教師も生徒も B2a である。どちらも農村部より都市部の方が多かった。また、都市部では、規範的とされない文体、C3b と C3c を選んだ高校教師も意外と多い。これは、都市部の生徒が C3b と C3c を使用すると答えた割合よりも多い。この教師の回答から見えるのは、教師であってもすでに敬語運用能力の低下がみられるということである。

では、次に大学生と高校生の回答を比較してみよう。

グラフ問1-5. 大学生と高校生の回答比較

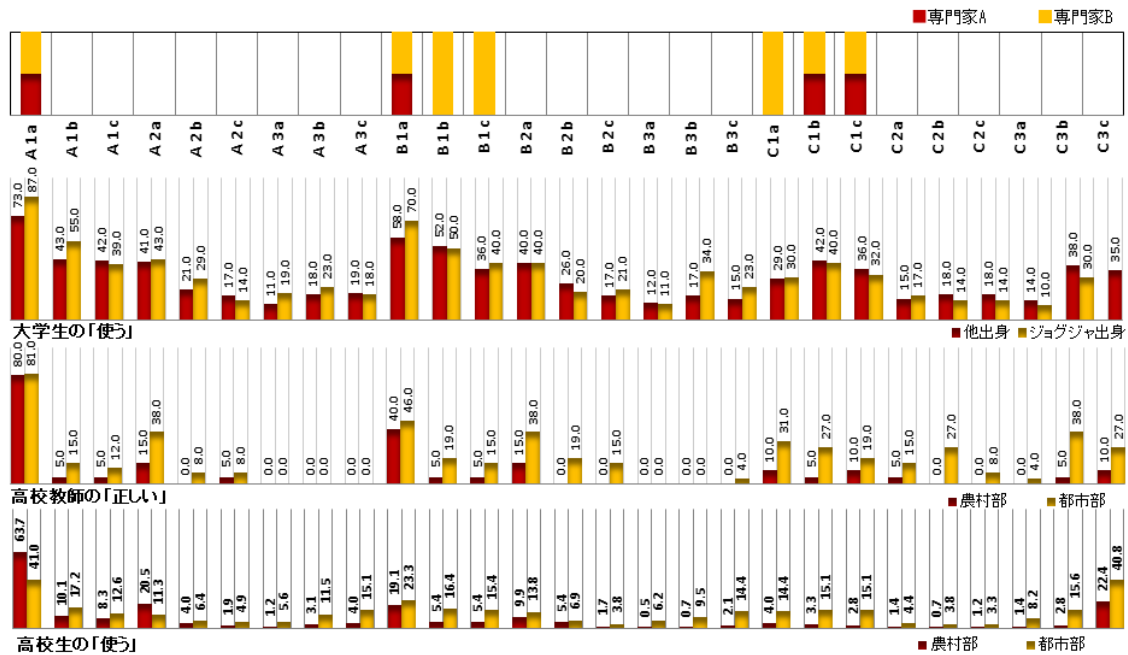


グラフ 1-5 から、大学生と高校生いずれも最も多く使用すると答えたのは A1a であることがわかる。二番目に多く選ばれた文体は、大学生が B1a だったのに対し、高校生は C1a であった。ここから丁寧さを少し崩しつつも敬意はしっかりと表そうとする大学生に対して、高校生は親近感を優先してすべて N 語を使用していることがわかる。

また、高校生と比べると、大学生の回答にはばらつきが見られ、他の文体を使用する傾向がある。これは、大学生の伝え方に様々なバリエーションがあることを示す。ヨヨさんとの微妙な関係をどのように考慮し、表現するのか差異がみられるからである。このことから、大学生は高校生と比べて、敬語使用の能力が高いということが言える。

最後に、グラフ 1-6 で全てを比較してみよう。

グラフ問1-6.
ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較



一番上は、ジャワ語専門家が規範的とされる文体と回答したものである。次は、大学生が普段使うと回答したもので、使用される文体にばらつきが多く見られる。大学生の回答が最も多様であるものの、最も使用されるのは最も規範的とされるA1aであった。次に高校教師の回答をみると、彼らの多くは、基本的にジャワ語専門家が規範的とされるA1aを選んでいるが、都市部の高校教師のなかには、C枠の規範的とされない文体（C3b、C3c）を選んだものがあり、その比率が高校生より高かったことは驚きであった。最後に、高校生の回答もA1aが最多であったが、都市部農村部ともに規範的とされない文体（C3b、C3c）を選んでいる。大学生ほど回答にばらつきは見られないが、問4の結果と同様に、特に都市部の生徒の多くが、C枠内の最も規範的とされない文体を選んでいる。

3-3-4-4 問2の回答分析と考察

問2は、問題の人物に対する尊敬的表現の使用実態と能力を測る設問である。アンケートで示した「私はラティさんに校長がソロ市へ行くかどうかを尋ねる」の選択肢は次の通りである。ラティさんは校長の秘書40歳、私との関係は提示していない。

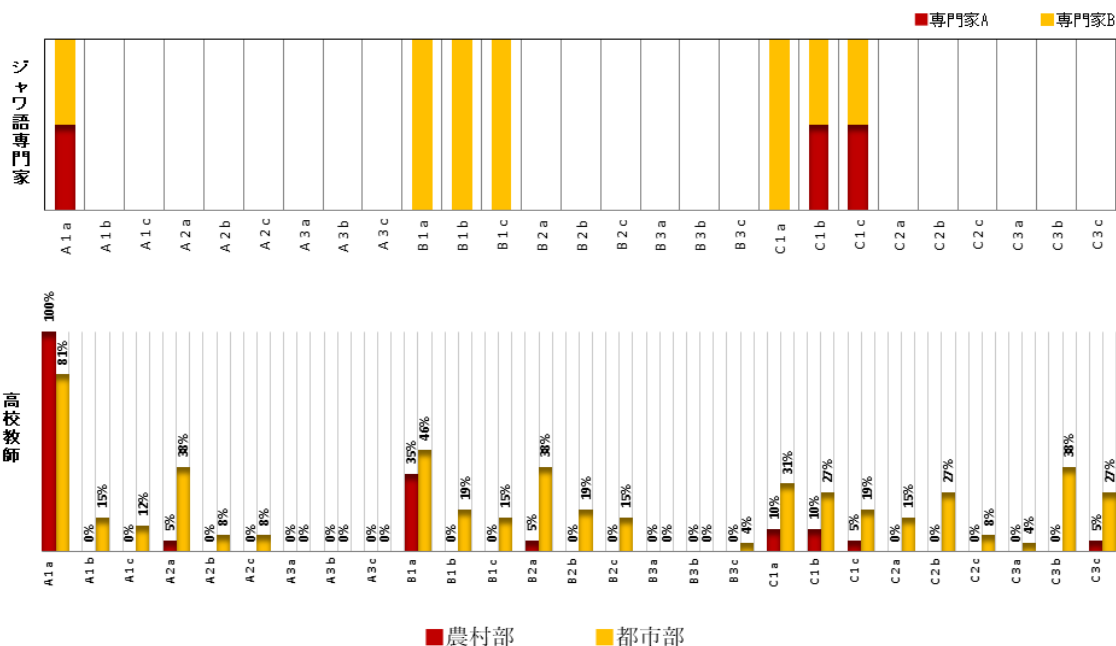
問2. 話題人物に対する尊敬の表現を測る設問(私はラティさんに学部長がソロ市へ行くかどうかを尋ねる)

問2		Saya bertanya kepada Mbak Ratih apakah Pak Dekan akan datang ke Solo. (私はラティさんに学部長がソロ市へ行くかどうかを尋ねる。)				
番号	主語	助動詞	動詞	新語詞	文体	コード
1	Mbak (年上の女性の呼び名、～さん) NAME (appellation)	badhe(K) (A) ～なえます will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mbak, Pak Dekan badhe tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃいますか。	A 1 a
2			menyang(N) (b)-へ to	Mbak, Pak Dekan badhe tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃいますか。	A 1 b	
3			いらっしゃる go	ning(N) (c)-へ to	Mbak, Pak Dekan badhe tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃいますか。	A 1 c
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mbak, Pak Dekan badhe kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行きますか。	A 2 a
5				menyang(N) (b)-へ to	Mbak, Pak Dekan badhe kesah menyang Solo? 先生はソロへ行きますか。	A 2 b
6				ning(N) (c)-へ to	Mbak, Pak Dekan badhe kesah ning Solo? 先生はソロへ行きますか。	A 2 c
7			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mbak, Pak Dekan badhe lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くんですか。	A 3 a
8				menyang(N) (b)-へ to	Mbak, Pak Dekan badhe lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くんですか。	A 3 b
9				ning(N) (c)-へ to	Mbak, Pak Dekan badhe lunga ning Solo? 先生はソロへ行くんですか。	A 3 c
10		ajeng(M) (B) ～します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃるのですか。	B 1 a
11			menyang(N) (b)-へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃるのですか。	B 1 b	
12			いらっしゃる go	ning(N) (c)-へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃるのですか。	B 1 c
13			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くのですか。	B 2 a
14				menyang(N) (b)-へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng kesah menyang Solo? 先生はソロへ行くのですか。	B 2 b
15				ning(N) (c)-へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng kesah ning Solo? 先生はソロへ行くのですか。	B 2 c
16			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くのですか。	B 3 a
17				menyang(N) (b)-へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くのですか。	B 3 b
18				ning(N) (c)-へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng lunga ning Solo? 先生はソロへ行くのですか。	B 3 c
19		arep(N) (C) ～する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mbak, Pak Dekan arep tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃるのか。	C 1 a
20			menyang(N) (b)-へ to	Mbak, Pak Dekan arep tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃるのか。	C 1 b	
21			いらっしゃる go	ning(N) (c)-へ to	Mbak, Pak Dekan arep tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃるのか。	C 1 c
22			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mbak, Pak Dekan arep kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くのか。	C 2 a
23				menyang(N) (b)-へ to	Mbak, Pak Dekan arep kesah menyang Solo? 先生はソロへ行くのか。	C 2 b
24				ning(N) (c)-へ to	Mbak, Pak Dekan arep kesah ning Solo? 先生はソロへ行くのか。	C 2 c
25			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Mbak, Pak Dekan arep lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くのか。	C 3 a
26				menyang(N) (b)-へ to	Mbak, Pak Dekan arep lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くのか。	C 3 b
27				ning(N) (c)-へ to	Mbak, Pak Dekan arep lunga ning Solo? 先生はソロへ行くのか。	C 3 c

表-3-19 高校生 問2 の設問 [27 文体のバリエーション]

まず、ジャワ語専門家と高校教師が使用する「規範的」と判断した文体は次の通りである。

グラフ問2-1. ジャワ語専門家と高校教師の回答比較



大学で教えているジャワ語専門家の回答のうち、二人とも一致して規範的とされる文体と回答したのは3つ (A1a, C1b, C1c) あった。専門家Bは、更に4つ (B1a, B1b, B1c, C1a) の文体も規範的であると付け加えた。聞き手との距離と地位、話題の人物の地位と年齢によってどの文体が適切であるかが異なるため、ジャワ語専門家の中でも回答が分かれている。これについては、3-2-4-4でも指摘している。それでは、高校教師の回答と比較してみよう。

高校教師が最も規範的とされる文体として選んだのはA1aであった。

A1a. Mbak Pak Kepala Sekolah badhe tindak dhateng Solo?

K Ki K

高校教師が二番目に多く選んだ文体はB1aであった。

B1a. Mbak Pak Kepala Sekolah ajeng tindak dhateng Solo?

M Ki K

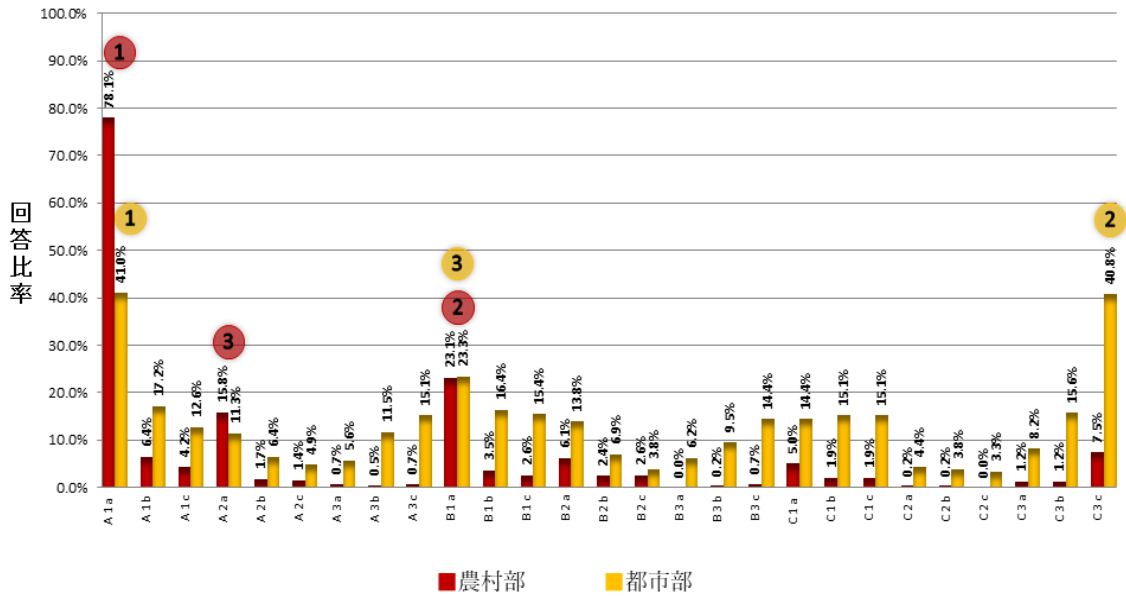
(この文体を選んだジャワ語専門家は、専門家Bのみであった)

農村部の教師が規範的であるとされる文体は、27 文体のバリエーションのうち、8 文体 (A1a, A2a, B1a, B2a, C1a, C1b, C1c, C3c) のみであった。更にこの8文のうち、最も多く選ばれたのはA1a、二番目に多く選ばれたのはB1aであった。残りの6文体は5~10%しか選ばれておらず、農村部のほとんどの高校教師がA1aとB1aのみ選んだといえよう。しかし、ジャワ語専門家Aは、B1aを規範的な文体とは見なしていない。専門家A曰く、この場面で話題にされている人物が校長であることを理解すべきである。校長について尋ねるので、動詞で敬意を表す必要がある。問題は、「私」は、校長の秘書ラティさんを通して校長のことを尋ねるということである。年齢の他、校長とラティさんの地位の差異を上手く示すように、いかに伝えるかがポイントであるという。つまり、校長の顔を立てながら、秘書に尋ねなければならない。もし、相手のラティさんと校長、二人とも自分より年上で敬うべき相手にする場合は、すべてK語のA1aを使用した方が良い。しかし、ラティさんに気を使って校長の顔を立てながら尋ねる場合は、C1bかC1bが良いと、専門家Aはいう。要するに、動詞以外の助動詞と前置詞にはあえてN語を使用する。そうすることにより、文体としては丁寧さが低い、校長に敬意を示すことができるため、親近感のある敬意の表し方であり規範的であるとされる。

一方、専門家Bは規範的とされるB1a~B1cについて、校長ほど地位はないが、ラティさんに敬意をある程度を表したいという時に使用すると述べる。つまり、考え方は専門家Aと同様である。ただし、専門家AはB1a~B1cについて、助動詞にM語を使用することによって、文体全体が中途半端になり、誰に対して敬意を表すか曖昧になってしまうという。

次に高校生の調査結果を、回答の多かった順にまとめてみよう。

グラフ問2-2. 農村部と都市部の高校生の回答比率



このデータから次のような点を指摘できる。

問2-1. 農村部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	A1a ○	Mbak, (年上女性の 呼称、～さん)	Pak Dekan	badhe (K) ～なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo? (地名)	78%
ラテイさん、学部長は ソロ の方へ いらっしゃいますか。								
②	B1a	Mbak,	Pak Dekan	ajeng (M) ～します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo?	23.1%
ラテイさん、学部長は ソロ の方へ いらっしゃるのですか。								
③	A2a	Mbak,	Pak Dekan	badhe (K) ～なさいます	kesah (M) 行く	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo?	15.8%
ラテイさん、学部長は ソロ の方へ 行きますか。								

問2-2. 都市部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	A1a ○	Mbak, (年上女性の 呼称、～さん)	Pak Dekan	badhe (K) ～なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo? (地名)	43.3%
ラテイさん、学部長は ソロ の方へ いらっしゃいますか。								
②	C3c	Mbak,	Pak Dekan	ajeng (M) ～します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo?	27.9%
ラテイさん、学部長は ソロ の方へ いらっしゃるのですか。								
③	C3c	Mbak,	Pak Dekan	arep (N) ～する	lunga (N) 行く	ning (N) ～へ	Solo?	25.9%
ラテイさん、学部長は ソロ へ 行くの。								

表 3-20 高校生 問 2 の回答分析

この場面で、農村部と都市部の高校生が最もよく使う文体はA1aである。これは大学生も同様であった。大学生の9割近くがA1aを選んだのに対し、農村部の高校生は8割近く、都市部では4割強が、A1aの文体を選んだ。

農村部の高校生は基本的に自分より年上で、地位のある校長はもちろん、秘書のラティさんに対しても敬意を表すべきという理由でA1a文体を使用している。一方、都市部の高校生をしてみると、最も多く使用する文体としてA1aと答えた生徒が多かったものの、その割合は5割に満たず、全体的には低いといえる。

農村部は二番目、都市部は三番目に多く使用する文体としてB1aを選んだ。前にも述べたように、校長ほど地位はないが、敬意をある程度をラティさんに表したいという理由でB1aが選ばれているのだが、戦術のように、ジャワ語専門家の一人は助動詞にM語を使用することによって、文体全体が中途半端になり、誰に対して敬意を表すかをぼやけてしまうと指摘しており、ジャワ語専門家のなかでも意見が分かれている。生徒はどちらかというと、B1aを使用する。

次に農村部で三番目に多く選ばれたのは、A2aである。これは、直接話す相手であるラティさんに敬意を表し、その場にはいない校長にはM語を使っている文体で、約16%が選択している。B1aとA2aを、日本語に訳すと、下記のようになる。

B1a 「ラティさん、校長はソロの方へいらっしゃるのですか」

A2a 「ラティさん、校長はソロの方へ行きますか」

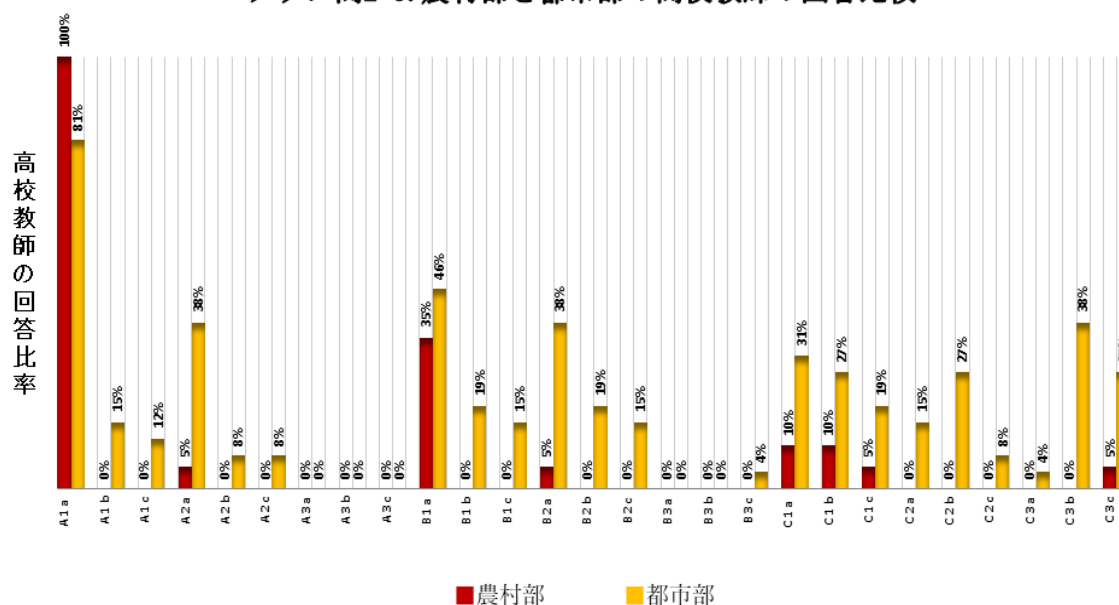
文脈によって、日本語では何の誤りもない文章とされるが、ジャワ敬語に関しては、状況によって決めるものである。ジャワ語専門家Aによれば、基本的に、相手はもちろん、話題人物が敬うべき者であるならば、直接会わなくても、話題人物の行為を表す動詞はK語にすべきだという。

一方、都市部で二番目に多く選ばれたのはC3c (40.8%) で、一番目のA1a (41%) ほぼ同じ割合である。丁寧さも敬意度も全く表さない、規範的ではないとされる文体を、4割もの生徒が使用すると回答している。繰り返しになるが、C3cはすべてN語で、文体に敬意を表す要素が全くない。

また、C枠内の文体を選んだ農村部の生徒が非常に少ない一方、都市部の生徒はC枠のさまざまな文体を選んでいる。ここから、農村部の生徒の方が、C枠で使われている助動詞arep(N)を避けているといえるだろう。つまり農村部の高校生は、年齢が自分より上だということが分かると、助動詞のN語使用を避ける傾向があると仮定することができる。グラフ2-1を見てみると、グラフ4-1と類似点がみられ、ここから農村部と都市部のジャワ語敬語使用の意識と能力の差が分かる。つまり、都市部の生徒より農村部の生徒の方がより上手に敬語を運用することができることが明らかとなった。

次に高校教師の回答を分析する。

グラフ問2-3. 農村部と都市部の高校教師の回答比較



特にここで指摘したいのは、農村部の教師の回答にばらつきがみられないのに対し、都市部の教師が選んだ回答にばらつきが見られる。C3b～C3c は、校長の行動を尋ねるときに N 語などを使い、ジャワ語専門家が規範的ではないとされる文体が、都市部の教師に規範的な文体として選んだのは指摘に値する。この高校教師の回答を見てみると、農村部では C3b (0%) と C3c (5%) を選んだ教師が非常に少ない一方で、都市部では C3b (38%) と C3c (27%) である。

C3b. Mbak, Pak Kepala Sekolah arep lunga menyang Solo?

N N N

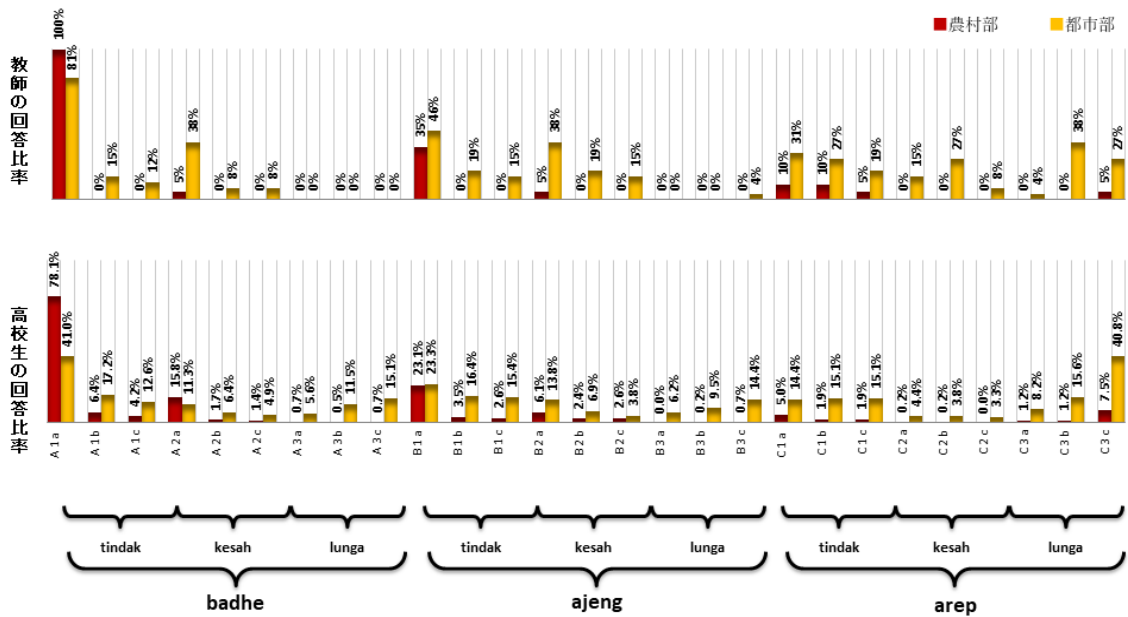
C3c. Mbak, Pak Kepala Sekolah arep lunga ning Solo?

N N N

すべて N 語を使用する C3b と C3c は、敬意度と丁寧さが最も低く、規範的とされる文体とはいえない。ジャワ語専門家 A は、話題人物に直接会わないとしても、敬意を表す必要があり、この場面では動詞を tindak (Ki) にしない限り、正しい文体とはいえないと指摘する。都市部の高校教師のなかには、C3b と C3c の文体を場面によって選んだ者が 3～4 割もおり、規範的とされない文体を選んだことが見られた。

また、教師と生徒の回答を比べてみると、次の通りになる。

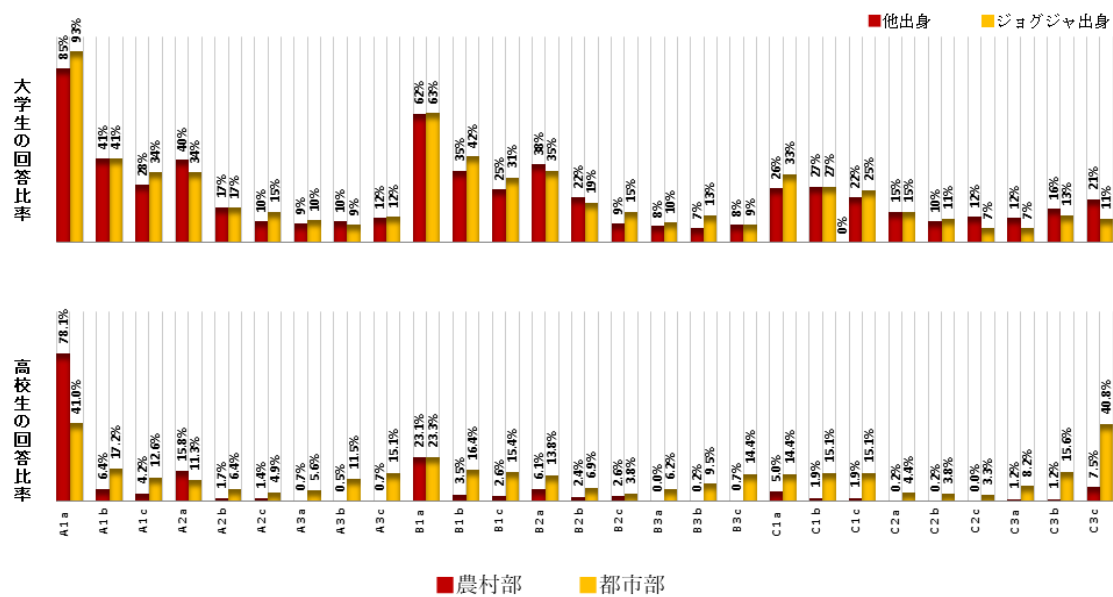
グラフ問2-4. 高校教師と高校生の回答比較



教師と生徒いずれも、最も使用すると選んだ文体は、規範的とされる A1a であった。特に農村部では 8 割近くの生徒が A1a を選んでおり、農村部の生徒は概ね都市部の生徒より規範的とされるジャワ敬語を使っていることがわかった。また、グラフ 2-4 で目立ったのは、農村部とは異なり、都市部の生徒と高校教師の回答がいずれも C 枠内にも分布していることである。教師と生徒の回答を比較すると、丁寧さも敬意度も全く表さない規範的ではない文体とされる C3c を選んだ教師は、生徒の回答よりも多く 27% であった。

では、次に大学生と高校生の回答を比較してみよう。

グラフ問2-5. 大学生と高校生の回答比較

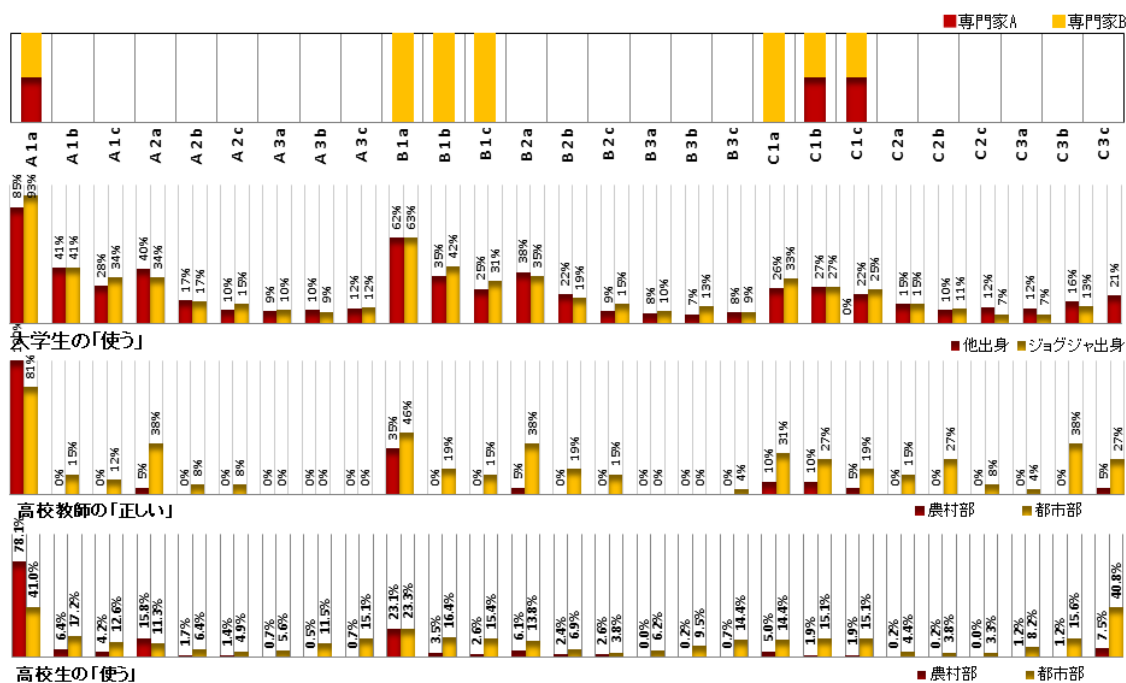


グラフ 2-5 から、大学生と高校生がいずれも最も使用すると選んだのは A1a であることがわかる。ただし、A1a を選んだ割合をみると、大学生のほうが上であった。特にジョグジャカルタ出身の学生の 9 割以上が A1a を選んでいる。

しかし、グラフ 2-5 を見てみると、高校生よりも大学生の方が回答にばらつきがみられ、大学生のほうが他の文体を使用する傾向があることが分かる。また、大学生の場合、ジョグジャカルタ出身者と他州の出身者の回答にさほど差がみられなかったが、高校生の場合、農村部と都市部の回答の割合にはっきりとした差がみられる。

最後のグラフ 2-6 で、全てを比較してみよう。

グラフ問2-6.
ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較



一番上は、ジャワ語専門家が規範的だと判断した文体である。

その次は、大学生が使用すると選んだ文体で、最も使用されているのは A1a であるが、その回答の割合にはばらつきが見られる。大学生の回答が最も多様である。次に、高校教師は概ねジャワ語専門家が規範的とされる文体を選んだ。しかし、少数だが他の文体を使用する教師もいることがわかった。最後に、高校生の回答でも A1a が最も多く選ばれている。大学生ほどばらつきが見られないが、都市部の生徒の多くが、C 枠のうち最も規範的とされない文体を選んでいることが明らかとなった。

問 2 を分析した結果、大学生の場合、他州出身者とジョグジャカルタ出身者の敬語使用の理解度を比較すると、他州出身者の方がわずかに低い結果となった。また、高校生の場合、都市部の生徒は、農村部の生徒と比べると、全体的に敬語を上手に運用できていないということが明らかとなった。

3-3-4-5 問3の回答分析と考察

問3の設問は二つに分かれている。問3aは、自分のことを丁寧なK語のクロ *Kula* で示す謙讓的表現の使用を測る設問である。一方、問3bでは、自分をN語のアク *Aku* で示す近距離用語の使用を測る設問である。問3の場面の相手はヨヨさん、自分「私」と親しい40歳の演劇部コーチである。

アンケート3aの「私(K語)はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える」と、アンケート3bの「私(N語)はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える」の各主語を用いた際の、文体の選択肢は次の通りである。

3-3-4-5-1 3aの回答分析と考察

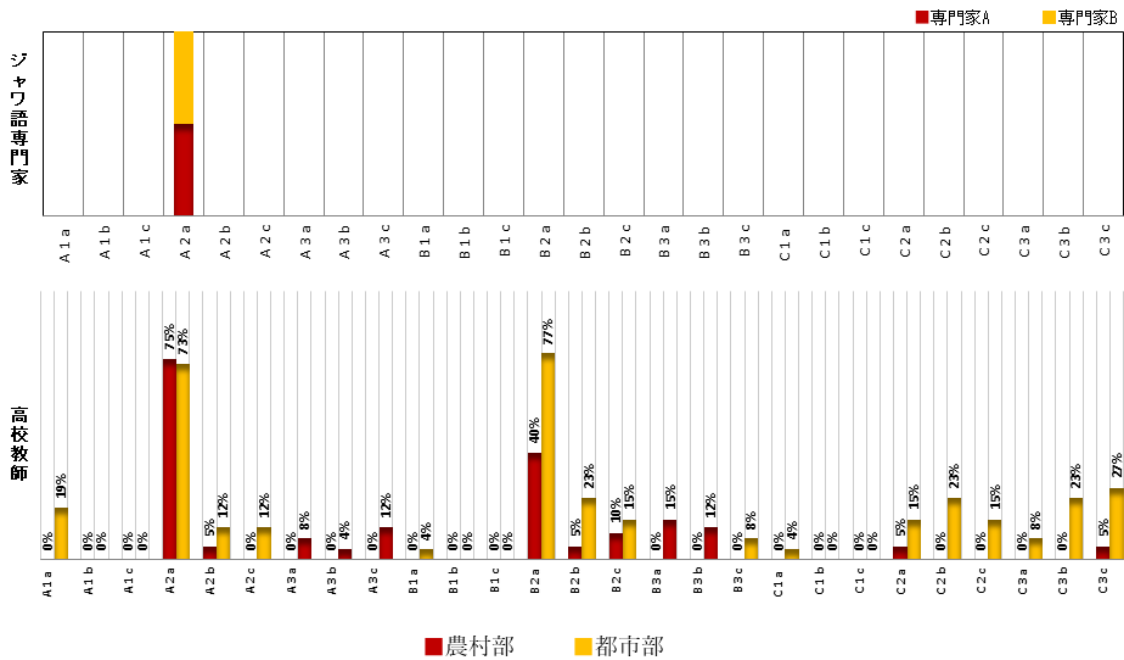
問3a.謙讓的表現の使用を測る設問(私(K語)はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える)

Q3a	Saya menjawab Mas Yoyok bahwa saya akan datang ke Solo. (私はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える。)					
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文体	コード
1	Kula 私 (K語) NAME (appellation)	badhe(K) (A) ~致します Will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula badhe tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃいます。	A 1 a
2			いらっしゃる go	menyang(N) (b)-へ to	Kula badhe tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃいます。	A 1 b
3				ning(N) (c)-へ to	Kula badhe tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃいます。	A 1 c
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula badhe kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ行きます。	A 2 a
5			多る・行く go	menyang(N) (b)-へ to	Kula badhe kesah menyang Solo. 私はソロへ行きます。	A 2 b
6				ning(N) (c)-へ to	Kula badhe kesah ning Solo. 私はソロへ行きます。	A 2 c
7			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula badhe lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行きます。	A 3 a
8			行く go	menyang(N) (b)-へ to	Kula badhe lunga menyang Solo. 私はソロへ行きます。	A 3 b
9				ning(N) (c)-へ to	Kula badhe lunga ning Solo. 私はソロへ行きます。	A 3 c
10		ajeng(M) (B) ~します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula ajeng tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃるのです。	B 1 a
11			いらっしゃる go	menyang(N) (b)-へ to	Kula ajeng tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃるのです。	B 1 b
12				ning(N) (c)-へ to	Kula ajeng tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃるのです。	B 1 c
13			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula ajeng kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ行くのです。	B 2 a
14			多る・行く go	menyang(N) (b)-へ to	Kula ajeng kesah menyang Solo. 私はソロへ行くのです。	B 2 b
15				ning(N) (c)-へ to	Kula ajeng kesah ning Solo. 私はソロへ行くのです。	B 2 c
16			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula ajeng lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行きます。	B 3 a
17			行く go	menyang(N) (b)-へ to	Kula ajeng lunga menyang Solo. 私はソロへ行きます。	B 3 b
18				ning(N) (c)-へ to	Kula ajeng lunga ning Solo. 私はソロへ行きます。	B 3 c
19		arep(N) (C) ~する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula arep tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃる。	C 1 a
20			いらっしゃる go	menyang(N) (b)-へ to	Kula arep tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃる。	C 1 b
21				ning(N) (c)-へ to	Kula arep tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃる。	C 1 c
22			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula arep kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ行く。	C 2 a
23			多る・行く go	menyang(N) (b)-へ to	Kula arep kesah menyang Solo. 私はソロへ行く。	C 2 b
24				ning(N) (c)-へ to	Kula arep kesah ning Solo. 私はソロへ行く。	C 2 c
25			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a)-の方へ to	Kula arep lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行く。	C 3 a
26			行く go	menyang(N) (b)-へ to	Kula arep lunga menyang Solo. 私はソロへ行く。	C 3 b
27				ning(N) (c)-へ to	Kula arep lunga ning Solo. 私はソロへ行く。	C 3 c

表 3-21 問 3a の設問 [27 文体のバリエーション]

まず、ジャワ語専門家と高校教師が使用する「規範的」と判断した文体は次の通りである。

グラフQ3a-1. ジャワ語専門家と高校教師の回答比較



最初に、アンケート 3a の「私 (K 語) はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える」を見てみよう。自分のこと「私」をクロモ語のクロ *Kula* で示し、丁寧さを示す。

ジャワ語の専門家は、二人とも一致して A2a のみが規範的な文体であるとされている。その理由として、「私」をクロとすることは、丁寧さを表しながら敬意を表したいという気持ちを表現することである。コーチと親しい関係にあっても、コーチの年齢は自分の二倍あることを指摘する。そのため、基本的には、敬意を表す文体を用いることが規範的とされ、A2a 以外に正しい文体はないという。

A2a. Kula badhe kesah dhateng Solo?

K M K

しかし、高校教師の回答をみても、ジャワ語専門家が規範的であるとされる A2a を選んだ教師は 7 割程度であった。さらに、都市部の教師が最も規範的とされる文体として選んだのは B1a で、77%を示した。この文体は、農村部の教師が二番目に多く選んだ。最後に注目したいのは、都市部の教師に十分に選ばれたのは、最も非丁寧体の C3c と、最も規範的とされない A1a であった。

C3c. Kula arep lunga ning Solo.

N N N

A1b. Kula badhe tindak menyang Solo.

K Ki N

問 3 は、私 (K 語) がヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える場面である。ここの「私」は K 語で「クロ」という。この問も問 5 と類似点がある。自分のことを指す文体なので、ヨヨさんへの敬意の表し方として、自分の行為を表す動詞を低くしなければならない。つまり、日本語で謙譲語を使用するのと同様に、本来であれば、動詞を Ka 語にすべきところである。しかし、前に述べたように、ジャワ語の「行く」の語彙には、謙譲語に対応する語彙がないため、K 語より一つ低い語彙のランク、M 語の *kesah* を使用しなければならない。動詞以外の語彙は、敬意を表すために K 語にするが、他の語彙にも K 語がない場合、一つ下のランクの語彙を使用する。

A2a は日本語で直訳すると「私はソロの方へ参ります」となる。文体の主語は K 語の「私」であるため、通常、自分の行動をへりくだって、「行く」を謙譲語の「参る」に変更する。しかし、「参る」のような語彙はジャワ語にはないため、K 語から語彙を低くして、M 語の *kesah* を用い、謙譲的表現「参る」の意味を表す。助動詞と前置詞は丁寧さを表すため、K 語で使用するのが適切である。以上のことから、規範的とされる文体は、ジャワ語専門家が選んだ A2a のみである。

一方、高校教師の回答を見てみると、A2a を選んだ教師は 7 割もいたが、都市部の教師は、最も非丁寧である文体の C3c と最も規範的とされない文体 A1a を選んだ教師もいて、それぞれ 27% と 19% を示した。日本語に直訳すると次の通りである。

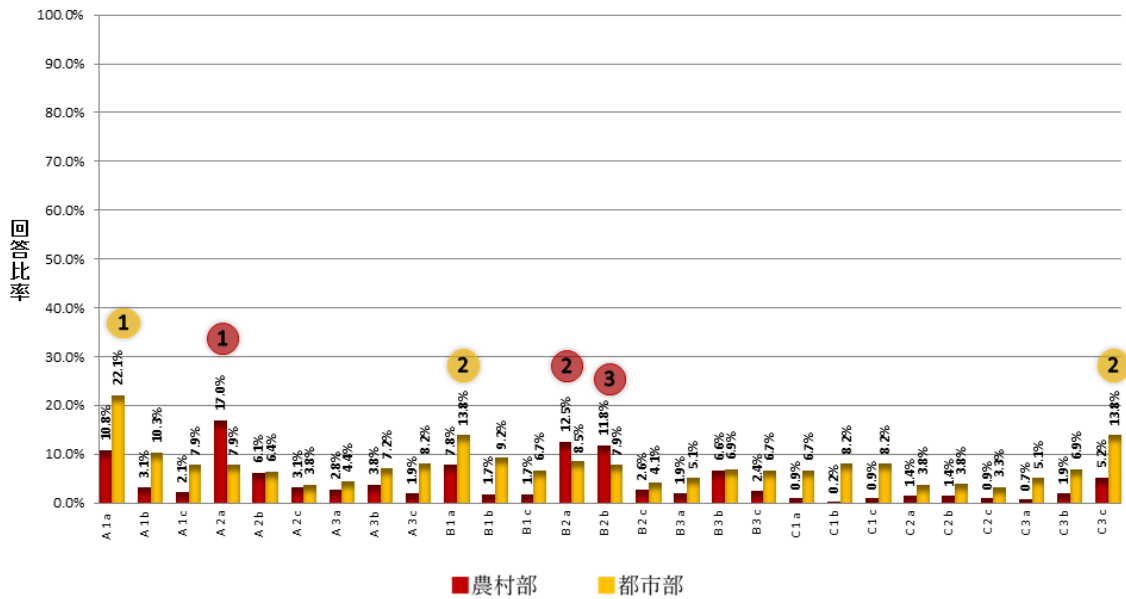
C3c. 「私はソロへ行く」

A1a. 「私はソロの方へいらっしゃいます」

一方、農村部の教師には、このような状況は見られなかったが、割合は極めて少ないが、C2c と C2a を選んだ農村部の教師もいた。

次に高校生のデータを回答の多かった順にまとめてみよう。

グラフQ3a-2. 農村部と都市部の高校生の回答比較



このデータから次のような点を指摘できる。

問3a-1. 農村部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	A2a ○	Kula 私(クロモ アンダップ語) NAME (appellation)	badhe (K) ~致します	kesah (M) 参る	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo. (地名)	17%
		私は ソロ へ いらっしやいます。					
②	B1b ×	Kula	ajeng (M) ~します	tindak (Ki) いらっしやる	menyang (N) ~へ	Solo.	12.5%
		私は ソロ へ いらっしやるのです。					
③	B2b	Kula	ajeng (M) ~します	kesah (M) 参る・行く	menyang (N) ~へ	Solo.	11.8%
		私は ソロ へ 参るのです。					

問3a-2. 都市部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	A1a ×	Kula 私(クロモ アンダップ語) NAME (appellation)	badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしやる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo. (地名)	22.1%
		私は ソロ の方へ いらっしやいます。					
②	B1a ×	Kula	ajeng (M) ~します	tindak (Ki) いらっしやる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	13.8%
		私は ソロ の方へ いらっしやるのです。					
②	C3c	Kula	arep (N) ~する	lunga(N) 行く	ning (N) ~へ	Solo.	13.8%
		私は ソロ へ 行く。					

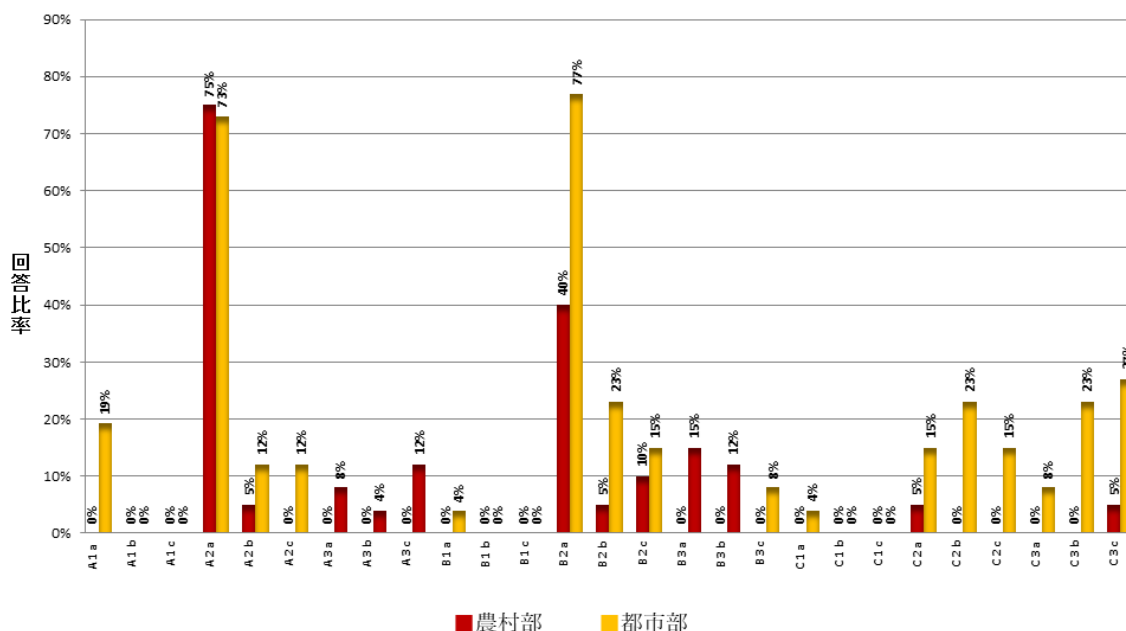
表 3-22 問 3a の回答分析

データからわかったのは、農村部と都市部の高校生が最もよく使う文体が異なるということである。ここで特に指摘すべきは、農村部の生徒が選んだ1位～3位の文体では、いずれも動詞に *kesah* (M 語) が用いられており、農村部では多くの生徒が自分に対し謙譲的表現を用いることを理解しているように見られる。逆に、都市部の生徒が選んだ1位～3位の文体で、使用される動詞は *tindak* (Ki 語) と *lunga* (N 語) であり、このことから彼らの多くが謙譲的表現の使い方を理解していないことが明らかとなった。

また、この回答からは、都市部では自分に対して Ki 語を用いた最も規範的ではない文体 A1a は、1 位であった。さらに、丁寧さのない文体 C3c が、3 位であったことは、都市部の高校生は自分をへりくだる謙譲的表現の使用があまり理解していないことといえよう。

次に高校教師の回答を分析していく。

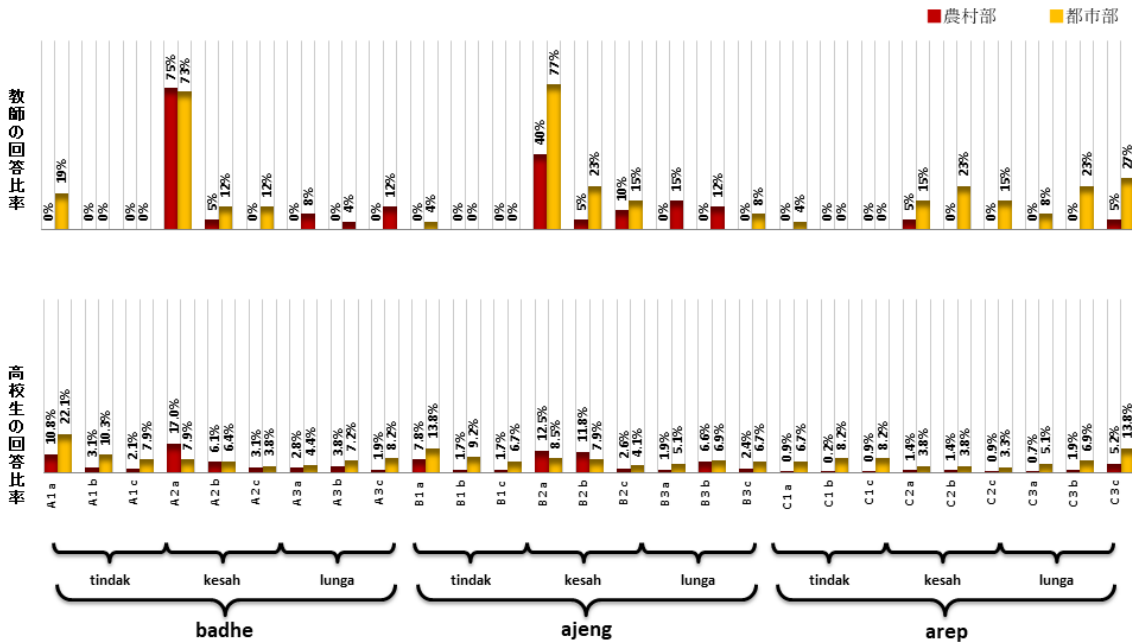
グラフ問3a-3. 農村部と都市部の高校教師の回答比較



グラフ 3a-3 で最も指摘したいのは、高校教師のうち、最も規範的ではない A1a を選んだ教師がいた (19%)。割合はそれほど高くはないが、自分に対して Ki 語を用いて表現する教師がいることが予想外であった。さらに、C3b や C3c など、非丁寧な文体を用いて表現する教師がいた (23%、27%)。さらに、C 枠に、つまり丁寧ではない枠の文体に、先生の回答が結構みられたことに驚いた。

また、教師と生徒の回答を比べてみると、次の通りになる。

グラフQ3a-4. 高校教師と高校生の回答比較

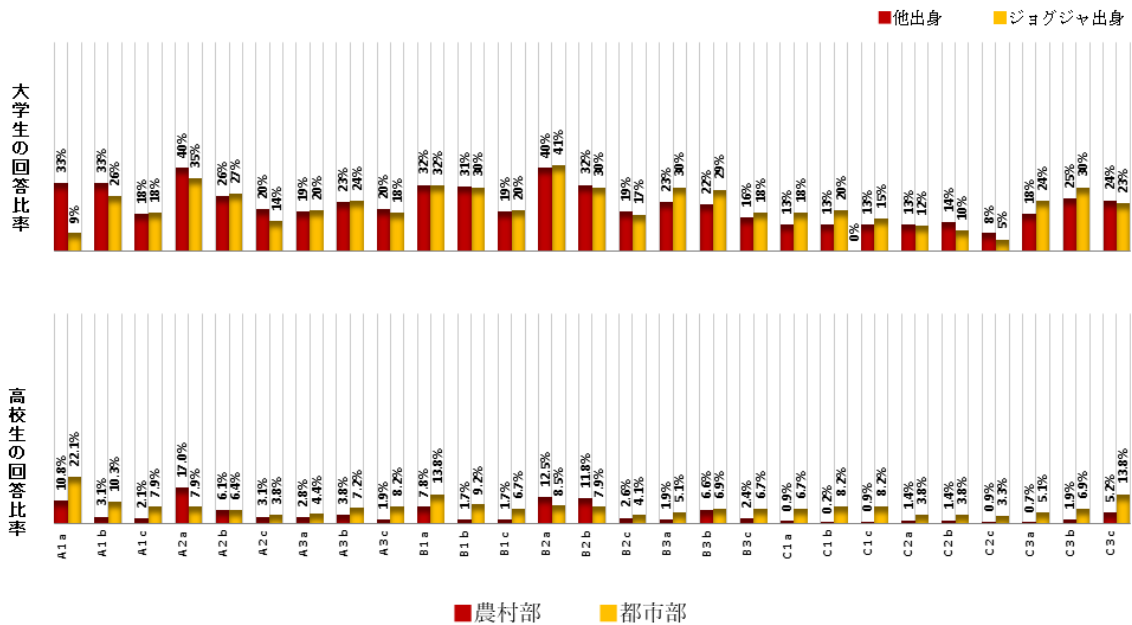


高校教師の結果と異なって、生徒のなかで最も使用された文体は、農村部と都市部で異なる。農村部の生徒が最も規範的とされる A2a を選んだ一方、都市部の生徒が最も選んだ文体は最も規範的ではない A1a であった。

都市部の生徒が最も選んだ A1a の割合は 2 割ほどで、それほど高い割合には見えない。しかし、自分に対して尊敬語の *tindak* を使う生徒が 2 割もいるとみれば、敬語使用を理解していない都市部の生徒が数多くいることは明らかである。実は、農村部の生徒のなかにも、この A1a を選んだ者が 10% ほどいた。つまり、農村部の生徒のうち、最も規範的とされる文体 A2a を選ぶことができたのはたったの 3% だが、最も規範的ではない文体を選んだのは 10% もおり、農村部の高校生も、十分に敬語使用を理解しているとはいいがたい。

また、グラフ 3a-4 で非常に目立ったのは、農村部とは異なり、都市部の生徒と高校教師の回答がいずれも、C 枠に分布していることである。特に目立つのが、C3c (高校教師 27%、都市部高校生 13.8%) である。教師の回答では、特に C2b と C3b (両方とも 23%) の回答の割合の高さを指摘すべきである。また C3c のように、敬うべき相手にすべて N 語を用いており、敬意度と丁寧さが全くない相手に対して失礼にあたる文体である。これを選んだ都市部の教師が 3 割近くいたことは、非常に予想外であった。

グラフQ3a-5. 大学生と高校生の回答比較

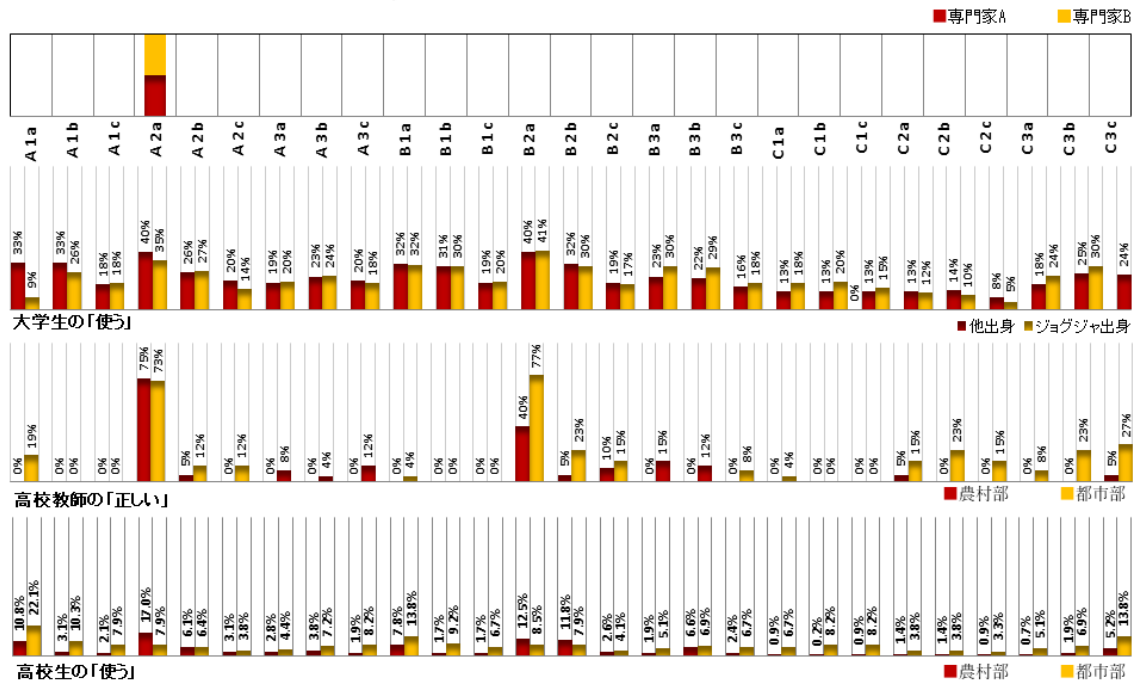


グラフ 3a-5 では、大学生と高校生がよく使う文体を比較した。ジョグジャカルタ出身の大学生は、B2a (41%) と A2a (38%) を多く選んだ。最も規範的とされる文体 A2a が多く選ばれているものの、グラフ全体をみると、ほかの文体を使用する学生も多くおり、2~3割の割合で回答のばらつきがみられる。このため、学生が謙譲的表現の使用を十分に理解しているとは言い難い。

また、全体的にみると、大学生の回答は高校生の回答よりも多様性がある。C 枠における回答のばらつきからみると、大学生の場合はジョグジャカルタ出身者と他州出身者いずれも C 枠の文体を選んだ比率はおおよそ同等だが、高校生の場合は、C 枠の文体を都市部の高校生が多く選んでおり、地域差がみられた。

最後のグラフ 3a-6 に、全てを比較してみよう。

グラフQ3a-6.
ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較



このデータから次のような点を指摘できる。

一番上は、ジャワ語の専門家が規範的な文体であると回答したものである。

その次は、大学生の回答で、使用する文体にばらつきが多く見られる。最も使用されているのは、ジョグジャカルタ出身者では、最も規範とされる A2a と、それより少し敬意度の低い B2a で、他州出身者も B2a と A2a の順で使用していることが明らかとなった。次に、高校生の場合、農村部に比べて都市部の生徒は、敬語を上手く運用できない実態が明らかとなった。最後に、最も指摘したいのは、高校教師の回答である。ジャワ語専門家の二人が一致して最も規範的とされる文体 A2a を 7 割以上選んだものの、最も規範的ではない A1a と最も非丁寧な C3c を選んだ教師も多少いることが予想外であった。

次は、3b である。問 3b には、自分を N 語のアク Aku で表した際の、近距離用語の使用実態と能力を測る設問である。アンケート 3b の「私(N 語)はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える」で提示した文体は次の通りである。問 3 の場面の相手はヨヨさん、自分「僕」と親しい 40 歳の演劇部コーチである。

3-3-4-5-2 3bの回答分析と考察

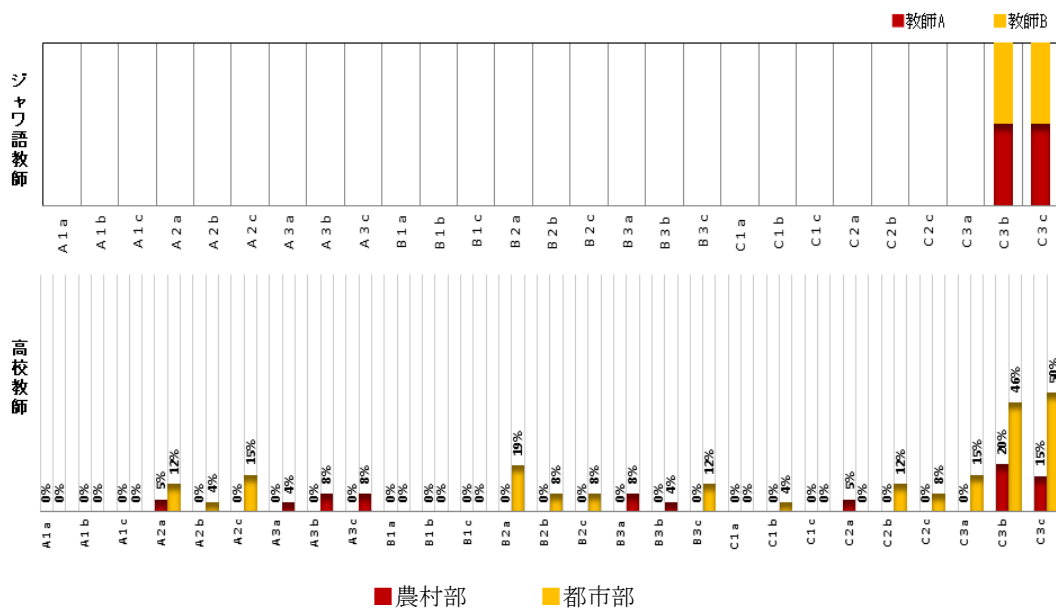
問3b.近距離表現の使用を測る設問(僕(N語で)はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える)

Q3b	Saya menjawab Mas Yoyok bahwa saya akan datang ke Solo. (僕はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える。)					
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文体	コード
1	Aku 僕(N語) NAME (appellation)	badhe(K) (A) ~致します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku badhe tindak dhateng Solo. 僕はソロの方へいらっしゃいます。	A 1 a
2			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Aku badhe tindak menyang Solo. 僕はソロへいらっしゃいます。	A 1 b
3			go	ning(N) (c) ~へ to	Aku badhe tindak ning Solo. 僕はソロへいらっしゃいます。	A 1 c
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku badhe kesah dhateng Solo. 僕はソロの方へ行きます。	A 2 a
5			参る-行く go	menyang(N) (b) ~へ to	Aku badhe kesah menyang Solo. 僕はソロへ行きます。	A 2 b
6			go	ning(N) (c) ~へ to	Aku badhe kesah ning Solo. 僕はソロへ行きます。	A 2 c
7			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku badhe lunga dhateng Solo. 僕はソロの方へ行くんす。	A 3 a
8			行く go	menyang(N) (b) ~へ to	Aku badhe lunga menyang Solo. 僕はソロへ行くんす。	A 3 b
9			go	ning(N) (c) ~へ to	Aku badhe lunga ning Solo. 僕はソロへ行くんす。	A 3 c
10		ajeng(M) (B) ~します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku ajeng tindak dhateng Solo. 僕はソロの方へいらっしゃるのです。	B 1 a
11			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Aku ajeng tindak menyang Solo. 僕はソロへいらっしゃるのです。	B 1 b
12			go	ning(N) (c) ~へ to	Aku ajeng tindak ning Solo. 僕はソロへいらっしゃるのです。	B 1 c
13			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku ajeng kesah dhateng Solo. 僕はソロの方へ行くのです。	B 2 a
14			参る-行く go	menyang(N) (b) ~へ to	Aku ajeng kesah menyang Solo. 僕はソロへ行くのです。	B 2 b
15			go	ning(N) (c) ~へ to	Aku ajeng kesah ning Solo. 僕はソロへ行くのです。	B 2 c
16			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku ajeng lunga dhateng Solo. 僕はソロの方へ行くんす。	B 3 a
17			行く go	menyang(N) (b) ~へ to	Aku ajeng lunga menyang Solo. 僕はソロへ行くんす。	B 3 b
18			go	ning(N) (c) ~へ to	Aku ajeng lunga ning Solo. 僕はソロへ行くんす。	B 3 c
19		arep(N) (C) ~する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku arep tindak dhateng Solo. 僕はソロの方へいらっしゃる。	C 1 a
20			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Aku arep tindak menyang Solo. 僕はソロへいらっしゃる。	C 1 b
21			go	ning(N) (c) ~へ to	Aku arep tindak ning Solo. 僕はソロへいらっしゃる。	C 1 c
22			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku arep kesah dhateng Solo. 僕はソロの方へ行く。	C 2 a
23			参る-行く go	menyang(N) (b) ~へ to	Aku arep kesah menyang Solo. 僕はソロへ行く。	C 2 b
24			go	ning(N) (c) ~へ to	Aku arep kesah ning Solo. 僕はソロへ行く。	C 2 c
25			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku arep lunga dhateng Solo. 僕はソロの方へ行く。	C 3 a
26			行く go	menyang(N) (b) ~へ to	Aku arep lunga menyang Solo. 僕はソロへ行く。	C 3 b
27			go	ning(N) (c) ~へ to	Aku arep lunga ning Solo. 僕はソロへ行く。	C 3 c

表 3-23 問 3b の設問 [27 文体のバリエーション]

まず、ジャワ語専門家と高校教師が使用する「規範的」と判断した文体は次の通りである。

グラフQ3b-1. ジャワ語教師と高校教師の回答比較



アンケート 3b では、主語の「私 (K 語)」は「僕 (N 語)」に変え、「僕 (N 語) はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える」という場合に、どのような文体が選択されるのかを分析していく。これは、近距離用語の使用状況と実態を測ることを目的とした設問である。3a と異なり、自分のことを僕 (N 語) と示すことによって、相手との親密な関係や、関係性の近さをアピールしている点がポイントである (もちろん、教師が二人とも、3a の文体の方が規範的だと述べているが、3b の場合は、主語とヨヨさんは非常に仲のいい関係を持つという設定にするからである)。

ジャワ語の教師は、二人とも一致して C3b と C3c を規範的とされる文体として選んだ。つまり、C3b と C3c 以外に、規範的と判断する文体はないといえよう。

ジャワ語の教師によると、「僕」を選択した時点ですでに、話し手 (自分) の中に、コーチとの関係性が明確に見えているという。話し手は、コーチと親密な関係を持つため、自分のことを「僕」と表現する自信がある。つまり、相手はコーチでありながら「仲間」でもあるという感覚で話している。ただし、これは、年齢や地位の差を考慮に入れた通常の文体からは逸脱しているため、誤解を招くことも多々ある。例えば、日本の部活動で、最初はコーチに対して絶対敬語を用いていたにも関わらず、親しくなるにつれ敬語を徐々に崩していき、近い関係になるのと同様である。

ジャワ語の教師は、これはお互いに理解のある関係 (暗黙了解) という条件下でこそ、成り立つ会話であると説明する。そのため、下記の文体 (C3b と C3c) は、基本的に敬意を表す必要がなく、むしろ近距離の関係を持つと強調する文体である。

C3b. Aku arep lunga menyang Solo.

N N N

C3c. Aku arep lunga ning Solo.

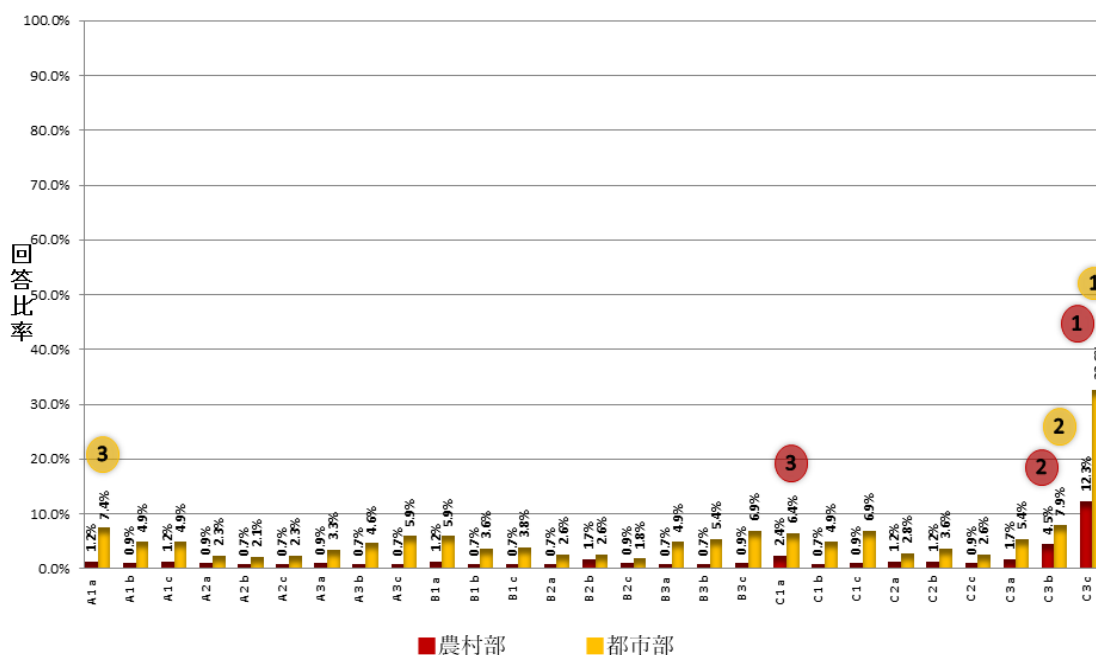
N N N

そして、ジャワ語専門家の回答と同様に、最も規範的とされる文体として都市部の高校教師に選ばれたのは C3c (50%) と、C3b (46%) であった。農村部の教師をも最も選んだのは、同じく C3b と C3c だが、それぞれの割合が都市部より低かった (20%と 15%)。

ここで、改めて確認したいのは、問 3b の設定自体が、非常に逸脱的な場面であるということである。ここでは、C3b と C3c は規範的とされる文体としているが、通常は、目上の者に対して、C3b と C3c のようにすべて N 語の文体を使用することは規範的とはいえない。

次に高校生の回答の順位をまとめてみよう。

グラフ問3b-2. 農村部と都市部の高校生の回答比較



このデータから次のような点を指摘できる。

問3b-1. 農村部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	C3c ○	Aku 僕 (ソゴコ語) NAME (appellation)	arep (N) ~する	lunga (N) 行く	ning (N) ~へ	Solo. (地名)	12.3%
		僕は ソロ へ 行く。					
②	C3b ○	Aku	arep (N) ~する	lunga (N) 行く	menyang (N) ~へ	Solo.	4.5%
		僕は ソロ へ 行く。					
③	C1a	Aku	arep (N) ~する	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	2.4%
		僕は ソロ の方へ いらっしゃる。					

問3b-2. 都市部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	C3c ○	Aku 僕 (ソゴコ語) NAME (appellation)	arep (N) ~する	lunga (N) 行く	ning (N) ~へ	Solo. (地名)	32.6%
		僕は ソロ へ 行く。					
②	C3b ○	Kula	arep (N) ~する	lunga (N) 行く	menyang (N) ~へ	Solo.	7.9%
		僕は ソロ へ 行く。					
③	A1a	Kula	badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	7.4%
		僕は ソロ の方へ いらっしゃいます。					

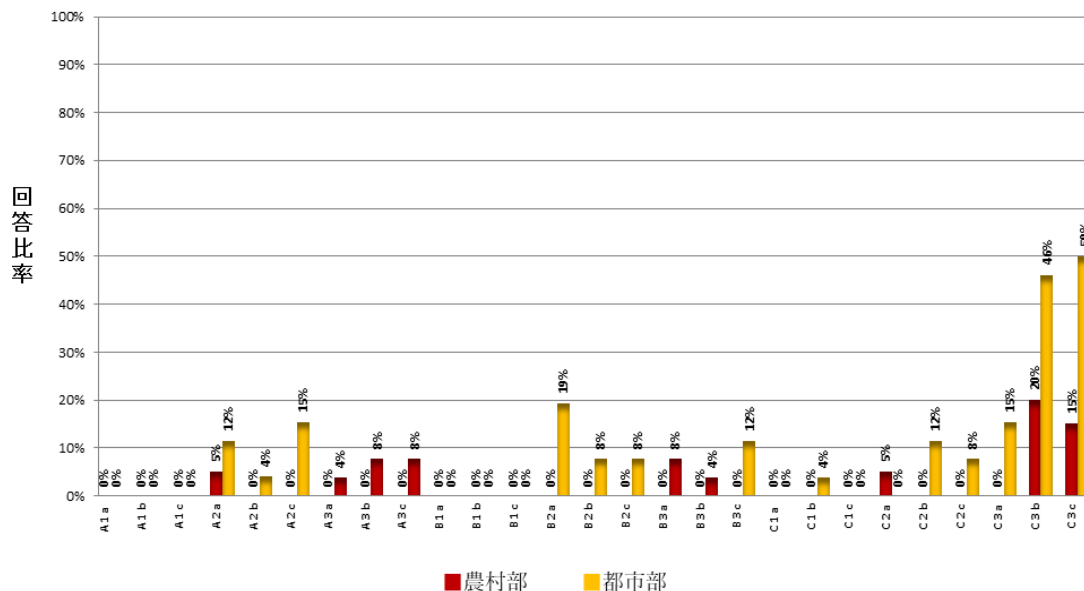
表 3-24 問 3b の回答分析

データからわかったのは、農村部と都市部の高校生が最もよく使う文体はほとんど一致しているが、その比率に差があるということである。また全体的にどの選択肢も回答比率は高くない。

農村部と都市部で最も多く選ばれたのは C3c、二番目に多く選ばれたのは C3b で、これはジャワ語専門家の回答と全同じである。三番目に選ばれた文体は、都市部 A1c、農村部 C1a と異なるものの、いずれも自分の行為を表す動詞に *tindak* を使っており規範的ではない。ただし、全体の回答の分布をみると、C3c と C3b 以外はあまり選ばれていない。主語に「僕」を使用することによって、N 語を使用する傾向が高いであることがわかった。

次に高校教師の回答を分析する。

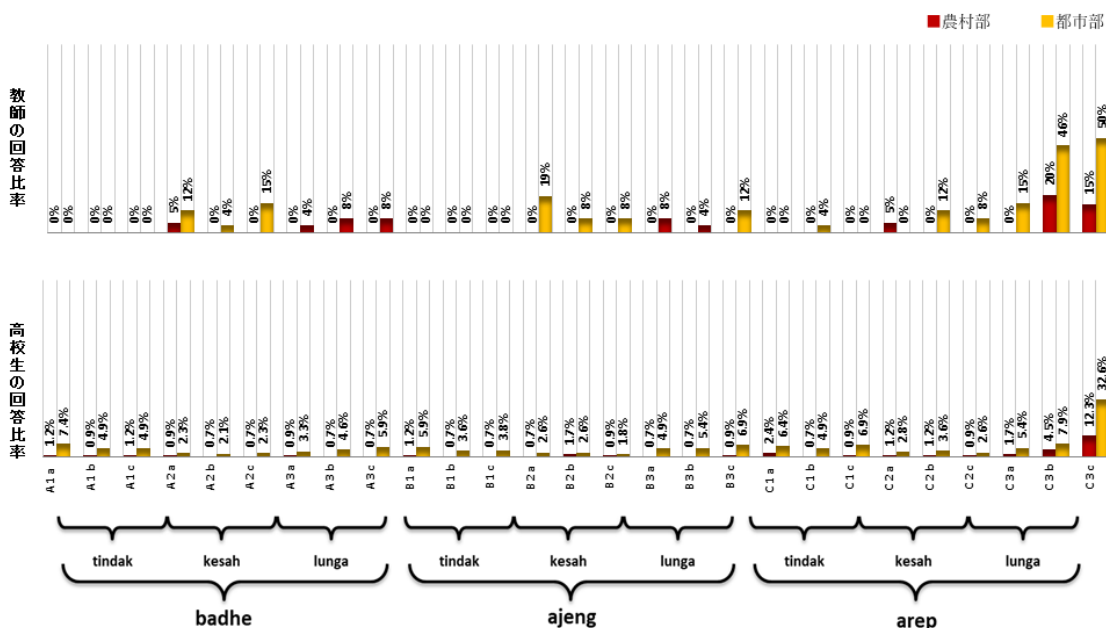
グラフ Q3b-3. 農村部と都市部の高校教師の回答比較



グラフ 3b-3 からは、都市部の教師が多く選んだのはジャワ語専門家が規範的とされる C3c(50%)と C3b(46%)であった。農村部の教師も同じく C3b と C3c を最も選んだが、割合が都市部より低く、それぞれ 20%と 15%を示した。また、農村部より都市部の回答の方に多様性がみられた。それでも、生徒と違い、農村部と都市部いずれの高校教師は、動詞を *tindak* にする文体を選ばなかった。この結果からは、教師の方が謙譲的表現の運用を理解していることがわかった。ただし、教師の中に全体的な回答の比率が低いのは、そもそも、ほとんどの教師は、この場面で使用する主語として「僕」よりも「私」を多様に選んでいるため、全体的にみると、3b では回答のばらつきがあまり見られない。

また、教師と生徒の回答を比べてみると、次の通りになる。

グラフQ3b-4. 高校教師と高校生の回答比較

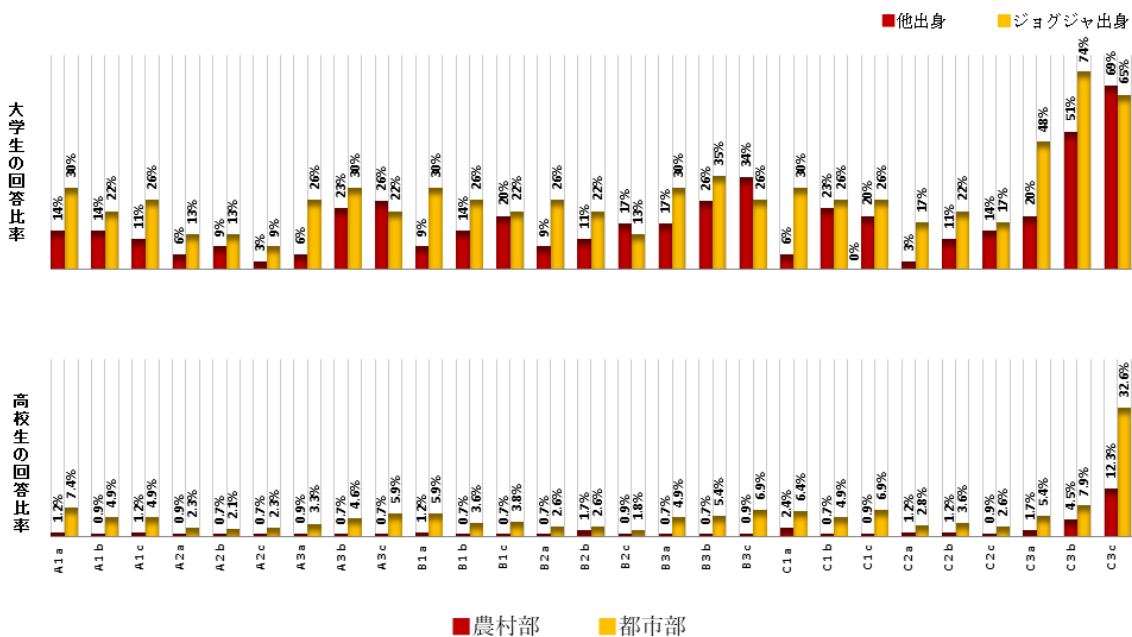


最も使用された文体は、都高校教師と高校生いずれもジャフ語専門家と同じ回答を出したが（C3b, C3c）、極めて少ないが最も規範的とされない文体を選んだ高校生もいた。

また、グラフをみると、回答の分布にばらつきが目立つ。高校生の回答には、C3c と C3b 以外、目立った回答はないが、教師の回答に幾つか目立った回答（B2a, A2a, C3a）があった。

つづいて、大学生と高校生の回答を比較してみよう。

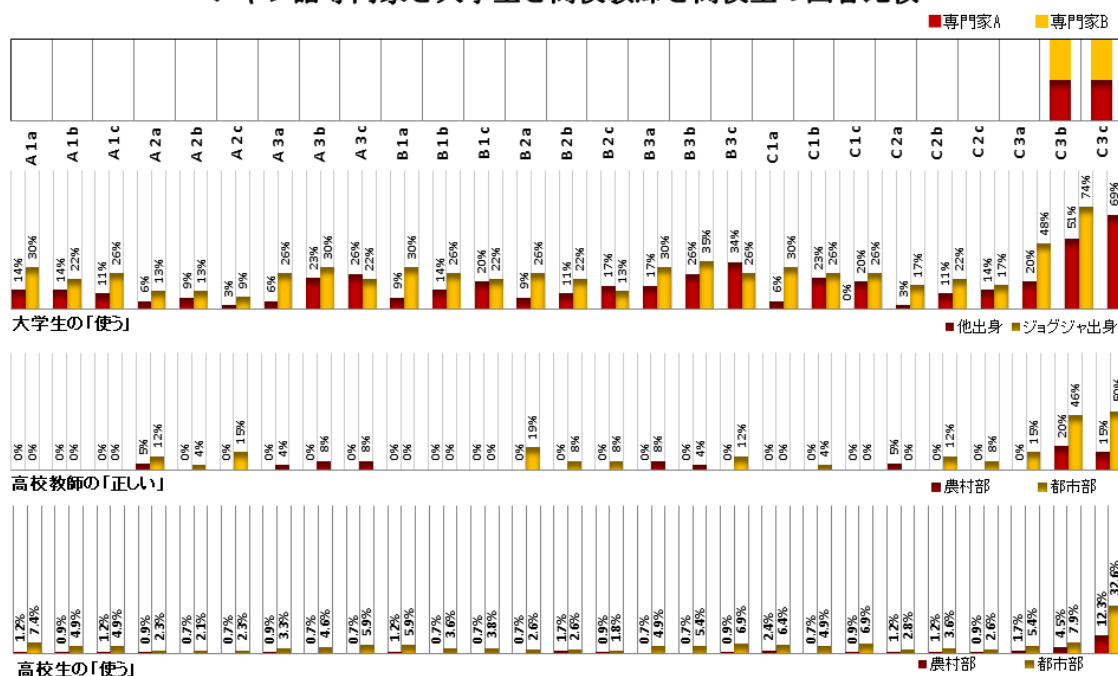
グラフ問3b-5. 大学生と高校生の回答比較



グラフ 3b-5 では、大学生と高校生がよく使う文体を比較している。大学生は、ジョグジャカルタ出身者と他州出身者の回答の平均値からみると、C3c (67%) と C3b (63%) を多く選んでいる。最も規範的とされる文体 C3c が多く選ばれたが、全体的にみると、ほかの文体を使用する学生も多く、回答にばらつきが非常に多くみられる。このため、3a-4 で指摘したのと同様に、学生と生徒が謙譲的表現の使用を十分に理解しているとは言い難い。また、全体的にみると、大学生の回答比率は高校生より高いが、高校生の回答はほぼ C3c と C3b に集中している。

最後のグラフ 3a-6 で、全てを比較してみよう。

グラフ Q3b-6.
ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較



このデータから次のような点を指摘できる。

一番上は、ジャワ語専門家の回答を規範的な文体とされる。

その次には、大学生が使用する文体の比率にばらつきが多く見られ、大学生の回答が最も多様である。高校生においては、主語の「僕」を文体の中でどう運用するかについては、都市部の生徒の方が農村部に比べて、N語を適切に運用できることがわかった（この問について、何度も繰り返すが、結果からみると、都市部の生徒の方が農村部より主語の「僕」を用いる傾向が多いことが明らかとなった）。

以上、問3は、「私はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える」際の文体を問うものだが、ヨヨさんとの関係性を考慮し、まず、自分を表す「私」という語をどのように表現す

るかを、二つの選択肢から選んでもらう。高校生の場合は、大学生と違い、主語を選択することではない。つまり、高校生には、丁寧な K 語として使用される「クロ *Kula*」と、非丁寧な N 語として使用される「アク *Aku*」を、異なる場面で、それぞれの主語を使用するとしたら、どのような文体を使用するかを選ぶようにする。結果として、高校生の多くは、「僕」より「私」を選んだ。高校教師も同様に「私」の方を選んだ。そのため、3b の回答に回答の多様性があまりみられなかった。

一方、大学生には、主語をどちらかにすると選ぶようにしたが、ジョグジャカルタ出身と他州出身いずれも「私」か「僕」をほぼ同じ割合で選んだ（3-2-4-5 を参照）ため、大学生の回答にばらつきが多く見られた。

3-3-5 高校生調査に対するまとめ

ここまで、本節では、現代ジャワの高校生の敬語使用実態について分析を行ってきた。敬語の運用実態について、ここでは次の 4 点に絞ってまとめる。

第一に、農村部と都市部のジャワ語敬語使用の意識と能力の差が明らかとなった。農村部の生徒のほうが、都市部の生徒より、敬語使用に対する理解と能力が高い。農村部の生徒は都市部よりおおむね規範的なジャワ敬語を使っていることがわかった。しかし、本研究で行った調査のように複数の選択肢を与えることによって、規範的ではない多様な回答がみられることが明らかになった。

第二に、大学生と高校生はいずれもよく使う文体に、ある程度の共通点がみられるが、全体的な回答をみると、大学生の回答の方が、高校生の回答よりも多様性があるということが明らかになった。特にジョグジャカルタ出身の学生の回答にはばらつきが顕著にみられた。つまり、高校生と比べて、大学生の方が規範的ではない多様な文体も使用する傾向があることが明らかになった。

第三に、高校生のうち、自分がへりくだる謙譲的表現の使用を理解している生徒は少ないが、都市部の生徒より農村部の生徒の方が、理解している生徒がわずかに多い。

第四に、都市部の生徒は、敬意を表すべき相手に、自分をどのように低く表現するのか、敬語表現をどのように使用すべきか理解しておらず、敬語運用能力が高いとは言えない。

第4章 高齢者との比較、若者の敬語使用の変化+

前章では、若者の敬語使用の実態を明らかにしたが、本章は高齢者に対するインタビュー調査から、高齢者の敬語使用の状況を明らかにする。そのうえで、第3章の若者の敬語使用の実態と比較する。さらに、フィールドの調査からみられる現代の若者の敬語使用の変化についても報告する。

4-1 高齢者に対する調査

4-1-1 調査の背景と目的

高齢者に対する調査は、ジョグジャカルタ特別州に位置する農村部のクロンプロゴ 県 *Kabupaten Kulonprogo*、トゥモン郡 *Kecamatan Temon*、トゥモンクロン村 *Desa Temon Kulon* で実施した。トゥモンクロン村の人口は約 1766 人⁵⁴で、面積は 155 ha⁵⁵である。村人のほとんどが農民である。日常生活で使用される言語はジャワ語だが、郡役所や学校などの公の場では、ジャワ語混じりのインドネシア語をよく耳にする。

4-1-2 調査の方法（インタビュー中心）

高齢者に対する調査は、基本的に若者に対する調査の補足として位置づける。調査には非構造化インタビュー形式を採用した。これは、調査者が、対象者との深い対話を通じ、対話と観察から情報を引き出す手法である。対象者が高齢者であることを考慮し、高校生や大学生に対して実施したようなアンケート設問はあえて行わないが、第3章で明らかにしたアンケート調査の結果に基づいて、インタビューを行った。

4-1-3 調査対象者

インタビューは、年齢は 60～80 歳以上の高齢者 30 名以上に実施した。60～77 歳と 78 歳以上のインタビューからは、年齢により敬語使用に違いがあることが明らかになった。まずはその背景を確認しておく。

60 歳以上 77 歳未満の高齢者（2014 年の調査）は、当時インドネシアで日本占領時代に日本政府が設立した国民学校 *Sekolah Rakyat* で教育を受けていない者である。一方、78 歳以上の高齢者の多くは、*Sekolah Rakyat* で教育を受けた経験があった。*Sekolah Rakyat* は 1941～1945 年まで行われていた。当時、学校での教育言語はすでにインドネシア語はずだったが、高齢者の話しによると、教師と生徒の間で使用される言語はジャワ語で、授業もジャワ語で行われた。つまり、当時は、学校内で教師に対して規範的なジャワ語を使用しなければならず、子供たちはその環境の中に身を置くことで自然にジャワ語の運用能力を身につけていくことができた。

⁵⁴ <http://kependudukan.jogjaprovo.go.id/olah.php?module=statistik&periode=9&jenisdata=penduduk&berdasarkan=jumlahpenduduk&prop=34&kab=01&kec=1&kel=00>.

⁵⁵ Badan Pusat Statistik Kabupaten Kulon Progo, Statistik Daerah Kecamatan Temon (2016:2).

本論文では、調査対象を78歳以上の7名⁵⁶(①～⑦)の高齢者に絞り込み分析していく。さらに、60～66歳の高齢者3名⁵⁷(⑧～⑩)も、その比較対象として取り上げる。調査は、2013年9月～10月まで、トゥモンクロン村に2ヵ月ほど滞在し実施した。1名の対象者に対して、1時間から1時間半ほどのインタビューを行った。

4-1-4 設問の内容と意図

非構造化インタビューでは、構造化されていない質問を通して、情報を引き出す。具体的には、筆者がこれまでに明らかにした高校生と大学生の調査結果を参照しつつ、質問を投げかけるといった対話を通して、高齢者から敬語使用についての語りを引き出すという方法をとった⁵⁸。基本的に、質問内容は、若者のジャワ敬語使用の状況に焦点を当てたが、必要に応じてさまざまな語りを記録した。本論文では、記録した高齢者との対話内容を丁寧に分析する。

4-1-5 インタビューの分析

ここでは、調査対象の高齢者自らの敬語使用状況と、若者の敬語使用状況に関する見解を、対象者ごとにまとめていく。まず、それぞれの調査対象者について簡単に説明し、その後彼らの語りを記述する。

① KM氏(91歳、専業主婦)

KM氏は、小さい頃からジャワ語を使用してきた。規範的なジャワ語とジャワ語の敬語が話せる理由は、小さい頃から家でジャワ語を両親に学ばされたからである。

家族内でもジャワ語で会話をする。親に対してK体も使用するが、自分たちの間で最も使用するのはM体である。たまにK体とM体が混ぜて話しをすることもある。自分の子供にK体を教えようとしたが、子供はK体とN体を混ぜて話す。

自分の子供の頃と違い、現在のジョグジャカルタではジャワ語の使用を奨励しないため、子供たちが、ジャワ語ができなくなるのは時間の問題である。

自分の孫にジャワ語で話そうとしても、孫は難しいという。しかし、いくら難しくても孫には最低限のジャワ語ができるようになってほしいので、孫と話すときはあえてN体を用いている。結果的に、孫は少しずつN体が話せるようになった。小さい頃から孫たちは、村ではなく都市で生まれ育ったため、ほとんどジャワ語ができない。彼らにジャワ語を教えることができるのは親である。しかし、親も子供に教える時間がないため、自分は孫のところに行くときに必ず彼らにジャワ語で会話をするようにしている。

⁵⁶ 実際には9名の高齢者からデータを取り上げたが、夫婦をインタビューするときは、記録を一緒にするため、7名としてまとめた。

⁵⁷ 実際には5名の高齢者からデータを取り上げたが、夫婦をインタビューするときは、記録を一緒にするため、3名としてまとめた。

⁵⁸ 特に文化人類学者が最も良くフィールドで利用するのがこの方法である。

現代の若者がジャワ語に興味を持たない理由は、1) あまりかっこよくない、2) 周りの人や友達がジャワ人ばかりではなく最初からインドネシア語を使用した方が便利である、3) 難しいからという3つがあると思う。

ジャワ語が難しい理由は、発話レベルを理解して、状況によって使い分けるのが非常に複雑だからである。若者がジャワ語を使いたくない気持ちはわかる。

② M氏(85歳、農民)

オランダ植民地の時代で農民の家族で育てられたM氏は、学校でも家でもジャワ語のみを使ってきた。小さい頃から両親にしっかりとジャワ語を教えられ、インドネシア語を使用する機会がなかった。そのため、今でもインドネシア語があまりわからないという。

家族内では、ジャワ語しか使わない。孫たちはジャワ語が話せないため、インドネシア語で自分と会話をしようとしている。しかし、自分はあまりインドネシア語ができないので、ジャワ語で返すことが多い。

子供にはジャワ語で会話しながら教えたが、子供はN体を混ぜながら会話する。孫はほとんどジャカルタに住んでいるため、ほとんどインドネシア語で会話する。K体はできないが、自分と会話をするときには頑張ってN語をインドネシア語に入れて会話をしている。

③ SJ氏(84歳、元小学校のジャワ語の教師)

SJ氏は、小さい頃からジャワ語を使ってきた。生まれてから知っている言語はジャワ語しかないため、祖父祖母、両親、周りに話すときもジャワ語しか使わないという。インドネシア語は *Sekolah Rakyat* (国民学校) で学んだ。 *Sekolah Rakyat* ではインドネシア語を教えもらったが、学校内の教授言語 *bahasa pengantar* はジャワ語だったという。

自分は祖父祖母と親に対して敬意を表すK体を使用しなければならないが、親は自分にN体で話す。親は子に敬意を表す必要がないからである。祖父母と親に対しては、K体の中でも特にKi語を選んで使用するなど、なるべく最も敬意を表す語彙を用いる。

現代の若者はジャワ語(特に敬語)ができないが、両親や学校側が子供にしっかりと規範的なジャワ語を教えないからである。また、どちらかという、インドネシア語が公用語として優先されるからである。ジョグジャカルタ特別州の9割以上の住民はジャワ人なので、自治体にはもう少しジャワ語の勉強に力を入れてほしい。

自分の子供はジャワ語をだいたい話せる。K体もある程度話することができる。子供はN体とインドネシア語が混ざっているスタイルの方を好む。

自分は自分の子供に、小学校で生徒に教える規範的なジャワ語をしっかりと教えている。しかし孫たちはN体とインドネシア語が混ざっているスタイルで話す。理由は、親も学校も、彼らにちゃんとしたジャワ語を教えないからである。

規範的なジャワ語を教えることができるのはジャワの高齢者に限られる。現代の子供たちは国際語(英語)の方に興味を持つが、自分はなるべく子供や孫に規範的なジャワ語を教

えようとしてきた。自分の子供はK体がある程度できるが、孫はK体どころか、ジャワ語すら話すのが難しいという。孫は小さい頃から村ではなく、都市に住んでいるため、ジャワ語ができなくなってしまった。小さい頃から村にいと、周りの高齢者と接する機会が多く、規範的なジャワ語を話す可能性も増える。

ジャワ語のカリキュラムにも問題がある。現代の学校ではジャワ語の教師ですら発話レベルの意義と規範的なジャワ語がわからない。多くのジャワ語の教師は、ジャワ語で話すくらいは大体できる。しかし、その次の段階、つまり規範的な使い方、敬語使用、発話レベルの使い分けなどに関しては、彼ら自身もあまり理解していないため、生徒たちは興味を持ってない。これは、教師のせいだけではなく、自治体もある時期にジャワ語の授業をカリキュラムから削除したため、現在のような結果になってしまった。

④ MR 夫婦（夫 82 歳、妻 80 歳、農民、村で行われるジャワ儀式/儀礼の司会者）

MR 夫婦は、ジャワ語を 1940 年頃に *Sekolah Rakyat*（国民学校）で習った。当時、小学校で使用されていた教育言語はジャワ語であった。1 年生から 4 年生まではずっとジャワ語で授業を行っていた。5 年生から 6 年生で、やっとインドネシア語を習い始めたという。

ジャワ語の文法と使い分けが非常に難しいため、若者はあまり使いたがらない。現代の若者はジャワ語が使えなくなってしまっている。ジャワ語が難しいというだけではなく、インドネシア語を使った方が便利で簡単であるということもある。現在は昔と違って、ジャワ語を子供に教えない親、インドネシア語ばかり使用する親も多くなっている。昔のオランダ時代は、親と年寄りに対してジャワ語で話さなければならなかったため、その時代に育った者は今でも K 体を使うことができる。

現代の若者はインドネシア語の易しさと便利さに甘やかされてしまった。ジャワ語と違って、インドネシア語には発話レベルがなく、誰に対して同じレベルの言葉が使える。若者どころか、群や村の役員のなかでも規範的な K 体を話せる者はなかなかいない。自分たちは郡や村でジャワ儀式/儀礼が行われるときに、何度も群役所から司会者になるように依頼された。役員の多くがジャワ語で司会者をするのを避けたがり、依頼を断るからである。その理由は、前にあるジャワ儀式で K 体を誤って使用してしまった役員がおり、村人に笑われたことが、人々にトラウマを与えたからである。

自分たちは家では、きちんと教育したため、子供も規範的なジャワ語を使う。しかし、孫は N 語かインドネシア語で話す。

村だけではなく、ジョグジャカルタの学校は、どこでもインドネシア語を使用するようになっているため、インドネシア語を使うのが当たり前になっている。孫たちは自分たちを訪ねて村に来た時も、インドネシア語で話したりする。自分たちは、インドネシア語で色々と話されると、わからない時がある。しかし、自分たちは孫が来る度に、なるべく K 体を教えるようにした。孫は、誤った K 体を頻繁に使ったが、その場で間違いを正し、規範的な文体や語彙を教えるようにした。K 体と M 体ができなければ、できるように練習をさせる

(「Kalau tidak bisa *basa ya dibasani*」)。

学校でインドネシア語を使用することが、ジャワ語が無くなる主な理由である。学校でK体の大切さをしっかりと教えれば、若者もしつけの良いジャワ人になる。

⑤ SM氏(81歳、専業主婦)

SM氏は、小さい頃から親に対して話すときに、規範的なジャワ敬語を使用してきたため、ジャワ敬語の運用能力を身に付けた。また、学校でもジャワ語を学んだという。SM氏の家庭ではジャワ語で会話を行う。自分の子供と話すときにも、規範的なジャワ語を使用している。一方、子供は自分に対して、N体とK体を混ぜて話しているが、どちらかというN体の方をよく使う。子供たちはあまり規範的なジャワ語を気にしていないようである。

孫たちは皆ジャカルタ(首都)に住んでいる。自分と話すときには、K体は使わず、N体とインドネシア語を混ぜて話す。しかし、話し続けていると、次第にインドネシア語のみで話すようになる。

⑥ PS夫婦(夫81歳、妻79歳、農民)

二人ともジャワ語の敬語運用能力に自信を持ち、規範的に使用することができる。その理由は、小さい頃からジャワ語で教育を受けてきたこと⁵⁹、さらに家庭でもジャワ語教育をしっかり受けたからである。むしろ、小さい頃はインドネシア語があまり得意ではなく、使わなかったという。

現代の若者はジャワ語の勉強に興味がないため、ジャワ敬語どころか普通のジャワ語すら話せる若者が少なくなっている。たとえジャワ語が話せるとしても、N体でしか話せない若者が多く、結局最も使われるのはインドネシア語である。例えば、昔は学校でも教師に対して敬意を表すKi語でK体を用いなければならなかったが、現在は教師や年長者に対してもN体を用いる若者が多くみられる。

自分たちは、家族内でジャワ語を使用し、自分の子供にもジャワ敬語の使用を教えた。しかし、自分の子供はなぜか孫にジャワ敬語を教えていなかった。その結果、K体が理解できず、孫たちは祖父と祖母であるPS夫婦に対して、N体とインドネシア語でしか話せなくなってしまった。

現在、学校での教育はすべてインドネシア語で行われており、ジャワ語を学ばなければならないという義務感が無くなっていく状況は避けられないだろう。

ジャワ語(敬語)の使用を奨励するために、各学校でジャワ敬語の教育を行うべきである。特に、小学校からジャワ敬語の大切さをもう一度伝えるべきである。

⑦ SB氏(男性、80歳、農民、元公務員)

⁵⁹ オランダ植民地時代、オランダが村で設立した学校での使用言語はジャワ語であった。当時、オランダの先生もインドネシア語を使わず、ジャワ語で教えていたという。

SB氏は、ジャワ敬語を規範的に使用できる。ジャワ敬語は、マナーと同じ機能を持ち、相手に敬意を表すために使用されるので、その大切さを若者に理解してほしい。例えば、子供は親に対して、年下は年上に対して、相手によって伝えるマナーがある。

現代の若者は近代化とグローバル化に流され、また影響を受けすぎている。自分の文化に興味が無くなり、自分たちの文化だと思っていることは、すでにオリジナルではなくなっている。

家族内では、ジャワ語とインドネシア語の両方を使っている。子供は、親に近い距離（関係）を示したいときにN体を使っても良いが、K体を使わなければならない状況もある。敬意を表すためには、言語の他に、伝え方、姿勢、仕草も大事である。これは、相手の地位によって合わせる。孫は自分と会話をする際にはジャワ語で話す、主にN体を使用し、たまにインドネシア語も混ざっている。

ジャワ語の使用を奨励するには親の役割が大きいである。もし、自分の親がジャワ語を使わなければ、子供も使わなくなる。また、親が規範的ではないジャワ語を使うと、子供もそれを真似て、規範的ではないジャワ語を普通に使うようになってしまう。親がまず手本として規範的なジャワ語を使うべきである。自分の孫はジャカルタに住んでいるが、環境の影響も大きく、親もジャワ語を教えなかったため、全くジャワ語を使わず、インドネシア語のみで会話している。また、学校ではしっかりとジャワ語に興味を持たせる方法を考えなければならない。ジャワについて、言語のみならず、その言語を使用する価値も教えるべきである。

⑧ W氏（66歳、元中学校教師）

W氏は、日常生活では常にしっかりとしたジャワ語を使っている。また、自分の両親からジャワ語を教えてもらったという。ただし、発話レベルがあるため、その使い分けに苦労したという。W氏は、教師や村の役員に対して、最も敬意を表すKi語のK体を使用して話す。筆者に対してはM体で話していた。筆者は自分より遥かに年下だが、社会人であり研究者でもあることから、N体は使わず、M体で話してくれた。

ジャワ語にはレベルがあって、使い分けるのが非常に難しいため、若者はジャワ語を習いたがらない。たとえジャワ語ができたとしても、公用語はインドネシア語なので、混ざって話したりするのは避けられない。

自分の子供はジャワ語ができない。小さい頃からインドネシア語だけを使いたがっていた。現在、息子は、仕事の関係で、スマトラやカリマンタンなどに行き、ジャワ島から離れる機会が多いこともあり、完全にインドネシア語のみを使っている。子供に小さい頃からジャワ語を教えなかったことを非常に後悔している。子供がジャワ語を話せなければ、孫たちも話せない。ジャワ人なのにジャワ語ができなければ、祖母にもジャワ語で話す機会が無くなってしまう。息子が、ジャワ語で話さなければならない状況（例えば、村長に会うなどの場面）となったら、その時だけ自分が色々と教えなければならない、反省した。自分たち夫婦はジャワ語が話せるのに、子供たちは皆K体の使い方が分からない。たまに、子供がK体を

使ってみたとしても、間違ってしまうことが多く、結局使うのを諦めてしまった。

現代の子供たちに学校でしっかりとジャワ語を教えるべきである。中学校や高校ではジャワ語を教えるカリキュラムがすでにある。しかし、その内容はジャワ語をどのように使用すべきか、ジャワ語の規範的な伝え方や敬語の使い分けなどよりもジャワ文化に重点を置いており、このカリキュラムでは子供たちがジャワ語を用いる機会をなくしてしまう。

⑨ AW 夫婦 (60～65 歳 (はっきり提示しない)、高校教師)

AW 夫婦は自分の両親からジャワ語を教えてもらったという。また、AW 夫婦は小学校から中学校までジャワ語を習った。1970 年頃のジャワ語の授業では全てジャワ語を用いており、授業では、ジャワ語の使い方をしっかりと練習させられたという。当時、ジャワ語は、地域科カリキュラムの大事な要素の一つで、週に 2 時限行われていた。学校で使用される言語は、インドネシア語ではなく、ジャワ語であったという。AW 夫婦が小学生の頃、インドネシア語は、インドネシア語の授業のときだけに使えば良いという。他の授業では、教師はジャワ語を使って、生徒に教えていた。そのため、生徒も規範的な K 体で教師の質問に答えていた。当時は、学校でも、K 体を学ぶ機会があったという。

家で親には K 体、学校で友達には N 体と、AW 夫婦はジャワ語を使い分けて話していた。ただし、小さい頃から年寄りには必ず K 体を使うようにと、親から K 体を練習させられたため、今はそれが習慣になっている。K 体と言っても規範的なエリート集団が使用する Ki 語の K 体ではなく、通常の K 体である。

現代のジャワ若者が K 体を使用できないのは、環境の影響が大きい。この他に、学校の影響もある。現代の学校では教師すら規範的な K 体を使用できなくなっているからである。次に家 (家族) の影響もある。多くのジャワの家族では、親が子供にインドネシア語のみを使用している。そのため、今の若者はジャワ語を習う機会さえ与えられていない状況である。親自身も K 体の使用に対して自信がなく、インドネシア語に逃げている。

現代のジャワの若者のなかで、K 体を使える者はわずかしかない。グローバル化がその理由の一つとして挙げられるが、実際には、使うのが恥ずかしい、田舎者としてみられる心配があるなどの理由から使用を避けたいのではないか。

自分たちは兄弟と N 体で話す。年上には K 体を使うべきが、仲が良いので N 体でも許される。一方、年下には N 体で問題ない。両親、年上の親戚、年長者だけにはしっかりと規範的な K 体を使用する。これは社会倫理に関係するためである。

自分たちの子供には、最低限なるべくジャワ語を使うようにしているが、主に使うのは N 体である。孫が自分に話すときは、N 体とインドネシア語に混ぜて会話をすること多い。

現代の学校では、教育語はインドネシア語だと法律で決められているため、せめて家 (家族内) ではジャワ語を使用すべきである。現代の親が子供たちにジャワ語を教えない限り、ジャワ語の消滅は時間の問題だろう。

⑩ BM 夫婦（60～65 歳（はっきり提示していない）、中学校と高等学校の教師）

BM 夫婦は、学校でジャワ語を習ったが、授業はジャワ語とインドネシア語を使って行われていたという。

夫婦の間では、N 体を使用している。N 体の方が親しみのある近い関係を表すためである。K 体で話すと、改まった感が出てしまい、はっきりと話せない。

現代のジャワの若者はジャワ敬語が使えなくなっている。K 体は話せないが、N 体はまだ話せる方である。その理由は二つある。一つ目は、現代の若い人は *bahasa gaul*（若者の間でトレンドになっているインドネシア語や N 体の話し方、流行語）の方を好む。*Bahasa gaul*の方が使い易くてわかり易い。グローバル化の影響もあると思うが、現在は K 体が昔ほど高く評価されないので、K 体の使用頻度が低くなる一方である。二つ目は、K 体の文法と使い分けは極めて難しいため、若者は使用を避けたがる。年寄りですら K 体を間違えて使ってしまうことがあるので、若者ならば、なおさらである。尊敬語を自分に対して使っているなど、敬語を誤使用する若者が多い。

家族内では、子供とジャワ語で会話するが、N 体を使うことが多い。子供は、基本的に親に返答する時は K 体で答えるが、会話が続くと、すぐに N 体にスイッチする傾向がある。こうなると、自分たちも N 体で対応するしかなくなる。

また、家での雰囲気では、K 体を使用すると、ややこしいことになってしまう。子供を注意する時など、K 体を使うと言いたいことがはっきり伝えられない可能性が高い。子供に何か頼みたい時などには、より率直で直接的な N 体をあえて選び、K 体を避ける。

家では、インドネシア語はあまり使わない。ほとんどジャワ語を使用するが、ジャワ語と言っても、ほぼ N 体である。来客時に、客に対して、そして客に親のことを話すときには、子供は気を付けて K 体を使用しているが、普段の会話は N 体である。子供は、人と状況を見て言語を使い分けるようにしている。近所の年寄りにばったり会って挨拶する時には、必ず敬意を表す K 体を使用しなければいけないことを分かっているからである。

家で、子供たちは、兄弟間で、N 体か、たまにインドネシア語で話す。また、学校の教師に対しても、K 体を使うと間違ってしまうに危険性があるため、最も便利で中立的、そして無難なインドネシア語を使用した方が良く考えているようだ。

若者はジャワ語の授業のときだけに、しっかりとした規範的な K 体を使用するため、学校ではジャワ語教育にもっと力を入れてほしい。

以上、高齢者の語りをみてきた。ここからは、この語りを分析していきたい。

番	インタビューの 対象者 設問の内容	78 歳以上						60～77 歳			
		①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑧	⑨, ⑩	
		91 歳	85 歳	84 歳	82, 80 歳	81 歳	81, 79 歳	80 歳	66 歳	60～65 歳	
1	小さい頃からジャワ語を 習い、親と話すときに必ず K 体を使用する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	学校と生活環境からジャ ワ語を徹底的に学ぶ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	親にジャワ語を教えても らう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	規範的な K 体を使用でき る	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△
5	自分の子供は自分に話す とき、K 体を使用する	△	△	△	○	△	△	△	×	△	×
6	現代の若者は K 体が使用 できないと思う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	自分の子供に K 体を教え る	○	△	○	○	○	○	○	×	▲	▲
8	現代の学校でジャワ語の 勉強に力を入れていない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	家で子供と会話するとき、 ジャワ語を使用する	○	○	○	○	○	○	△	×	△	△
10	孫は自分に話すとき、N 語 とインドネシア語で会話 する	○	●	●	○	●	○	○	●	○	○
11	孫は K 体が話せる	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

- : そうである
- : そうであるが、ほとんどはインドネシア語で会話する
- △ : 時々そうである
- ▲ : 教えはしないが、会話しながら K 体を習わせていく
- ×

上記の分析の結果からみると、対象にした高齢者が一致して話したのは、1) 小さい頃からジャワ語を習い、親と話すときに必ずK体を使用する、2) 学校と生活環境からジャワ語を徹底的に学ぶ、3) 親にジャワ語を教えてもらうという点である。78歳以上の高齢者も60～66歳の高齢者も、ジャワ敬語に身に付けた場所はまず家庭で、次に学校である。特に78歳以上の高齢者は小さい頃、オランダや日本が占領時代に設立した小学校に通っていた。当時はインドネシア独立前のため、学校での教育語はジャワ語のみで、すべての授業がジャワ語で行われていたという。学校では、生徒は敬意を表すべき教師に必ずK体を使わなければならない、授業では教師は生徒のジャワ語使用に注意を払っていた。また、学校から家に戻ると、今度は親に対しても敬意を表すためにK体を使用する。家では、親もK体の使用を教えてくれた。つまり、78歳以上の高齢者は、小さい頃から家庭や学校の影響で、ジャワ敬語は日常生活の大事なコミュニケーションツールとして身に付けていた。兄弟たちにはN体を使っても、親にはK体を使うという使い分けも小さい頃から身に付けているため、結果として、4) の回答のように、78歳以上の高齢者はみんな自分が規範的なK体を使用できると述べている。

一方、60～66歳の高齢者は、家庭では78歳以上の高齢者と同様に親がジャワ敬語を色々と学ばせたが、学校でのジャワ語教育の状況は異なっている。60～66歳の高齢者は、インドネシアが独立後に生まれた。小学校の頃、学校での教育語はインドネシア語となった。

学校ではジャワ語の授業もあったが、週2時限のみで、しっかりと習ったり練習したりするには時間があまりにも足りなかった。66歳以下の調査対象者の一人によると、自分が通っていた学校では、インドネシア独立後もジャワ語を使っていたが、それでも自分が使っているK体は、必ずしも規範的なK体ではなく、許容的なK体の方だと述べている。また、66歳以下の他の対象者も、小学校の頃から、学校ではジャワ語とインドネシア語を混ぜて授業が行われていたため、こちらもK体はできるが、規範的というよりも許容的なK体を使用していたと述べている。このように、60～66歳の高齢者は、K体は許容的にできるが、規範的なK体に関しては78歳以上の高齢者に比べて、確実に使用できる自信を持っていないことがわかった。

さらに、敬語使用と学校の関連について、6) と、10) から分かるように、調査対象の高齢者は、現代の若者はK体を使用することができないと思っている。インタビューでは、高齢者は若者の敬語離れに非常に残念に思っている。高齢者は、若者の敬語離れについて、若者がグローバル化の影響で他の言語に興味を持っていることや、現代の親が子供にジャワ語を教えていないことなど、いくつかの理由を挙げている。なかでも、主要な原因として多くの高齢者が指摘したのは、学校がジャワ語の学習に力を入れておらず、カリキュラムも必ずしもジャワ語の運用能力の向上に焦点を当てていないということである。高齢者によると、彼らが小さい頃のジャワ語勉強は、現代の若者のジャワ語教育と比べて、K体を大切にしていた。学校の地域科カリキュラムも、若者に興味を持たせるような内容になっていないと述べている。このように、高齢者の多くが学校のジャワ語教育を悲観的にみている。

また、自分の子供にK体を教えたかどうかという点については、7)のように、78歳以上の高齢者は、7人のうち、6人はしっかりと子供にK体を教えたと言っているものの、60～66歳の高齢者はしっかりと教えたとは言い難い。1人はきっぱりと教えなかったと述べており、他の2人も、教えはしなかったが会話をしながらK体を習わせていくようにしていたと述べている。調査を行った高齢者自身は全員、自分の親にジャワ語を教えてもらった。しかし、自分の子供にしっかりとK体を教えたと言ったのは、10人のうち6人であった。60～66歳の高齢者については、最初から教えるつもりがなかったことが明らかになった。

筆者は、これはインドネシア語の影響が大きいからではないかと考えている。78歳以上の高齢者の世代は、ジャワ語しか使用言語がなかったため、規範的なジャワ語ができないと、子供が社会生活に上手く適応することができないと不安を感じていたのではないだろうか。また、当時は、規範的なジャワ語ができる子供の方が、きちんとしつけを受けていると見られる時代であった。一方、60～66歳の高齢者の場合は、小さい頃からすでにインドネシア語が存在をしており、学校でもインドネシア語が使用されていた。そのため、K体の必要性が低くなり、Poedjosoedarmo (1979)が述べているように、K体に対するこだわりが無くなっていったと考えられる。結果として、5)のように、子供が自分に話すときにK体を使用するかという点について、使用すると答えたのは、10人のうちたった1人、82歳の高齢者だけであった。これは、この高齢者が生まれ育った時代、子育てをした時代に、親子関係でK体を使うことがいかに大切なことであったか表しているといえるだろう。

次に、家で子供と会話をするときにはジャワ語を使用するかどうかに関して、9)のように、78歳以上の高齢者は7人のうち1人だけインドネシア語も合わせて使っているが、他の高齢者はジャワ語のみを使用している。一方、60～66歳の高齢者は、ジャワ語だけではなく、インドネシア語も使っている。⑧のW氏は、家では子供がジャワ語を使用する頻度は低くほとんどインドネシア語のみ使っていると述べている。つまり、家で会話をするときには、60～66歳の高齢者よりも、78歳以上の高齢者の方がジャワ語のみで使用するのが多いことである。

最後に、最も新しい世代、つまり自分の孫について尋ねてみると、高齢者は全員、11)のように、自分の孫はK体が話せないと述べている。理由は色々述べられたが、主な理由は2つ挙げられる。第一に、孫がジャワ環境で育たなかったため、ジャワ語を身に付ける機会がなかったこと、第二に、高齢者の子供たちが、彼らの子供にK体を教えなかったため、孫がK体をどのように使えば良いか分からなくなってしまったことだという。結果は、10)のように、孫と会話をするときには、N語とインドネシア語で会話をすると答えた78歳以上の高齢者は、7人のうち4人である。残りの3人は、孫と会話をするときにはN語とインドネシア語の両方を使用したがるが、どちらかというとはほとんどはインドネシア語を使用している。一方、60～66歳の高齢者は、3人のうち2人が孫とN語とインドネシア語で会話をしており、残りの1人は孫とインドネシア語のみで会話をしている。

以上、高齢者への聞き取り調査の分析を行ったが、78歳以上の高齢者、当時、規範的な

ジャワ敬語が、家庭や社会にいかにか大切にであったかが明らかになった。家庭でのジャワ語学習は、規範的なジャワ語を維持するために有効な方法ではあるが、それと同時に、以前は学校でのジャワ語教育も大きな役割を持っていたことがわかった。また、インドネシア語が教育語として登場したことが、K体の使用に影響を及ぼすことも明らかとなった。

ここまで、78歳以上の高齢者から60～66歳の高齢者までのK体の使用変化を調べてきた。次節では、現代の若者がK体をいかに使用しているのか、その使用実態はどれだけ変化しているか、さらに、インドネシア語はジャワの若者にとってどのような位置付けなのか分析を行う。

4-2 若者のジャワ語使用の変化

4-2-1 若者にみられる変化

第3章の若者へのアンケート調査からは、ジャワの若者が規範的なジャワ語の敬語をいかに使用するのかあまり理解していないことが明らかとなった。また、4章第1節のジャワ人の高齢者への聞き取り調査からは、高齢者たちが、現代の若者はほとんどジャワ語の敬語を使用していないと認識していることが分かった。若者は、ジャワのN体(N語)については、日常的に使っているが、インドネシア語と混ざる場合も多い。

また、第3章で述べたように、若者はジャワの敬語(K体)の使用を避けたいと思っている。敬語の中に多様なレベルがあり、若者にとっては、このレベルの中から規範的な文体や正しい語彙などを決めてK体を使い分けるのは非常に難しい作業である。また、若者は、誤使用のリスクを心配しなければならない。敬語を誤って使用すると、相手に対して失礼にあたるため、若者はK体を使う自信を失ってしまう。

N体は話せるがK体は避けたいというジャワ若者は、敬意や丁寧さを表わすべきジャワ人の相手に、どのように物事を伝え、会話をしているのだろうか。一つの方法として、インドネシア語へのコードスイッチング(コードミキシングも含む)である。インドネシア語にコードスイッチングを行うことによって、若者はより中間的な丁寧さを表わすことができる。

ここでは、まず、若者が、ジャワ語のK体(M体を含む)とN体、インドネシア語を、日常生活のなかでいかに使い分けているのかをみていく。第3章では、ジャワ語教育をまだ受けている農村部と都市部の高校生のジャワ語使用の実態調査を行い、その結果を分析した。筆者は、その際、彼らが普段いかにジャワ語を使用しているのか明らかにすることを目的としたアンケート調査も同時に行った。

つづいて、高校生が日常的にいかにかジャワ語のK体、M体、N体と、インドネシア語を用いているかに関するアンケート結果を、ジャワ高齢者への聞き取り調査の結果を参照しながら、分析していきたい(より理解し易くするために、調査の分析は、問7の「家庭で使用する言語の調査」から、問6の「変容した敬語に関する認知度の調査」の順で行う。

第3章と同じく、調査対象としたのは、下記のとおりである。

- (1) 農村部の高校生 424 人 (公立の生徒 206 人、私立の生徒 218 人)
- (2) 都市部の高校生 390 人 (公立の生徒 207 人、私立の生徒 183 人)
- (3) 農村部の高校教師 20 人 (公立の教師 9 人、私立の教師 11 人)
- (4) 都市部の高校教師 26 人 (公立の教師 13 人、私立の教師 13 人)

4-2-1-1 家庭で使用する言語の調査

まず、家庭での使用言語についてみていく。調査方法は、選択式のアンケート調査である。アンケートの設問は、「家で会話をするときに何語を使用するのか」である。生徒には7つの選択肢⁶⁰から、最も自分に適した状況の1つを選んでもらう。生徒のほかに、高校教師にも回答を依頼した。

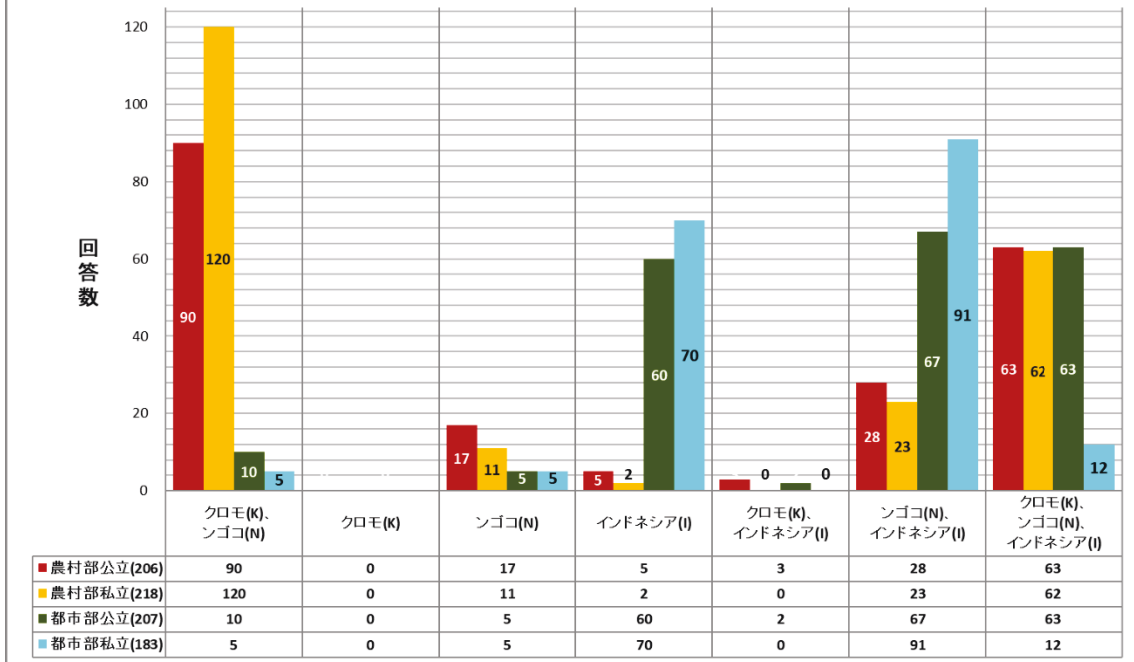
下記は実際に使用したアンケート設問 (Q7) である。

問 7	Pada saat berkomunikasi di rumah, Anda menggunakan bahasa apa? 家で会話をするときに何語を使用するのか
番号	JAWABAN (回答)
1.	Bahasa Jawa Krama dan Jawa Ngoko ジャワ語の K 体と N 体
2.	Bahasa Jawa Krama saja ジャワ語の K 体のみ
3.	Bahasa Jawa Ngoko saja ジャワ語の N 体のみ
4.	Bahasa Indonesia saja インドネシア語のみ
5.	Bahasa Jawa Krama dan Bahasa Indonesia ジャワ語の K 体とインドネシア語
6.	Bahasa Jawa Ngoko dan Bahasa Indonesia ジャワ語の N 体とインドネシア語
7.	Bahasa Jawa Krama (Basa), Jawa Ngoko, dan Bahasa Indonesia ジャワ語の K 体、N 体と、インドネシア語

まず、グラフ Q7a の高校生の回答を分析してみると、次のような結果がみられる。

⁶⁰ 回答の選択肢にある K 体というのは、丁寧さを表すボソ体という意味を持ち、つまり K 体と M 体を指す。アンケートを答える者には説明してある。

グラフ Q7a. 家で会話する際に使う言語(高校生の比較回答)



(1) 都市部と農村部の高校生が、家で使用している言語は次の通りである。

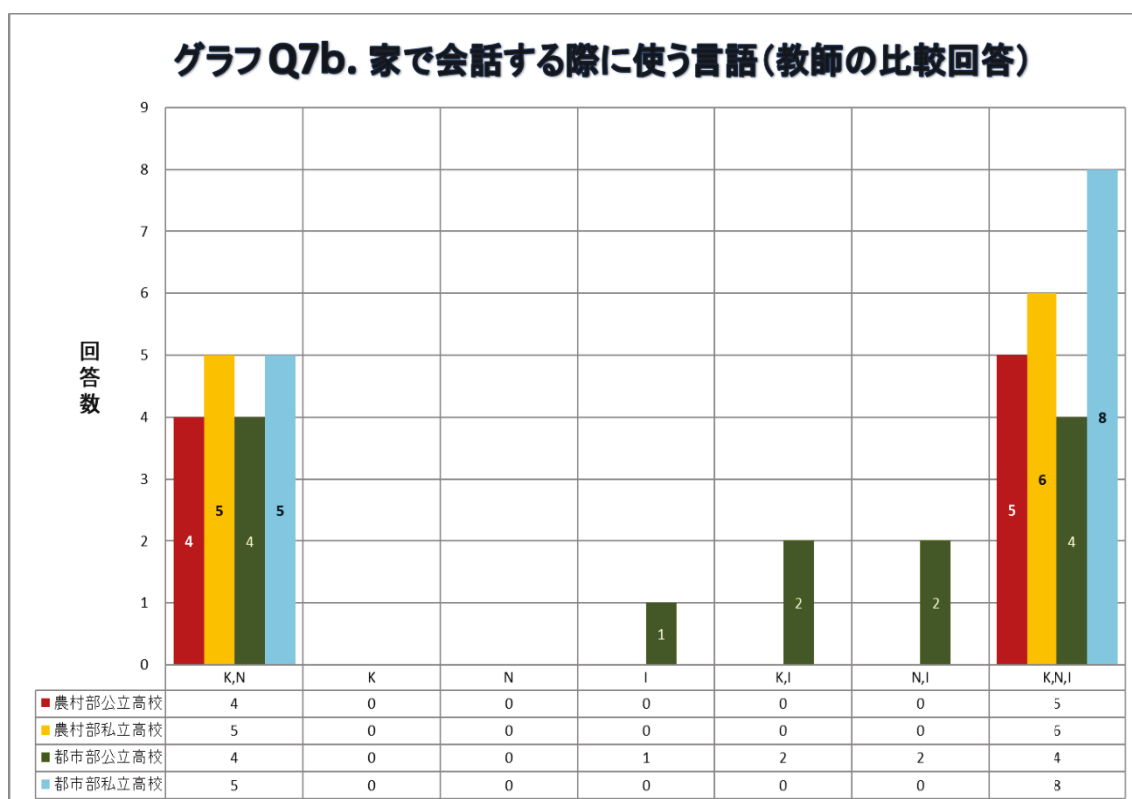
順	農村部	人数 (424)	比率	順	都市部	人数 (390)	比率
1	K体とN体	210	49.5%	1	N体と インドネシア語	158	37.3%
2	K体、N体と、 インドネシア語	125	29.5%	2	インドネシア語のみ	130	30.7%
3	N体と インドネシア語	51	12.0%	3	K体、N体と、 インドネシア語	75	17.7%
4	N体のみ	28	6.6%	4	K体とN体	15	3.5%
5	インドネシア語のみ	7	1.7%	5	N体のみ	10	2.4%
6	K体と インドネシア語	3	0.7%	6	K体と インドネシア語	2	0.5%
7	K体のみ	0	0%	7	K体のみ	0	0%

農村部の高校生が家で最も使用しているのは、ジャワ語の K 体と N 体である。すなわち、ジャワ語のみを使用する生徒が全体の半数近く(49.5%)であった。一方、都市部では、家でジャワ語のみを使用する生徒は非常に少ない(3.5%)。都市部の生徒が家で最も使用するの、N 体とインドネシア語で、40%近くもあったが、農村部では、N 体とインドネシア語で話す割合は低く 12%であった。次に、家でインドネシア語のみを使用する生徒が都市部では 30%を超えた。これと対照的に、農村部では、家でインドネシア語のみを使用する生徒は極めて少なく 1.7%しかなかった。

また、K 体の使用についてみていくと、農村部と都市部の回答に差がみられる。農村部では、K 体を(N 体やインドネシア語と併用しながら)用いるという回答が上位 2 つを占めた。一方、都市部では、N 体とインドネシア語やインドネシア語のみが最も選ばれ、次に K 体(N 体やインドネシア語と併用しながら)用いるという比率が低く 17.7%であった。

この回答からは、農村部の高校生は都市部の高校生より、家でジャワ語を使用しているということが明らかとなった。また、農村部と都市部いずれの生徒も、K 体より N 体の使用する頻度の方が高いことがわかった。農村部と都市部ともに家で K 体のみを使用する生徒は全くいない一方、比較的比率は低い N 体のみ使用する生徒がいることが分かった。

次に、グラフ Q7b の高校教師の回答を分析してみると、次のような結果がみられる。



(2) 高校教師が、家で最も使用しているのは次の順である。

順	農村部	人数 (20)	比率	順	都市部	人数 (26)	比率
1	K 体、N 体と、 インドネシア語	11	55%	1	K 体、N 体と、 インドネシア語	12	46.2%
2	K 体、N 体、	9	45%	2	K 体、N 体、	9	34.6%
3	N 体と インドネシア語	0	0%	3	N 体と インドネシア語	2	7.6%
3	K 体と インドネシア語	0	0%	3	K 体と インドネシア語	2	7.6%
3	インドネシア語のみ	0	0%	4	インドネシア語のみ	1	4%
3	N 体のみ	0	0%	5	N 体のみ	0	0%
3	K 体のみ	0	0%	5	K 体のみ	0	0%

農村部の高校教師が家で最も使用する言語の1位は、K 体、N 体とインドネシア語で、55%を占めている。つまり、ジャワ語とインドネシア語を混ぜて話す教師が多いということである。同様に、都市部の教師も三つの言語を使い分けるという回答が1位であったが、農村部より少し割合は低く46.2%であった。また、2位では、農村部と都市部ともに同じで、ジャワ語のK 体とN 体であることがわかった。農村部では45%、都市部は少し低く34.6%であった。

また、農村部の教師(20名)は、今述べた上位二つ以外の選択肢を答えた者はいなかった。一方、都市部の教師(26名)のうち2名がN 体とインドネシア語(7.6%)を、2名がK 体とインドネシア語(7.6%)を使用していると回答した。さらに都市部のジャワ人教師の中には、全くジャワ語を使用せず、インドネシア語のみを使用するという教師が1人いた(4%)。高校教師の回答からは、最も使用される言語として、ジャワ語のK 体とN 体が選ばれており、農村部と都市部の高校教師がいずれも家で頻繁にジャワ語を用いることがわかった。この中には、インドネシア語を混ぜて会話をする者、インドネシア語を使わずジャワ語のみで会話をする者が多いことが明らかになった。

最後に、高校生と高校教師の回答(都市部と農村部の平均的比率)を比較して分析してみると、次のような結果がみられる。

(3) 高校生と高校教師が、家で使用している言語の順位は次の通りである。

順	高校生	人数 (814)	比率	順	高校教師	人数 (46)	比率
1	K体とN体	225	27.6%	1	K体、N体と、 インドネシア語	23	50.0%
2	N体と インドネシア語	209	25.7%	2	K体とN体	18	39.0%
3	K体、N体と、 インドネシア語	200	24.6%	3	N体と インドネシア語	2	4.4%
4	インドネシア語のみ	137	16.8%	3	K体と インドネシア語	2	4.4%
5	N体のみ	38	4.7%	4	インドネシア語のみ	1	2.2%
6	K体と インドネシア語	5	0.6%	5	N体のみ	0	0%
7	K体のみ	0	0%	5	K体のみ	0	0%

高校生（全814名）が家で最も使用しているのは、K体とN体で、27.6%であった。つまり、生徒はジャワ語のみを使用する傾向がある。一方、教師が家で最も使用しているのは、K体、N体とインドネシア語の使い分けで、50%もあった。家でN体とK体のみを使用する教師の割合が少し低く、39%を示した。

次に高校生に多く選ばれたのは、N体とインドネシア語であった（25.7%）。また、K体、N体とインドネシア語を使い分ける高校生は、その次に24.6%を示した。

教師の中には、比率が極めて少ないが、家でK体を使用せずにN体とインドネシア語を使用する者が2人（4.4%）、K体とインドネシア語を使用する者も2人（4.4%）いたことがわかった。

インドネシア語のみを使用する教師は1人（2.2%）だけいたが、高校生では137人もいた（16.8%）。この137人のうち130人が都市部の生徒で、農村部の生徒が7人だけであった。まずは、家でインドネシア語のみを使用するのは主に都市部の高校生であるということがわかった。しかし、農村部でも、ジャワ語を使わずにインドネシア語のみを使用する生徒が出てきていることもわかった。つまり、ジャワ語を使用する意義を広めていかなければ、農村部でも、家でインドネシア語のみを使う生徒が増えていく可能性がある。

また、N体のみ使用すると答えた教師と生徒の割合は非常に低かった。高校生では、37人（4.7%）、教師は一人もいなかった。

4-2-2 敬語使用にみられる変化

現代のジャワ若者の間では、K 体に対する意識が低く、ジャワ敬語を使用できない若者が増えていることが明らかになった。このように、ジャワ若者の敬語離れが指摘されたのは今に始まったことではない。

Dwijawiyata(1930)が 1928 年の 3 月に行われたジャワ語講師学会で、既にジャワ語の敬語使用の難しさを指摘しており、敬語使用に関するテキストブックの必要性を主張している。次に、Poedjosoedarmo (1979) は、現代の家庭内では敬語使用に対するこだわりがなくなってきたと述べている。さらに、1991 年、1996 年、2001 年のジャワ語学会でも、現代の若者はジャワ語の敬語使用法を把握していないことを取り上げている。ジャワの若者が今後ますますジャワ敬語を使えなくなくなるため、一般層では敬語を簡素化しようとしていることがみられようになった (Sasangka, 2014:5)。

筆者の修士論文 (シマルマタ, 2012:29-35, 59-60) では、意識調査の結果から、敬語の使用を避けるジャワ若者が増えていることを明らかにした。また、ジャワの若者の敬語離れが指摘されているものの、実際には、彼らは彼らなりの「変容した敬語」使用の概念を持っていることが、調査の過程で明らかになってきた。この彼らなりの敬語というのは、1) 「クロモルマ体」と呼ばれるものである。クロモルマ体は、敬語 (クロモ) と家 (ルマ) という二つの単語から成り、「家の敬語」という意味である。すなわち、クロモルマ体というのは、家の中や近所の人達などに挨拶をするときや短い会話をするときに使用されるよりシンプルなジャワ語のクロモ体を指す。2) 「簡素化したクロモ体」である。具体的な形としては、本来の K 体と違い、文章の所々に、インドネシア語が混ざったり、適切なクロモ語がわからない時にインドネシア語にスイッチしたりする。本来の K 体ほど改まった話し方には見えないが、敬意を表わす要素が十分に入った丁寧な言葉遣いである。

このように、現代のジャワ若者の間では、敬意を表すために、本来の K 体からクロモルマ体や簡素化したクロモ体への移行をしていく可能性がある。このような現象は、先行研究の中では論じられていないため、筆者は本節において、この点についてさらに掘り下げて分析する。

本節では、本来のジャワ語の敬語はこれまで通り「K 体」と記述するが、クロモルマ体と簡素化したクロモ体は「変容したクロモ体」と記述する。クロモルマ体や簡素化したクロモ体という表現が、どこまで普及しているのか、これまで全く研究されていない。筆者の現地調査から言えることは、二つともジャワ人の若い世代で知られているシンプルな敬語を指す表現であるといえる。クロモルマ体は 20 代のジャワ若者の間にある程度知られているが、より上の世代には認知されていない可能性がある。クロモルマ体及使用される場面、実際の事例、使い方などについて、筆者は調査対象者が普段使っているクロモルマ体を取り上げて分析を行い、修士論文(2012)で報告した。今回はその調査結果に基づいて、クロモルマ体の認知度を調べるために、再びフィールド調査を実施した。

4-2-2-1 「変容した敬語」に関する認知度の調査

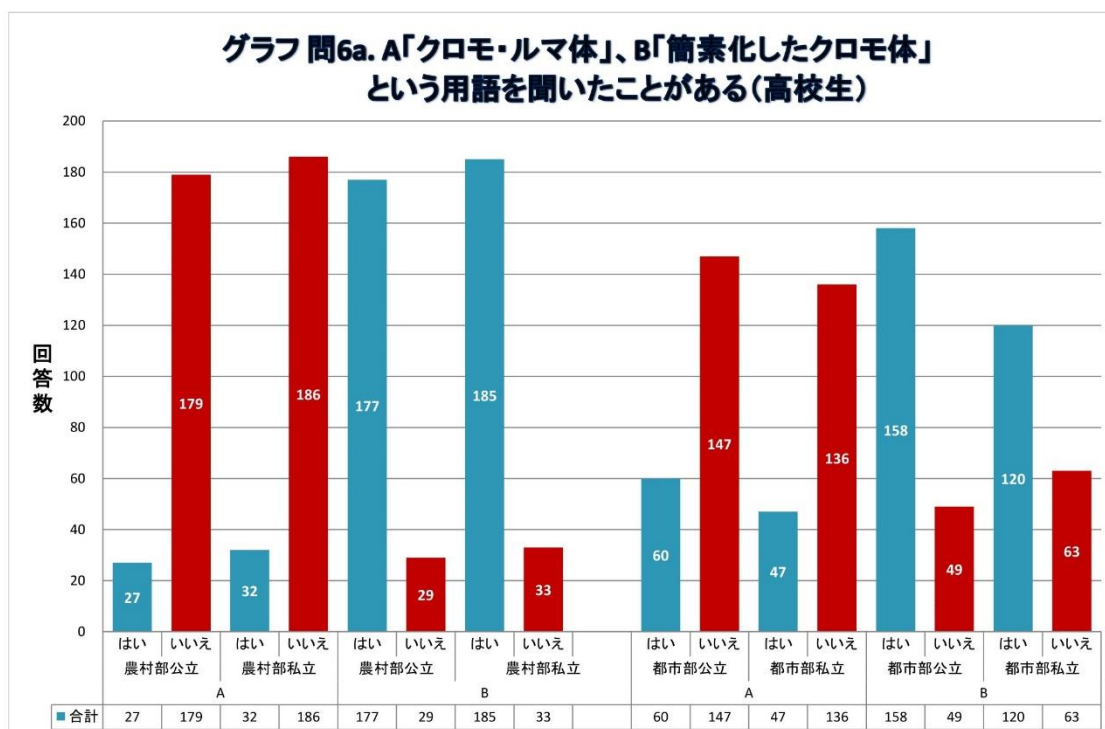
ジャワの高校生がいかに関「クロモルマ体」と「簡素化したクロモ」を知っているのかを調べるために、アンケート調査を実施した。高校生のほかに、比較対象として、高校教師にもアンケート調査を行った。調査対象は下記の通りである。

- (ア) 農村部の高校生 424 人 (公立の生徒 206 人、私立の生徒 218 人)
- (イ) 都市部の高校生 390 人 (公立の生徒 207 人、私立の生徒 183 人)
- (ウ) 農村部の高校教師 20 人 (公立の教師 9 人、私立の教師 11 人)
- (エ) 都市部の高校教師 26 人 (公立の教師 13 人、私立の教師 13 人)

調査方法として、選択式アンケートを採用した。a. 「クロモルマ体」と、b. 「簡素化したクロモ」という用語を聞いたことがあるかどうかに対して、「はい」か「いいえ」を選択してもらった。「簡素化したクロモ体」は、簡単なクロモ体であり、インドネシア語と混せて用いるものであると説明を付け加えた。

具体的なアンケート (Q6) は、下記の通りである。

グラフ Q6a の高校生の回答を分析してみると、次のような結果がみられる。



(1) 高校生の結果

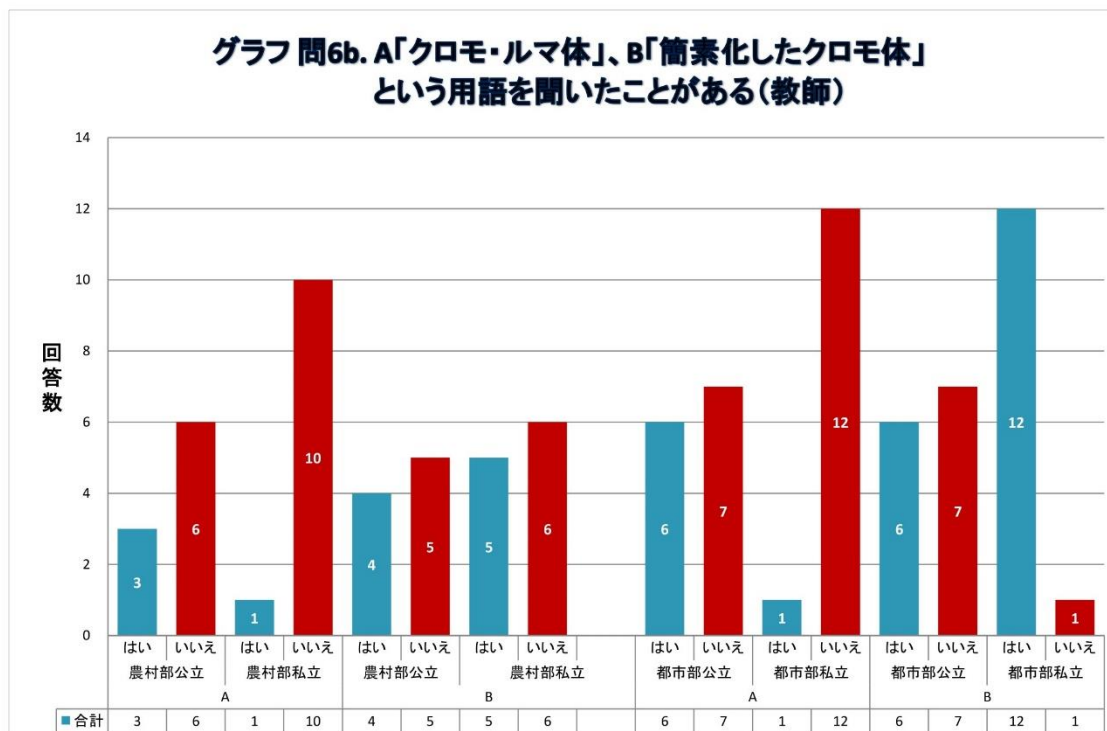
Q6a. 高校生に対して	農村部 (424 人)		比率 (%)		都市部 (390 人)		比率 (%)	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
A. 「クロモルマ体」という用語を聞いたことがある	59	365	13.9	86.1	107	283	27.4	72.6
B. 「簡素化したクロモ」という用語を聞いたことがある	362	62	85.4	14.6	278	112	71.3	28.7

まず、Aの「クロモルマ体」という用語を聞いたことがあるかどうかの設問についてみると、都市部と農村部の高校生の大多数が「クロモルマ体」を聞いたことがないことがわかった。聞いたことのある生徒は都市部では27.4%だったが、農村部では更に少なく13.9%であった。この結果から、「クロモルマ体」という用語は未だジャワの若者に認知されていない見方もできる。しかし、本当にそうだろうか。筆者は、農村部で1割以上、都市部では3割弱の生徒が「クロモルマ体」という用語を聞いたことがあるということに着目したい。また、「クロモルマ体」という言葉が広く浸透していないだけで、実際家では特別なK体を使用したりする高校生がいるのではないだろうか。筆者のこの主張は設問Bの結果から裏付けることができる。

Bの「簡素化したクロモ体」という用語を聞いたことがあるかという質問に対する回答をみると、Aの回答とは対照的に、農村部と都市部の高校生の大多数が「簡素化したクロモ体」という用語を聞いたことがあることがわかった。都市部では7割以上(71.3%)、農村部では8割以上(85.4%)の生徒が「簡素化したクロモ体」という用語を聞いたことがあった。

AとBの設問回答から分析すると、高校生の多くは「クロモルマ体」という用語自体があまり聞いたことはない。しかし、少し変容した使い易いK体、「簡素化したクロモ体」は、高校生の大多数が聞いたことがあるのである。ここから、高校生のなかには、本来のK体より使い易くてそれほど複雑ではない変容したK体が広まりつつあることが明らかになった。この変容したK体は、丁寧さを表しながら、インドネシア語と混ざることによって、文体が馴染みやすくなる丁寧に変容されたK体である。

グラフ Q6b の高校教師の回答を分析してみると、次のような結果がみられる。



(2) 高校教師の結果

Q6b. 高校教師に対して	農村部 (20)		比率 (%)		都市部 (26人)		比率 (%)	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
A. 「クロモルマ体」という用語を聞いたことがある	4	16	20	80	7	19	17	73
B. 「簡素化したクロモ」という用語を聞いたことがある	9	11	45	55	18	8	69	31

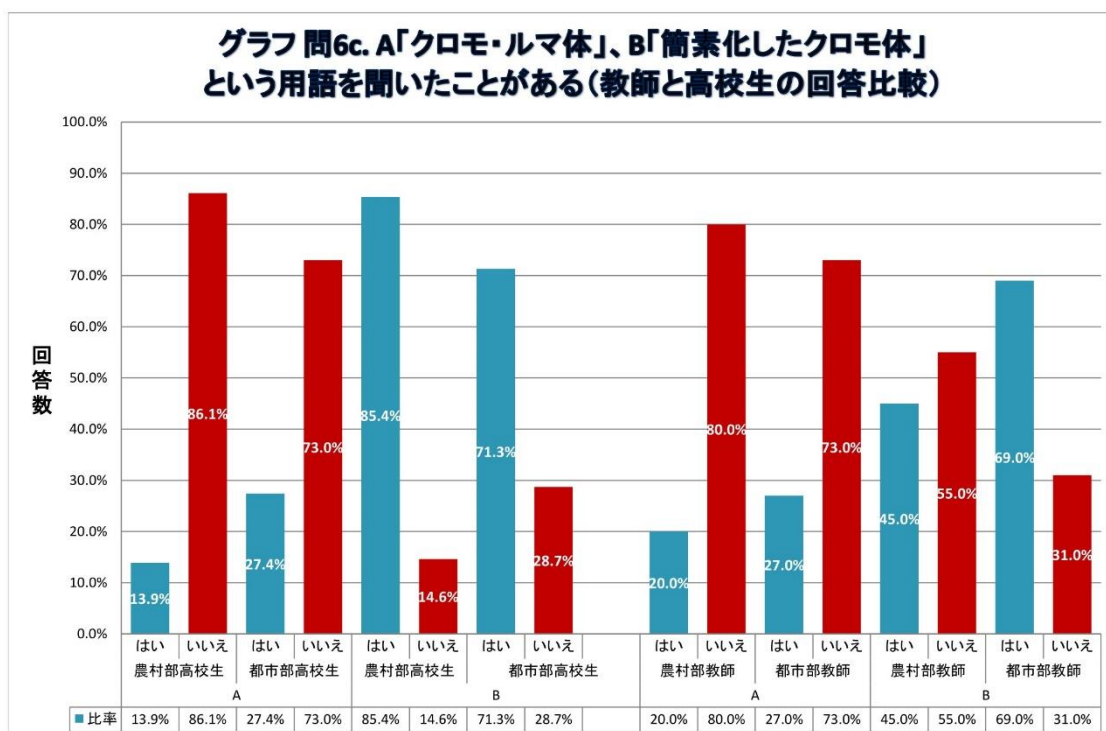
A の設問の回答をみてみると、高校教師の大多数が「クロモルマ体」という用語を聞いたことがないことがわかった。46 人の教師のうち「クロモルマ体」を聞いたことのある教師は都市部では 7 人 (17%)、農村部では 4 人 (20%) であった。これも高校生の結果と同じように、「クロモルマ体」という用語が広く普及していないだけで、実際には家で特別な K 体を使用する高校教師がいる可能性がある。

B の設問回答に対して、農村部の教師の 45%、都市部の教師の 69% が「簡素化したクロモ体」という用語を聞いたことがあった。

A と B の設問回答を分析すると、高校生と同じく、多くの高校教師が「クロモルマ体」と

いう用語を聞いたことはなかったが、少し変容された使い易い「簡素化したクロモ体」であれば、都市部と農村部を平均して、半分以上の教師が聞いたことがあることが分かった。高校教師の中にも、本来の K 体より変容した K 体が認知されつつあるということが、明らかになった。この変容した K 体は、丁寧さを表しながら、インドネシア語と混ぜることによって、よりシンプルに気軽に使用できる「新敬語」であるといえるだろうか。

グラフ Q6c では高校生と教師の回答を比較している。このグラフからは、次のような結果がみられる。



(3) 高校生と高校教師は「クロモルマ体」と「簡素化したクロモ体」という用語に関する結果を、次のデータにまとめる。

Q6c. 高校生と高校教師に対して (総合)	高校生 (814)		比率 (%)		高校教師 (46人)		比率 (%)	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
A. 「クロモルマ体」という用語を聞いたことある	166	648	20.4	79.6	11	35	23.9	76.1
B. 「簡素化したクロモ」という用語を聞いたことある	640	174	78.6	21.4	27	19	58.7	41.3

「クロモルマ体」という用語に関しては、高校生は20.4%、高校教師は23.9%で、いずれも2割程度が聞いたことがあるとわかった。一方「簡素化したクロモ体」という用語に関しては、高校教師は5割以上(58.7%)、高校生は8割近く(78.6%)が聞いたことがあるとわかった。

高校生と高校教師の回答を総合した結果をみると、彼らの日常生活には、本来のK体より使い易くてそれほど複雑ではないK体があるということが分かった。これは頻繁に使用されているものの、簡素化したK体の名称は未だ定まっていない。

4-3 まとめ

家で会話をするとき用いる言語については、高齢者と農村部の高校生の結果に類似点が見られた。つまり、彼らはいずれも家で会話をする際に、ジャワ語のN体とK体を最も多く用いる。一方、都市部の高校生が最も使うのは、N体とインドネシア語であった。高校教師は全体的にみると、K体、N体とインドネシア語の三つを使い分けていることが多いことが分かった。

また、独立後にインドネシア語が教育言語として登場したことによって、60~66歳の高齢者のK体の使用に変化が見られる。学校での教育言語はインドネシア語であるため、高校の教師もジャワ語の他に、インドネシア語を日常的に使用している。

このように、高齢者から若者のK体の使用変化をみると、家庭や地域とのつながりなどの生活環境、学校教育がK体を維持するための重要な「場」であったことが分かる。また、現代の若者の敬語の使用にはさらに変化がみられる。筆者は、本章で、クロモルマ体と簡素化したK体について認知度の調査を行い、使用頻度に明らかにした。

第5章 終章

5.1 まとめ

ジャワ語の敬語は複雑であるため、現代のジャワの若者のジャワ敬語運用能力は低下し、敬語離れが起きていると指摘されてきた。序章では、以下の3点を本論文の研究課題として挙げた。1) 若者の敬語運用能力がいかに低下しているのかその実態を明らかにすること、2) 現代ジャワ人の高齢者(78歳以上)の敬語使用と比較すること、3) ジャワ敬語の丁寧語化はどこまで進んでいるのか、ジャワ人の若者の間で簡素化したクロモ体やクロモルマ体の使用はどこまで浸透をしているのかを明らかにすることである。

まず、1点目の課題から見ていきたい。若者の敬語運用の能力がどこまで低下しているかについて、これまでジャワ語の研究者は、若者の敬語使用の能力低下を指摘してきたが、徹底的な実態調査に基づく研究を行ってこなかった。第2章でみたように、いくつかの先行研究において、ジャワ語の発話レベルの複雑さ、構造や構成、意図や観念、意義などが、言語学、社会学、社会言語学的アプローチから記述されてきた。しかし、研究対象のジャワ敬語の使用者である若者に対して、徹底的な敬語実態調査を行う研究はなかった。また、1991～2016まで5年一度に行われているジャワ語学会においても、ジャワの若者の敬語離れの問題が指摘され続けた。それにもかかわらず、敬語の運用実態の低下の実態について未だに調査されていない。こうしたなか、筆者は本論文で若者に対する実態調査を行った。アンケート、インタビューや資料を用い、特に若者が示す様々な現象を考察することを試みた。そのデータを分析した結果は次の3点にまとめられる。

第一に、現代ジャワの若者は敬語の運用に対する知識をもっていないのではなく、知識はある程度もっている。規範的な敬語使用に関して理解していない若者が多く、都市部の一部の高校生の中で、尊敬語の使用が不規則になっている状況が明らかになった。尊敬語の使用に関して、大学生と高校生の多くは、最も規範的な文体を使用しつつも、ほかの文体も用いてしまっており、自分が使用する規範的な文体に自信を持っていないことがわかる。この自信の無さはジョグジャカルタ出身と他州出身の大学生と、都市部の高校生に多くみられた。一方で、農村部の高校生だけがしっかりと規範的な文体を使用する傾向があった。規範的な文体をきちんと選択できない若者は、生活の中で敬語を身に付けなければならず、規範的な敬語を習得していないことに理由として挙げた。つづいて、謙譲的表現の使用に関しては、規範的ではない表現を使用する若者が多いことがわかった。大学生と高校生も、地方によって結果が大きく分けられた。大学生をみても、ジョグジャカルタ州出身の学生は他州出身より謙譲的表現の使用能力は高かった。さらに、ジョグジャカルタ州の高校生をみても、都市部の高校生より農村部の高校生の方が、謙譲的表現の使用能力はるかに高かった。これはシマルマタ(2014a)の一回目の認識調査で明らかにしたことと関連する。つまり、学生は学校でジャワ語を学ぶよりも、近所の付き合いや日常生活から敬語を身に付ける。農村部では家庭で会話するとき、ジャワ語のみを用いる高校生が非常に多いが、都市部の高校生は家庭で会話する際、インドネシア語かジャワ語のN語のみを用いる高校生が多

い。この結果をみると、都市部の方が農村部よりも、ジャワ語の敬語離れが進んでいることがわかった。

第二に、地位と年齢が自分より上の者と話す際に、K 体で話そうとしている若者は多い。その際、本来の規範的な発話レベルでは、敬意を表す最も丁寧な文体 K 体を用いるべきである。しかし、現代の若者は K 体の誤使用を回避するために、別の選択をしている。それは K 体より丁寧さが少し劣る、準丁寧なマディオ体を使うという方法である。この準丁寧というのは、丁寧さを少し下げることによって、親しみを表わすという若者の考えから出たものである。年齢が離れても、より近い距離を求める若者が増えている。使い方は、例えば、相手の行為を指す動詞のみを K 語にすることによって、あるいは、文体を全体的に M 語にすることによって、親しい関係をアピールしながら無礼のない準丁寧で会話するというものである。

第三に、簡素化したクロモ体とクロモルマ体の使用が見られることである。筆者は 2014 年に行った調査で、上記の二つを初めて耳にした。そこで、本論文では調査をさらに行い、簡素化したクロモ体とクロモルマ体が若者の間にいかに普及しているのか調べた。ほとんどの若者と教師は、簡素化したクロモ体というのは知っていたが、クロモルマ体というのはあまり知らなかった。つまり、K 体で話そうとしている際にインドネシア語にコードスイッチングやコードミキシングをするジャワ人は多いが、パターン化した K 体はまだ普及していないことがわかった。このように現代ジャワの若者の間では、簡素化したクロモ体という新しい敬語へと移行していく可能性が指摘できる。

以上三点から、若者の間では丁寧さが伝われば十分だとされており、敬意よりも丁寧さを優先することが明らかとなった。この結果から、若者の間に丁寧語化が広がる傾向が見られるといえるのではないだろうか。

つづいて 2 点目の課題について見ていく。大学生と高校生は、確かに高齢者に比べて敬語運用能力が低い、高校教師に比べると実はそれほど差がないことが明らかになった。もちろん敬語運用能力は教師の方が高いが、誤って用いている教師が十分にいる。調査対象の若者は 1992～1998 年に生まれで 16～22 歳、教師は 1954～1984 年生まれで 30～60 歳である。つまり、ここからわかるのは、教師はインドネシア独立後に生まれ、小学生の教育語はすでにインドネシア語であったということである。一方、インドネシアでは、地方語の教育は 1987 年から地域科カリキュラムとして定められた。すなわち、教師は学校でジャワ語の教育を受けたことはない可能性があり、家族や地域との関わりの中でジャワ語を学んだだけであった。1987 年以前にも、学校によっては、生徒にジャワ語を教える学校もあったが、これは義務科目としてではなく選択科目として行われていたため、参加する生徒も少なかった。

一方、調査を行った村の高齢者、特に 78 歳以上で、1936 年の以前に生まれている高齢者は、オランダの占領時代に生まれたため、(オランダの宣教師学校に通っていた高齢者はいたが) 通常の学校の教育はほとんど受けなかった。学校はオランダ政府に制御され、教育を

受けることができたのはオランダ人とごく少ないジャワ人の上流階級のみであった。学校教育を受けられるようになったのは、日本の占領時代のときだが、高齢者の話しによると、学校での使用言語はインドネシア語ではなく、ジャワ語であったという。このように、高齢者がジャワ敬語を規範的に使用できたのは、親の教育のみならず、学校教育と育てる環境の影響でもある。

次に3点目の課題について見ていく。本論文では、現代ジャワの若者が、敬意を表わすために、簡素化したクロモ体やクロモルマ体、インドネシア語へのコードスイッチングしていることを明らかにした。特に簡素化したクロモ体は若者だけではなく、教師たちにもすでに知られて使用されている。このような表現は先行研究の中では論じられておらず、本論文が注目する重要な点であるといえる。特に簡素化したクロモ体は若者が生み出した若者なりの新敬語として考えられる。一方、調査結果からは、クロモルマ体の言葉自体は、まだ普及はしていない。しかし、調査対象の大学生、高校生、教師たちの回答をみると、少なくとも2割が、クロモルマ体を聞いたことあると答えており、クロモルマ体の存在は明らかだといえる。

5.2 今後の課題

本稿では、丁寧語化の現象が現代ジャワの若者の間に見られることを報告した。井上(1999)は日本語にも同様の傾向があることを指摘している。井上(1999:120)は、謙譲語を尊敬語として用いるのは誤りであると気付いている人は圧倒的に多く、現代敬語で最も注目されている現象だと述べている。このことは、まさにジャワ語の敬語使用にもみられ、都市部の高校生は、自分に対して尊敬語を用いることが極めて多い。謙譲語の丁寧語化に関しても、井上は、テレビの司会が「どなたがいらっしゃいますか」と、正しい敬語を言わずに「どなたが出てまいりますか」と言ってしまう、ゲストを迎える例を挙げている。以前はこのような言い方は誤用であったが、現在は単に文章全体を丁寧にしようという意図だとし、これを慣習として認めることになった(井上, 1999: 134-136)という。

本論文3章の問4の分析からは、敬うべき相手に敬意を表すKi語を使用する若者は、確かに一定程度いるものの、準丁寧のM語を使用する若者が少なくないことが明らかになった。さらに、都市部の高校生については、N体を使用する生徒も一定程度みられた。また、4章の簡素化したクロモ体についての分析からは、K体にインドネシア語を混ぜて話すという新しい体を、若者が十分に丁寧な話し方として好んで用いていることが明らかとなった。筆者は、この現象をジャワ語の丁寧語化ではないかと疑問を抱いていたため、このデータは納得の結果であった。インドネシア語では丁寧語 *kata sopan* と敬語 *kata hormat* は混同されている。そのため、インドネシア語を頻繁に使用するジャワ人の若者たちは、ジャワ語を話す際に、敬意を表す表現ではなく丁寧さが伝わる表現であればよいと認識するようになっていられると考えられる。このように、敬語が発達しているとされる日本語およびジャワ語において、敬語の丁寧語化が広がる傾向が見られる。このことが何を意味するのかについては

今後の検討が課題となろう。

また、若者の調査結果では、大学生は高校生と同様に規範的な敬語を使いこなせない若者が多かった。しかし、都市部の高校生や大学生と比較すると、農村部の高校生の方がジャワ語の敬語を規範的に使いこなせる傾向があることが明らかになった。特に敬語が使用できない傾向は都市部の高校生に見られ、彼らは敬語を捨象した「丁寧ではない」ジャワ語を用いている。この背景には、家庭での使用言語や家庭環境が影響していると言える。インタビューからは、丁寧ではないジャワ語は日常的に使用されているものの、地方語よりも公用語のインドネシア語や国際語（英語）を学ぶ方が将来の就職に有利などの理由で、若者はジャワ敬語から遠ざかっていることが分かった。しかし、インドネシア国内でも、インドネシアのジャワ語学会などが何度も若者の敬語離れの問題を取り上げている。筆者が調査したインドネシアの新聞では、ジャワ人の若者の敬語離れやジャワ語の消滅などを再三報じ、警鐘を鳴らしてきているが、未だに敬語離れが止まるどころか回復する兆しも見られないように思われる。それはなぜだろうか。多くの人々が、これを学校教育の問題であるとしたが、実際、この問題を注意深くみてみると、家庭でもすでに親が子供にジャワ語を教えなくなり、親世代もジャワ語授業を受けていなかったため、子供世代にジャワ語を受け継ぐことができない。これを検証するために、ジャワ語の敬語教育や家庭での教育について調査を行い、明らかにする価値があると考ええる。

参考文献

【日本語文献】

- 青山亨(1997)「ジャワ社会における自己と他者—文学テクストの世界観」『地域のイメージ』(地域の世界史第2巻) 辛島昇・高山博(編) 山川出版社
- 浅松絢子(2004)「敬語の現在を読む」『朝倉日本語敬語座8 敬語』pp. 93-116 朝倉書店
- アンダーソン、ベネディクト・R.O'G(1995)『言葉と権力：インドネシアの政治文化探求』(中島成久訳) 東京：日本エディタースクール出版部
- 石井和子(1984)『ジャワ語の基礎』大学書林
- 井上史雄(1999)『敬語はこわくない』講談社
- 井上史雄(2017)『敬語は変わる：大規模調査からわかる百年の動き』大修館書店
- 宇佐美まゆみ(2001)「ディスコース・ポライトネスという観点から見た敬語使用の機能：敬語使用の新しい捉え方がポライトネスの談話理論に示唆すること」『語学研究所論集 第6号』pp. 1-29 東京外国語大学研究所
- 大石初太郎、外山滋比古、寿岳章子、米田武、西村秀俊(1983)『新しい敬語—美しいことば—』日本語シンポジウムIV:小学館
- 蒲谷宏、川口義一、坂本恵(1998)『敬語表現』大修館書店
- 蒲谷宏、川口義一、坂本恵、清ルミ、内海美也子(2006)『敬語表現教育の方法』大修館書店
- 蒲谷宏(2015)『敬語だけじゃない敬語表現—心づかいと思いやりを伝える「丁寧さ」』大修館書店
- 亀井孝、河野六郎、千野栄一(1989)『言語学大事典 第2巻 世界言語編(中)』三省堂
- 菊地康人(1997)『敬語』講談社
- 菊地康人(2004)「敬語とその主な研究テーマの概観」『朝倉日本語敬語座8 敬語』pp. 1-30 朝倉書店
- 菊地康人(2005)「敬語とはなにか」がどう変わっているのか『日本語学』9月 臨時倉刊号：pp. 14-21 明治書院
- 菊地康人(2010)『敬語再入門』講談社
- 金田一京助(1959)『日本の敬語』角川書店
- 崎山理(1974)「ジャバ語の敬語」『敬語講座8 世界の敬語』pp. 94-120 明治書院
- 真田信治・渋谷勝己・陣内正敬・杉戸清樹(2000)『社会言語学』おうふう
- シマルマタ、エリザベスE・F(2012)『現代ジャワ語話者の若者における敬語使用の変化—ジョグジャカルタ市ガジャマダ大学学生の認識調査—』修士論文：東京外国語大学大学院総合国際学研究科
- シマルマタ、エリザベスE・F(2014a)「現代ジャワ語話者の若者における敬語使用の変化—ジョグジャカルタ市ガジャマダ大学学生のケーススタディー」『言語・地域文化研究 第20号』博士後期課程論集：東京外国語大学大学院
- シマルマタ、エリザベスE・F(2014b)「現代ジャワ若者におけるジャワ語の敬語使用の運用実態—ジョグジャカルタ市ガジャマダ大学学生のケーススタディー」『インドネシア言語と文化』(日本インドネシア学会) 第20号 pp. 61-74

- 染谷臣道 (1981) 「ジャワ語における人間関係分析のための言語社会学的方法について」『帯大研報』II-5:205-220
- 染谷臣道 (1993) 『アールスとカサール：現代ジャワ文明の構造と動態』東京第一書房
- 滝浦真人 (1981) 『日本語の敬語論：ポライトネス理論からの再検討』大修館書
- 原真由子 (2009) 「バリ語—インドネシア語コード混在と敬語使用の相互作用」『多言語社会—インドネシア—変わりゆく国語、地方語、外国語の諸相—』pp. 129-152 めこん
- 福島真人著 (2002) 『ジャワの宗教と社会—スハルト体制下インドネシアの民族誌的メモワール』ひつじ書房
- ブラウン・ペネロピ、レヴィンソンス・ティーン・C (2011) 『ポライトネス 言語使用における、ある普遍現象』(田中典子監督；斎藤早智子・津留崎毅・日野寿憲・山下早代子 訳) 研究社
- 降幡正志 (2005) 『インドネシア語のしくみ』白水社
- マルバンゲン・ハルジョウィロゴ (1992) 『ジャワ人の思考様式』(染谷臣道・宮崎恒二・翻訳) めこん
- 南不二男 (1987) 『敬語』岩波書店
- 森山幹弘 (2009) 「国語政策における地方語の位相」『多言語社会—インドネシア—変わりゆく国語、地方語、外国語の諸相—』pp. 7-19 めこん
- 吉岡泰夫 (1995) 「敬語行動と規範意識：肥筑方言における言語行動調査から」『国立国語研究所報告110 研究報告集16巻』pp. 33-55
- 吉岡泰夫 (2006) 「敬語についての規範意識」『国立国語研究所報告123 言語行動における「配慮」の諸相』pp. 133-163 くろしお出版
- レスタリ、スリ ブディ (2010) 『ジャワ語の敬語における記述的研究—第三者敬語を中心に—』博士論文：東京外国語大学大学院地域文化研究科

【英語文献】

- Anderson, Benedict R. O'G. 1990. *Language and Power: Exploring Political Cultures in Indonesia*. New York: Cornell University.
- Brown, P., & Levinson, S.C. 1987. *Politeness: Some Universals in Language Usage*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Bullock, E. Barbara., and Toribio, Almeida Jacqueline (editor). 2009. *The Cambridge Handbook of Linguistic Code-switching*. New York: Cambridge University Press.
- Connors, Thomas and Jozina Vander Klok. 2014. Language Documentation on Javanese : A Shift towards Recognizing and Celebrating Colloquial Varieties. *Proceedings International Seminar Language Maintenance and Shift IV*. pp. 276-281 (November 18, 2014). Diponegoro University: Master Program in Linguistics.

- Conners, Thomas and Jozina Vander Klok. 2016. Language Documentation of Colloquial Javanese Varieties. *Proceedings of the 2016 Annual Conference of the Canadian Linguistic Association*. pp.1-12.
- Errington, J. Joseph. 1985. *Language and Social Change in Java: Linguistic Reflexes Of Modernization in a Traditional Royal Polity*. Studies Southeast Asia, No.69. Ohio University: Center for International Studies.
- Errington, J. Joseph. 1988. *Structure and Style in Javanese: A Semiotic View of Linguistic Etiquette*. Philadelphia: University of Pennsylvania Press.
- Gardner-Chloros, Penelope. 2009. *Code-Switching*. New York: Cambridge University Press.
- Geertz, Clifford. 1960. *The Religion of Java*. London: Collier-Macmillan.
- Geertz, Hildred. 1961. *The Javanese Family: The Study of Kindship and Socialization*. New York: The Free Press of Glencoe.
- Gumperz, J. J. 1982. *Conversational Code Switching in Discourse Strategies*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Halliday, M. A. K. 1978. *Antilanguages*. London: Edward Arnold.
- Horne, Elinor. C. 1961. *Beginning Javanese*. New Haven and London: Yale University Press.
- Hudson, R. A. 1980. *Sociolinguistics*. Cambridge: University Press.
- Joseph, John E. 2006. *Language and Politics*. Edinburgh University Press.
- Kartomihardjo, Soeseno. 1981. Ethnography of Communicative Codes in East Java. *Materials in Languages of Indonesia, No. 8. (W. A. L. Stokhof, Series D- No. 39)*. The Australian National University: Department of Linguistics Research School of Pacific Studies.
- Keeler, Ward. 1984. *Javanese: A Cultural Approach*. Monographs in International Studies Southeast Asia, No. 69. Ohio University: Center for International Studies.
- Koentjaraningrat. 1957. *A Preliminary Description of the Javanese Kinship System*. New Haven: Yale University Southeast Asia Studies Cultural Report Series.
- Koentjaraningrat. 1989. *Javanese Culture*. Singapore: Oxford University Press.
- Malik, Lalita. 1994. *Socio-Linguistics -A Study of Code-Switching-*. New Delhi: Anmol Publications Pvt. Ltd.
- Moedjanto, G. 1986. *The Concept of Power in Javanese Culture*. Yogyakarta: Gadjah Mada University Press.
- Poedjosoedarmo, Gloria. 1977. *Thematization and Information Structure in Javanese*. In NUSA, Miscellaneous Studies in Indonesian and Languages in Indonesia, ed. Amran Halim, 34-43. Jakarta: Lembaga Bahasa Universitas Atma Jaya.
- Poedjosoedarmo, Soepomo. 1968. Javanese Speech Level. *Indonesia Vol. 6*. pp. 54-81. Cornell University Southeast Asia Program.

- Poedjosoedarmo, Soepomo. 1982. Javanese Influence on Indonesian. *Materials in Languages of Indonesia*, No. 7. (W. A. L. Stokhof, Series D- No. 38). The Australian National University: Department of Linguistics Research School of Pacific Studies.
- Preston, D.R. 1989. *Socio-linguistics and Second Language Acquisition*. Oxford: Basil Blackwell.
- Siegel, James T. 1986. *Solo in the New Order, Language and Hierarchy in an Indonesian City*. New Jersey: Princeton.
- Sneddon, James. 2003. *The Indonesian Language: Its History and Role in the Modern Society*. Sidney: University of New South Wales.
- Sneddon, James. 2010. *Indonesian: a comprehensive grammar. 2nd ed.* (revised and expanded by Alexander Adellar, DwiN. Jenar, and Michael C. Ewing). London: Routledge.
- Trudgil, Peter and J.K. Chambers. 1980. *Dialectology*. Cambridge University Press.
- Wolff, John U. and Soepomo Poedjosoedarmo. 1982. *Communicative Codes in Central Java*. Linguistic Series VII. Cornell University: Southeast Asia Program Department Of Asian Studies.
- Zoetmulder, P.J. 1974. *Kalangwan: A Survey of Old Javanese Literature*. The Hague : Martinus Nijhoff.

【インドネシア語文献】

- Alwasilah, A. Chaedar. 1993. *Pengantar Sosiologi Bahasa*. Bandung: Angkasa.
- Astuti, Eka Yuli. 2006. Nonton Film Sambil Belajar Bahasa dan Sastra Jawa - Sebuah Inovasi untuk Menghindari Kesan “Kuno” . *Proseding Buku I*. pp. 169-186. Kongres Bahasa Jawa IV: Semarang.
- Ciptoprawiro, Abdullah, dr. 1986. *Filsafat Jawa*. Jakarta: Balai Pustaka.
- Ekowardono, Karno dkk. 1993. *Kaidah Penggunaan Ragam Krama Bahasa Jawa*. Jakarta: Pusat Pembinaan dan Pengembangan Bahasa Departemen Pendidikan dan Kebudayaan.
- Ekowardono, Karno. 2006. Kemampuan Pengajar Bahasa Jawa di SMA Jawa Tengah. *Proseding Buku I*. pp. 361-375. Kongres Bahasa Jawa IV : Semarang.
- Halliday, M. A. K., Hasan, Ruquaiya. 1994. *Bahasa, Konteks, dan Teks*. Yogyakarta: Gajah Mada.
- Hasan Alwi, Soenjono Dardjowidjodjo, Hans Lapoliwa, Anton M. Moeliono. 2000. *Tata Bahasa Baku Bahasa Indonesia*. Edisi Ketiga. Jakarta: Balai Pustaka.
- Kongres Bahasa Jawa IV. 2006. *Proseding Buku I*. (Semarang, 10-14 September 2006). Semarang: Makalah Kongres Bahasa Jawa.
- Kridalaksana, Harimurti. 1982. *Kamus Linguistik*. Jakarta: Gramedia.
- Kridalaksana, Harimurti. 1992. *Pembentukan Kata dalam Bahasa Indonesia*. Jakarta : Gramedia Pustaka Utama.

- Kridalaksana, Harimurti, F.X. Rahyono, Dwi Puspitorini, Supriyanto Widodo, Darmoko. 2001. *Wiwara Pengantar Bahasa dan Kebudayaan Jawa*. Jakarta: Gramedia Pustaka Utama.
- Mahsun M.S, Prof. Dr. 2007. *Metode Penelitian Bahasa*. Jakarta: Rajawali Pers.
- Marbangun Hardjowirogo, Drs. 1984. *Manusia Jawa*. Jakarta: PT.Gunung Agung-Intidayu Press.
- Mees, C.A. 1967. *Ilmu Perbandingan Bahasa-Bahasa Austronesia*. Kuala Lumpur: Oxford University Press-University of Malaya Press.
- Moedjanto, G. 1994. *Konsep Kekuasaan Jawa, Penerapannya oleh Raja-Raja Mataram*. Yogyakarta: Kanisius.
- Nababan, P.W.J. 1986. *Sosiolinguitik suatu Pengantar*. Jakarta: Gramedia.
- Poedjosoedarmo, dkk., Soepomo, *Morfologi Bahasa Jawa*. 1979. Jakarta: Pusat Pembinaan dan Pengembangan Bahasa- Departemen Pendidikan dan Kebudayaan.
- Poedjosoedarmo, Soepomo, Th.Kundjana, Gloria Soepomo, Alip Suharso. 1979. *Tingkat Tutur Bahasa Jawa*. Jakarta: Pusat Pembinaan dan Pengembangan Bahasa- Departemen Pendidikan dan Kebudayaan.
- Pranowo. 2006. Kompetensi Guru Bahasa dan Sastra Jawa. *Proseding Buku 1*. pp.283-295. Kongres Bahasa Jawa IV : Semarang.
- Raffles, Thomas Stamford. 2008. *The History of Java*. (Penerjemah: Eko Prasetyaningrum, Nuryati Agustin, Idda Qoryati Mahbubah). Yogyakarta: Penerbit Narasi.
- Sasangka, S.S.T. Wisnu. 1991. *Prinsip Dasar Berbahasa Jawa: Ngoko dan Krama*. Surabaya: Citra Jawa Murti.
- Sasangka, S.S.T. Wisnu. 2004. *Unggah-Ungguh Bahasa Jawa*. Jakarta: Paramalingua.
- Suherman, Eman. 2009. Tingkat Tutur Bahasa Jepang dan Bahasa Jawa: Analisis Kontrastif. *Humaniora*. Vol.21, No.2:213-222. Universitas Gadjah Mada: Yogyakarta.
- Sutrisno, Sastro Utomo. 2009. *Kamus Lengkap Jawa-Indonesia*. Yogyakarta: Kanisius.
- Uhlenbeck, E.M. 1982. *Kajian Morfologi Bahasa Jawa*. Jakarta: Djambatan.
- Wedhawati, dkk. 2005. *Tata Bahasa Jawa Mutakhir*. Edisi Revisi. Yogyakarta: Kanisius.

【ジャワ語文献】

- Asmuni, Damarasih, Tri Basuki. 2004. *Piwulang Basa Jawa*. Adhedasar Kurikulum Mata Pelajaran Bahasa Jawa. Yogyakarta: PT.Intan Pariwara.
- Digdaya, Widyasastra.1953. *Paramasastra Jawi*. Solo: Sadu Budi
- Dwijawiyata, M. 1930. *Pratelan Tembung Jawi manut Unggah-Ungguh*. Wertevredhen: Bale Pustaka.
- Poerwadarminta, W.J.S. 1953. *Sarining Paramasastra Djawa*. Djakarta: Noordhoff.

謝辞

本研究を遂行し、本論文をまとめるにあたって、大変多くの方々にお世話になりました。ここに深く感謝の意を表します。

まず初めに、本論文の調査にご協力下さった方々全てに御礼を申し上げます。2011年の1次調査(8月～9月)、2013年の第2次調査(2月～3月)と第3次調査(9月～10月)、2014年の4次調査(1月～2月)にご声援とご協力頂いた方々、一人一人のお名前をここに記すことはできませんが、心から感謝を申し上げます。ジョグジャカルタ市のGadjah Mada大学人文学部の先生方、ジャワ語学科のDr. Sri Ratna Saktimulya, M. Hum.、Drs. Akhmad Nugroho, S. U.、インドネシア語学科のDr. Suhandano, M. A.、ジャワ文学・文化財保護活動団体会長のBpk. Emmanuel Suharjendro(Alm.)、調査アシスタントのReviana Yosita, S. S.、Gadjah Mada大学の学生の皆様、SMAN 9 公立高校、SMA BOPKRI 1 私立高校、クロンプロゴ県のSMAN 1 Temon 公立高校、SMK 1 Ma' Arif 私立高校の先生方と生徒の皆様、Temon Kulon村のインタビューを受けて下さった方々、村人の皆様をはじめ、多くの方々のご協力により、本研究を無事に成し遂げることができました。

博士論文の執筆にあたっては、東京外国語大学大学院総合国際学研究科の指導教員の方々のご指導ご鞭撻の賜物でございます。心より御礼申し上げます。

主指導教員である青山亨先生、研究生の頃から約10年にわたり、筆者の研究を応援して下さいました。筆者が研究内容や方法に関して悩む度に、常に温かく見守って下さいました。博士論文の執筆中には、何度も面談をして頂き、その都度貴重なご意見を頂き、論文執筆の基礎から研究の実践までご指導を下さいました。また、希少なジャワ語の文献や資料を提供して下さいったおかげで、多角的な観点から考察を行うことができました。心より感謝申し上げます。

副指導教員の降幡正志先生には、筆者が博士後期課程入学前に、日本語の敬語やインドネシアの地方語の状況に関する数多くの文献をご紹介頂き、ジャワ語の敬語研究における重要な視点を頂くことができました。また、本論文における実態調査に関する方法論やデータ収集について詳細なご助言を頂きまして、心より御礼申し上げます。同じく副指導教員の左右田直規先生には、多くの有益なコメントを頂きました。常にご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。

同じゼミで有意義な議論を重ねた皆様には、論文執筆にあたって、多くのご声援や励ましを頂きました。合地幸子様、山崎美保様、研究生の頃から博士後期課程まで色々とお世話になりました。生駒美樹様、博士前期課程の頃から博士後期課程まで、チューターとしてご丁寧な日本語のネイティブチェックをして頂き、また研究に関しても相談にのって頂き、誠に感謝しております。

染谷臣道先生（2016年に逝去）には、筆者が静岡大学人文社会科学研究所に在籍していた頃、ジャワ語とジャワ文化を研究するきっかけを作って頂きました。染谷先生のご紹介で、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所の宮崎恒二先生にジャワ研究のご相談ができ、宮崎先生のご紹介で、青山先生の下で研究を行うことになりました。本研究のきっかけを作って下さった染谷先生、宮崎先生に、心より感謝申し上げます。

東京外国語大学大学院国際日本学研究所の坂本恵先生（現日本大学文理学部所属）には、敬語の研究に対する重要なご意見を頂きました。日本語の敬語体系からみたジャワ語の敬語体系についてのご解説を頂き、大変勉強になりました。誠に感謝しております。

筆者が所属しているマラナタキリスト教大学の先生方、大学長のProf. Ir. Armein Z. R. Langi, M. Sc.、第一副学長の Olga C. Pattipawaej, Ph. D.、文学部学部長の Anton Sutandio, Ph. D.、常に応援をして下さり、心から御礼申し上げます。また、筆者が教えている日本語学科の学生の皆さん、温かい声援を送ってくれて、ありがとうございました。

本論文を執筆する際には、他にも多くの先生方、院生の仲間からご声援と励ましを頂きました。東京外国語大学の事務員の方々にも大変お世話になりました。留学生課留学生生活（当時）の梅田由美子様、教務課大学院系の増田俊樹様、研究院事務課の楠本修司様、教務課教務系の松下大介様、留学生課留学生教育係の小林こずえ様をはじめ、多くの方々から様々なサポートを頂き、誠にありがとうございました。

最後に、筆者は研究生のときから、修士課程を経て、博士課程3年までの7年間（2008年～2015年）、国費留学生として日本の文部科学省より奨学金を頂きました。また、博士論文執筆の時期には、住友財団より日本関連研究助成金（2018年度）を頂きました。こうしたご支援にも誠に感謝しております。

支えて下さった皆様に改めて深く御礼申し上げます。

I express heart-felt thanks to my family in Indonesia; my Dad, Kolonel (Purn.) Drs.T.Simarmata, and my mom, Emmy Simarmata, S.H., for giving me the best support I could ever have, praying for me every single day, and always having faith in me. *Terima kasih papa mama, untuk kasih, doa, dan support yang tiada habis-habisnya untukku.* I am truly blessed.

Thank you my sisters, Deborah and Rebecca (and all the family members), for always keeping me in your prayers. A special thanks to my sister Rebecca, who helped me collate and compile all the data. I am deeply grateful. Also, I am truly grateful for all the encouragement and prayers of my beloved pastor, Ms. Rita Sihombing, my Australian sister, Ms. Cheryl Groth, M.Ed., an English lecturer who helped me translate the abstract, and my Ph.D. colleague, Ms. Ascana Gurusinga.

Thank you God, for Your love, strength, wisdom and consolation, and for giving me the spirit of resilience that enabled me to finish this dissertation. Your grace is sufficient for me,
for Your power is made perfect in my weaknesses (2 Corinthians 12:9).

付録資料

付録 A：アンケート用紙（問 1 ～問 5）

Permohonan Kerjasama untuk Pengisian

ANGKET PENELITIAN

Angket penelitian dibawah ini akan digunakan sebagai bahan referensi dalam penelitian terkait dengan penggunaan bahasa Jawa, khususnya bahasa Jawa Krama, pada kalangan muda Jawa di Yogyakarta, diwakili oleh mahasiswa Universitas Gadjah Mada. Hasil jawaban akan langsung dimasukkan ke dalam data komputer untuk dianalisis. Informasi personal yang diperoleh melalui angket ini akan dijaga ketat kerahasiaannya. Oleh karena itu, silakan mengisi angket ini sesuai dengan apa yang sejujurnya Anda rasakan. Terimakasih atas kerjasamanya.

Tokyo University of Foreign Studies (TUFS)
 Studi Internasional Terpadu
 Departemen Bahasa dan Budaya
 Peneliti : Elyzabeth Esther, SS.,MA

DATA PARTISIPAN

Nama : _____ (Boleh diisi, boleh kosongkan)
 Fakultas/Jurusan : _____ / _____
 Semester : _____ Usia : _____ Jenis Kelamin : P / L
 Kota asal : _____ Lama tinggal di Yogyakarta : _____ tahun

- Tolong bubuhi cek (✓) pada kolom di bagian kanan, untuk menyatakan apakah dalam percakapan bahasa Jawa sehari-hari Anda menggunakan/ tidak menggunakan kalimat bahasa Jawa yang tertulis (bukan untuk menyatakan benar atau salah).
- Jika Anda ragu-ragu apakah menggunakan atau tidak kalimat tertulis, tolong bubuhi cek (✓) pada kolom tidak mengerti.

■ **Kasus 1**

Saya siswa Mahasiswa Universitas Gadjah Mada (18~22 tahun). Saya diundang untuk mengikuti acara perpisahan dosen senior, Pak Sutomo, yang akan pensiun. Acara diselenggarakan di Solo. Kebetulan, pelatih di unit kegiatan drama yang saya ikuti, yang cukup akrab dengan saya, yaitu Mas Yoyok (40 tahun), dan juga sekretaris Dekan, yaitu Mbak Ratih (40 tahun), diundang pula ke acara tersebut. Saya hendak memastikan apakah Mas Yoyok akan datang ke Solo. Juga, saya hendak bertanya kepada Mbak Ratih, apakah Pak Dekan akan datang juga ke Solo untuk mengikuti acara tersebut.

Q1. Saya bertanya kepada Mas Yoyok, apakah Mas Yoyok akan datang ke Solo.

					gunakan	tidak gunakan	tidak mengerti
Mas	badhe	tindak	dhateng	Solo?			
Mas	badhe	kesah	dhateng	Solo?			
Mas	badhe	lunga	dhateng	Solo?			
Mas	badhe	tindak	menyang	Solo?			
Mas	badhe	kesah	menyang	Solo?			
Mas	badhe	lunga	menyang	Solo?			
Mas	badhe	tindak	ning	Solo?			
Mas	badhe	kesah	ning	Solo?			
Mas	badhe	lunga	ning	Solo?			
Mas	ajeng	tindak	dhateng	Solo?			
Mas	ajeng	kesah	dhateng	Solo?			
Mas	ajeng	lunga	dhateng	Solo?			
Mas	ajeng	tindak	menyang	Solo?			
Mas	ajeng	kesah	menyang	Solo?			
Mas	ajeng	lunga	menyang	Solo?			
Mas	ajeng	tindak	ning	Solo?			
Mas	ajeng	kesah	ning	Solo?			
Mas	ajeng	lunga	ning	Solo?			
Mas	arep	tindak	dhateng	Solo?			
Mas	arep	kesah	dhateng	Solo?			
Mas	arep	lunga	dhateng	Solo?			
Mas	arep	tindak	menyang	Solo?			
Mas	arep	kesah	menyang	Solo?			
Mas	arep	lunga	menyang	Solo?			
Mas	arep	tindak	ning	Solo?			
Mas	arep	kesah	ning	Solo?			
Mas	arep	lunga	ning	Solo?			

Q2. Saya bertanya pula kepada Mbak Ratih, apakah Pak Dekan akan datang ke Solo.

						gunakan	tidak gunakan	tidak mengerti
Mbak, Pak Dekan badhe tindak dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe kesah dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe lunga dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe tindak menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe kesah menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe lunga menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe tindak ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe kesah ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe lunga ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng tindak dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng kesah dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng lunga dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng tindak menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng kesah menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng lunga menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng tindak ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng kesah ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng lunga ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep tindak dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep kesah dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep lunga dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep tindak menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep kesah menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep lunga menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep tindak ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep kesah ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep lunga ning Solo?								

■ **Kasus 2**

Mas Yoyok kemudian ganti menanyakan kepada saya, apakah saya akan datang ke Solo untuk acara perpisahan tersebut.

Q3. Saya menjawab Mas Yoyok, bahwa saya akan datang ke Solo.

Catatan: Pilih salah satu subjeknya dan tolong tuliskan alasannya di bagian bawah.

Jika Anda menggunakan Kula sebagai Saya → bubuhi cek (√) di lembar jawaban A.

Jika Anda menggunakan Aku sebagai Saya → bubuhi cek (√) di lembar jawaban B.

A. Jika menggunakan Kula sebagai pengganti Saya

					gunakan	tidak gunakan	tidak mengerti
Kula	badhe	tindak	dhateng	Solo.			
Kula	badhe	kesah	dhateng	Solo.			
Kula	badhe	lunga	dhateng	Solo.			
Kula	badhe	tindak	menyang	Solo.			
Kula	badhe	kesah	menyang	Solo.			
Kula	badhe	lunga	menyang	Solo.			
Kula	badhe	tindak	ning	Solo.			
Kula	badhe	kesah	ning	Solo.			
Kula	badhe	lunga	ning	Solo.			
Kula	ajeng	tindak	dhateng	Solo.			
Kula	ajeng	kesah	dhateng	Solo.			
Kula	ajeng	lunga	dhateng	Solo.			
Kula	ajeng	tindak	menyang	Solo.			
Kula	ajeng	kesah	menyang	Solo.			
Kula	ajeng	lunga	menyang	Solo.			
Kula	ajeng	tindak	ning	Solo.			
Kula	ajeng	kesah	ning	Solo.			
Kula	ajeng	lunga	ning	Solo.			
Kula	arep	tindak	dhateng	Solo.			
Kula	arep	kesah	dhateng	Solo.			
Kula	arep	lunga	dhateng	Solo.			
Kula	arep	tindak	menyang	Solo.			
Kula	arep	kesah	menyang	Solo.			
Kula	arep	lunga	menyang	Solo.			
Kula	arep	tindak	ning	Solo.			
Kula	arep	kesah	ning	Solo.			
Kula	arep	lunga	ning	Solo.			

●Alasan saya menggunakan Kula adalah : _____

B. Jika menggunakan *Aku* sebagai pengganti *Saya*

					gunakan	tidak gunakan	tidak mengerti
Aku	badhe	tindak	dhateng	Solo.			
Aku	badhe	kesah	dhateng	Solo.			
Aku	badhe	lunga	dhateng	Solo.			
Aku	badhe	tindak	menyang	Solo.			
Aku	badhe	kesah	menyang	Solo.			
Aku	badhe	lunga	menyang	Solo.			
Aku	badhe	tindak	ning	Solo.			
Aku	badhe	kesah	ning	Solo.			
Aku	badhe	lunga	ning	Solo.			
Aku	ajeng	tindak	dhateng	Solo.			
Aku	ajeng	kesah	dhateng	Solo.			
Aku	ajeng	lunga	dhateng	Solo.			
Aku	ajeng	tindak	menyang	Solo.			
Aku	ajeng	kesah	menyang	Solo.			
Aku	ajeng	lunga	menyang	Solo.			
Aku	ajeng	tindak	ning	Solo.			
Aku	ajeng	kesah	ning	Solo.			
Aku	ajeng	lunga	ning	Solo.			
Aku	arep	tindak	dhateng	Solo.			
Aku	arep	kesah	dhateng	Solo.			
Aku	arep	lunga	dhateng	Solo.			
Aku	arep	tindak	menyang	Solo.			
Aku	arep	kesah	menyang	Solo.			
Aku	arep	lunga	menyang	Solo.			
Aku	arep	tindak	ning	Solo.			
Aku	arep	kesah	ning	Solo.			
Aku	arep	lunga	ning	Solo.			

● Alasan saya menggunakan *Aku* adalah : _____

■ **Kasus 3**

Ketika saya sedang bercakap-cakap dengan Mas Yoyok, datang dosen yang cukup akrab dengan Pak Sutomo, yaitu Pak Hardito (dosen senior, 60 tahun). Lalu saya menanyakan pula kepada Pak Hardito, apakah beliau akan datang ke Solo untuk acara perpisahan tersebut.

Q4. Saya bertanya kepada Bapak Hardito apakah beliau akan datang ke Solo.

					gunakan	tidak gunakan	tidak mengerti
Bapak	badhe	tindak	dhateng	Solo?			
Bapak	badhe	kesah	dhateng	Solo?			
Bapak	badhe	lunga	dhateng	Solo?			
Bapak	badhe	tindak	menyang	Solo?			
Bapak	badhe	kesah	menyang	Solo?			
Bapak	badhe	lunga	menyang	Solo?			
Bapak	badhe	tindak	ning	Solo?			
Bapak	badhe	kesah	ning	Solo?			
Bapak	badhe	lunga	ning	Solo?			
Bapak	ajeng	tindak	dhateng	Solo?			
Bapak	ajeng	kesah	dhateng	Solo?			
Bapak	ajeng	lunga	dhateng	Solo?			
Bapak	ajeng	tindak	menyang	Solo?			
Bapak	ajeng	kesah	menyang	Solo?			
Bapak	ajeng	lunga	menyang	Solo?			
Bapak	ajeng	tindak	ning	Solo?			
Bapak	ajeng	kesah	ning	Solo?			
Bapak	ajeng	lunga	ning	Solo?			
Bapak	arep	tindak	dhateng	Solo?			
Bapak	arep	kesah	dhateng	Solo?			
Bapak	arep	lunga	dhateng	Solo?			
Bapak	arep	tindak	menyang	Solo?			
Bapak	arep	kesah	menyang	Solo?			
Bapak	arep	lunga	menyang	Solo?			
Bapak	arep	tindak	ning	Solo?			
Bapak	arep	kesah	ning	Solo?			
Bapak	arep	lunga	ning	Solo?			

■ **Kasus 4**

Pak Hardito juga kemudian ganti menanyakan kepada saya, apakah saya akan datang ke acara tersebut.

Q5. Saya menjawab Pak Hardito, bahwa saya akan datang ke Solo.

					gunakan	tidak gunakan	tidak mengerti
Kula	badhe	tindak	dhateng	Solo.			
Kula	badhe	kesah	dhateng	Solo.			
Kula	badhe	lunga	dhateng	Solo.			
Kula	badhe	tindak	menyang	Solo.			
Kula	badhe	kesah	menyang	Solo.			
Kula	badhe	lunga	menyang	Solo.			
Kula	badhe	tindak	ning	Solo.			
Kula	badhe	kesah	ning	Solo.			
Kula	badhe	lunga	ning	Solo.			
Kula	ajeng	tindak	dhateng	Solo.			
Kula	ajeng	kesah	dhateng	Solo.			
Kula	ajeng	lunga	dhateng	Solo.			
Kula	ajeng	tindak	menyang	Solo.			
Kula	ajeng	kesah	menyang	Solo.			
Kula	ajeng	lunga	menyang	Solo.			
Kula	ajeng	tindak	ning	Solo.			
Kula	ajeng	kesah	ning	Solo.			
Kula	ajeng	lunga	ning	Solo.			
Kula	arep	tindak	dhateng	Solo.			
Kula	arep	kesah	dhateng	Solo.			
Kula	arep	lunga	dhateng	Solo.			
Kula	arep	tindak	menyang	Solo.			
Kula	arep	kesah	menyang	Solo.			
Kula	arep	lunga	menyang	Solo.			
Kula	arep	tindak	ning	Solo.			
Kula	arep	kesah	ning	Solo.			
Kula	arep	lunga	ning	Solo.			

◆Pertanyaan mengenai Bahasa Krama (Lingkari sesuai dengan yang Anda ketahui)

Apakah Anda pernah mendengar tentang istilah Krama Rumah? (Bahasa Krama yang digunakan di wilayah sekitar rumah, atau lingkungan tempat tinggal, misalnya seperti bahasa Krama yang dipersingkat untuk persalaman dengan tetangga)

1. Ya
2. Tidak
3. Ya, tetapi tidak begitu tahu rincinya.
4. Lainnya: _____

Permohonan Kerjasama untuk Pengisian

ANGKET PENELITIAN

Angket penelitian dibawah ini akan digunakan sebagai bahan referensi dalam penelitian terkait dengan penggunaan bahasa Jawa, khususnya bahasa Jawa Krama, pada kalangan muda Jawa di Kabupaten dan Kota Yogyakarta, diwakili oleh siswa SMA_____. Hasil jawaban akan langsung dimasukkan ke dalam data komputer untuk dianalisis. Informasi personal yang diperoleh melalui angket ini akan dijaga ketat kerahasiaannya. Oleh karena itu, silakan mengisi angket ini sesuai dengan apa yang sejujurnya Anda rasakan. Terima kasih atas kerjasamanya.

Tokyo University of Foreign Studies (TUFS)
 Studi Internasional Terpadu
 Departemen Bahasa dan Budaya
 Peneliti : Elyzabeth Esther, SS.,MA

DATA PARTISIPAN

Nama : _____ (Boleh diisi, boleh kosongkan)
 Kelas : _____ Jurusan : _____ Usia : _____ Jenis Kelamin: P / W
 Kota asal : _____ Lama tinggal di Yogyakarta : _____ tahun
 Pekerjaan orang tua : (Ayah) _____ (Ibu) _____

●Tolong bubuhi cek (✓) pada kolom di bagian kanan, untuk menyatakan apakah dalam percakapan bahasa Jawa sehari-hari Anda menggunakan / tidak menggunakan kalimat bahasa Jawa yang tertulis (bukan untuk menyatakan benar atau salah).

●Jika Anda ragu-ragu apakah menggunakan atau tidak kalimat tertulis, tolong bubuhi cek (✓) pada kolom tidak mengerti.

■ **Kasus 1**

Saya siswa SMA _____ (15~18 tahun). Saya diundang untuk mengikuti acara perpisahan guru senior, Pak Sutomo, yang akan pensiun. Acara diselenggarakan di Solo. Kebetulan, pelatih di unit kegiatan drama yang saya ikuti, yang cukup akrab dengan saya, yaitu Mas Yoyok (40 tahun), dan juga sekretaris Kepala Sekolah, yaitu Mbak Ratih (40 tahun), diundang pula ke acara tersebut. Saya hendak memastikan apakah Mas Yoyok akan datang ke Solo. Juga, saya hendak bertanya kepada Mbak Ratih, apakah Pak Kepala Sekolah akan datang juga ke Solo untuk mengikuti acara tersebut.

Q1. Saya bertanya kepada Mas Yoyok, apakah Mas Yoyok akan datang ke Solo.

					gunakan	tidak gunakan	tidak mengerti
Mas badhe tindak dhateng Solo?							
Mas badhe kesah dhateng Solo?							
Mas badhe lunga dhateng Solo?							
Mas badhe tindak menyang Solo?							
Mas badhe kesah menyang Solo?							
Mas badhe lunga menyang Solo?							
Mas badhe tindak ning Solo?							
Mas badhe kesah ning Solo?							
Mas badhe lunga ning Solo?							
Mas ajeng tindak dhateng Solo?							
Mas ajeng kesah dhateng Solo?							
Mas ajeng lunga dhateng Solo?							
Mas ajeng tindak menyang Solo?							
Mas ajeng kesah menyang Solo?							
Mas ajeng lunga menyang Solo?							
Mas ajeng tindak ning Solo?							
Mas ajeng kesah ning Solo?							
Mas ajeng lunga ning Solo?							
Mas arep tindak dhateng Solo?							
Mas arep kesah dhateng Solo?							
Mas arep lunga dhateng Solo?							
Mas arep tindak menyang Solo?							
Mas arep kesah menyang Solo?							
Mas arep lunga menyang Solo?							
Mas arep tindak ning Solo?							
Mas arep kesah ning Solo?							
Mas arep lunga ning Solo?							

Q2. Saya bertanya pula kepada Mbak Ratih, apakah Pak Kepala Sekolah akan datang ke Solo.

						gunakan	tidak gunakan	tidak mengerti
Mbak, Pak Dekan badhe tindak dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe kesah dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe lunga dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe tindak menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe kesah menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe lunga menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe tindak ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe kesah ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan badhe lunga ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng tindak dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng kesah dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng lunga dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng tindak menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng kesah menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng lunga menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng tindak ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng kesah ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan ajeng lunga ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep tindak dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep kesah dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep lunga dhateng Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep tindak menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep kesah menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep lunga menyang Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep tindak ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep kesah ning Solo?								
Mbak, Pak Dekan arep lunga ning Solo?								

■ Kasus 2

Mas Yoyok kemudian ganti menanyakan kepada saya, apakah saya akan datang ke Solo untuk acara perpisahan tersebut.

Q3. Saya menjawab Mas Yoyok, bahwa saya akan datang ke Solo.

Catatan: Pilih salah satu subjeknya dan tolong tuliskan alasannya di bagian bawah.

Jika Anda menggunakan Kula sebagai Saya → bubuhi cek (√) di lembar jawaban A.

Jika Anda menggunakan Aku sebagai Saya → bubuhi cek (√) di lembar jawaban B.

A. Jika menggunakan Kula sebagai pengganti Saya

					gunakan	tidak gunakan	tidak mengerti
Kula	badhe	tindak	dhateng	Solo.			
Kula	badhe	kesah	dhateng	Solo.			
Kula	badhe	lunga	dhateng	Solo.			
Kula	badhe	tindak	menyang	Solo.			
Kula	badhe	kesah	menyang	Solo.			
Kula	badhe	lunga	menyang	Solo.			
Kula	badhe	tindak	ning	Solo.			
Kula	badhe	kesah	ning	Solo.			
Kula	badhe	lunga	ning	Solo.			
Kula	ajeng	tindak	dhateng	Solo.			
Kula	ajeng	kesah	dhateng	Solo.			
Kula	ajeng	lunga	dhateng	Solo.			
Kula	ajeng	tindak	menyang	Solo.			
Kula	ajeng	kesah	menyang	Solo.			
Kula	ajeng	lunga	menyang	Solo.			
Kula	ajeng	tindak	ning	Solo.			
Kula	ajeng	kesah	ning	Solo.			
Kula	ajeng	lunga	ning	Solo.			
Kula	arep	tindak	dhateng	Solo.			
Kula	arep	kesah	dhateng	Solo.			
Kula	arep	lunga	dhateng	Solo.			
Kula	arep	tindak	menyang	Solo.			
Kula	arep	kesah	menyang	Solo.			
Kula	arep	lunga	menyang	Solo.			
Kula	arep	tindak	ning	Solo.			
Kula	arep	kesah	ning	Solo.			
Kula	arep	lunga	ning	Solo.			

●Alasan saya menggunakan Kula adalah : _____

B. Jika menggunakan *Aku* sebagai pengganti *Saya*

					gunakan	tidak gunakan	tidak mengerti
Aku	badhe	tindak	dhateng	Solo.			
Aku	badhe	kesah	dhateng	Solo.			
Aku	badhe	lunga	dhateng	Solo.			
Aku	badhe	tindak	menyang	Solo.			
Aku	badhe	kesah	menyang	Solo.			
Aku	badhe	lunga	menyang	Solo.			
Aku	badhe	tindak	ning	Solo.			
Aku	badhe	kesah	ning	Solo.			
Aku	badhe	lunga	ning	Solo.			
Aku	ajeng	tindak	dhateng	Solo.			
Aku	ajeng	kesah	dhateng	Solo.			
Aku	ajeng	lunga	dhateng	Solo.			
Aku	ajeng	tindak	menyang	Solo.			
Aku	ajeng	kesah	menyang	Solo.			
Aku	ajeng	lunga	menyang	Solo.			
Aku	ajeng	tindak	ning	Solo.			
Aku	ajeng	kesah	ning	Solo.			
Aku	ajeng	lunga	ning	Solo.			
Aku	arep	tindak	dhateng	Solo.			
Aku	arep	kesah	dhateng	Solo.			
Aku	arep	lunga	dhateng	Solo.			
Aku	arep	tindak	menyang	Solo.			
Aku	arep	kesah	menyang	Solo.			
Aku	arep	lunga	menyang	Solo.			
Aku	arep	tindak	ning	Solo.			
Aku	arep	kesah	ning	Solo.			
Aku	arep	lunga	ning	Solo.			

● Alasan saya menggunakan *Aku* adalah : _____

■ **Kasus 3**

Ketika saya sedang bercakap-cakap dengan Mas Yoyok, datang guru yang cukup akrab dengan Pak Sutomo, yaitu Pak Hardito (guru senior, 60 tahun). Lalu saya menanyakan pula kepada Pak Hardito, apakah beliau akan datang ke Solo untuk acara perpisahan tersebut.

Q4. Saya bertanya kepada Bapak Hardito apakah beliau akan datang ke Solo.

					gunakan	tidak gunakan	tidak mengerti
Bapak	badhe	tindak	dhateng	Solo?			
Bapak	badhe	kesah	dhateng	Solo?			
Bapak	badhe	lunga	dhateng	Solo?			
Bapak	badhe	tindak	menyang	Solo?			
Bapak	badhe	kesah	menyang	Solo?			
Bapak	badhe	lunga	menyang	Solo?			
Bapak	badhe	tindak	ning	Solo?			
Bapak	badhe	kesah	ning	Solo?			
Bapak	badhe	lunga	ning	Solo?			
Bapak	ajeng	tindak	dhateng	Solo?			
Bapak	ajeng	kesah	dhateng	Solo?			
Bapak	ajeng	lunga	dhateng	Solo?			
Bapak	ajeng	tindak	menyang	Solo?			
Bapak	ajeng	kesah	menyang	Solo?			
Bapak	ajeng	lunga	menyang	Solo?			
Bapak	ajeng	tindak	ning	Solo?			
Bapak	ajeng	kesah	ning	Solo?			
Bapak	ajeng	lunga	ning	Solo?			
Bapak	arep	tindak	dhateng	Solo?			
Bapak	arep	kesah	dhateng	Solo?			
Bapak	arep	lunga	dhateng	Solo?			
Bapak	arep	tindak	menyang	Solo?			
Bapak	arep	kesah	menyang	Solo?			
Bapak	arep	lunga	menyang	Solo?			
Bapak	arep	tindak	ning	Solo?			
Bapak	arep	kesah	ning	Solo?			
Bapak	arep	lunga	ning	Solo?			

■ **Kasus 4**

Pak Hardito juga kemudian ganti menanyakan kepada saya, apakah saya akan datang ke acara tersebut.

Q5. Saya menjawab Pak Hardito, bahwa saya akan datang ke Solo.

					gunakan	tidak gunakan	tidak mengerti
Kula	badhe	tindak	dhateng	Solo.			
Kula	badhe	kesah	dhateng	Solo.			
Kula	badhe	lunga	dhateng	Solo.			
Kula	badhe	tindak	menyang	Solo.			
Kula	badhe	kesah	menyang	Solo.			
Kula	badhe	lunga	menyang	Solo.			
Kula	badhe	tindak	ning	Solo.			
Kula	badhe	kesah	ning	Solo.			
Kula	badhe	lunga	ning	Solo.			
Kula	ajeng	tindak	dhateng	Solo.			
Kula	ajeng	kesah	dhateng	Solo.			
Kula	ajeng	lunga	dhateng	Solo.			
Kula	ajeng	tindak	menyang	Solo.			
Kula	ajeng	kesah	menyang	Solo.			
Kula	ajeng	lunga	menyang	Solo.			
Kula	ajeng	tindak	ning	Solo.			
Kula	ajeng	kesah	ning	Solo.			
Kula	ajeng	lunga	ning	Solo.			
Kula	arep	tindak	dhateng	Solo.			
Kula	arep	kesah	dhateng	Solo.			
Kula	arep	lunga	dhateng	Solo.			
Kula	arep	tindak	menyang	Solo.			
Kula	arep	kesah	menyang	Solo.			
Kula	arep	lunga	menyang	Solo.			
Kula	arep	tindak	ning	Solo.			
Kula	arep	kesah	ning	Solo.			
Kula	arep	lunga	ning	Solo.			

◆Pertanyaan mengenai Bahasa Krama (Lingkari sesuai dengan yang Anda ketahui)

Apakah Anda pernah mendengar tentang:

1. Istilah Krama Rumah?

a. Ya

b. Tidak

c. Lainnya: _____

2. Istilah Krama Sederhana, yaitu bahasa Krama yang disederhanakan, seperti bahasa Krama yang bercampur dengan bahasa Indonesia.

a. Ya

b. Tidak

付録 B: 大学生と高校生のアンケート回答のデータと分析

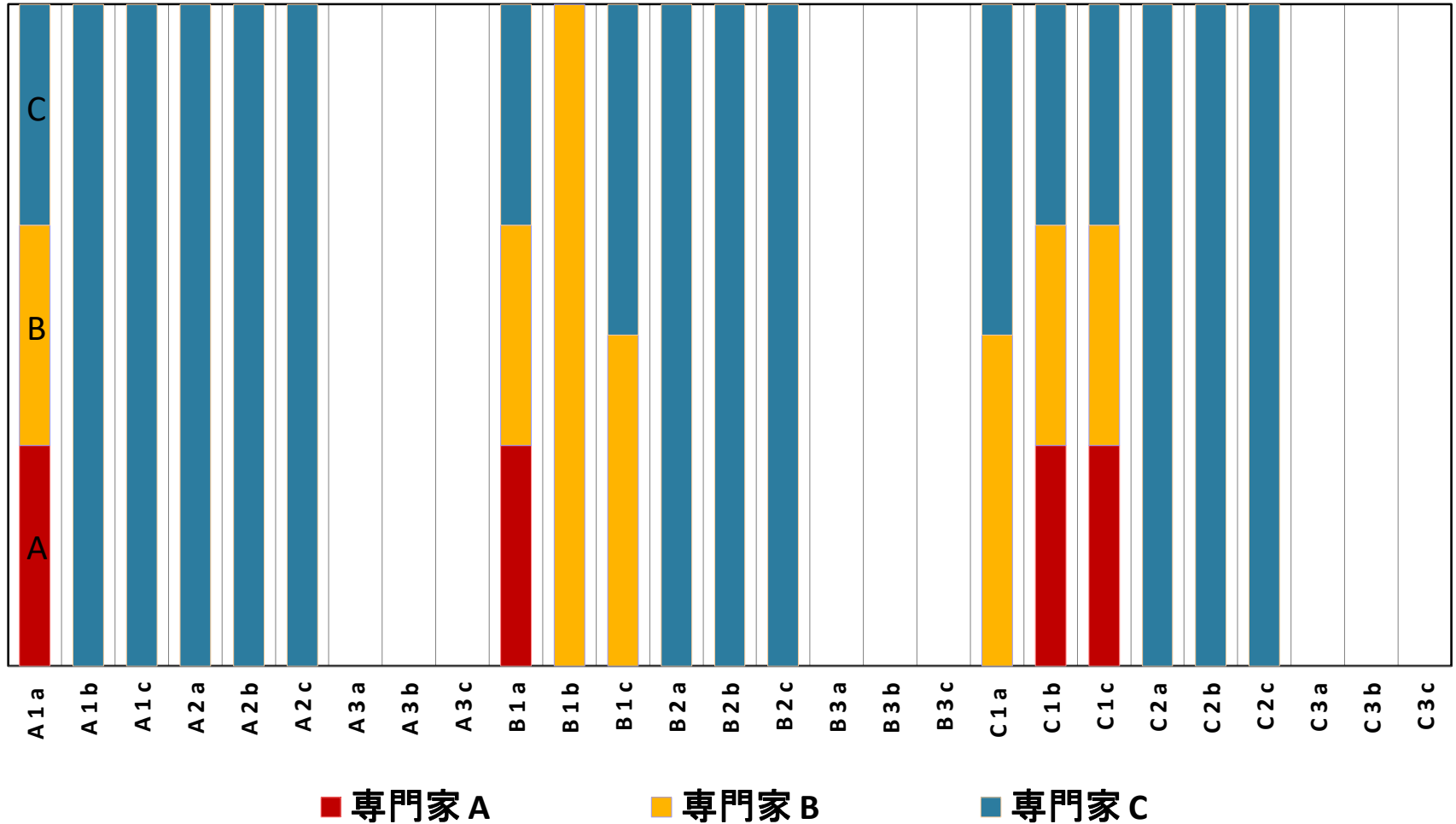
Q1	Saya bertanya kepada Mas Yoyok, apakah Mas Yoyok akan datang ke Solo.					Y O G Y A ジョグジャ出身												L U A R Y O G Y A 他の出身												JAWABAN 先生の答え								
	No.	S 主語	ADV. 助動詞	V 動詞	PREP. 前置詞	PERTANYAAN 質問	CODE コード	#KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知らない			KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知っている			TOTAL 合計			Prosentase Terhadap Total Koresponden (115 org) 回答者の全体の割合(115人)			#KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知らない			KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知っている			TOTAL 合計			Prosentase Terhadap Total Koresponden (130 org) 回答者の全体の割合(130人)			Sensei A A 先生		Sensei B B 先生		Sensei C C 先生		
								GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETERTI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETERTI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETERTI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETERTI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETERTI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETERTI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETERTI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETERTI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETERTI わからない	BENAR 正しい	SALAH 正しくない	BENAR 正しい	SALAH 正しくない
Mas	badhe (A) K	kesah (2) M	lunga (3) N	tindak (1) K	dhateng (a) K	Mas badhe tindak dhateng Solo?	A 1 a	71	13	0	29	1	1	100	14	1	87%	12%	1%	67	28	1	28	4	2	95	32	3	73%	25%	2%	✓		✓		✓		
					menyang (b) N	Mas badhe tindak menyang Solo?	A 1 b	48	32	4	15	14	2	63	46	6	55%	40%	5%	37	53	6	19	14	1	56	67	7	43%	52%	5%		✓		✓		✓	
					ning (c) N	Mas badhe tindak ning Solo?	A 1 c	32	46	6	13	15	3	45	61	9	39%	53%	8%	38	55	3	16	14	4	54	69	7	42%	53%	5%		✓		✓		✓	
					dhateng (a) K	Mas badhe kesah dhateng Solo?	A 2 a	33	44	7	16	15	0	49	59	7	43%	51%	6%	31	59	6	22	11	1	53	70	7	41%	54%	5%		✓		✓		✓	
					menyang (b) N	Mas badhe kesah menyang Solo?	A 2 b	24	52	8	9	19	3	33	71	11	29%	62%	10%	20	71	5	7	25	2	27	96	7	21%	74%	5%		✓		✓		✓	
					ning (c) N	Mas badhe kesah ning Solo?	A 2 c	10	62	12	6	22	3	16	84	15	14%	73%	13%	15	74	7	7	21	6	22	95	13	17%	73%	10%		✓		✓		✓	
					dhateng (a) K	Mas badhe lunga dhateng Solo?	A 3 a	7	74	3	15	15	1	22	89	4	19%	77%	3%	9	84	3	5	29	0	14	113	3	11%	87%	2%		✓		✓		✓	
					menyang (b) N	Mas badhe lunga menyang Solo?	A 3 b	18	60	6	9	20	2	27	80	8	23%	70%	7%	12	77	7	11	23	0	23	100	7	18%	77%	5%		✓		✓		✓	
					ning (c) N	Mas badhe lunga ning Solo?	A 3 c	13	65	6	8	19	4	21	84	10	18%	73%	9%	14	77	5	11	21	2	25	98	7	19%	75%	5%		✓		✓		✓	
	ajeng (B) M	kesah (2) M	lunga (3) N	tindak (1) K	dhateng (a) K	Mas ajeng tindak dhateng Solo?	B 1 a	56	24	4	25	5	1	81	29	5	70%	25%	4%	55	38	3	20	11	3	75	49	6	58%	38%	5%	✓		✓		✓		
					menyang (b) N	Mas ajeng tindak menyang Solo?	B 1 b	40	40	4	17	12	2	57	52	6	50%	45%	5%	44	48	4	24	9	1	68	57	5	52%	44%	4%		✓		✓		✓	
					ning (c) N	Mas ajeng tindak ning Solo?	B 1 c	31	47	6	15	13	3	46	60	9	40%	52%	8%	35	57	4	12	20	2	47	77	6	36%	59%	5%		✓		✓		✓	
					dhateng (a) K	Mas ajeng kesah dhateng Solo?	B 2 a	30	42	12	16	14	1	46	56	13	40%	49%	11%	34	57	5	18	13	3	52	70	8	40%	54%	6%		✓		✓		✓	
					menyang (b) N	Mas ajeng kesah menyang Solo?	B 2 b	16	56	12	7	20	4	23	76	16	20%	66%	14%	20	68	8	14	16	4	34	84	12	26%	65%	9%		✓		✓		✓	
					ning (c) N	Mas ajeng kesah ning Solo?	B 2 c	15	60	9	9	18	4	24	78	13	21%	68%	11%	15	75	6	7	24	3	22	99	9	17%	76%	7%		✓		✓		✓	
					dhateng (a) K	Mas ajeng lunga dhateng Solo?	B 3 a	9	69	6	4	25	2	13	94	8	11%	82%	7%	10	81	5	5	26	3	15	107	8	12%	82%	6%		✓		✓		✓	
					menyang (b) N	Mas ajeng lunga menyang Solo?	B 3 b	21	59	4	18	11	2	39	70	6	34%	61%	5%	15	74	7	7	25	2	22	99	9	17%	76%	7%		✓		✓		✓	
					ning (c) N	Mas ajeng lunga ning Solo?	B 3 c	18	61	5	9	18	4	27	79	9	23%	69%	8%	12	76	8	8	24	2	20	100	10	15%	77%	8%		✓		✓		✓	
	arep (C) N	kesah (2) M	lunga (3) N	tindak (1) K	dhateng (a) K	Mas arep tindak dhateng Solo?	C 1 a	25	51	8	9	18	4	34	69	12	30%	60%	10%	27	66	3	11	22	1	38	88	4	29%	68%	3%		✓		✓		✓	
					menyang (b) N	Mas arep tindak menyang Solo?	C 1 b	34	45	5	12	17	2	46	62	7	40%	54%	6%	37	54	5	18	15	1	55	69	6	42%	53%	5%	✓		✓		✓		
					ning (c) N	Mas arep tindak ning Solo?	C 1 c	27	52	5	10	19	2	37	71	7	32%	62%	6%	32	57	7	15	18	1	47	75	8	36%	58%	6%	✓		✓		✓		
					dhateng (a) K	Mas arep kesah dhateng Solo?	C 2 a	13	67	4	7	22	2	20	89	6	17%	77%	5%	14	77	5	6	25	3	20	102	8	15%	78%	6%		✓		✓		✓	
					menyang (b) N	Mas arep kesah menyang Solo?	C 2 b	9	68	7	7	21	3	16	89	10	14%	77%	9%	15	77	4	8	25	1	23	102	5	18%	78%	4%		✓		✓		✓	
					ning (c) N	Mas arep kesah ning Solo?	C 2 c	7	71	6	9	20	2	16	91	8	14%	79%	7%	15	77	4	8	26	0	23	103	4	18%	79%	3%		✓		✓		✓	
					dhateng (a) K	Mas arep lunga dhateng Solo?	C 3 a	6	75	3	6	23	2	12	98	5	10%	85%	4%	11	80	5	7	27	0	18	107	5	14%	82%	4%		✓		✓		✓	
					menyang (b) N	Mas arep lunga menyang Solo?	C 3 b	26	54	4	8	21	2	34	75	6	30%	65%	5%	35	58	3	14	20	0	49	78	3	38%	60%	2%		✓		✓		✓	
					ning (c) N	Mas arep lunga ning Solo?	C 3 c	31	49	4	14	15	2	45	64	6	39%	56%	5%	30	60	6	15	19	0	45	79	6	35%	61%	5%		✓		✓		✓	

説明 : K = Krama クロモ
M = Madya マディオ
N = Ngoko ングゴ

問1. 尊敬的表現の使用を測る設問 (私はヨヨさんにソロ市へ行くかどうかを尋ねる)

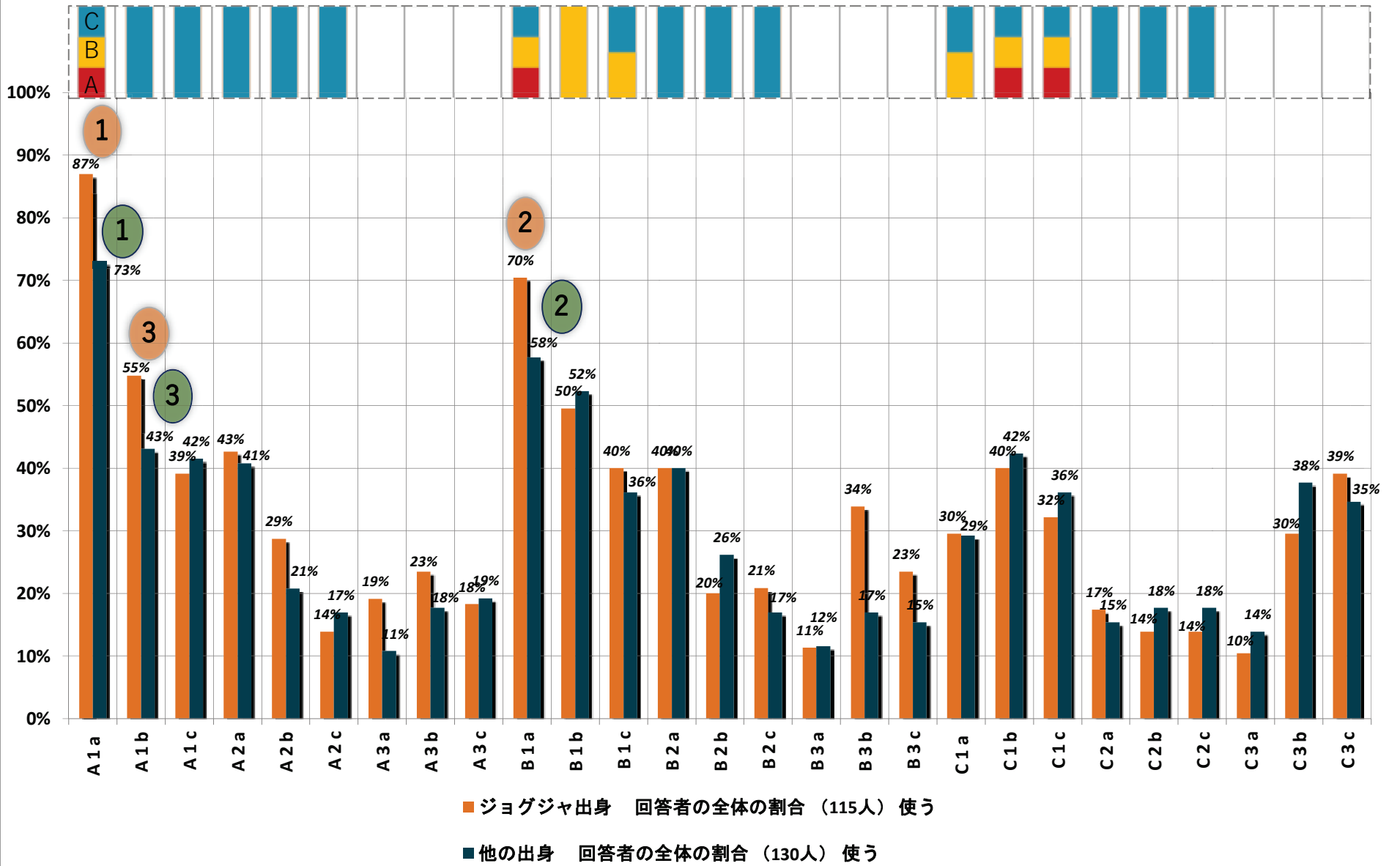
問1	Saya bertanya kepada Mas Yoyok apakah akan datang ke Solo. (私はヨヨさんにソロ市へ行くかどうかを尋ねる。)					
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文体	コード
1	Mas (年上の男性の 呼び名、～さん) NAME (appellation)	badhe(K) (A) ～なさいます/ 致します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mas badhe tindak dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へいらっしゃいますか。	A 1 a
2			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Mas badhe tindak menyang Solo? ヨヨさんはソロへいらっしゃいますか。	A 1 b
3				ning(N) (c) ~へ to	Mas badhe tindak ning Solo? ヨヨさんはソロへいらっしゃいますか。	A 1 c
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mas badhe kesah dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へ行きますか。	A 2 a
5				menyang(N) (b) ~へ to	Mas badhe kesah menyang Solo? ヨヨさんはソロへ行きますか。	A 2 b
6				ning(N) (c) ~へ to	Mas badhe kesah ning Solo? ヨヨさんはソロへ行きますか。	A 2 c
7			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mas badhe lunga dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へ行くんっすか。	A 3 a
8				menyang(N) (b) ~へ to	Mas badhe lunga menyang Solo? ヨヨさんはソロへ行くんっすか。	A 3 b
9				ning(N) (c) ~へ to	Mas badhe lunga ning Solo? ヨヨさんはソロへ行くんっすか。	A 3 c
10	Mas (年上の男性の 呼び名、～さん) NAME (appellation)	ajeng(M) (B) ～します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mas ajeng tindak dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へいらっしゃるのですか。	B 1 a
11			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Mas ajeng tindak menyang Solo? ヨヨさんはソロへいらっしゃるのですか。	B 1 b
12				ning(N) (c) ~へ to	Mas ajeng tindak ning Solo? ヨヨさんはソロへいらっしゃるのですか。	B 1 c
13			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mas ajeng kesah dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へ行くのですか。	B 2 a
14				menyang(N) (b) ~へ to	Mas ajeng kesah menyang Solo? ヨヨさんはソロへ行くのですか。	B 2 b
15				ning(N) (c) ~へ to	Mas ajeng kesah ning Solo? ヨヨさんはソロへ行くのですか。	B 2 c
16			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mas ajeng lunga dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へ行くっすか。	B 3 a
17				menyang(N) (b) ~へ to	Mas ajeng lunga menyang Solo? ヨヨさんはソロへ行くっすか。	B 3 b
18				ning(N) (c) ~へ to	Mas ajeng lunga ning Solo? ヨヨさんはソロへ行くっすか。	B 3 c
19	Mas (年上の男性の 呼び名、～さん) NAME (appellation)	arep(N) (C) ～する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mas arep tindak dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へいらっしゃるのか。	C 1 a
20			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Mas arep tindak menyang Solo? ヨヨさんはソロへいらっしゃるのか。	C 1 b
21				ning(N) (c) ~へ to	Mas arep tindak ning Solo? ヨヨさんはソロへいらっしゃるのか。	C 1 c
22			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mas arep kesah dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へ行くのか。	C 2 a
23				menyang(N) (b) ~へ to	Mas arep kesah menyang Solo? ヨヨさんはソロへ行くのか。	C 2 b
24				ning(N) (c) ~へ to	Mas arep kesah ning Solo? ヨヨさんはソロへ行くのか。	C 2 c
25			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mas arep lunga dhateng Solo? ヨヨさんはソロの方へ行くの。	C 3 a
26				menyang(N) (b) ~へ to	Mas arep lunga menyang Solo? ヨヨさんはソロへ行くの。	C 3 b
27				ning(N) (c) ~へ to	Mas arep lunga ning Solo? ヨヨさんはソロへ行くの。	C 3 c

グラフ 問1-1. ジャワ語専門家による規範的な文体

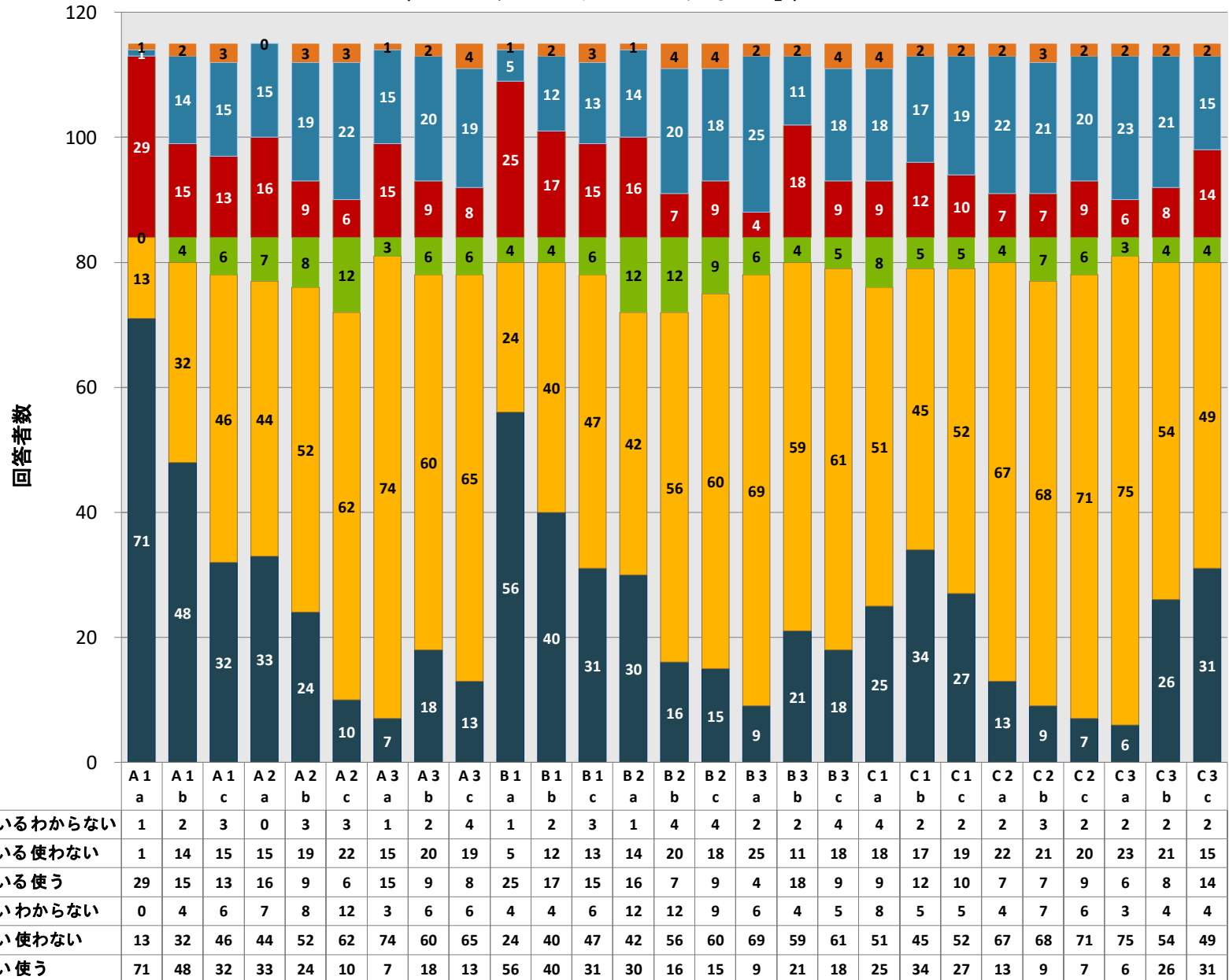


グラフ 問1-2. ジャワ語専門家と学生の回答比較

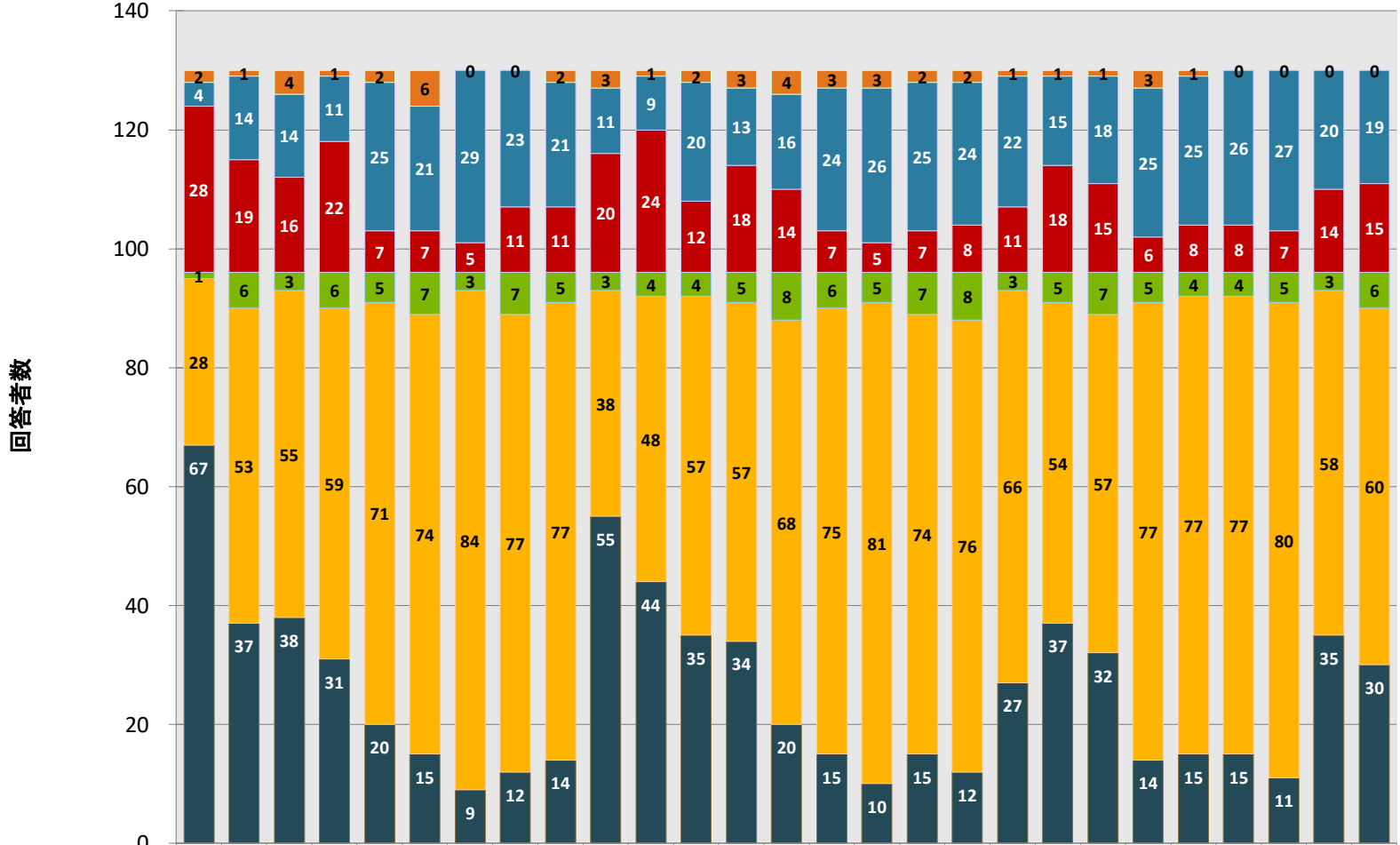
■ 専門家A ■ 専門家B ■ 専門家C



グラフ問1-2-1. クロモルマ体についての回答比較 (ジョグジャカルタ出身)

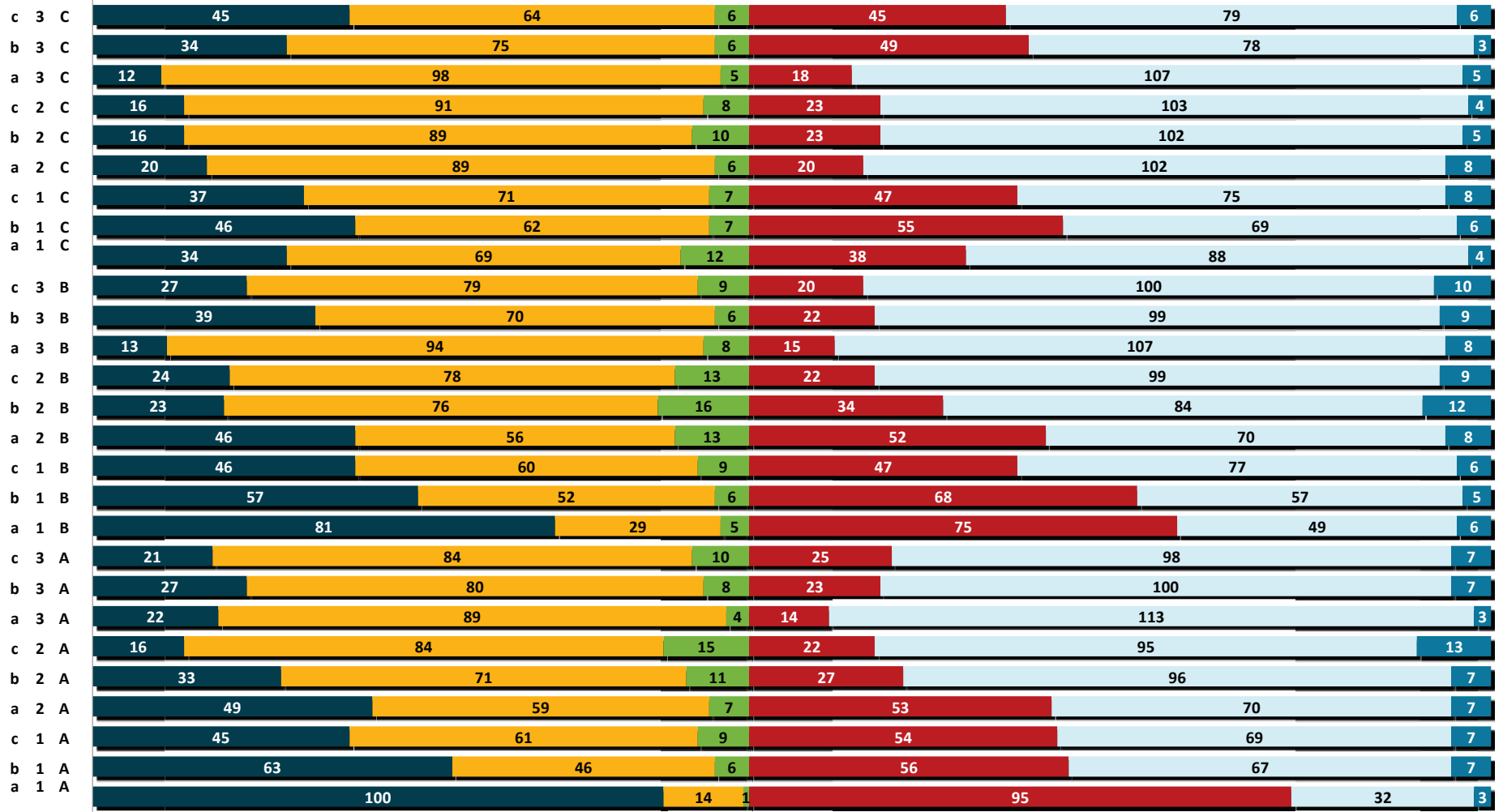


グラフ 問1-2-2. クロモルマ体についての回答比較 (他州の出身)



■ クロモ・ルマを知っているわからない	2	1	4	1	2	6	0	0	2	3	1	2	3	4	3	3	2	2	1	1	1	3	1	0	0	0	0
■ クロモ・ルマを知っている使わない	4	14	14	11	25	21	29	23	21	11	9	20	13	16	24	26	25	24	22	15	18	25	25	26	27	20	19
■ クロモ・ルマを知っている使う	28	19	16	22	7	7	5	11	11	20	24	12	18	14	7	5	7	8	11	18	15	6	8	8	7	14	15
■ クロモ・ルマを知らないわからない	1	6	3	6	5	7	3	7	5	3	4	4	5	8	6	5	7	8	3	5	7	5	4	4	5	3	6
■ クロモ・ルマを知らない使わない	28	53	55	59	71	74	84	77	77	38	48	57	57	68	75	81	74	76	66	54	57	77	77	77	80	58	60
■ クロモ・ルマを知らない使う	67	37	38	31	20	15	9	12	14	55	44	35	34	20	15	10	15	12	27	37	32	14	15	15	11	35	30

グラフ問1-2-3. ジョグジャカルタ出身と他州の出身の回答比較



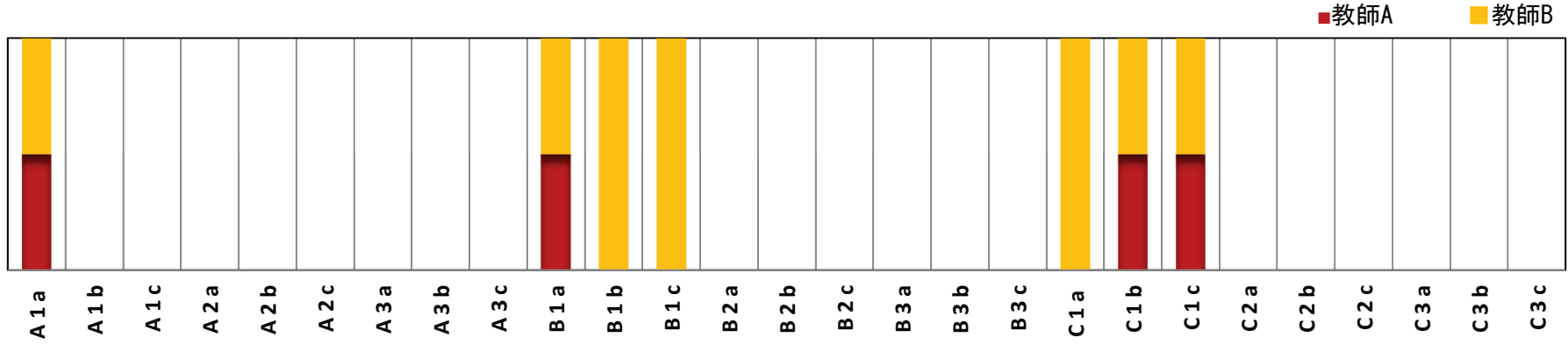
	A 1 a	A 1 b	A 1 c	A 2 a	A 2 b	A 2 c	A 3 a	A 3 b	A 3 c	B 1 a	B 1 b	B 1 c	B 2 a	B 2 b	B 2 c	B 3 a	B 3 b	B 3 c	C 1 a	C 1 b	C 1 c	C 2 a	C 2 b	C 2 c	C 3 a	C 3 b	C 3 c
■ ジョグジャ出身合計使う	100	63	45	49	33	16	22	27	21	81	57	46	46	23	24	13	39	27	34	46	37	20	16	16	12	34	45
■ ジョグジャ出身合計使わない	14	46	61	59	71	84	89	80	84	29	52	60	56	76	78	94	70	79	69	62	71	89	89	91	98	75	64
■ ジョグジャ出身合計わからない	1	6	9	7	11	15	4	8	10	5	6	9	13	16	13	8	6	9	12	7	7	6	10	8	5	6	6
■ 他の出身合計使う	95	56	54	53	27	22	14	23	25	75	68	47	52	34	22	15	22	20	38	55	47	20	23	23	18	49	45
■ 他の出身合計使わない	32	67	69	70	96	95	113	100	98	49	57	77	70	84	99	107	99	100	88	69	75	102	102	103	107	78	79
■ 他の出身合計わからない	3	7	7	7	7	13	3	7	7	6	5	6	8	12	9	8	9	10	4	6	8	8	5	4	5	3	6

問1.大学生がよく使う回答の回答

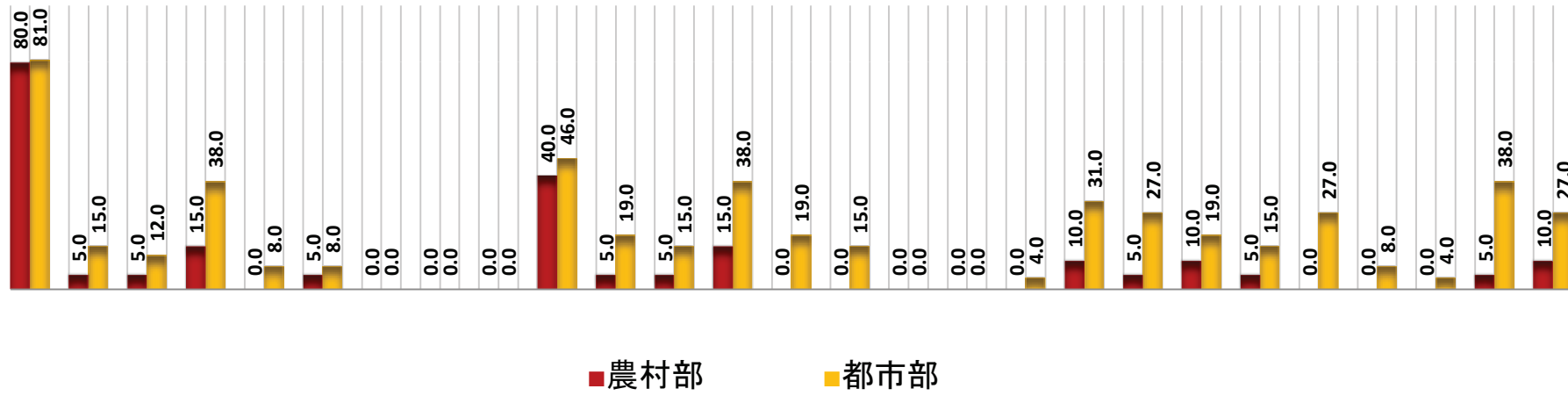
①	A1a ○	Mas, (年上男性の 呼称、~さん) NAME (appellation)	badhe (K) ~なさいます will	tindak (Ki) いらっしゃる go	dhateng (K) ~(の方)へ to	Solo? (地名) PLACE	学生が 「使う」 83%
		ヨヨさんは ソロ の方 へ いらっしゃいますか。					
②	B1a ○	Mas,	ajeng(M) ~します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo?	64%
		ヨヨさんは ソロ の方 へ いらっしゃるのですか。					
③	C1c, C1b ○	Mas,	arep(N) ~する	tindak (Ki) いらっしゃる	ning (N), ~ menyang (N) ~	Solo?	41%, 34%
		ヨヨさんは ソロ へ いらっしゃるのか。					
④	B1b, A1b (1)	Mas,	ajeng(M) ~します badhe (K) ~なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	menyang (N) ~	Solo?	51%, 49%
		ヨヨさんは ソロ へ いらっしゃるのですか。 ヨヨさんは ソロ へ いらっしゃいますか。					
⑤	C1c ×	Mas,	arep(N) ~する	lunga(N) ~行く	menyang (N) ~	Solo?	38%
		ヨヨさんは ソロ へ 行くの。					
⑥	C1b ×	Mas,	arep(N) ~する	lunga(N) ~行く	ning (N) ~	Solo?	34%
		ヨヨさんは ソロ へ 行くの。					

グラフ 問1-1. ジャワ語専門家と高校教師の回答比較

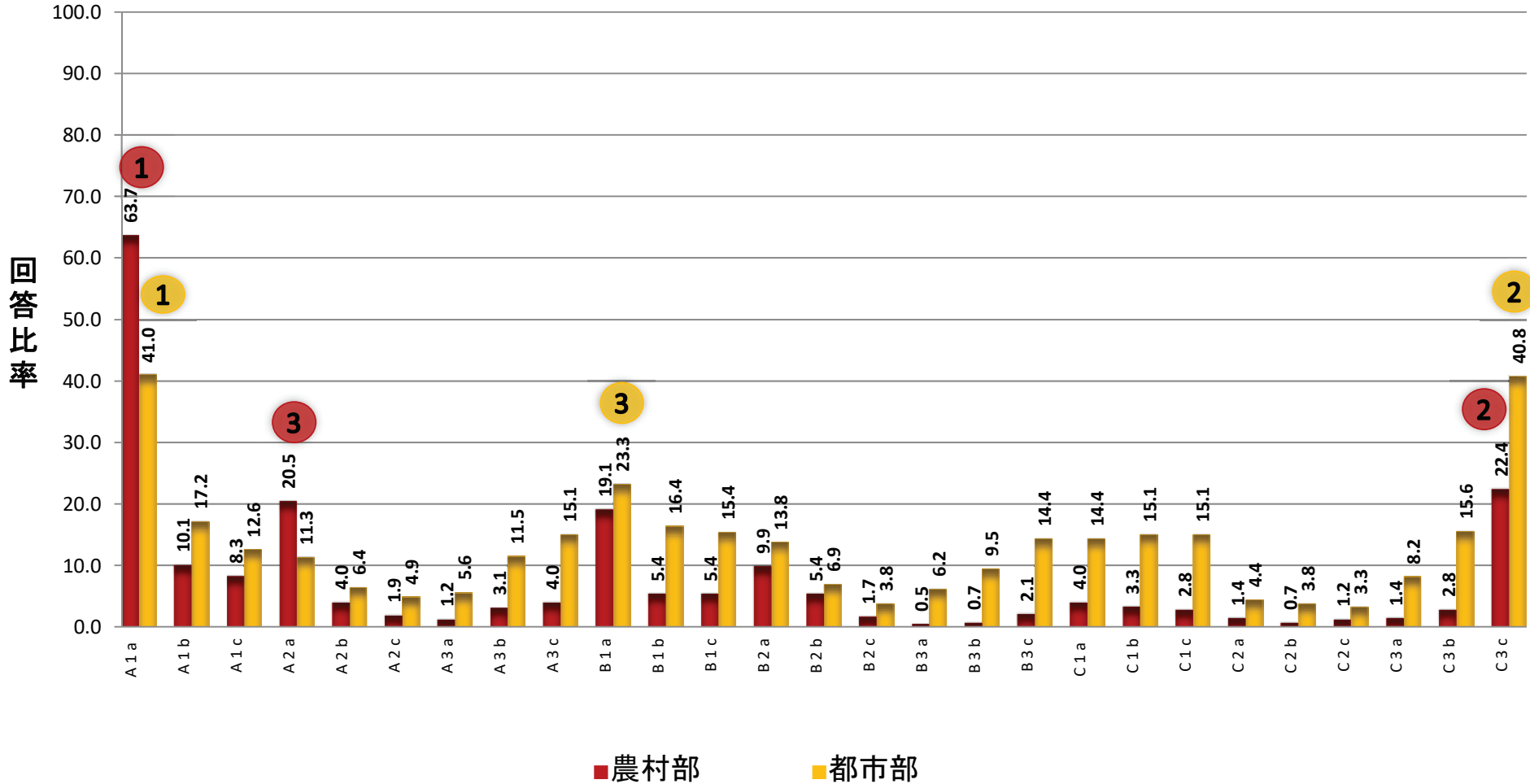
ジャワ語専門家



高校教師



グラフ問1-2. 農村部と都市部の高校生の回答比較

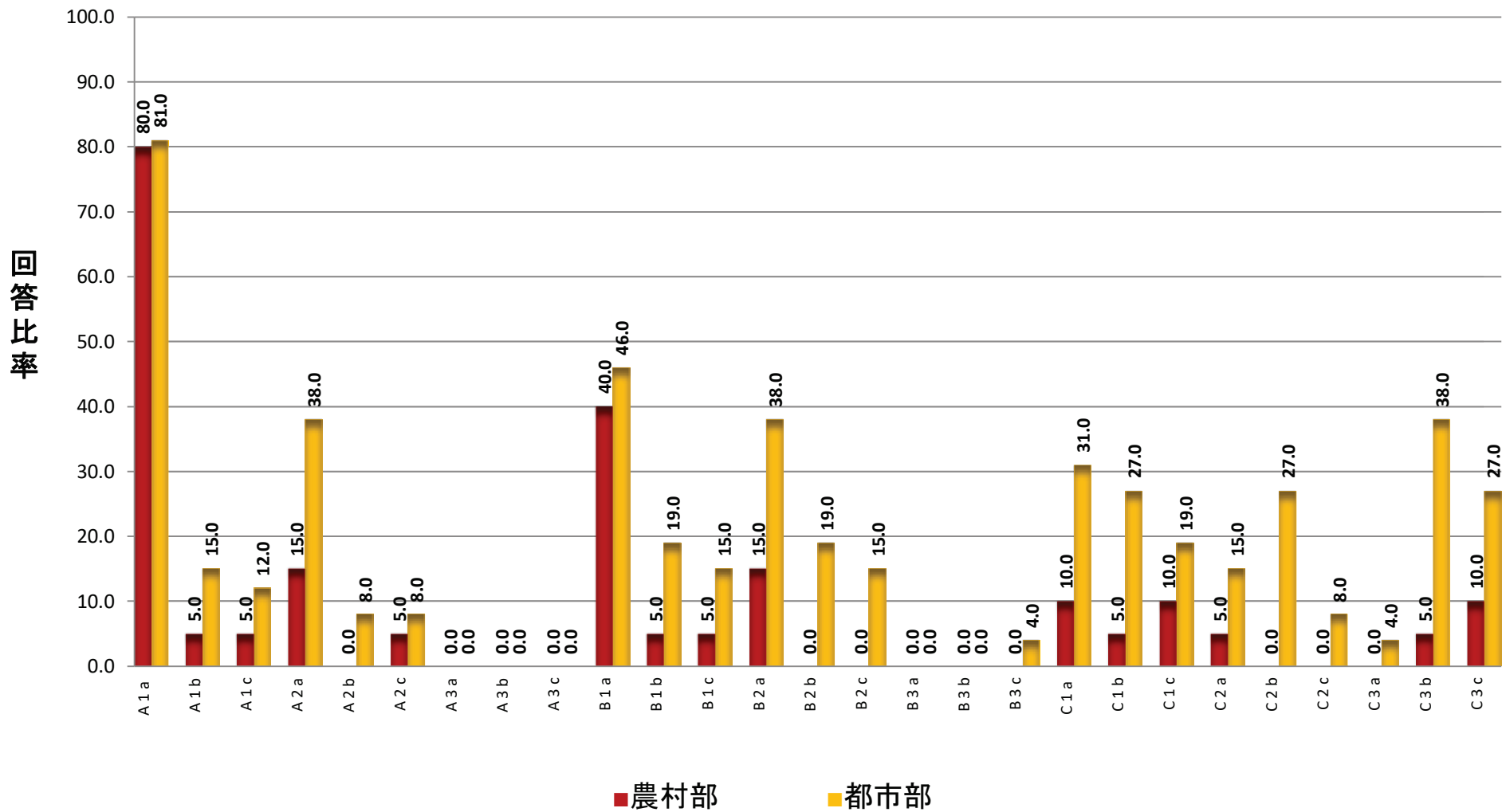


グラフ問1-2-5. 農村部と都市部の全高校生の回答比較



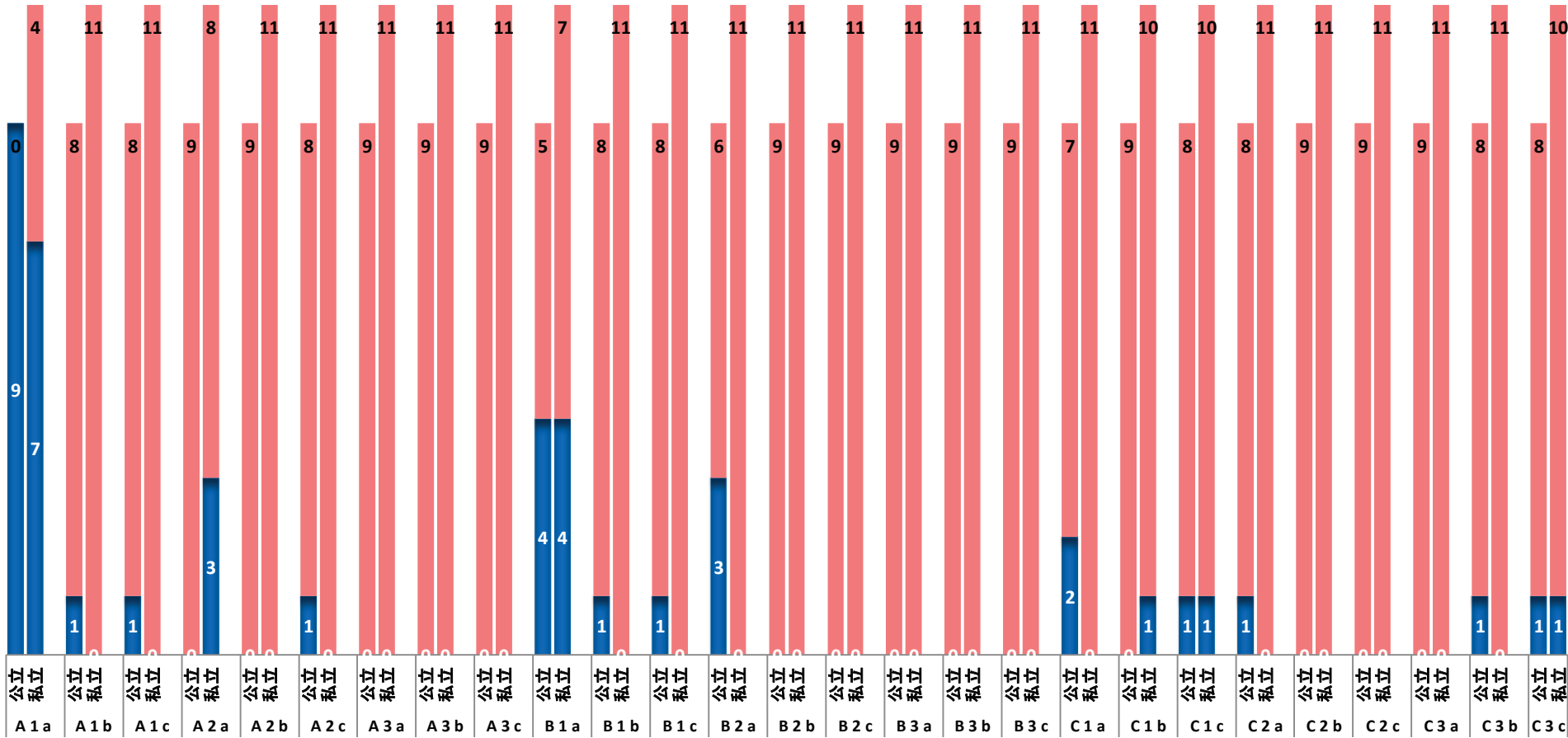
■ 農村部高校 使う ■ 農村部高校 使わない ■ 農村部高校 分からない ■ 都市部高校 使う ■ 都市部高校 使わない ■ 都市部高校 分からない

グラフ問1-3. 農村部と都市部の高校教師の回答比較



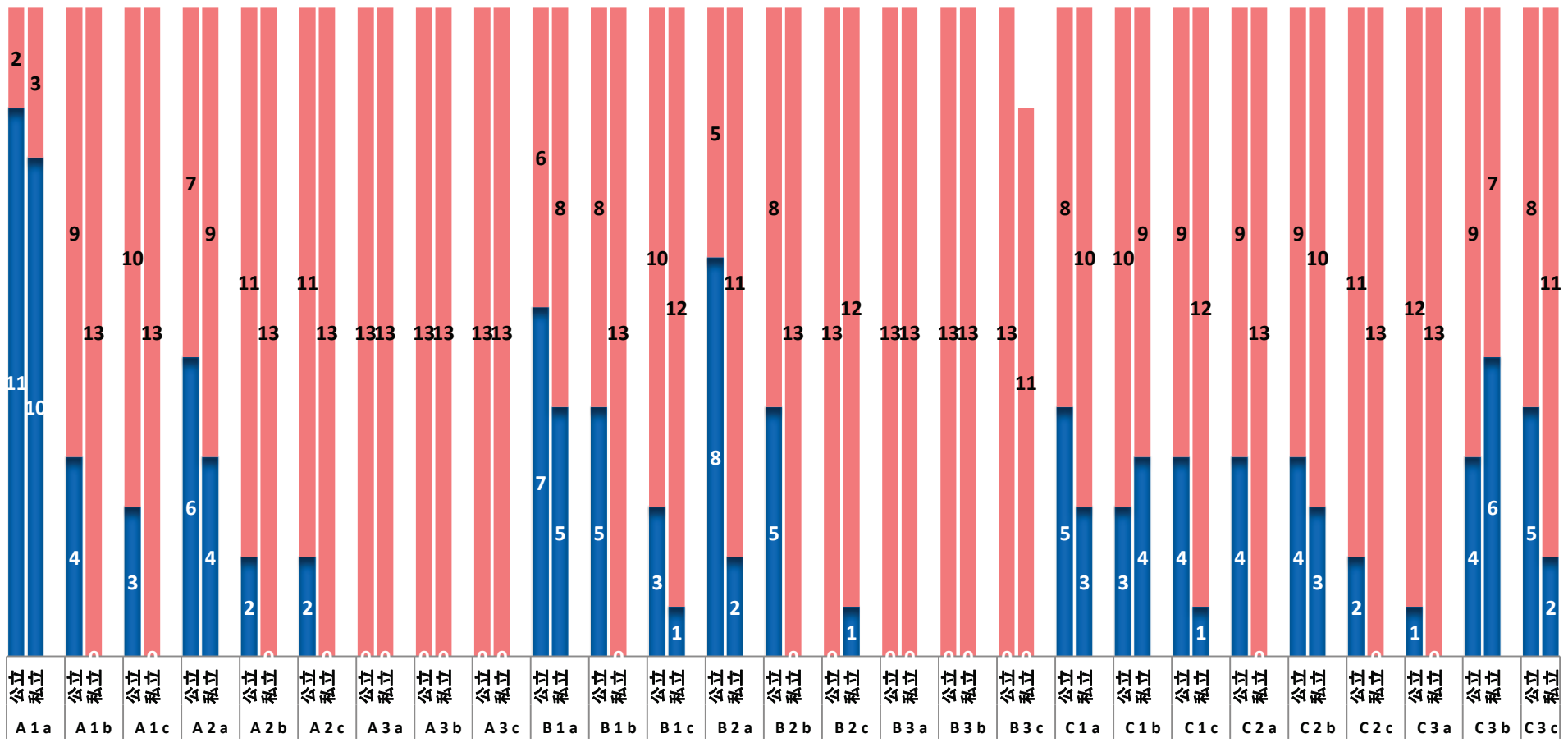
グラフ問1-3-1. 農村部の公立と私立の高校教師の回答比較

■ 正しい ■ 正しくない



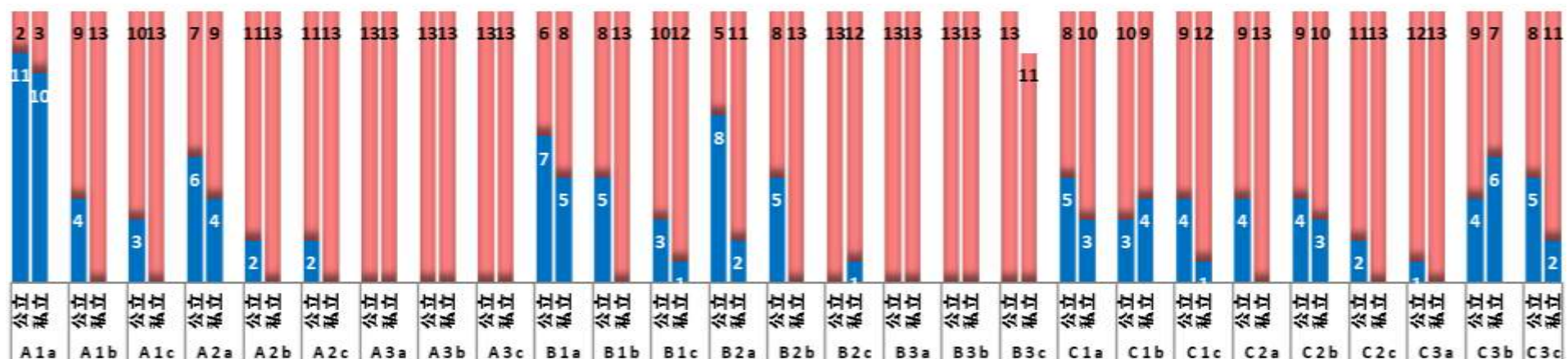
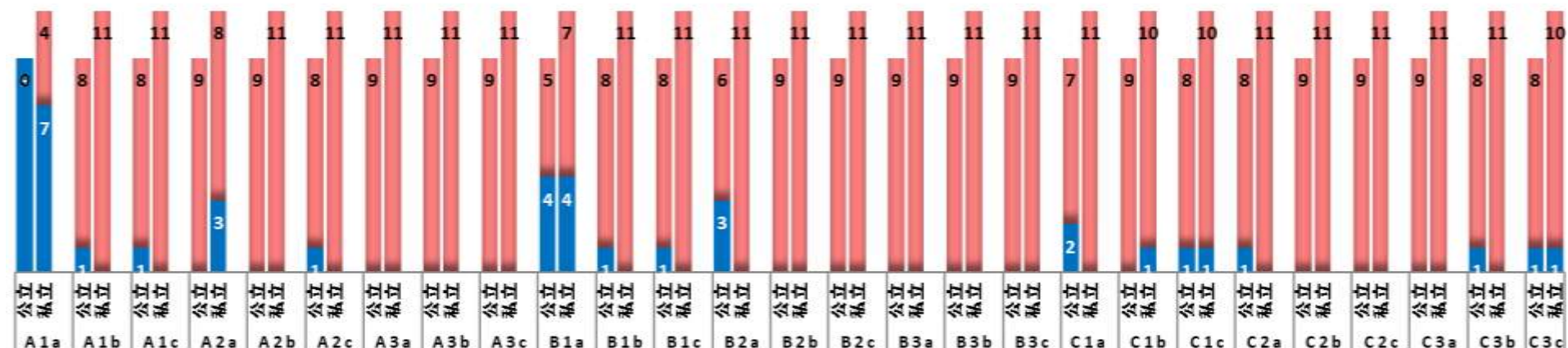
グラフ問1-3-2. 都市部の公立と私立の高校教師の回答比較

■ 正しい ■ 正しくない



グラフ問1-3-3. 農村部と都市部の全高校教師の回答比較

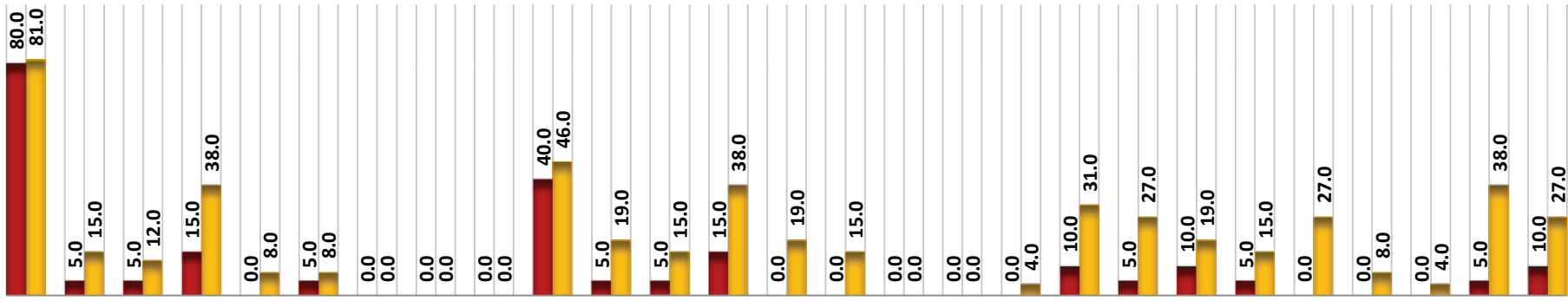
■ 正しい ■ 正しくない



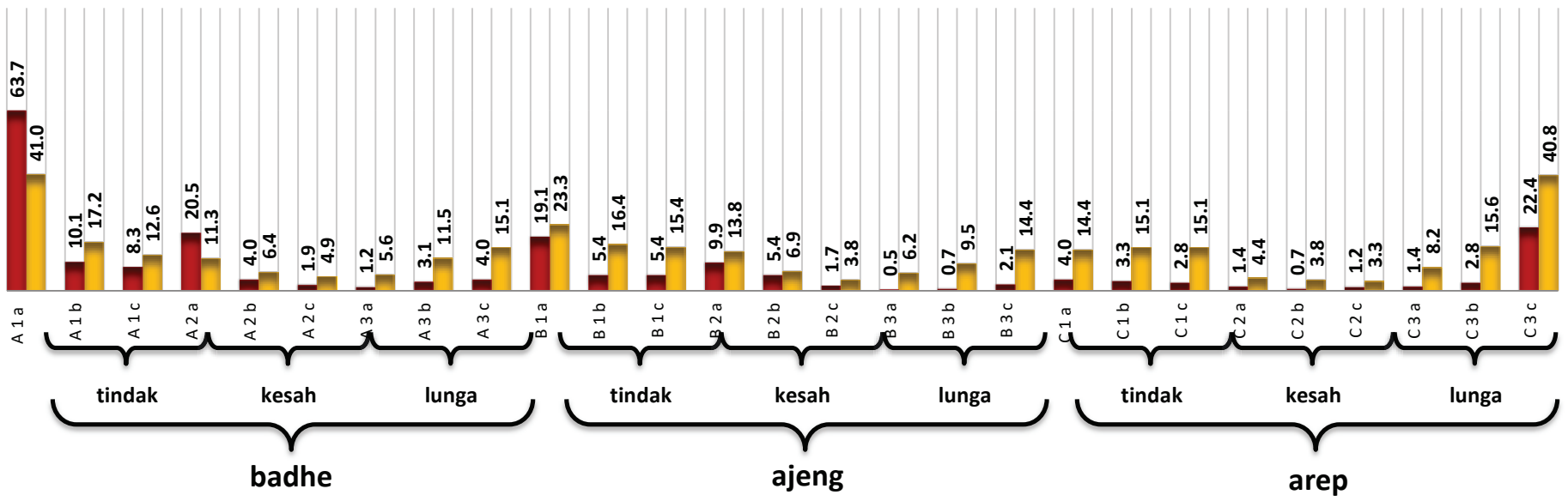
グラフ 問1-4. 高校教師と高校生の回答比較

■ 農村部 ■ 都市部

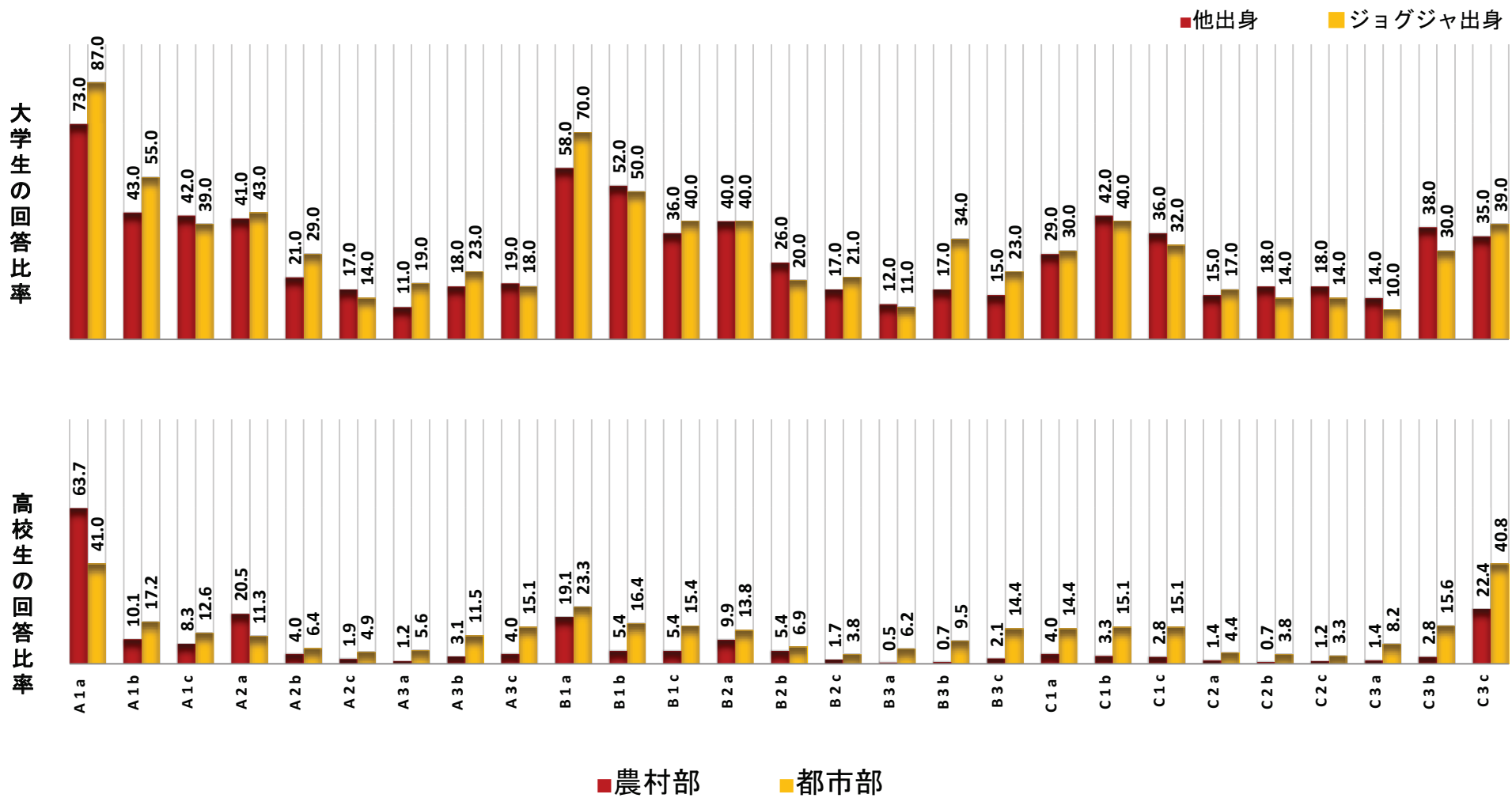
教師の回答比率



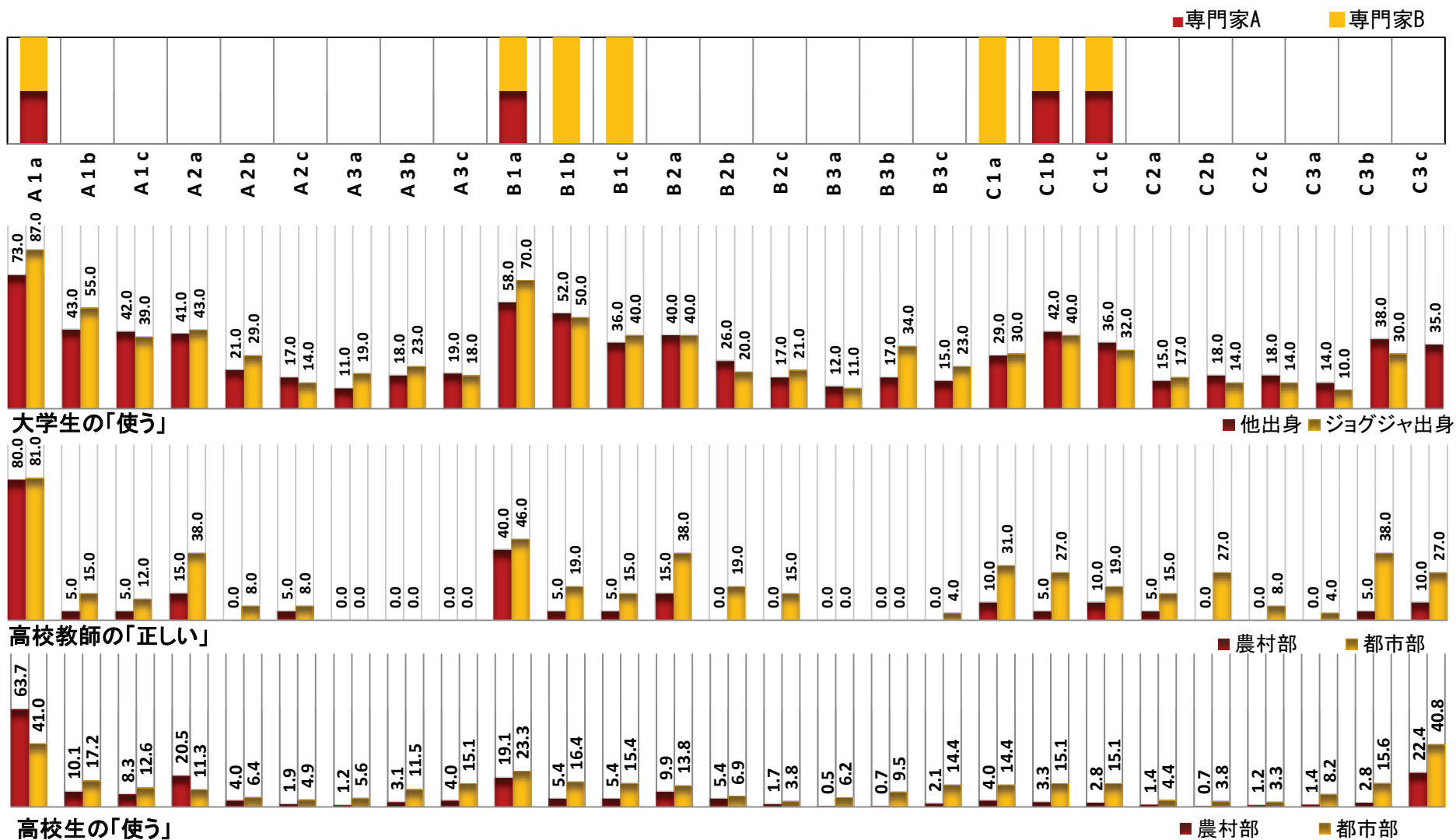
高校生の回答比率



グラフ問1-5. 大学生と高校生の回答比較



グラフ問1-6. ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較



問1-1.農村部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率) 208

①	A1a ○	Mas (年上男性の呼称、 ~さん)	badhe (K) ~なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo? (地名)	63.7%
		ヨヨさんは ソロ の方へ いらっしゃいますか。					
②	C3c	Mas	arep (N) ~する	lunga (N) 行く	ning (N) ~へ	Solo?	22.4%
		ヨヨさんは ソロ へ 行くの。					
③	A2a	Bapak	badhe (K) ~なさいます	kesah (M) 行く	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo?	20.5%
		ヨヨさんは ソロ の方へ 行きますか。					

問1-2.都市部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	A1a ○	Mas (年上男性の呼称、 ~さん)	badhe (K) ~なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo? (地名)	41%
		ヨヨさんは ソロ の方へ いらっしゃいますか。					
②	C3c	Mas	arep (N) ~する	lunga (N) 行く	ning (N) ~へ	Solo?	40.8%
		ヨヨさんは ソロ へ 行くの。					
③	B1a	Mas	ajeng (M) ~します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo?	23.3%
		ヨヨさんは ソロ の方へ いらっしゃるのですか。					

Q2	Saya bertanya kepada Mbak Ratih, apakah Pak Dekan akan datang ke Solo.						YOGYA ジョグジャ出身												LUAR YOGYA 他の出身												JAWABAN 先生の答え							
	私はラティさんに学部長がソロに行くかどうかをたずねる。						#KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知らない			KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知っている			TOTAL 合計			Prosentase Terhadap Total Koresponden (115 org) 回答者の全体の割合(115人)			#KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知らない			KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知っている			TOTAL 合計			Prosentase Terhadap Total Koresponden (130 org) 回答者の全体の割合(130人)			Sensei A A 先生		Sensei B B 先生		Sensei C C 先生			
	No.	S	O	ADV.	V	PREP.	PERTANYAAN	CODE	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGETRI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGETRI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGETRI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGETRI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGETRI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGETRI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGETRI	BENAR	SALAH	BENAR	SALAH	BENAR	SALAH			
		主語	趣旨	助動詞	動詞	前置詞	質問	コード	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	正しい	正しくない	正しい	正しくない	正しい	正しくない			
1					dhateng (a) K	Mbak, Pak Dekan badhe tindak dhateng Solo?	A 1 a	79	5	0	28	2	1	107	7	1	93%	6%	1%	79	15	2	31	3	0	110	18	2	85%	14%	2%	✓		✓		✓		
2					menyang (b) N	Mbak, Pak Dekan badhe tindak menyang Solo?	A 1 b	33	50	1	14	14	3	47	64	4	41%	56%	3%	37	54	5	18	18	2	53	70	7	41%	54%	5%		✓		✓		✓	
3					ning (c) N	Mbak, Pak Dekan badhe tindak ning Solo?	A 1 c	25	55	4	14	15	2	39	70	6	34%	61%	5%	26	64	6	10	22	2	38	86	8	28%	66%	6%		✓		✓		✓	
4					dhateng (a) K	Mbak, Pak Dekan badhe kesah dhateng Solo?	A 2 a	28	50	6	11	19	1	39	69	7	34%	60%	6%	34	59	3	18	14	2	52	73	5	40%	56%	4%		✓		✓		✓	
5					menyang (b) N	Mbak, Pak Dekan badhe kesah menyang Solo?	A 2 b	13	64	7	6	21	4	19	85	11	17%	74%	10%	12	80	4	10	23	1	22	103	5	17%	79%	4%		✓		✓		✓	
6					ning (c) N	Mbak, Pak Dekan badhe kesah ning Solo?	A 2 c	10	70	4	7	23	1	17	93	5	15%	81%	4%	7	84	5	6	25	3	13	106	8	10%	84%	6%		✓		✓		✓	
7					dhateng (a) K	Mbak, Pak Dekan badhe lunga dhateng Solo?	A 3 a	6	76	2	6	23	2	12	99	4	10%	86%	3%	6	89	1	6	26	2	12	115	3	9%	88%	2%		✓		✓		✓	
8					menyang (b) N	Mbak, Pak Dekan badhe lunga menyang Solo?	A 3 b	6	75	3	4	26	1	10	101	4	9%	88%	3%	7	86	3	6	28	2	13	112	5	10%	86%	4%		✓		✓		✓	
9					ning (c) N	Mbak, Pak Dekan badhe lunga ning Solo?	A 3 c	7	76	1	7	24	0	14	100	1	12%	87%	1%	9	83	4	6	28	0	15	111	4	12%	85%	3%		✓		✓		✓	
10					dhateng (a) K	Mbak, Pak Dekan ajeng tindak dhateng Solo?	B 1 a	50	30	4	22	8	1	72	38	5	63%	33%	4%	58	37	1	23	8	3	81	45	4	62%	35%	3%		✓		✓		✓	
11					menyang (b) N	Mbak, Pak Dekan ajeng tindak menyang Solo?	B 1 b	33	48	3	15	14	2	48	62	5	42%	54%	4%	30	64	2	15	17	2	45	81	4	35%	62%	3%		✓		✓		✓	
12					ning (c) N	Mbak, Pak Dekan ajeng tindak ning Solo?	B 1 c	23	56	5	13	14	4	36	70	9	31%	61%	8%	24	67	5	9	24	1	33	91	6	25%	70%	5%		✓		✓		✓	
13					dhateng (a) K	Mbak, Pak Dekan ajeng kesah dhateng Solo?	B 2 a	27	51	6	13	16	2	40	67	8	35%	58%	7%	33	57	6	18	15	3	49	72	9	38%	55%	7%		✓		✓		✓	
14					menyang (b) N	Mbak, Pak Dekan ajeng kesah menyang Solo?	B 2 b	15	61	8	7	22	2	22	83	10	19%	72%	9%	17	76	3	11	20	3	28	96	6	22%	74%	5%		✓		✓		✓	
15					ning (c) N	Mbak, Pak Dekan ajeng kesah ning Solo?	B 2 c	9	70	5	8	20	3	17	90	8	15%	78%	7%	8	83	5	4	30	0	12	113	5	9%	87%	4%		✓		✓		✓	
16					dhateng (a) K	Mbak, Pak Dekan ajeng lunga dhateng Solo?	B 3 a	6	74	4	5	25	1	11	99	5	10%	86%	4%	7	86	3	3	29	2	10	115	5	8%	88%	4%		✓		✓		✓	
17					menyang (b) N	Mbak, Pak Dekan ajeng lunga menyang Solo?	B 3 b	9	71	4	6	23	2	15	94	6	13%	82%	5%	6	87	3	3	28	3	9	116	6	7%	88%	5%		✓		✓		✓	
18					ning (c) N	Mbak, Pak Dekan ajeng lunga ning Solo?	B 3 c	4	72	9	6	22	3	10	94	12	9%	82%	10%	6	83	5	3	30	1	11	113	6	8%	87%	5%		✓		✓		✓	
19					dhateng (a) K	Mbak, Pak Dekan arep tindak dhateng Solo?	C 1 a	24	56	4	14	17	0	38	73	4	33%	63%	3%	24	69	3	10	22	2	34	91	5	26%	70%	4%		✓		✓		✓	
20					menyang (b) N	Mbak, Pak Dekan arep tindak menyang Solo?	C 1 b	22	59	3	9	20	2	31	79	5	27%	69%	4%	23	71	2	12	19	3	35	90	5	27%	69%	4%		✓		✓		✓	
21					ning (c) N	Mbak, Pak Dekan arep tindak ning Solo?	C 1 c	19	59	6	10	18	3	29	77	9	25%	67%	8%	22	69	5	6	24	4	28	83	9	22%	72%	7%		✓		✓		✓	
22					dhateng (a) K	Mbak, Pak Dekan arep kesah dhateng Solo?	C 2 a	8	70	6	9	20	2	17	90	8	15%	78%	7%	13	81	2	6	26	2	19	107	4	15%	82%	3%		✓		✓		✓	
23					menyang (b) N	Mbak, Pak Dekan arep kesah menyang Solo?	C 2 b	8	70	6	5	24	2	13	94	8	11%	82%	7%	7	85	4	6	26	2	13	111	6	10%	85%	5%		✓		✓		✓	
24					ning (c) N	Mbak, Pak Dekan arep kesah ning Solo?	C 2 c	4	75	5	4	24	3	8	99	8	7%	86%	7%	10	83	3	6	28	0	16	111	3	12%	85%	2%		✓		✓		✓	
25					dhateng (a) K	Mbak, Pak Dekan arep lunga dhateng Solo?	C 3 a	5	76	3	3	26	2	8	102	5	7%	89%	4%	10	84	2	5	28	1	15	112	3	12%	86%	2%		✓		✓		✓	
26					menyang (b) N	Mbak, Pak Dekan arep lunga menyang Solo?	C 3 b	9	71	4	6	25	0	15	96	4	13%	83%	3%	14	79	3	7	26	1	21	105	4	16%	81%	3%		✓		✓		✓	
27					ning (c) N	Mbak, Pak Dekan arep lunga ning Solo?	C 3 c	7	73	4	6	23	2	13	96	6	11%	83%	5%	20	72	4	7	24	3	27	96	7	21%	74%	5%		✓		✓		✓	

説明 : K = Krama クロモ
M = Madya マディオ
N = Ngoko ンゴコ

Q2 Saya bertanya kepada Mbak Ratih, apakah Pak Kepala Sekolah akan datang ke Solo. (私はラティさんに校長がソロへ行くかどうかをたずねる。)

番号 主語 目的語 助動詞 動詞 前置詞 文章 コード

badhe(K) (A) ~ないます will

ajeng(M) (B) ~します will

arep(N) (C) ~する will

ジョグジャ農村部 (424)

公立高校 (206) X: 64, XI: 76, XII: 66			私立高校 (218) X: 50, XI: 87, XII: 81			合計 (424)			全高生生の比率 (424 org)			公立高校の教師 (9)		私立高校の教師 (11)		合計 (20)		全教師の「正しい」比率													
X	XI	XII	使う	X	XI	XII	使わない	分からない	使う	X	XI	XII	使わない	分からない	正しい	正しい	正しい	正しい	正しい	正しい											
44	63	61	168	17	13	5	35	3	40	63	60	163	8	24	21	53	2	331	88	5	78.1%	20.8%	1.2%	9	0	11	0	20	0	100%	0%

ジョグジャ都市部 (390)

公立高校 (207) X: 59, XI: 49, XII: 99			私立高校 (183) X: 113, XI: 30, XII: 40			合計 (390)			全高生生の比率 (390 org)			公立高校の教師 (13)		私立高校の教師 (13)		合計 (26)		全教師の「正しい」比率													
X	XI	XII	使う	X	XI	XII	使わない	分からない	使う	X	XI	XII	使わない	分からない	正しい	正しい	正しい	正しい	正しい	正しい											
33	28	61	122	24	20	34	78	7	29	6	12	47	83	18	24	125	11	169	203	18	43.3%	52.1%	4.6%	13	0	13	0	26	0	100%	0%

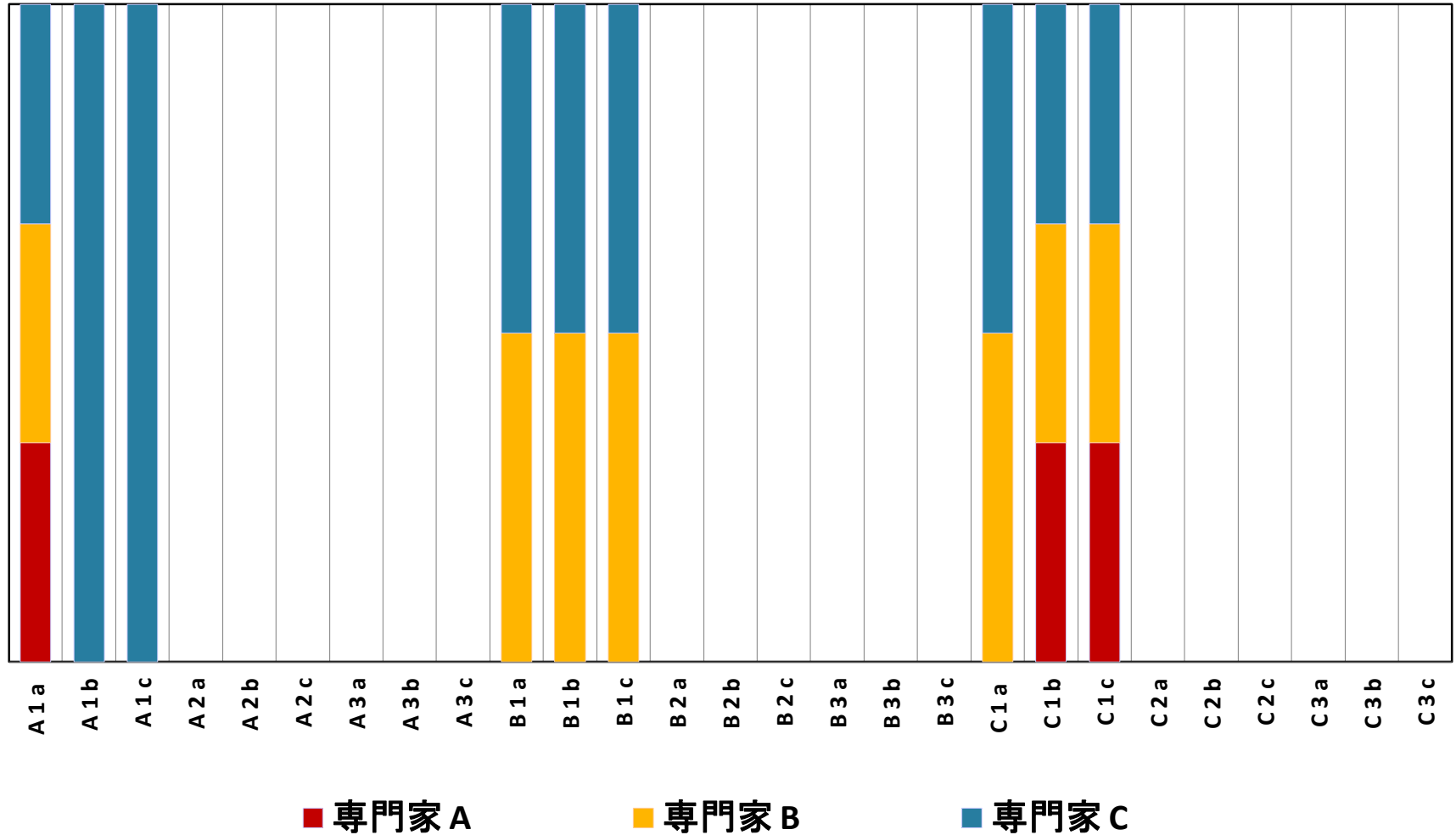
ジャワ語先生の回答

A先生		B先生	
正しい	正しくない	正しい	正しくない
✓		✓	

問2. 話題人物に対する尊敬的表現を測る設問(私はラティさんに学部長がソロ市へ行くかどうかを尋ねる)

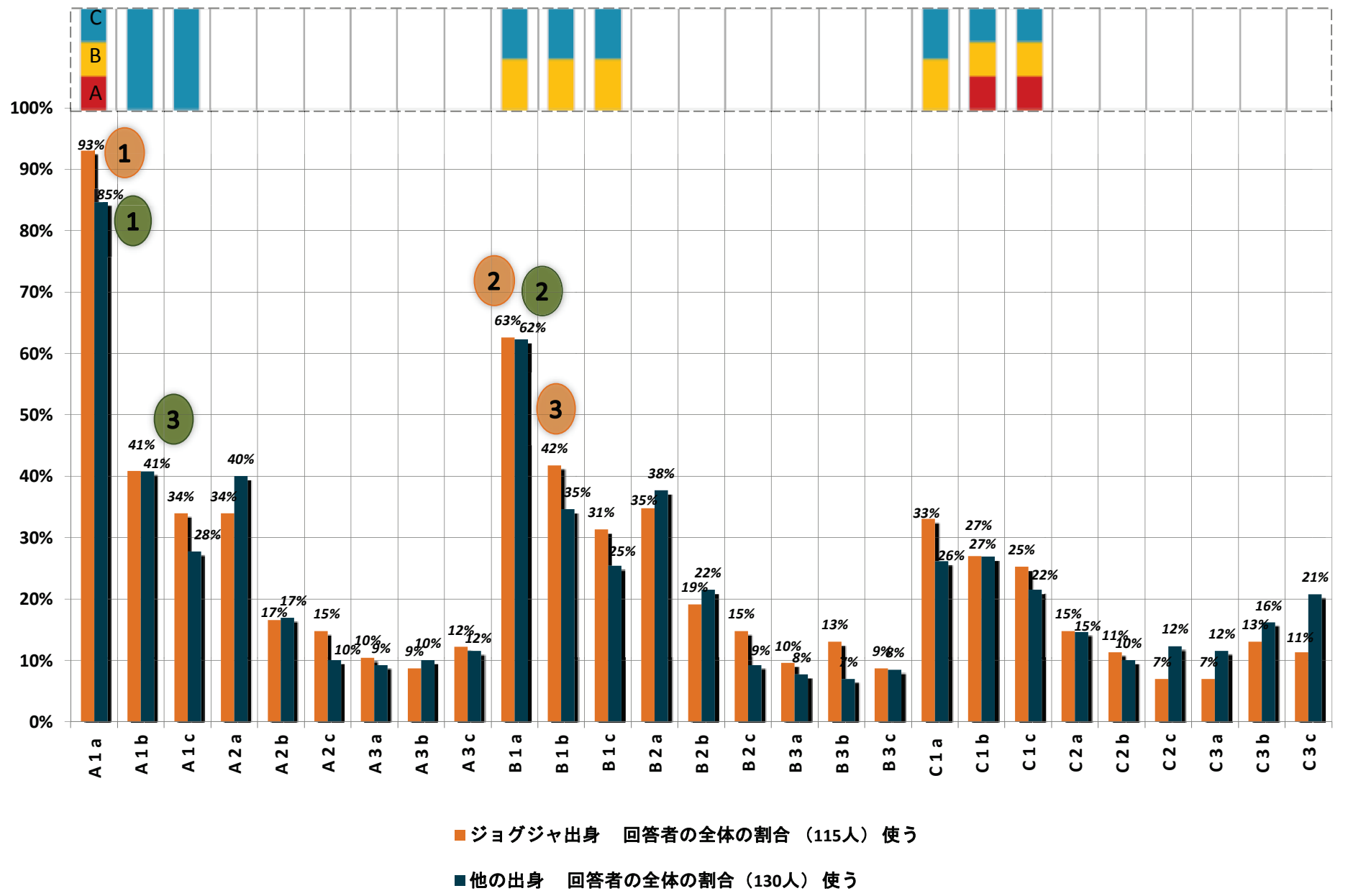
問2	Saya bertanya kepada Mbak Ratih apakah Pak Dekan akan datang ke Solo. (私はラティさんさんに学部長がソロ市へ行くかどうかを尋ねる。)					
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文体	コード
1	Mbak (年上の女性の呼び名、～さん)	badhe(K) (A) ～なさいます will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mbak, Pak Dekan badhe tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃいますか。	A 1 a
2			いらっしやる go	menyang(N) (b) ~へ to	Mbak, Pak Dekan badhe tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃいますか。	A 1 b
3				ning(N) (c) ~へ to	Mbak, Pak Dekan badhe tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃいますか。	A 1 c
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mbak, Pak Dekan badhe kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行きますか。	A 2 a
5				menyang(N) (b) ~へ to	Mbak, Pak Dekan badhe kesah menyang Solo? 先生はソロへ行きますか。	A 2 b
6				ning(N) (c) ~へ to	Mbak, Pak Dekan badhe kesah ning Solo? 先生はソロへ行きますか。	A 2 c
7			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mbak, Pak Dekan badhe lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くんっすか。	A 3 a
8				menyang(N) (b) ~へ to	Mbak, Pak Dekan badhe lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くんっすか。	A 3 b
9				ning(N) (c) ~へ to	Mbak, Pak Dekan badhe lunga ning Solo? 先生はソロへ行くんっすか。	A 3 c
10	Mbak (年上の女性の呼び名、～さん)	ajeng(M) (B) ～します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃるのですか。	B 1 a
11			いらっしやる go	menyang(N) (b) ~へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃるのですか。	B 1 b
12				ning(N) (c) ~へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃるのですか。	B 1 c
13			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くのですか。	B 2 a
14				menyang(N) (b) ~へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng kesah menyang Solo? 先生はソロへ行くのですか。	B 2 b
15				ning(N) (c) ~へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng kesah ning Solo? 先生はソロへ行くのですか。	B 2 c
16			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くっすか。	B 3 a
17				menyang(N) (b) ~へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くっすか。	B 3 b
18				ning(N) (c) ~へ to	Mbak, Pak Dekan ajeng lunga ning Solo? 先生はソロへ行くっすか。	B 3 c
19	Mbak (年上の女性の呼び名、～さん)	arep(N) (C) ～する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mbak, Pak Dekan arep tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃるのか。	C 1 a
20			いらっしやる go	menyang(N) (b) ~へ to	Mbak, Pak Dekan arep tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃるのか。	C 1 b
21				ning(N) (c) ~へ to	Mbak, Pak Dekan arep tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃるのか。	C 1 c
22			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mbak, Pak Dekan arep kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くのか。	C 2 a
23				menyang(N) (b) ~へ to	Mbak, Pak Dekan arep kesah menyang Solo? 先生はソロへ行くのか。	C 2 b
24				ning(N) (c) ~へ to	Mbak, Pak Dekan arep kesah ning Solo? 先生はソロへ行くのか。	C 2 c
25			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Mbak, Pak Dekan arep lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くの。	C 3 a
26				menyang(N) (b) ~へ to	Mbak, Pak Dekan arep lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くの。	C 3 b
27				ning(N) (c) ~へ to	Mbak, Pak Dekan arep lunga ning Solo? 先生はソロへ行くの。	C 3 c

グラフ 問2-1. ジャワ語専門家による規範的な文体



グラフ問2-2. ジャワ語専門家と学生の回答比較

■ 専門家A ■ 専門家B ■ 専門家C

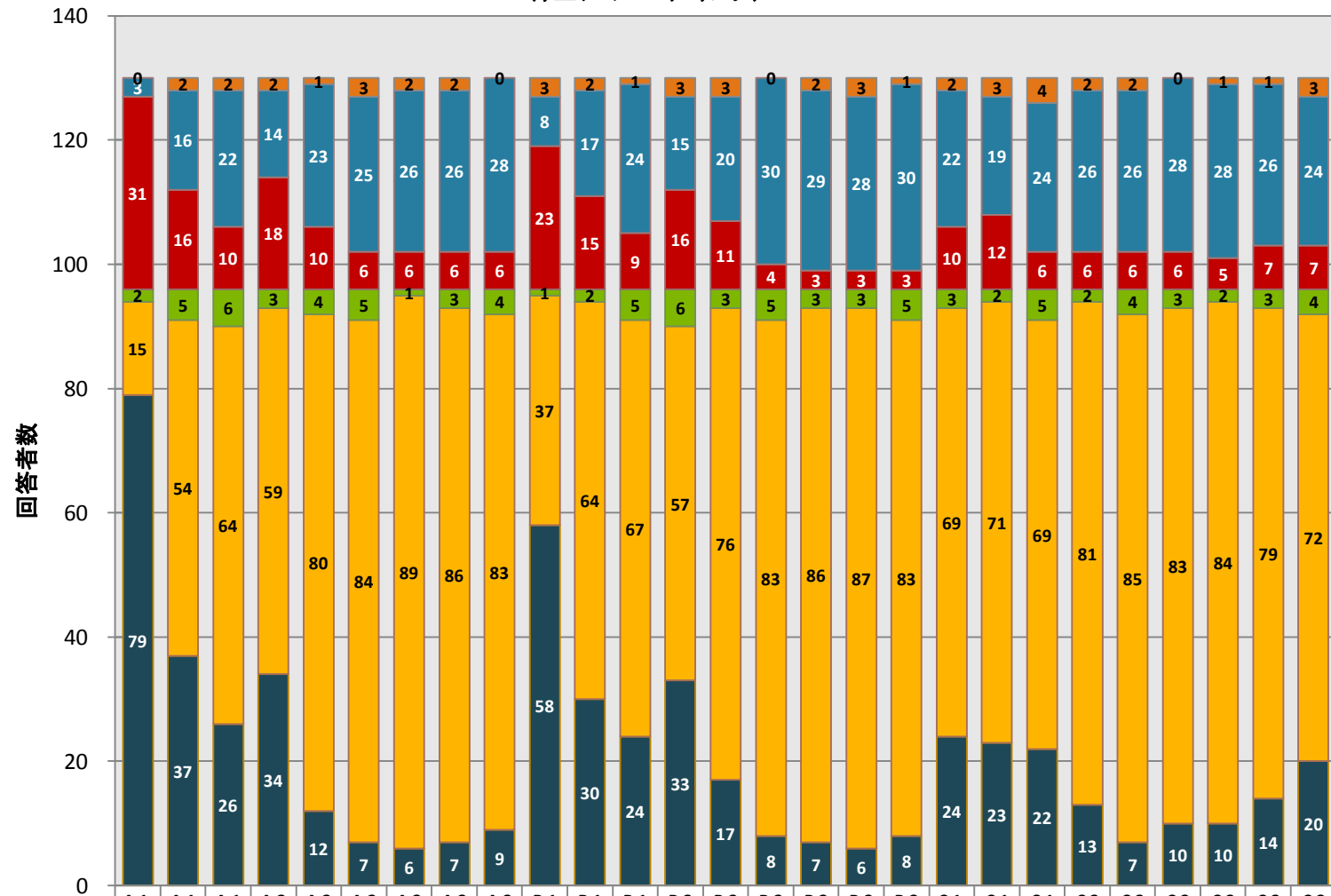


グラフ問2-2-1. クロモルマ体についての回答比較 (ジョグジャカルタ出身)



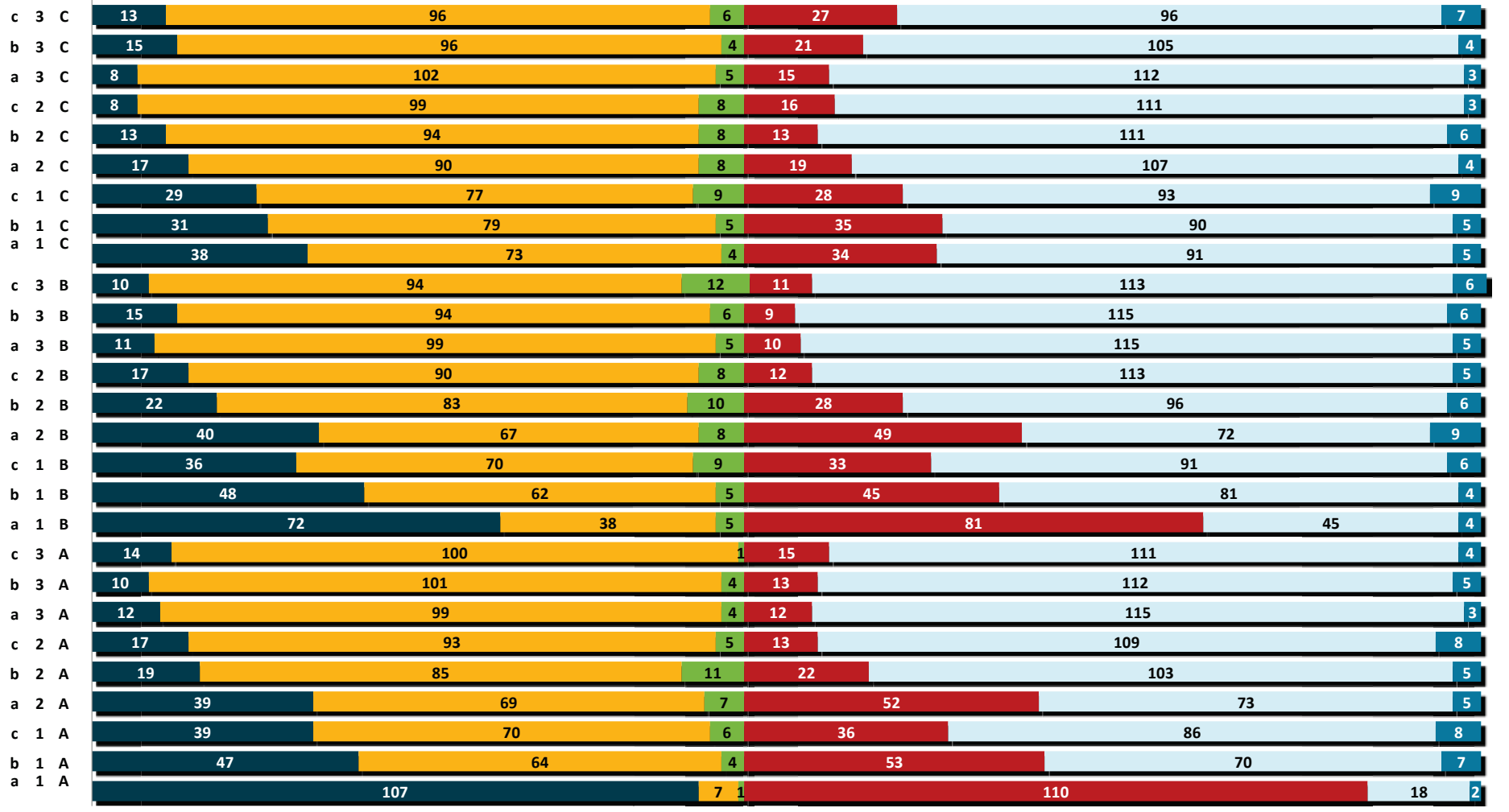
	A 1 a	A 1 b	A 1 c	A 2 a	A 2 b	A 2 c	A 3 a	A 3 b	A 3 c	B 1 a	B 1 b	B 1 c	B 2 a	B 2 b	B 2 c	B 3 a	B 3 b	B 3 c	C 1 a	C 1 b	C 1 c	C 2 a	C 2 b	C 2 c	C 3 a	C 3 b	C 3 c
■クロモ・ルマを知っている わからない	1	3	2	1	4	1	2	1	0	1	2	4	2	2	3	1	2	3	0	2	3	2	2	3	2	0	2
■クロモ・ルマを知っている 使わない	2	14	15	19	21	23	23	26	24	8	14	14	16	22	20	25	23	22	17	20	18	20	24	24	26	25	23
■クロモ・ルマを知っている 使う	28	14	14	11	6	7	6	4	7	22	15	13	13	7	8	5	6	6	14	9	10	9	5	4	3	6	6
■クロモ・ルマを知らない わからない	0	1	4	6	7	4	2	3	1	4	3	5	6	8	5	4	4	9	4	3	6	6	6	5	3	4	4
■クロモ・ルマを知らない 使わない	5	50	55	50	64	70	76	75	76	30	48	56	51	61	70	74	71	72	56	59	59	70	70	75	76	71	73
■クロモ・ルマを知らない 使う	79	33	25	28	13	10	6	6	7	50	33	23	27	15	9	6	9	4	24	22	19	8	8	4	5	9	7

グラフ問2-2-2. クロモルマ体についての回答比較 (他州の出身)



■ クロモ・ルマを知っている わからない	0	2	2	2	1	3	2	2	0	3	2	1	3	3	0	2	3	1	2	3	4	2	2	0	1	1	3
■ クロモ・ルマを知っている 使わない	3	16	22	14	23	25	26	26	28	8	17	24	15	20	30	29	28	30	22	19	24	26	26	28	28	26	24
■ クロモ・ルマを知っている 使う	31	16	10	18	10	6	6	6	6	23	15	9	16	11	4	3	3	3	10	12	6	6	6	6	5	7	7
■ クロモ・ルマを知らない わからない	2	5	6	3	4	5	1	3	4	1	2	5	6	3	5	3	3	5	3	2	5	2	4	3	2	3	4
■ クロモ・ルマを知らない 使わない	15	54	64	59	80	84	89	86	83	37	64	67	57	76	83	86	87	83	69	71	69	81	85	83	84	79	72
■ クロモ・ルマを知らない 使う	79	37	26	34	12	7	6	7	9	58	30	24	33	17	8	7	6	8	24	23	22	13	7	10	10	14	20

グラフ問2-2-3. ジョグジャカルタ出身と他州の出身の回答比較

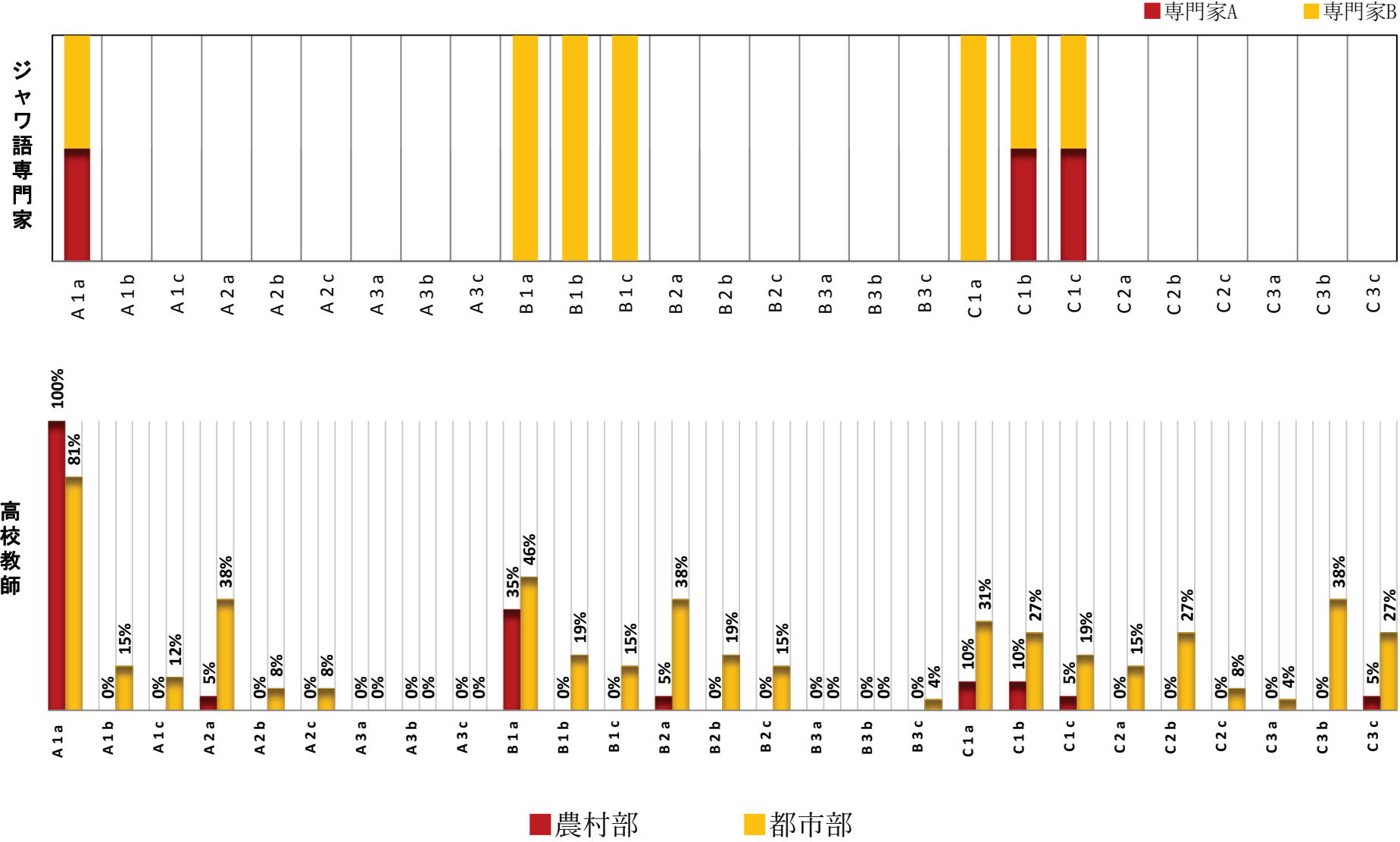


	A1 a	A1 b	A1 c	A2 a	A2 b	A2 c	A3 a	A3 b	A3 c	B1 a	B1 b	B1 c	B2 a	B2 b	B2 c	B3 a	B3 b	B3 c	C1 a	C1 b	C1 c	C2 a	C2 b	C2 c	C3 a	C3 b	C3 c
■ ジョグジャ合計使う	107	47	39	39	19	17	12	10	14	72	48	36	40	22	17	11	15	10	38	31	29	17	13	8	8	15	13
■ ジョグジャ合計使わない	7	64	70	69	85	93	99	101	100	38	62	70	67	83	90	99	94	94	73	79	77	90	94	99	102	96	96
■ ジョグジャ合計わからない	1	4	6	7	11	5	4	4	1	5	5	9	8	10	8	5	6	12	4	5	9	8	8	8	5	4	6
■ 他の出身合計使う	110	53	36	52	22	13	12	13	15	81	45	33	49	28	12	10	9	11	34	35	28	19	13	16	15	21	27
■ 他の出身合計使わない	18	70	86	73	103	109	115	112	111	45	81	91	72	96	113	115	115	113	91	90	93	107	111	111	112	105	96
■ 他の出身合計わからない	2	7	8	5	5	8	3	5	4	4	4	6	9	6	5	5	6	6	5	5	9	4	6	3	3	4	7

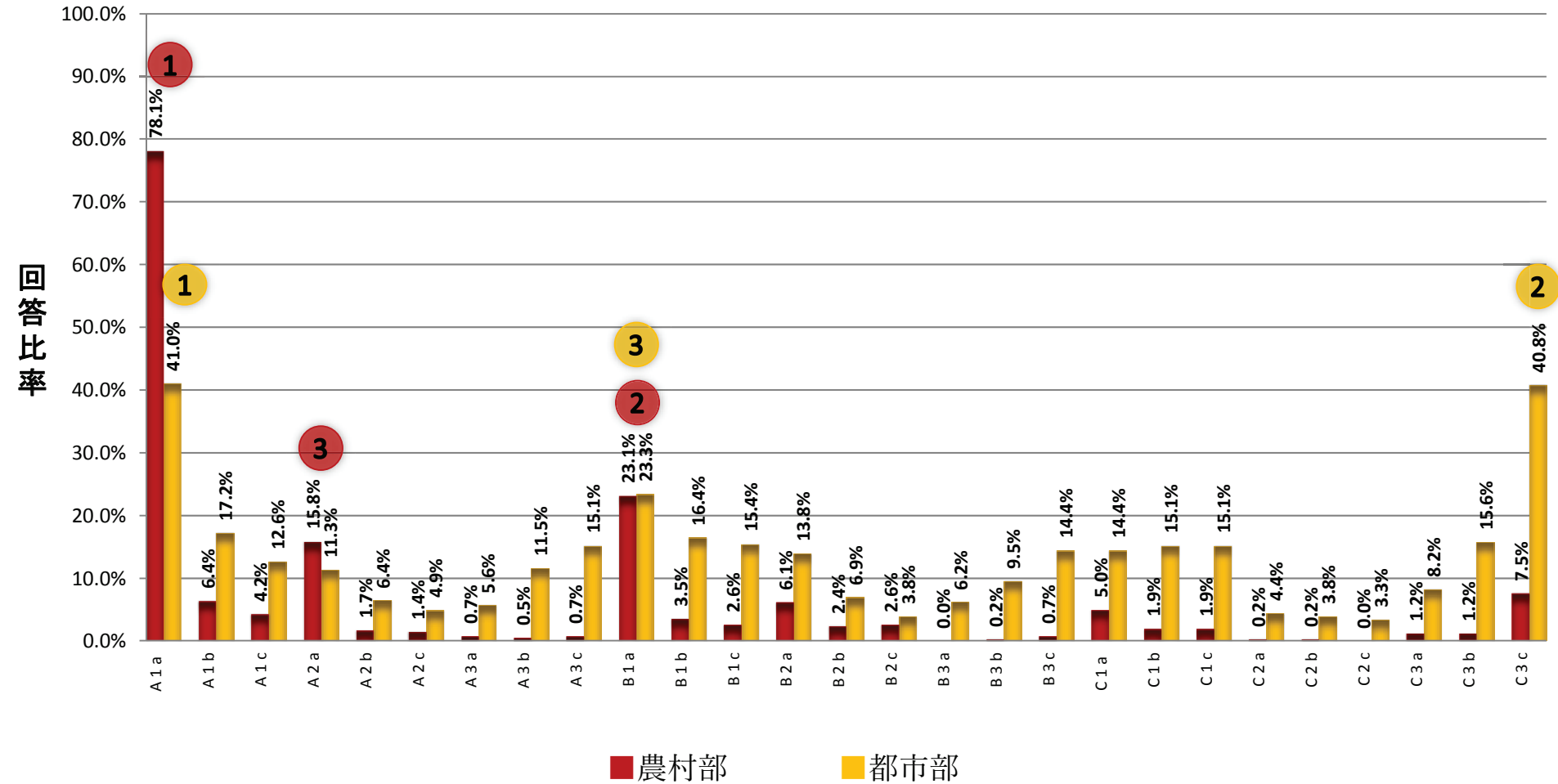
問2. 大学生がよく使う順位の回答

①	A1a ○	Mbak, (年上女性の 呼称、～さん) NAME (appellation)	Pak Dekan (学部長、 ～さん) NAME (appellation)	badhe (K) ～なさいます will	tindak (Ki) いらっしゃる go	dhateng (K) ～(の方)へ to	Solo? (地名) PLACE	学生が 「使う」 89%
ラテイさん、学部長は ソロの 方へ いらっしゃいますか。								
②	C1b, C1c ○	Mbak,	Pak Dekan	arep(N) ～する	tindak (Ki) いらっしゃる	menyang(N) ～ ning (N) ～	Solo?	27%, 24%
ラテイさん、学部長は ソロ へ いらっしゃるのか。								
③	B1a (2)	Mbak,	Pak Dekan	ajeng(M) ～します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo?	63%
ラテイさん、学部長は ソロの方 へ いらっしゃるのですか。								
④	B1b (2), A1b (1)	Mbak,	Pak Dekan	ajeng(M) ～します badhe (K) ～なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	menyang(N) ～	Solo?	39%, 41%
ラテイさん、学部長は ソロ へ いらっしゃるのですか。 ラテイさん、学部長は ソロ へ いらっしゃいますか。								
⑤	C3c, C3b ×	Mbak,	Pak Dekan	arep(N) ～する	lunga(N) ～行く	ning (N) ～ menyang(N) ～	Solo?	16%, 15%
ラテイさん、学部長は ソロ へ 行くの。								

グラフ問2-1. ジャワ語専門家と高校教師の回答比較



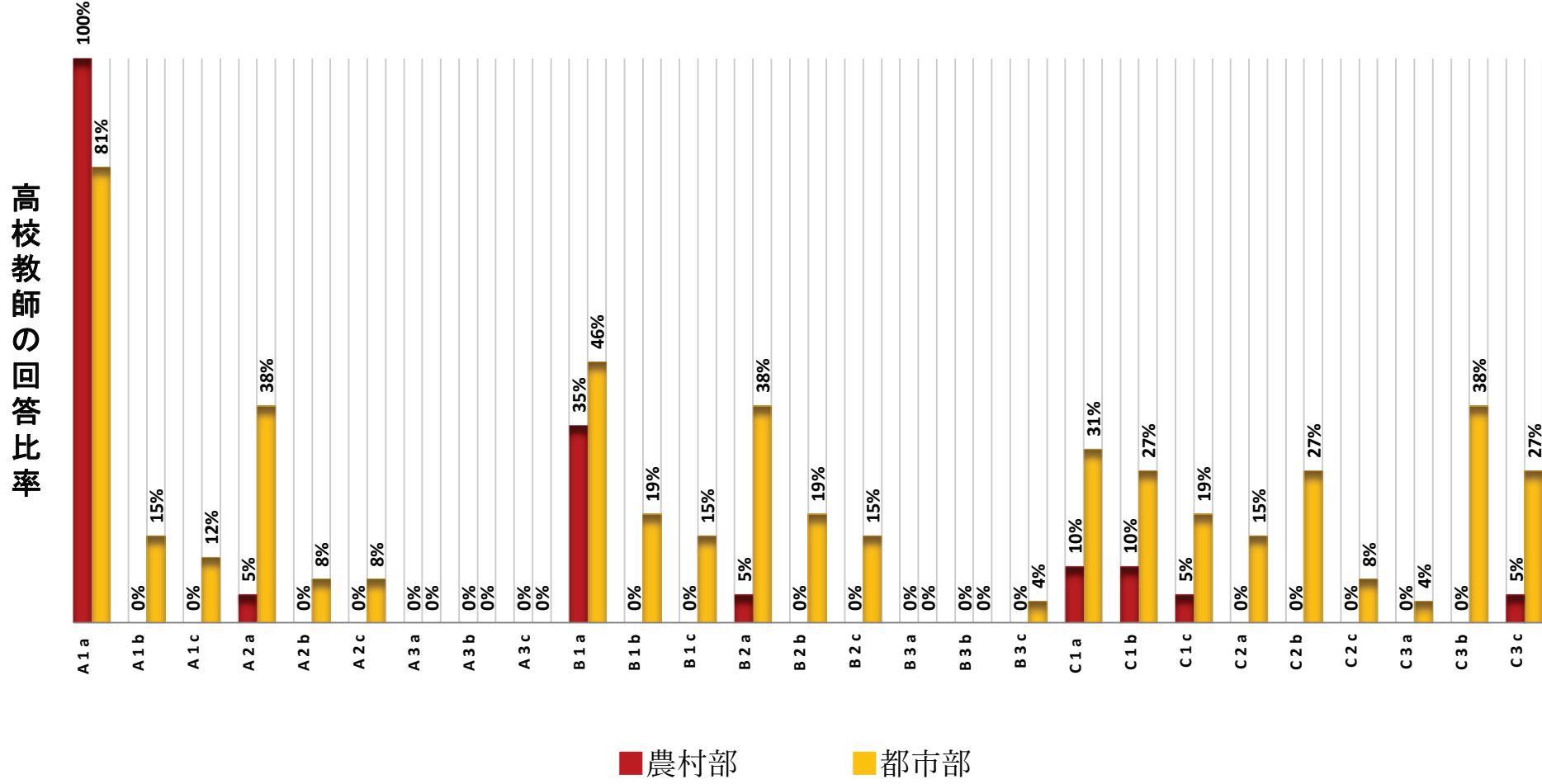
グラフ問2-2. 農村部と都市部の高校生の回答比率



グラフ問2-2-5. 農村部と都市部の全高校生の回答比較

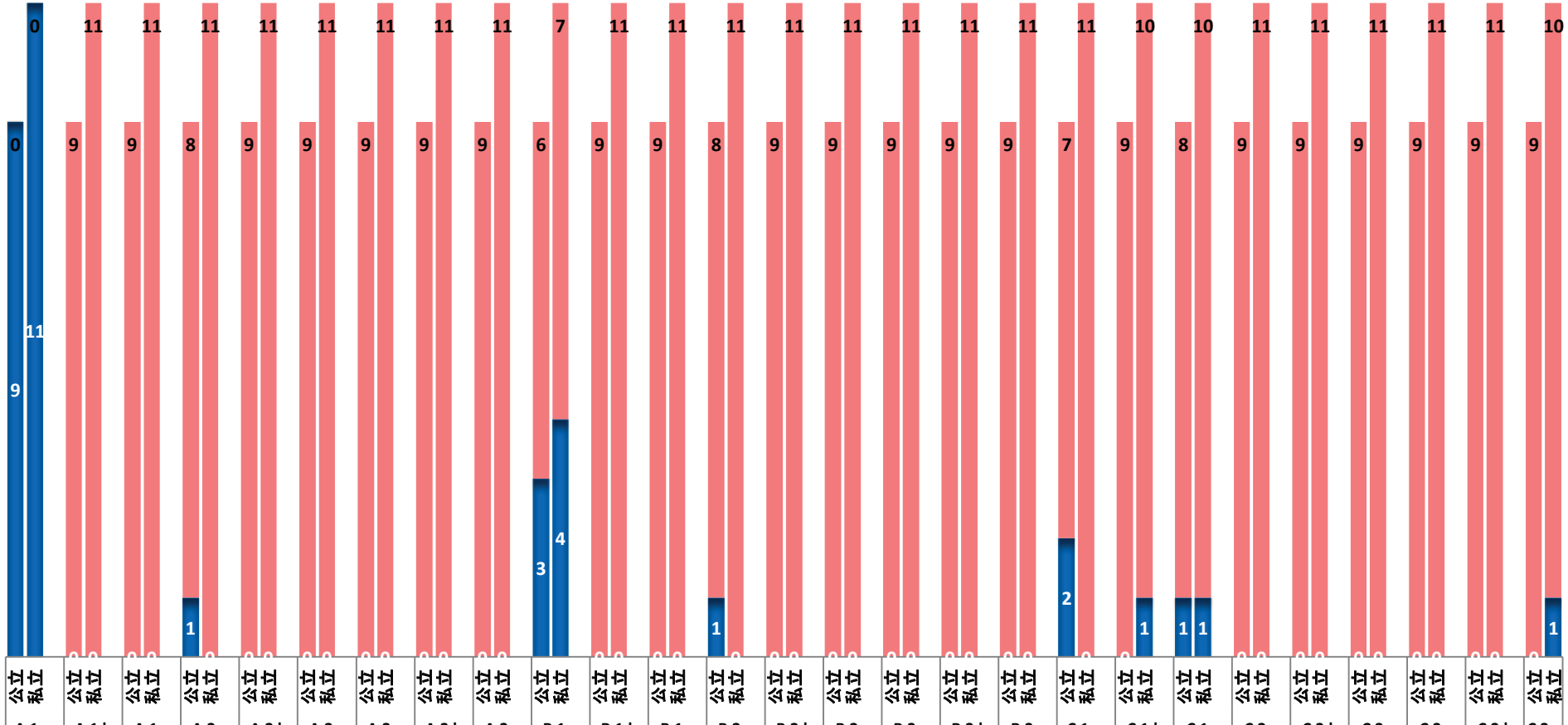


グラフ問2-3. 農村部と都市部の高校教師の回答比較



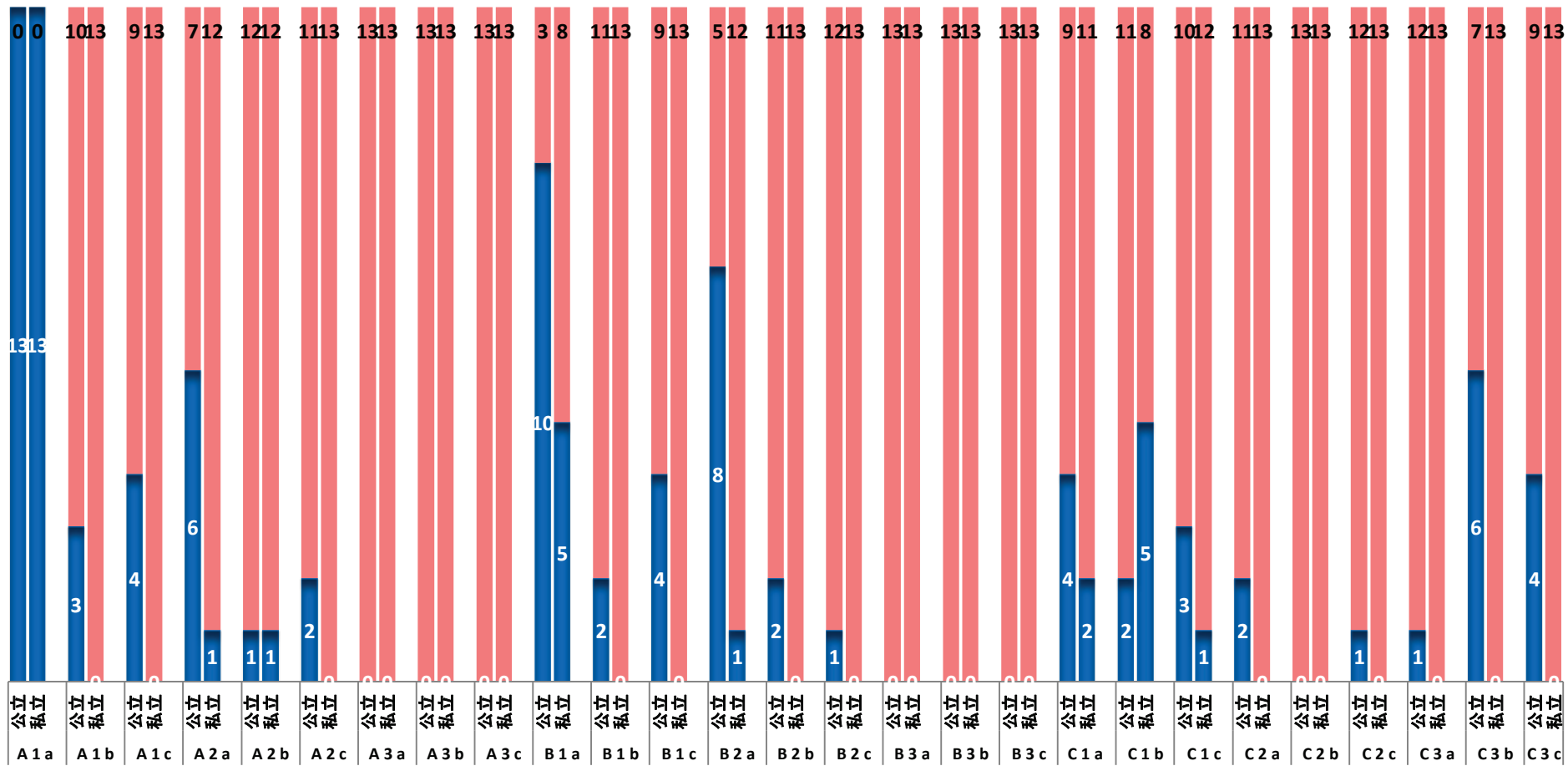
グラフ問2-3-1. 農村部の公立と私立の高校教師の回答比較

■ 正しい ■ 正しくない



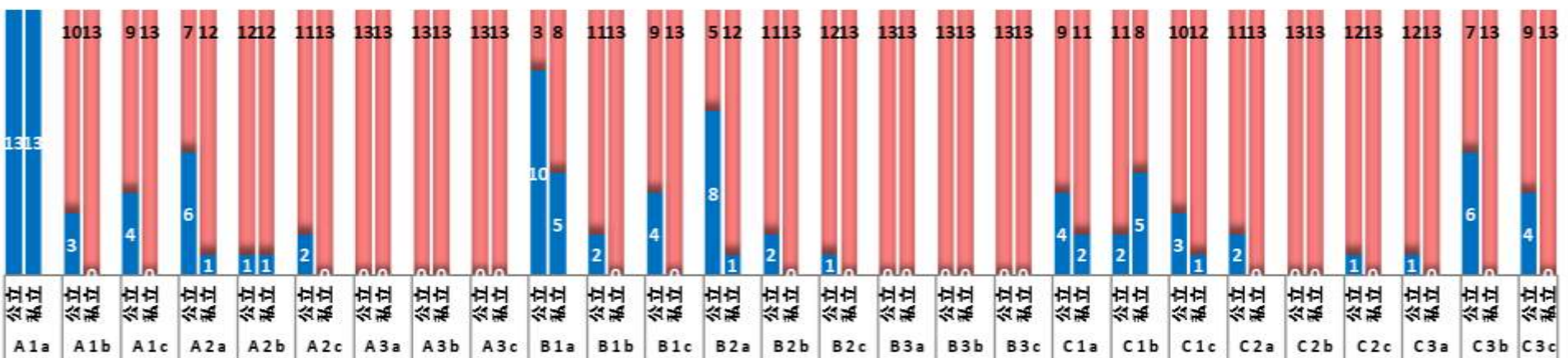
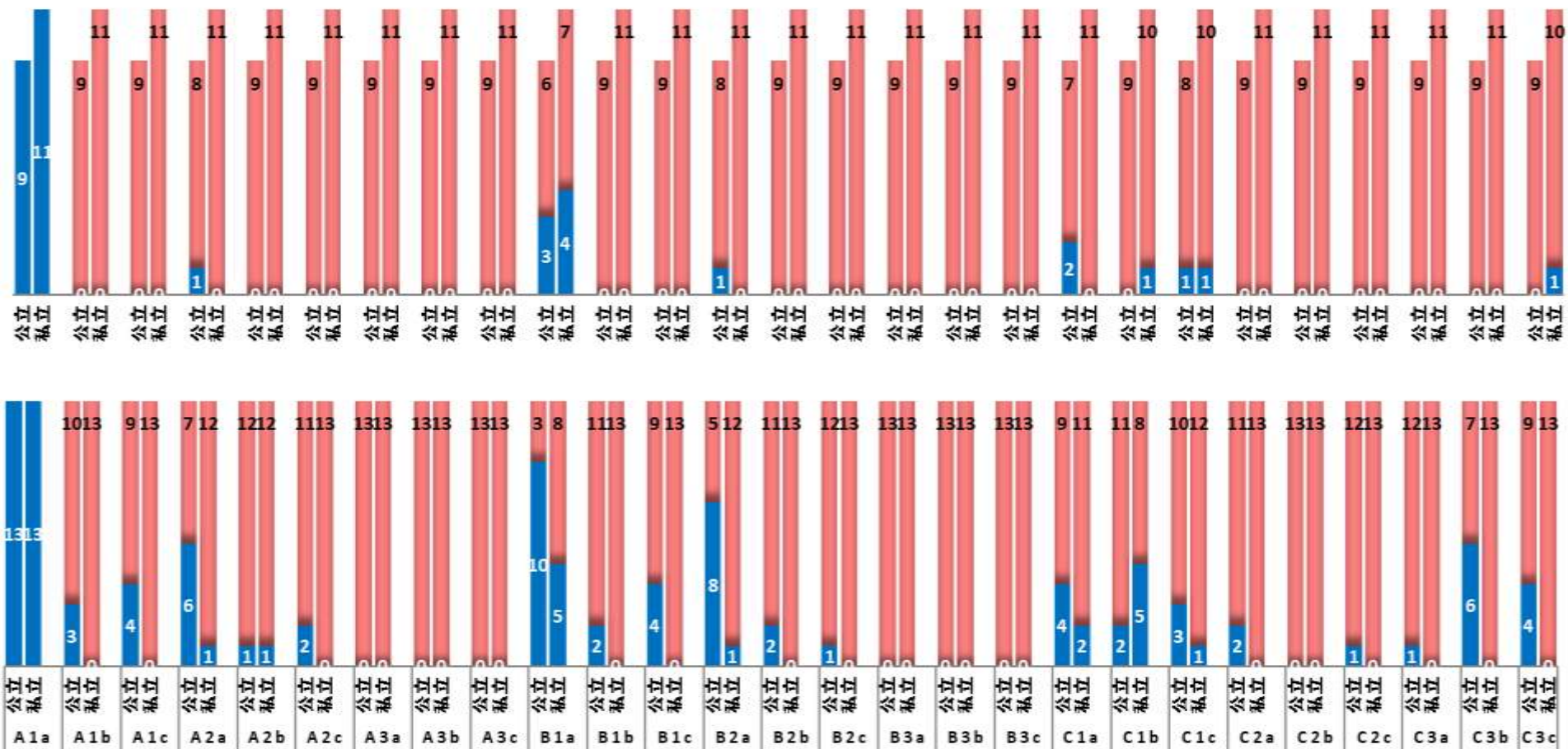
グラフ問2-3-2. 都市部の公立と私立の高校教師の回答比較

■ 正しい ■ 正しくない

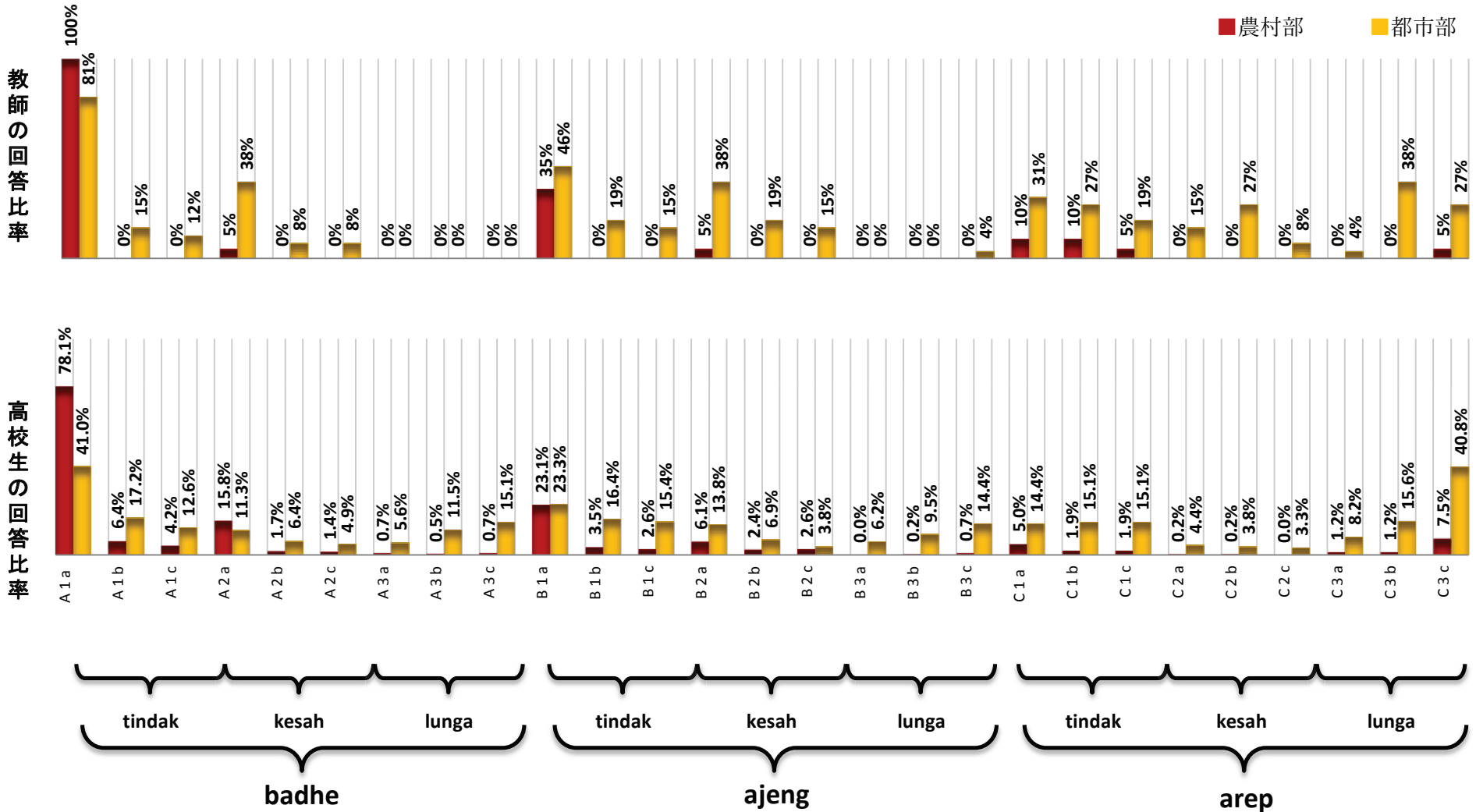


グラフ問2-3-3. 農村部と都市部の全高校教師の回答比較

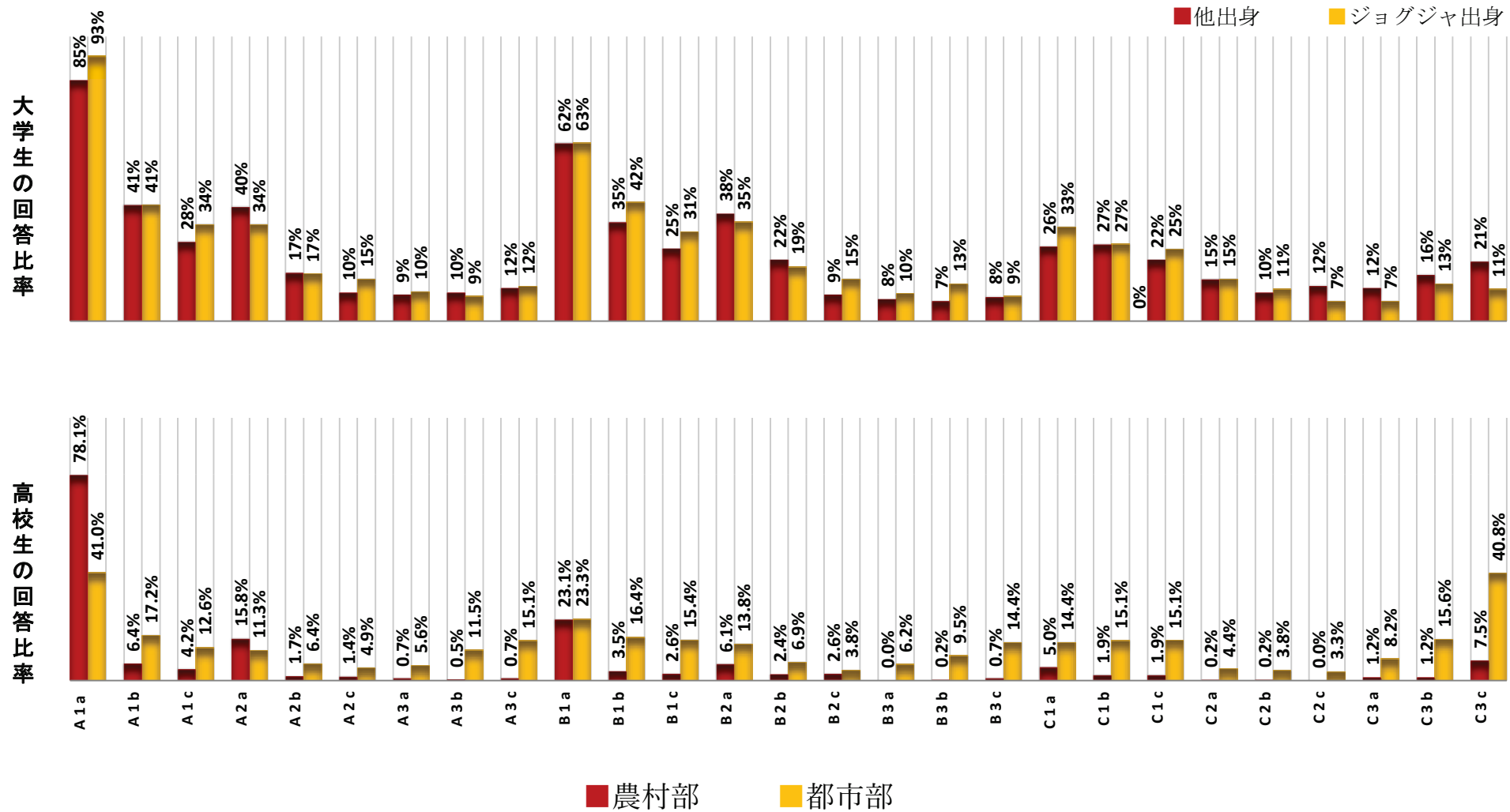
■ 正しい ■ 正しくない



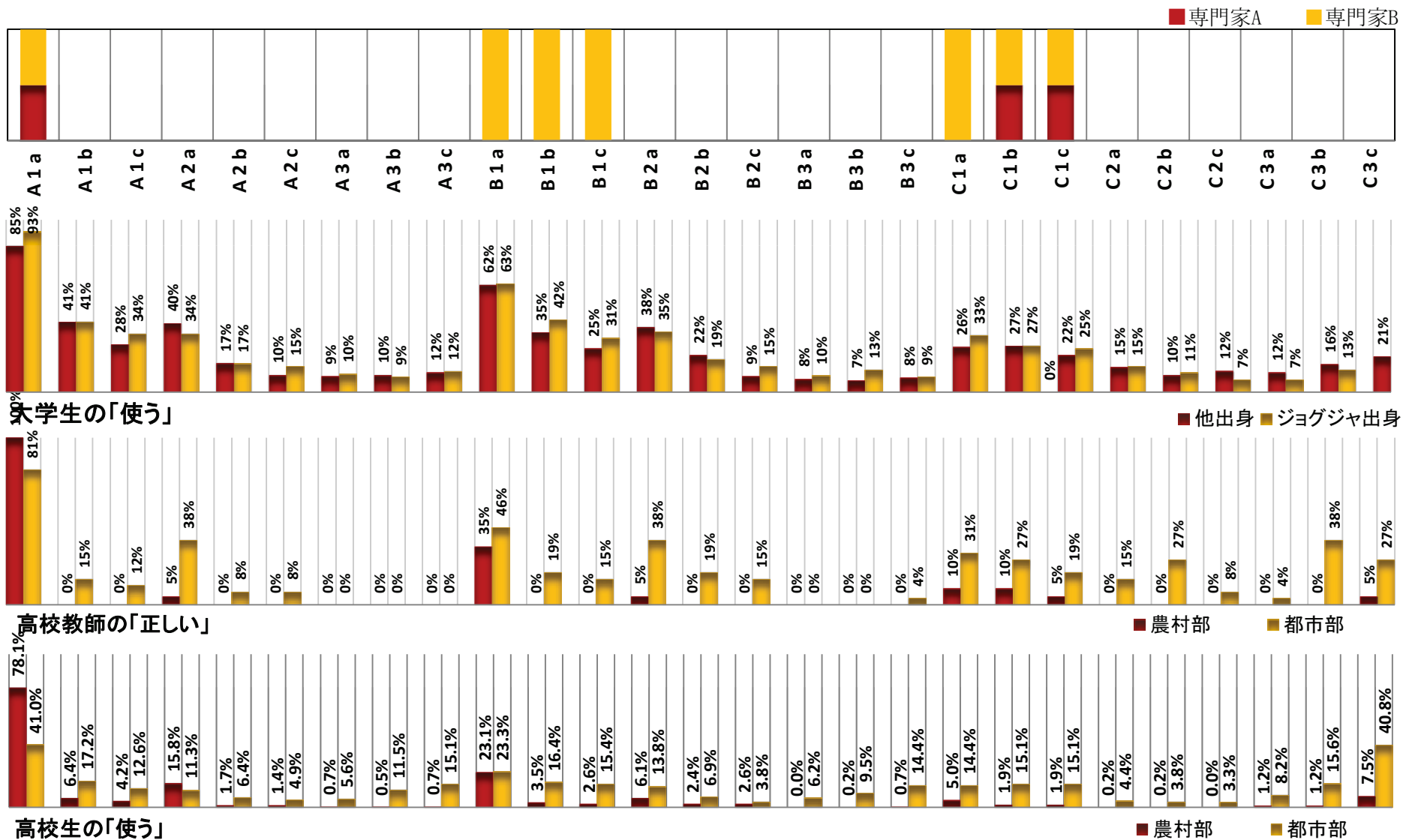
グラフ 問2-4. 高校教師と高校生の回答比較



グラフ問2-5. 大学生と高校生の回答比較



グラフ問2-6. ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較



問2-1.農村部の高校生がよく使う回答の順位

①	A1a ○	Mbak, (年上女性の 呼称、～さん)	Pak Dekan	badhe (K) ～なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo? (地名)	78%
		ラテイさん、学部長は ソロ の方へ いらっしゃいますか。						
②	B1a	Mbak,	Pak Dekan	ajeng (M) ～します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo?	23.1%
		ラテイさん、学部長は ソロ の方へ いらっしゃるのですか。						
③	A2a	Mbak,	Pak Dekan	badhe (K) ～なさいます	kesah (M) 行く	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo?	15.8%
		ラテイさん、学部長は ソロ の方へ 行きますか。						

問2-2.都市部の高校生がよく使う回答の順位

①	A1a ○	Mbak, (年上女性の 呼称、～さん)	Pak Dekan	badhe (K) ～なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo? (地名)	41%
		ラテイさん、学部長は ソロ の方へ いらっしゃいますか。						
②	B1a	Mbak,	Pak Dekan	arep (N) ～する	lunga (N) 行く	ning (N) ～	Solo?	40.8%
		ラテイさん、学部長は ソロ へ 行くの。						
③	C3c	Mbak,	Pak Dekan	ajeng (M) ～します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo?	23.3%
		ラテイさん、学部長は ソロ の方へ いらっしゃるのですか。						

Q3	Saya menjawab Mas Yoyok, bahwa saya akan datang ke Solo. A.Saya menggunakan kata Kula untuk menunjukkan diri sendiri. 私はヨヨさんにソロへ行くと答えた。A. 一人称として「Kula クロ(丁寧)」を使う						YOGYA ジョグジャ出身												LUAR YOGYA 他の出身												JAWABAN 先生の答え												
	No.	S 主語	ADV. 助動詞	V 動詞	PREP. 前置詞	PERTANYAAN 質問	CODE コード	#KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知らない			KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知っている			TOTAL 合計			Prosentase Terhadap Total Koresponden (115 org) 回答者の全体の割合(92人)			#KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知らない			KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知っている			TOTAL 合計			Prosentase Terhadap Total Koresponden (130 org) 回答者の全体の割合(95人)			Sensei A A 先生		Sensei B B 先生		Sensei C C 先生							
								GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETI わからない	GUNAKAN 使う	TIDAK GUNAKAN 使わない	TIDAK MENGETI わからない	BENAR 正しい	SALAH 正しくない	BENAR 正しい	SALAH 正しくない	BENAR 正しい	SALAH 正しくない			
1	Kula						tindak (1) K	dhateng (a) K	Kula badhe tindak dhateng Solo.	A 1 a	0	47	2	8	16	0	8	63	2	9%	68%	2%	23	46	1	8	15	2	31	61	3	33%	64%	3%	✓	✓	✓						
2								menyang (b) N	Kula badhe tindak menyang Solo.	A 1 b	17	80	1	7	16	1	24	66	2	26%	72%	2%	19	49	2	26%	72%	2%	19	49	2	31	61	3	33%	64%	3%	✓	✓	✓			
3								ning (c) N	Kula badhe tindak ning Solo.	A 1 c	11	56	1	6	17	1	17	73	2	18%	79%	2%	11	56	3	18%	79%	2%	11	56	3	17	74	4	18%	78%	4%	✓	✓	✓			
4							ajeng (2) M	kesah (2) M	dhateng (a) K	Kula badhe kesah dhateng Solo.	A 2 a	23	39	6	9	15	0	32	54	6	35%	59%	7%	25	44	1	35%	59%	7%	25	44	1	38	54	3	40%	57%	3%	✓	✓	✓		
5									menyang (b) N	Kula badhe kesah menyang Solo.	A 2 b	20	46	2	5	17	2	25	63	4	27%	68%	4%	12	54	4	27%	68%	4%	12	54	4	25	65	5	26%	68%	5%	✓	✓	✓		
6									ning (c) N	Kula badhe kesah ning Solo.	A 2 c	9	55	4	4	19	1	13	74	5	14%	80%	5%	9	59	2	14%	80%	5%	9	59	2	19	73	3	20%	77%	3%	✓	✓	✓		
7							lunga (3) N		dhateng (a) K	Kula badhe lunga dhateng Solo.	A 3 a	12	53	3	6	17	1	18	70	4	20%	76%	4%	13	55	2	20%	76%	4%	13	55	2	18	72	5	19%	76%	5%	✓	✓	✓		
8									menyang (b) N	Kula badhe lunga menyang Solo.	A 3 b	18	45	5	4	18	2	22	63	7	24%	68%	8%	16	53	1	24%	68%	8%	16	53	1	22	71	2	23%	75%	2%	✓	✓	✓		
9									ning (c) N	Kula badhe lunga ning Solo.	A 3 c	10	53	5	7	16	1	17	69	6	18%	75%	7%	12	57	1	18%	75%	7%	12	57	1	19	75	1	20%	79%	1%	✓	✓	✓		
10							ajeng (2) M	kesah (2) M	dhateng (a) K	Kula ajeng tindak dhateng Solo.	B 1 a	20	44	4	9	14	1	29	58	5	32%	63%	5%	22	46	2	32%	63%	5%	22	46	2	30	61	4	32%	64%	4%	✓	✓	✓		
11									menyang (b) N	Kula ajeng tindak menyang Solo.	B 1 b	20	44	4	8	15	1	28	59	5	30%	64%	5%	21	48	1	30%	64%	5%	21	48	1	29	64	2	31%	67%	2%	✓	✓	✓		
12									ning (c) N	Kula ajeng tindak ning Solo.	B 1 c	13	49	6	5	18	1	18	67	7	20%	73%	8%	13	54	3	20%	73%	8%	13	54	3	18	72	5	19%	76%	5%	✓	✓	✓		
13									lunga (3) N		dhateng (a) K	Kula ajeng kesah dhateng Solo.	B 2 a	27	37	4	11	12	1	38	49	5	41%	53%	5%	25	43	2	41%	53%	5%	25	43	2	38	53	4	40%	56%	4%	✓	✓	✓
14											menyang (b) N	Kula ajeng kesah menyang Solo.	B 2 b	22	40	6	6	16	2	28	56	8	30%	61%	9%	17	51	2	30%	61%	9%	17	51	2	30	63	2	32%	66%	2%	✓	✓	✓
15											ning (c) N	Kula ajeng kesah ning Solo.	B 2 c	10	53	5	6	17	1	16	70	6	17%	76%	7%	9	57	4	17%	76%	7%	9	57	4	18	71	6	19%	75%	6%	✓	✓	✓
16									lunga (3) N		dhateng (a) K	Kula ajeng lunga dhateng Solo.	B 3 a	17	46	5	11	13	0	28	59	5	30%	64%	5%	15	53	2	30%	64%	5%	15	53	2	22	68	5	23%	72%	5%	✓	✓	✓
17											menyang (b) N	Kula ajeng lunga menyang Solo.	B 3 b	22	39	7	5	18	1	27	57	8	29%	62%	9%	14	52	4	29%	62%	9%	14	52	4	21	69	5	22%	73%	5%	✓	✓	✓
18											ning (c) N	Kula ajeng lunga ning Solo.	B 3 c	11	52	5	6	17	1	17	69	6	18%	75%	7%	11	56	3	18%	75%	7%	11	56	3	15	75	5	16%	79%	5%	✓	✓	✓
19							arep (2) N	kesah (2) M	dhateng (a) K	Kula arep tindak dhateng Solo.	C 1 a	11	53	4	6	16	0	17	71	4	18%	77%	4%	8	61	1	18%	77%	4%	8	61	1	12	79	4	13%	83%	4%	✓	✓	✓		
20									menyang (b) N	Kula arep tindak menyang Solo.	C 1 b	12	53	3	6	18	0	18	71	3	20%	77%	3%	8	59	3	20%	77%	3%	8	59	3	12	79	4	13%	83%	4%	✓	✓	✓		
21									ning (c) N	Kula arep tindak ning Solo.	C 1 c	11	53	4	3	20	1	14	73	5	15%	79%	5%	9	59	2	15%	79%	5%	9	59	2	12	80	3	13%	84%	3%	✓	✓	✓		
22									lunga (3) N		dhateng (a) K	Kula arep kesah dhateng Solo.	C 2 a	8	55	5	3	21	0	11	76	5	12%	83%	5%	4	64	2	12%	83%	5%	4	64	2	12	77	6	13%	81%	6%	✓	✓	✓
23											menyang (b) N	Kula arep kesah menyang Solo.	C 2 b	4	56	8	5	19	0	9	75	8	10%	82%	9%	7	60	3	10%	82%	9%	7	60	3	13	77	5	14%	81%	5%	✓	✓	✓
24											ning (c) N	Kula arep kesah ning Solo.	C 2 c	3	56	9	2	21	1	5	77	10	5%	84%	11%	3	63	4	5%	84%	11%	3	63	4	8	81	6	8%	85%	6%	✓	✓	✓
25									lunga (3) N		dhateng (a) K	Kula arep lunga dhateng Solo.	C 3 a	14	50	4	8	16	0	22	66	4	24%	72%	4%	9	59	2	24%	72%	4%	9	59	2	17	73	5	18%	77%	5%	✓	✓	✓
26											menyang (b) N	Kula arep lunga menyang Solo.	C 3 b	20	45	3	8	16	0	28	61	3	30%	66%	3%	16	50	4	30%	66%	3%	16	50	4	24	67	4	25%	71%	4%	✓	✓	✓
27											ning (c) N	Kula arep lunga ning Solo.	C 3 c	15	50	3	6	17	1	21	67	4	23%	73%	4%	16	50	4	23%	73%	4%	16	50	4	23	67	5	24%	71%	5%	✓	✓	✓

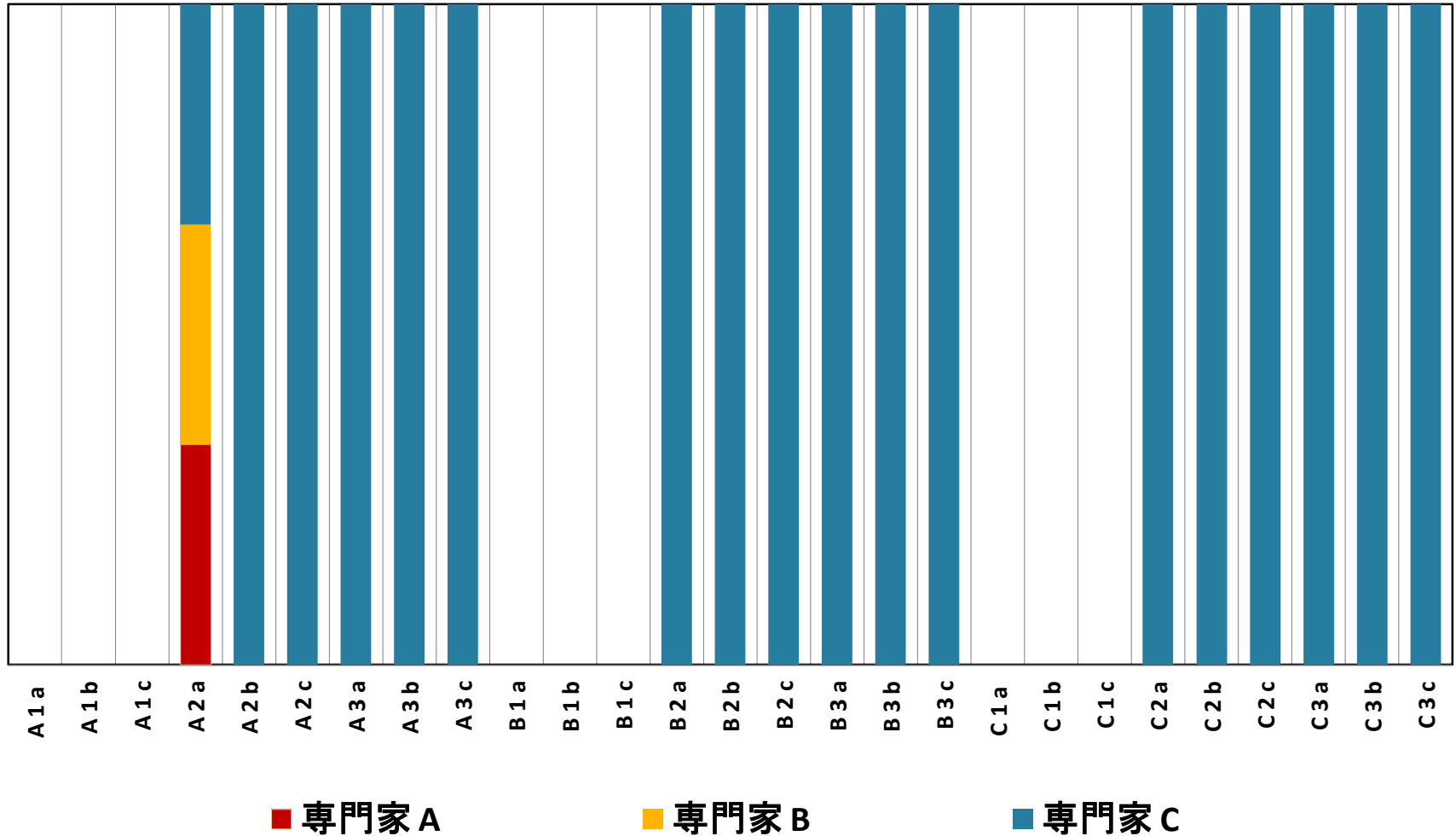
説明 : K = Krama クロモ
M = Madya マディオ
N = Ngoko ンゴコ

KULA = 68/84 KULA = 24/31 TOTAL = 92/115 KULA = 70/96 KULA = 25/34 TOTAL = 95/130

問3a.謙讓的表現の使用を測る設問(私(K語)はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える)

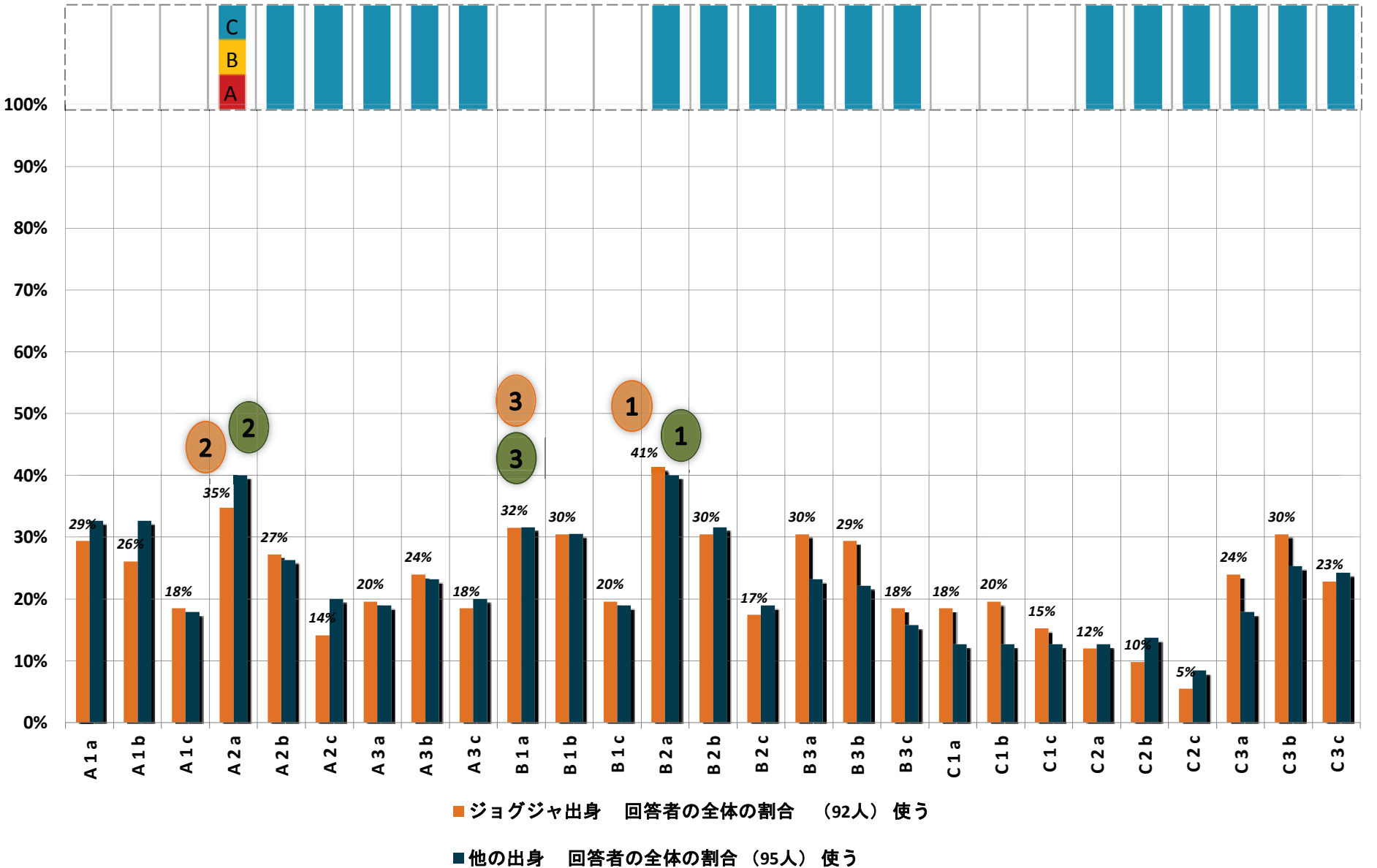
Q3a	Saya menjawab Mas Yoyok bahwa saya akan datang ke Solo. (私はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える。)					
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文体	コード
1	Kula 私 (K語) NAME (appellation)	badhe(K) (A) ~致します Will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula badhe tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃいます。	A 1 a
2			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Kula badhe tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃいます。	A 1 b
3				ning(N) (c) ~へ to	Kula badhe tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃいます。	A 1 c
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula badhe kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ行きます。	A 2 a
5				menyang(N) (b) ~へ to	Kula badhe kesah menyang Solo. 私はソロへ行きます。	A 2 b
6				ning(N) (c) ~へ to	Kula badhe kesah ning Solo. 私はソロへ行きます。	A 2 c
7			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula badhe lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行くんす。	A 3 a
8				menyang(N) (b) ~へ to	Kula badhe lunga menyang Solo. 私はソロへ行くんす。	A 3 b
9				ning(N) (c) ~へ to	Kula badhe lunga ning Solo. 私はソロへ行くんす。	A 3 c
10		ajeng(M) (B) ~します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula ajeng tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃるのです。	B 1 a
11			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Kula ajeng tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃるのです。	B 1 b
12				ning(N) (c) ~へ to	Kula ajeng tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃるのです。	B 1 c
13			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula ajeng kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ行くのです。	B 2 a
14				menyang(N) (b) ~へ to	Kula ajeng kesah menyang Solo. 私はソロへ行くのです。	B 2 b
15				ning(N) (c) ~へ to	Kula ajeng kesah ning Solo. 私はソロへ行くのです。	B 2 c
16			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula ajeng lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行くつす。	B 3 a
17				menyang(N) (b) ~へ to	Kula ajeng lunga menyang Solo. 私はソロへ行くつす。	B 3 b
18				ning(N) (c) ~へ to	Kula ajeng lunga ning Solo. 私はソロへ行くつす。	B 3 c
19		arep(N) (C) ~する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula arep tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃる。	C 1 a
20			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Kula arep tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃる。	C 1 b
21				ning(N) (c) ~へ to	Kula arep tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃる。	C 1 c
22			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula arep kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ行く。	C 2 a
23				menyang(N) (b) ~へ to	Kula arep kesah menyang Solo. 私はソロへ行く。	C 2 b
24				ning(N) (c) ~へ to	Kula arep kesah ning Solo. 私はソロへ行く。	C 2 c
25			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula arep lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行く。	C 3 a
26				menyang(N) (b) ~へ to	Kula arep lunga menyang Solo. 私はソロへ行く。	C 3 b
27				ning(N) (c) ~へ to	Kula arep lunga ning Solo. 私はソロへ行く。	C 3 c

グラフ問3a-1. ジャワ語専門家による規範的な文体

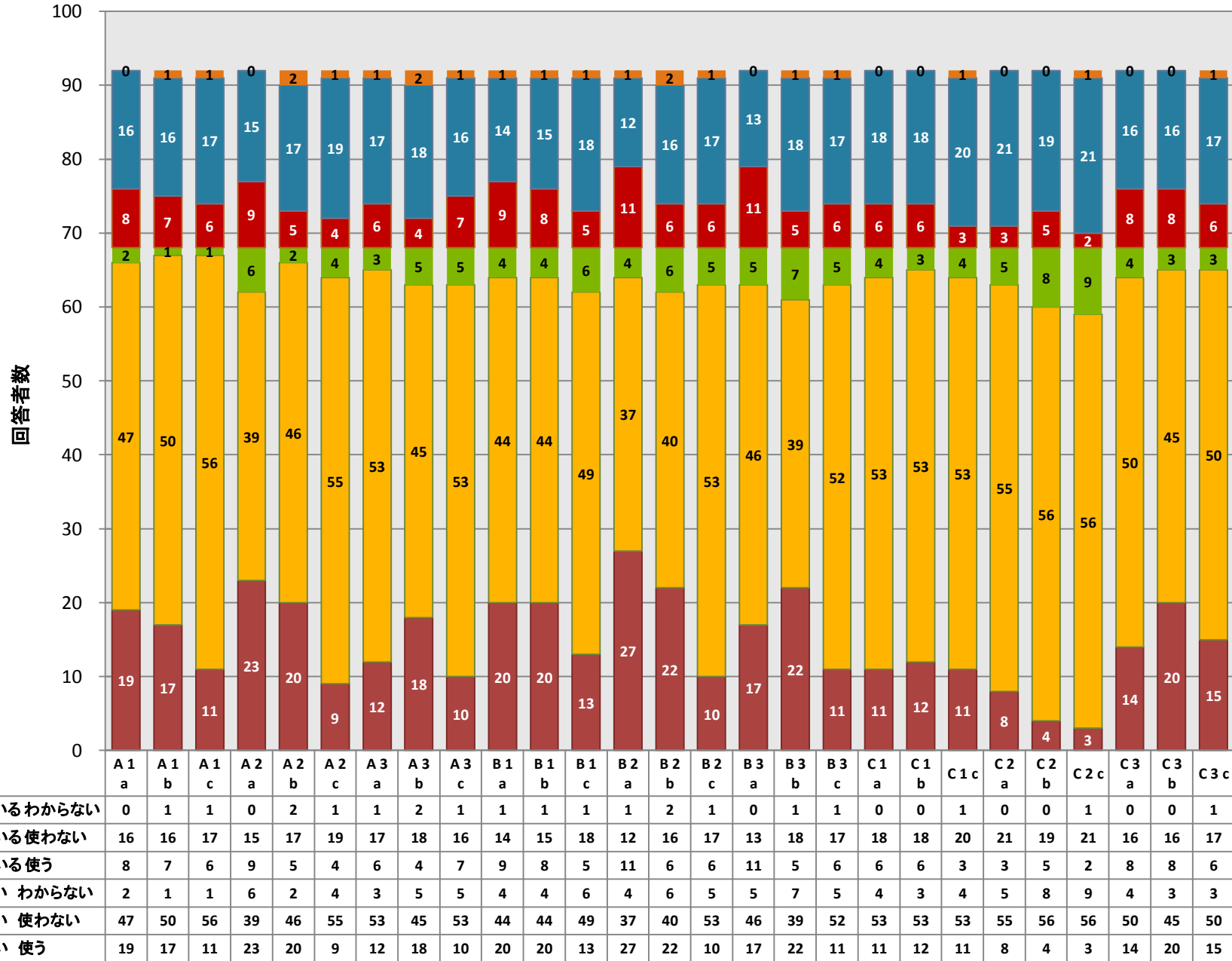


グラフ問3a-2. ジャワ語専門家と学生の回答比較

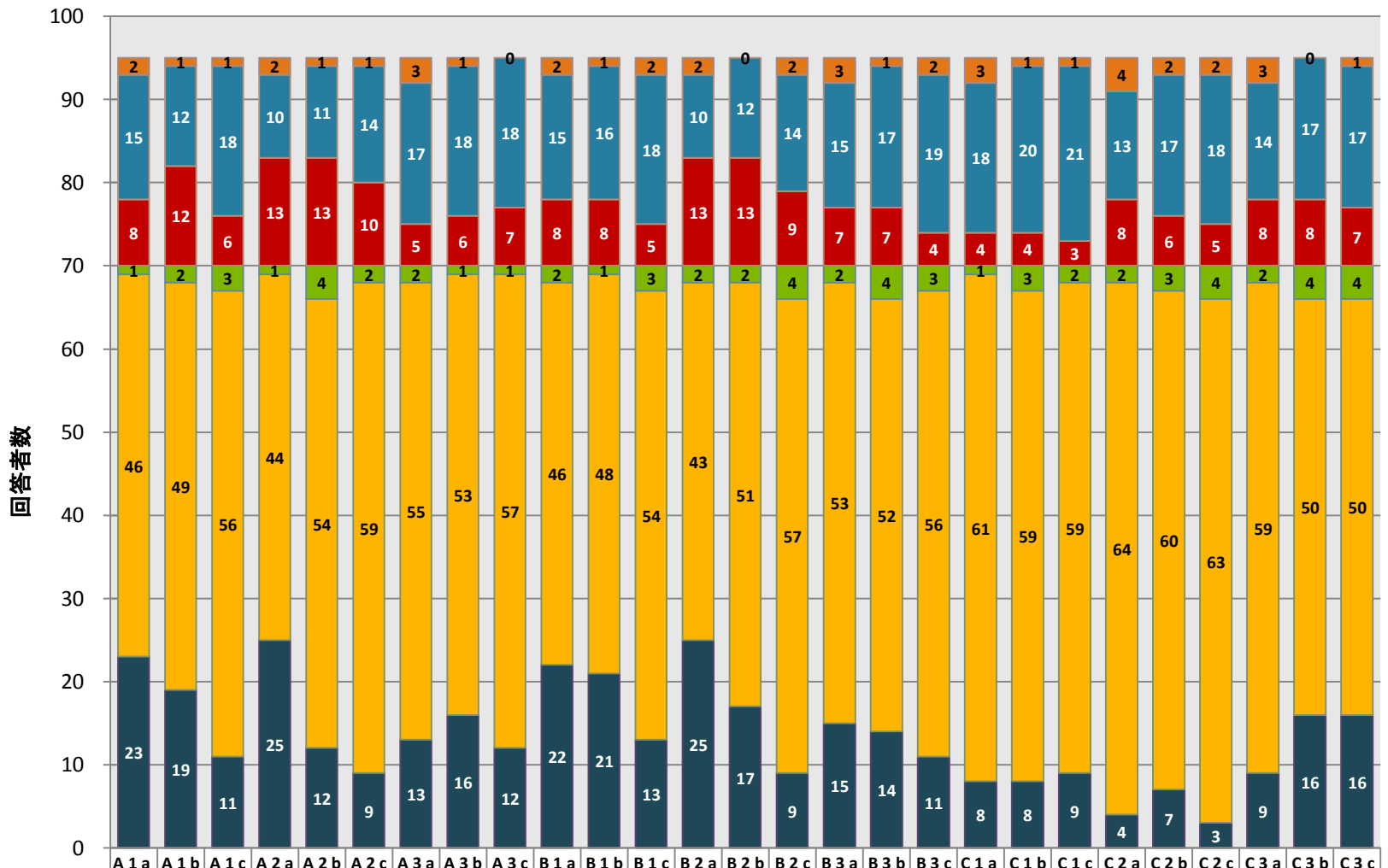
■ 専門家A ■ 専門家B ■ 専門家C



グラフ問3a-2-1. クロモルマ体についての回答比較 (ジョグジャカルタ出身)

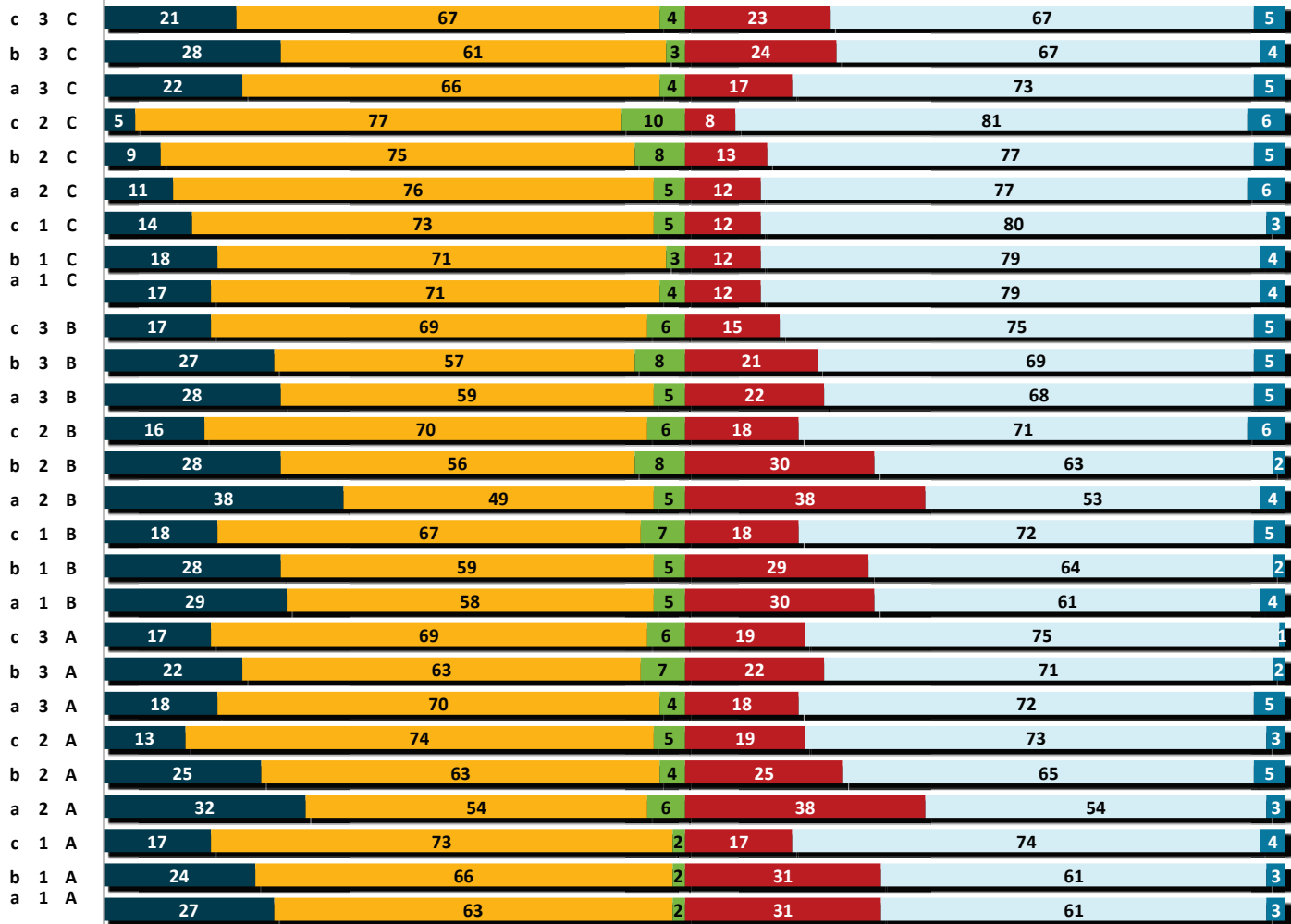


グラフ問3a-2-2. クロモルマ体についての回答比較 (他州の出身)



	A 1 a	A 1 b	A 1 c	A 2 a	A 2 b	A 2 c	A 3 a	A 3 b	A 3 c	B 1 a	B 1 b	B 1 c	B 2 a	B 2 b	B 2 c	B 3 a	B 3 b	B 3 c	C 1 a	C 1 b	C 1 c	C 2 a	C 2 b	C 2 c	C 3 a	C 3 b	C 3 c
■クロモ・ルマを知っている わからない	2	1	1	2	1	1	3	1	0	2	1	2	2	0	2	3	1	2	3	1	1	4	2	2	3	0	1
■クロモ・ルマを知っている 使わない	15	12	18	10	11	14	17	18	18	15	16	18	10	12	14	15	17	19	18	20	21	13	17	18	14	17	17
■クロモ・ルマを知っている 使う	8	12	6	13	13	10	5	6	7	8	8	5	13	13	9	7	7	4	4	4	3	8	6	5	8	8	7
■クロモ・ルマを知らない わからない	1	2	3	1	4	2	2	1	1	2	1	3	2	2	4	2	4	3	1	3	2	2	3	4	2	4	4
■クロモ・ルマを知らない 使わない	46	49	56	44	54	59	55	53	57	46	48	54	43	51	57	53	52	56	61	59	59	64	60	63	59	50	50
■クロモ・ルマを知らない 使う	23	19	11	25	12	9	13	16	12	22	21	13	25	17	9	15	14	11	8	8	9	4	7	3	9	16	16

グラフ問3a-2-3. ジョグジャカルタ出身と他州の出身の回答比較

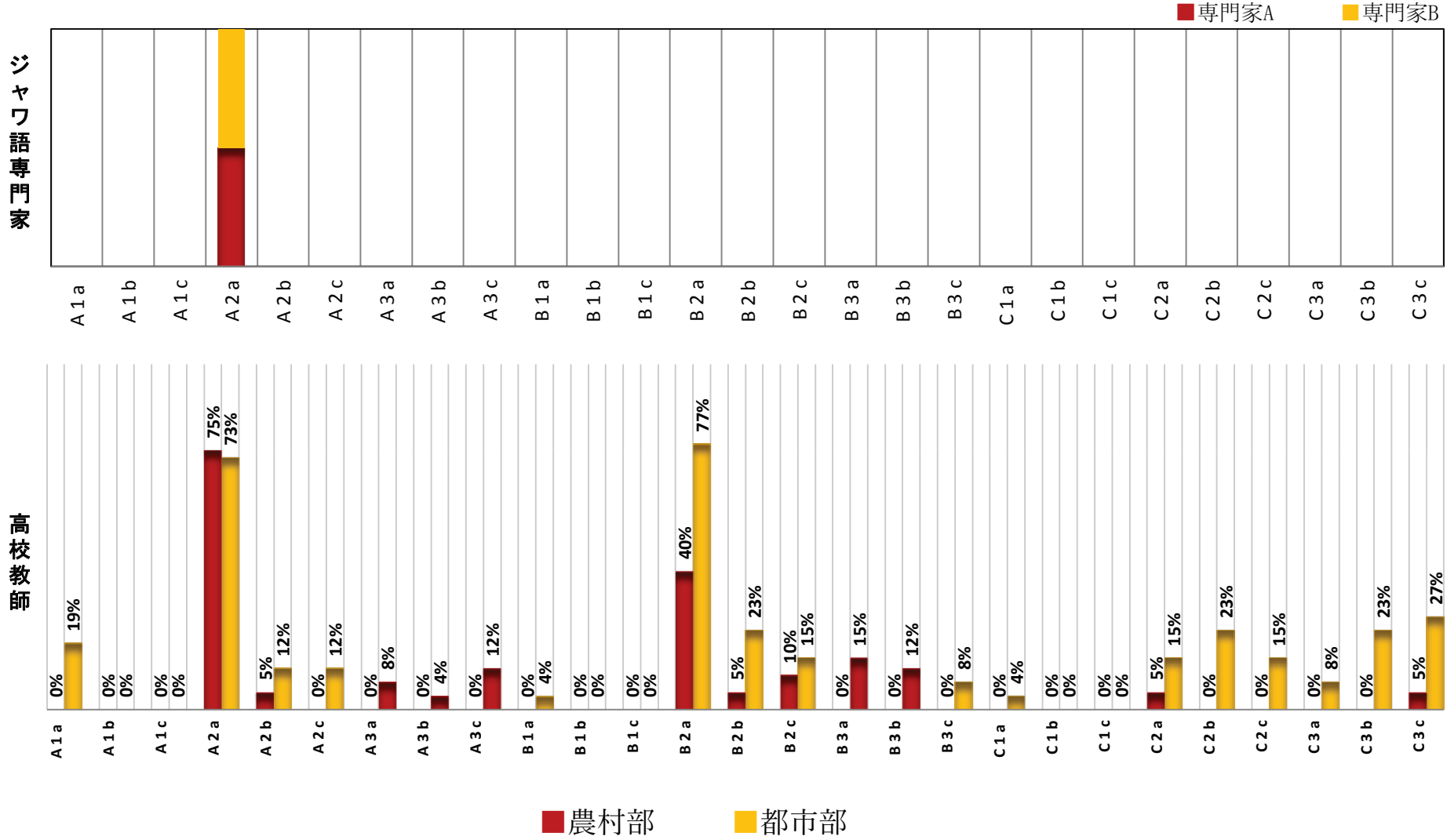


	A1 a	A1 b	A1 c	A2 a	A2 b	A2 c	A3 a	A3 b	A3 c	B1 a	B1 b	B1 c	B2 a	B2 b	B2 c	B3 a	B3 b	B3 c	C1 a	C1 b	C1 c	C2 a	C2 b	C2 c	C3 a	C3 b	C3 c
■ ジョグジャ出身合計使う	27	24	17	32	25	13	18	22	17	29	28	18	38	28	16	28	27	17	17	18	14	11	9	5	22	28	21
■ ジョグジャ出身合計使わない	63	66	73	54	63	74	70	63	69	58	59	67	49	56	70	59	57	69	71	71	73	76	75	77	66	61	67
■ ジョグジャ出身合計わからない	2	2	2	6	4	5	4	7	6	5	5	7	5	8	6	5	8	6	4	3	5	5	8	10	4	3	4
■ 他のお出身合計使う	31	31	17	38	25	19	18	22	19	30	29	18	38	30	18	22	21	15	12	12	12	12	13	8	17	24	23
■ 他のお出身合計使わない	61	61	74	54	65	73	72	71	75	61	64	72	53	63	71	68	69	75	79	79	80	77	77	81	73	67	67
■ 他のお出身合計わからない	3	3	4	3	5	3	5	2	1	4	2	5	4	2	6	5	5	5	4	4	3	6	5	6	5	4	5

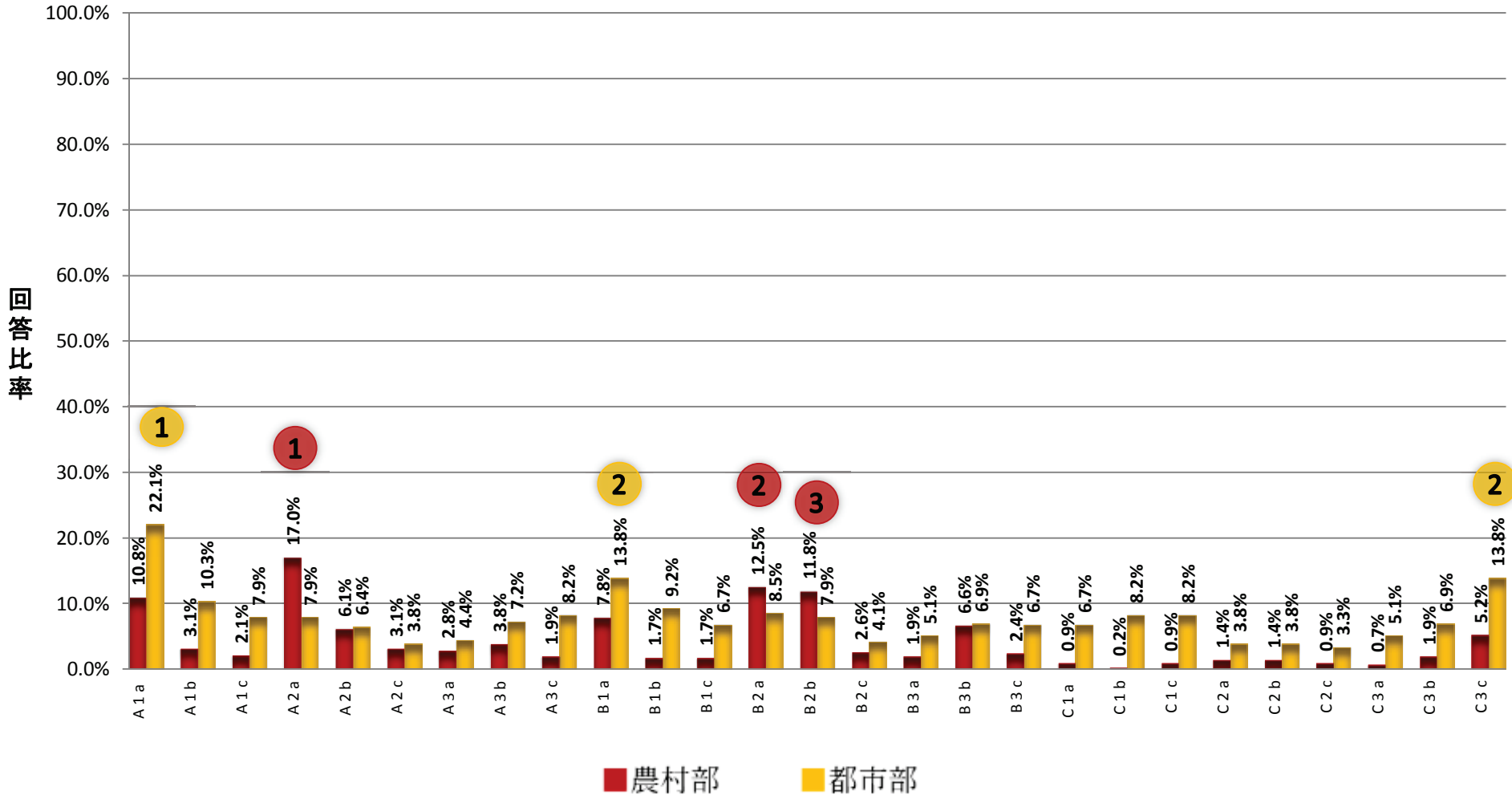
問3a. 大学生がよく使う回答の順位

②	A2a ○	Kula 私(クロモ アンダップ語) NAME (appellation)	badhe (K) ~致します will	kesah (M) 行く go	dhateng (K) ~(の方)へ to	Solo. (地名) PLACE	学生が 「使う」 38%
私は ソロ の方へ 参ります。							
①	B2a (1)	Kula	ajeng (M) ~します	kesah (M) 行く	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	41%
私は ソロ の方へ 参るのです。							
③	B1a ×	Kula	ajeng (M) ~します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	32%
私は ソロ の方へ いらっしゃるのです。							
④	A1a ×	Kula	badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	31%
私は ソロ の方へ いらっしゃいます。							
⑤	A1b ×	Kula	badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしゃる	menyang(N) ~へ	Solo.	30%
私は ソロ へ いらっしゃいます。							

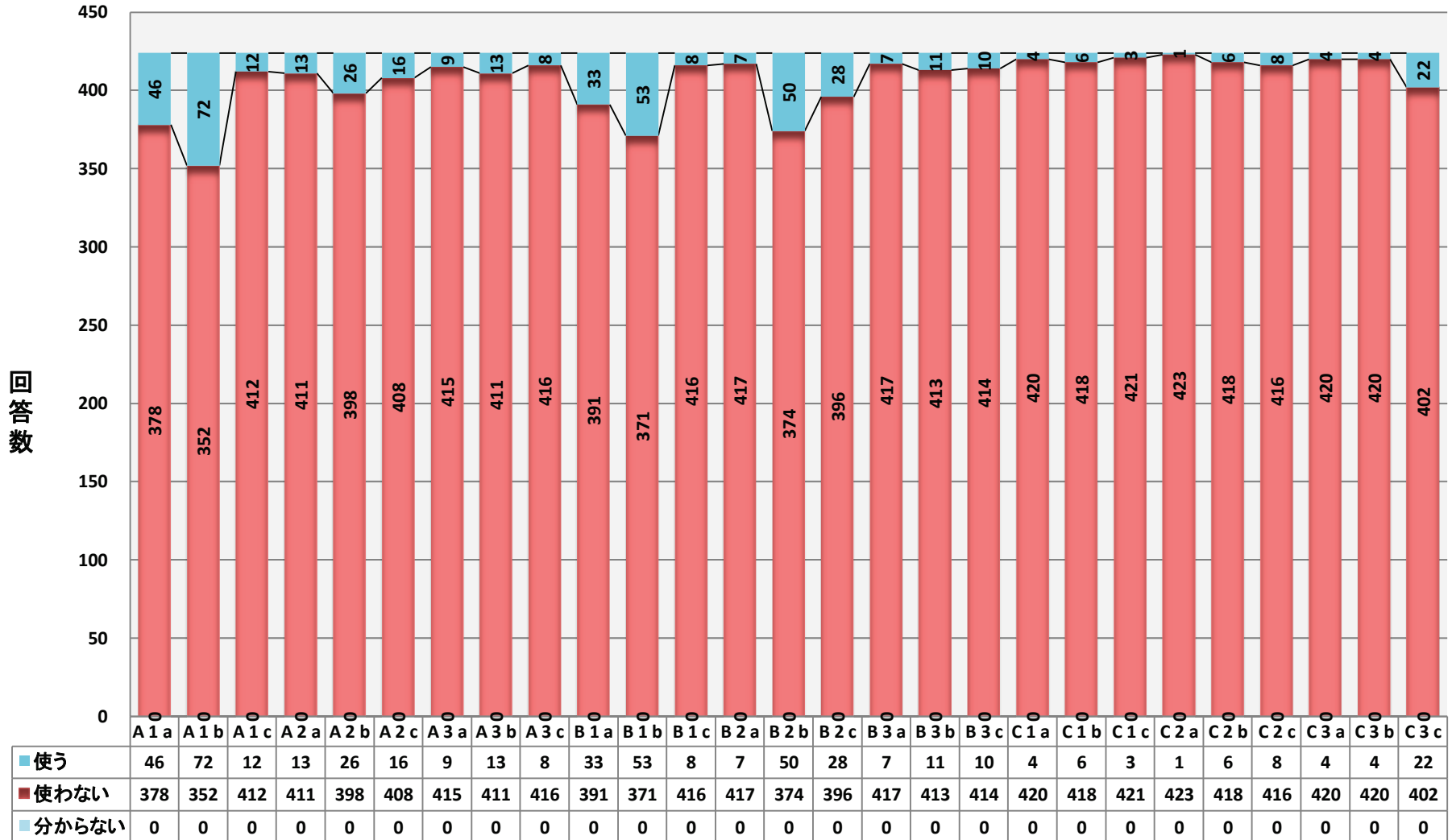
グラフ問3a-1. ジャワ語専門家と高校教師の回答比較



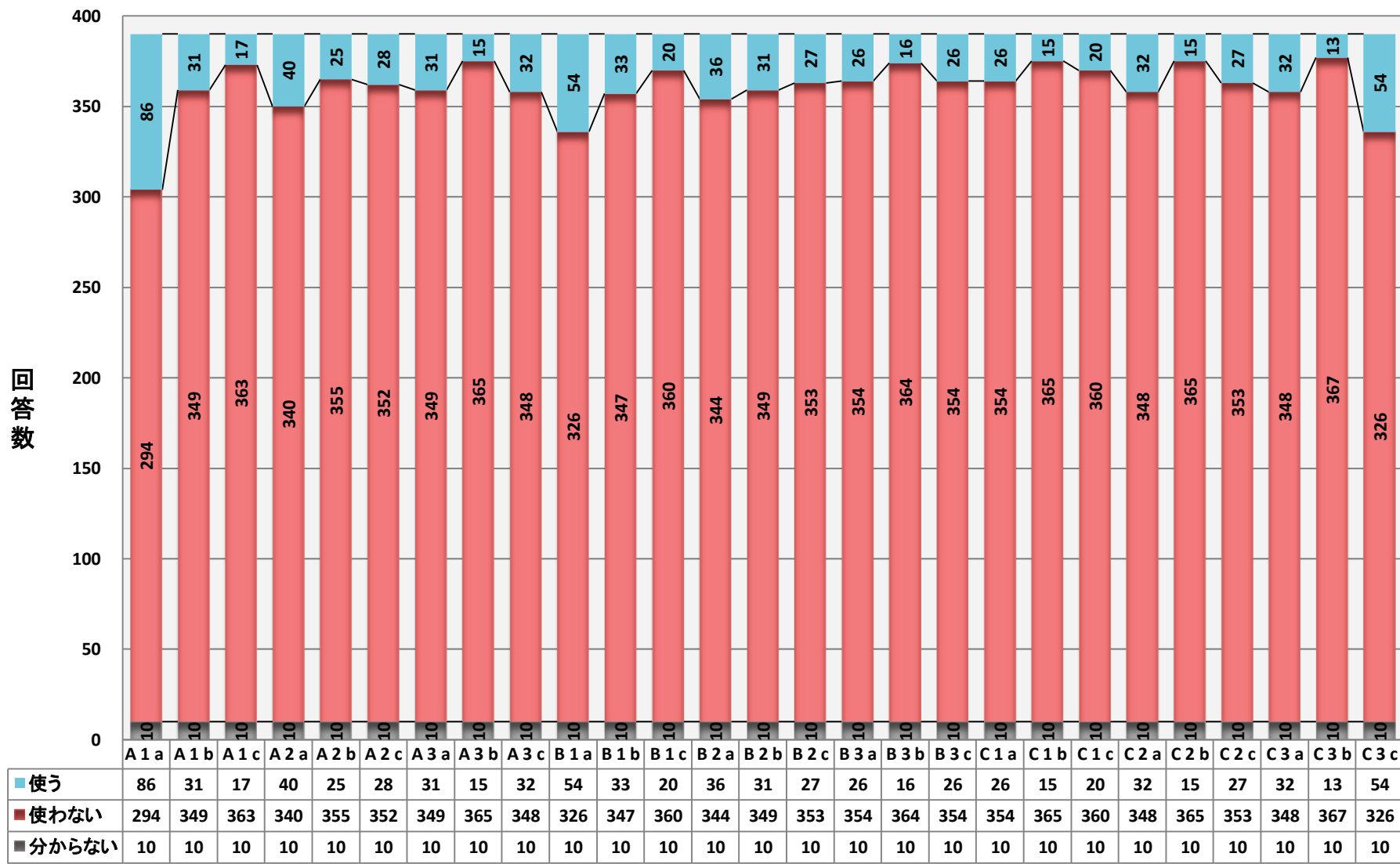
グラフ問3a-2. 農村部と都市部の高校生の回答比較



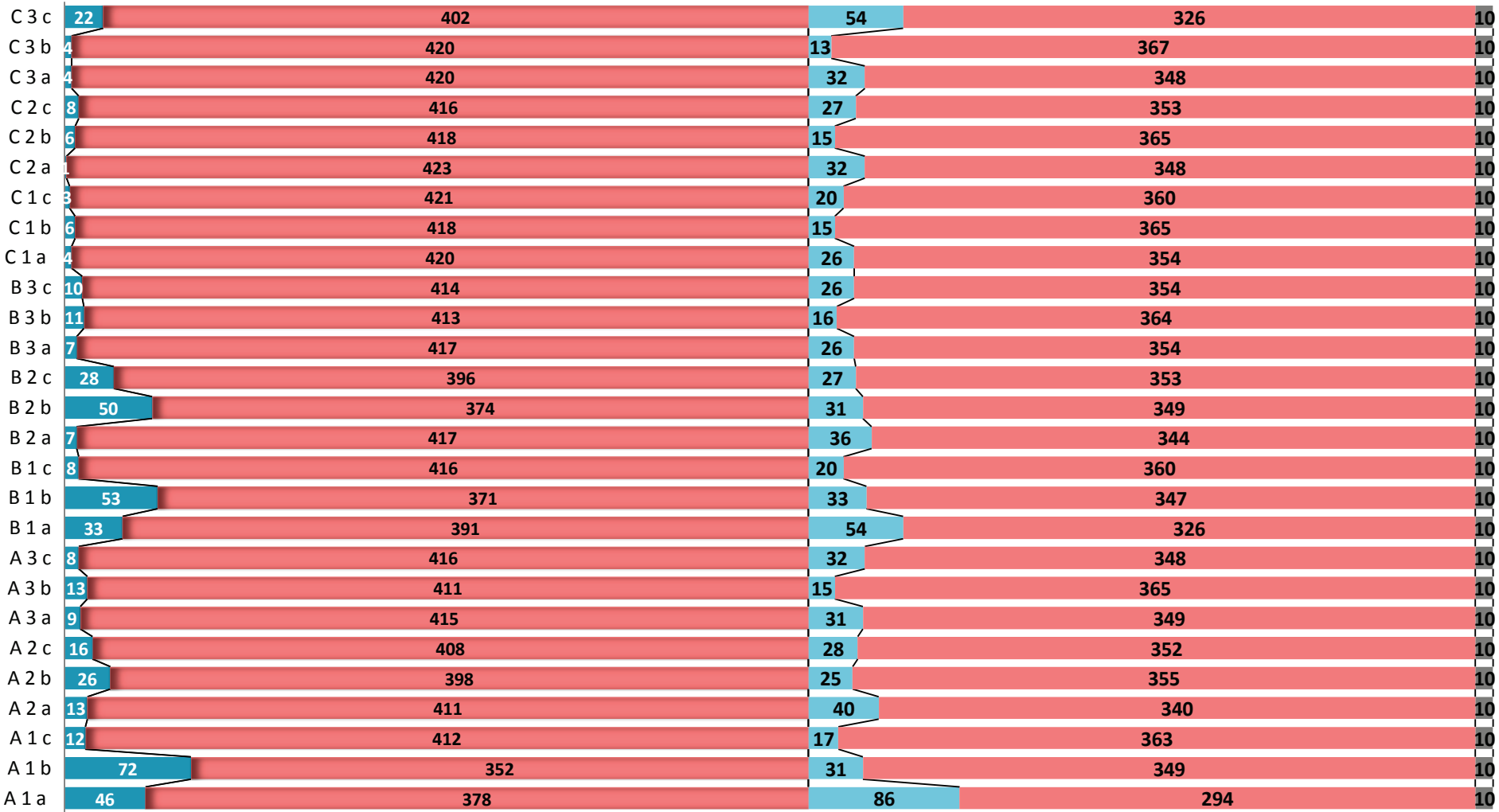
グラフ問3a-2-1. 農村部の高校生の全回答



グラフ問3a-2-3. 都市部の高校生の全回答

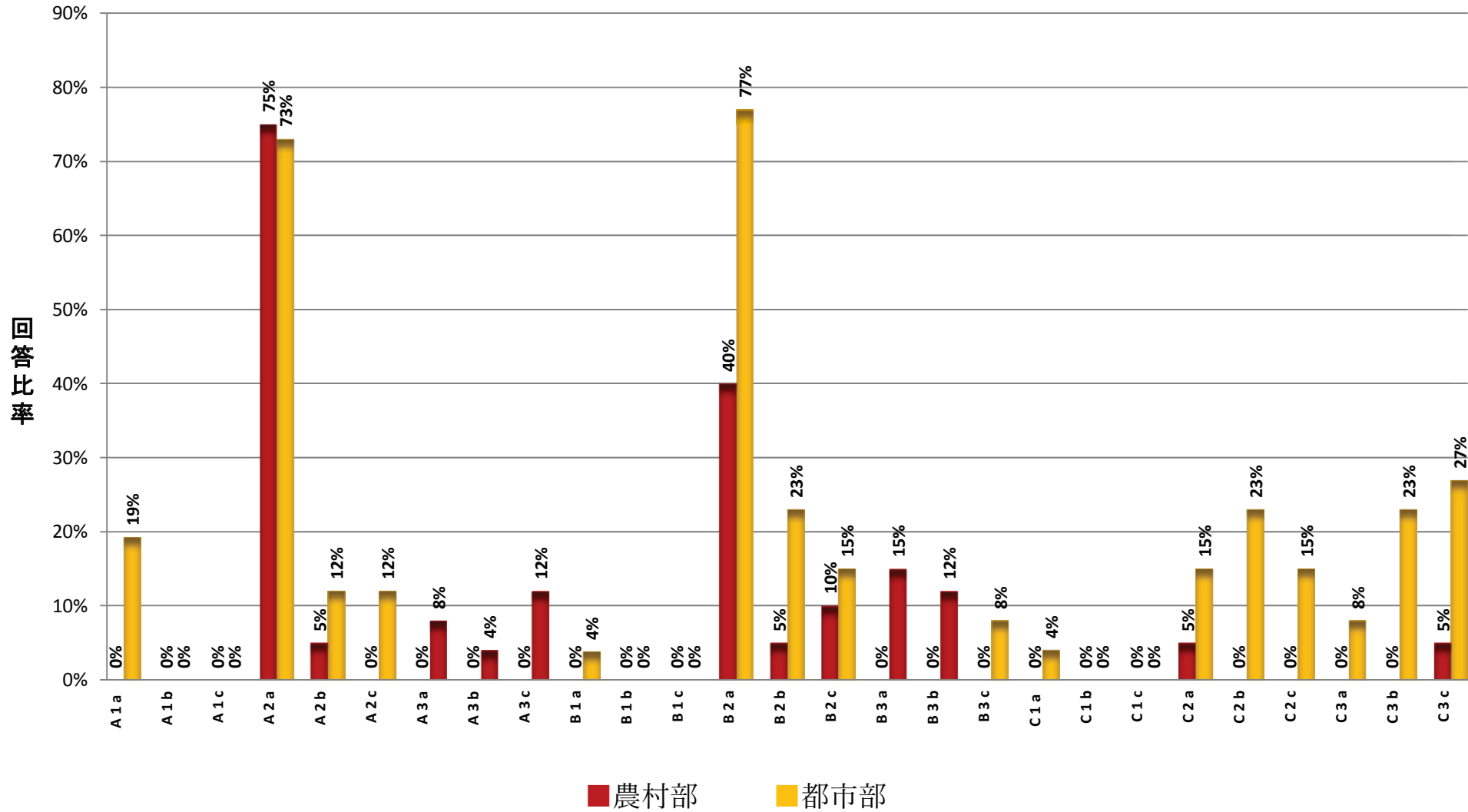


グラフ問3a-2-5. 農村部と都市部の全高校生の回答比較



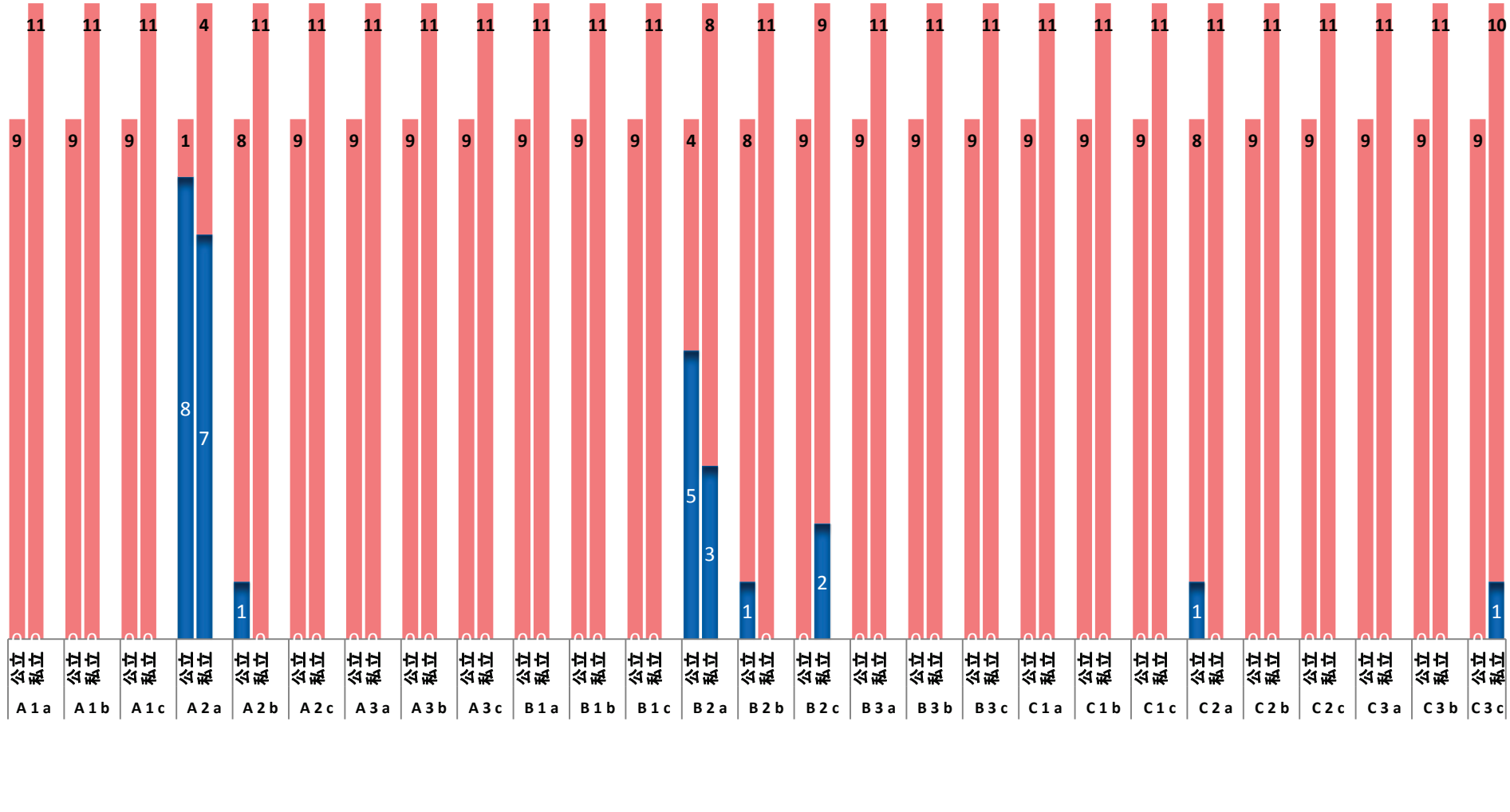
■ 農村部高校 使う ■ 農村部高校 使わない ■ 農村部高校 分からない ■ 都市部高校 使う ■ 都市部高校 使わない ■ 都市部高校 分からない

グラフ問3a-3. 農村部と都市部の高校教師の回答比較



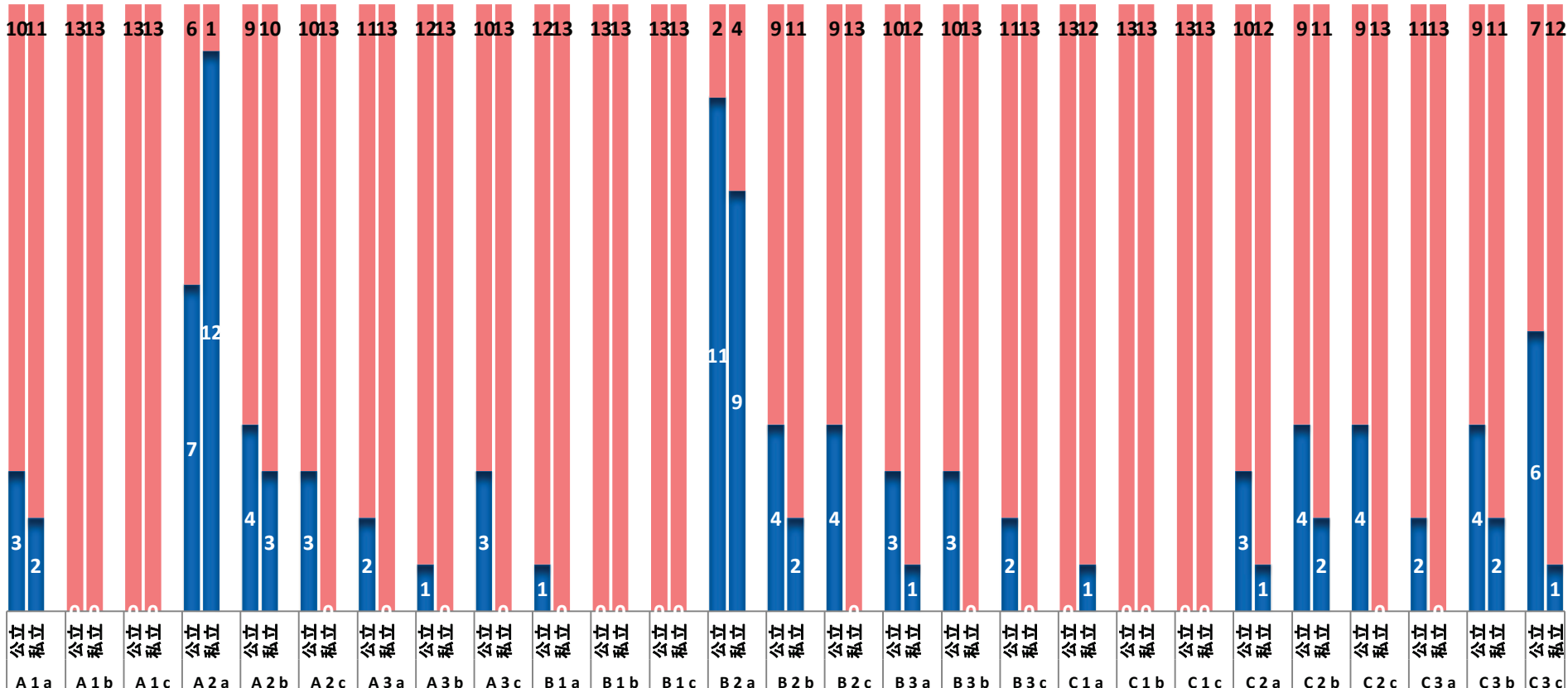
グラフ問3a-3-1. 農村部の公立と私立の高校教師の回答比較

■ 正しい ■ 正しくない



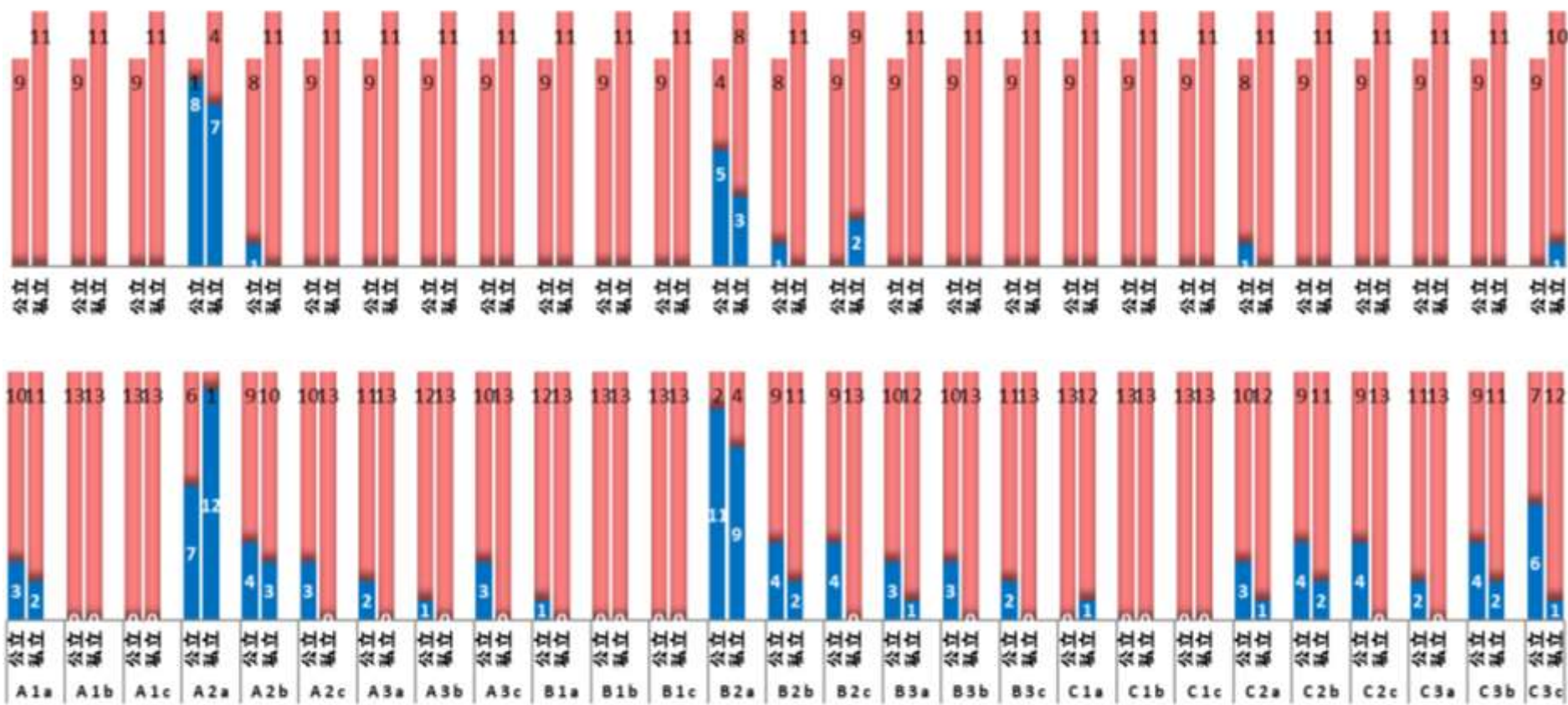
グラフ問3a-3-2. 都市部の公立と私立の高校教師の回答比較

■ 正しい ■ 正しくない



グラフ問3a-3-3. 農村部と都市部の全高校教師の回答比較

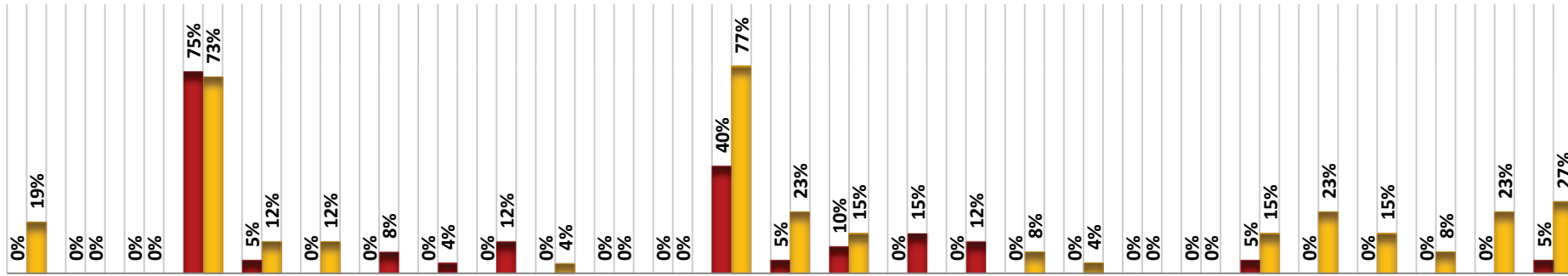
■ 正しい ■ 正しくない



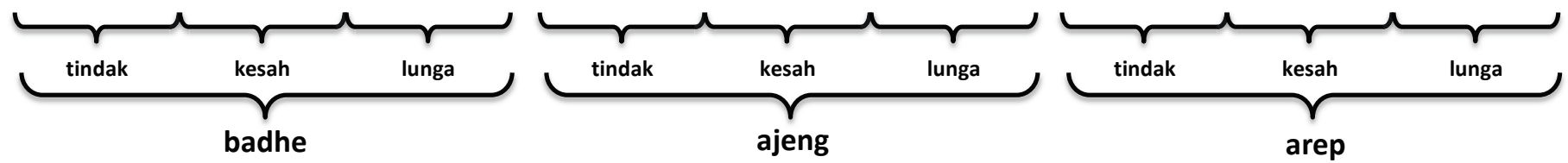
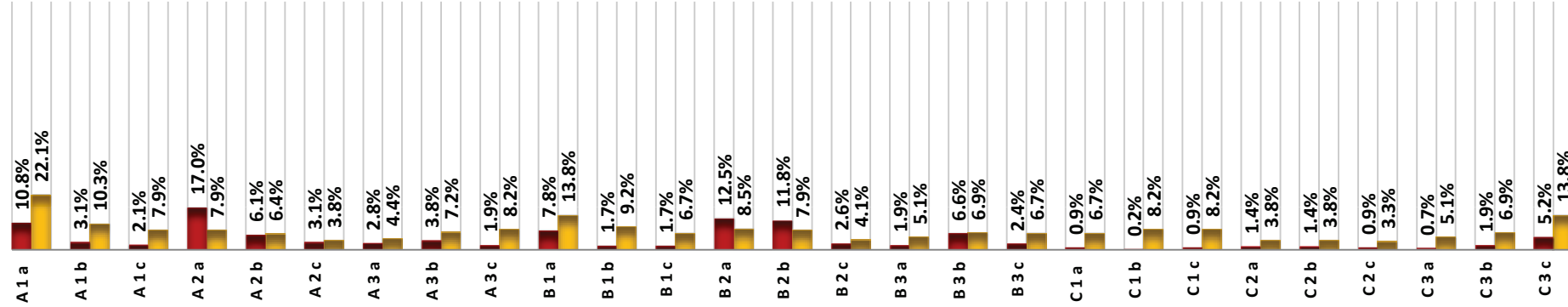
グラフ問3a-4. 高校教師と高校生の回答比較

■ 農村部 ■ 都市部

教師の回答比率



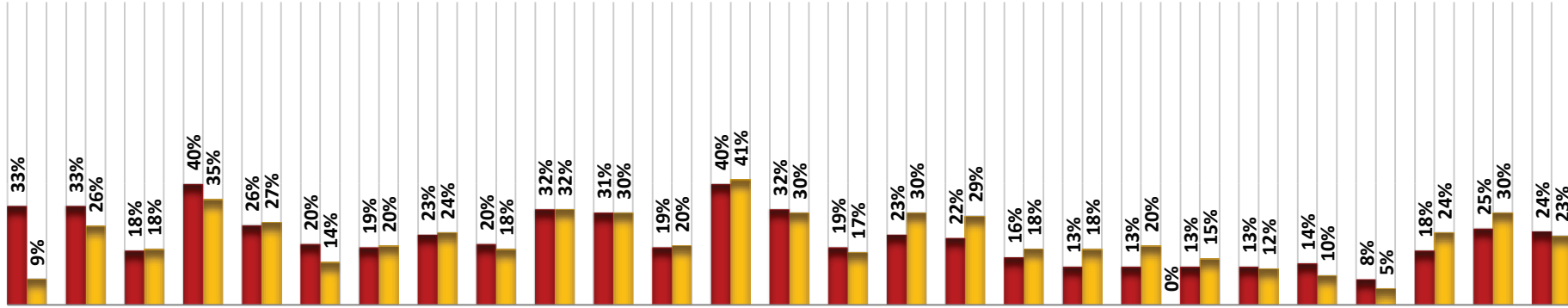
高校生の回答比率



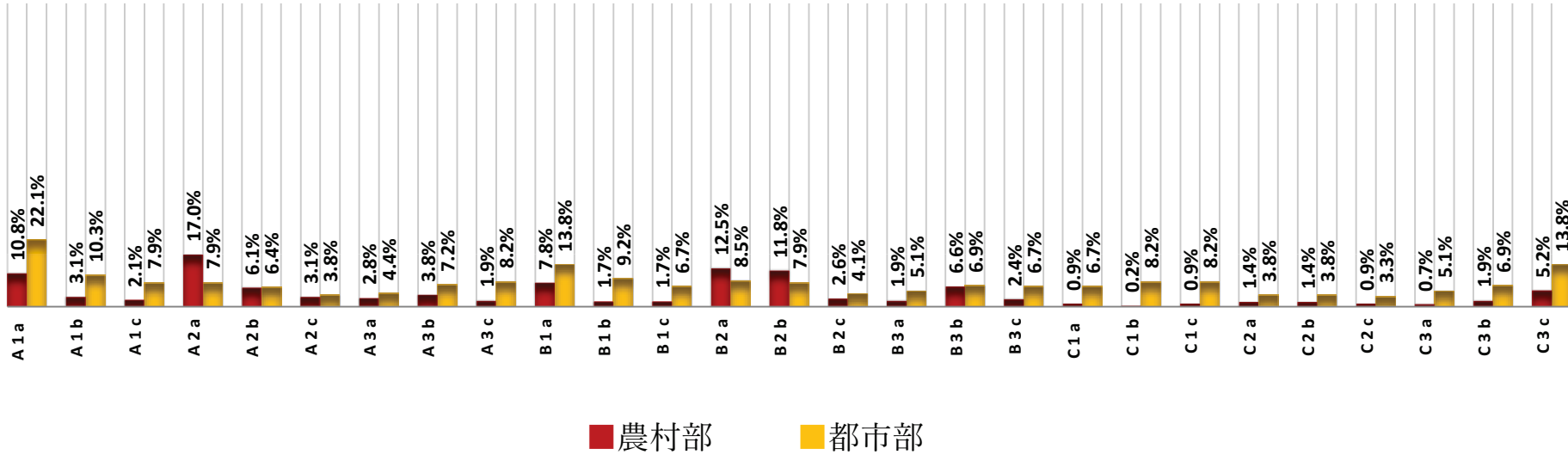
グラフ問3a-5. 大学生と高校生の回答比較

■ 他出身 ■ ジョグジャ出身

大学生の回答比率



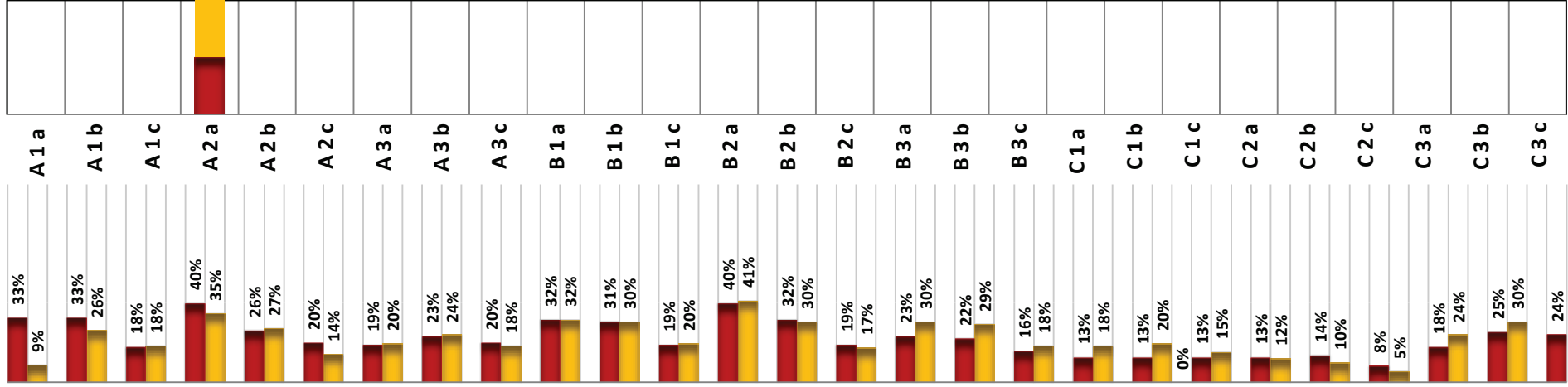
高校生の回答比率



■ 農村部 ■ 都市部

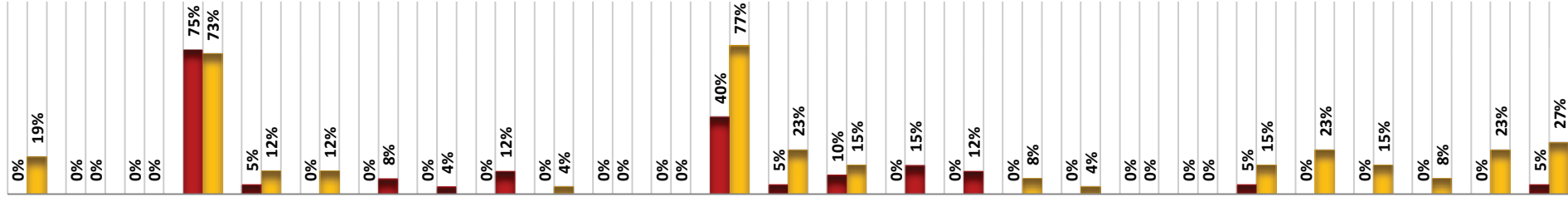
グラフ問3a-6. ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較

■ 専門家A ■ 専門家B



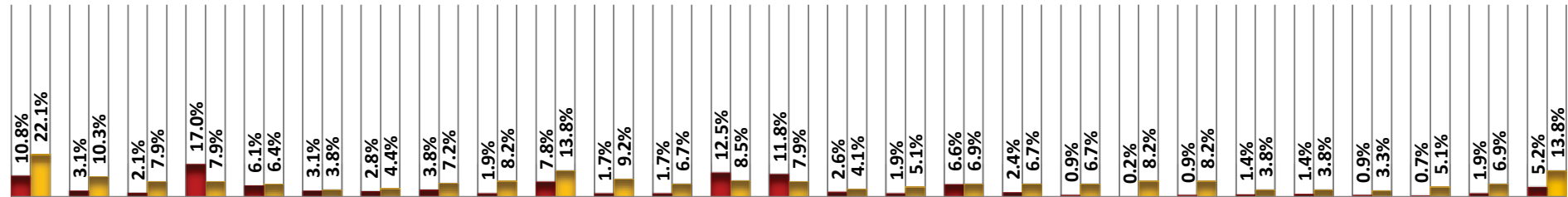
大学生の「使う」

■ 他出身 ■ ショグジャ出身



高校教師の「正しい」

■ 農村部 ■ 都市部



高校生の「使う」

■ 農村部 ■ 都市部

問3a-1.農村部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率) 256

①	A2a ○	Kula 私(クロモ アンダップ語) NAME (appellation)	badhe (K) ~致します	kesah (M) 参る	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo. (地名)	17%
		私は ソロ へ いらっしゃいます。					
②	B1b ×	Kula	ajeng (M) ~します	tindak (Ki) いらっしゃる	menyang (N) ~~	Solo.	12.5%
		私は ソロ へ いらっしゃるのです。					
③	B2b	Kula	ajeng (M) ~します	kesah (M) 参る・行く	menyang (N) ~~	Solo.	11.8%
		私は ソロ へ 参るのです。					

問3a-2.都市部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	A1a ×	Kula 私(クロモ アンダップ語) NAME (appellation)	badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo. (地名)	22.1%
		私は ソロ の方へ いらっしゃいます。					
②	B1a ×	Kula	ajeng (M) ~します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	13.8%
		私は ソロ の方へ いらっしゃるのです。					
②	C3c	Kula	arep (N) ~する	lunga(N) 行く	ning (N) ~~	Solo.	13.8%
		私は ソロ へ 行く。					

No.	S 主語	ADV. 助動詞	V 動詞	PREP. 前置詞	PERTANYAAN 質問	CODE コード	YOGYA ジョグジャ出身												LUAR YOGYA 他の出身												JAWABAN 先生の答え							
							#KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知らない			KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知っている			TOTAL 合計			Prosentase Terhadap Total Koresponden (115 org) 回答者の全体の割合 (23人)			#KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知らない			KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知っている			TOTAL 合計			Prosentase Terhadap Total Koresponden (130 org) 回答者の全体の割合 (35人)			Sensel A A 先生		Sensel B B 先生		Sensel C C 先生			
							GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	BENAR	SALAH	BENAR	SALAH	BENAR	SALAH		
							使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	正しい	正しくない	正しい	正しくない	正しい	正しくない		
1	Aku			K	dhateng (a) K	A 1 a	5	10	1	2	5	0	7	15	1	30%	65%	4%	3	22	1	2	7	0	5	29	1	14%	83%	3%	✓		✓		✓			
2					menyang (b) N	A 1 b	5	9	2	0	7	0	5	16	2	22%	70%	9%	3	22	1	2	7	0	5	29	1	14%	83%	3%	✓		✓		✓			
3					ning (c) N	A 1 c	4	10	2	2	4	1	6	14	3	26%	61%	13%	2	23	1	2	6	1	4	29	2	11%	83%	6%	✓		✓		✓			
4					kesah (2) M	dhateng (a) K	A 2 a	2	11	3	1	6	0	3	17	3	13%	74%	13%	2	23	1	0	9	0	2	32	1	6%	91%	3%	✓		✓		✓		
5						menyang (b) N	A 2 b	3	11	2	0	7	0	3	18	2	13%	78%	9%	2	23	1	1	7	1	3	30	2	9%	86%	6%	✓		✓		✓		
6						ning (c) N	A 2 c	1	12	3	1	5	1	2	17	4	9%	74%	17%	1	24	1	0	7	2	1	31	3	3%	89%	9%	✓		✓		✓		
7					lunga (3) N	dhateng (a) K	A 3 a	4	11	1	2	5	0	6	16	1	26%	70%	4%	1	24	1	1	8	0	2	32	1	6%	91%	3%	✓		✓		✓		
8						menyang (b) N	A 3 b	6	9	1	1	5	1	7	14	2	30%	61%	9%	6	19	1	2	6	1	8	25	2	23%	71%	6%	✓		✓		✓		
9						ning (c) N	A 3 c	3	10	3	2	4	1	5	14	4	22%	61%	17%	4	21	1	5	4	0	9	25	1	26%	71%	3%	✓		✓		✓		
10					ajeng (2) M	tindak (1) K	dhateng (a) K	B 1 a	4	11	1	3	4	0	7	15	1	30%	65%	4%	2	22	2	1	7	1	3	29	3	9%	83%	9%	✓		✓		✓	
11							menyang (b) N	B 1 b	4	11	1	2	4	1	6	15	2	26%	65%	9%	3	20	3	2	7	0	5	27	3	14%	77%	9%	✓		✓		✓	
12							ning (c) N	B 1 c	3	10	3	2	4	1	5	14	4	22%	61%	17%	5	20	1	2	7	0	7	27	1	20%	77%	3%	✓		✓		✓	
13						kesah (2) M	dhateng (a) K	B 2 a	3	11	2	3	4	0	6	15	2	26%	65%	9%	3	21	2	0	8	1	3	29	3	9%	83%	9%	✓		✓		✓	
14							menyang (b) N	B 2 b	3	11	2	2	4	1	5	15	3	22%	65%	13%	2	21	3	2	7	0	4	28	3	11%	80%	9%	✓		✓		✓	
15							ning (c) N	B 2 c	1	11	4	2	4	1	3	15	5	13%	65%	22%	3	21	2	3	5	1	6	26	3	17%	74%	9%	✓		✓		✓	
16						lunga (3) N	dhateng (a) K	B 3 a	4	11	1	3	4	0	7	15	1	30%	65%	4%	3	21	2	3	6	0	6	27	2	17%	77%	6%	✓		✓		✓	
17							menyang (b) N	B 3 b	6	9	1	2	4	1	8	13	2	35%	57%	9%	5	19	2	4	5	0	9	24	2	26%	69%	6%	✓		✓		✓	
18							ning (c) N	B 3 c	4	10	2	2	4	1	6	14	3	26%	61%	13%	6	18	2	6	2	1	12	20	3	34%	57%	9%	✓		✓		✓	
19					arep (2) N	tindak (1) K	dhateng (a) K	C 1 a	4	12	0	3	4	0	7	16	0	30%	70%	0%	1	23	2	1	8	0	2	31	2	6%	89%	6%	✓		✓		✓	
20							menyang (b) N	C 1 b	4	12	0	2	5	0	6	17	0	26%	74%	0%	5	19	2	3	6	0	8	25	2	23%	71%	6%	✓		✓		✓	
21							ning (c) N	C 1 c	4	12	0	2	4	1	6	16	1	26%	70%	4%	5	19	2	2	7	0	7	26	2	20%	74%	6%	✓		✓		✓	
22						kesah (2) M	dhateng (a) K	C 2 a	2	13	1	2	5	0	4	18	1	17%	78%	4%	1	23	2	0	9	0	1	32	2	3%	91%	6%	✓		✓		✓	
23							menyang (b) N	C 2 b	3	12	1	2	5	0	5	17	1	22%	74%	4%	2	22	2	2	6	1	4	28	3	11%	80%	9%	✓		✓		✓	
24							ning (c) N	C 2 c	3	12	1	1	5	1	4	17	2	17%	74%	9%	3	21	2	2	7	0	5	28	2	14%	80%	6%	✓		✓		✓	
25						lunga (3) N	dhateng (a) K	C 3 a	6	10	0	5	2	0	11	12	0	48%	52%	0%	4	21	1	3	6	0	7	27	1	20%	77%	3%	✓		✓		✓	
26							menyang (b) N	C 3 b	12	4	0	5	2	0	17	6	0	74%	26%	0%	12	13	1	6	3	0	18	16	1	51%	46%	3%	✓		✓		✓	
27							ning (c) N	C 3 c	10	5	1	5	1	1	15	6	2	65%	26%	9%	16	10	0	8	1	0	24	11	0	69%	31%	0%	✓		✓		✓	

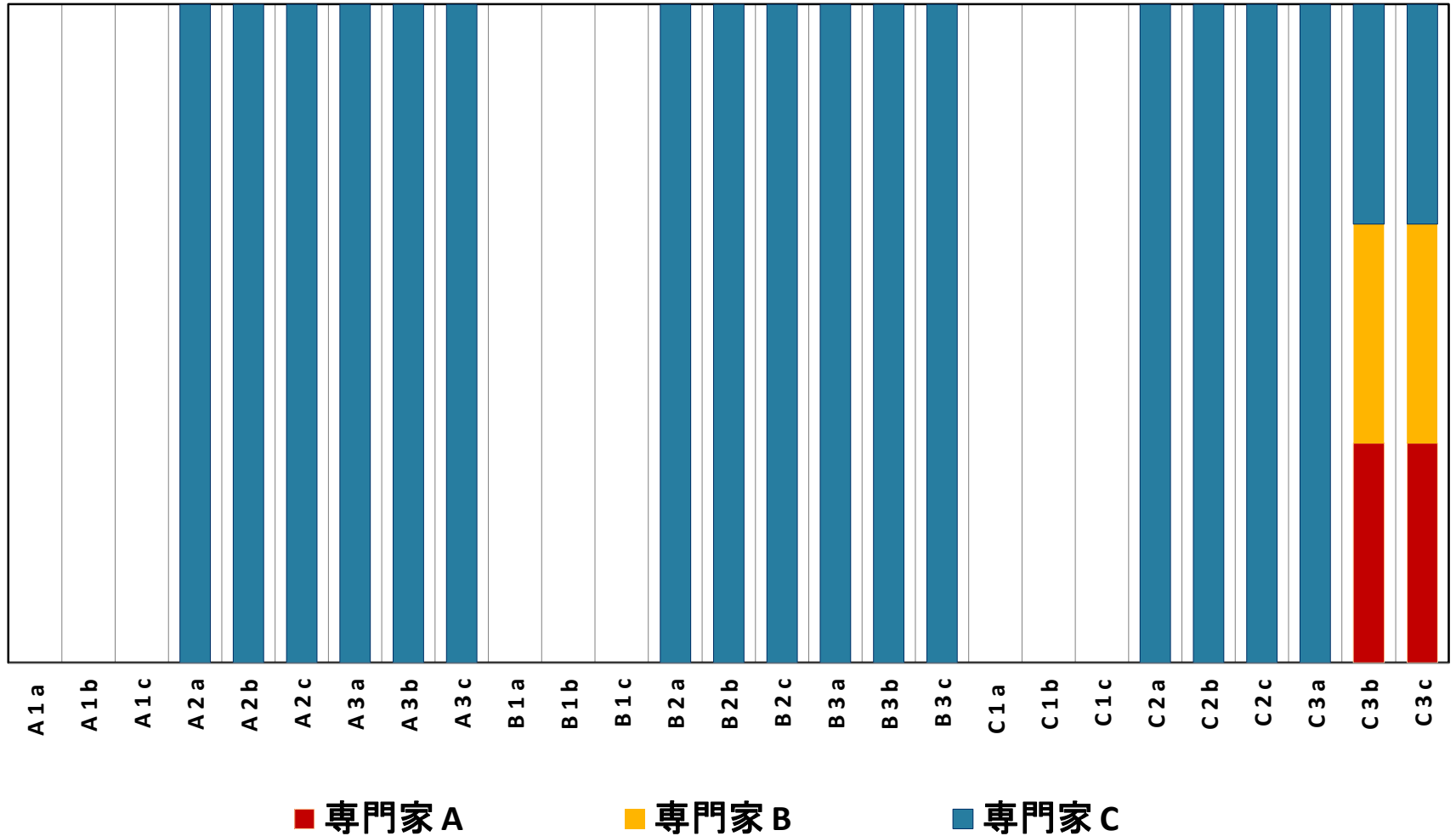
説明 : K = Krama クロモ
M = Madya マディオ
N = Ngoko ンゴコ

AKU = 16/84 AKU = 7/31 TOTAL = 23/115 AKU = 26/96 AKU = 9/34 TOTAL = 35/130

問3b. 近距離表現の使用を測る設問(僕(N語で)はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える)

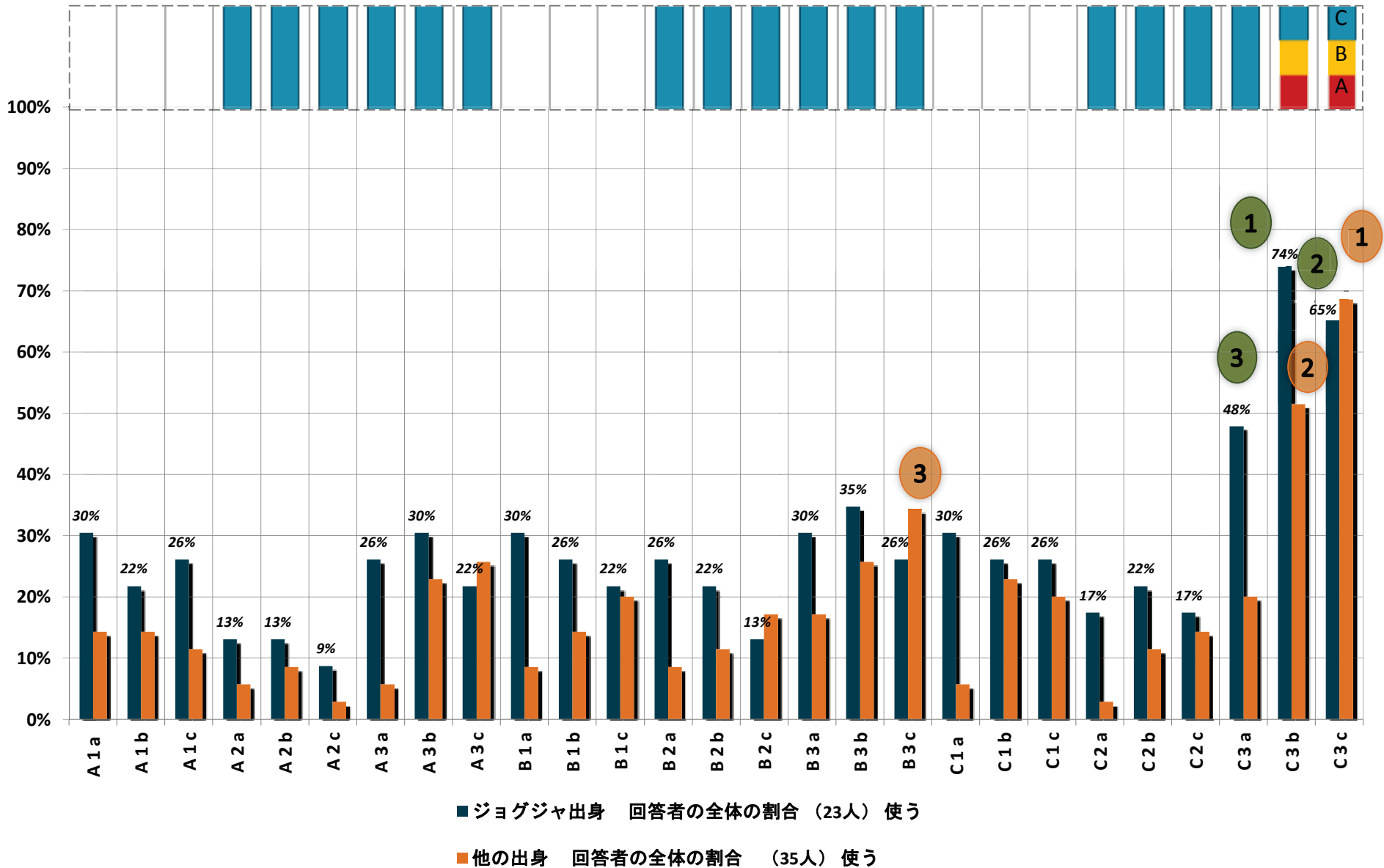
Q3b	Saya menjawab Mas Yoyok bahwa saya akan datang ke Solo. (僕はヨヨさんにソロ市へ行くことにすると伝える。)					
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文体	コード
1	Aku 僕(N語) NAME (appellation)	badhe(K) (A) ~致します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku badhe tindak dhateng Solo. 僕はソロの方へいらっしゃいます。	A 1 a
2			menyang(N) (b) ~へ to	Aku badhe tindak menyang Solo. 僕はソロへいらっしゃいます。	A 1 b	
3			いらっしゃる go	ning(N) (c) ~へ to	Aku badhe tindak ning Solo. 僕はソロへいらっしゃいます。	A 1 c
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku badhe kesah dhateng Solo. 僕はソロの方へ行きます。	A 2 a
5			menyang(N) (b) ~へ to	Aku badhe kesah menyang Solo. 僕はソロへ行きます。	A 2 b	
6			参る・行く go	ning(N) (c) ~へ to	Aku badhe kesah ning Solo. 僕はソロへ行きます。	A 2 c
7			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku badhe lunga dhateng Solo. 僕はソロの方へ行くんつす。	A 3 a
8			menyang(N) (b) ~へ to	Aku badhe lunga menyang Solo. 僕はソロへ行くんつす。	A 3 b	
9			行く go	ning(N) (c) ~へ to	Aku badhe lunga ning Solo. 僕はソロへ行くんつす。	A 3 c
10	aku 僕(N語) NAME (appellation)	ajeng(M) (B) ~します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku ajeng tindak dhateng Solo. 僕はソロの方へいらっしゃるのです。	B 1 a
11			menyang(N) (b) ~へ to	Aku ajeng tindak menyang Solo. 僕はソロへいらっしゃるのです。	B 1 b	
12			いらっしゃる go	ning(N) (c) ~へ to	Aku ajeng tindak ning Solo. 僕はソロへいらっしゃるのです。	B 1 c
13			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku ajeng kesah dhateng Solo. 僕はソロの方へ行くのです。	B 2 a
14			menyang(N) (b) ~へ to	Aku ajeng kesah menyang Solo. 僕はソロへ行くのです。	B 2 b	
15			参る・行く go	ning(N) (c) ~へ to	Aku ajeng kesah ning Solo. 僕はソロへ行くのです。	B 2 c
16			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku ajeng lunga dhateng Solo. 僕はソロの方へ行くつす。	B 3 a
17			menyang(N) (b) ~へ to	Aku ajeng lunga menyang Solo. 僕はソロへ行くつす。	B 3 b	
18			行く go	ning(N) (c) ~へ to	Aku ajeng lunga ning Solo. 僕はソロへ行くつす。	B 3 c
19	aku 僕(N語) NAME (appellation)	arep(N) (C) ~する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku arep tindak dhateng Solo. 僕はソロの方へいらっしゃる。	C 1 a
20			menyang(N) (b) ~へ to	Aku arep tindak menyang Solo. 僕はソロへいらっしゃる。	C 1 b	
21			いらっしゃる go	ning(N) (c) ~へ to	Aku arep tindak ning Solo. 僕はソロへいらっしゃる。	C 1 c
22			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku arep kesah dhateng Solo. 僕はソロの方へ行く。	C 2 a
23			menyang(N) (b) ~へ to	Aku arep kesah menyang Solo. 僕はソロへ行く。	C 2 b	
24			参る・行く go	ning(N) (c) ~へ to	Aku arep kesah ning Solo. 僕はソロへ行く。	C 2 c
25			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Aku arep lunga dhateng Solo. 僕はソロの方へ行く。	C 3 a
26			menyang(N) (b) ~へ to	Aku arep lunga menyang Solo. 僕はソロへ行く。	C 3 b	
27			行く go	ning(N) (c) ~へ to	Aku arep lunga ning Solo. 僕はソロへ行く。	C 3 c

グラフ問3b-1. ジャワ語専門家による規範的な文体

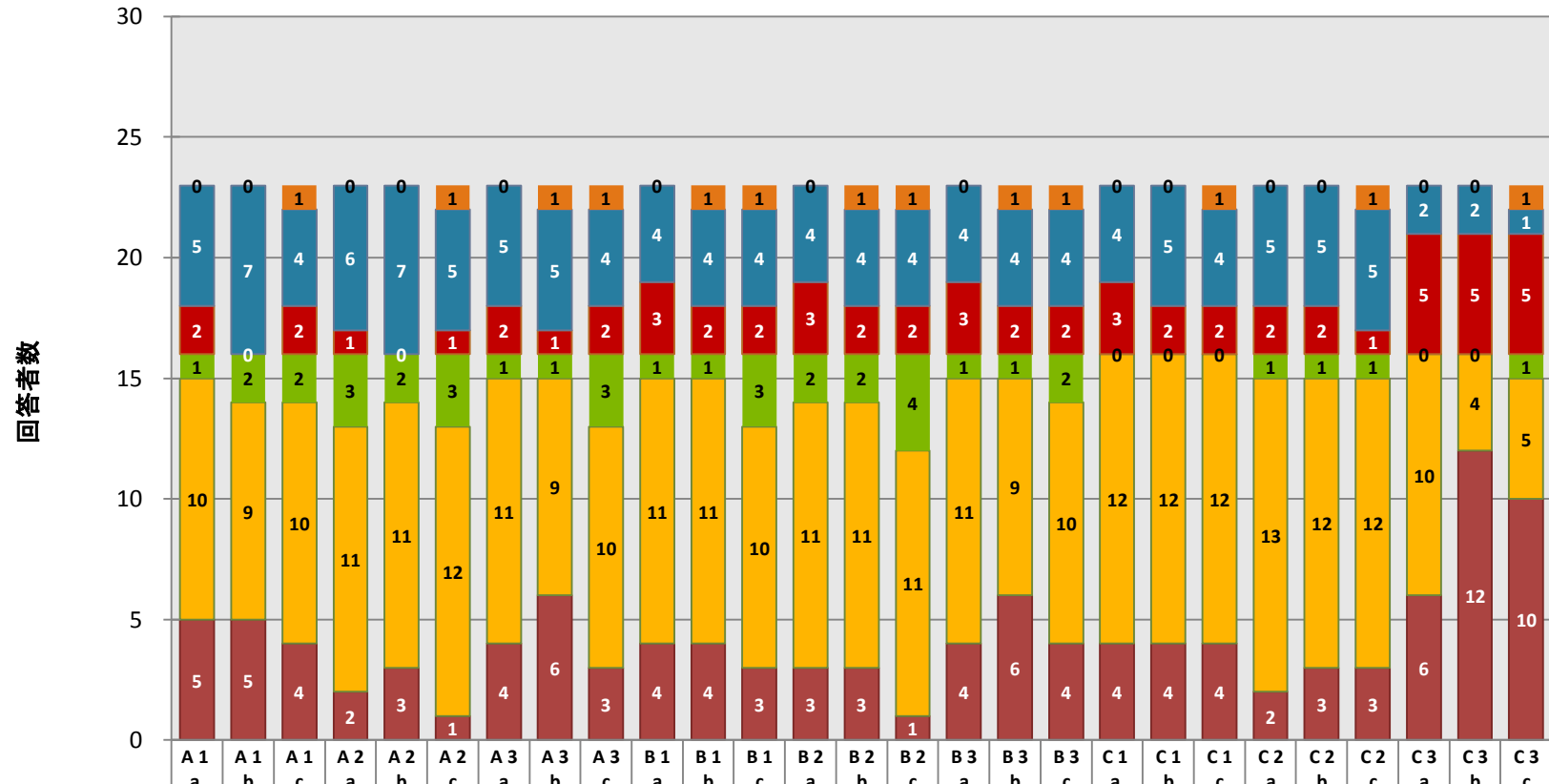


グラフ問3b-2. ジャワ語専門家と学生の回答比較

■ 専門家A ■ 専門家B ■ 専門家C

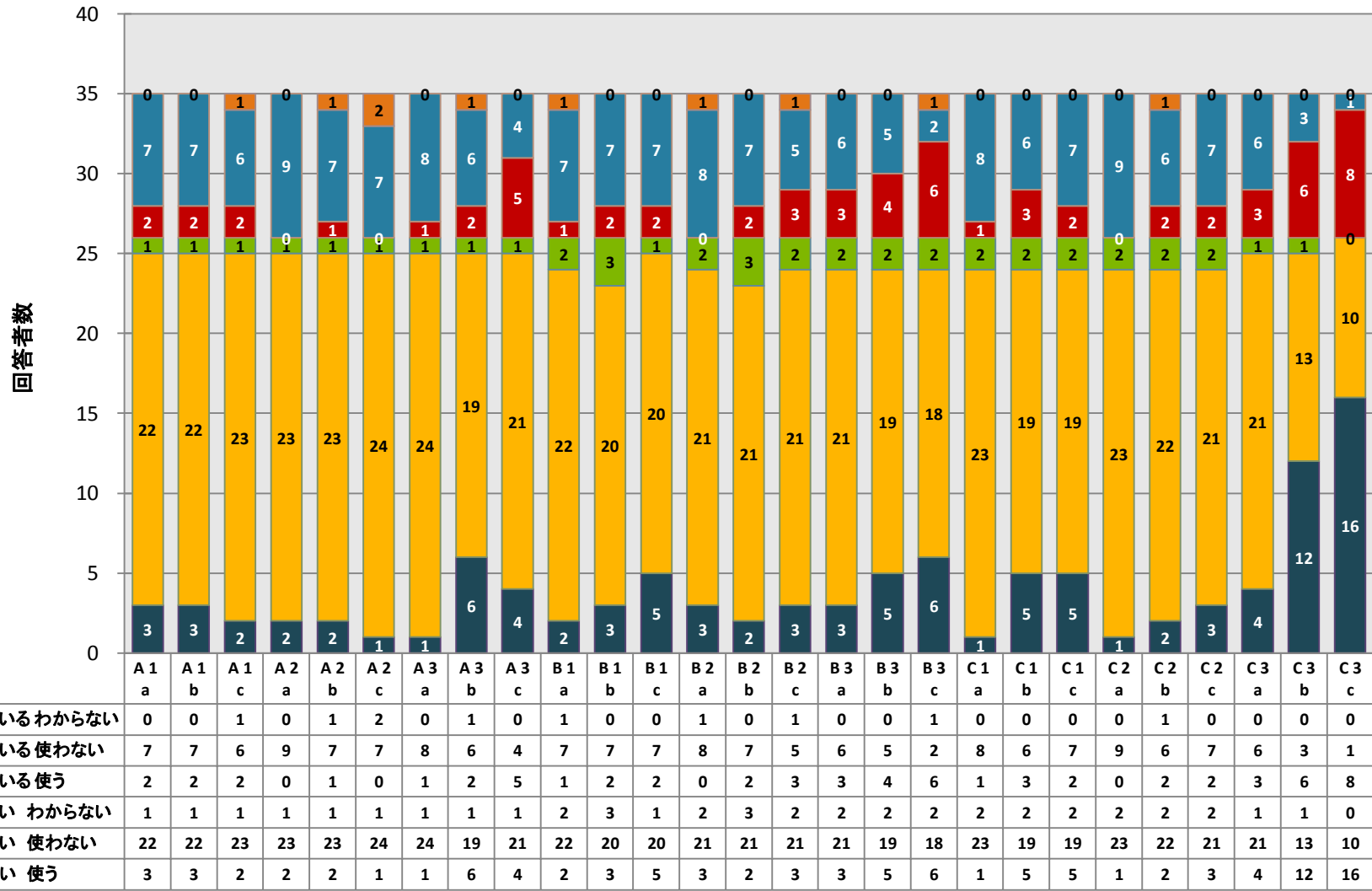


グラフ問3b-2-1. クロモルマ体についての回答比較 (ジョグジャカルタ出身)

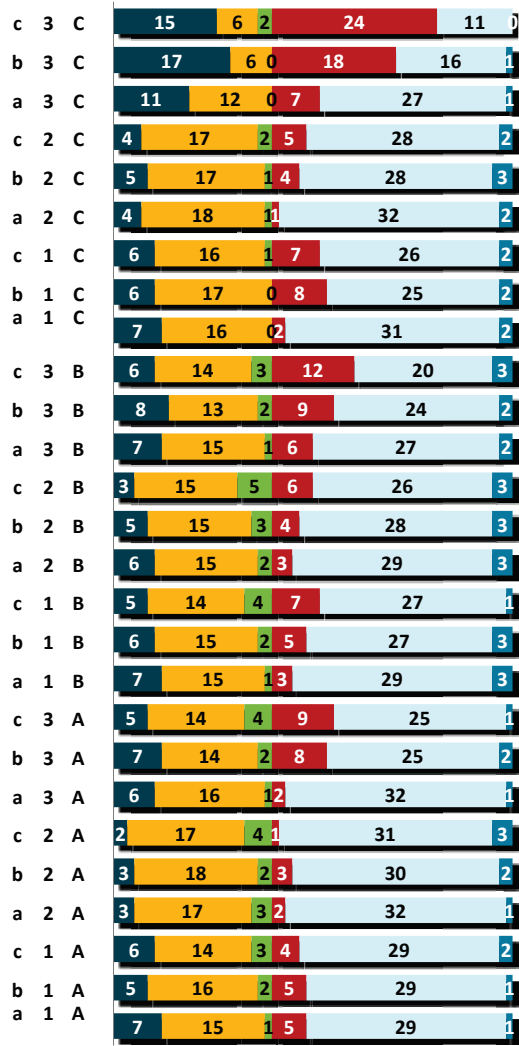


■クロモ・ルマを知っている わからない	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	
■クロモ・ルマを知っている 使わない	5	7	4	6	7	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	5	5	5	2	2	1
■クロモ・ルマを知っている 使う	2	0	2	1	0	1	2	1	2	3	2	2	3	2	2	3	2	2	3	2	2	2	2	1	5	5	5
■クロモ・ルマを知らない わからない	1	2	2	3	2	3	1	1	3	1	1	3	2	2	4	1	1	2	0	0	0	1	1	1	0	0	1
■クロモ・ルマを知らない 使わない	10	9	10	11	11	12	11	9	10	11	11	10	11	11	11	11	9	10	12	12	12	13	12	12	10	4	5
■クロモ・ルマを知らない 使う	5	5	4	2	3	1	4	6	3	4	4	3	3	3	3	4	6	4	4	4	2	3	3	6	12	10	

グラフ問3b-2-2. クロモルマ体についての回答比較 (他州の出身)



グラフ問3b-2-3. ジョグジャカルタ出身と他州の出身の回答比較

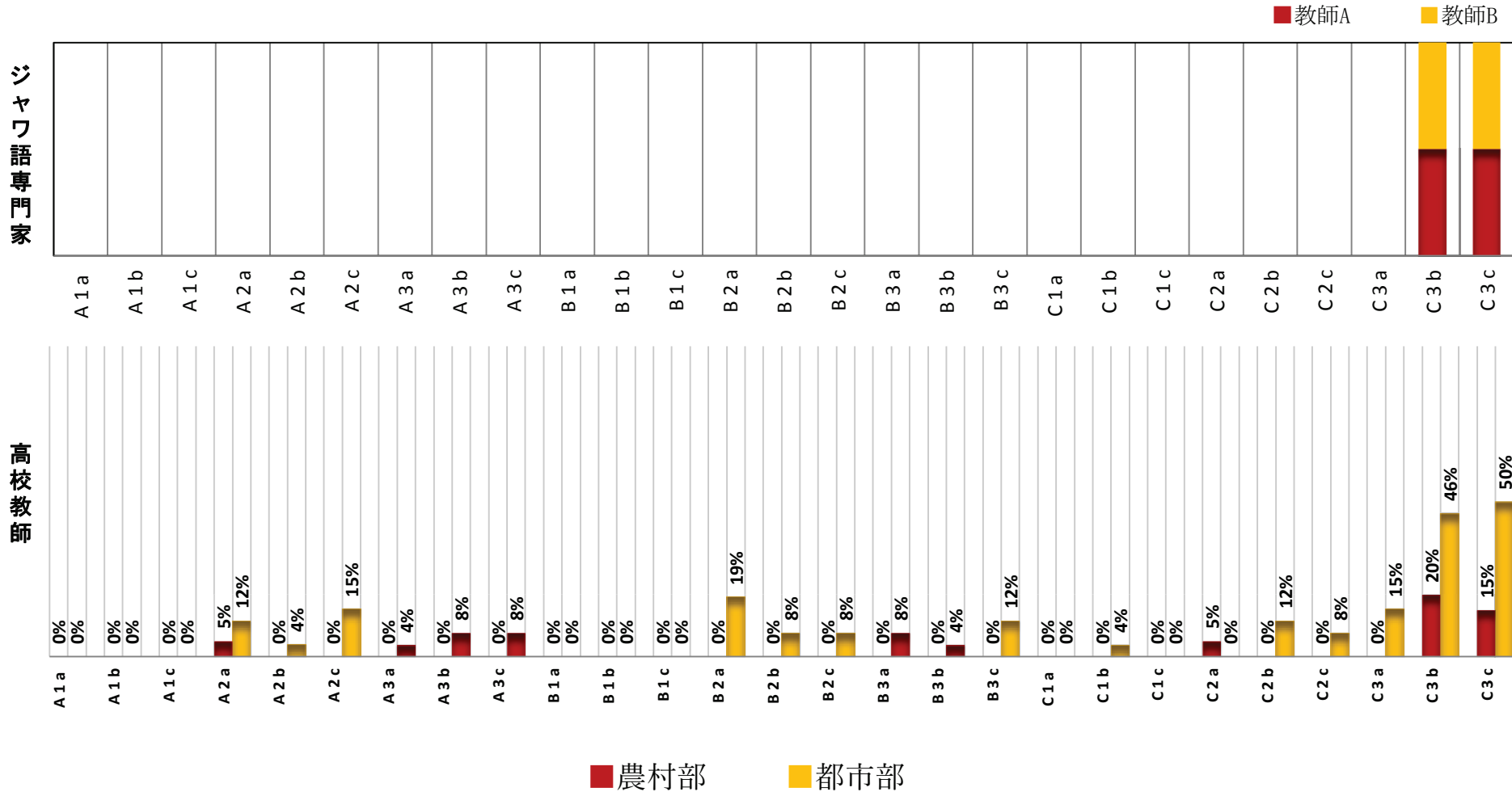


	A1 a	A1 b	A1 c	A2 a	A2 b	A2 c	A3 a	A3 b	A3 c	B1 a	B1 b	B1 c	B2 a	B2 b	B2 c	B3 a	B3 b	B3 c	C1 a	C1 b	C1 c	C2 a	C2 b	C2 c	C3 a	C3 b	C3 c
■ ジョグジャ出身合計使う	7	5	6	3	3	2	6	7	5	7	6	5	6	5	3	7	8	6	7	6	6	4	5	4	11	17	15
■ ジョグジャ出身合計使わない	15	16	14	17	18	17	16	14	14	15	15	14	15	15	15	15	13	14	16	17	16	18	17	17	12	6	6
■ ジョグジャ出身合計わからない	1	2	3	3	2	4	1	2	4	1	2	4	2	3	5	1	2	3	0	0	1	1	1	2	0	0	2
■ 他の出身合計使う	5	5	4	2	3	1	2	8	9	3	5	7	3	4	6	6	9	12	2	8	7	1	4	5	7	18	24
■ 他の出身合計使わない	29	29	29	32	30	31	32	25	25	29	27	27	29	28	26	27	24	20	31	25	26	32	28	28	27	16	11
■ 他の出身合計わからない	1	1	2	1	2	3	1	2	1	3	3	1	3	3	3	2	2	3	2	2	2	2	3	2	1	1	0

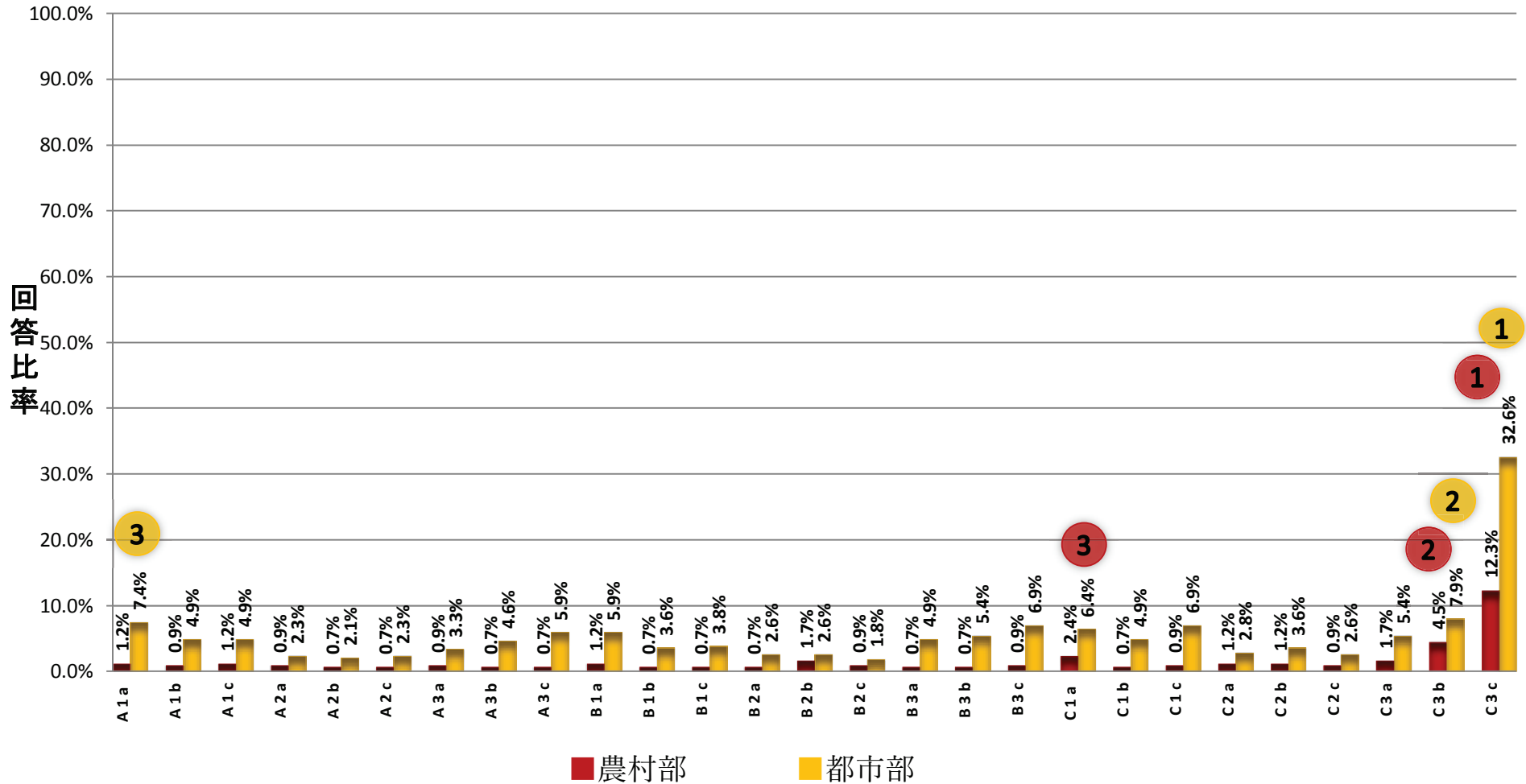
問3b. 大学生がよく使う回答の順位

①▲	C3b ○	Aku 僕 (ソゴコ語) NAME (appellation)	arep (N) ～する will	lunga (N) 行く go	menyang (N) ～ to	Solo. (地名)	学生が「使う」 74%
	C3c ○		arep (N) ～する	lunga (N) 行く	ning (N) ～	PLACE	69%
僕は ソロ へ 行く。(ジョグジャ出身) 僕は ソロ へ 行く。(他出身)							(72%)
②▲	C3c ○	Aku	arep (N) ～する	lunga (N) 行く	ning (N) ～	Solo.	65%
	C3b ○		arep (N) ～する	lunga (N) 行く	menyang (N) ～		51%
僕は ソロ へ 行く。(他出身) 僕は ソロ へ 行く。(ジョグジャ出身)							(58%)
③▲	C3a (1)	Aku	arep (N) ～する	lunga (N) 行く	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo.	48%,
	B3c (1)		ajeng (M) ～します	lunga (N) 行く	ning (N) ～		34%
僕は ソロ の方へ 行く。(ジョグジャ出身) 僕は ソロ へ 行くっす。(他出身)							(41%)
④	A1a ×	Aku	badhe (K) ～致します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo.	22%
	僕は ソロ の方へ いらっしゃいます。						
⑤	A1b ×	Aku	ajeng (M) ～します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo.	20%
	僕は ソロ の方へ いらっしゃるのです。						

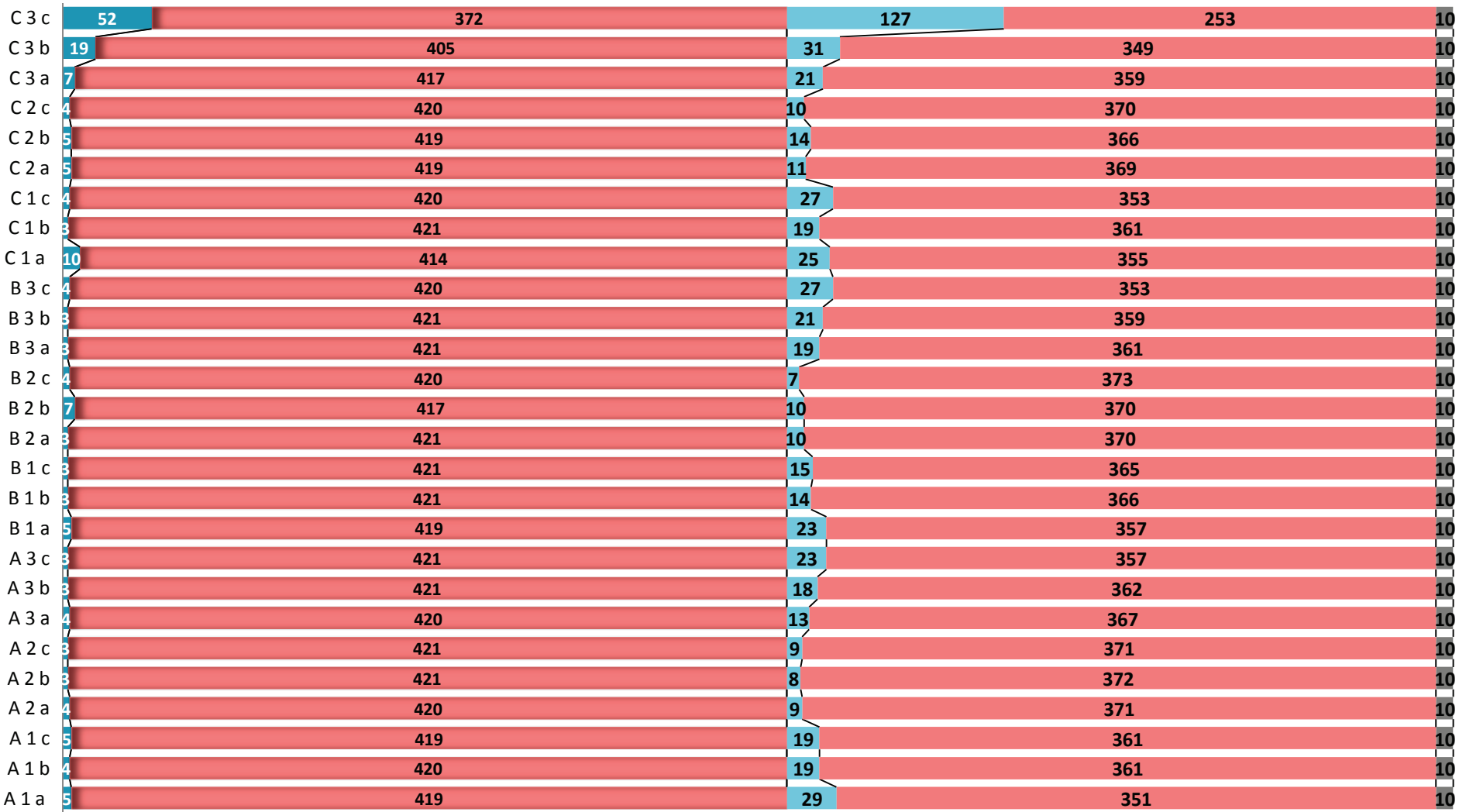
グラフ問3b-1. ジャワ語専門家と高校教師の回答比較



グラフ問3b-2. 農村部と都市部の高校生の回答比較

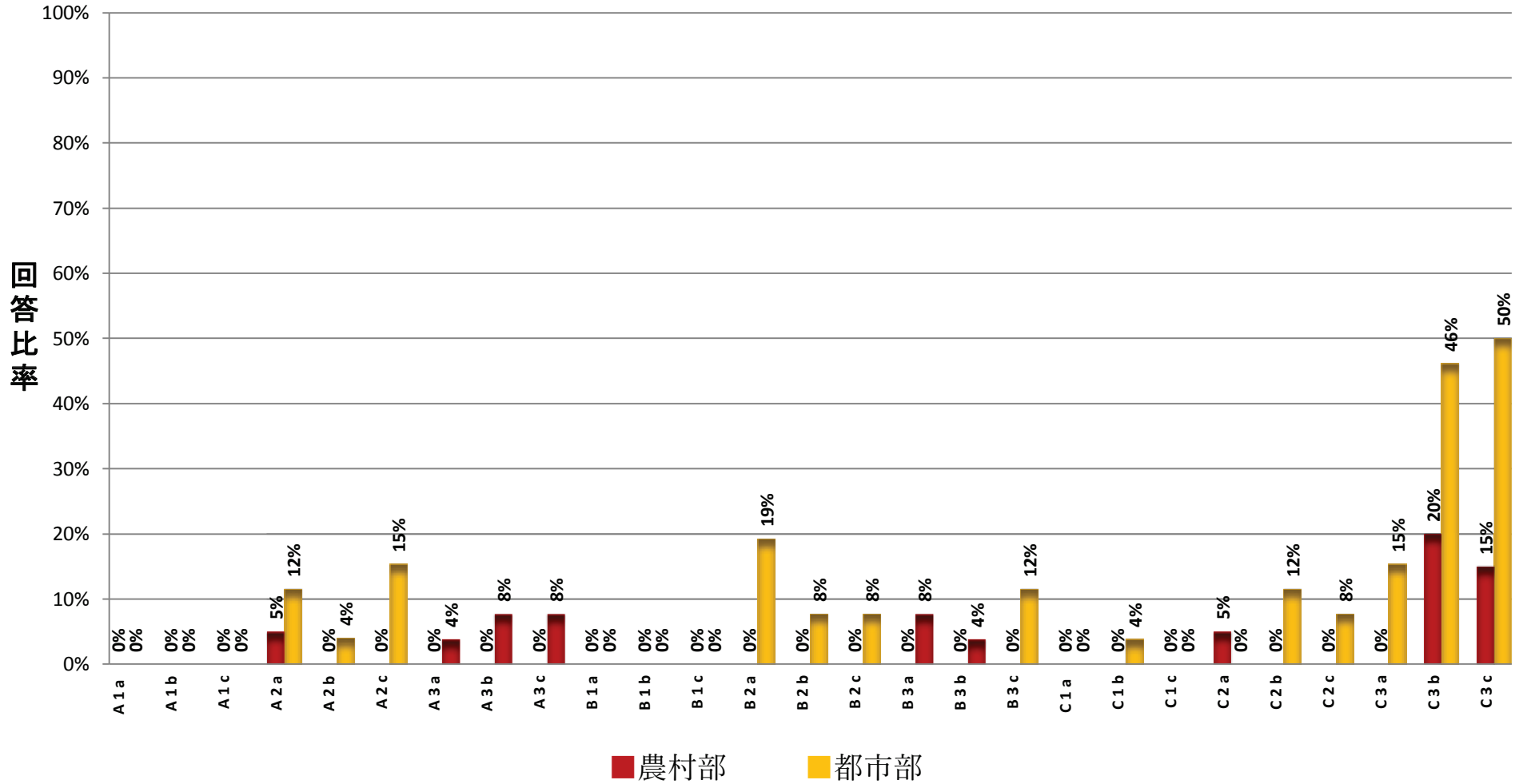


グラフ問3b-2-5. 農村部と都市部の全高校生の回答比較



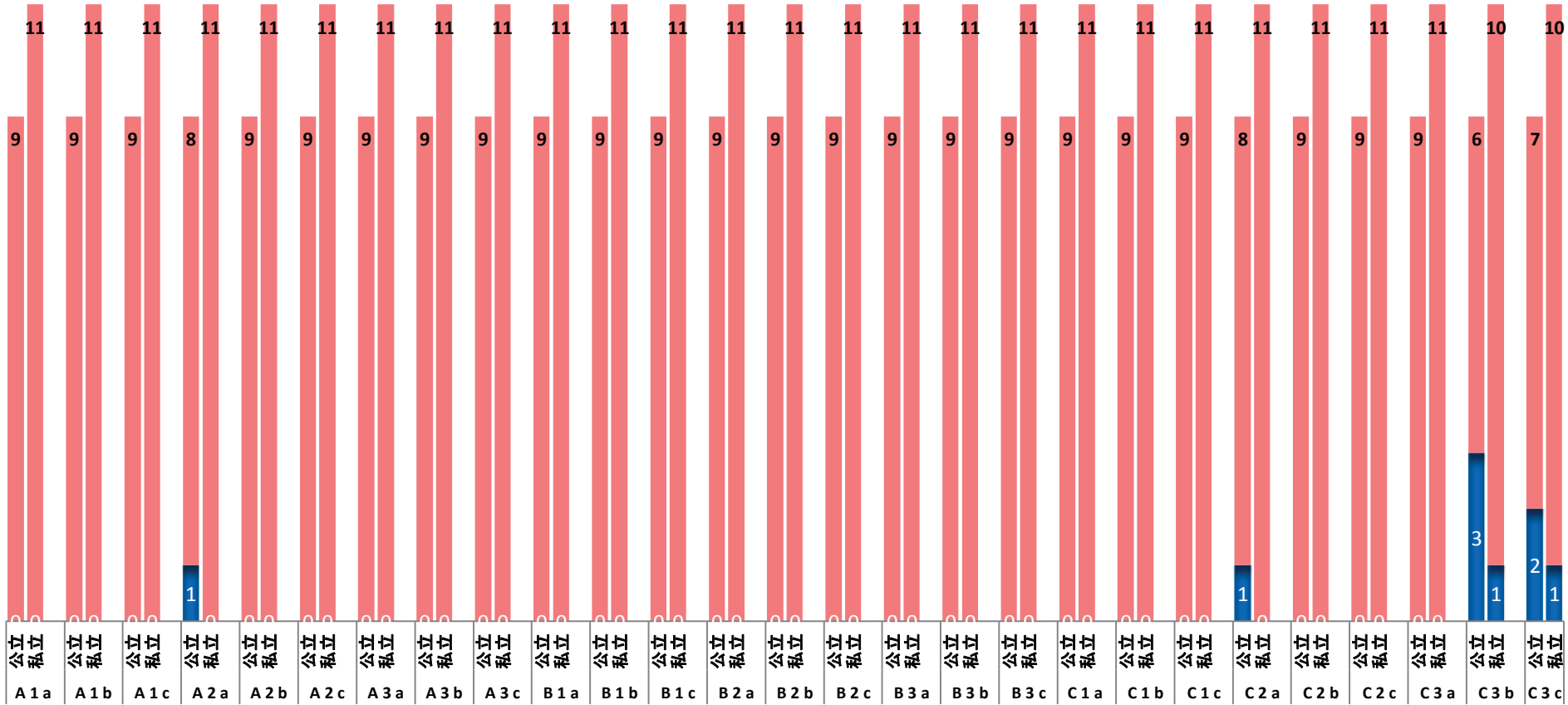
■ 農村部高校使う ■ 農村部高校使わない ■ 農村部高校分からない ■ 都市部高校使う ■ 都市部高校使わない ■ 都市部高校分からない

グラフQ3b-3. 農村部と都市部の高校教師の回答比較



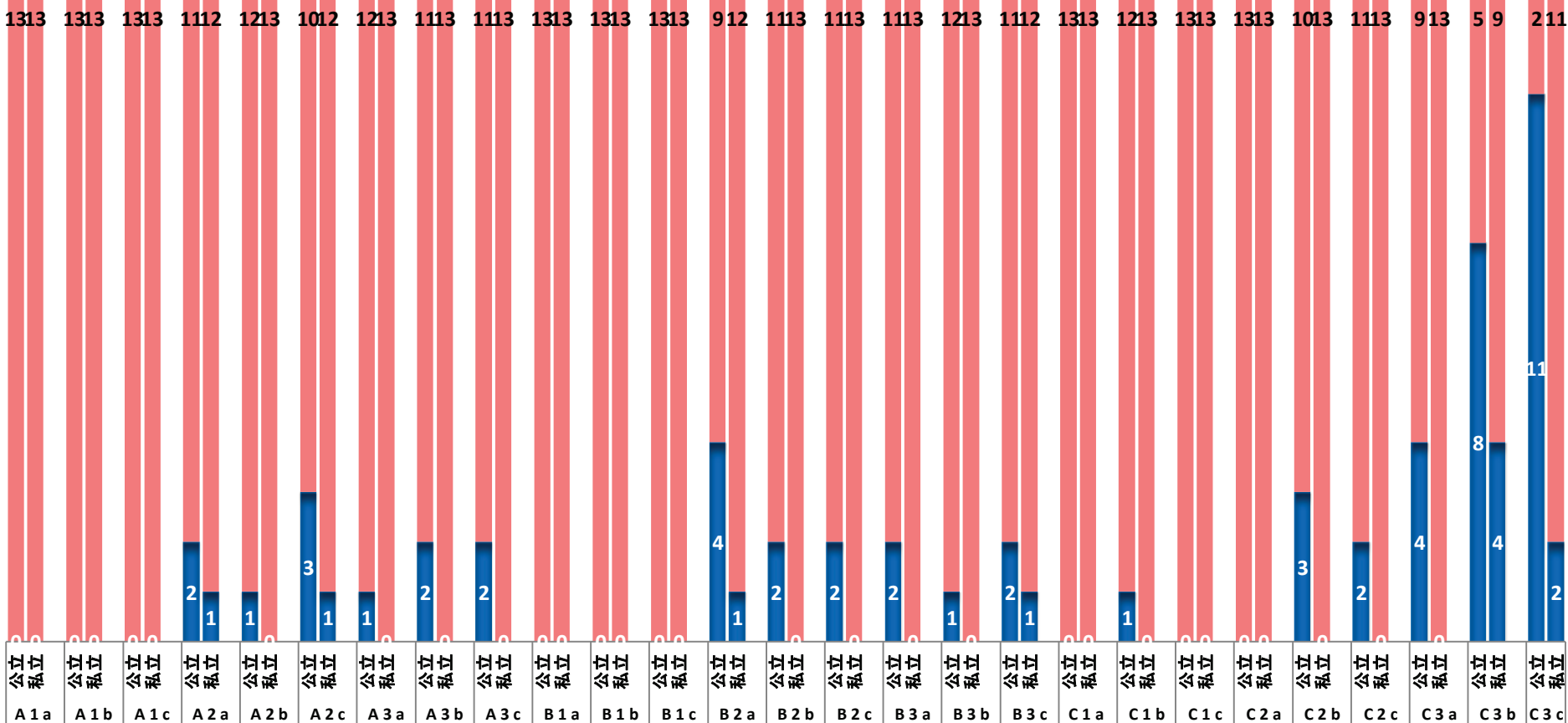
グラフ問3b-3-1. 農村部の公立と私立の高校教師の回答比較

■ 正しい ■ 正しくない



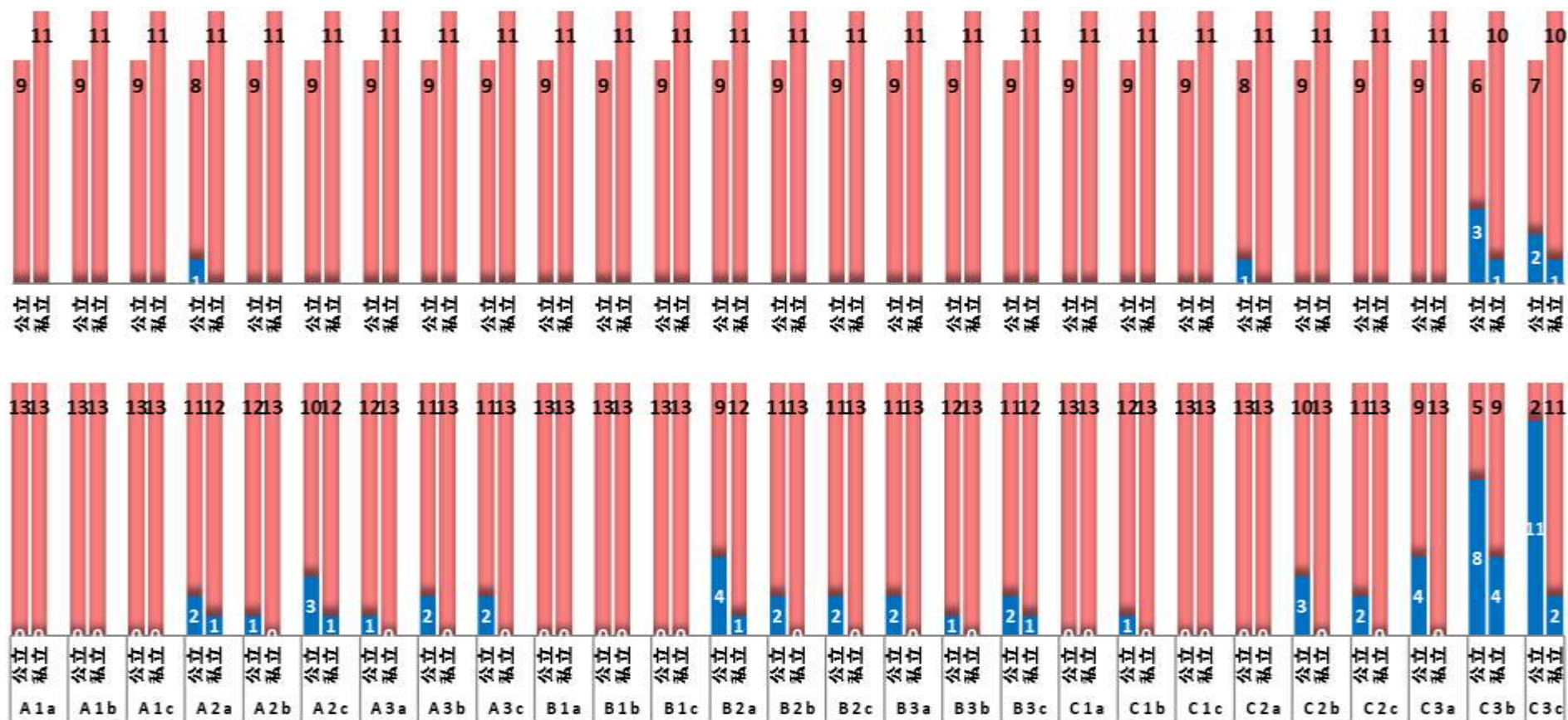
グラフ問3b-3-2. 都市部の公立と私立の高校教師の回答比較

■ 正しい ■ 正しくない



グラフ問3b-3-3. 農村部と都市部の全高校教師の回答比較

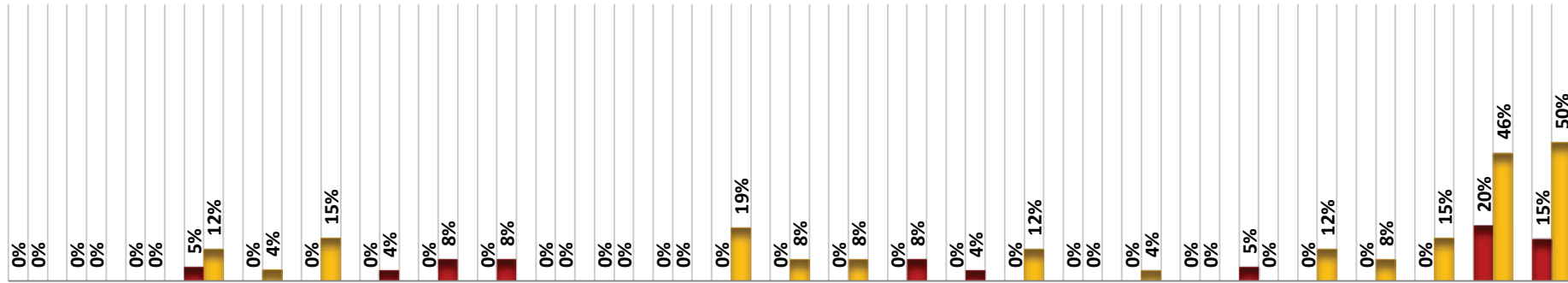
■正しい ■正しくない



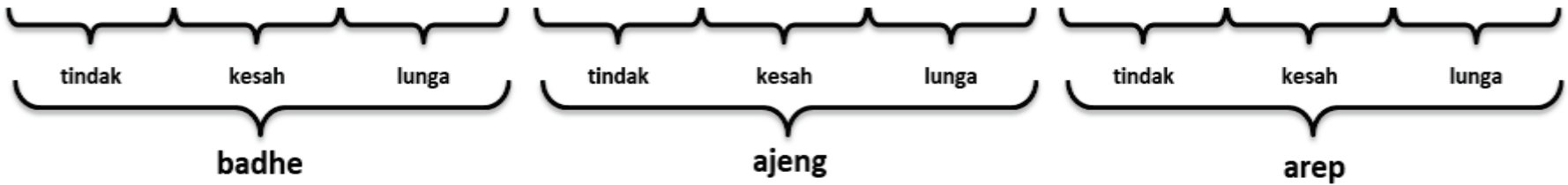
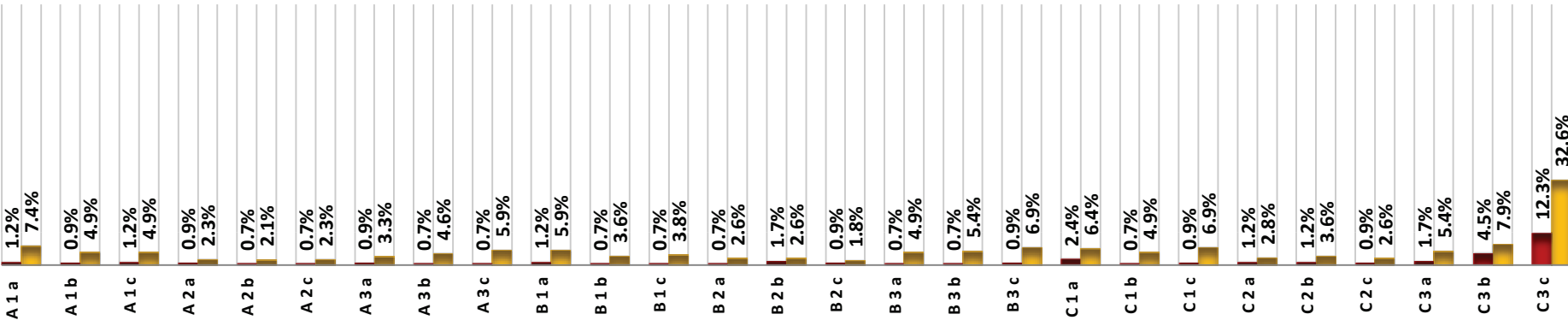
グラフ問3b-4. 高校教師と高校生の回答比較

■ 農村部 ■ 都市部

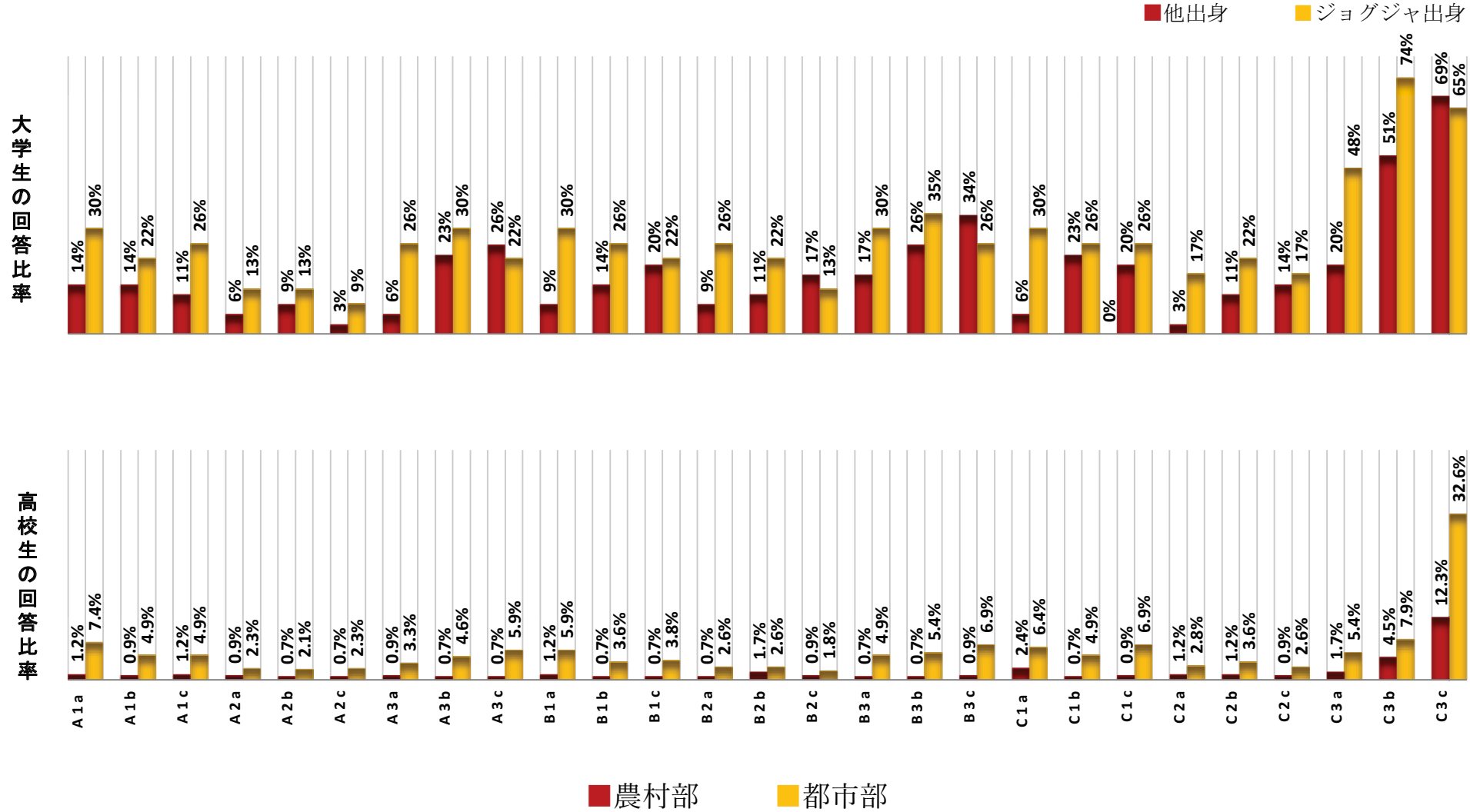
教師の回答比率



高校生の回答比率

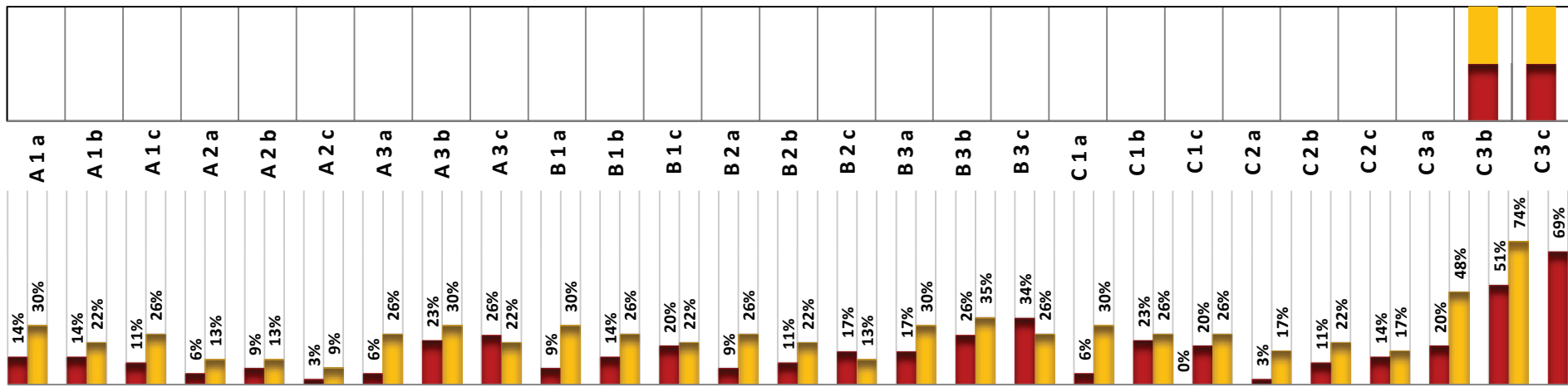


グラフ問3b-5. 大学生と高校生の回答比較



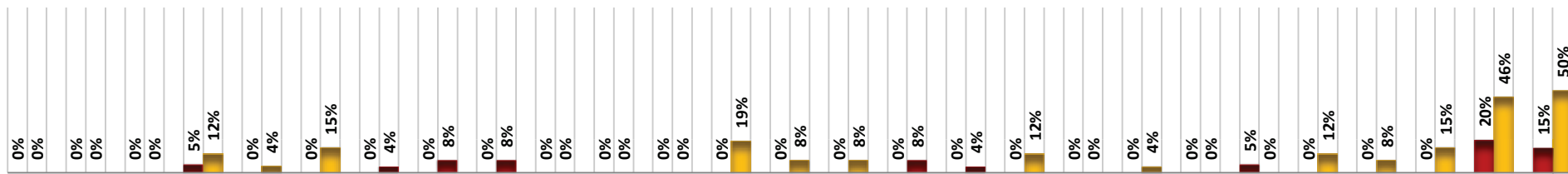
グラフ問3b-6. ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較

■ 専門家A ■ 専門家B



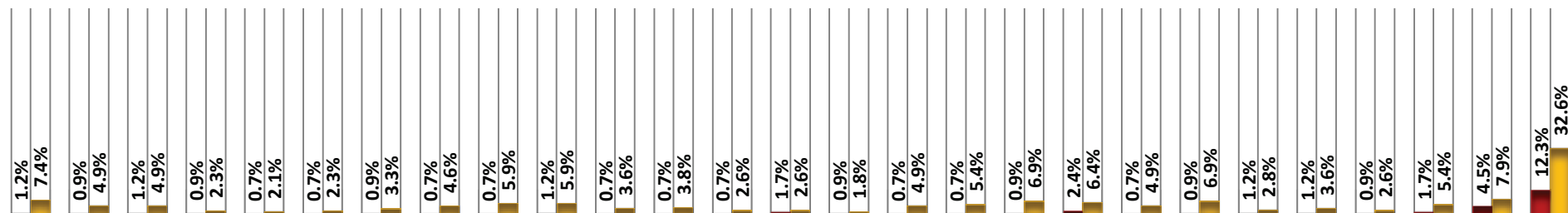
大学生の「使う」

■ 他出身 ■ ショグジャ出身



高校教師の「正しい」

■ 農村部 ■ 都市部



高校生の「使う」

■ 農村部 ■ 都市部

問3b-1.農村部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率) 280

①	C3c ○	Aku 僕(ンゴコ語) NAME (appellation)	arep (N) ～する	lunga (N) 行く	ning (N) ～～	Solo. (地名)	12.3%
		僕は ソロ へ 行く。					
②	C3b ○	Aku	arep (N) ～する	lunga (N) 行く	menyang (N) ～～	Solo.	4.5%
		僕は ソロ へ 行く。					
③	C1a	Aku	arep (N) ～する	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo.	2.4%
		僕は ソロ の方へ いらっしゃる。					

問3b-2.都市部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	C3c ○	Aku 僕(ンゴコ語) NAME (appellation)	arep (N) ～する	lunga (N) 行く	ning (N) ～～	Solo. (地名)	32.6%
		僕は ソロ へ 行く。					
②	C3b ○	Kula	arep (N) ～する	lunga (N) 行く	menyang (N) ～～	Solo.	7.9%
		僕は ソロ へ 行く。					
③	A1a	Kula	badhe (K) ～致します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo.	7.4%
		僕は ソロ の方へ いらっしゃいます。					

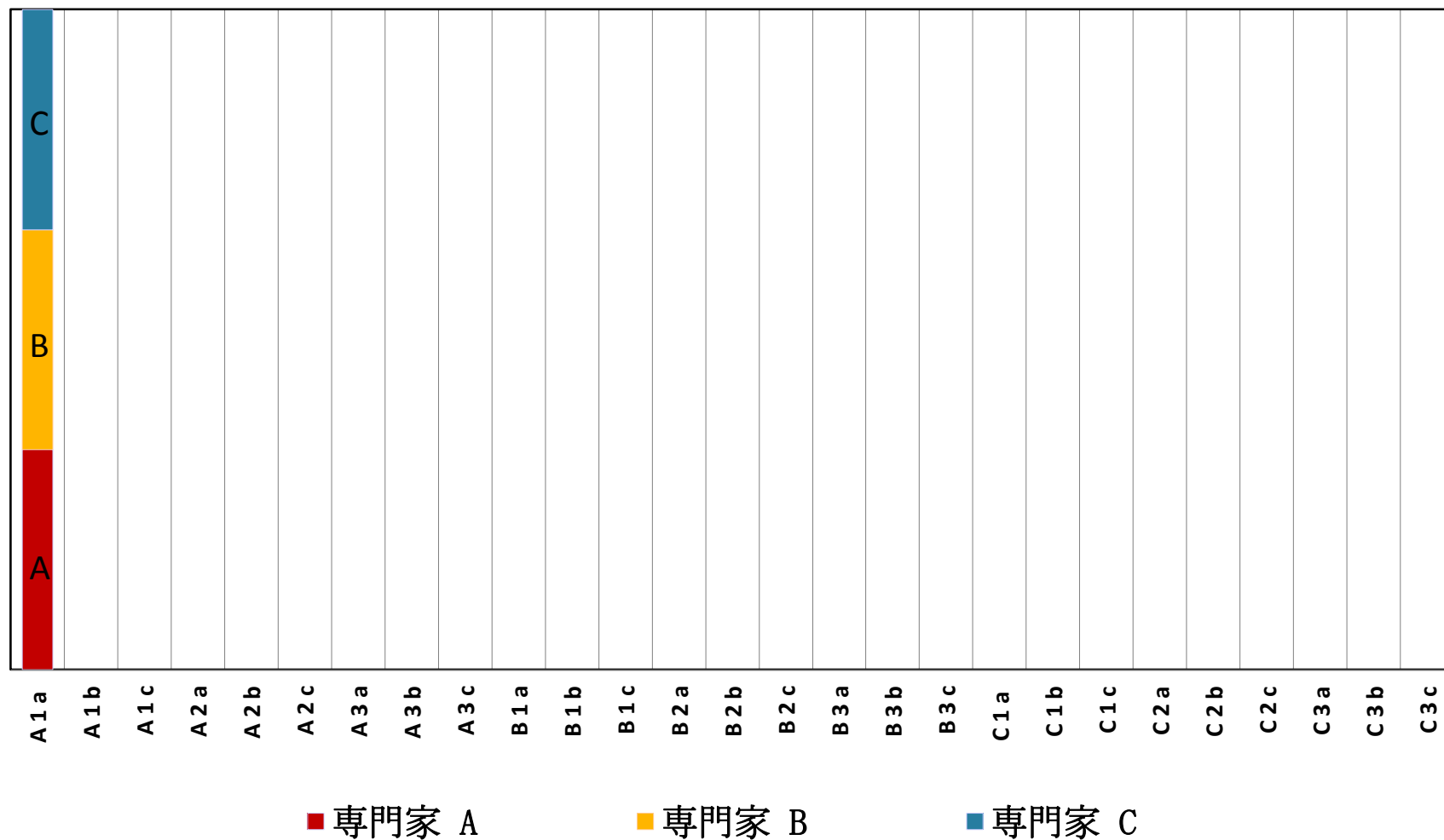
Q4	Saya bertanya kepada Bapak Hardito apakah beliau akan datang ke Solo. 私はハルデイト先生にソロへ行くかどうかをたずねる。						YOGYA ジョグジャ出身												LUAR YOGYA 他の出身												JAWABAN 先生の答え											
	No.	S 主語	ADV. 助動詞	V 動詞	PREP. 前置詞	PERTANYAAN 質問	CODE コード	#KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知らない			KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知っている			TOTAL 合計			Prosentase Terhadap Total Koresponden (115 org) 回答者の全体の割合(115人)			#KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知らない			KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知っている			TOTAL 合計			Prosentase Terhadap Total Koresponden (130 org) 回答者の全体の割合(130人)			Sensei A A 先生		Sensei B B 先生		Sensei C C 先生						
								GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	BENAR	SALAH	BENAR	SALAH	BENAR	SALAH					
								使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	正しい	正しくない	正しい	正しくない	正しい	正しくない					
1	Bapak					Bapak badhe tindak dhateng Solo?	A 1 a	78	6	0	29	2	0	107	8	0	93%	7%	0%	78	16	2	28	5	1	106	21	3	82%	16%	2%	✓		✓		✓						
2							A 1 b	18	64	2	11	17	3	29	81	5	25%	70%	4%	16	71	9	29	91	10	22%	70%	8%		✓		✓		✓								
3							A 1 c	5	74	5	9	21	1	14	95	6	12%	83%	5%	9	81	6	13	110	7	10%	85%	5%		✓		✓		✓								
4							A 2 a	28	47	9	9	19	3	37	66	12	32%	57%	10%	34	57	5	53	66	8	41%	53%	6%		✓		✓		✓								
5							A 2 b	9	69	6	5	24	2	14	93	8	12%	81%	7%	10	80	6	18	104	8	14%	80%	6%		✓		✓		✓								
6							A 2 c	5	76	3	3	26	2	8	102	5	7%	89%	4%	3	86	7	6	116	8	5%	89%	6%		✓		✓		✓								
7							A 3 a	1	81	2	2	28	1	3	109	3	3%	95%	3%	3	87	6	5	116	9	4%	89%	7%		✓		✓		✓								
8							A 3 b	1	81	2	2	28	3	3	107	5	3%	93%	4%	3	87	6	5	118	7	4%	91%	5%		✓		✓		✓								
9							A 3 c	2	80	2	2	27	2	4	107	4	3%	93%	3%	3	87	6	5	118	7	4%	91%	5%		✓		✓		✓								
10							B 1 a	39	43	2	19	11	1	58	54	3	50%	47%	3%	51	41	4	69	57	4	53%	44%	3%		✓		✓		✓								
11							B 1 b	21	58	5	15	14	2	36	72	7	31%	63%	6%	15	76	5	27	96	5	21%	75%	4%		✓		✓		✓								
12							B 1 c	6	73	5	7	23	1	13	96	6	11%	83%	5%	9	82	5	13	110	7	10%	85%	5%		✓		✓		✓								
13							B 2 a	21	58	5	6	21	4	27	79	9	23%	69%	8%	28	63	5	42	81	7	32%	62%	5%		✓		✓		✓								
14							B 2 b	11	67	6	4	24	3	15	91	9	13%	79%	8%	7	83	6	16	106	6	12%	83%	5%		✓		✓		✓								
15							B 2 c	5	74	5	3	26	2	8	100	7	7%	87%	6%	4	86	6	8	114	8	6%	88%	6%		✓		✓		✓								
16							B 3 a	1	80	3	2	27	2	3	107	5	3%	93%	4%	1	90	5	3	121	6	2%	93%	5%		✓		✓		✓								
17							B 3 b	2	79	3	2	27	2	4	106	5	3%	92%	4%	2	88	6	5	119	6	4%	92%	5%		✓		✓		✓								
18							B 3 c	0	81	3	3	26	2	3	107	5	3%	93%	4%	2	89	5	4	120	6	3%	92%	5%		✓		✓		✓								
19							C 1 a	8	75	1	6	24	1	14	99	2	12%	86%	2%	10	82	4	17	107	6	13%	82%	5%		✓		✓		✓								
20							C 1 b	7	76	1	6	22	3	13	98	4	11%	85%	3%	6	86	4	10	116	5	8%	88%	4%		✓		✓		✓								
21							C 1 c	4	79	1	3	26	2	7	105	3	6%	91%	3%	3	90	3	9	118	3	7%	91%	2%		✓		✓		✓								
22							C 2 a	5	76	3	1	28	2	6	104	5	5%	90%	4%	4	88	4	7	116	7	5%	89%	5%		✓		✓		✓								
23							C 2 b	4	77	3	2	26	4	6	102	7	5%	89%	6%	2	91	3	5	120	5	4%	92%	4%		✓		✓		✓								
24							C 2 c	3	78	3	0	29	2	3	107	5	3%	93%	4%	2	91	3	6	120	4	5%	92%	3%		✓		✓		✓								
25							C 3 a	2	80	2	2	28	1	4	106	3	3%	94%	3%	1	92	3	2	123	5	2%	95%	4%		✓		✓		✓								
26							C 3 b	2	80	2	4	24	3	6	104	5	5%	90%	4%	1	93	2	3	124	3	2%	95%	2%		✓		✓		✓								
27							C 3 c	3	80	1	4	25	2	7	105	3	6%	91%	3%	2	91	3	7	120	3	5%	92%	2%		✓		✓		✓								

説明 : K = Krama クロモ
M = Madya マディオ
N = Ngoko ンゴコ

問4. 尊敬的表現の使用を測る設問 (私はハルデイト先生にソロ市へ行くかどうかを尋ねる)

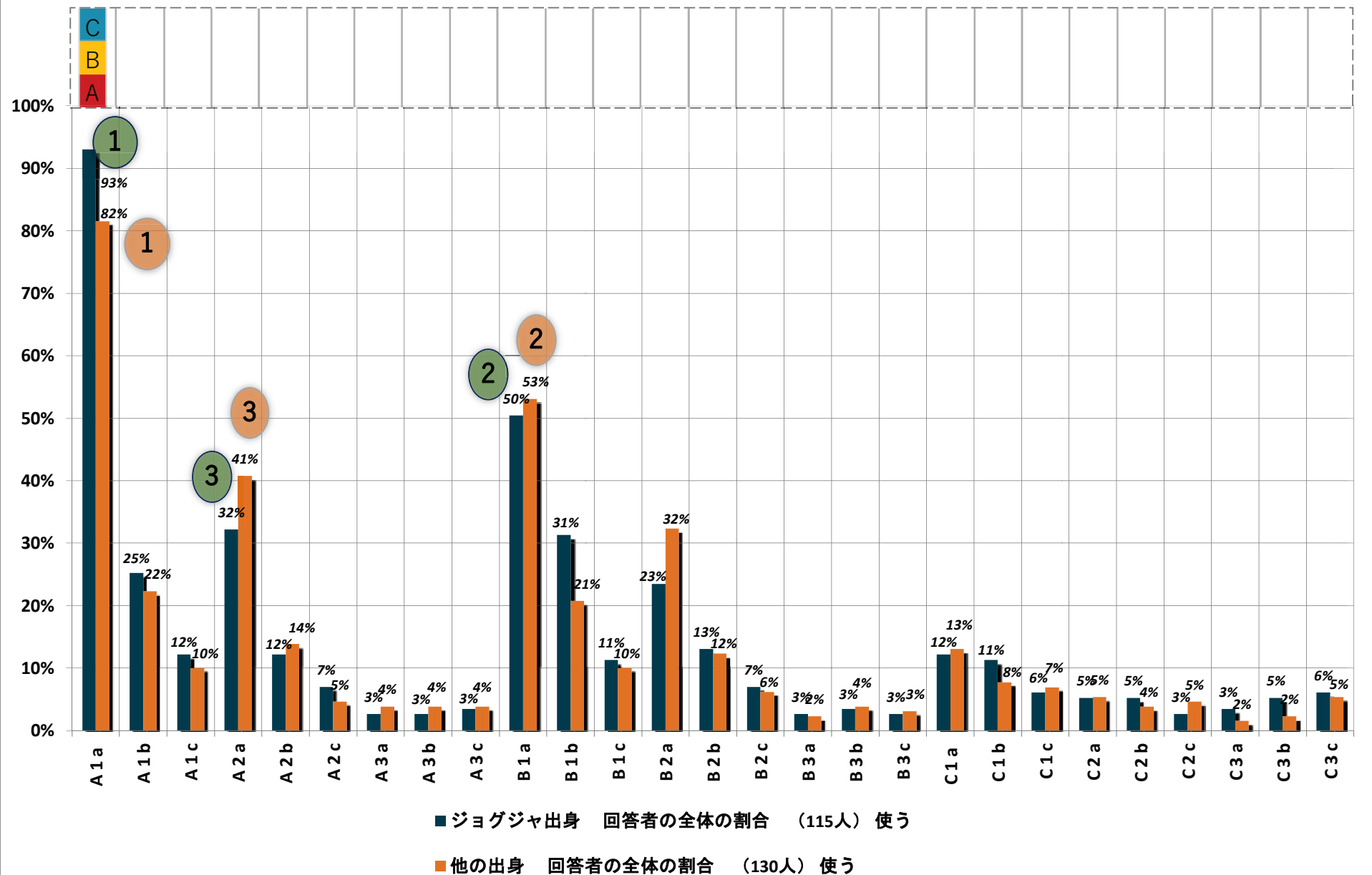
問4	Saya bertanya kepada Bapak Hardito apakah beliau akan datang ke Solo. (私はハルデイト先生にソロ市へ行くかどうかを尋ねる。)					
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文体	コード
1		badhe(K) (A) ~なさいます Will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Bapak badhe tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃいますか。	A 1 a
2			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Bapak badhe tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃいますか。	A 1 b
3			go	ning(N) (c) ~へ to	Bapak badhe tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃいますか。	A 1 c
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Bapak badhe kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行きますか。	A 2 a
5			menyang(N) (b) ~へ to	Bapak badhe kesah menyang Solo? 先生はソロへ行きますか。	A 2 b	
6			参る・行く go	ning(N) (c) ~へ to	Bapak badhe kesah ning Solo? 先生はソロへ行きますか。	A 2 c
7			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Bapak badhe lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くんっすか。	A 3 a
8			menyang(N) (b) ~へ to	Bapak badhe lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くんっすか。	A 3 b	
9			行く go	ning(N) (c) ~へ to	Bapak badhe lunga ning Solo? 先生はソロへ行くんっすか。	A 3 c
10	Bapak 先生 (年上の男性の 呼び名) NAME (appellation)	ajeng(M) (B) ~します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Bapak ajeng tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃるのですか。	B 1 a
11			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Bapak ajeng tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃるのですか。	B 1 b
12			go	ning(N) (c) ~へ to	Bapak ajeng tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃるのですか。	B 1 c
13			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Bapak ajeng kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くのですか。	B 2 a
14			menyang(N) (b) ~へ to	Bapak ajeng kesah menyang Solo? 先生はソロへ行くのですか。	B 2 b	
15			参る・行く go	ning(N) (c) ~へ to	Bapak ajeng kesah ning Solo? 先生はソロへ行くのですか。	B 2 c
16			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Bapak ajeng lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くっすか。	B 3 a
17			menyang(N) (b) ~へ to	Bapak ajeng lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くっすか。	B 3 b	
18			行く go	ning(N) (c) ~へ to	Bapak ajeng lunga ning Solo? 先生はソロへ行くっすか。	B 3 c
19		arep(N) (C) ~する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Bapak arep tindak dhateng Solo? 先生はソロの方へいらっしゃるのか。	C 1 a
20			いらっしゃる go	menyang(N) (b) ~へ to	Bapak arep tindak menyang Solo? 先生はソロへいらっしゃるのか。	C 1 b
21			go	ning(N) (c) ~へ to	Bapak arep tindak ning Solo? 先生はソロへいらっしゃるのか。	C 1 c
22			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Bapak arep kesah dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くのか。	C 2 a
23			menyang(N) (b) ~へ to	Bapak arep kesah menyang Solo? 先生はソロへ行くのか。	C 2 b	
24			参る・行く go	ning(N) (c) ~へ to	Bapak arep kesah ning Solo? 先生はソロへ行くのか。	C 2 c
25			lunga(N) (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Bapak arep lunga dhateng Solo? 先生はソロの方へ行くの。	C 3 a
26			menyang(N) (b) ~へ to	Bapak arep lunga menyang Solo? 先生はソロへ行くの。	C 3 b	
27			行く go	ning(N) (c) ~へ to	Bapak arep lunga ning Solo? 先生はソロへ行くの。	C 3 c

グラフ問4-1. ジャワ語専門家による規範的な文体

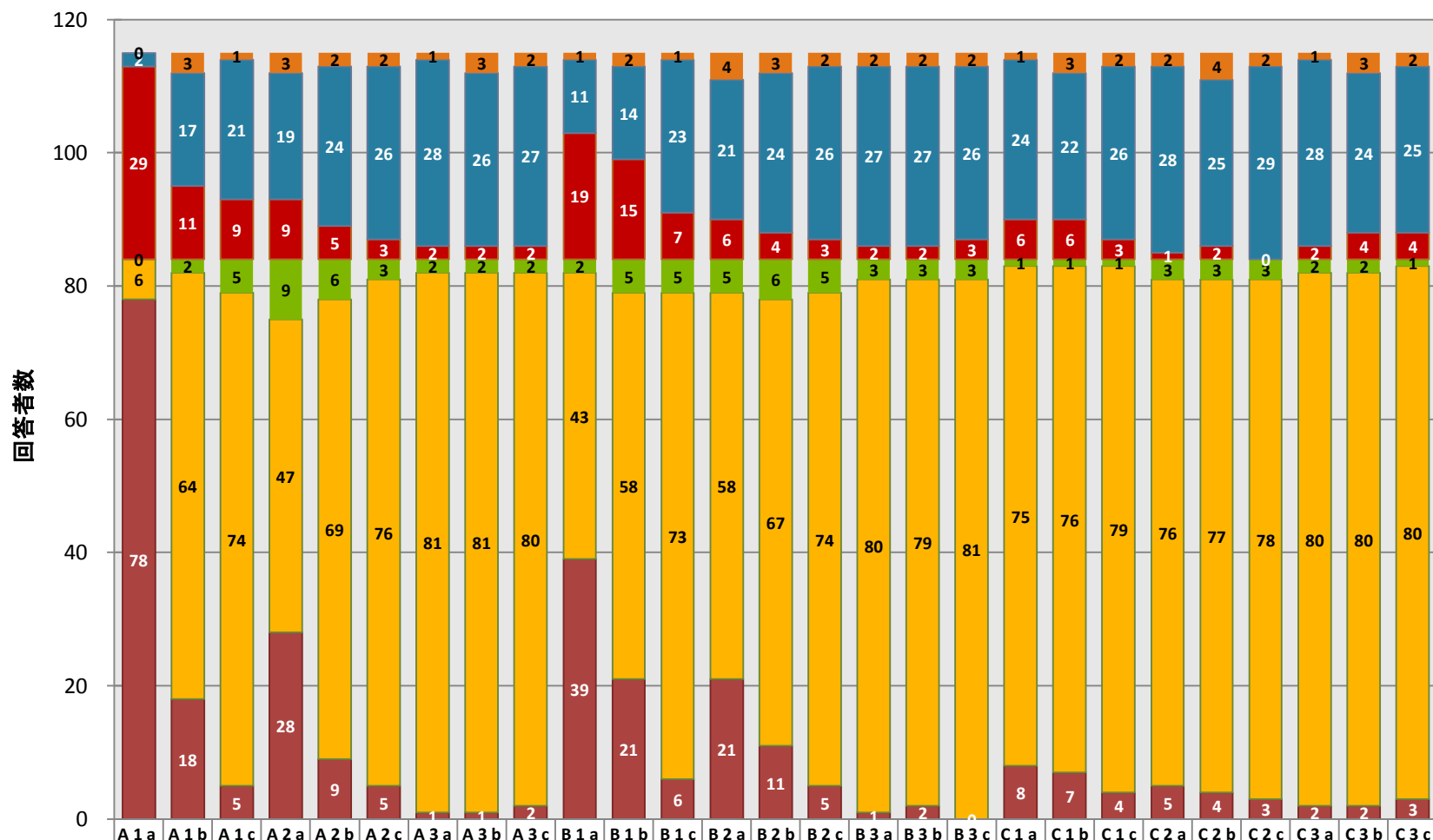


グラフ問4-2. ジャワ語専門家と学生の回答比較

■ 専門家A ■ 専門家B ■ 専門家C

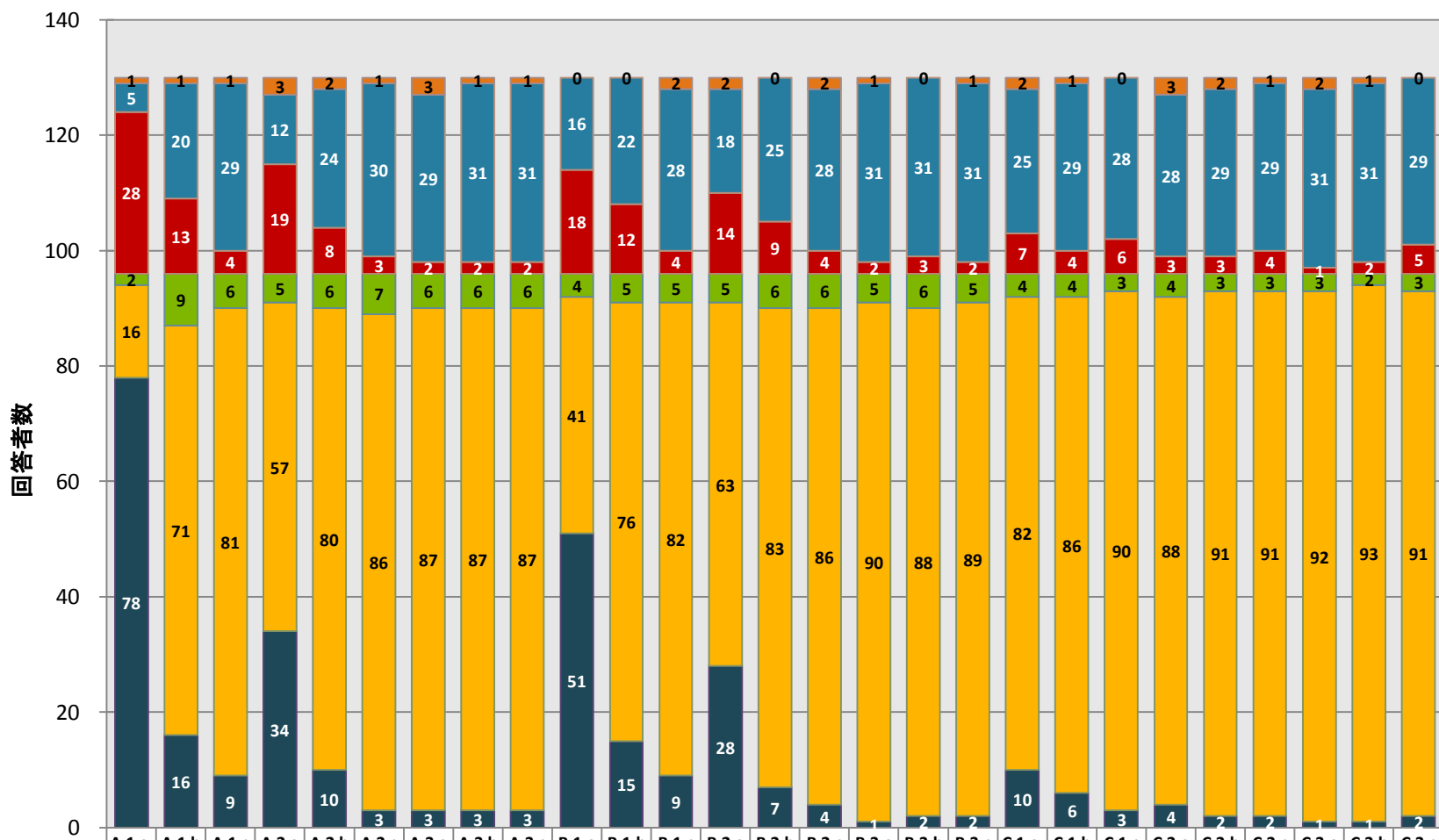


グラフ問4-2-1. クロモルマ体についての回答比較 (ジョグジャカルタ出身)



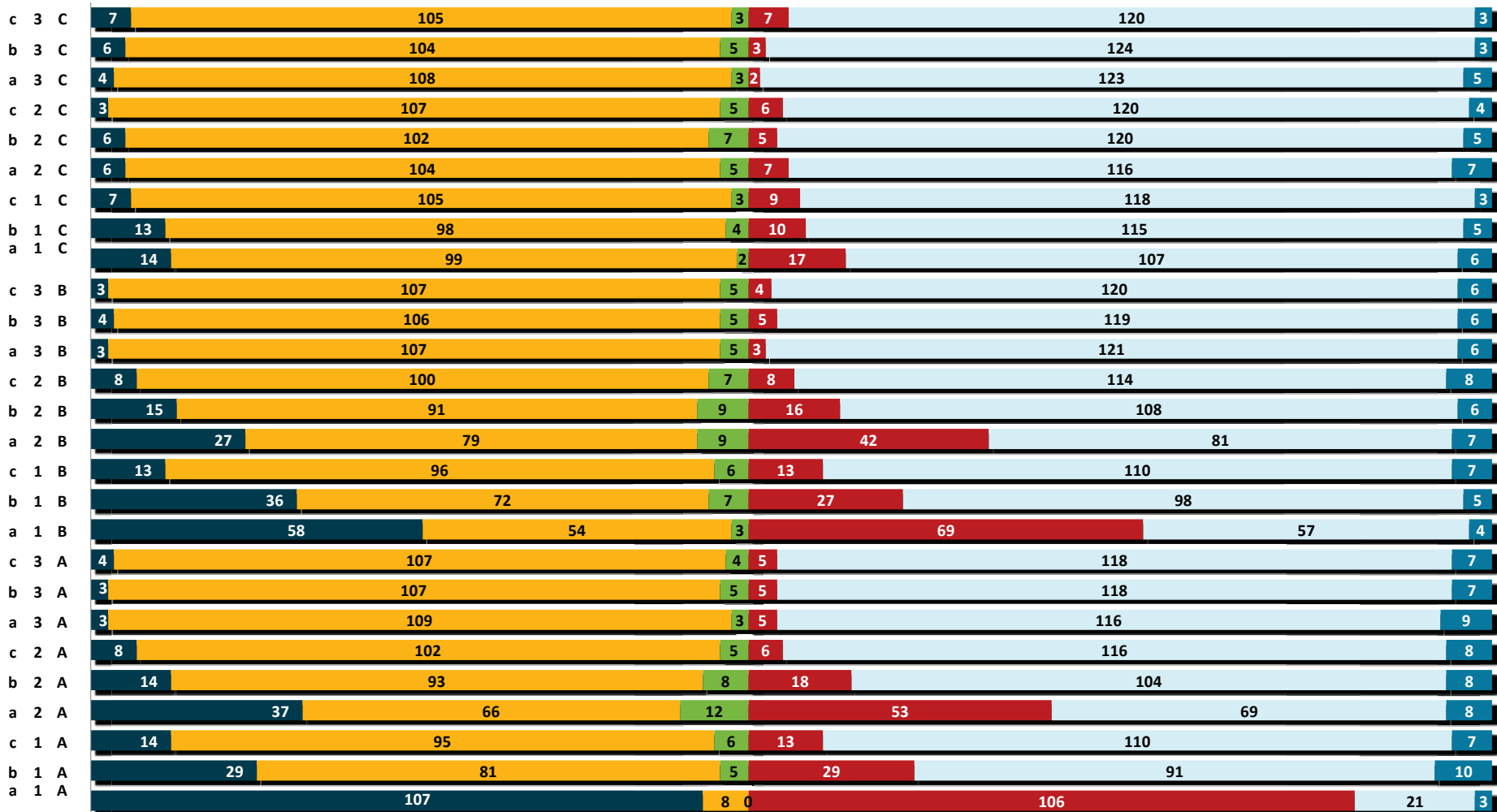
	A1 a	A1 b	A1 c	A2 a	A2 b	A2 c	A3 a	A3 b	A3 c	B1 a	B1 b	B1 c	B2 a	B2 b	B2 c	B3 a	B3 b	B3 c	C1 a	C1 b	C1 c	C2 a	C2 b	C2 c	C3 a	C3 b	C3 c
■クロモ・ルマを知っている わからない	0	3	1	3	2	2	1	3	2	1	2	1	4	3	2	2	2	2	1	3	2	2	4	2	1	3	2
■クロモ・ルマを知っている 使わない	2	17	21	19	24	26	28	26	27	11	14	23	21	24	26	27	27	26	24	22	26	28	25	29	28	24	25
■クロモ・ルマを知っている 使う	29	11	9	9	5	3	2	2	2	19	15	7	6	4	3	2	2	3	6	6	3	1	2	0	2	4	4
■クロモ・ルマを知らない わからない	0	2	5	9	6	3	2	2	2	2	5	5	5	6	5	3	3	3	1	1	1	3	3	3	2	2	1
■クロモ・ルマを知らない 使わない	6	64	74	47	69	76	81	81	80	43	58	73	58	67	74	80	79	81	75	76	79	76	77	78	80	80	80
■クロモ・ルマを知らない 使う	78	18	5	28	9	5	1	1	2	39	21	6	21	11	5	1	2	0	8	7	4	5	4	3	2	2	3

グラフ問4-2-2. クロモルマ体についての回答比較 (他州の出身)



	A1 a	A1 b	A1 c	A2 a	A2 b	A2 c	A3 a	A3 b	A3 c	B1 a	B1 b	B1 c	B2 a	B2 b	B2 c	B3 a	B3 b	B3 c	C1 a	C1 b	C1 c	C2 a	C2 b	C2 c	C3 a	C3 b	C3 c
■クロモ・ルマを知っている わからない	1	1	1	3	2	1	3	1	1	0	0	2	2	0	2	1	0	1	2	1	0	3	2	1	2	1	0
■クロモ・ルマを知っている 使わない	5	20	29	12	24	30	29	31	31	16	22	28	18	25	28	31	31	31	25	29	28	28	29	29	31	31	29
■クロモ・ルマを知っている 使う	28	13	4	19	8	3	2	2	2	18	12	4	14	9	4	2	3	2	7	4	6	3	3	4	1	2	5
■クロモ・ルマを知らない わからない	2	9	6	5	6	7	6	6	6	4	5	5	5	6	6	5	6	5	4	4	3	4	3	3	3	2	3
■クロモ・ルマを知らない 使わない	16	71	81	57	80	86	87	87	87	41	76	82	63	83	86	90	88	89	82	86	90	88	91	91	92	93	91
■クロモ・ルマを知らない 使う	78	16	9	34	10	3	3	3	3	51	15	9	28	7	4	1	2	2	10	6	3	4	2	2	1	1	2

グラフ問4-2-3. ジョグジャカルタ出身と他州の出身の回答比較

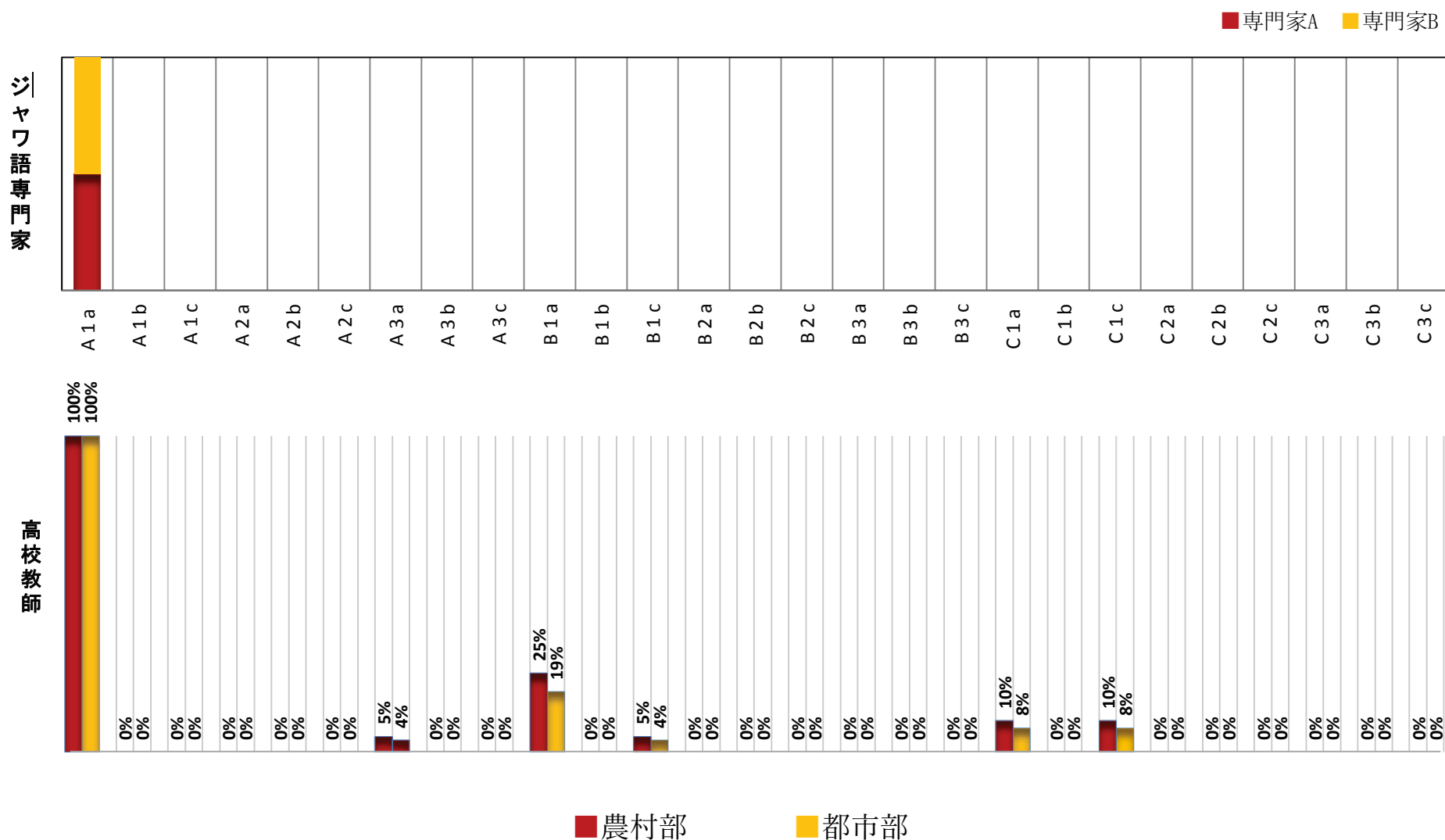


	A1 a	A1 b	A1 c	A2 a	A2 b	A2 c	A3 a	A3 b	A3 c	B1 a	B1 b	B1 c	B2 a	B2 b	B2 c	B3 a	B3 b	B3 c	C1 a	C1 b	C1 c	C2 a	C2 b	C2 c	C3 a	C3 b	C3 c
■ ジョグジャ出身合計使う	107	29	14	37	14	8	3	3	4	58	36	13	27	15	8	3	4	3	14	13	7	6	6	3	4	6	7
■ ジョグジャ出身合計使わない	8	81	95	66	93	102	109	107	107	54	72	96	79	91	100	107	106	107	99	98	105	104	102	107	108	104	105
■ ジョグジャ出身合計わからない	0	5	6	12	8	5	3	5	4	3	7	6	9	9	7	5	5	5	2	4	3	5	7	5	3	5	3
■ 他の出身合計使う	106	29	13	53	18	6	5	5	5	69	27	13	42	16	8	3	5	4	17	10	9	7	5	6	2	3	7
■ 他の出身合計使わない	21	91	110	69	104	116	116	118	118	57	98	110	81	108	114	121	119	120	107	115	118	116	120	120	123	124	120
■ 他の出身合計わからない	3	10	7	8	8	8	9	7	7	4	5	7	7	6	8	6	6	6	6	5	3	7	5	4	5	3	3

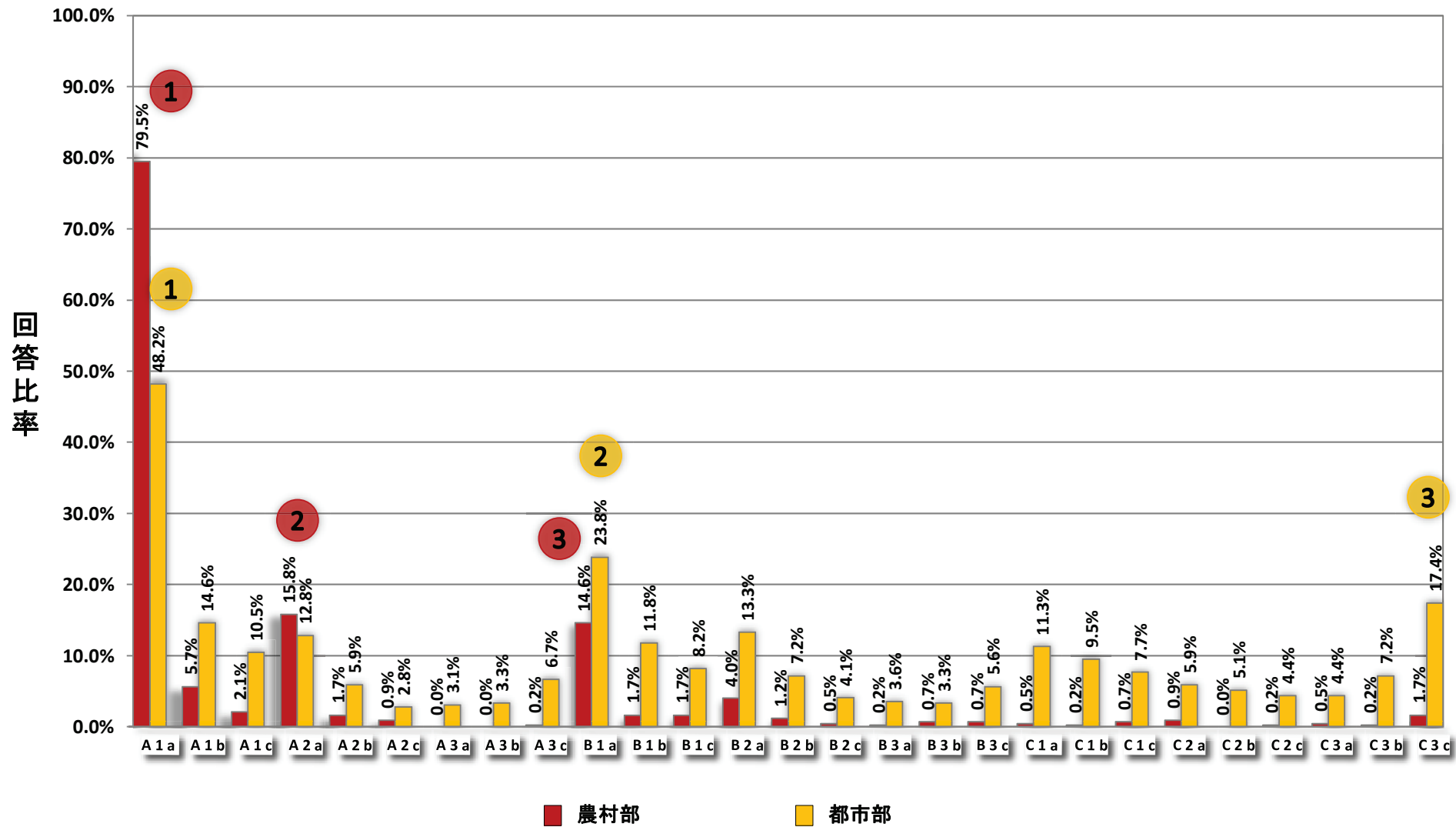
問4. 大学生がよく使う回答の順位

①	A1a ○	Bapak (先生、～さん) NAME (appellation)	badhe (K) ～なさいます Will	tindak (Ki) いらっしゃる go	dhateng (K) ～の方へ to	Solo? (地名) PLACE	学生が 「使う」 88%
先生は ソロ の方へ いらっしゃいますか。							
②	B1a ×	Bapak	ajeng (M) ～します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～の方へ	Solo?	52%
先生は ソロ の方へ いらっしゃるのですか。							
③	A2a ×	Bapak	badhe (K) ～なさいます	kesah (M) 行く	dhateng (K) ～の方へ	Solo?	37%
先生は ソロ の方へ 行きますか。							
④	B2a ×	Bapak	ajeng (M) ～します	kesah (M) 行く	dhateng (K) ～の方へ	Solo?	28%
先生は ソロ の方へ 行くのですか。							
⑤	B1b ×	Bapak	ajeng (M) ～します	tindak (Ki) いらっしゃる	menyang(N) ～へ	Solo?	26%
先生は ソロ へ いらっしゃるのですか。							

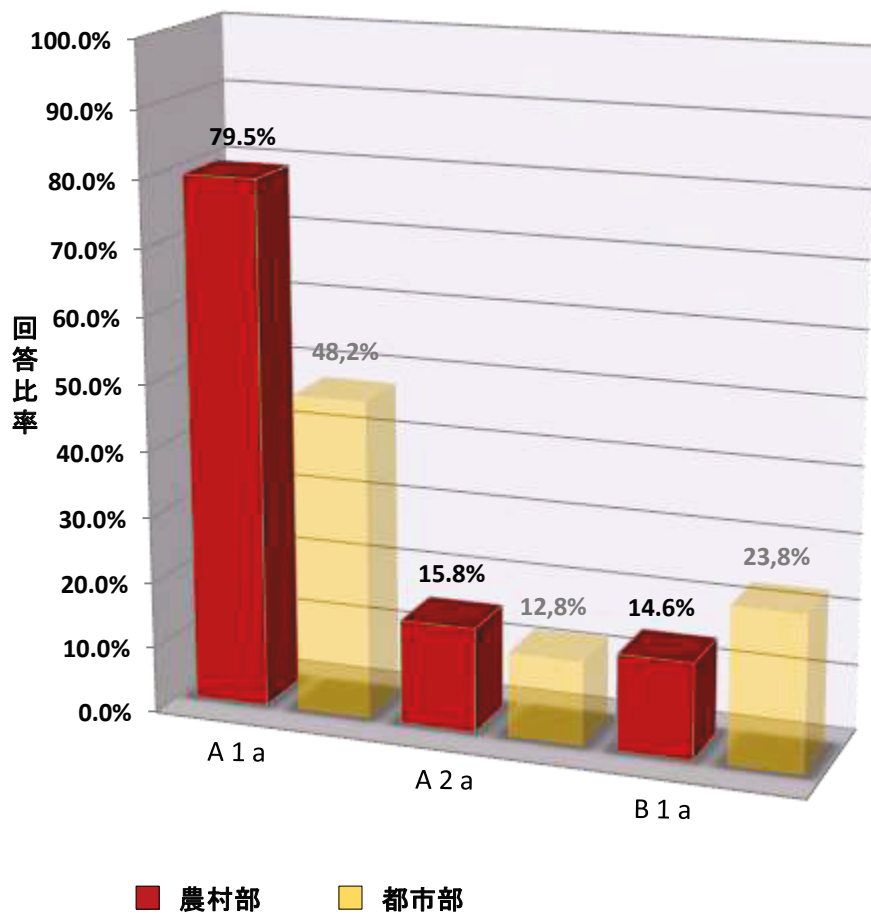
グラフ 問4-1. ジャワ語専門家と高校教師の回答比較



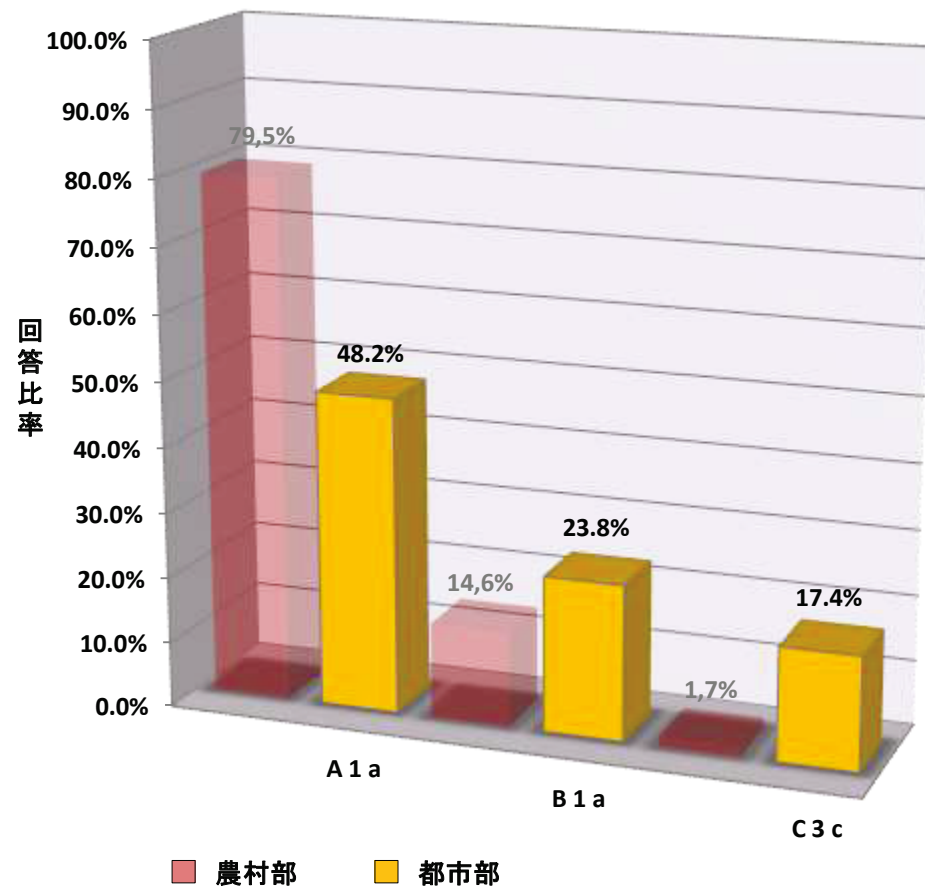
グラフ 問4-2. 農村部と都市部の高校生の回答比較



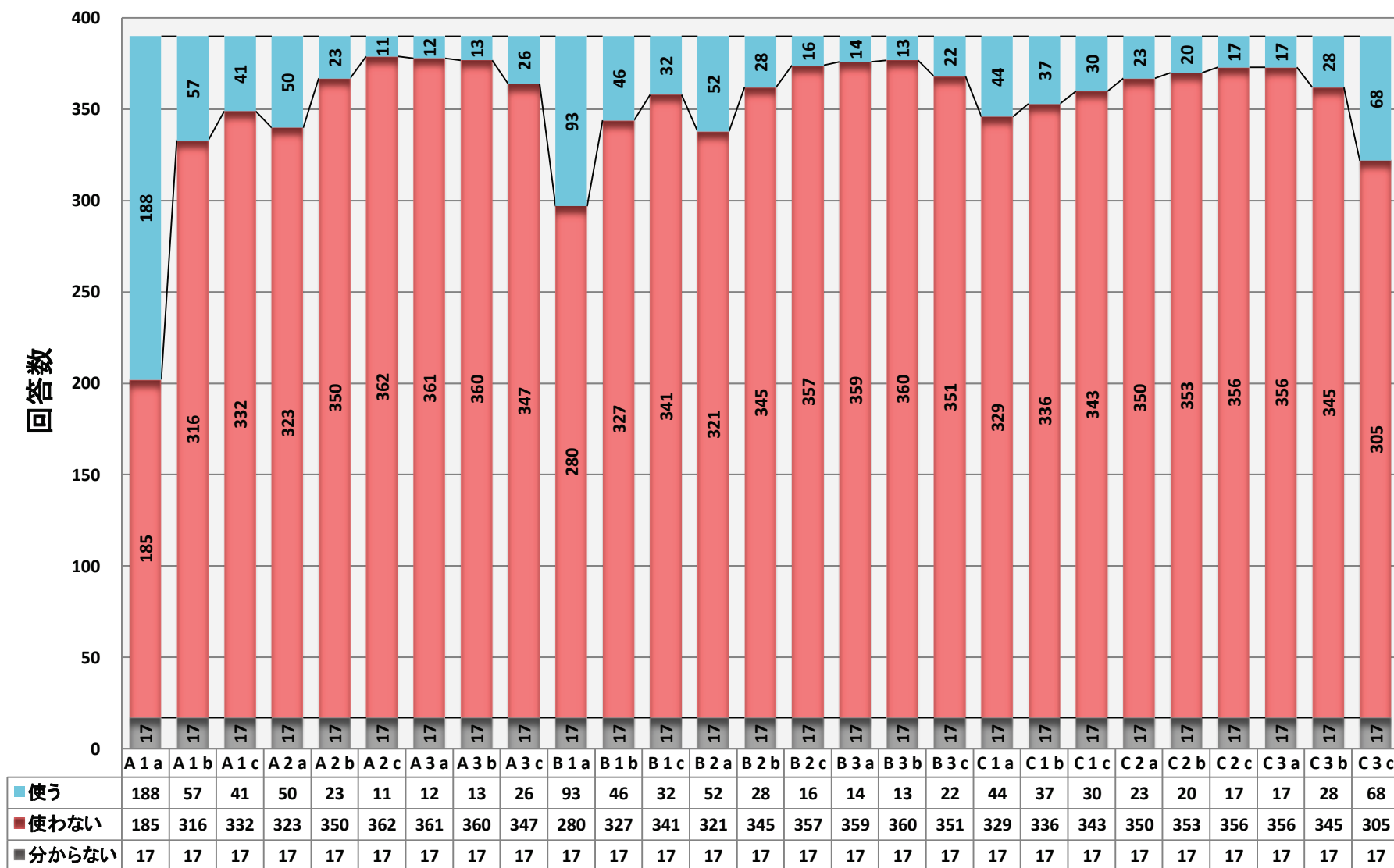
グラフ 問4-2-1.
農村部の高校生の回答比較



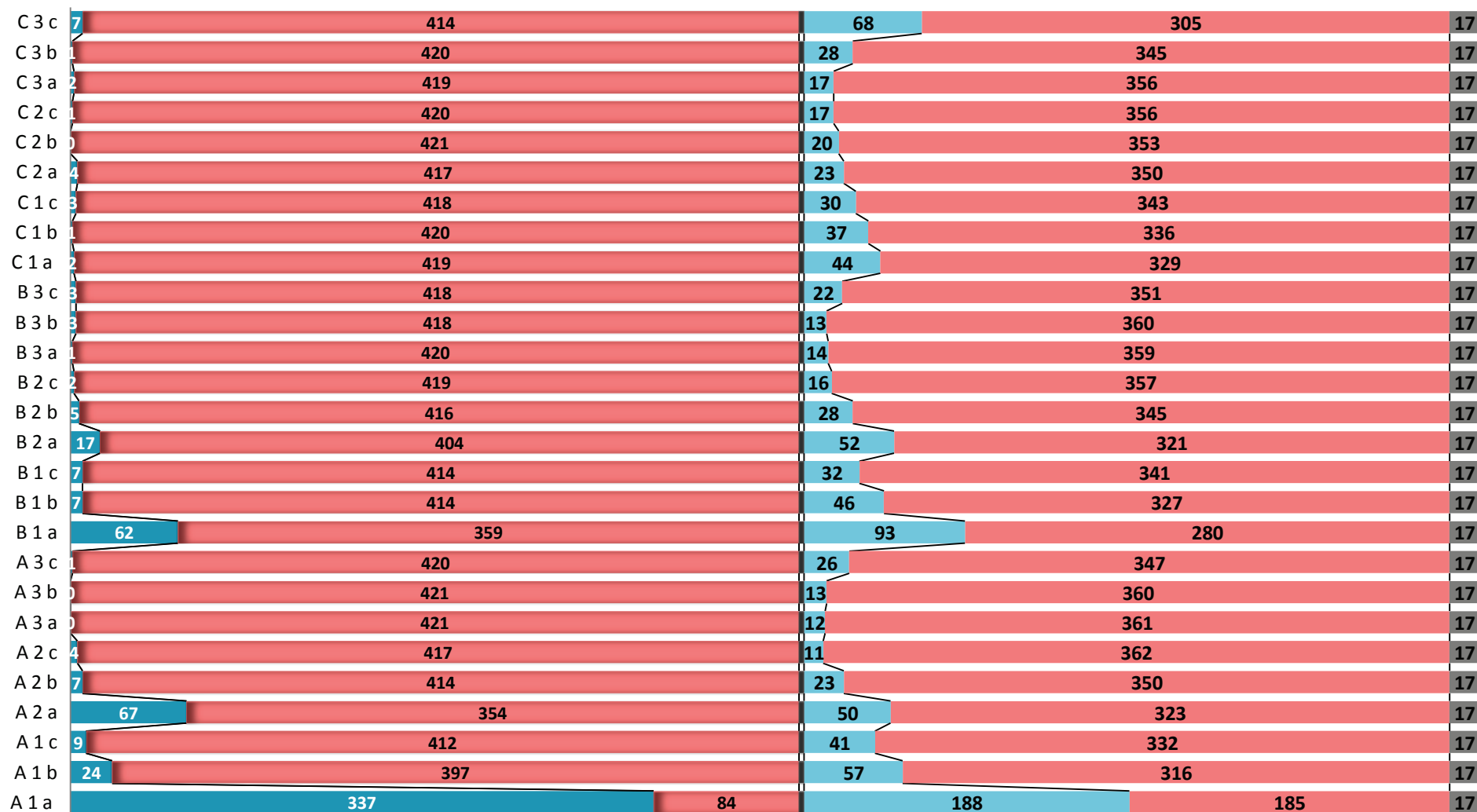
グラフ 問4-2-2.
都市部の高校生の回答比較



グラフ問4-2-5. 都市部の高校生の全回答

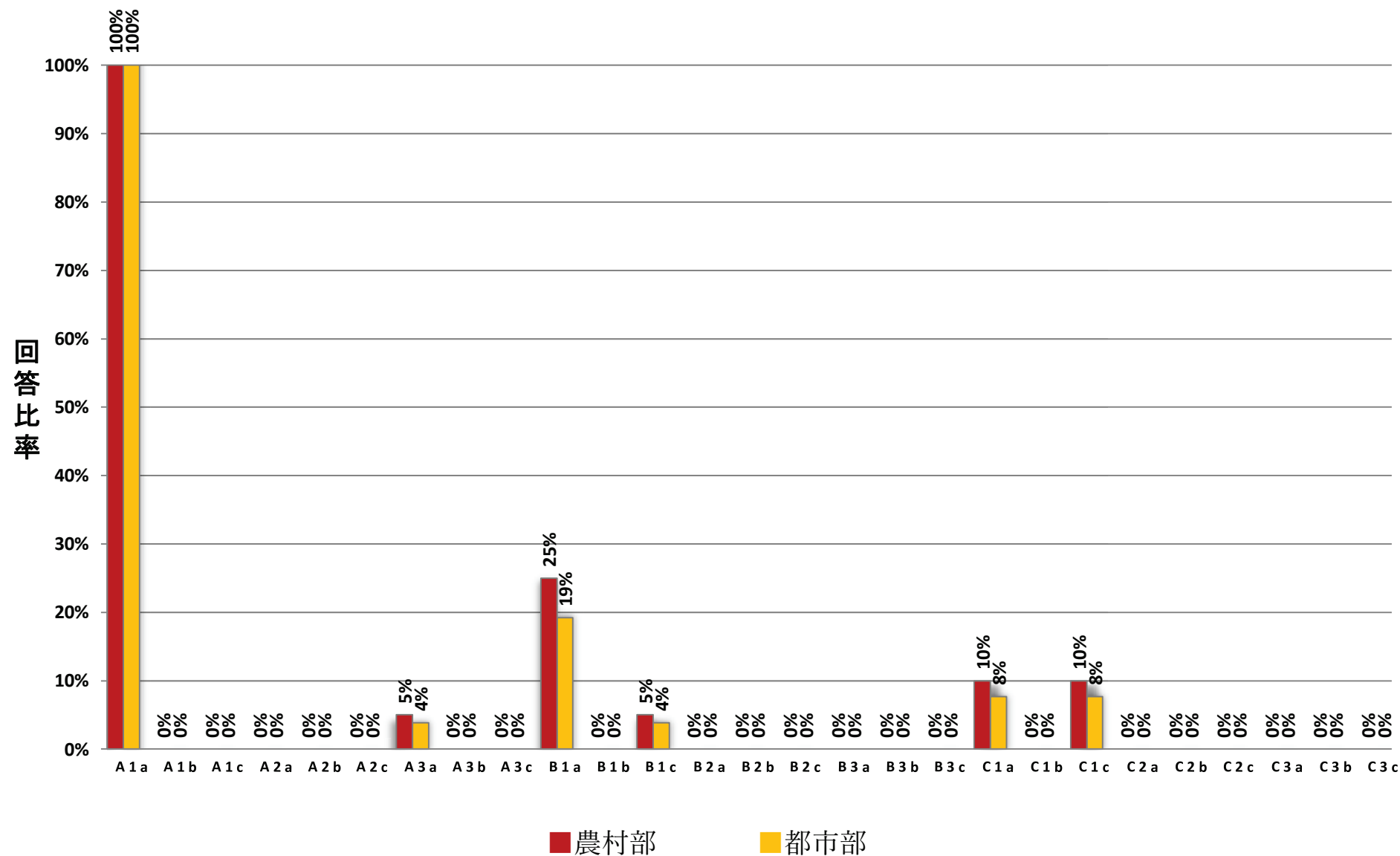


グラフ問4-2-7. 農村部と都市部の全高校生の回答比較



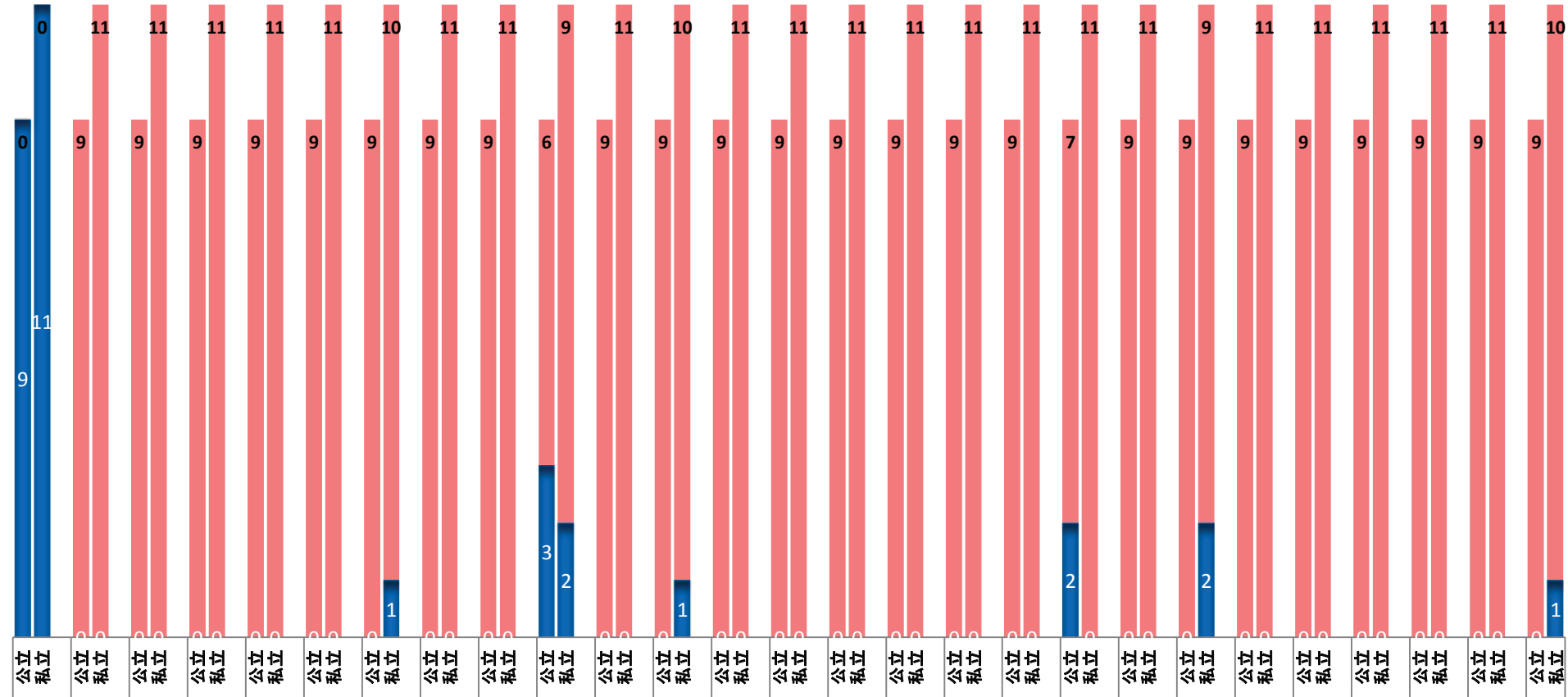
■ 農村部高校 使う ■ 農村部高校 使わない ■ 農村部高校 分からない ■ 都市部高校 使う ■ 都市部高校 使わない ■ 都市部高校 分からない

グラフ 問4-3. 農村部と都市部の高校教師の回答比較



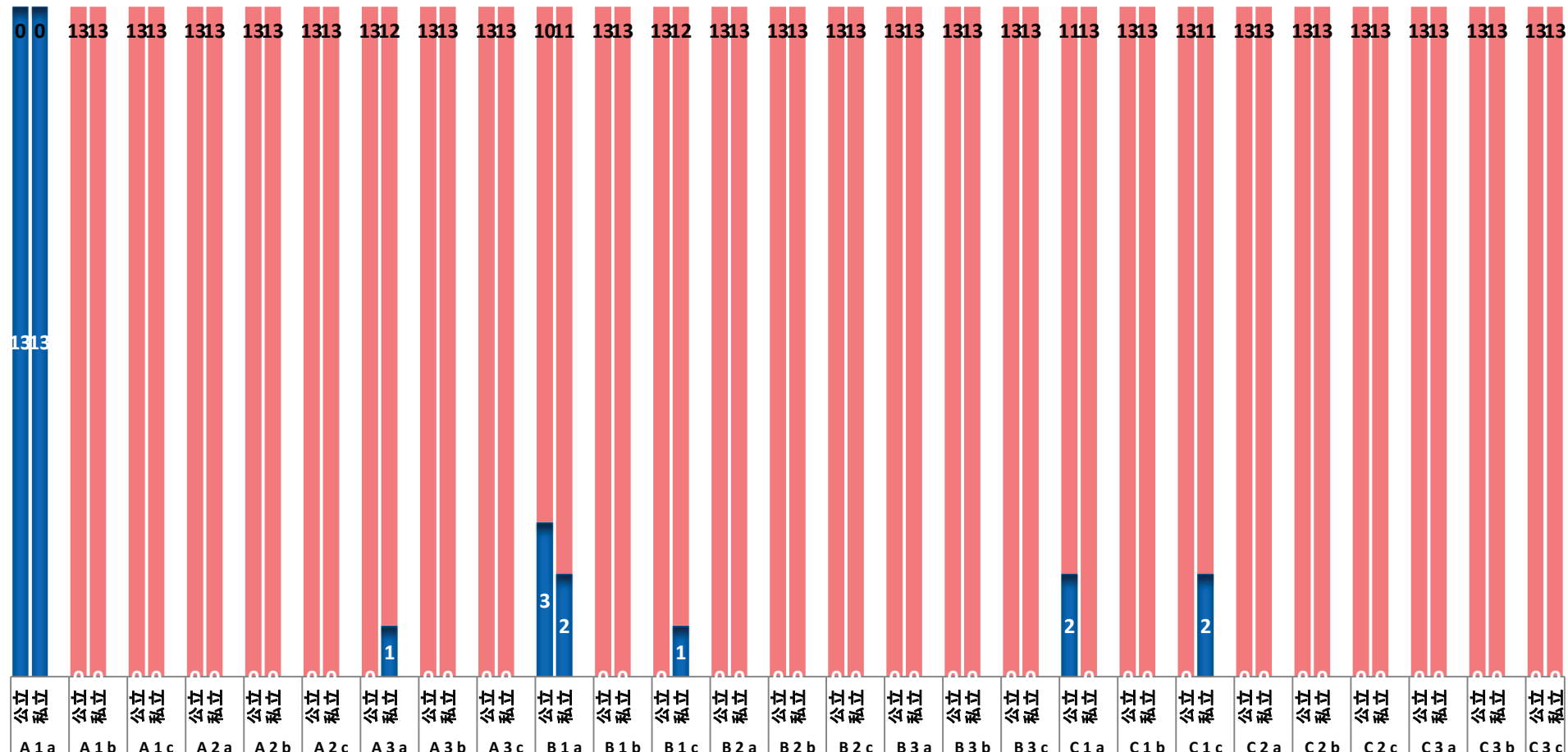
グラフ問4-3-1. 農村部の公立と私立の高校教師の回答比較

■ 正しい ■ 正しくない

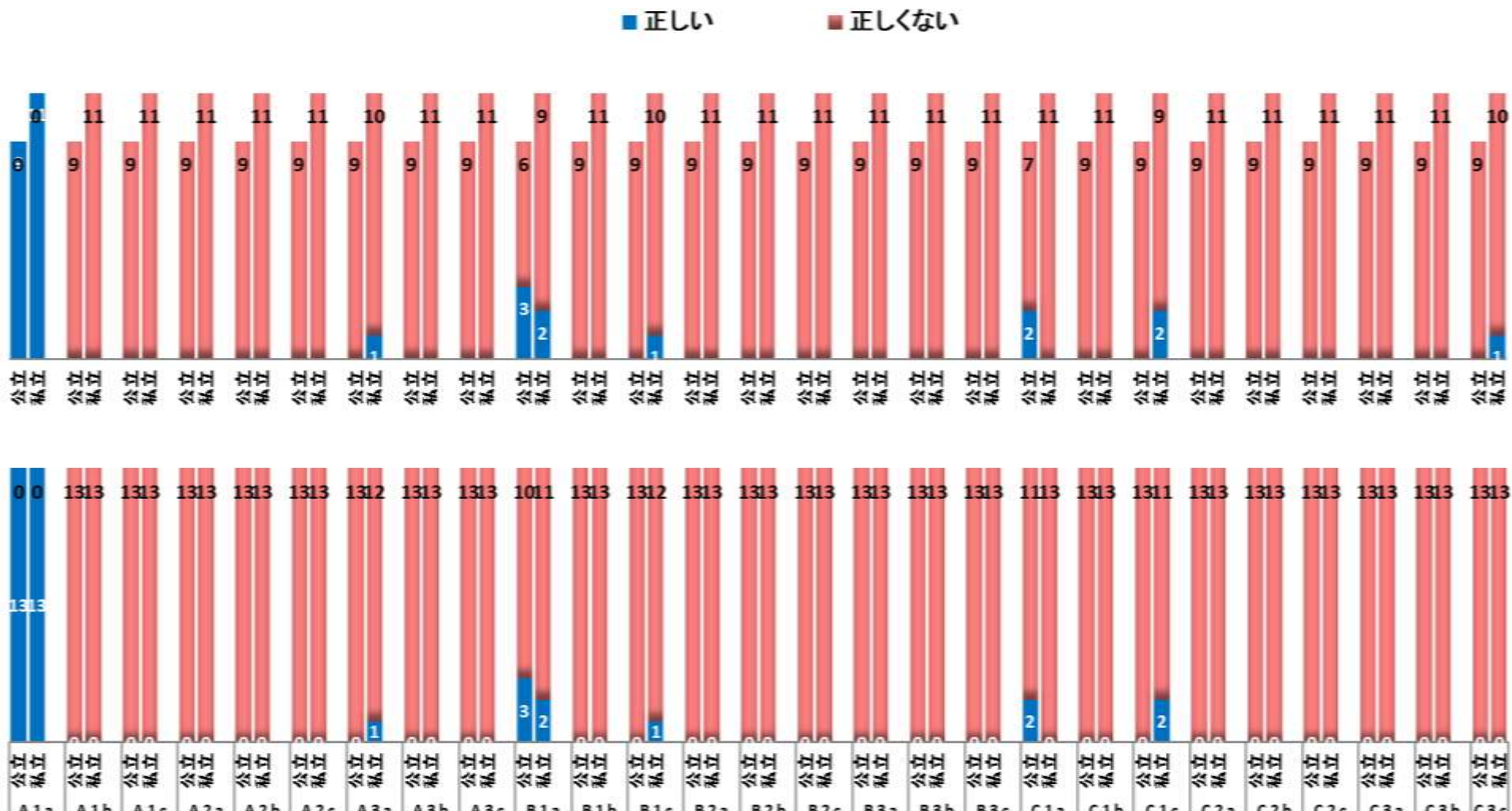


グラフ問4-3-2. 都市部の公立と私立の高校教師の回答比較

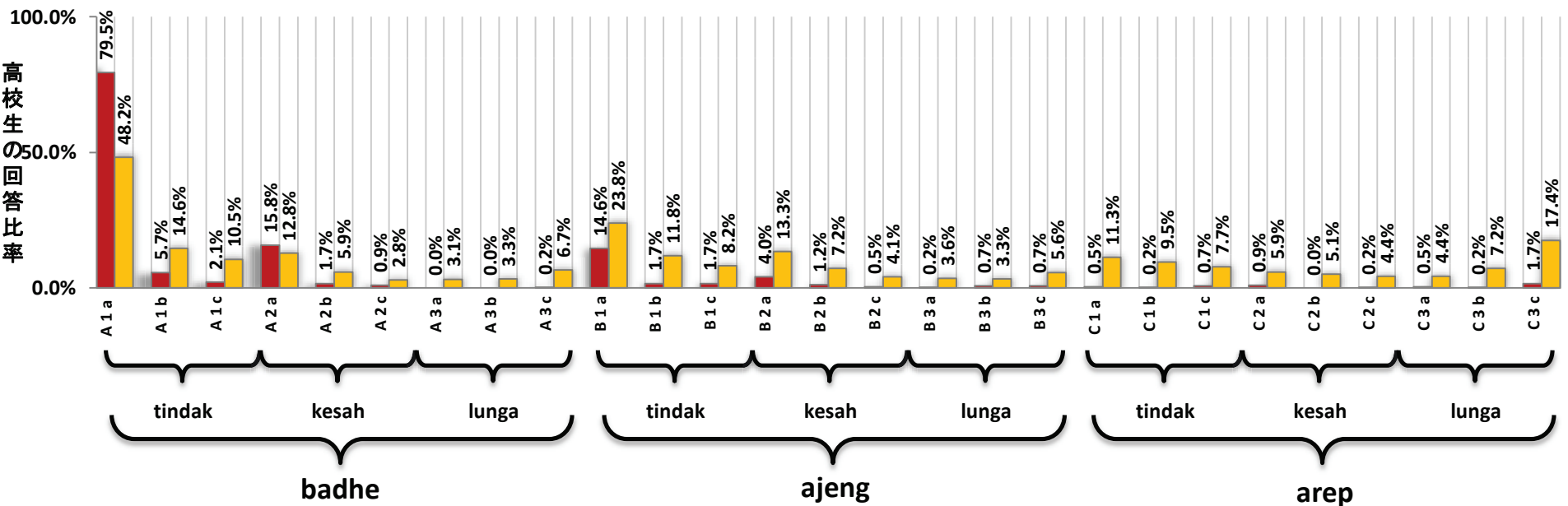
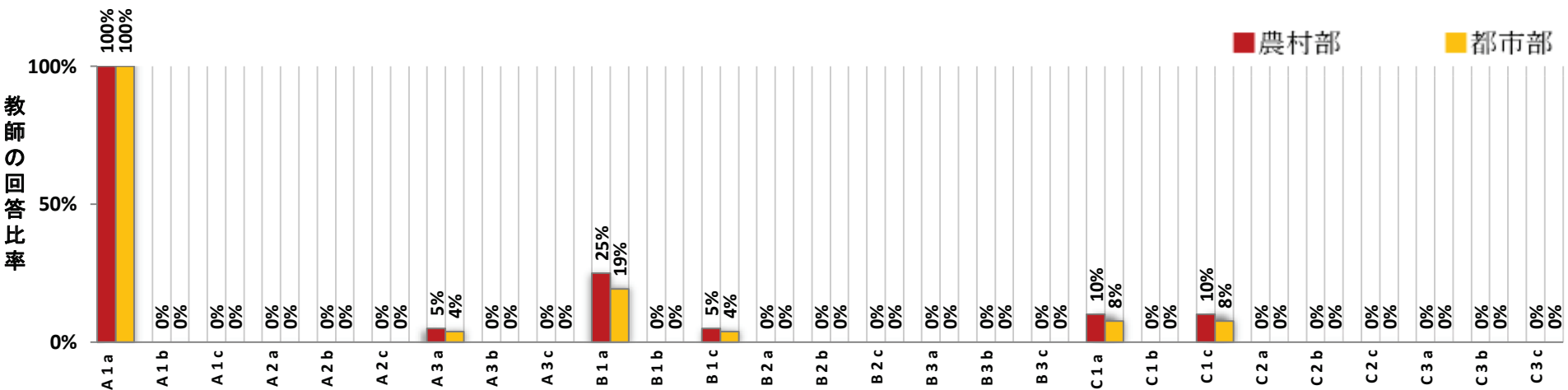
■ 正しい ■ 正しくない



グラフ問4-3-3. 農村部と都市部の全高校教師の回答比較

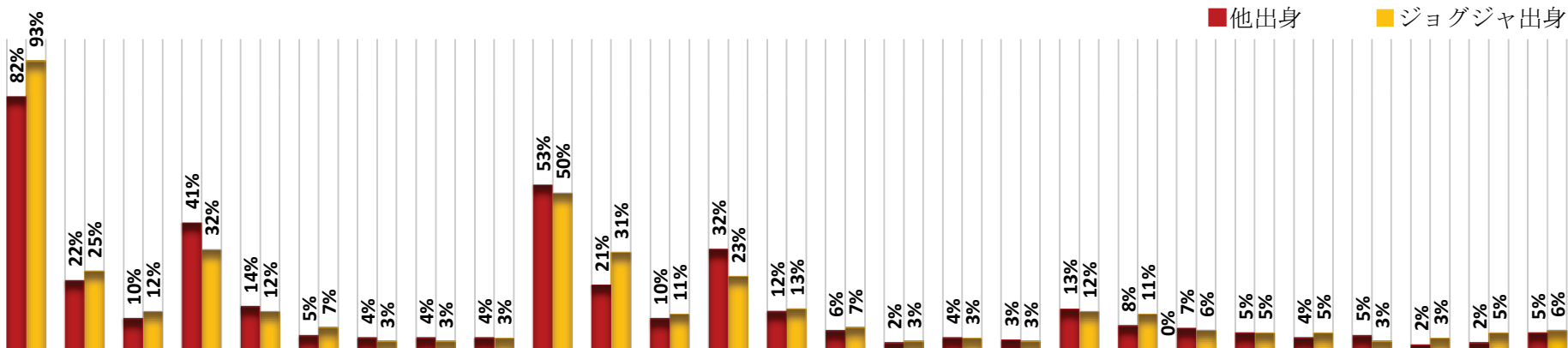


グラフ 問4-4. 高校教師と高校生の回答比較

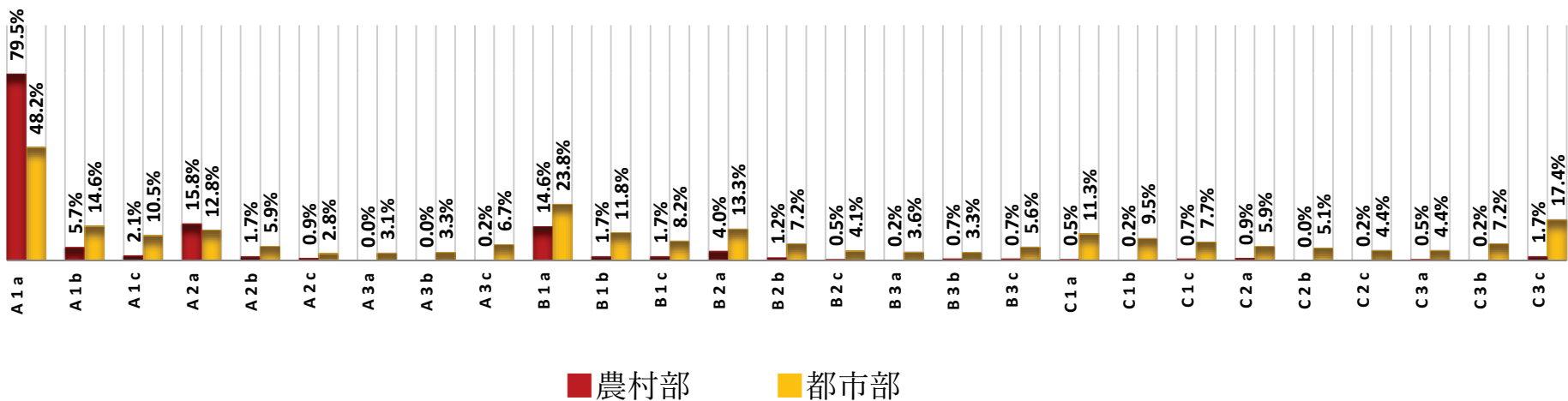


グラフ問4-5. 大学生と高校生の回答比較

大学生の回答比率



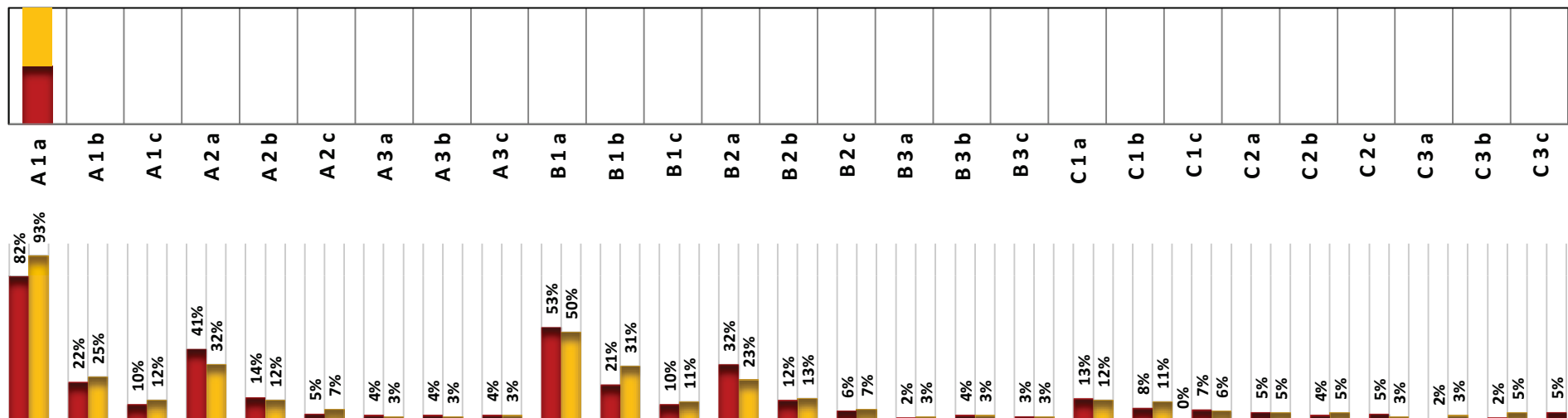
高校生の回答比率



グラフ 問4-6.

ジャフ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較

■ 専門家A ■ 専門家B



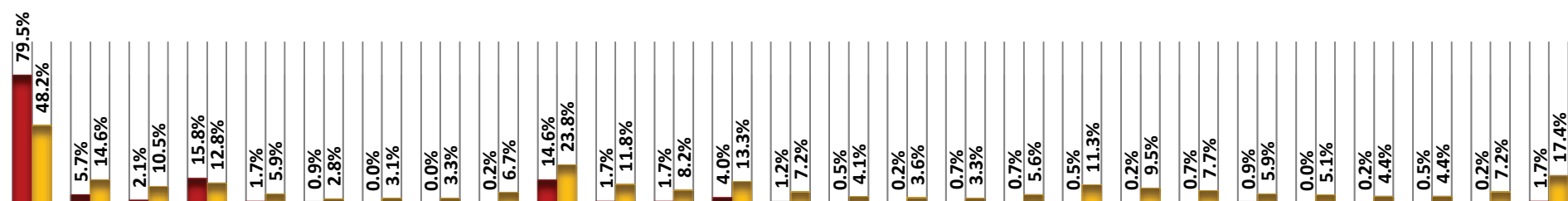
大学生の「使う」

■ 他出身 ■ ジョグジャ出身



高校教師の「正しい」

■ 農村部 ■ 都市部



高校生の「使う」

■ 農村部 ■ 都市部



問4-1.農村部の高校生がよく使う回答順位

(複数回答率)

①	A1a ○	Bapak (先生、～さん)	badhe (K) ～なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo? (地名)	79.5%
		先生は ソロ の方へ いらっしゃいますか。					
②	A2a	Bapak	badhe (K) ～なさいます	kesah (M) 行く	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo?	15.8%
		先生は ソロ の方へ 行きますか。					
③	B1a	Bapak	ajeng (M) ～します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo?	14.6%
		先生は ソロ の方へ いらっしゃるのですか。					

問4-2.都市部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	A1a ○	Bapak (先生、～さん)	badhe (K) ～なさいます	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo? (地名)	48.2%
		先生は ソロ の方へ いらっしゃいますか。					
②	B1a	Bapak	ajeng (M) ～します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ～(の方)へ	Solo?	23.8%
		先生は ソロ の方へ いらっしゃるのですか。					
③	C3c	Bapak	arep (N) ～する	lunga (N) 行く	ning (N) ～	Solo?	17.4%
		先生は ソロ へ 行くの。					

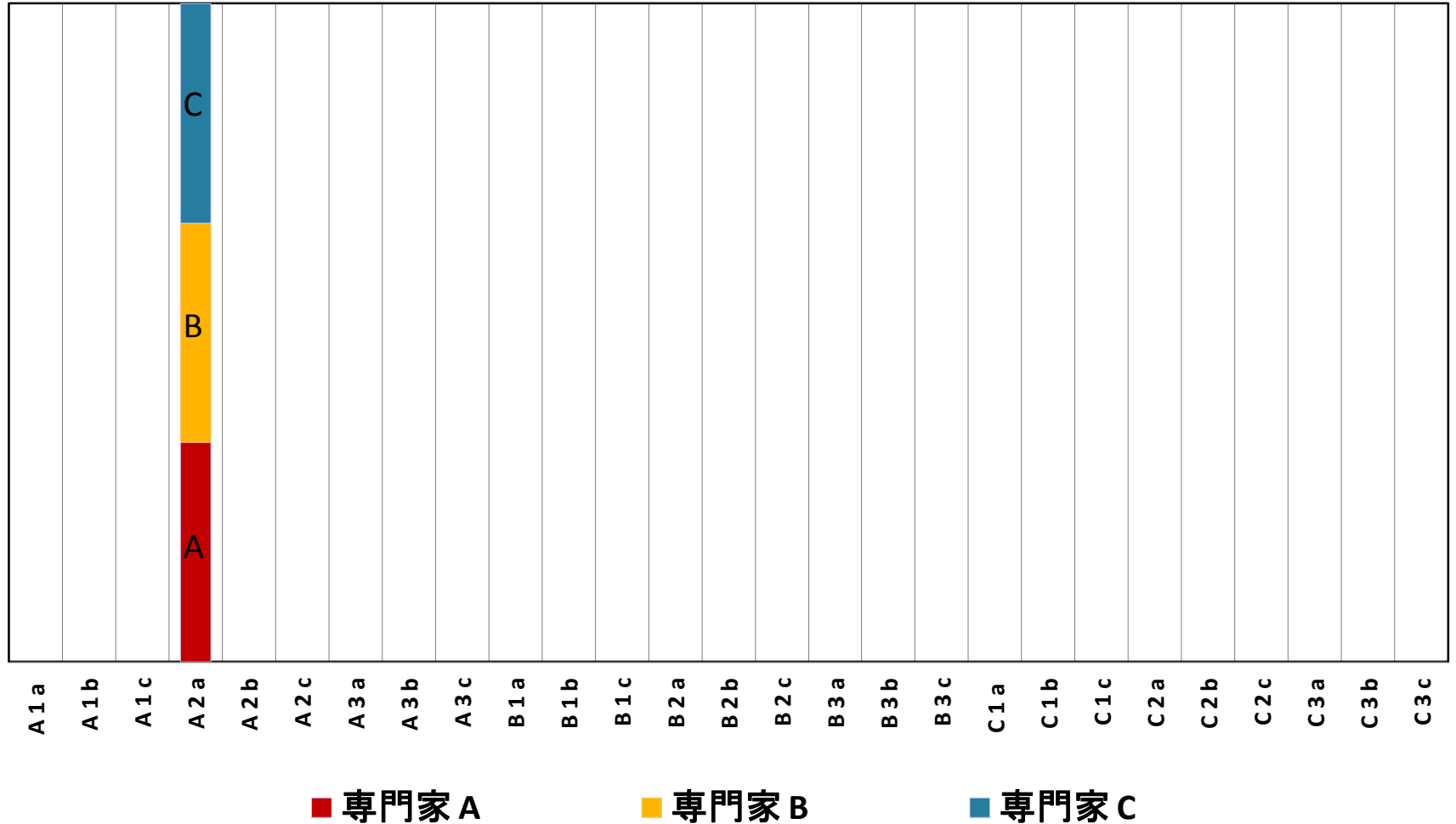
Q5		Saya menjawab Pak Hardito, bahwa saya akan datang ke Solo. 私はハルデイト先生にソロへ行くと答えた。					YOGYA ジョグジャ出身												LUAR YOGYA 他の出身												JAWABAN 先生の答え					
No.	S 主語	ADV. 助動詞	V 動詞	PREP. 前置詞	PERTANYAAN 質問	CODE コード	#KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知らない			KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知っている			TOTAL 合計			Prosentase Terhadap Total Koresponden (115 org) 回答者の全体の割合(115人)			#KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知らない			KRAMA RUMAH クロモ・ルマを知っている			TOTAL 合計			Prosentase Terhadap Total Koresponden (130 org) 回答者の全体の割合(130人)			Sensei A A 先生		Sensei B B 先生		Sensei C C 先生	
							GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	GUNAKAN	TIDAK GUNAKAN	TIDAK MENGERTI	BENAR	SALAH	BENAR	SALAH	BENAR	SALAH
							使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	使う	使わない	わからない	正しい	正しくない	正しい	正しくない	正しい	正しくない
1	Kula	badhe (A) K	tindak (1) K	dhateng (a) K	Kula badhe tindak dhateng Solo.	A 1 a	26	50	8	13	16	2	39	66	10	34%	57%	9%	38	53	5	12	21	1	50	74	6	38%	57%	5%	✓	✓	✓			
2				menyang (b) N	Kula badhe tindak menyang Solo.	A 1 b	28	61	5	7	21	3	35	72	8	30%	63%	7%	18	74	4	11	22	1	29	96	5	22%	74%	4%	✓	✓	✓			
3				ning (c) N	Kula badhe tindak ning Solo.	A 1 c	9	69	6	4	26	1	13	95	7	11%	83%	6%	8	83	5	6	27	1	14	110	6	11%	85%	5%	✓	✓	✓			
4			kesah (2) M	dhateng (a) K	Kula badhe kesah dhateng Solo.	A 2 a	36	42	6	12	16	3	48	56	9	42%	50%	8%	33	56	7	11	20	3	44	76	10	34%	58%	8%	✓	✓	✓			
5				menyang (b) N	Kula badhe kesah menyang Solo.	A 2 b	23	54	7	9	19	3	32	73	10	28%	63%	9%	14	76	6	10	21	3	24	97	9	18%	75%	7%	✓	✓	✓			
6				ning (c) N	Kula badhe kesah ning Solo.	A 2 c	7	71	6	5	25	1	12	96	7	10%	83%	6%	3	88	5	6	27	1	9	115	6	7%	88%	5%	✓	✓	✓			
7			lunga (3) N	dhateng (a) K	Kula badhe lunga dhateng Solo.	A 3 a	4	73	7	7	23	1	11	96	8	10%	83%	7%	6	84	6	5	27	2	11	111	8	8%	85%	6%	✓	✓	✓			
8				menyang (b) N	Kula badhe lunga menyang Solo.	A 3 b	6	73	5	5	24	2	11	97	7	10%	84%	6%	7	84	5	8	25	1	15	109	6	12%	84%	5%	✓	✓	✓			
9				ning (c) N	Kula badhe lunga ning Solo.	A 3 c	5	75	4	5	25	1	10	100	5	9%	87%	4%	4	86	6	5	28	1	9	114	7	7%	88%	5%	✓	✓	✓			
10		ajeng (B) M	tindak (1) K	dhateng (a) K	Kula ajeng tindak dhateng Solo.	B 1 a	35	44	5	12	18	1	47	62	6	41%	54%	5%	34	56	6	13	20	1	47	76	7	36%	58%	5%	✓	✓	✓			
11				menyang (b) N	Kula ajeng tindak menyang Solo.	B 1 b	19	60	5	7	22	2	26	82	7	23%	71%	6%	14	76	4	11	22	1	25	100	5	19%	77%	4%	✓	✓	✓			
12				ning (c) N	Kula ajeng tindak ning Solo.	B 1 c	7	70	7	1	28	2	8	96	9	7%	85%	8%	6	86	4	7	26	1	13	112	5	10%	86%	4%	✓	✓	✓			
13			kesah (2) M	dhateng (a) K	Kula ajeng kesah dhateng Solo.	B 2 a	38	40	6	15	15	1	53	55	7	46%	48%	6%	34	56	6	17	15	2	51	71	8	39%	55%	6%	✓	✓	✓			
14				menyang (b) N	Kula ajeng kesah menyang Solo.	B 2 b	18	61	5	9	20	2	27	81	7	23%	70%	6%	13	78	5	13	19	2	26	97	7	20%	75%	5%	✓	✓	✓			
15				ning (c) N	Kula ajeng kesah ning Solo.	B 2 c	10	68	5	6	23	2	16	92	7	14%	80%	6%	3	88	5	5	28	1	8	116	6	6%	89%	5%	✓	✓	✓			
16			lunga (3) N	dhateng (a) K	Kula ajeng lunga dhateng Solo.	B 3 a	9	68	7	5	26	0	14	94	7	12%	82%	6%	9	83	4	6	26	2	15	106	6	12%	84%	5%	✓	✓	✓			
17				menyang (b) N	Kula ajeng lunga menyang Solo.	B 3 b	8	71	5	5	24	2	13	95	7	11%	83%	6%	12	80	4	7	28	1	19	106	5	15%	82%	4%	✓	✓	✓			
18				ning (c) N	Kula ajeng lunga ning Solo.	B 3 c	5	75	4	5	23	3	10	98	7	9%	85%	6%	5	87	4	4	29	1	9	116	5	7%	89%	4%	✓	✓	✓			
19		arep (C) N	tindak (1) K	dhateng (a) K	Kula arep tindak dhateng Solo.	C 1 a	3	76	5	4	25	2	7	101	7	6%	88%	6%	7	84	5	4	28	4	11	110	9	8%	85%	7%	✓	✓	✓			
20				menyang (b) N	Kula arep tindak menyang Solo.	C 1 b	4	75	5	3	25	3	7	100	8	6%	87%	7%	3	86	5	5	26	3	8	114	8	6%	88%	6%	✓	✓	✓			
21				ning (c) N	Kula arep tindak ning Solo.	C 1 c	4	77	3	2	26	3	6	103	6	5%	90%	5%	3	88	5	7	24	3	10	112	8	8%	86%	6%	✓	✓	✓			
22			kesah (2) M	dhateng (a) K	Kula arep kesah dhateng Solo.	C 2 a	3	78	3	4	25	2	7	103	5	6%	90%	4%	2	90	4	4	26	4	6	116	8	5%	89%	6%	✓	✓	✓			
23				menyang (b) N	Kula arep kesah menyang Solo.	C 2 b	4	77	3	1	27	3	5	104	6	4%	90%	5%	2	89	5	5	26	3	7	115	8	5%	88%	6%	✓	✓	✓			
24				ning (c) N	Kula arep kesah ning Solo.	C 2 c	5	76	3	4	24	3	9	100	6	8%	87%	5%	0	90	6	5	26	3	5	116	9	4%	89%	7%	✓	✓	✓			
25			lunga (3) N	dhateng (a) K	Kula arep lunga dhateng Solo.	C 3 a	3	77	4	5	23	3	8	100	7	7%	87%	6%	4	86	6	4	26	4	8	112	10	6%	86%	8%	✓	✓	✓			
26				menyang (b) N	Kula arep lunga menyang Solo.	C 3 b	4	77	3	3	25	3	7	102	6	6%	89%	5%	6	84	6	6	25	3	12	109	9	9%	84%	7%	✓	✓	✓			
27				ning (c) N	Kula arep lunga ning Solo.	C 3 c	4	78	2	5	22	4	9	100	6	8%	87%	5%	3	87	6	7	25	2	10	112	8	8%	86%	6%	✓	✓	✓			

説明 : K = Krama クロモ
M = Medya マディオ
N = Ngoko ンゴコ

問5.謙讓的表現の使用を測る設問(私はハルデイト先生にソロ市へ行くことにすると伝える)

問5	Saya menjawab Pak Hardito, bahwa saya akan datang ke Solo. (私はハルデイト先生にソロ市へ行くことにすると伝える。)					
番号	主語	助動詞	動詞	前置詞	文体	コード
1	Kula 私 NAME (appellation)	badhe(K) (A) ~致します Will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula badhe tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃいます。	A 1 a
2			menyang(N) (b) ~へ to	Kula badhe tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃいます。	A 1 b	
3			いらっしゃる go	ning(N) (c) ~へ to	Kula badhe tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃいます。	A 1 c
4			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula badhe kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ参ります。	A 2 a
5			menyang(N) (b) ~へ to	Kula badhe kesah menyang Solo. 私はソロへ参ります。	A 2 b	
6			参る・行く go	ning(N) (c) ~へ to	Kula badhe kesah ning Solo. 私はソロへ参ります。	A 2 c
7			lunga (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula badhe lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行くんつす。	A 3 a
8			menyang(N) (b) ~へ to	Kula badhe lunga menyang Solo. 私はソロへ行くんつす。	A 3 b	
9			行く go	ning(N) (c) ~へ to	Kula badhe lunga ning Solo. 私はソロへ行くんつす。	A 3 c
10		ajeng(M) (B) ~します will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula ajeng tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃるのです。	B 1 a
11			menyang(N) (b) ~へ to	Kula ajeng tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃるのです。	B 1 b	
12			いらっしゃる go	ning(N) (c) ~へ to	Kula ajeng tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃるのです。	B 1 c
13			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula ajeng kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ参るのです。	B 2 a
14			menyang(N) (b) ~へ to	Kula ajeng kesah menyang Solo. 私はソロへ参るのです。	B 2 b	
15			参る・行く go	ning(N) (c) ~へ to	Kula ajeng kesah ning Solo. 私はソロへ参るのです。	B 2 c
16			lunga (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula ajeng lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行くつす。	B 3 a
17			menyang(N) (b) ~へ to	Kula ajeng lunga menyang Solo. 私はソロへ行くつす。	B 3 b	
18			行く go	ning(N) (c) ~へ to	Kula ajeng lunga ning Solo. 私はソロへ行くつす。	B 3 c
19		arep(N) (C) ~する will	tindak(Ki) (1)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula arep tindak dhateng Solo. 私はソロの方へいらっしゃる。	C 1 a
20			menyang(N) (b) ~へ to	Kula arep tindak menyang Solo. 私はソロへいらっしゃる。	C 1 b	
21			いらっしゃる go	ning(N) (c) ~へ to	Kula arep tindak ning Solo. 私はソロへいらっしゃる。	C 1 c
22			kesah(M) (2)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula arep kesah dhateng Solo. 私はソロの方へ参る。	C 2 a
23			menyang(N) (b) ~へ to	Kula arep kesah menyang Solo. 私はソロへ参る。	C 2 b	
24			参る・行く go	ning(N) (c) ~へ to	Kula arep kesah ning Solo. 私はソロへ参る。	C 2 c
25			lunga (3)	dhateng(K) (a) ~の方へ to	Kula arep lunga dhateng Solo. 私はソロの方へ行く。	C 3 a
26			menyang(N) (b) ~へ to	Kula arep lunga menyang Solo. 私はソロへ行く。	C 3 b	
27			行く go	ning(N) (c) ~へ to	Kula arep lunga ning Solo. 私はソロへ行く。	C 3 c

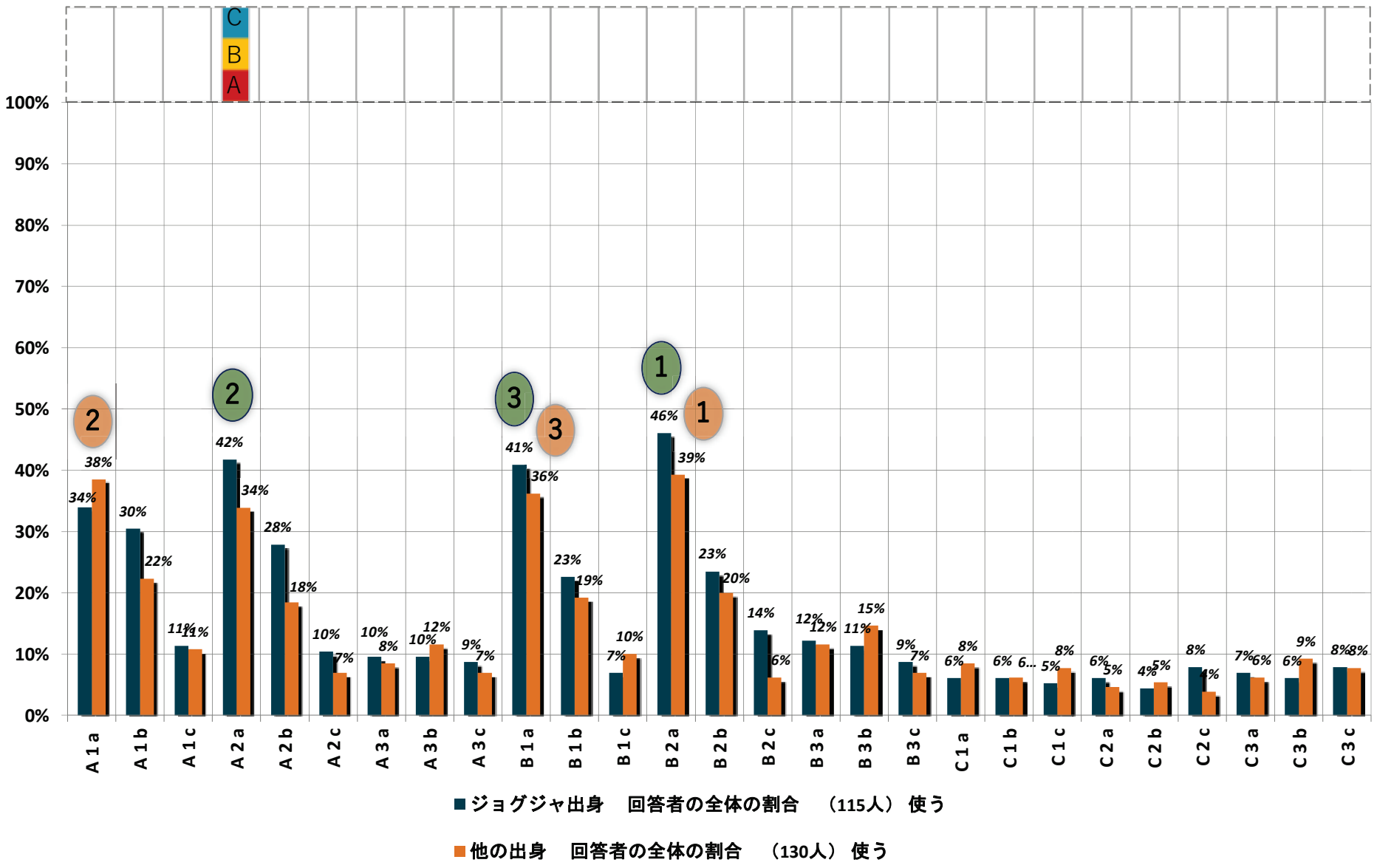
グラフ問5-1. ジャワ語専門家による規範的な文体



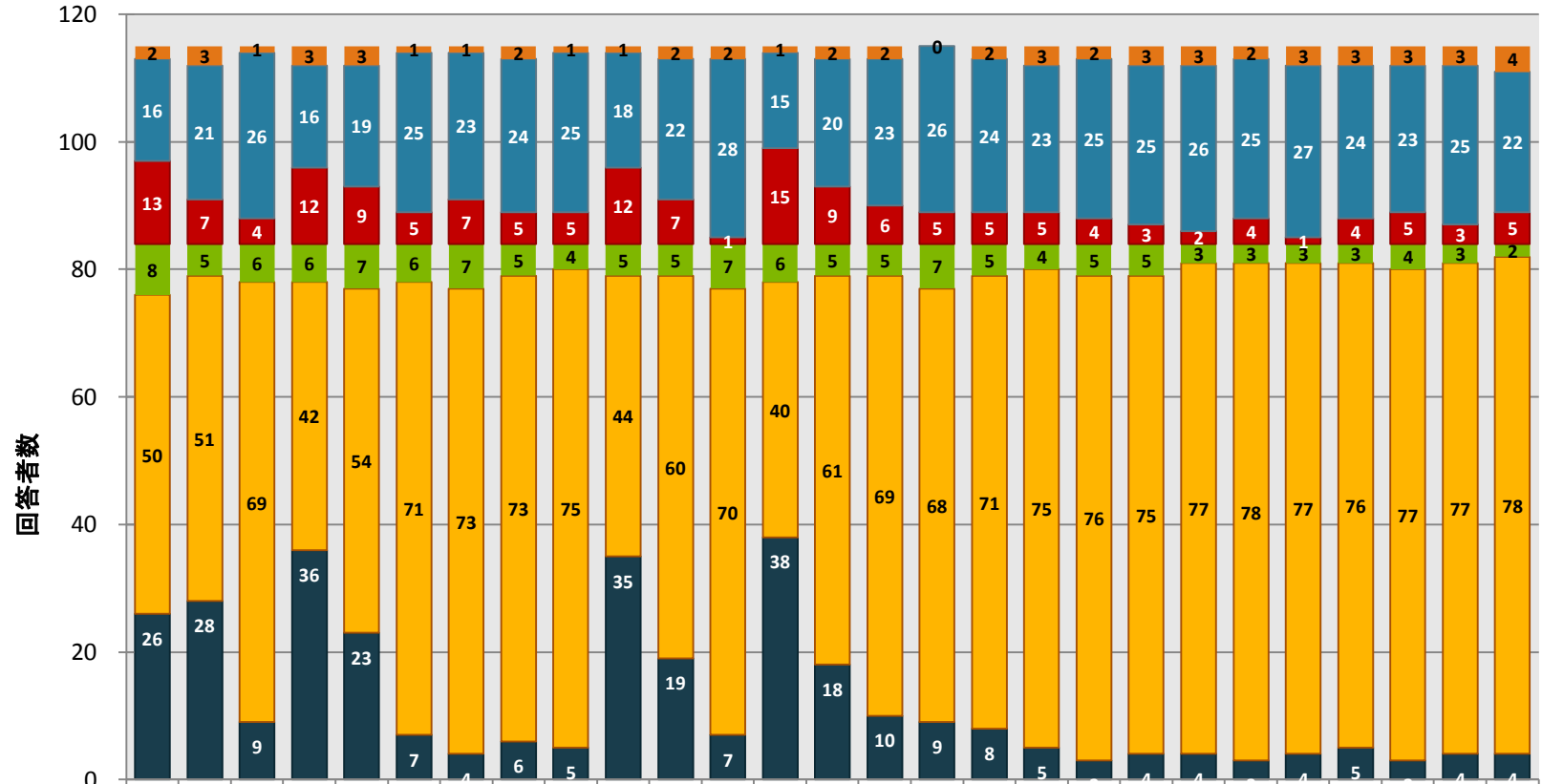
グラフ問5-2. ジャワ語専門家と学生の回答比較

■ 専門家A ■ 専門家B ■ 専門家C

C
B
A

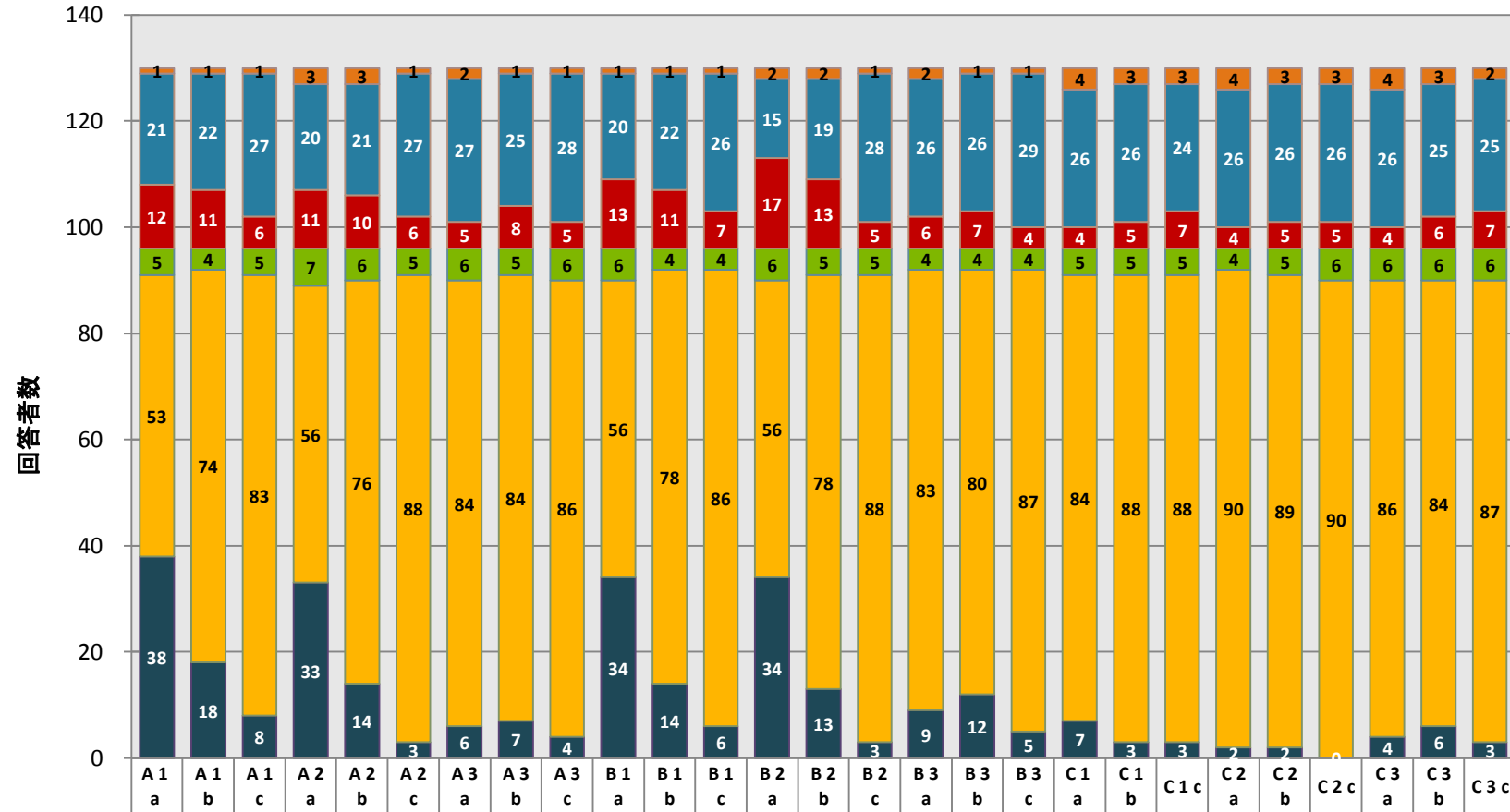


グラフ問5-2-1. クロモルマ体についての回答比較 (ジョグジャカル出身)



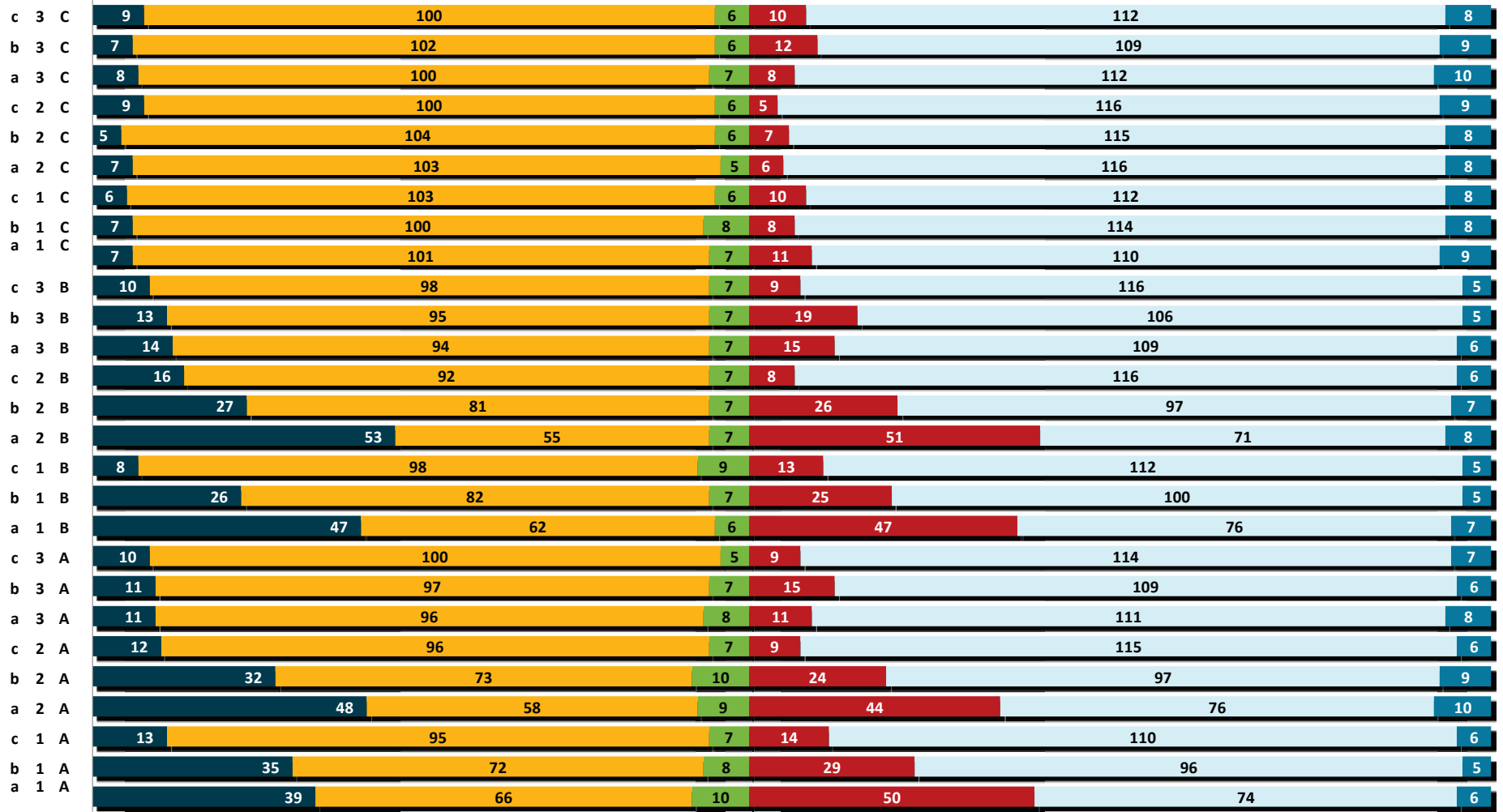
■ クロモ・ルマを知っている わからない	2	3	1	3	3	1	1	2	1	1	2	1	2	2	0	2	3	2	3	3	2	3	3	3	3	4	
■ クロモ・ルマを知っている 使わない	16	21	26	16	19	25	23	24	25	18	22	28	15	20	23	26	24	23	25	25	26	25	27	24	23	25	22
■ クロモ・ルマを知っている 使う	13	7	4	12	9	5	7	5	5	12	7	1	15	9	6	5	5	5	4	3	2	4	1	4	5	3	5
■ クロモ・ルマを知らない わからない	8	5	6	6	7	6	7	5	4	5	5	7	6	5	5	7	5	4	5	5	3	3	3	3	4	3	2
■ クロモ・ルマを知らない 使わない	50	51	69	42	54	71	73	73	75	44	60	70	40	61	69	68	71	75	76	75	77	78	77	76	77	77	78
■ クロモ・ルマを知らない 使う	26	28	9	36	23	7	4	6	5	35	19	7	38	18	10	9	8	5	3	4	4	3	4	5	3	4	4

グラフ問5-2-2. クロモルマ体についての回答比較 (他州の出身)



クロモ・ルマを知っている わからない	1	1	1	3	3	1	2	1	1	1	1	1	2	2	1	2	1	1	4	3	3	4	3	3	4	3	2
クロモ・ルマを知っている 使わない	21	22	27	20	21	27	27	25	28	20	22	26	15	19	28	26	26	29	26	26	24	26	26	26	26	25	25
クロモ・ルマを知っている 使う	12	11	6	11	10	6	5	8	5	13	11	7	17	13	5	6	7	4	4	5	7	4	5	5	4	7	
クロモ・ルマを知らない わからない	5	4	5	7	6	5	6	5	6	6	4	4	6	5	5	4	4	4	5	5	5	4	5	6	6	6	6
クロモ・ルマを知らない 使わない	53	74	83	56	76	88	84	84	86	56	78	86	56	78	88	83	80	87	84	88	88	90	89	90	86	84	87
クロモ・ルマを知らない 使う	38	18	8	33	14	3	6	7	4	34	14	6	34	13	3	9	12	5	7	3	3	2	2	0	4	6	3

グラフ問5-2-3. ジョグジャカルタ出身と他州の出身の回答比較



	A1 a	A1 b	A1 c	A2 a	A2 b	A2 c	A3 a	A3 b	A3 c	B1 a	B1 b	B1 c	B2 a	B2 b	B2 c	B3 a	B3 b	B3 c	C1 a	C1 b	C1 c	C2 a	C2 b	C2 c	C3 a	C3 b	C3 c
■ ジョグジャ出身合計使う	39	35	13	48	32	12	11	11	10	47	26	8	53	27	16	14	13	10	7	7	6	7	5	9	8	7	9
■ ジョグジャ出身合計使わない	66	72	95	58	73	96	96	97	100	62	82	98	55	81	92	94	95	98	101	100	103	103	104	100	100	102	100
■ ジョグジャ出身合計わからない	10	8	7	9	10	7	8	7	5	6	7	9	7	7	7	7	7	7	7	8	6	5	6	6	7	6	6
■ 他の出身合計使う	50	29	14	44	24	9	11	15	9	47	25	13	51	26	8	15	19	9	11	8	10	6	7	5	8	12	10
■ 他の出身合計使わない	74	96	110	76	97	115	111	109	114	76	100	112	71	97	116	109	106	116	110	114	112	116	115	116	112	109	112
■ 他の出身合計わからない	6	5	6	10	9	6	8	6	7	7	5	5	8	7	6	6	5	5	9	8	8	8	8	9	10	9	8

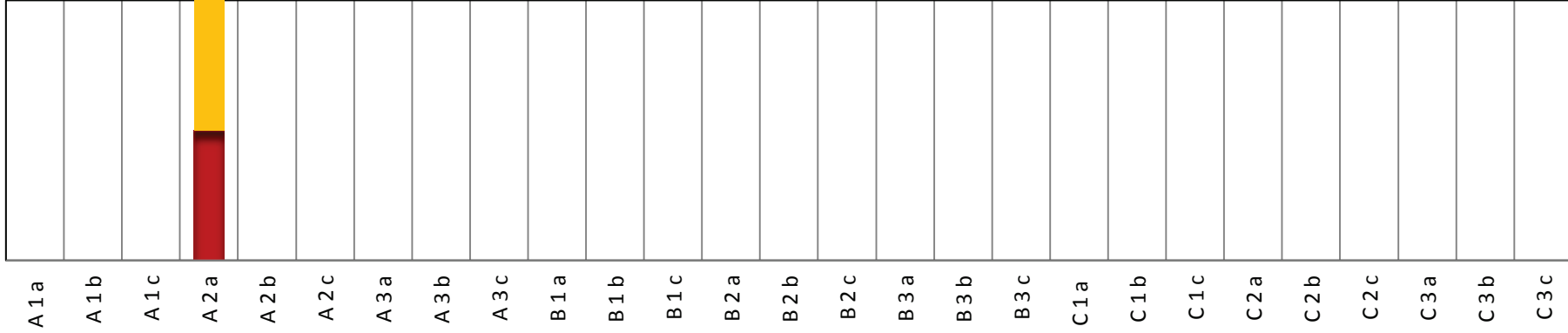
問5.大学生がよく使う回答の順位

② ▲	A2a ○	Kula 私 (丁寧な語) NAME (appellation)	badhe (K) ~致します will	kesah (M) 参る・行く go	dhateng (K) ~(の方)へ to	Solo. (地名) PLACE	学生が「使う」 42%,
	A1a ×		badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ		38%
<p>私は ソロ の方へ 参ります。(ジョグジャ出身) 私は ソロ の方へ いらっしゃいます。(他出身)</p>							(40%)
①	B2a ×	Kula	ajeng (M) ~します	kesah (M) 参る・行く	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo?	43%
	私は ソロ の方へ 参るのです。						
③	B1a ×	Kula	ajeng (M) ~します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo?	39%
	私は ソロ の方へ いらっしゃるのです。						
④ ▲	A1a ×	Kula	badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo?	34%,
	A2a ○		badhe (K) ~致します	kesah (M) 参る・行く	dhateng (K) ~(の方)へ		34%
<p>私はソロの方へいらっしゃいます。(ジョグジャ出身) 私は ソロ の方へ 参ります。(他出身)</p>							(34%)
⑤	A1b ×	Kula	badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしゃる	menyang(N) ~へ	Solo?	26%
	私は ソロ へ いらっしゃいます。						

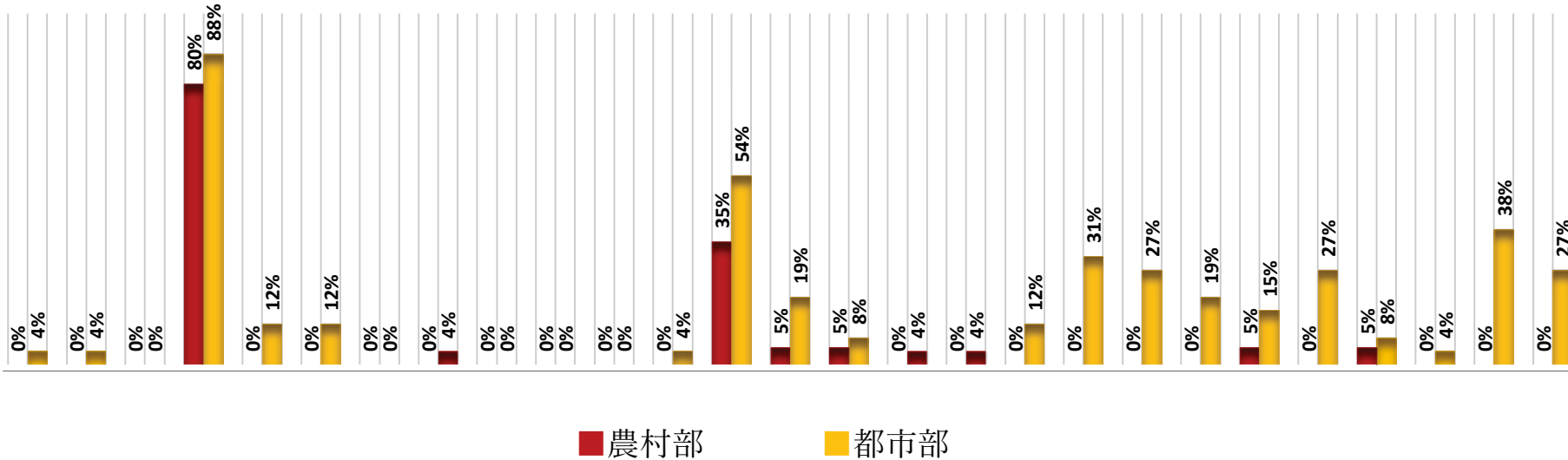
グラフ 問5-1. ジャワ語専門家と高校教師の回答比較

■ 専門家A ■ 専門家B

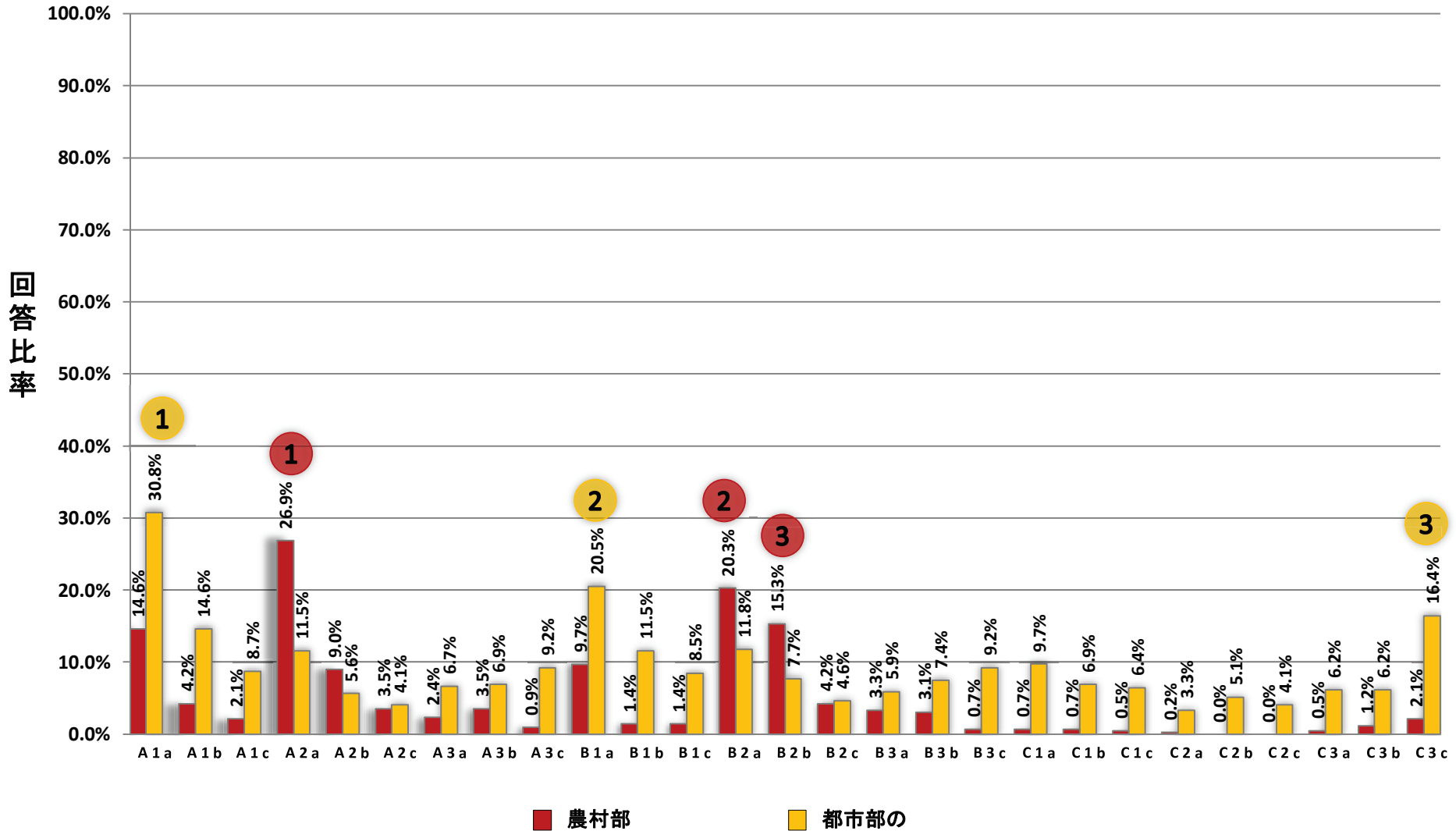
ジャワ語専門家



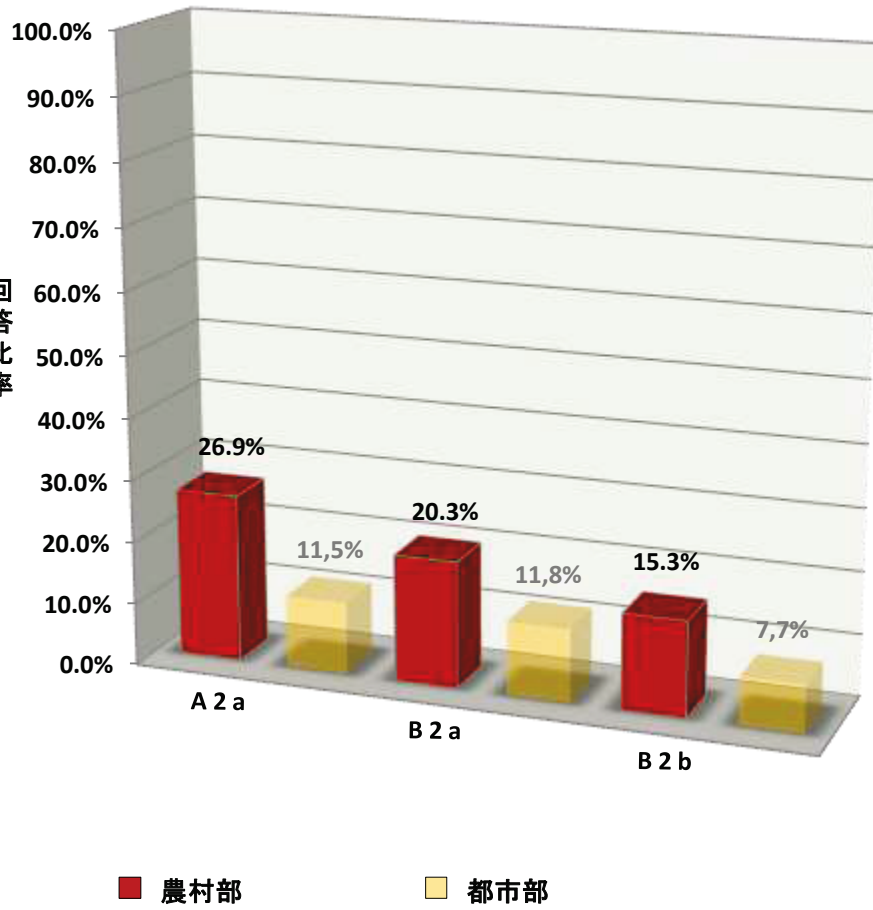
高校教師



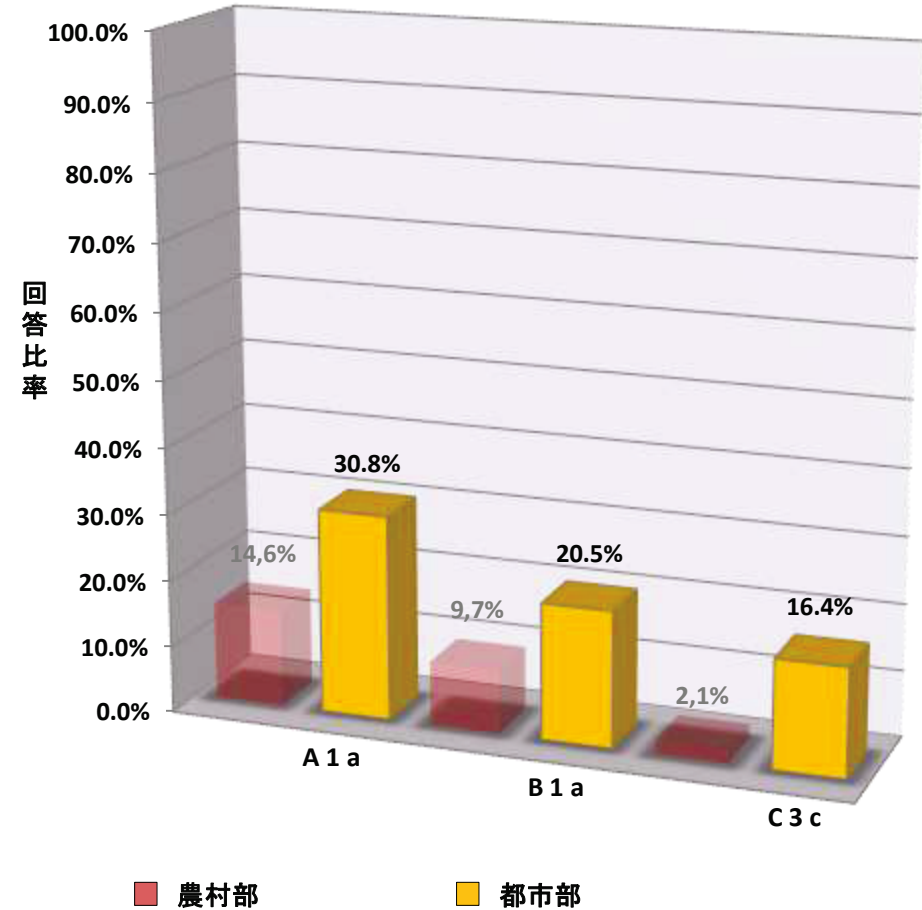
グラフ 問5-2. 農村部と都市部の高校生の回答比較



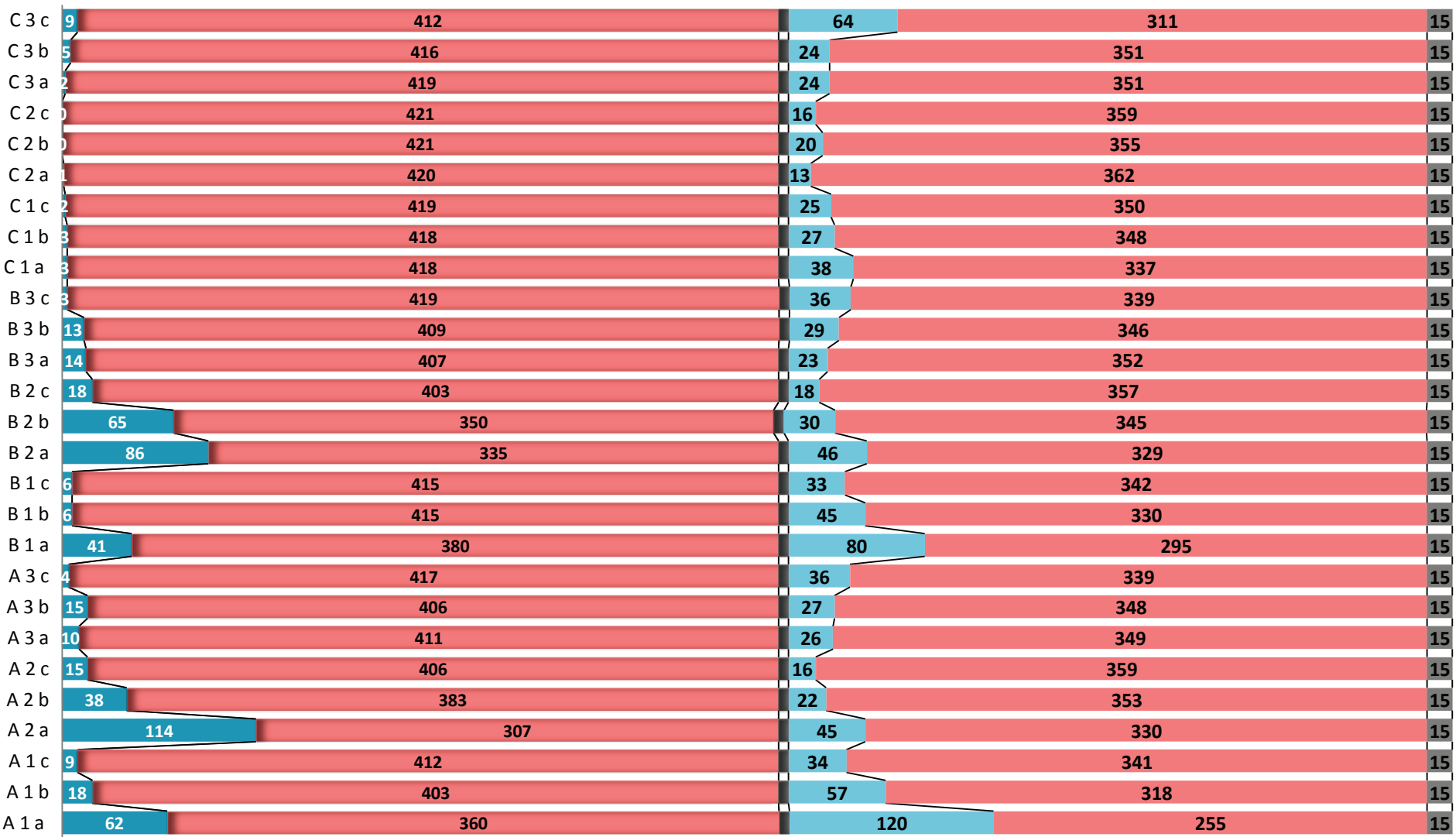
グラフ 問5-2-1.
農村部の高校生の回答比較



グラフ 問5-2-2.
都市部の高校生の回答比較

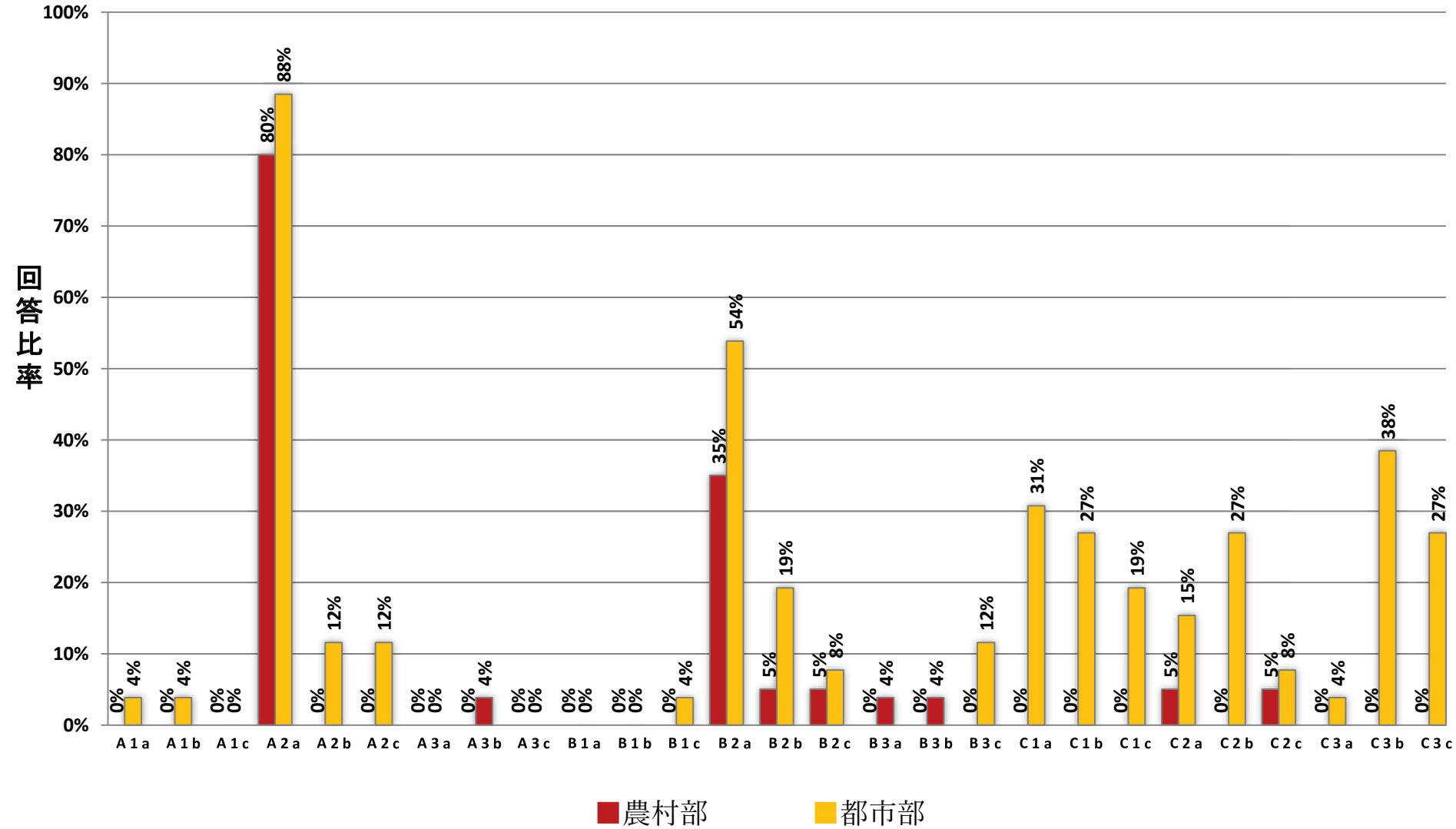


グラフ問5-2-7. 農村部と都市部の全高校生の回答比較



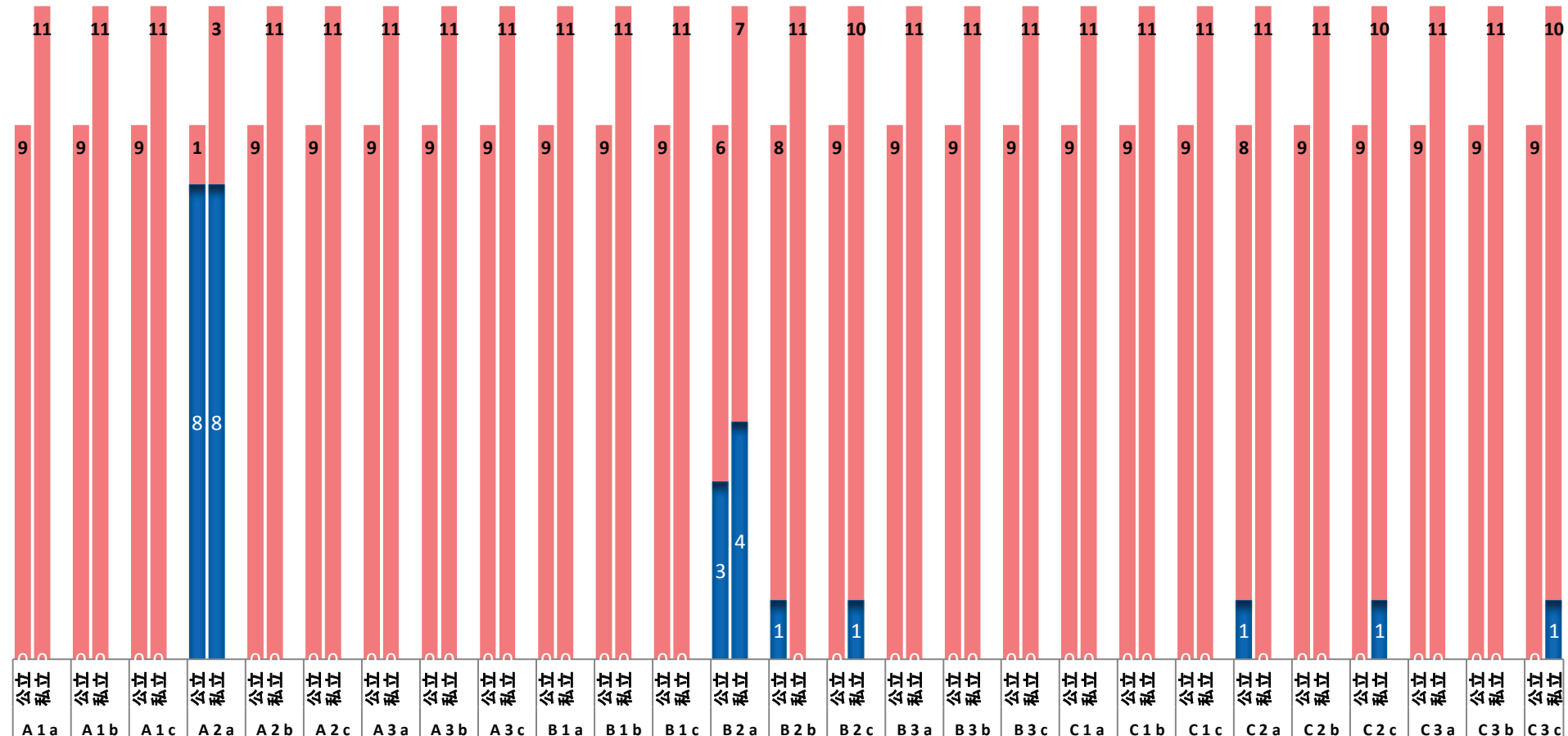
■ 農村部高校 使う ■ 農村部高校 使わない ■ 農村部高校 分からない ■ 都市部高校 使う ■ 都市部高校 使わない ■ 都市部高校 分からない

グラフ 問5-3. 農村部と都市部の高校教師の回答比較



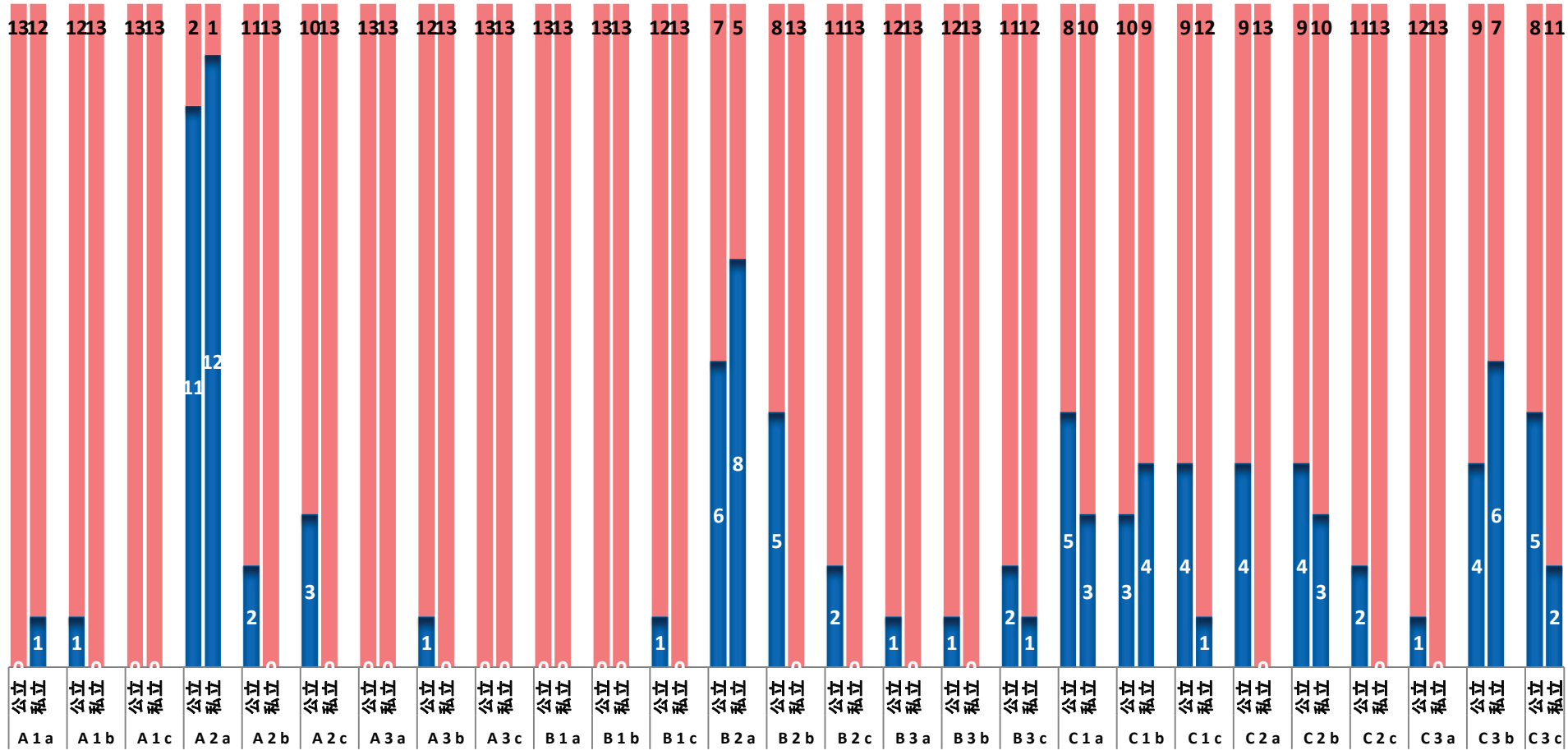
グラフ問5-3-1. 農村部の公立と私立の高校教師の回答比較

■ 正しい ■ 正しくない

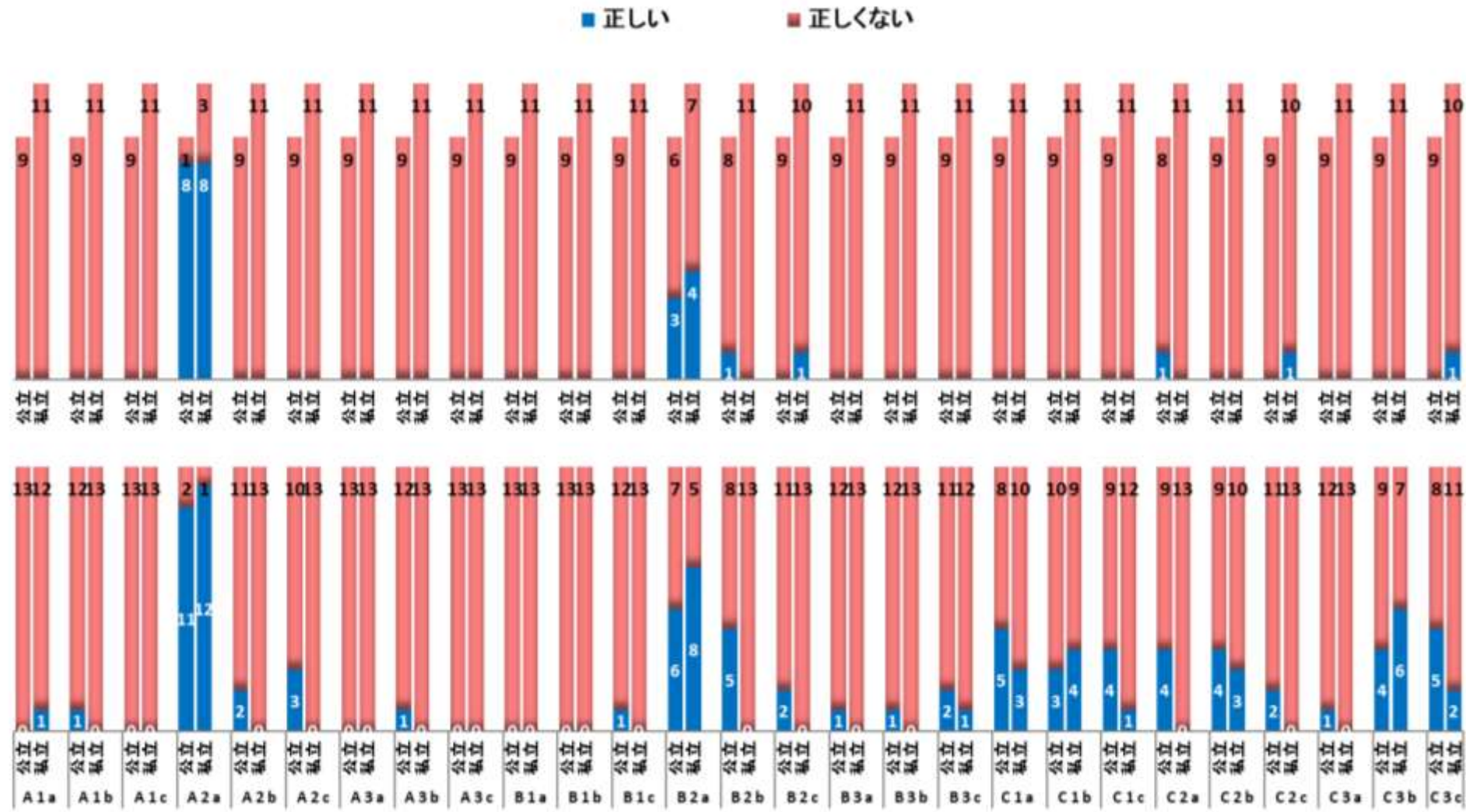


グラフ問5-3-2. 都市部の公立と私立の高校教師の回答比較

■ 正しい ■ 正しくない



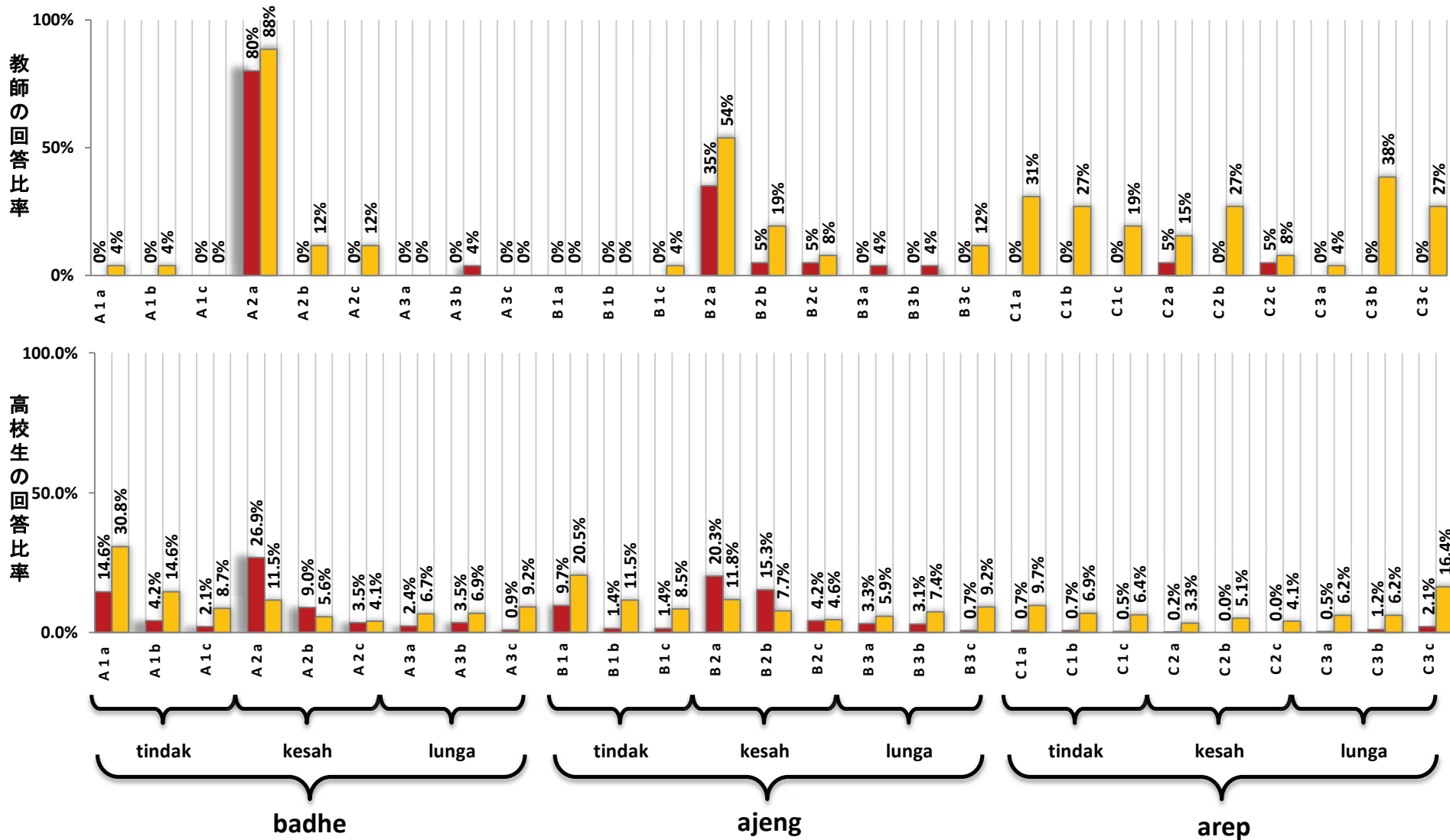
グラフ問5-3-3. 農村部と都市部の全高校教師の回答比較



グラフ 問5-4. 高校教師と高校生の回答比較

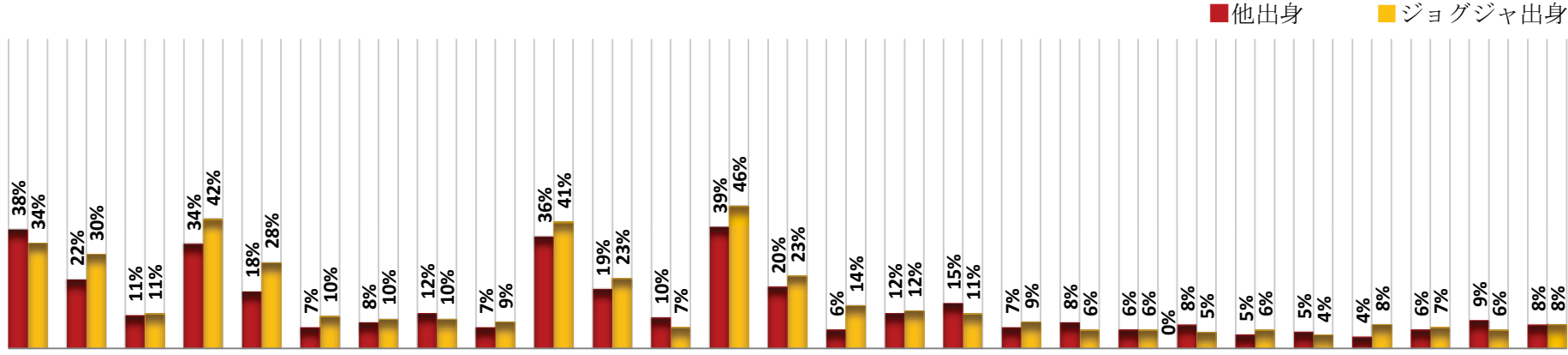
■ 農村部

■ 都市部

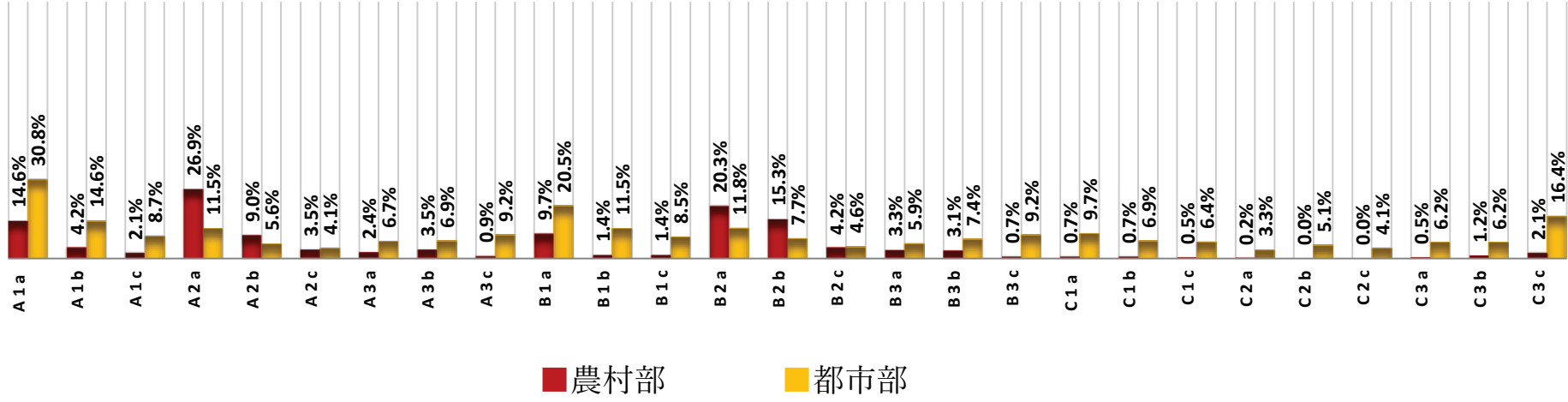


グラフ問5-5. 大学生と高校生の回答比較

大学生の回答比率

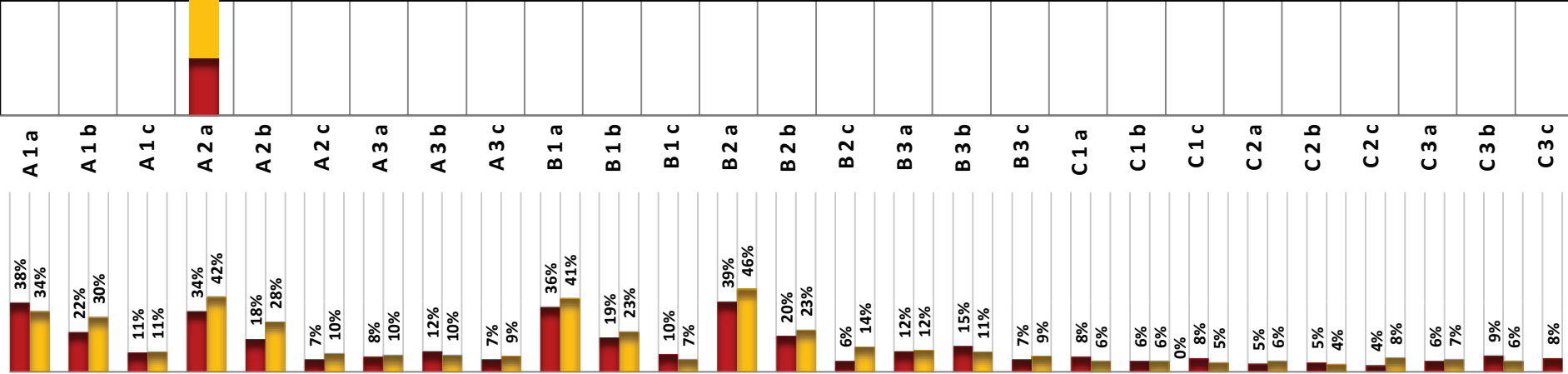


高校生の回答比率



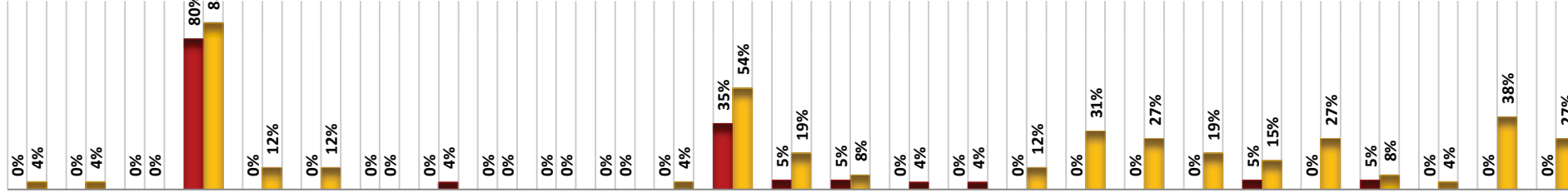
グラフ 問5-6. ジャワ語専門家と大学生と高校教師と高校生の回答比較

■ 専門家A ■ 専門家B



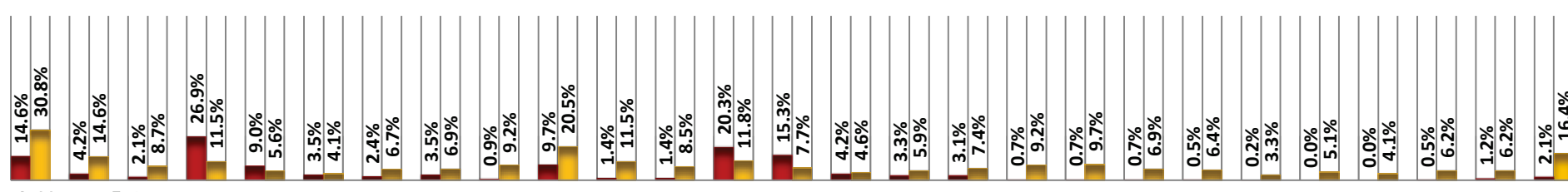
大学生の「使う」

■ 他出身 ■ ジョグジャ出身



高校教師の「正しい」

■ 農村部 ■ 都市部



高校生の「使う」

■ 農村部 ■ 都市部



問5-1.農村部の高校生がよく使う回答の順位

(複数回答率)

①	A2a ○	Kula 私(クロモ アンドアップ語) NAME (appellation)	badhe (K) ~致します	kesah (M) 参る・行く	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo. (地名)	26.9%
		私は ソロ の方へ 参ります。					
②	B2a	Kula	ajeng (M) ~します	kesah (M) 参る・行く	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	20.3%
		私は ソロ の方へ 参るのです。					
③	B2b	Kula	ajeng (M) ~します	kesah (M) 参る・行く	menyang(N) ~~	Solo.	15.3%
		私は ソロ へ 参るのです。					

問5-2.都市部の高校生がよく使う回答の順位

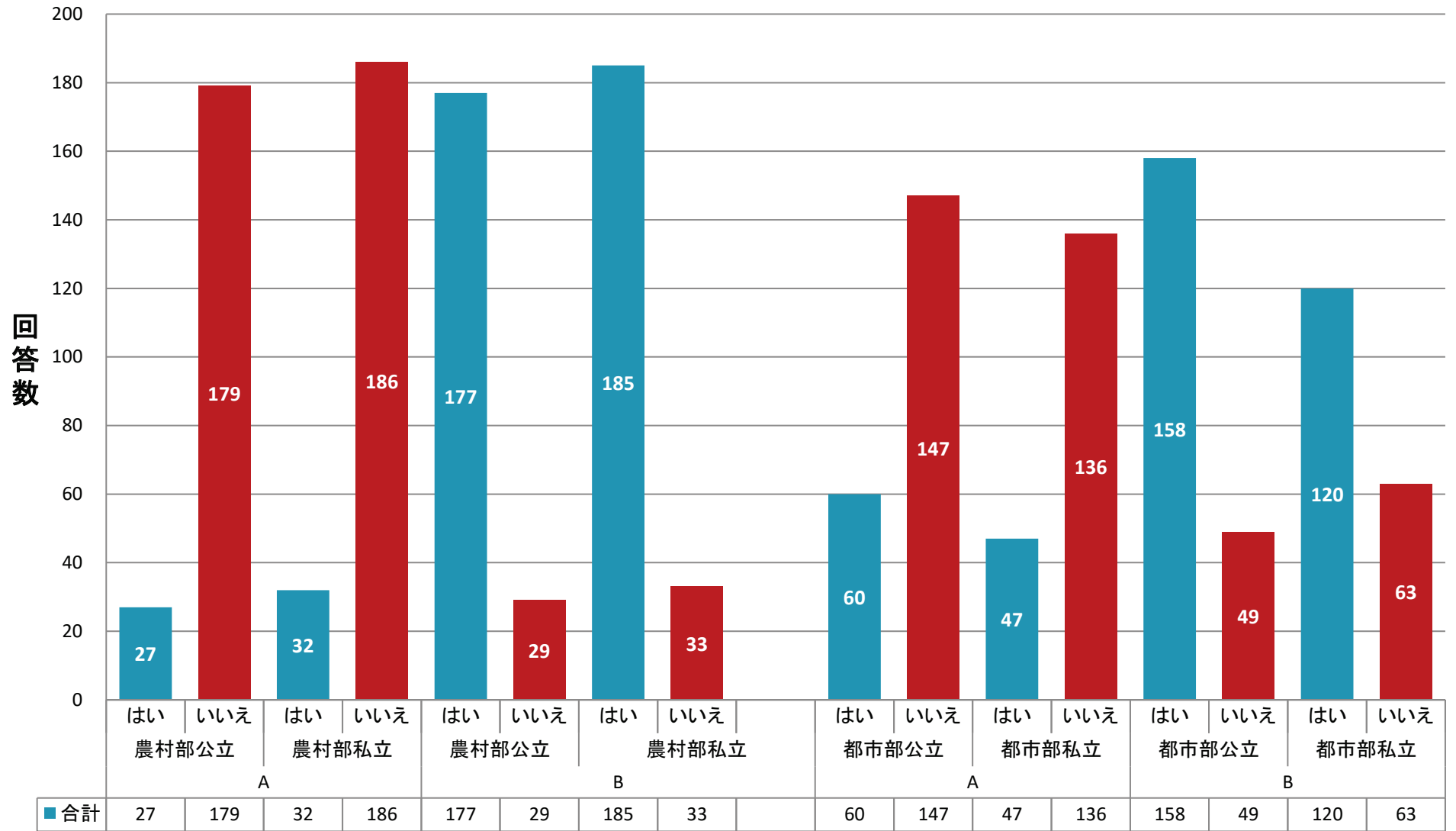
(複数回答率)

①	A1a	Kula	badhe (K) ~致します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	30.8%
		私は ソロ の方へ いらっしゃいます。					
②	B1a	Kula	ajeng (M) ~します	tindak (Ki) いらっしゃる	dhateng (K) ~(の方)へ	Solo.	20.5%
		私は ソロ の方へ いらっしゃるのです。					
③	C3c	Kula	arep (N) ~する	lunga (N) 行く	ning (N) ~~	Solo.	16.4%
		私は ソロ へ 行く。					

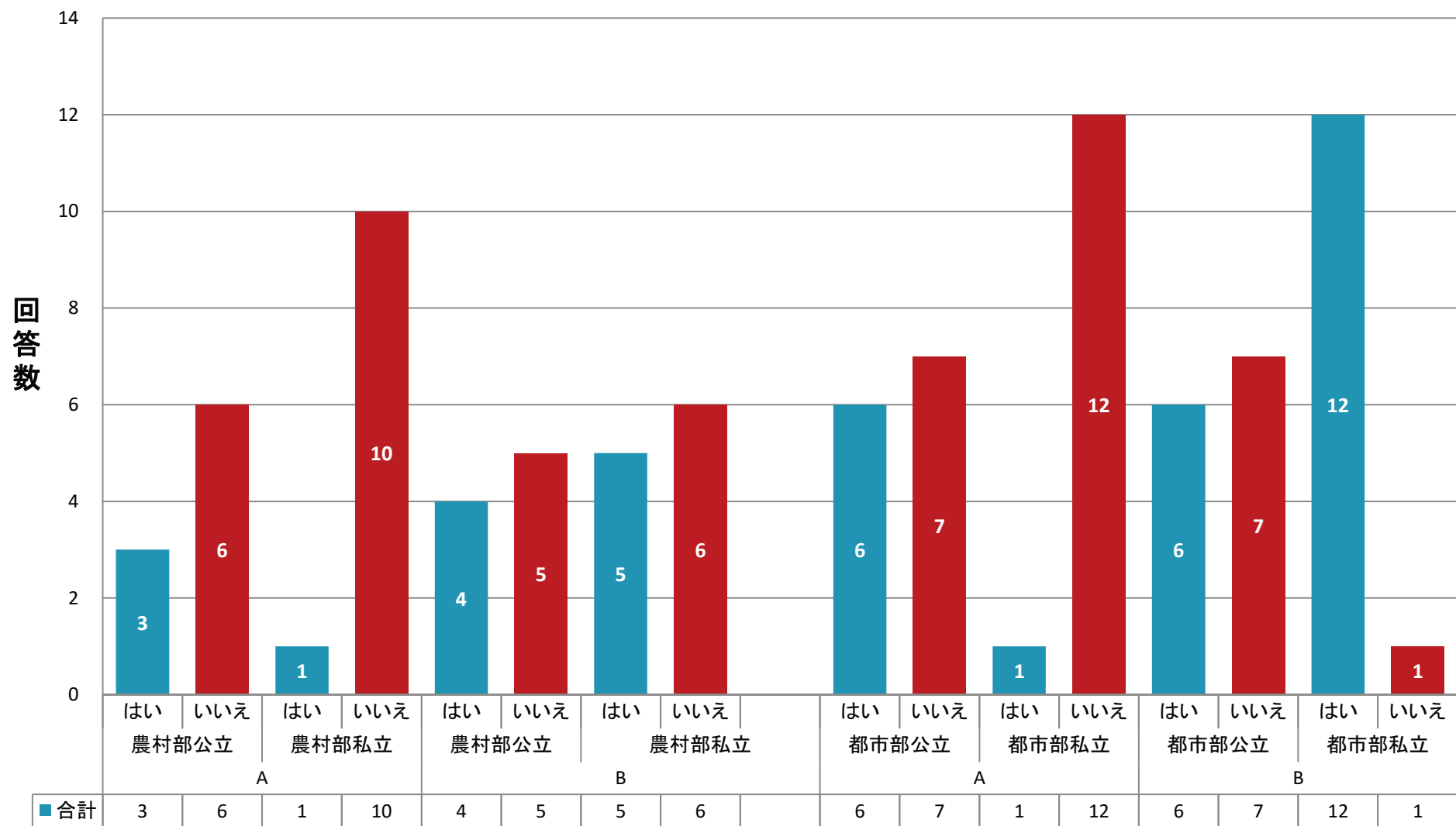
付録 C：「変容した敬語」の認知度について

問6	あなたは次のことについて聞いたことがありますか。	ジョグジャ農村部 (424)																				ジョグジャ都市部 (390)																																				
		公立高校 (206) Kls X: 64, XI: 76, XII: 66								私立高校 (218) Kls X: 50, XI: 87, XII: 81								合計 (424)		高校生の比率 (424)		公立高校の教師 (9)		私立高校の教師 (11)		教師の合計 (20)		教師の比率		公立高校 (207) Kls X: 59, XI: 49, XII: 99							私立高校 (183) Kls X: 113, XI: 30, XII: 40							合計 (390)		高校生の比率 (390)		公立高校の教師 (13)		私立高校の教師 (13)		教師の合計 (26)		教師の比率				
		X	XI	XII	はい	X	XI	XII	いいえ	X	XI	XII	はい	X	XI	XII	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ													
1	「クロモルマ体」という用語	A	5	4	18	27	59	72	48	179	4	15	13	32	46	72	68	186	59	365	13.9%	86.1%	3	6	1	10	4	16	20%	80%	15	16	29	60	44	33	70	147	32	6	9	47	81	24	31	136	107	289	27.4%	72.6%	6	7	1	12	7	19	27%	73%
2	簡素化したクロモ体という用語、つまり、クロモ語で会話をするときインドネシア語が強まっていること。	B	60	58	59	177	4	18	7	29	44	71	70	185	6	16	11	33	382	82	85.4%	14.6%	4	5	5	6	9	11	45%	55%	46	39	73	158	13	10	26	49	72	18	30	120	41	12	10	63	278	112	71.3%	28.7%	6	7	12	1	18	8	69%	31%

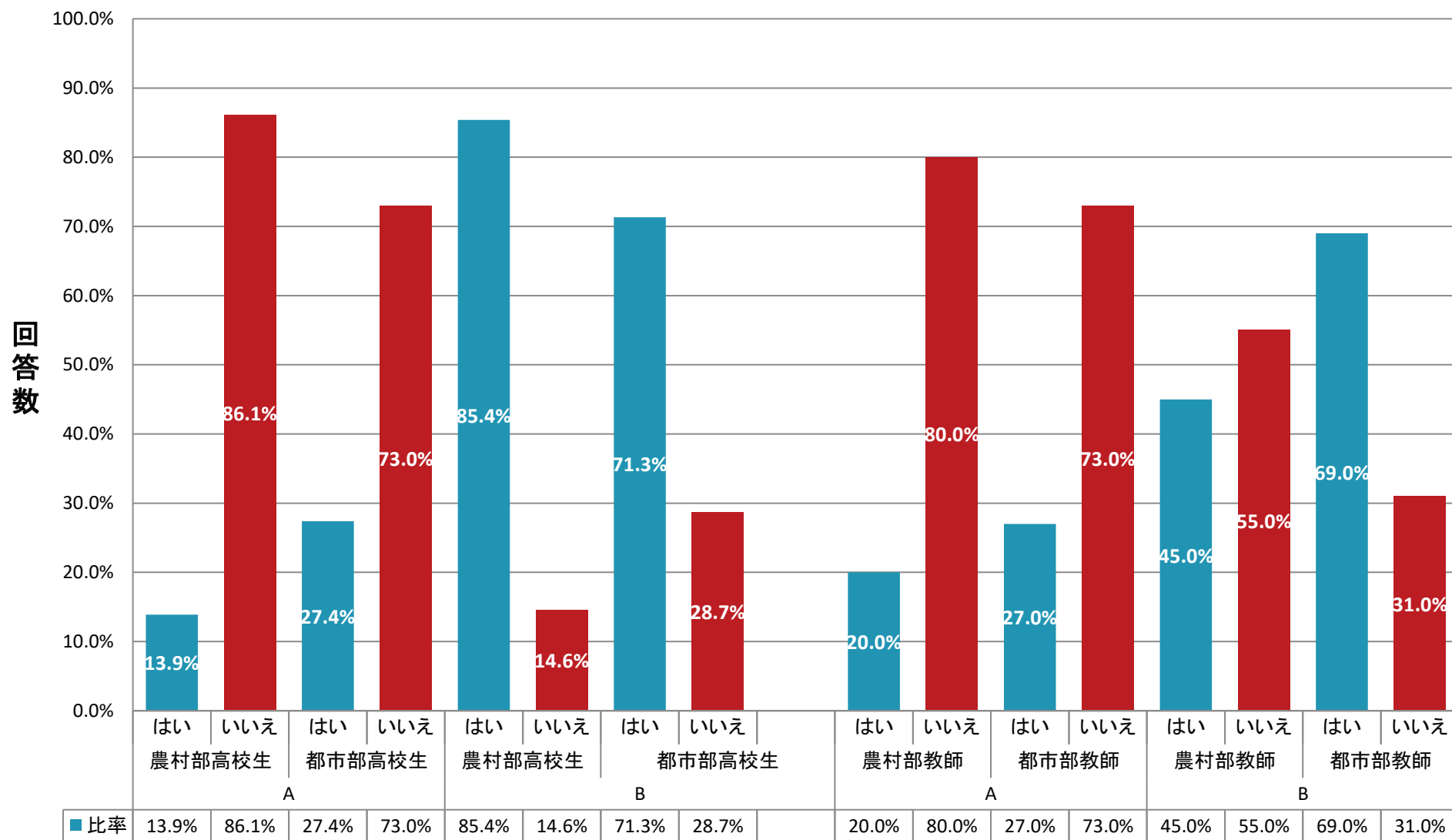
グラフ 問6a. A「クロモ・ルマ体」、B「簡素化したクロモ体」
という用語を聞いたことがある(高校生)



グラフ 問6b. A「クロモ・ルマ体」、B「簡素化したクロモ体」 という用語を聞いたことがある(教師)



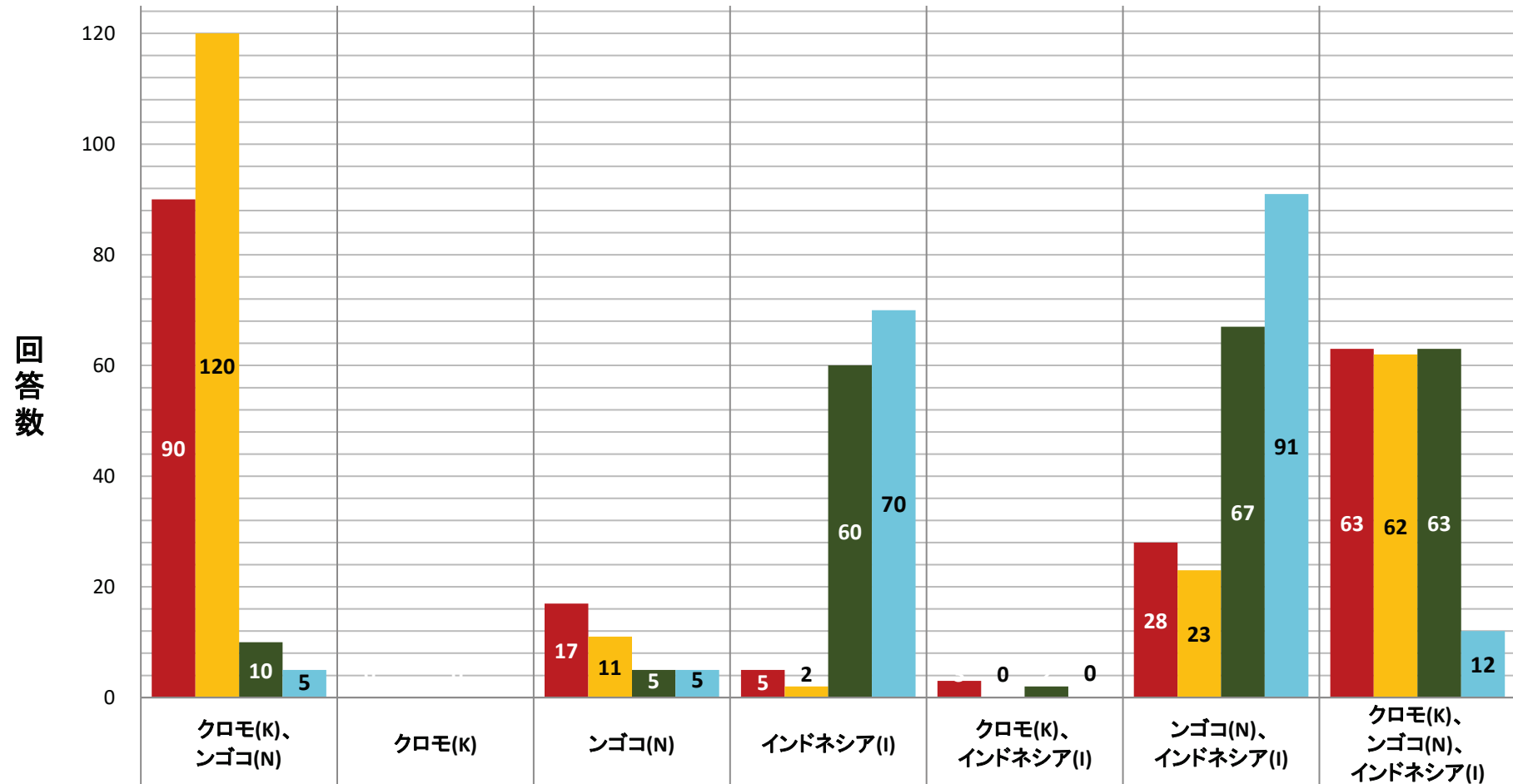
グラフ 問6c. A「クロモ・ルマ体」、B「簡素化したクロモ体」 という用語を聞いたことがある(教師と高校生の回答比較)



付録D：「家庭におけるジャワ語使用」について

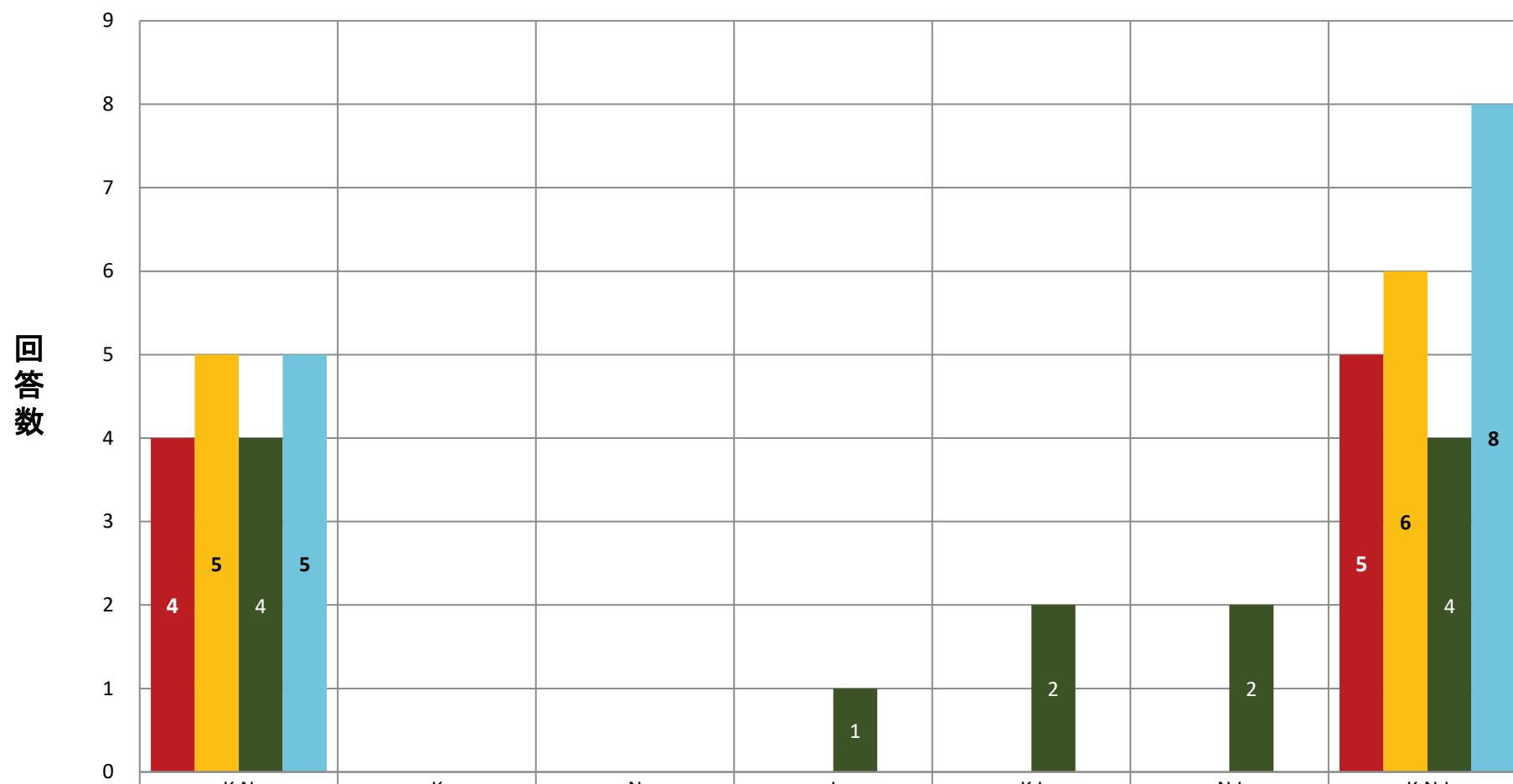
問 7	家で会話をするとき何語を使っていますか (一つ選んで下さい)	番号	選択肢	コード	ジョグジャ農村部 (424)										ジョグジャ都市部 (390)																	
					公立高校 (206)				私立高校 (218)				合計 (424)	比率	教師 (20)		合計 (20)	比率	公立高校 (207)				私立高校 (183)				合計 (390)	比率	教師 (26)		合計 (26)	比率
					X (64)	XI (76)	XII (66)	合計 (206)	X (50)	XI (87)	XII (81)	合計 (218)			公立高 校 (9)	私立高 校 (11)			X (59)	XI (49)	XII (99)	合計 (207)	XI (113)	XI (30)	XII (40)	合計 (183)			公立高 校 (13)	私立高 校 (13)		
1	クロモ語とンゴコ語	K,N	22	32	36	90	28	48	44	120	210	49.5%	4	5	9	45%	4	3	3	10	4	0	1	5	15	3.5%	4	5	9	45%		
2	クロモ語のみ	K	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0%			
3	ンゴコ語のみ	N	4	10	3	17	2	9	0	11	28	6.6%	0	0	0	0%	0	1	4	5	2	2	1	5	10	2.4%	0	0	0	0%		
4	インドネシア語のみ	I	3	0	2	5	0	0	2	2	7	1.7%	0	0	0	0%	16	13	31	60	44	7	19	70	130	30.7%	1	0	1	5%		
5	クロモ語とインドネシア語	K,I	0	2	1	3	0	0	0	0	3	0.7%	0	0	0	0%	1	0	1	2	0	0	0	0	2	0.5%	2	0	2	10%		
6	ンゴコ語とインドネシア語	N,I	14	9	5	28	6	7	10	23	51	12.0%	0	0	0	0%	22	15	30	67	55	19	17	91	158	37.3%	2	0	2	10%		
7	クロモ語、ンゴコ語と、インドネシア語	K,N,I	21	23	19	63	14	23	25	62	125	29.5%	5	6	11	55%	16	17	30	63	8	2	2	12	75	17.7%	4	8	12	60%		

グラフ 問7a. 家で会話する際に使う言語(高校生の比較回答)



■ 農村部公立(206)	90	0	17	5	3	28	63
■ 農村部私立(218)	120	0	11	2	0	23	62
■ 都市部公立(207)	10	0	5	60	2	67	63
■ 都市部私立(183)	5	0	5	70	0	91	12

グラフ 問7b. 家で会話する際に使う言語(教師の比較回答)



■ 農村部公立高校	4	0	0	0	0	0	5
■ 農村部私立高校	5	0	0	0	0	0	6
■ 都市部公立高校	4	0	0	1	2	2	4
■ 都市部私立高校	5	0	0	0	0	0	8

付録 E: 高齢者に対するインタビュー記録

(1) Ibu [REDACTED] (91 才)

E(筆者) : *Dalemnipun kaliyan Bapak kaliyan Ibu ngangge basa Jawi?*

(Apakah keluarga Bapak dan Ibu menggunakan bahasa Jawa?)

Ibu : *Nggih.*

(Iya.)

E : *Ngangge krama sing alus, Bu, sing sae?*

(Menggunakan bahasa Krama yang halus dan bagus, Bu?)

I : *Nggih. Blentong-blentong. Mboten krama alus, namung sering krama lugu, ngoko alus.*

(Iya. Campur-campur. Bukan *krama alus*, lebih seringnya *krama lugu* atau *ngoko alus*.)

E : *Menawi Bapak Ibu ngendhika kepada Ibu atau anak?*

(Kalau Bapak dan Ibu berbicara kepada Ibu atau anak?)

I : *Basa Jawi nanging ngoko.*

(Bahasa Jawa tetapi *ngoko*.)

E : *Tetapi Bapak saged ngangge basa Jawi Krama Inggil?*

(Tetapi Bapak bisa menggunakan bahasa Jawa Krama Inggil?)

I : *Saged. Ning zaman rumiyin basa Jawi menika rak dipungalakaken. Basa Jawi rak lebih ditekankan. Tiyang anak-anak kula piyambak ewa dene mangke wangsul mriki, kula ngangge basa Jawi, ning ngoko. Saged sekedhik angel pun kulinaken.*

(Bisa. Namun, bahasa Jawa tidak digalakkan. Bahasa Jawa tidak lebih ditekankan. Ketika anak-anak datang ke sini, saya menggunakan bahasa Jawa tetapi *ngoko*. Bisa sedikitpun, susah sekalipun, tetap gunakan supaya terbiasa.)

E : *Menawi wayah-wayah Ibu saged ngangge basa Jawi?*

(Kalau cucu-cucu Ibu bisa menggunakan bahasa Jawa?)

I : *Sekedhik-sekedhik.*

(Sedikit-sedikit.)

E : Karena tinggal bukan di Yogyakarta ya, Bu? Tapi tinggal di Jakarta, di Bandung? Apakah itu mempengaruhi mereka dalam berkomunikasi, Bu?

I : *Nggih. Mempengaruhipun ageng. Mboten sering-serin gtiyang sepuh menika ingkang*

ngulinakaken. Kula sagedipun mangke menawi pas kula dhateng Jakarta, kula ngangge basa Jawi melatih lare-lare menika mboten kesupen. (Iya. Mempengaruhi sekali. Tidak

sering-sering kepada orang tua supaya terbiasa. Sebisa mungkin kalau saya pergi ke Jakarta, saya menggunakan bahasa Jawa untuk melatih supaya tidak lupa.)

E : Apakah Ibu setuju kalau ada yang mengatakan bahwa kawula muda itu malas menggunakan basa Jawa karena terkesan kurang nge-tren?

I : *Nggih. Lare-lare kula piyambak menika kaliyan werni-werni kanca, lajeng mboten*

pundadosaken. Awake dhewe dikramakaken. Nila angel basa Jawi.(Iya. Anak-anak saya mempunyai teman yang bermacam-macam. Diri sendiri dibahasakan krama. Bahasa Jawa itu sulit.)

E : *Unggah-ungguh ing basa lebih angel basa Jawi. Dados kula ngertos kenopo kawula muda awis-awis ngangge basa Jawi.* (Tata krama bahasa Jawa lebih sulit. Jadi saya mengerti mengapa anak-anak muda jarang menggunakan bahasa Jawa.)

(2) Mbah [REDACTED] (85 才)

Saya dalam rumah/keluarga hanya gunakan Bahasa Jawa. Kalau cucu-cucu kan tidak bisa, mereka gunakan Bahasa Indonesia, saya jawab dengan Bahasa Jawa. Saya hanya sedikit-sedikit bisa Bahasa Indonesia. Saya hanya bisa pakai Bahasa Jawa saja. Karena diajari oleh orang tua saya, Bahasa Jawa saja.

Masih jaman Belanda waktu itu. Sekarang saya sudah lebih 80 tahun. Dalam sekolah dan keluarga hanya Bahasa Jawa saja, tidak gunakan Bahasa Indonesia, karena saya tidak mengerti, saya tidak bisa jawab. Maaf, saya tidak ngerti Bahasa Indonesia. Saya sekolah di jaman Belanda dulu. Saya petani.

Anak dan cucu sudah banyak tinggal di Jakarta. Cucu ke saya tidak bisa pakai bahasa Jawa, banyak bahasa Indonesia campurbahasa Ngoko

(3) Ibu [REDACTED] (84 才)

E(筆者) : *Ibu menika sinau basa Jawi saking pundi?*

(Dari mana Ibu belajar bahasa Jawa?)

Ibu : *Kula wiwit lahir wonten ing tanah Jawi ning Yogyakarta, bahasanipun basa Jawi, dados wiwit lahir sinaune basa Jawa, bahasa Indonesia sasampunipun sekolah. Wiwit alit sampun basa Jawi sinaunipun wonten basa Jawi terus punlajengaken ning sekolahan rakyat.* (Saya sudah berada di tanah Jawa, di Yogyakarta, dari saya lahir. Bahasa yang digunakan bahasa Jawa sehingga dari kecil belajar bahasa Jawa, kalau bahasa Indonesia belajar setelah sekolah. Dari kecil sudah berbahasa Jawa dan seterusnya belajar di sekolahan rakyat.)

E : Sekolah rakyat itu belajar bahasa Indonesia, Bu?

I : Sekolah rakyat itu bahasa Jawa campur bahasa Indonesia.

E : Tetapi bahasa pengantarnya?

I : Bahasa Jawa.

E : *Ibu menawi matur dhateng orang tua basa?*

(Kalau Ibu datang kepada orang tua menggunakan bahasa apa?)

I : *Basa Jawi basa krama. Ingkang kedah basa krama alus. Ning nek untuk pribadi “kula nedha”,*

- nek kagem tiyang sepuh “dhahar, sare, tilem, tindak, kesah” ngeten menika.*
(Bahasa Jawa, bahasa krama. Harus menggunakan bahasa krama halus. Namun kalau kepada diri sendiri “saya makan”, kalau terhadap orang yang lebih tua “makan, tidur, pergi”.)
- E : Jadi ke orang tuapun sudah memakai Krama Inggil?
- I : Iya.
- E : Orang tua ke Ibu?
- I : Dengan bahasa Ngoko.
- E : *Kula ningali Ibu, dinten meniki anak muda kirang mangertos dhateng basa Jawi.*
(Saya melihat bahwa sekarang ini anak muda kurang mengerti bahasa Jawa.)
- I : *Amargi nate basa Jawi menika kados distop mboten dipunajarkan dhateng orang tua, dhateng sekolahan, mboten dipunangge dengan bahasa nasional. Nanging pengen wangsulaken malih, apalagi di Daerah Istimewa Yogyakarta. (Karena belajar bahasa Jawa tidak lagi dilanjutkan dan tidak diajarkan oleh orang tua, oleh sekolahan sehingga bahasa Jawa tidak lebih digunakan daripada bahasa nasional. Ingin diadakan kembali, apalagi ini di Daerah Istimewa Yogyakarta.)*
- E : *Ibu saged Krama Inggil amargi di rumah Bapak Ibu eyang mbah ngangge basa Jawa?*
(Ibu bisa Krama Inggil karena di rumah Bapak, Ibu, kakek, nenek menggunakan bahasa Jawa?)
- I : *Nggih. Dhateng simbah kula ngangge basa Krama Inggil.*
(Iya. Kalau dengan nenek saya menggunakan bahasa Krama Inggil.)
- E : *Putranipun saged basa Jawi Krama Inggil?*
(Apakah anak-anak bisa berbahasa Jawa Krama Inggil?)
- I : *Nggih kedah sekedhik-sekedhik saged. Anak kula margi waunipun taksih menika dalam bahasa campuran, basa Jawa kaliyan bahasa Indonesia. Dados basa Jawi kula ajaraken wonten sekolahan taksih punajaraken. Nanging putu kula wonten sekolahan menika sampun kestop mboten pake basa Jawa, bahasa Indonesia, campur aduk. Tiyang sepuhipun ngajaraken basa Jawi. (Iya, bisa sedikit-sedikit. Anak saya menggunakan bahasa campuran, yaitu bahasa Jawa dengan bahasa Indonesia. Jadi, bahasa Jawa yang saya ajarkan di sekolahan masih diajarkan. Namun, cucu saya tidak menggunakan bahasa Jawa karena tidak ada diajarkan di sekolah dan akhirnya menggunakan bahasa Indonesia juga sehingga campur aduk. Hanya orang yang sudah tua yang bisa mengajar bahasa Jawa.)*
- E : Jadi diupayakan supaya bisa bahasa Krama Inggil.
- I : *Tetep kula ngajari kaliyan anak kula ngangge basa Jawi mergane ora isa bahasa internasional. (Saya tetap mengajarkan bahasa Jawa kepada anak saya karena saya tidak bisa bicara bahasa internasional.)*
- E : *Tapi putranipun sedaya saged basa Jawi sing krama?*

(Apakah semua anak Ibu bisa menggunakan bahasa Jawa krama?)

I : *Saged.*

(Bisa)

E : Kalau dari Ibu taksih saged?

I : *Nggih. Putu-putune sing angel, mergane uripe wis nang jagan.* Sudah bukan di desa. *Ingang mriki sih sek diajari, nek ning sekolahan kan wis campur aduk.* (Iya. Cucu-cucunya yang susah karena hidupnya sudah di luar. Sudah bukan di desa. Kalau di sini *sih* masih diajarkan, tapi kalau di sekolahan sudah campur aduk.)

E : *Nanging basa Jawane dadi kalah.*

(Namun, bahasa Jawanya jadi kalah.)

I : Karena tidak dimasukkan dalam kurikulum.

E : *Kula ningali kurikulum, Bu, di SD menika basa krama diajarkan nanging tidak dipraktekkan.* (Saya memperhatikan kurikulum, Bu , di SD (Sekolah Dasar) ada diajarkan bahasa krama akan tetapi tidak dipraktekkan.)

I : *Nah iya itu. Mergane gurune wae ora ngerti. Isa ning ora ngerti unggah-ungguhing basa Krama, Krama Inggil, Ngoko. Nek karo kancane ngoko rak popo, ning karo gurune kudu krama-Krama Inggil, gurune wae ora paham mergane tau kestop ora diajarkan iku. Kula rumiyin dados guru punya teman, sing rak ngerti basa malah dadi guru basa. Upamane nembung basane kewan malah dikei Krama Inggil. “Lembu kok didhahari, dipakani”.*(Nah iya itu. Gurunya saja tidak mengerti. Hanya bisa tapi tidak memahami penggunaan tata apa, tapi kalau dengan gurunya harus menggunakan bahasa krama atau Krama Inggil. Gurunya saja tidak paham karena pernah berhenti diajarkan itu. Saya dulu punya teman ketika menjadi guru, yang tidak mengerti bahasa malah menjadi guru bahasa. Misalnya, hewan malah diberi Krama Inggil. “*Lembu kok didhahari* -diberi makan [krama],seharusnya *dipakani* -diberi makan untuk hewan-”.)

(4) Mbah [REDACTED], Ibu [REDACTED] (82 才、80 才)

Belajar Bahasa Jawa di sekolah, karena sekolah menggunakan Bahasa Jawa , bukan gunakan Bahasa Indonesia. Pakai Bahasa Indonesia setelah ke 5,6 SD. Dari kelas 1~4SD hanya menggunakan Bahasa Jawa saja. Dari kelas 5 SD mulai gunakan Bahasa Indonesia.Dulu belajar di Sekolah Rakyat (SR), tahun 1942~1943an.

Bahasa Jawa ini tata bahasanya susah, jadi sungkan dipakai. Anak-anak jaman sekarang tidak bisa gunakan Bahasa Jawa. Susah soalnya, sudah lebih enak/mudah pakai Bahasa Indonesia. Lagipula, orangtuanya juga tidak mengajari, orangtuanya sudah pakai Bahasa Indonesia juga. Kalau jaman saya, masih pakai Bahasa Jawa semua dengan orang tua.

Sekarang semua sudah keenakan pake Bahasa Indonesia. Tidak ada unggah-ungguhnya, gampang sekali, dengan semua orang pakai ‘makan’ saja cukup, kalau Bahasa Jawa beda, ada dahar, neda, maem, badhog, dll. Ada tata bahasanya yang susah sekali itu.

Ada tingkatannya, ada Ngoko, Krama, Krama Inggil, ada juga (Krama) Madya yang di tengahnya. Semua yang ada Krama nya, susah semua (tertawa). Bahasa untuk orang tua dan anak beda. Bahkan nanti mau diadakan sunatan masal, Pak Camat cari MC yang bisa Bahasa Jawa Krama. Pegawai Kecamatan bahkan tidak ada yang bisa Bahasa Jawa Krama (untuk jadi MC). Pak Camat malah cari saya untuk jadi MCnya (tertawa). Acara PKK dari kelurahan juga saya yang selalu jadi Pembawa Acara (MC) nya. Pegawai Kecamatan tidak ada yang sanggup soalnya. Pernah ada pegawai yang jadi MC salah besar gunakan Bahasa Krama (8.30’), malah jadi bahan tertawaan.

Harusnya **Matur nuhun saking rawuh ipun*, malah jadi **Matur nuwun saking kerawuhan Bapak Bupati, lah kerawuhan itu artine keranjingan/kemasukan setan* (tertawa). Harusnya **Awit saking rawuh ipun*, bukan *kerawuhan!*

Kalau di rumah dengan anak juga pakai Bahasa Jawa yang bagus, karena sudah dilatih. Tapi daerah di sini sudah banyak yang hanya gunakan Bahasa Indonesia. Sekolah juga kan sudah gunakan Bahasa Indonesia. Tapi cucu-cucu datang main ke sini ya sudah pakai Bahasa Indonesia, kadang mereka ngomong ini itu, apa itu saya ndak ngerti! (tertawa). Kalau saya ke rumah mereka saya tidak ngerti, semua gunakan Bahasa Indonesia soalnya.

Tapi kami ajarkan supaya mereka gunakan Bahasa Jawa Krama jikan bicara dengan kami, misalnya mereka bilang ‘*Mbah, jaluk (duit)*’ kami betulkan langsung jadi ‘*Mbah, nyuwun (duit)*’, begitu. Jadi mereka ngerti. Kalau salah kan juga tidak apa-apa. Tapi yang bagus harusnya dilatih. Kalau tidak bisa Basa, ya dibasani, supaya mengerti dan bisa pakai Basa.

Kalau Bahasa Indonesia kan tidak ada unggah-ungguhnya, sama semua ke orang tua maupun ke teman. Bahkan pelajaran Budi Pekerti di sekolahpun sekarang dihilangkan, jadi anak semakin tidak mengerti pentingnya menggunakan Bahasa Krama. Enak pakai Bahasa Indonesia soalnya, sama rata semua.

(5) Ibu [REDACTED] (81 才)

E(筆者) : Mbah kalau di rumah ngendika orang tua ngangge basa Jawa?

(Nenek kalau di rumah berbicara dengan orang tua apakah menggunakan bahasa Jawa?)

Ibu : Jawa.

E : Kalau *mbah* ke anak?

I : Kadang-kadang ngoko, kadang-kadang halus.

E : Kalau *dhateng wayah-wayah ngangge basa apa mbah?*

(Kalau kepada cucu-cucu menggunakan bahasa apa nek?)

M : *Menawi kaliyan wayah ngangge basa Jawa, nanging wayahe kan mboten wonten mriki, wonten di Jakarta, jadi kan kembali ke sini ngangge bahasa sana campur aduk dadi kan simbahe yo ngikuti. Kadang komunikasi ngangge bahasa Indonesia. (Kalau dengan cucu menggunakan bahasa Jawa, tetapi cucunya tidak berada di sini karena ada di Jakarta. Jadi ketika kembali ke sini menggunakan bahasa yang campur aduk dan nenek mengikuti. Kadang berkomunikasi menggunakan bahasa Indonesia.)*

(6) Bapak [REDACTED] & Ibu [REDACTED] (81 才、79 才)

E(筆者):Bapak, Ibu, *kula badhe* wawancara. *Nyuwun pirs*a mengenai penggunaan bahasa Krama atau bahasa Krama Inggil. Apakah Bapak dan Ibu *saged* menggunakan *basa Krama, Krama Inggil*? (Bapak, Ibu, saya ingin melakukan wawancara mengenai penggunaan bahasa krama atau bahasa Krama Inggil. Apakah Ibu dan Bapak dapat menggunakan bahasa krama dan bahasa Krama Inggil?)

B&I : Iya.

E : Belajarnya dari mana Ibu?

I : Ya waktu sekolah itu *to*. Pas anak-anak sekolah kan diajarin.

B : *Nek mbiyen pasti wonten samenika tetes SD mboten wonten* pelajaran bahasa Jawa. (Kalau dulu pasti ada, kalau sekarang di SD tidak ada pelajaran bahasa Jawa.)

I : Kebanyakan bahasa Indonesia.

B : *Nek kula rumiyin wonten.* (Kalau saya dulu ada.)

E : Bapak Ibu ini dulu kalau SD lebih bisa menggunakan bahasa Indonesia atau bahasa Jawa?

B : Kebanyakan bahasa Jawa, bahasa Indonesianya belum.

I : *Nek* bahasa Indonesia *nggak* bisa lancar gitu, pakainya Jawa. (Kalau bahasa Indonesia tidak bisa lancar, pakainya Jawa.)

E : Tetapi masuk SD diajarkan bahasa Indonesia?

I : Kalau sekarang, dulu kan *nggak*. Makanya kalau anak sekarang itu kalau bahasa Jawanya kan susah *to*. Kalau bisa *nyaingi* bahasa Jawa *ne kowe ki opo artine, kowe ki kula. Lha nek aku sopo, aku ki njenengan.* (Kalau sekarang, tetapi dulu tidak. Oleh karena itu anak sekarang susah berbahasa Jawa. Arti lawan kata dari kamu itu 'kula', kalau saya 'njenengan'.)

E : Anak sekarang kurang bisa menggunakan?

B : Kurang.

I : Makanya sekarang banyak yang susah *to* kalau bisanya bahasa Jawa. Kalau sekarang bahasanya bahasa Indonesia.

B : *Ngajeni guru barang tutut tiap sepuh mboten saged. Dadi ngoko sagedipun. Aku kowe.*

- (Tidak bisa menghormati guru juga karena bisanya menggunakan bahasa ngoko. 'Aku kamu'.)
- E : *Tiyang sepuh* juga, Pak?
(Terhadap orang tua juga, Pak?)
- B : *Nggih. Samenika guru kaliyan murid, murid no “Pak aku rak iso”*. *Dadi omongane ku ngoko*.
(Iya. Sekarang kalau murid terhadap guru “Pak aku nggak bisa”, jadi berbicara dengan bahasa Ngoko.)
- I : *Dadi mboten basa Krama*.
(Jadi bukan bahasa krama.)
- E : *Bapak Ibu putrane* diajarkan *basa Jawa*?
(Apakah putra-putri Bapak Ibu diajarkan bahasa Jawa?)
- I : *Nggih*, Jawa juga bisa. Biasanya Jawa anak-anak saya itu.
(Iya, Jawa juga bisa. Biasanya anak-anak saya menggunakan bahasa Jawa.)
- E : *Dados* Bapak Ibu mengajarkan *basa Jawa* kepada anak. *Dados* anak sekarang banyak yang tidak bisa pakai *basa Jawa* tetapi tidak diajari?(Jadi Bapak dan Ibu mengajarkan bahasa Jawa kepada anak. Jadi anak sekarang banyak yang tidak bisa menggunakan bahasa Jawa tetapi tidak diajarkan?)
- I : Iya karena *nggak diajari to, nggak kayak* dulu.
- B : Cucu saya saja, pakai *basa Jawa* tu gak bisa krama, ya bisa sedikit-sedikit, tapi kebanyakan ya *ngangge basa ngoko*. “*Mbah aku rak iso mrene mbah*”. *Dadi basa Jawane niku saking ning lantaran tiyang sepuh, mboten saking sekolahan*.(Cucu saya saja menggunakan bahasa Jawa tetapi tidak bisa bahasa krama, bisa sedikit-sedikit dan kebanyakan menggunakan bahasa Ngoko.)
- E : Kalau di sekolahan sudah memakai bahasa nasional. Kula meneliti di Jepang juga begitu, Pak. Di Jepang *wonten unggah-ungguh ing basa*. Mulai banyak juga yang *mboten ngertos ngangge basa halus* terhadap *tiyang sepuh*.(Saya meneliti di Jepang juga seperti itu, Pak. Di Jepang ada tingkat tutur dalam bahasanya. Tetapi, mulai banyak juga sekarang yang tidak mengerti menggunakan bahasa halus terhadap orang tua.)
- B : *Wonten basa Jawa ngoko, krama, Krama Inggil, basa bagongan khusus keraton. Nek ngoko aku, nek krama kula, nek Krama Inggil kawula*.(Ada bahasa Jawa Ngoko, krama, Krama Inggil, bahasa *bagongan* khusus keraton. Kalau Ngoko 'aku', dalam bahasa krama 'kula', dalam bahasa Krama Inggil 'kawula'.)
- E : Anak mudanya tapi kalau di gereja bisa *basa Jawa krama*?
- B : Jarang yang anak muda sekarang.
- E : Jadi apa upaya yang harus dilakukan supaya anak-anak kecil ini bisa bahasa Jawa? Takutnya bahasa Jawa ini hilang, Pak.
- B : *Putu-putu saking sedherek sringsing kaliyan kula “mbah basane ki opo”, “diwarahi basa*

Jawa sithik-sithik mbah”, carane nulis. Pancen wedhal menika dipungalakkan lagi untuk bahasa Jawa. (Cucu-cucu semua datang kepada saya “kakek, bahasanya ini apa”, “tolong ajarkan bahasa Jawa sedikit-sedikit”, bagaimana caranya menulis. Memang caranya ini adalah bahasa Jawa harus lebih digalakkan lagi.)

E : Kalau *samenika* ini di SD *wonten*, Pak?

(Kalau sekarang ini di SD apakah ada, Pak?)

B: *Kula kirang ngertos. Jiatosipun wonten ning jadwalipun no kirang mangertos. Guru-guru mboten kados rumiyin rencana-rencana. Ning wonten rencana pelajaran, kula ningali putu, wonten basa Jawa. Ning seminggupun dereng tentu terhadap guru kaliyan murid rasaipun ngangge basa Jawa.*(Saya kurang mengerti. Sebenarnya ada di jadwalpun juga kurang mengerti. Guru-guru tidak seperti dahulu yang membuat rencana-rencana. Hanya saja ada pelajaran bahasa Jawa ketika melihat jadwal cucu saya. Namun dalam seminggupun belum tentu ada menggunakan bahasa Jawa antara guru dan murid.)

I: *Basa Jawane Solo mbek* Jogja itu malah lebih halus *basa Jawane* Jogja.

(Bahasa Jawa Yogyakarta lebih halus bila dibandingkan dengan bahasa Jawa Solo.)

E : *Kula saged sakedhik-sakedhik. Kula belajar darlbuku pak. Kalau kerinduan saya supaya basa Jawi itu tetap ada.*(Saya bisa sedikit-sedikit. Saya belajar darlbuku pak. Kalau kerinduan saya supaya bahasa Jawa itu tetap ada.)

I : Saudara saya *lha nek ngomong “aku rak iso rene he pak”*. Haruse *“kula mboten saged mriki”*. (Saudara saya kalau berbicara *“aku nggak bisa ke sini pak”*. Harusnya *“saya tidak bisa ke sini”*.)

(7) Bapak [REDACTED] (80 才)

Bapak : *Jawi menika unggah-ungguhipun jakep*, lengkap. Baik itu perilaku keseharian, maupun perilaku terhadap orang lain. Unggah-ungguh itu sama dengan tata krama. Tata itu ditata, krama itu hormat. Umpamanya anak kepada orang tua, muda kepada yang lebih tua. Jadi, bahasanya beda-beda. Itu namanya tata krama. Ditata, caranya bergaul itu ditata. *Badhe maladaya* itu mesti *“kula nuwun”*, harus halus nadanya. (Tata krama dalam bahasa Jawa itu lengkap. Ketika datang untuk bertamu harus mengucapkan “permisi” dengan nada yang halus.)

B : Bahasa Jawa itu bertingkat. *Basa ngoko, basa krama, krama madya, Krama Inggil*. Kalau sesama itu Ngoko *“arep nang ndi?”*, *sing alus “badhe dhateng pundi?”* lebih halus lagi *“badhe rawuh wonten pundi?”*. *Rawuh* itu dateng. *“Mau ke mana?”*. *Inggil* itu *dhuwur*, tata krama yang lebih tinggi, umpama rakyat dengan raja, rakyat dengan presiden, itu lebih hormat. *Inggil* itu *dhuwur* jadi hormatnya tinggi. *Krama Inggil* itu bahasa hormat untuk orang tinggi untuk menghormati. Contohnya Yogyakarta, kalau dengan Sri Sultan bahasanya beda lagi,

- bahasa keraton. Kalau sultan '*panjenengan dalem*', kalau biasa '*panjenengan*'. Kalau dengan Tuhan '*Gusti*' itu '*Pangandika Dalem*'.
- B : Mahasiswa itu sudah kena pengaruh zaman, kemajuan zaman, apapun sudah kena pengaruh. Baik bahasa, tata krama, kesopanan, bergaul dengan macam-macam suku sehingga keaslian itu sudah tidak murni lagi.
- E(筆者) : Kalau di rumah Bapak terhadap anak, anak terhadap Bapak, *ngoko* pak?
- B : Campur. Ada yang hubungannya lebih erat itu *ngoko* karena lebih sayang, lebih *tresno*. Ada juga yang pakai basa Krama. Menghargai orang tua itu tidak harus bahasa halus, tapi cukup dengan sikap tindakan yang terpuji. Bahasa itu hanya pengantar, tapi yang positif adalah sikap tindakan terhadap orang tua. Kan ada tingkat, kepada sesama, *podho tuane, podho derajate*, lebih tua, yang lebih dihormati, *mateng menika wonten tingkat-tingkate*. (Ada tingkatan-tingkatannya, kepada sesama, usia sebaya, status derajat yang sama, lebih tua, dan yang lebih dihormati.)
- E : *Menawi* kepada *wayahnipun ngangge basa Jawi*?
(Kalau kepada cucu menggunakan bahasa Jawa?)
- B : *Basa Jawi*. Sekalipun anak sekarang bukan bahasa Jawa yang halus, kebanyakan bahasa Indonesia nasional sehingga cucunya itu ada pakai *ngoko, krama*, ada yang bahasa Indonesia.
- E : Tergantung orang tua ya, Pak?
- B : Orang tua juga memberi kalau ada kekeliruan *wonten kelepatan. Pareng nasihat “kowe ngono ki ora pas, kudune nek karo simbah, kudune basa sing apik”*. Ada pepatah “*ngajeni wong liya podho karo ngajeni awake dhewe*”. (Orang tua juga harusnya memberi tahu kalau ada kesalahan. Memberikan nasihat “kamu kalau seperti itu tidak tepat, jika berbicara dengan kakek seharusnya menggunakan bahasa yang bagus”. Karena ada pepatah yang berbunyi “menghormati orang lain sama dengan menghormati diri sendiri”).
- B : Tata krama bahasa Jawa hampir luntur. Bahkan sudah mulai tidak diperhatikan oleh orang Jawa sendiri. Yang jelas budaya bahasa Jawa dengan anak generasi sekarang tidak diajarkan di sekolah sehingga anak sekarang itu pendidikan mengutamakan soal teknologi yang tinggi tapi budayanya sendiri tidak dipelajari secara utuh. Jadi bahasa Jawa hampir pudar. Contohnya cucu saya hidupnya di Jakarta tiap hari bahasa Jawanya kurang padahal dia keturunan Jawa. Tapi karena kesehariannya budayanya tidak mengutamakan bahasa Jawa. Mengakunya orang Jawa tapi kesopanan tidak laras dengan budaya Jawa karena terpengaruh lingkungan, pergaulan, pendidikan.

(8) Ibu [REDACTED] (66 才)

- Ibu : *Basa wonten ing Indonesia wonten kathah sanget. Tiap suku gadah basa piyambak-*

piyambak. Menawi basa Jawi menika pancen inggih angel piyambak. Saya manggih menawi basa krama ingkang kethahdipun agem wonten ing keraton. Menika kathah taksih mangge basa inggil ingkang basa krama ingkang alus menika kedhadhipun ginakaken wonten ing keraton. Kangge pedalaman pewayangan menika, ngangge basa kawi. (Bahasa di Indonesia ada banyak sekali. Setiap suku memiliki bahasa sendiri. Bahasa Jawa memang sulit. Bahkan ada bahasa yang kedudukannya lebih tinggi daripada bahasa Krama dan bahasa halus yang digunakan di lingkungan keraton. Kalau dalam pewayangan menggunakan bahasa Kawi.)

E : *Ing pewayangan mawon, Bu?*

(Dalam pewayangan juga, Bu?)

I : *Nggih. (Iya)*

E : Dalam kehidupan sehari-hari?

I : *Kehidupan sehari-hari menika, awis-awisan. Menika ingkang ngagem, kadang ingkang wonten ing keraton, menika dipunselingi ngangge basa kawi. Menika kula piyambak rumaos angel, kula tiyang Jawi tapi angel margi nggih menika wonten pakemipun, wonten patokan-patokanipun, tingkat-tingkatan. Lha yen krama menika wonten Krama Inggil, wonten Krama Madya, Ngoko. Ngoko menika kangge kanca kaliyan kanca. Lak jeng menawi anak kaliyan tiyang sepuh menika ngangge krama. (Kalau dalam kehidupan sehari-hari, jarang. Kalaupun pakai, kadang ada di keraton dan diselingi dengan bahasa Kawi. Saya yang orang Jawa pun sulit karena banyak tingkatan-tingkatannya. Ada Krama Inggil, Krama Madya, Ngoko. Ngoko digunakan untuk teman dengan teman. Kalau anak kepada orang tua menggunakan Krama.)*

E : *Kramane Inggil, Bu?*

(Kalau bahasa Krama Inggil, Bu?)

I : *Saged Krama Inggil, saged krama madya mrika kaliyan guru, kaliyan sedherek ingkang langkung sepuh. Panjenengan karo kula lak sepuh kula, ngangge krama madya. Nek Krama Inggil, kedhah ingkang kaliyan dosen, kaliyan Bapak guru ingkang sampun sepuh, ajeng kaliyan saenipun, nggih kaliyan Bapak Ibu, matur kaliyan pejabat, saya malih kaliyan ratunipun. Dados memang pancen wonten Jawi menika kathah sanget peraturanipun menawi dipunlampahi. Samenika taksih alit, taksih belajar wicanten mawon, sanajan anakipun tiyang Jawi, sampun mawi bahasa Indonesia amargi menika bahasa nasional Indonesia. Ilare wiwit alit mboten dipunajari bahasa Indonesia menika rumaosipun Ibu-Ibu kirang tren, utawi mangke yen dalam pergaulan ndak pinter. (Bisa Krama Inggil, bisa Krama Madya kalau dengan guru atau orang yang lebih tua. Anda dengan saya kan lebih tua saya, bisa menggunakan krama madya. Kalau Krama Inggil, misalnya dengan dosen, Bapak guru yang sudah tua, kepada Bapak Ibu, dengan pejabat. Jadi memang di Jawa banyak sekali peraturan yang harus diikuti. Walaupun orang Jawa, masih harus belajar juga karena bahasa nasional*

- tetaplah bahasa Indonesia. Kalau tidak belajar dan mahir berbahasa Indonesia itu kurang tren di kalangan Ibu-Ibu juga, atau bisa jadi tidak pandai bergaul.)
- I : *Anak kula piyambak menika rak sampun mboten ngomong basa Jawi. Kadang-kadang nyambut damelipun wonten luar Jawa, wonten Sumatra, wonten Kalimantan, wonten pundi-pundi ngeten. Bahasa ingkang dipunangge kan bahasa Indonesia. Nila anakipun wiwit brojol sampun pun nate bahasa Indonesia. Ning kula piyambak, ngomongaken “nduk, anakmu ajarono basa Jawa, aslimu kan Jawa, lha mengko nek mulih karo mbahne ndak rak isa basa”. Samenika anak kula wonten Kalimantan wangsul wonten Jawa, ning Semarang. Nah, sekolahipun anakipun kedhah wonten pelajaran bahasa Jawa, rumaos kecalan basa. Lha anak kula rumiyin kuliah wonten Solo, menika KKN, piyambakipun ketua kelompok kedhah matur wonten kepala desanipun, kan kedhah basa “lamung hp bu, kula kedah matur priipun, agak ndak bisa”. “Wes kowe mulih wae, ana rancangan bahasa Indonesia piye ngko tak warahi basa Jawa”. (Anak saya sendiri tidak bisa berbicara bahasa Jawa. Kadang-kadang pergi ke luar Jawa, ke Sumatra, Kalimantan, ke mana-mana. Bahasa yang digunakan bahasa Indonesia. Jadi anak ini dari lahir sampai sekarang menggunakan bahasa Indonesia. Saya berkata kepadanya “Nak, anakmu ajarkanlah bahasa Jawa, aslimu kan dari Jawa, nanti kalau pulang ke rumah nenek kan gawat kalau tidak bisa bahasa Jawa”. Sekarang anak saya yang ada di Kalimantan sedang ada di Jawa, di Semarang. Anak saya juga kuliah di Solo. Ketika kerja praktek, dia adalah ketua kelompok yang harus datang ke kepala desa. “Hanya bisa lihat handphone, Bu, saya agak tidak bisa berbicara ketika datang”. “Sudah, kamu pulang saja, buat dalam bahasa Indonesia, nanti saya ajarkan bahasa Jawanya”.)*
- I : *Lare kula mawon, anakipun tiyang Jawi, Bapak Ibu pinter basa, anak kula mboten sedaya saged basa krama. Pating pecotot mboten karu-karuan. Kadang-kadang diri pribadinipun basakaken “kula badhe dhahar” mangka leresipun “kula badhe nedha”, “Bapak Ibu simbah dhahar”. Saya putu kula wiwit purun wonten sekolahan pelajaran bahasa daerah dipunupayakan estu. (Anak saya juga, anak orang Jawa, Bapak Ibu pandai bahasa, tapi semua anak tidak ada yang bisa bahasa krama. Tidak karuan. Kadang-kadang untuk diri sendiri dibahasakan “saya mau makan -dhahar-”, padahal yang benar adalah “saya mau makan -nedha-”, Bapak Ibu kakek yang 'dhahar'. Cucu saya di sekolahan diupayakan dengan diharuskan adanya pelajaran bahasa daerah.)*
- E : *Kula maos kurikulum menika kathah budaya, basa menika SD, dados kawula muda menika mboten wonten tempat komunikasi basa. (Saya membaca kurikulum SD banyak membahas mengenai budaya, tetapi anak muda tidak ada tempat berkomunikasi untuk menggunakan bahasa tersebut.)*
- I : *Zaman kula sekolah menika taksih wonten basa Jawa, aksara Jawa kedhah saged dados sae basa Jawa. (Zaman saya sekolah ada pelajaran bahasa Jawa, dapat menulis huruf Jawa juga*

sehingga bisa berbahasa Jawa.)

(9) Bapak [REDACTED], Ibu [REDACTED] (60~65 才)

Anak-anak (muda) di sini juga sudah mulai tidak gunakan Bahasa Jawa. Saya di rumah juga sudah tidak gunakan bahasa Jawa. Dengan istri saya pakai Bahasa Ngoko. Lebih akrab, pakai Bahasa Krama tidak bebas. Mungkin ini salah satu penyebab anak-anak tidak bisa Bahasa Krama karena orangtuanya juga sudah tidak gunakan, yang digunakan Ngoko. Yang kedua, anak sekarang suka bahasa gaul. Karena lebih mudah dicerna. Tidak suka gunakan Krama seperti zaman dulu, mungkin karena pergeseran nilai. Jadi ini menjadi penyebab tergerusnya Bahasa Krama.

Tata bahasa Krama sulit sekali, jadi segan digunakan. Sama-sama orang tua juga lupa, apalagi anak-anak. Banyak salah. *Badhe tindak*, *badhe dahar* digunakan untuk diri sendiri. Anak-anak di rumah ke kami pakai Bahasa Jawa, campur Jawa Krama dan Ngoko, kalau jawab ‘Dalem, Pak’ memang pakai Krama, tetapi kalau saya ajak bicara dengan Krama, dia akan jawab dengan Ngoko, seperti: “*Badhe pundhutke rokok, Mas*”(Krama), lalu dia jawab “Tuku ning endhi, Pak?”(Ngoko). Jadi saya jawab lagi dengan Ngoko.

Juga situasi di rumah susah gunakan Krama, seperti kalau ingin menegur/marah ke anak, kan susah kalau pakai Krama pelan-pelan. Mau suruh orang juga susah, karena harus mikir dulu, susah. Bahasa Indonesia hampir tidak pernah dipakai di rumah, dengan anak pakai Bahasa Jawa saja. Ngoko saja. Walaupun mereka tahu diri, kalau ada tamu, mereka gunakan Krama ke tamu tersebut, dan kepada saya juga (pakai ‘tindak’). Sebenarnya tahu Krama, tapi pilih-pilih. Kalau ketemu orang tua di jalan, pakai karma, karena menghargai orang tsb.

Namanya anak-anak lebih senang bahasa gaul, jadi kalau bicara antar mereka, ndak pakai Krama, tapi pakai Ngoko atau Bahasa Indonesia. Kalau sama guru pakai Krama sungkan, karena takut salah, otomoatis dia mengambil Bahasa yang praktis, yaitu Bahasa Indonesia, Bahasa yang netral. Kecuali kalau saat pelajaran Bahasa Jawa selama kegiatan pembelajaran, dari awal persalaman “*Sugeng Enjang*”, di sekolah baik jika pembelajaran lebih diperhatikan.

(10) Bapak [REDACTED], Ibu [REDACTED] (60~65 才)

Dulu saya belajar Bahasa Jawa itu di SD. Dari SD s.d SMP ada pelajaran Bahasa Jawa, mengajarnya juga pakai Bahasa Jawa, sekitar tahun 1970an. Dulu di kurikulum itu masih umum belajar Bahasa daerah. Satu minggu 1-2 jam pelajaran. Bahkan dulu bahasa pengantar pelajaran juga banyak gunakan Bahasa Jawa.

Kalau dengan orang tua saya gunakan Bahasa Jawa yang Krama, Bahasa yang halus, bukan yang Ngoko. Kalau dengan teman-teman sekitar saya memang pakai Ngoko, tapi kalau orang yang lebih tua dibiasakan pakai Bahasa Krama, juga Krama Inggil, digunakan pada kelas ningrat. Kalau kami

gunakan Bahasa Krama biasa saja.

Anak-anak sekarang, mengapa tidak bisa gunakan Bahasa Krama, biasanya karena pengaruh lingkungan. Juga, ada sisi lainnya yaitu, dari sekolah, karena pengajar/pendidiknya juga di sekolah sudah tidak dapat menggunakan Bahasa Jawa secara benar. Malah sekarang di rumah tangga, banyak orang tua yang komunikasi dengan anak sudah menggunakan Bahasa Indonesia saja. Jarang anak sekarang yang bisa gunakan Bahasa Jawa dengan benar. Lebih utamakan Bahasa Indonesia, mungkin karena kemajuan jaman, mungkin karena gengsi. Acara TV juga sudah gunakan Bahasa Indonesia. Kalau saya, dari orang tua saya juga mengajarkan Bahasa Jawa, dari sekolah juga jelas mengajarkan Bahasa Jawa, jadi bisa. Bahasa Indonesia dulu malah digunakan hanya pada jam pelajaran Bahasa Indonesia saja. Kalau jam pelajaran lainnya, menggunakan Bahasa Jawa. Pendidik juga menggunakan Bahasa Jawa, murid-muridpun kepada guru menggunakan Bahasa Krama. Bahasa Indonesia hanya digunakan pada waktu jam pelajaran Bahasa Indonesia saja.

Kakak beradik kami juga pakai Bahasa Jawa, yang Ngoko. Kalau yang muda ke tua pakai Krama, tapi pakai Ngoko juga tidak masalah, tergantung pembicaraan. Kalau kakak ke adik, pakai Ngoko. Tapi kalau ke orang tua gunakan Bahasa Krama, karena begitu etikanya. Ke saudara yang lebih tua juga Krama. Ke anak juga sedapat mungkin gunakan Bahasa Jawa, walaupun dengan cucu sudah banyak campur Bahasa Indonesia dan Ngoko.

Walaupun sekolah sudah gunakan Bahasa Indonesia sebagai Bahasa pengantar, tetapi seharusnya di rumah gunakan Bahasa Jawa, dan diajarkan ke anak juga supaya tidak hilang. Kalau tidak diajarkan, mungkin nantinya juga Bahasa Jawa (daerah) akan hilang dari dunia pendidikan.

